

2004(平成16)年度

講義内容

法学部

人駒澤大學



講 義 内 容

目 次

法律学科フレックス A・政治学科

I	全学共通科目	
1	宗教教育科目	11
2	教養教育科目	23
3	外国語科目	97
4	保健体育科目	241
II	専門教育科目	
1	法律学科	279
2	政治学科	363
III	他学部履修科目	447
IV	随意科目	473
V	「日本語」・「日本事情」科目	479

法律学科フレックス B

I	全学共通科目	
1	宗教教育科目	499
2	教養教育科目	507
3	外国語科目	541
4	保健体育科目	573
II	専門教育科目	587
III	他学部履修科目	631

法律学科フレックス A・政治学科	全学共通科目	宗教教育 教養教育 外国語 保健体育 法
	専門教育科目	律政 治他 学部
	履修科目	随意科目
	「日本語」	「日本語」
	「日本事情」	「日本事情」
法律学科フレックス B	全学共通科目	宗教教育 教養教育 外国語 保健体育 専門教育 他学部
	履修科目	他学部



法律学科フレックスA

政 治 学 科

I 全学共通科目

1. 宗教教育科目

1. 宗教教育科目

仏教と人間（法A）	〈晴山俊英〉	11
仏教と人間（法A）	〈岩永正晴〉	11
仏教と人間（法A）	〈佐藤秀孝〉	12
仏教と人間（法A）	〈石井清純〉	12
仏教と人間（政）	〈菅原壽清〉	13
仏教と人間（政）	〈渡部正英〉	13
仏教と人間（政）	〈川上新二〉	14
仏教と人間〔再クラス〕	〈池田魯參〉	14
仏教と人間〔再クラス〕	〈晴山俊英〉	15
仏教と人間〔再クラス〕	〈福田孝雄〉	15
仏教と人間〔再クラス〕	〈吉津宜英〉	16

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏教と人間	はれ やま しゅん えい 晴 山 俊 英	法A1必	4

講義のねらい	仏教と一口に言っても、場所により宗派により様々な相違があり、場合によっては同じ仏教でも180度違う主張をする。これは人間が人間として生きることの多様性を示していることに他なるまい。仏教を信じる信じない、そして何が「正しい仏教」なのかは、最終的には個人の信念に依ろうが、一社会人としてその予備知識を養っておきたい。その意味も込めて、本講義のねらいは各国・各宗派の特徴とその背景を、大きな仏教史の中で概観して貰うことにある。
講義の内容・授業スケジュール	釈尊の生涯とその教えに始まり、インド・中国・日本における仏教の展開と主な人物、特徴を概説していく。
履修上の留意点	仏教が何らかの展開する際には、必ず人間の何らかの要請が介在していると思われる。本講義を通じて、そういった人間の要請というものを考察されたい。
成績評価の方法	期末試験に出席の状況（不定期に出欠をとります）を加味して評価する。
教科書	特になし。板書が中心となる。
参考書等	授業において適宜指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏教と人間	いわ なが しょう せい 岩 永 正 晴	法A1必	4

講義のねらい	曹洞宗によって創立された駒澤大学で学ぶ学生諸君に仏教および曹洞宗の教えに親しんで貰うことを、本講義の目的とします。そこで一般の読書人にも広く親しまれてきた『正法眼蔵随聞記』（道元禅師述・懷辨禅師記）を読みながら、仏教の基本的な考え方や曹洞宗の高祖道元禅師の教えについて解説していきたいと思えます。宗教にまつわる問題が取り沙汰される昨今、ひとえに熱狂したり嫌ったりするのではなく、宗教および仏教について冷静に考察するための材料が提供できれば、と考えています。
講義の内容・授業スケジュール	必ずしも『正法眼蔵随聞記』の順序通りではなく、任意の一段を読み解説を行います。
履修上の留意点	成績評価に際しては、出席状況やレポートなどの補助的な評価材料を一切用いないので、授業には積極的に参加しておいて貰いたい。
成績評価の方法	学年末の試験のみによって成績評価を行う。レポート、出席点等はない。
教科書	懷辨編・和辻哲郎校訂『正法眼蔵随聞記』（岩波文庫・青319-4）
参考書等	平川彰著『仏教入門』（春秋社刊）、松尾剛次『「お坊さん」の日本史』（日本放送出版協会・生活人新書041）、角田泰隆『道元入門』（大蔵出版）、古田紹欽訳注『正法眼蔵随聞記』（角川文庫）、鏡島元隆『正法眼蔵随聞記に学ぶ』（曹洞宗宗務庁）等。その他は講義の中で適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏教と人間	佐藤 秀孝 <small>さとう しゅうこう</small>	法A1必	4

講義のねらい

仏教はインドのゴータマ・シッタッタ（釈迦牟尼仏）を開祖とする宗教であり、すでに2500年の歴史を有している。世間一般の仏教に関する理解は、おおむね葬式仏教というイメージが中心であろう。しかし、実際には仏教の思想は生きた人間そのものを見つめるきわめて現代的なものである。仏教が他の諸宗教ときわめて相違する点は、神を持ち出さず、あくまで人間（自己）の苦悩や生死の問題に正面から立ち向かっているところにある。その面で仏教はまさに人間学なのであって、「人（人生）とは如何にあるか」「人（人生）とは如何にあるべきか」を課題にしているわけである。

講義の内容・授業スケジュール

講義では人間学としての仏教の基本的なものの考え方（無常・縁起など）を諸方面から窺い、仏教の現代的意義を探ってみたい。また合わせて本学の建学の理念でもある禅のものの考え方についても、その実践性から禅の人間観・修行観・生活観などの諸方面から説明したい。とくに永平寺を開いた道元は「仏道をならふといふは自己をならふなり」と述べており、自己とは何か、自己そのものを学ぶのが仏道であることを表明している。とかく宗教問題が錯綜している現今であるが、東洋の思想の一つとして、本当の仏教とは何か、禅とは何かを知ってもらいたい。

成績評価の方法

年度末試験およびレポート提出などを中心とするが、さらに出席を重視するのでそのつもりで臨んでもらいたい。

教科書

廣澤隆之『図解雑学・仏教』（ナツメ社）1,400円を使用したい。

参考書等

奈良康明『仏教と人間』（東京書籍・東書選書）や松本史朗『仏教への道』（東京書籍・東書選書）などが有益であろう。

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏教と人間	石井 清純 <small>いし い きよ じゆん</small>	法A1必	4

講義のねらい

仏教の思想と曹洞宗の教義について解説し、本学の依って立つところを明らかにする。

講義の内容・授業スケジュール

種々の経典における仏教の教えと、禅思想の展開について歴史的に概観する。また、鎌倉時代に成立した各宗派の内容を対比的に解説しつつ、現代社会と仏教あるいは宗教の関わりについて問題提起をしてゆきたい。

成績評価の方法

前期終了時にレポートを課す。それと年度末の筆記試験をもって評価を行う。

教科書

適宜プリントを配布する。

参考書等

駒澤大学仏教学研究室編『宗教学Ⅰ』・『宗教学Ⅱ』（更生社）

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏教と人間	かわかみしんじ 川上新二	政治1必	4

講義のねらい

インドで生まれた仏教はアジアの各地域に伝えられましたが、それは仏教には人類が共通して受け入れることが可能な宗教としての側面があるからです。その一方で、各地域に伝えられ定着した仏教はその地域の在来の文化と接触することによって、その地域独自の性格をもつ仏教が生まれていきました。そして各地域に定着し独自の展開をとげた仏教がまた、その地域の文化に大きな影響を与えることにもなりました。仏教を抜きにしては日本文化を語ることはできず、また日本以外の地域についても、仏教ぬきにはその地域の文化は語れません。したがって仏教について学ぶことは、人類が共通して受け入れることが可能な教を学ぶことであるとともに、私たち日本人の文化の基盤を見つめ直すことでもあり、また仏教を受け入れた各地域の人々の文化を学ぶことにもつながります。この講義では、前期では釈迦が説いた教えを中心に仏教の基礎的な内容を学び、後期では日本の仏教の母胎ともなった朝鮮半島の仏教について仏教説話などを通じて考察し、朝鮮半島の人々の文化を理解する手がかりを得ることを目的とします。

講義の内容・授業スケジュール

前期 (1) 仏教とは、(2~4) 釈迦以前のインドの状況、(5~6) 釈迦の生涯、(7~8) 仏・菩薩とは、(9~11) 釈迦の悟りの内容、(12~13) 仏教の修行論。
後期 (1~2) 朝鮮半島における仏教史概略、(3~4) 朝鮮半島における仏教文学概略、(5~7) 『三国遺事』に見られる仏教説話、(8~9) その他の仏教説話、(10~11) 朝鮮の古典文学に見られる仏教、(12~13) 朝鮮半島の仏教と日本仏教。

履修上の留意点

朝鮮の説話・古典文学はこれまであまり馴染みのないものかもしれませんが、日本語に訳されたものもあります。授業中に紹介しますから積極的に読んでみて下さい。

成績評価の方法

試験の結果と提出物の内容、授業出席の姿勢などを総合して成績評価を行ないます。

教科書

『宗教学ハンドブック』（世界書院）。また必要に応じて資料も配布します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏教と人間 〔再クラス〕	いけだろさん 池田魯参	全学科2・3・4年	4

講義のねらい

一年間の講義を通じて、世界の諸宗教と比較して仏教にはどのような特色があるのか考えてみたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期では、世界の代表的な諸宗教が成立する歴史的文化的背景を明らかにし諸宗教の特質を意義づけ、その上で仏教成立の史的意義を明らかにし、釈尊（ブツ）の人間観はどういうものであったのか考えてみたい。
後期では、釈尊滅後の教団史的展開の諸問題を、インド・チベットを始め中国・朝鮮・日本などの東アジア諸地域における仏教の伝播と変容の歴史的意義を明らかにし、仏教信仰に生きた人々の人生観はどういうものであったのか、具体的に考えてみたい。

履修上の留意点

日頃から宗教の問題に関心を持って、宗教に関して見識のある教養人を目指して学んで欲しい。虚心に見聞し自分の頭で考える習慣を身につけて欲しい。

成績評価の方法

夏休みの課題レポートと学年末試験（論文形式）を中心に評価する。

教科書

適宜、講義資料をコピーして、課題毎に参考書等を紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏教と人間 〔再クラス〕	はれ やま しゅん えい 晴 山 俊 英	全学科2・3・4年	4

講義のねらい

仏教と一口に言っても、場所により宗派により様々な相違があり、場合によっては同じ仏教でも180度違う主張をする。これは人間が人間として生きることの多様性を示していることに他なるまい。仏教を信じる信じない、そして何が「正しい仏教」なのかは、最終的には個人の信念に依ろうが、一社会人としてその予備知識を養っておきたい。その意味も込めて、本講義のねらいは各国・各宗派の特徴とその背景を、大きな仏教史の中で概観して貰うことにある。

講義の内容・授業スケジュール

釈尊の生涯とその教えに始まり、インド・中国・日本における仏教の展開と主な人物、特徴を概説していく。

履修上の留意点

仏教が何らかの展開する際には、必ず人間の何らかの要請が介在していると思われる。本講義を通じて、そういった人間の要請というものを考察されたい。

成績評価の方法

期末試験に出席の状況（不定期に出欠をとります）を加味して評価する。

参 考 書 等

授業において適宜指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏教と人間 〔再クラス〕	ふく た なか お 福 田 孝 雄	全学科2・3・4年	4

講義のねらい

無数に存在する世界の諸宗教の中で、仏教とは一体どういう宗教であり、その特徴、特質は何であり、いかなる可能性をもっているのか。それらを学んでいく上でまず、一般的宗教現象を一通り学び、宗教の共通の要素や性格を知っておくことも必要であるから、宗教学的基礎を学ぶことから始め、最終的に、仏教の基本的特色や特質を概観していくことにしたい。

講義の内容・授業スケジュール

宗教学的基礎的な構造としての宗教現象、宗教経験、宗教儀礼などを概説し、最終的に仏教思想の基本構造、仏教各団、経典の組織などについて学んでいくことにする。

成績評価の方法

出席点及びレポートなどにより総合的に評価する。

参 考 書 等

講義の進行に従って、その都度紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏教と人間 〔再クラス〕	よしづ よしひで 吉津 宜英	全学科2・3・4年	4

講義のねらい

先ず最初にこの科目名は「仏教と人間」となっていますが、私は「宗教と人間」という位に広く考えてゆきたいと思います。仏教を含めた宗教に対して皆さんはどのようなイメージを抱き、どのような意見を持っているのでしょうか。すでに特定の宗教を信じている人もいるかもしれませんが、これまで関心の無かった人もあり、また宗教批判者もあるかもしれません。私は宗教に対して肯定的な人にも否定的な方にも先ず宗教や仏教への正しい知識を持ってもらいたいと思います。宗教は政治、経済、科学技術、教育、芸術などと並んで人間の文化の一翼を担っています。太古からいろいろな様々な宗教が存在しています。ある宗教は一神を信仰しますが、他には多くの神を信仰したり、仏教のように仏を主張するものもあります。なぜ人間は宗教を求めのでしょうか。この講義では先ず様々な宗教の多様性の確認から始めます。そして、宗教は社会の中でどのような機能を果しているのかを考えます。また、宗教をめぐる様々な問題点を取り上げます。宗教は人々の幸福を成就する目的を持っているのに、民族紛争などと絡んで宗教戦争が起こり、多くの不幸な人々が出てしまう問題もあります。宗教は個人個人が何かを信じていれば他に迷惑をかけないですむと思うのですが、宗教集団が成立すると、公共の福祉に反する社会的問題を引き起こします。講義全体としては、仏教を含めた宗教の功罪両面を考えてゆくことをねらいとします。

講義の内容・授業スケジュール

前期には宗教の様々な形態について概説します。そして、世界の諸宗教の中で仏教の特色を明らかにします。後期は仏教を含めた宗教と人間社会の様々な問題を取り上げます。新新宗教と呼ばれる存在にも注目します。また、政教分離などの宗教と政治の問題、民族紛争絡みの宗教戦争の問題、人権と宗教の関連性、脳死の是非、遺伝子工学など生命倫理の問題と宗教との関わり等のテーマを順次取り上げます。毎回、必ずあるタイトルを明示して、講義を行います。

履修上の留意点

この科目専用のノートを用意して下さい。講義を筆記すると同時に自分の意見や疑問を書き留め、年間を通して受講と思索の軌跡が残るようにしてもらいたいと希望します。質問は大歓迎です。講義中でも挙手して質問して下さい。ただ、私語は厳禁です。厳しく注意します。

成績評価の方法

毎回出席を取り、年間で2～3回の課題提出を御願ひし、最後に期末試験を行い、その結果を総合して成績評価を行います。

教科書

特に使用しないが、出来るだけ参考資料としてのプリントを配布します。

参考書等

授業の中で随時参考図書などを紹介します。

2. 教 養 教 育 科 目

授業時間表の区分「B」の科目を履修する場合は、
フレックスBの頁を参照してください。(→P. 507)

2. 教養教育科目

(1) 人文分野

文学	[日本文学「古典」]	〈八高由香〉	23
文学	[日本文学「古典」]	〈平野由紀子〉	23
歴史学	[日本近世史]	〈小高昭一〉	24
歴史学	[日本近代史]	〈立川章次〉	24
芸術学	(1)[日本美術]	〈北野良枝〉	25
芸術学	(2)[西洋美術]	〈矢野陽子〉	25
芸術学	(3)[音楽]	〈赤羽由規子〉	26
哲学	[西洋思想の源流]	〈河谷淳〉	26
哲学	[近代の人間観と世界観]	〈古田知章〉	27
論理学	[科学方法論と現代論理学]	〈久保陽一〉	27
論理学	[知の技法]	〈箭野浩司〉	28
論理学	[知の技法]	〈伊古田理〉	29
科学史	[科学と技術]	〈小宮山隆〉	29
倫理学	(1)[人間観]	〈古田知章〉	30
倫理学	(2)[応用倫理学]	〈黒崎剛〉	31
倫理学	(3)[価値観]	〈滝沢正之〉	31
倫理学	(4)[応用倫理学]	〈箭野浩司〉	32
倫理学	(5)[制度とモラル]	〈滝口清栄〉	32
倫理学	(6)[東洋倫理]	〈末木恭彦〉	33
宗教学	(1)[比較宗教文化]	〈池上良正〉	33
宗教学	(2)[聖と俗]	〈田中かの子〉	34
宗教学	(3)[思想と儀礼]	〈小川順敬〉	34
宗教学	(4)[組織と運動]	〈洗建〉	35
人文地理学	(1)[風土と文化]	〈竹林和彦〉	35
人文地理学	(2)[風土と文化]	〈高橋健太郎〉	36
人文地理学	(3)[空間と行動]	〈山口太郎〉	37
人文地理学	(4)[空間と行動]	〈伊藤修一〉	38
教育の思想	〈伊藤茂樹〉	38	
教育の思想	〈坂本信昭〉	39	
教育と社会	〈伊藤茂樹〉	39	
教育と社会	〈坂本信昭〉	40	
発達と学習の心理学	〈大浜幾久子〉	40	
発達と学習の心理学	〈川田三夫〉	41	
発達と学習の心理学	〈山本政人〉	42	
カリキュラムと学習	〈大浜幾久子〉	42	
カリキュラムと学習	〈川田三夫〉	43	
カリキュラムと学習	〈夏堀睦〉	44	

(2) 社 会 分 野

社会学〔現代社会を考える〕	〈金澤朋広〉	44
統計学〔社会現象の統計的決定〕	〈新行内康慈〉	45
文化人類学〔文化と人間〕	〈藤崎康彦〉	46
文化人類学〔諸民族とコスモロジー〕	〈鈴木一馨〉	46
法学・憲法〔法と国家〕	〈佐藤多美夫〉	47
法学・憲法〔法と国家〕	〈織田晃子〉	48
法学・憲法〔法と権利〕—夏季集中—	〈藤本茂〉	49
政治学〔社会生活とデモクラシー〕	〈大山礼子〉	50
経済学〔現代経済と人間〕	〈瀬戸岡紘〉	50
社会科学論〔社会認識の思想〕	〈大石雄爾〉	51
教育学〔デス・エデュケーション〕	〈柳堀素雅子〉	52
教育心理〔大学生の心理—教育臨床心理学の立場から—〕	〈野中弘敏〉	53

(3) 自然分野

生物学〔生態と進化〕	〈清水善和〉	54
地球科学〔変動帯としての日本列島〕	〈藤井享〕	55
自然環境論〔環境と保全〕	〈山縣毅〕	56
自然環境論〔生命と環境〕	〈持丸真里〕	57
自然環境論〔環境と保全〕－夏季集中－	〈山縣毅〕	58
自然誌〔現代の自然像〕	〈清水善和・篠原正雄・持丸真里・山縣毅〕	59
数学(1)〔微積分学入門〕	〈小沢誠〕	60
数学(2)〔線型代数学入門〕	〈小沢誠〕	60
数学(3)〔現代数学入門〕	〈福田賢一〕	61
情報数学〔情報と論理〕	〈上原隆平〕	61
物理学〔光と物質〕	〈篠原正雄〕	62
化学〔衣食住の化学〕	〈持丸真里〕	63
宇宙科学〔星と銀河〕	〈篠原正雄〕	63
コンピュータ基礎(1)(4)(6)(9)〔コンピュータの実際〕	〈小沢誠〕	64
コンピュータ基礎(2)(7)〔コンピュータの実際〕	〈山本博信〕	65
コンピュータ基礎(3)(8)〔コンピュータの実際〕	〈小川健次郎〕	66
コンピュータ基礎(5)〔コンピュータの実際〕	〈澤口隆〕	67
コンピュータ基礎(10)(23)(24)〔コンピュータの実際〕	〈上原隆平〕	68
コンピュータ基礎(11)(15)〔コンピュータの実際〕	－夏季集中－ 〈元木光雄〕	69
コンピュータ基礎(12)〔コンピュータの実際〕	－夏季集中－ 〈小沢誠〕	70
コンピュータ基礎(13)(17)〔コンピュータの実際〕	－夏季集中－ 〈山本博信〕	71
コンピュータ基礎(14)(18)〔コンピュータの実際〕	－夏季集中－ 〈長坂浩史〕	72
コンピュータ基礎(19)(21)〔コンピュータの実際〕	－夏季集中－ 〈澤口隆〕	73
コンピュータ基礎(16)(20)(22)〔コンピュータの実際〕	－夏季集中－ 〈小川健次郎〕	74
コンピュータ応用(1)(2)〔コンピュータの原理〕	〈上原隆平〕	75
人類学(1)(2)〔人類の進化〕	〈遠藤万里〕	75
心理学〔ヒューマン・ウォッチング〕	〈山岸直基〕	76
心理学〔心を科学する〕	〈名取志保〕	76
心理学〔心を科学する〕－夏季集中－	〈堀内正彦〕	77

(4) 総合分野

総合Ⅰ(1)〔仏教と自然〕	〈四津谷 孝 道〉	78
総合Ⅰ(2)〔仏教と社会〕	〈熊 本 英 人〉	78
総合Ⅱ	〈 休 講 〉	
総合Ⅲ(1)〔人権と社会問題〕	〈ピアス, D. M.〉	79
総合Ⅲ(2)〔欧米の教育と日本の教育〕	〈岡 崎 寿一郎〉	80
総合Ⅲ(3)〔中国語圏文化の諸相〕	〈岩 崎 皇 〉	80
総合Ⅳ(1)〔現代アメリカ事情〕	〈林 明 人 〉	80
総合Ⅳ(2)〔米国シアトル NPO の経営研究〕	〈西 村 祐 子 〉	81
総合Ⅳ(3)〔ポスト・モダンの世界〕	〈丸 小 哲 雄 〉	82
総合Ⅴ	〈 休 講 〉	
総合Ⅵ(1)〔民族とは何か〕	〈大 野 祐 二 〉	83
総合Ⅵ(2)〔イスラム〕	〈吉 田 京 子 〉	83
総合Ⅵ(3)〔フェミニズム・ジェンダー〕	〈早 川 紀 代 〉	84
総合Ⅶ(1)〔トラブルと法的解決〕	〈藤本 茂 他 〉	85
総合Ⅶ(2)〔都市論〕	〈早川 純貴 他 〉	86
総合Ⅷ	〈 休 講 〉	

科目名	担当者名	配当学科	単位
文 学 〔日本文学「古典」〕	八 <small>しま</small> 島 <small>ゆ</small> 由香	法A・政治・法B選	4

講義のねらい

『更級日記』を読む。

講義の内容・授業スケジュール

『更級日記』は『源氏物語』から五十年程後に書かれた、平安時代の中頃に成立した日記文学で、作者は菅原孝標女です。

日記は、地方官の任期を終えた父に従い上京する所から始まり、憧れの『源氏物語』を手にして読み耽り、ひたすら物語世界に陶醉していた少女時代、両親の生き方や結婚生活、夫との死別という厳しい現実を通し、仏に対する強い信心を抱いていく過程を綴ったものであります。

この講義では、物語世界に憧れる作者の少女時代を中心に読んでいくことにしますが、同時に物語が当時どのように享受されていたかということについても考えていきたいと思えます。

履修上の留意点

『更級日記』をすべて読むことはできませんが、できるかぎり読み進めていきたいと考えています。そのため、ある程度、事前に通読してくることを望みます。

成績評価の方法

出席状況とレポートによって評価します。なお、出席数が年間を通じて講義数の三分の二に達しない場合、単位を認定しません。

教科書

原岡文子校注『更級日記』（角川ソフィア文庫）

その他

テキストを用いての講義形式です。

科目名	担当者名	配当学科	単位
文 学 〔日本文学「古典」〕	平 <small>ひら</small> 野 <small>の</small> 由紀子	法A・政治・法B選	4

講義のねらい

現在、日本は国際社会において重要な役割を担っているが、真の国際人であるためには自国の文化や歴史を知ることが重要である。そこで、日本文学の原点とも言える万葉集の歌をよむことによって、その歴史的背景を知ると共に、古代人の生き方や考え方を理解する。

万葉前期は大化の改新から壬申の乱を経て、律令国家体制の確立された時代であり、歌は歴史と密接に関わりながら存在した。額田王や柿本人麻呂などが活躍し、古代の歌謡からみずみずしい万葉の和歌が生まれ出た。前期万葉をよむことは、古代史を読むことでもある。

万葉後期は歌の舞台が都を遠く離れた北九州や北陸、関東などに及び、大伴旅人や山上憶良、万葉集の最終編者と考えられる大伴家持など官人たちのほか、防人や名もない庶民の歌が多く収録されている。それらの歌を通して、当時の社会や人々の考え方を学んでみたい。

講義の内容・授業スケジュール

- (前期) 前期万葉の歌をよむ。(1・2)歌謡から和歌へ (3・4)前期万葉の時代 (5～7) 斉明・天智朝—額田王を中心に (8・9)天武朝と天津皇子・大伯皇女 (10～12)持統朝—柿本人麻呂を中心に (13)持統朝—高市黒人・万葉前期のまとめ
 (後期) 後期万葉の歌をよむ。(14)万葉第三期について (15・16)大伴旅人 (17・18)山上憶良 (19)山部赤人 (20)高橋虫麻呂 (21)万葉第四期について (22～24)大伴家持 (25)防人歌・東歌 (26)万葉後期のまとめ

成績評価の方法

年度末の定期試験により評価する。出席・授業態度等も考慮する。なお、出席は授業内容に関するコメントの提出によりとる。

教科書

小野寛著『新選万葉集抄』（笠間書院）

科目名	担当者名	配当学科	単位
歴史学 〔日本近世史〕	小高昭一 <small>おだかしょういち</small>	法A・政治・法B選	4

講義のねらい

織田信長から徳川十五代将軍慶喜までの約三百年、日本近世史のおおまかな流れを一年間でたどる。近世に成立した物事は、近代を経て現代にも影響を与えたものが多い。その始点を省みて、現代を生きる我々の知恵となるものを探れないだろうか。

講義の内容・授業スケジュール

教科書を通して読み、江戸時代の流れを捉える。教科書には細かい事項も記述されているが、全体としての流れ、重要な問題を押さえることを主眼とするので、高校までの日本史の勉強とは違う。

成績評価の方法

前期までの授業のまとめとしてレポートを課す。また、定期試験の論述試験での成績で評価する。

教科書

深谷克己著『江戸時代』（岩波ジュニア新書）『日本の歴史6』（岩波書店）2000年3月刊

参考書等

授業の際、適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
歴史学 〔日本近代史〕	立川章次 <small>たちかわしょうじ</small>	法A・政治・法B選	4

講義のねらい

日本史の流れを概観し、幕末から維新期にかけての過程を考察する。
幕末のわが国は、国内的には商品経済の流通により、封建制が内部矛盾を露呈し崩壊への兆が、その一方、対外的には欧米列強の外圧に遭遇し、国家存亡の危機に直面したのである。幕末から明治初期にかけての人々は、この恐るべき外圧を契機として、みごと新国家の創造に成功し、近代日本の今日への基礎を築いたのである。このことに留意して新しく維新史を学びたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期 維新変革の機運・尊攘運動の展開・王政復古・明治新政・新国家の統一といった幕末から維新期にかけての過程を考察する。
後期 外交の転機となった最初の遣米使節の人々や、咸臨丸の勝海舟、福澤諭吉、中浜万次郎といった人々の啓蒙思想の原点を考察する。

成績評価の方法

定期試験と出席日数により総合的に評価する。

教科書

尾佐竹猛『幕末遣外使節物語』（講談社学術文庫）860円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
芸 術 学 (1) 〔日本美術〕	きたのよしえ 北野良枝	法A・政治選	4

講義のねらい

室町時代から江戸時代に至る日本絵画の流れを、中国およびヨーロッパとの関係に留意しつつ概説する。美術の歴史を解説するにあたっては、常に作品を参照する必要があるため、授業では毎回スライドを使用する。

講義の内容・授業スケジュール

- (前期) 室町から桃山時代の絵画
 (1) ガイダンス (2) 絵画に関する基礎知識
 (3) ～ (7) 室町時代の水墨画 (8) ～ (10) 阿弥派、土佐派、狩野派
 (11) ～ (12) 狩野永徳と桃山画壇
 (後期) 江戸時代の絵画
 (13) 江戸時代の狩野派 (14) ～ (17) 琳派
 (18) ～ (19) 浮世絵 (20) 南蘋派
 (21) 文人画 (22) 秋田蘭画と司馬江漢
 (23) 伊藤若冲と曾我蕭白 (24) 江戸から明治へ

履修上の留意点

ペンライトなどを持参し、スライドで映写する内容についてもノートをとることが望ましい。

成績評価の方法

学年末に筆記試験を実施し、その得点によって評価する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
芸 術 学 (2) 〔西洋美術〕	やのようこ 矢野陽子	法A・政治選	4

講義のねらい

ひとつの美術作品が制作されるにあたっては、芸術家の個性や技術のみならず、その時代と地域の宗教・文化・政治状況などさまざまな要因も関係しています。この講義では私たちとは異なる文化から生まれた西洋美術のうち、およそ15世紀から18世紀までの美術、つまりイタリア・ルネサンス期からフランス革命期頃までの美術を対象とします。まず美術作品に表現された内容を理解し、その表現様式の特徴を考えながら、美術の主要な流れを把握することを目的とします。さらに芸術家と注文主や鑑賞者との関係、美術が社会のなかで占めていた位置についても考察していきます。

講義の内容・授業スケジュール

- (前期) 15・16世紀の美術
 イタリア初期ルネサンス／15世紀の北方美術／イタリア盛期ルネサンス／北方ルネサンス／マニエリスム
 (後期) 17・18世紀の美術
 バロック美術 (イタリア、ネーデルラント、スペイン、フランス)／ロココ美術／新古典主義美術

履修上の留意点

初回にガイダンスを行うので必ず出席してください。スライドで作品を見ながら時代順に講義を進めるので、授業にはなるべく遅刻欠席をせず続けて出席することが望まれます。

成績評価の方法

夏休みの課題としてのレポートと学年末の試験とを合わせて評価します。

教科書

高階秀爾監修『カラー版西洋美術史』(美術出版社) 1,900円

参考書等

参考文献は授業中適宜紹介します。

その他

授業では毎回スライドを使用します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
芸術学 (3) 〔音楽〕	あかばゆきこ 赤羽由規子	法A・政治選	4

講義の内容・授業スケジュール

前期 民族音楽学——日本人の伝統的な音感覚について考えていく。焼き芋屋さんの売り声や子どもの遊びの歌から芸術音楽にまで共通する日本のメロディーについて考察し、それらと外国の歌との共通性、異質性について具体的に音を聴きながら学び、音楽とは何かを考えていきたい。

後期 20世紀と音楽——20世紀における音楽に関する様々な新しい動きを追って行き、「ポスト・モダン」といわれる今日の音楽の在り方について考えて行く。音や映像を用いて、わかりやすく進めて行くつもりである。

履修上の留意点

第一回目にオリエンテーションを行うので必ず出席すること。

成績評価の方法

夏期レポートと学年末試験で採点する。

教科書

印牧由規子著『現代からの音楽史』（公論社）2,700円

科目名	担当者名	配当学科	単位
哲学 〔西洋思想の源流〕	かわたにあつし 河谷淳	法A・政治・法B選	4

講義のねらい

この授業ではギリシア哲学（古代哲学）とキリスト教哲学（中世哲学）とを主要なテーマとして取り上げることで「考える」ということがどのような営みなのかを一緒に考えることにしたい。これらふたつの哲学思想は西洋思想の二大源流に対応するものであり、それぞれは知と信という対立のもとに理解することができよう。しかしながら、ふたつの源流は不連続と同時に連続性という側面も併せ持ち、複雑に分岐・合流を繰り返しながら近現代の思想へと流れ込んでいる。そうだとすれば現代の私たちが古代・中世哲学について考えるということは現代哲学の一形態であると言ってもよいであろう。

講義の内容・授業スケジュール

講義では次のような内容を取り扱う。

前期：（1）ギリシア哲学（ソクラテス以前の哲学・ソクラテスにおける「無知の自覚」・プラトンのイデア論・アリストテレスによるイデア論批判）

後期：（2）キリスト教哲学（信仰と合理性・神の存在証明・普遍論争）

（3）近代哲学（大陸合理論とイギリス経験論、カント哲学）

履修上の留意点

授業を受け身的に聴くというよりは一緒に問題を考えていくという積極的な姿勢が望ましい。

成績評価の方法

中間・期末試験（それぞれ40点満点）と夏休みレポートと出席状況の総合点で評価する。

教科書

『原典による哲学の歴史』（公論社）

科目名	担当者名	配当学科	単位
哲学 〔近代の人間観と世界観〕	ふるたともあき 古田知章	法A・政治・法B選	4

講義のねらい

現代に生きる我々は、いろいろな場面で西洋的なものに直面し、また、我々自身、知らず知らずのうち西洋的な人間観・世界観に基づいて判断あるいは行動していることも多い。そして、この西洋的なものは、古代ギリシア以来の伝統のもと様々な曲折を経て、近代ヨーロッパにおいて現れた人間観・世界観に強く影響を受けている。したがって、西洋的なものの理解のためにも、また、現代に生きる我々の自己理解のためにも、近代ヨーロッパの人間観・世界観がどのような伝統と時代意識のもとに形成され、また、いかなる形で現代社会へと流れ込んでいるのかを学ぶことは有意義であると考えられる。

講義の内容・授業スケジュール

教科書を利用し、以下の内容を取り上げる（各項目ごとに、2～4回の講義）。

〔前期〕近代の人間観・世界観の源流

1. 哲学における基礎的な問題の整理 一人間と世界について問うこと一
2. 古代ギリシアの思想 一哲学的探求の始まり一
3. キリスト教思想と中世の哲学 一試作の新たな展開一
4. 中世から近世への連続と変動 一様々なルネサンスについて一

〔後期〕近世・近代の人間観・世界観

1. ルネサンスから近世の思想 一人間観・世界観の変革一
2. 科学の発展と世界観の変化との関係 一人間の位置について一
3. 現代の存在論 一見えるものを支える見えない枠組み一

成績評価の方法

二回の定期試験（中間試験、年度末試験）と平常点（出席状況、夏期レポート等）で評価する。

教科書

〔原典による哲学の歴史〕（公論社）

参考書等

講義の際にその都度紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
論理学 〔科学方法論と現代論理学〕	くぼよういち 久保陽一	法A・政治・法B選	4

講義のねらい

論理学は正しく推論するための規則に関する学問であり、すべての科学や日常的な行動の方法として役立つものであるため、修得して活用できるようにしてもらいたい。

講義の内容・授業スケジュール

(1) 伝統的論理学

- 1 演繹法（概念論・判断論・推理論）
- 2 帰納法
- 3 虚偽論、弁証法

(2) 記号論理学

- 1 命題論理学
- 2 述語論理学

履修上の留意点

よく出席すること。私語、途中退室はつつしむこと。

成績評価の方法

中間試験、小テスト、期末試験。

教科書

『新しい認識への論理』（公論社）

参考書等

講義中に紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
論理学 [知の技法]	矢野ひろし の 浩 司	法A・政治選	4

講義のねらい	<p>ディベート、ディスカッション、プレゼンテーション、ネゴシエーションのスキルアップを目的とします。日本の教育制度はこの四つの能力を育成しませんが、民主主義社会の一員として、ビジネスパーソンとして、国際社会の一員として、これからの時代を生きてゆくためには武器となるスキルです。(ただし、この授業は伝える内容は育成しません。内容は自分で育成してください。この授業が育成するのはメッセージを伝達する形式に関わる部分のみです)</p> <p>初めての参加者は、人に何かを伝えようとする前に、恥ずかしい、言うことがない、意見がない、何も思いつかないといった状況に直面することになるかもしれませんが、それを乗り越えることも目的の一つとします。</p>
講義の内容・授業スケジュール	<p>まずディベートから始めて、ディスカッション、プレゼンテーション、ネゴシエーションのどれか、あるいはすべてに挑戦してもらいます。オプションとして、司会術、情報分析、ビジネス戦略、ユーザー・クレーム、ビジネス・マナーを検討します。</p>
履修上の留意点	<p>単位よりも能力が欲しいことを参加条件とします。参加人数を減らすために、四回休んだら単位は出ません。単位のいない人の参加は歓迎します。この授業は今年で三年目となり、すでに単位を取っているのにスキルアップのために参加し続けている人がいます。そんな熱心な人たちのために今年、有段者の黒帯、あるいはトーナメントの勝利者に与えられるトロフィーに相当するものを認定する制度をつくりたいと思います。それについてもプレゼン・バトルで決定しますので、アイデアを練っておいてください。</p>
成績評価の方法	<p>中間試験と期末試験、やる気、スキルの修得度などで評価します。</p>
教科書	<p>プリントを配布します。</p>
参考書等	<p>その都度紹介します。</p>

科目名	担当者名	配当学科	単位
論理学 〔知の技法〕	いこな まさる 伊古田 理	法A・政治選	4

講義のねらい	本講義は、文科系の文章技術について解説し、かつトレーニングを試みる。すなわち、あるテーマについて、文献を集め、読み、考え、そのうえで自分の考えを文章としてまとめるといった一連のプロセスについての実際のノウハウの習得を目標とする。
講義の内容・授業スケジュール	まず、最初に文献・資料集めのしかたについて、簡単に解説する。次にあるテーマについて異なる立場からの考察を読みこなすトレーニングを行う。そのうえでこうした読解をもとにして自分の考え、立場を文章としてまとめあげるトレーニングを行う。
履修上の留意点	以下の「成績評価の方法」でも触れてあるが、この授業は基本的に講義スタイルですすめてゆくが、それと平行して、数回のレポート課題を出す。そして、この提出したレポートを材料に授業を進めるケースも少なくない。したがって、レポート課題がこなせないという意識をもつ諸君には受講をすすめたくない。
成績評価の方法	随時課するレポート課題（問題演習＋文章要約、等々：年間10本以上はありうることを承知しておいてほしい。翌週提出厳守）のほかに、最終的に本講義で扱ったテーマに対する諸君の考えをまとめた原稿用紙20枚程度のレポート（12月最終週講義時提出）によって判定。定期試験はいっさい実施しない。
教科書	本年度は、テーマとして「道徳の理由（なぜ道徳なんでもものに従って行動しなければならぬのか）」をとりあげる。 教科書：大庭他著『なぜ悪いことをしてはいけないのか』（ナカニシヤ出版） 副読本：野矢茂樹『論理トレーニング』（産業図書）
参考書等	そのつど指示する。
その他	上記教科書のテーマに対する関心を予めそなえていることは、必ずしも前提しない。しかし無関心でいつづけることはできない。自分で興味をみつけてゆくつもりで授業に臨んでほしい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
科学史 〔科学と技術〕	こみやま たかし 小宮山 隆	法A・政治選	4

講義のねらい	近代科学の成立およびその展開に深いかかわりをもつ「技術」のいくつかを軸に、科学と技術および社会との関連を視野に入れ、歴史を概観する。科学と技術はしばしば車の両輪にたとえられるが、新しく登場した技術が科学の進展を促すばかりでなく、阻害するケースもあり、そうした個々の事例をふまえて今日の科学技術文明を考える手がかりとしたい。 後期には、IT、バイオ、ナノテクノロジー等、現代技術の動向についても紹介する。
履修上の留意点	自然科学的な知識は特に前提としないが、それだけに講義に対する積極的な取り組みが受講の要件となる。
成績評価の方法	出席状況、レポートおよび定期試験の結果を合算して評価する。 なお、試験については、「覚える」ことを強いる必要はないと思われるので、原則として、教科書・ノート等の参照を可とする。
教科書	開講時に指示する。
参考書等	講義の際に随時、指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
倫理学 (1) 〔人間観〕	<small>ふる た とも あき</small> 古田知章	法A・政治・法B選	4

講義のねらい

われわれは、社会の中で、一人の人間として、さまざまなものを「よい」あるいは「悪い」と判断しながら生活している。逆に言うと、この判断なしにわれわれは生きていくことができない。では、このような倫理的生活を送っているわれわれ人間とは何者であろうか。日常、われわれは「人間」という言葉を自明なものとして扱っている。しかし「人間とは何か」と問われたとき、さまざまな問題が浮かび上がり、簡単には解答に到達できない。西洋の思想的領域では、この問いに対して、その時代の社会的状況や思想的背景との関連のもとで、さまざまな解答が示されてきた。現代に生きるわれわれが、自らが人間であることの意味を問い直すとき、これらの諸説を一度、検討することは有意義であると考えられる。

講義の内容・授業スケジュール

教科書を利用し、以下の内容を取り上げる（各項目ごとに、2～4回の講義）。

〔前期〕人間観の形成の歴史

1. 人間と倫理 一人間であるために―
2. 古代ギリシア思想における人間観の諸相
3. 中世キリスト教思想における人間観
4. 人間観の転換 ―ルネサンス・宗教改革―

〔後期〕新しい時代の人間観

1. 出発点としてのデカルト《思惟する私》
2. 自己の内面性と他者の問題
3. 人格 ―ロックを手がかりに―
4. 人間存在と自由

成績評価の方法

二回の定期試験（中間試験、年度末試験）と平常点（出席状況、夏期レポート等）で評価する。

教科書

『原典による哲学の歴史』（公論社）

参考書等

講義の際にその都度紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
倫理学 (2) 〔応用倫理学〕	くろ さき つよし 黒 崎 剛	法A・政治・法B選	4

講義のねらい

「倫理」というのは、人間が世界の中で、世界に対して振る舞う上にさいして基準とする「規範」—「価値」や「義務」、「習慣」といった—の正当性を問うものである。だから「倫理学」というのは、自分が行動するに際して自覚的・無自覚的にとっている規範が半端なものではないか、みずから検証するという課題を持っている。ところで、科学技術、そして最近の生命科学の驚異的な発展によって、私たちがこれまでまったく自明のものともみなしていた多くの「価値」「規範」がその地位を失おうとしている。そこで、この授業では、生命科学と医療の分野でここ二、三十年の間に起った変動にもなつて提起されてきた問題を取り上げる。すなわち「生命倫理」をテーマとする。

講義の内容・授業スケジュール

「生命倫理」の諸問題のうち、以下のテーマを取り上げる予定

1. 生命の倫理——講義の課題概説
2. 「インフォームド・コンセント」：自己決定の思想
3. 人工妊娠中絶
4. 安楽死と尊厳死
5. 脳死と臓器移植
6. 「生殖革命」——人工生殖の現状と問題点
7. 遺伝子操作論

履修上の留意点

課題はすべて現在進行形のものばかりなので、受講生にも起りつつある問題に絶えず嗅覚を働かせる態度を望む。

成績評価の方法

受講態度、出席、試験（レポート）、を総合評価。

教科書

教科書はプリントを使用。参考書は教場で紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
倫理学 (3) 〔価値観〕	たき ざわ まさ ゆき 滝 沢 正 之	法A・政治・法B選	4

講義のねらい

倫理学の主要な潮流を概説する。
我々は日常、道徳的な善悪について語る。たとえば、親は子供に「それは悪いことだからしてはいけません」と言うだろう。しかし、少し反省してみると、道徳的な善悪というものそれほど自明ではない。
そもそも、何が善いことで何が悪いことなのだろうか。たとえば、人は殺してはいけない、とよく言うが、世の中には死刑もあるし戦争もある。
また、少し前までは、性別や人種で差別することが当然のように行われていた。それが悪いことではない、と思われていたのだ。善悪は時代や場所によって変わってしまう、ただの決まりごとなのだろうか。
このように、道徳的な善悪の本性とは、実のところ、よくわからないものなのだ。
そこで、道徳についての哲学的考察、すなわち倫理学が登場することになる。

講義の内容・授業スケジュール

倫理学の主要な潮流を互いに対決させつつ紹介する。具体的には、カントの義務論、功利主義、ニーチェの道徳批判、徳論の四つとなる予定。

成績評価の方法

基本的に中間試験および期末試験により評価する。

教科書

久保・河谷編『原典による哲学の歴史』（公論社）

参考書等

講義中に適宜指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
倫理学 (4) 〔応用倫理学〕	矢野 浩 司 の ひろ し	法A・政治・法B選	4

講義のねらい

例えば、自動車でスーパーマーケットに行き、バックされた牛肉を買って、ポリエチレン製の袋に入れてもらって、家に持って帰って食べる場合、人はさまざまな選択を行っています。多くの人は選択を行っているという意識を持っていません。それはシステムや文明によるマインドコントロールを受けている状態であり、考えて行動する力を奪われている状態であるとも言えます。この授業の目的は、そのような問題の存在に気づき、自分にインストールされた行動様式の外にいったん出ることによって、考えること、意見を持つこと、判断を下すことをシミュレートすることです。応用倫理学とは、論理の応用ではなく、問題に参加することで生き方を模索する学問です。

講義の内容・授業スケジュール

毎回異なる問題を扱います：安楽死、遺伝子操作、劣化ウラン弾、地雷、パレスチナ問題、アメリカとイラク、代理母、中絶、女性器切除、AIDS、18トリソミー、IT犯罪、IT汚染、天皇制、南京虐殺、教科書問題、自衛隊、自動車、食料、難民、刑務所、死刑、売買春、おたく、わいせつ、引きこもり、化粧、ファッション、美容整形、殺人、地域通貨、資本主義、徴兵制、温暖化、煙草、アイドル、アメリカ映画、内部告発、メディア倫理、ビジネス倫理など。

履修上の留意点

本年度は、授業終了後に希望者のみでグループ・ディスカッションを行います。この部分に関しては単位は出ませんが、意見を深めたい者、ディスカッション能力を高めたい者は参加してください。参加希望者がいない場合は行いません。

成績評価の方法

中間試験と期末試験、リアクションペーパーとディスカッション能力で評価します。

教科書

プリントを使用します。

参考書等

その都度紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
倫理学 (5) 〔制度とモラル〕	滝口 清 栄 たき ぐち きよ えい	法A・政治・法B選	4

講義のねらい

人間は古くから共同体を作り、さまざまな社会的・政治的制度を生みだしてきた。そこには時代によりあるいは地域により違いが見られるが、そこにはまた人間のよりよいあり方とよりよい社会的・政治的制度のあり方をめぐり、絶えることのない思想的な営みがあった。どのような時代にあっても人間はこの営みをやめることはなかった。私たちの社会は今どのような方向に進んでいくのか。いろいろと考えざるをえなくなっている。歴史的視野をもち以上の思想的営みをふりかえっておくことが、今日の問題を考えていく上でも大切な土台となるであろう。本講義では、西洋倫理想史のなかで古代、近代、現代からいくつかの思想をピックアップし、まず人間観の特徴をつかみ、そして人間のよりよき生を可能にするよりよき制度をめぐり、その思案のあとを検討する。制度はもちろんそれを担うことのできる人間を必要とする。そこにはモラルの問題が関わる。時代的な違いを背景において以上の問題を検討していく。

講義の内容・授業スケジュール

こまかなスケジュールについては開講時にスケジュール表を配布する。

履修上の留意点

講義は平明を心がける。ときどき質問用紙を配るので、不明な点について質問を出してほしい。

成績評価の方法

中間テスト（10月上旬を予定）と学年末テストにより成績を評価する。

教科書

久保陽一・河谷淳編『原典による哲学の歴史』（公論社）3,200円

科目名	担当者名	配当学科	単位
倫理学 (6) 〔東洋倫理〕	すえ き やす ひこ 末 木 恭 彦	法A・政治・法B選	4

講義のねらい

漢文古典はすべて「倫理」学と言っても過言ではない。それらを産み出した人々の主要な関心は、人と人の中で如何に生きるかにあった。従って、漢文古典を考えれば、自ずと倫理学となる。又、漢文古典が示す人の生き方は、東アジアの人々に等しく人生の指針であった。先人の積みあげた歴史の上に我々はいる。漢文古典の世界を知ることが、決して他人事ではなく、我々の心の奥底を知ることである。これを知ることが、我々の未来の生き方を開くことにもなる。この様な重要な意味を担う我々先人達の人生の思想を問い直し、そこから未来の手掛りを掴む—ここにこの講義の目標はある。

講義の内容・授業スケジュール

今年度は、東洋古典の智慧がどれだけ現代の問題を考えるのに役立つか検討を試みたい。環境倫理—環境問題にいかに対処してゆくかという問題を取り上げ、この問題に東洋の智慧がどのように光を投げかけるかを見てみたい。教科書は、この様な問題意識に基づいて開かれたシンポジウムの報告論文集である。講義は、教科書に収められた論文の中から講師が重要と考える論文を選び、順次読み進めながら考察を深めてゆく。

履修上の留意点

ノートは確実にとること。

成績評価の方法

基本は年二回以上の試験あるいはレポートにより判断する。それに、出席状況・受講への積極性（質問の有無—質問は原則書面で提出して貰う）などを加味して最終的な成績をつける。

教科書

『東洋的環境思想の現代的意義』（農山漁村文化協会）

参考書等

講義中に適宜指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
宗教学 (1) 〔比較宗教文化〕	いけ がみ よし まさ 池 上 良 正	法A・政治・法B選	4

講義のねらい

宗教学という学問は、そもそもの出発点から比較宗教学という性格をもっていた。そこでは「ひとつの宗教しか知らない者は、いかなる宗教をも知らない」（マックス・ミュラー）という信念が前提になっていた。「国際化」が進む今日の世界において、異なる社会に育った人々の生活の基盤を形づくってきた宗教文化の相互理解は、ますます重要な課題となっている。本講義では、宗教学の基本的な視点を紹介しながら、いくつかの具体的な研究成果を学ぶことにする。

講義の内容・授業スケジュール

大きなテーマとして、次の三つを考えている。①「宗教」概念の成立とその意義。②人類史と宗教。③現代社会に生きる「宗教」。

成績評価の方法

年度末に筆記試験。

教科書

特に指定しない。

参考書等

授業中に適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
宗 教 学 (2) 〔聖と俗〕	田 中 かの子	法A・政治・法B選	4

講義のねらい

ありのままの世界には「聖」も「俗」もなく、あるがままに続けられてゆくその営みがみられるばかりである。そこにあえて「聖と俗」という対立概念をみるのは、人間に固有の宗教的価値観がはたらいっているからにほかならない。「聖」と「俗」にいかなる内容を盛るかは、神の啓示や仏の理法、あるいは大自然の威力など、信仰対象の特質によって多様化する。それはあたかも諸宗教間の相違を生むものであるかのようにみえる。しかし「聖と俗」の観念が生活のなかで活かされるとき、それは、無力にして至らぬ自己を「不浄から清浄」「苦しみから救い」「罪から改悛」へのプロセスに向かわせるといふ、どの宗教にとっても重要な、ひいては日々新たに生まれかわろうと欲する人間に共通の問題となる。本講では、現代に生きる諸宗教の信奉者たちと「聖なるもの」との関わりを実際の見聞にもとづいて解説し、各宗教の特殊性よりは普遍性について講じてゆく。それにより、本来は聖俗不分の如実なる世界に立ち返り、日常の大切さ、いのちの尊さに思い到ることをねらいとする。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、Ⅰ. 宗教学の基本的立場、Ⅱ. 原始時代の宗教、Ⅲ. 一宗教の諸相、多宗教の比較、Ⅳ. 諸宗教の構成要素一覧、Ⅴ. 聖なる母性の比較美術、Ⅵ. 仏陀とキリスト、後期は、Ⅶ. ゴロアスター教、ユダヤ教、キリスト教、イスラーム、シーク教、ヒンドゥー教、ジャイナ教、仏教、儒教、道教、神道の歴史・思想・文化について解説する。

履修上の留意点

講義を聴き、板書を写すにとどまらず、その過程で考えたことをノートに取り、独創性や文章力を養うのに役立てよう。

成績評価の方法

各自の創意工夫と知識の応用力を問う論述式の学年末試験、レポート、出席状況。

教科書

田中かの子著『比較宗教学—「いのち」の探求—』（北樹出版）2004年

その他

講義担当者の現地調査によるスライドと録音テープを活用する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
宗 教 学 (3) 〔思想と儀礼〕	小 川 順 敬	法A・政治・法B選	4

講義のねらい

人間の“宗教行動”を理解することはなかなか困難な作業です。目に見えぬものに語りかけたり、その声に耳をそばだてたり、時としてその声を代弁したりすることを一体どのように分かれれば良いと言うのでしょうか。祈りやお告げといった“宗教行動”は、信仰を持たぬものにとっては全く理解不可能な事なののでしょうか。宗教学は、そういった行動を信仰者の立場からではなく、“人間の行動”として、その背後の考え方を探ることによって理解しようと努めてきました。

この講義では、宗教学の立場から儀礼（宗教行動）とその思想について考えていこうと思います。一見、不可解な行動に見えても、その背後の思想を知ることによって、宗教行動の意味をいささかでも理解する端緒が開かれるはずです。

講義の内容・授業スケジュール

まず最初に、宗教学の基本的な考え方や方法論、いくつかの基本概念などを具体事例にそって概説、紹介します。この際、儀礼に関する議論や理論を、宗教学や宗教人類学、あるいはもう少し広く社会科学や人文学の中から紹介する予定です。ついで、様々な儀礼の諸相を具体例をあげて紹介し、その事例の検討を通して、思想や世界観、神話との関係について考えてゆくことにしたいと考えています。

成績評価の方法

評価はレポートと年度末の筆記試験により行います。夏期休暇前にレポート課題を出します。成績評価の具体的な方法、年度末試験の方針、レポートの内容、出席等は最初の授業で詳しく説明します。

教科書

未定。授業開始後、紹介します。

参考書等

講義の内容に関連する参考書は適宜紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
宗 教 学 (4) 〔組織と運動〕	あらい けん 洗 建	法A・政治・法B選	4

講義のねらい

宗教学は、宗教現象の実証的研究を通じて宗教の客観的理解を目指す学問である。宗教現象は、文化、社会、個人の人格などの各次元にわたって展開するが、この講義では宗教の社会的展開を中心に考察する。宗教は個人の内面において、単なる知識としてではなく、情意的にも真実として把握された世界認識である。しかし、それはまったく個人的な信念にとどまるものではなく、多くの人々に共有された文化として存在する。そして宗教を共有する人々は、集団を作り、共に礼拝その他の宗教的実践をするのが一般的である。そこに社会現象としての宗教の問題が生じる。社会現象としての宗教には、どのような集団が形成されるのかという、集団内部の組織の問題と、宗教集団の活動が、外部の一般社会とどのような関係を生じるのかという宗教運動の問題とがある。これらの問題を事実面に即して考察し、宗教現象の理解を目指したい。

講義の内容・授業スケジュール

わが国の宗教伝統を形成する神道、仏教、儒教など、なかでもその基層をなしている神道的なるものが、わが国の社会や文化の形成に、いかにかかわっているのかを考察したい。

履修上の留意点

受講者の人数にもよるが、事実を覚えることより、問題を理解し共に考えることを目指したいと思っているので、とにかく出席して受講して貰いたい。原則として出席をとる。

成績評価の方法

定期試験と、出席点を総合評価する。

教科書

特に指定しない。

参考書等

随時、紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
人 文 地 理 学 (1) 〔風土と文化〕	たけ ばやし かず ひこ 竹 林 和 彦	法A・政治選	4

講義のねらい

人文地理学の基本的概念や思考対象について、具体的な事例を取り上げながら検討してゆく。特に本講義のサブテーマである「風土と文化」について、文化地理学的アプローチを紹介しながら検討していく。講義でアジアを主に取り上げていくが、適宜ヨーロッパ・アメリカ等の地域と比較検討する。講義は、スライドやOHP等を使用し、事例として取り上げる地域を具体的にイメージできるように進める。

講義の内容・授業スケジュール

- | | |
|-------------------------|-------------------|
| 1. ガイダンス | 10. 文化景観 |
| 2. 人文地理学の学問的性格 | 11. 文化伝播 |
| 3. 人文地理学の基本概念 | 12. 東南アジアの風土と文化 |
| 4. 人文地理学の思考対象とその方法 | 13. 東アジアの風土と文化 |
| 5. 人文地理学と地誌学 | 14. 市場の風景 |
| 6. 地理学にとって文化とは何か？ | 15. 都市での居住（都市の文化） |
| 7. 地域とは（地域の概念） | 16. 都市と農村 |
| 8. 文化地域 | 17. まとめ |
| 9. 文化生態～主に人間と自然環境のかかわり～ | |

履修上の留意点

授業には必ず地図帳（中学・高校で使用したものでもよい）を持参すること。

成績評価の方法

定期試験80%、平常点20%

教科書

特に指定しない。必要に応じて講義中に指示する。

参考書等

特になし。必要に応じて講義中にプリントにて配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
人文地理学 (2) 〔風土と文化〕	たか はし けんたろう 高橋 健太郎	法A・政治選	4

講義のねらい

人々の世界観や価値観、生活様式といった文化的側面と、地域社会の特徴や変容とを関連づけて考えるという、人文地理学の基本概念について理解を深める。

講義の内容・授業スケジュール

全体的には、自分の生活、または異文化について考える際に、空間的側面からの視点がいかに関与しているかということについて検討する。具体的には、講義内容として以下の項目を予定している。◇人文地理学の位置づけ、◇文化伝播、◇文化生態、◇文化景観、◇文化変容、◇大衆文化、◇基層文化、◇居住、◇観光開発、◇地図、◇地名、◇空間認知、◇地域イメージ。

履修上の留意点

講義内容についての理解の程度を把握するため、また一部を講義の資料として使用するため、頻繁に、教場にてレポートを作成し提出してもらう。

成績評価の方法

教場レポートの内容 (30%) と定期試験の結果 (70%) で採点する。

教科書

使用しない。授業時にプリントを配布する。

参考書等

高校で使用した地図帳を持参のこと。その他、参考書については、適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
人文地理学 (3) 〔空間と行動〕	やまぐち たろう 山口太郎	法A・政治選	4

講義のねらい

都市を歩くことによって都市を体験し、都市への批判的なまなざしを養うことを目的とする。本講義は、受講生の都市でのフィールドワークに対し、地理学的な切り口を提示していく。前期はまち歩きをするための準備という位置付けで、東京に関する地理的知識と先達の都市観察・記述を紹介する。渋谷、原宿、新宿、田園調布など、東京のさまざまな場所を事例に進めていく。後期は都市に関する諸理論・さまざまなテーマ別に、都市を批判的に見つめるまなざしを養う。

講義の内容・授業スケジュール

- (前期)
- I 東京の自然史
 - II 東京の歴史社会地理
江戸から東京へ、モダニズム・大衆文化、高度経済成長、都市論ブーム、バブルの時代、郊外居住、都心回帰
 - III 先達による都市観察・記述
小田内通敏、今和次郎、陣内秀信、正井泰夫、路上観察学会、江波戸昭、川本三郎、泉麻人、石井實、奥田道大、ライフヒストリー
- (後期)
- IV 都市の中の差異
都市計画、時間地理学、認知地図
 - V 都市民の憂鬱
選好地図、まなざしの権力性、都市と故郷、都市の集団の風景
 - VI 商品としての都市
場所のイメージ、ディズニerland化、創られた伝統、住民参加のまちづくり

履修上の留意点

出席はとらないが、理解度や要望等を把握するため、不定期に小レポートを課することがある。

成績評価の方法

夏休みのレポートと後期試験で評価する。平常点も若干評価の対象とする。

教科書

前期に以下のテキストを使用する。
正井泰夫監修2003『図説歴史で読み解く東京の地理』（青春出版社）1,000円

参考書等

講義中に随時紹介していくが、さしあたり以下の文献を挙げておく。
エドワード、レルフ著（高野・神谷・岩瀬訳）『都市景観の20世紀』（筑摩書房）
田島則行・久野紀光・納村信之編『都市／建築フィールドワークメソッド』（INAX 出版）
若林幹夫『都市への／からの視線』（青弓社）

その他

講義は受講生のまち歩きを楽しくし、批判的なまなざしを身につけるための一助の場と位置付けたい。そのため、この1年間自発的にまち歩きをして欲しい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
人文地理学 (4) 〔空間と行動〕	伊藤 修一 <small>いとう しゅういち</small>	法A・政治選	4

講義のねらい

日常生活の中の多くの場面で、我々は個々の意思の基に行動しています。ところがその行動には規則性や一般性が認められることが少なくありません。特に、都市には多様な人々が活動しており、そこには都市のもつ特徴が大きく反映されていることは明らかです。ここでの目的は、次のような講義を通じて、都市や空間・距離がもつ意味をより深く理解することです。前期には、都市がどのように形成されて今日のように分布することとなったかについて、地理学ではどのように説明しているかを概説します。後期には、都市の形成や変化に不可欠な人口動態と移動の傾向を把握し、都市に関する既存の実証研究を紹介し、個人の行動と都市をめぐる理論との結びつきの理解をねらいます。

講義の内容・授業スケジュール

[前期] イントロダクション (1)、地図 (2)、都市の分布と立地 (3~7)、地域の結びつき (8・9)、都市の内部構造 (10)
[後期] 人口変動と分布・人口移動 (1・2)、都市の居住構造の形成過程とその変化-郊外化・再都市化 (3~8)、都市と余暇活動 (9)、都市空間における知覚と認知 (10)

履修上の留意点

講義では簡単な数式を用いることがありますので、高校数学や統計学などの知識を持っているとより理解が深まるでしょう。

成績評価の方法

原則として学年末の試験結果から評価しますが、出席状況も考慮する予定です。

教科書

講義では資料を随時配布します。

参考書等

坂本英夫・浜谷正人編『最近の地理学』(大明堂) 1985
富田和暁・藤井 正編『図説 大都市圏』(古今書院) 2001
なお、高校などで利用した地図帳を準備することが望ましいです。

その他

プロジェクターを用いて講義を行います。

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育の思想 (前期)	伊藤 茂樹 <small>いとう しげき</small>	法A・政治・法B2選	2

講義のねらい

私たちが今日知っている学校教育という営みは、近代という時代の到来とともに出現した制度であり、また近代社会を成り立たせる不可欠の制度でもある。この「公教育」のバックボーンとなった思想、歴史的経緯、その特色や社会的帰納について概観し、今日の教育やそれが直面する諸問題について考えるための手がかりを探索する。

講義の内容・授業スケジュール

とりあげるテーマ群として以下のようなことがらを予定している。
・近代社会と教育
・学校という場

履修上の留意点

自分が通ってきた学校やそこで受けてきた教育について、批判的に再考する姿勢を求める。

成績評価の方法

学期末試験により評価する。

教科書

教科書は特に指定せず、参考書はその都度指示する。

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。
この科目は、平成11年度までに「教育原理」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育の思想 (前期)	さかのぼのびあき 坂本信昭	法A・政治・法B2選	2

講義のねらい

民主主義的教育思想はルソー、ペスタロッチ、フレーベル、エレン・ケイ、デューイなど多くの思想家によって生み出され、継承されて今日に至り、教育思想と実践の面で多様な展開を示した。

20世紀の教育思想を生み出し、継承することに貢献した思想家たちの教育思想・教育目的を概観することを手初めに、次のようなテーマを取り上げて進める。

講義の内容・授業スケジュール

- ・教育の理想と目的
- ・わが国の教育目的の変遷
- ・現代・社会の変化と教育目的
- ・その他（大村はま、林竹二などから学ぶものは何か）

履修上の留意点

授業の出欠は厳密にとる。

成績評価の方法

課題レポート、自主レポート、試験、出席等により総合的に評価する。

教科書

西村絢子他著『現代教育を考える』（昭和堂）2,600円

参考書等

デューイ著『学校と社会』（岩波文庫）410円

林竹二・灰谷健次郎『教えることと学ぶこと』（小学館）460円

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

この科目は、平成11年度までに「教育原理」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育と社会 (後期)	いとうしげき 伊藤茂樹	法A・政治・法B2選	2

講義のねらい

学校教育という営みは社会のあり方や他の諸領域に広く影響されると同時に、社会に影響を及ぼす関係にある。また一方で、学校という場もひとつの社会を形成している。こうした観点から、現代社会における学校教育が直面している諸問題や、これからの時代に学校教育が向かおうとしている方向性について、多面的に考えていく。

講義の内容・授業スケジュール

- とりあげるテーマ群として以下のようなことがらを予定している。
- ・現代の教育問題
- ・教育改革の現在

履修上の留意点

ふだんから教育に関するニュースに気をつけ、自分なりに考えることを心がける。

成績評価の方法

学期末試験により評価する。

教科書

教科書は特に指定せず、参考書はその都度指示する。

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

この科目は、平成11年度までに「教育原理」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育と社会 (後期)	坂本信昭 <small>さかもと のぶ あき</small>	法A・政治・法B2選	2

講義のねらい

人間の社会に余暇をもつ少数の人々が生まれたときに学校は生まれた。いわば余暇とともに学校は生まれたのである。もし余暇がすべての人々のものとなると、それは、社会そのものが全体として学習と教育の場所、つまり学校になるときであるかも知れない。

講義の内容・授業スケジュール

- 講義で取り上げるテーマとしては、次のようなものを考えている。
- ・学校教育のあゆみ
 - ・学校の社会的機能
 - ・学校教育の現実と課題
 - ・その他(教師論集)

履修上の留意点

授業の出欠は厳密にとる。

成績評価の方法

課題レポート、自主レポート、試験、出席等により総合的に評価する。

教科書

西村絢子他著『現代教育を考える』(昭和堂)2,600円

参考書等

デューイ著『学校と社会』(岩波文庫)410円

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

科目名	担当者名	配当学科	単位
発達と学習の心理学 (前期)	大浜幾久子 <small>おおはま きくこ</small>	法A・政治・法B2選	2

講義のねらい

子どもが大人になる過程を20世紀の心理学は、どのようにとりあげ、また解明しようとしてきたのだろうか。他の諸学問分野が心理学の成立に果たしてきた役割にも言及しつつ、次のような基本的な問題をめぐる諸研究を学んでいく。

講義の内容・授業スケジュール

- 1) 発達と学習は、どのように定義され、また両者の関係はどのように説明されるのか。
- 2) 知能の発達と情意の発達は、どのような関係にあるのか。
- 3) 障害をも含む発達および学習における個人差を、どのようにとりあげ得るのか。

成績評価の方法

レポート提出を中心とした評価の予定である。

教科書

参考資料等については、必要に応じて準備、指示していく。

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程または社会教育主事講座に登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

この科目は、平成11年度までに「教育心理学(教育方法論を含む)」あるいは「青年心理学(教育方法論を含む)」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
発達と学習の心理学 (前期)	かわ だ みつ お 川 田 三 夫	法A・政治・法B2選	2

講義のねらい

- 1) 子供の成長・発達の概要を理解する。
- 2) 学習心理学の基本的な事項を理解する。
- 3) 発達に影響を与える広義の環境の問題について考える。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1) ガイダンス、発達や学習をめぐる現状と問題点
- 2) 発達や学習の理論、乳児期・幼児期の発達の特徴と留意点
- 3) 児童期の発達の特徴と留意点
- 4) 青年期の発達の特徴と留意点
- 5) 青年後期・成人期の発達の特徴と留意点
- 6) 人格の発達と問題点
- 7) 社会性の発達と問題点
- 8) 情緒や性意識の発達と問題点
- 9) 交友・対人関係の発達と問題点
- 10) 若者文化や社会風俗の歴史的変遷と現状の問題点
- 11) 青少年の非行等の問題行動
- 12) 人格障害、情緒障害、神経症的な問題行動等
- 13) 学校生活をめぐる諸問題
- 14) 試験

履修上の留意点

- 1) 教科書は指定せずレジメ、資料等を配布し講義を行う。
- 2) 板書を少なくして、学生自身がノートを取るようにさせている。
- 3) 日頃から努力して言葉や文章力を高めてほしいと思っている。

成績評価の方法

- 1) 学期末に定期試験を行う。
- 2) それ以外にも不定期に小試験（論述、レポート）を行うことがある。
- 3) 授業の際に口頭試問や提出物もあり、評価の際に考慮される。
- 4) 以上の合計得点で所定の基準に従い評価される。

教科書

「よくわかる発達と学習」（福村書店）2,400円

参考書等

参考文献は授業中に適宜紹介する。

その他

- 1) 授業の方法は講義が中心だが、毎回何らかの形でいろいろ質問される。
- 2) 現実を見聞しながら色々なことを考えてほしいと思っている。
- 3) この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程または社会教育主事講座に登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。
この科目は、平成11年度までに「教育心理学（教育方法論を含む）」あるいは「青年心理学（教育方法論を含む）」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
発達と学習の心理学 (前期)	やまもとまさと 山本政人	法A・政治・法B2選	2

講義のねらい

児童・生徒の発達と学習のメカニズム、およびそれらへの援助、指導のあり方について、教育心理学の見地から概説する。

講義の内容・
授業スケジュール

- | | |
|---------|-----------|
| ①発達とは何か | ⑥学習理論 |
| ②発達の要因 | ⑦学習の要因 |
| ③発達理論 | ⑧発達と学習 |
| ④人格発達 | ⑨発達と教育 |
| ⑤認知発達 | ⑩発達・学習と臨床 |

履修上の留意点

不定期に小レポートを課すことがある。

成績評価の方法

学期末試験の成績に小レポートの成績を加味して行う。

その他

講義形式で行う。教科書は指定しない。参考書は授業で紹介する。授業で資料を配布することがある。

この科目は、平成11年度までに「教育心理学（教育方法論を含む）」あるいは「青年心理学（教育方法論を含む）」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
カリキュラムと学習 (後期)	おおはまきくこ 大浜幾久子	法A・政治・法B2選	2

講義のねらい

はじめに、学生自身が学んできた小学校、中学校、高等学校における教育課程がどのように編成されていたのかを、当該の学習指導要領により考える。次に、現行の新しい教育課程を学び、その背景にある基本的考え方について考察していく。とくに教科・科目等の具体的内容の削減や再編については、子どもの発達と学習の観点からの考察を深めたい。さらに、諸外国における学習課程の歴史や編成原理について、異文化間教育学的な観点から検討を試みる。その際、潜在的カリキュラムにも注目することとする。

成績評価の方法

レポート提出を中心とした評価の予定である。

参考書等

『(小学校・中学校・高等学校) 学習指導要領』文部科学省
その他の参考資料については、必要に応じて準備、指示していく。

その他

前期に、「発達と学習の心理学」を履修することを原則とします。
この科目は、平成11年度以前入学者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
カリキュラムと学習 (後期)	かわだみつお夫 川 田 三 夫	法A・政治・法B 2選	2

講義のねらい

- 1) 教授－学習過程に関わる基本的な事項を学習する。
- 2) 教育目標、教育課程を中心に学習活動の効果的な展開について考える。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1) ガイダンス、発達と学習（教育）をめぐる現状と問題点
- 2) 発達と学習
- 3) 学習理論の基本と応用
- 4) 教育学・教育心理学の基本と応用
- 5) 教育理論や方法の歴史的変遷、現状と課題
- 6) 教育目標
- 7) 教育課程（学校教育の基本について）
- 8) 教授－学習過程（学習指導、学級集団、生徒指導）
- 9) 教育評価の歴史的変遷、現状と課題
- 10) 学習指導要領（改訂の歴史、『学校教育法』、『学校教育法施行規則』等）
- 11) 総合的学習、職業教育、生涯学習、障害児教育
- 12) 学校、教師、生徒の諸問題（授業時間、教科書、教科書検定、等）
- 13) その他（教員養成、教員採用の問題、教育制度・教育行政等の問題、等）
- 14) 試験

履修上の留意点

- 1) 教科書は指定せずレジメ、資料等を配布し講義を行う。
- 2) 板書を少なくして、学生自身がノートを取るようになっている。
- 3) 日頃から努力して言葉や文章力を高めてほしいと思っている。

成績評価の方法

- 1) 学期末に定期試験を行う。
- 2) それ以外にも不定期に小試験（論述、レポート）を行うことがある。
- 3) 授業の際に口頭試問や提出物もあり、評価の際に考慮される。
- 4) 以上の合計得点で所定の基準に従い評価される。

教科書

『よくわかる発達と学習』（福村書店）2,400円

参考書等

参考文献は授業中に適宜紹介する。

その他

- 1) 授業の方法は講義が中心だが、毎回何らかの形でいろいろ質問される。
- 2) 現実を見聞しながら色々なことを考えてほしいと思っている。
前期に、「発達と学習の心理学」を履修することを原則とします。この科目は、平成11年度以前入学者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
カリキュラムと学習	なつ ぼり 夏 堀 ちか 睦	法A・政治・法B2選	2

講義のねらい 今日、教育実践のなかで相対評価から絶対評価への移行や総合学習の導入に伴い、教育評価の問題が重要となってきています。教育心理学の領域では、これまでにさまざまなテスト開発や教育実践の分析を通じて、教育評価の問題にアプローチがなされてきました。

この講義では、過去の教育評価の知見を紹介するとともに、児童期の発達の特徴と重ね合わせながら、子どもの教育評価の問題を考えていきます。そして、児童への評価の方法とともに、授業分析および授業評価の方法、教師の自己評価の問題も取りあげます。具体的には、まず児童期の発達の特徴をさまざまな発達理論から概観します。第二に、形成的評価、到達度評価等これまでの教育評価の方法と問題点、また評価の心理的影響についての知見を紹介します。第三に、授業分析と授業評価に関する方法論と教師の自己評価について、さまざまな研究から得られた知見を紹介します。最後に、最近創造活動に関わる分野で注目されているポートフォリオ評価の内容と実践例について検討します。

講義の内容・授業スケジュール ①児童期の発達の特徴と評価内容 ②児童と学校文化 ③評価の心理的影響 ④教育評価の方法論 ⑤ポートフォリオ評価の内容 ⑥ポートフォリオ評価に基づく実践

履修上の留意点 実践案を考えてもらう課題を出します。書籍、雑誌、テレビ等で具体的な教育実践が紹介されていると思いますので、積極的に実践例を収集しておいてください。

成績評価の方法 出席点、レポートによる総合評価。

教科書 特に指定しません。

参考書等 梶田毅一『教育評価【第2版補訂版】』（有斐閣双書）
B. D. シャクリー/N. バーバー/R. アンブローズ/S. ハンズフォード著 田中耕治監訳
『ポートフォリオをデザインする—教育評価への新しい挑戦—』（ミネルヴァ書房）

その他 パワーポイントを使い、講義形式で行います。

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会学 〔現代社会を考える〕	かな ざわ とも ひろ 金 澤 朋 広	法A・政治・法B選	4

講義のねらい 現代社会と文化についていくつかの事例を扱いながら、社会学における基本的な考え方に対する理解を深めることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール 医療・福祉・組織・情報などの分野で「現代社会」を取り巻く状況を、「社会学」というフィルターを通して考えていく。社会学の基本的な考え方を学びながら、これまでとは違ったもの見方を身につけられるようにしていく。

成績評価の方法 講義の中で扱った内容について学年末に行う試験によって評価する。

教科書 開講時に指定。

参考書等 講義時に指定。

科目名	担当者名	配当学科	単位
統計学 〔社会現象の統計的決定〕	しんぎょうち こうじ 新行内 康 慈	法A・政治・法B選	4

講義のねらい

統計学は、観測値からその源泉の特徴や傾向を明らかにして結論を引き出す方法であり、経営、経済をはじめとする社会現象の解析や意思決定など幅広い分野で活用されています。本講義は、統計学の入門としてその基本的な考え方と諸手法を現実の問題を引用しながら平易に解説することをねらいとしています。

講義の内容・
授業スケジュール

- (前期) (1)統計学の概要 (2)度数分布表とヒストグラム (3)基本統計量
(4)確率の定義 (5)場合の数 (6)和事象・積事象の確率
(7)演習 (8)確率変数と確率分布 (9)平均・分散と期待値
(10)確率変数と標準化 (11)正規分布表問題 (12)演習 (13)まとめ
- (後期) (14)母集団と標本 (15)点推定と区間推定
(16・17)正規母集団の区間推定 (18)仮説検定
(19・20)正規母集団の検定 (21)推定・検定の応用 (22)演習
(23)散布図と相関係数 (24)回帰分析 (25)回帰分析の応用
(26)まとめ

履修上の留意点

統計学は積み重ねが要求される分野です。継続して講義に出席し、一步一步確実に理解していくことが大切です。

成績評価の方法

3回の演習と期末試験を総合的に評価します。

教科書

テキストは使用しません。必要に応じて適時資料を配布します。

参考書等

適時指定します。

その他

配布資料に基づいて例題を交えて講義し、さらに理解を深めて実際に活用できるようにするために課題演習を実施します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
文化人類学 〔文化と人間〕	ふじ さき やす ひこ 藤 崎 康 彦	法A・政治・法B選	4

講義のねらい

文化人類学の基本的な考え方や知識を身につけることを目的とする。文化とは分類であること、文化とはコミュニケーションであることを基本的な視点として設定し、現象を整理してゆく。他者への関心から始まった文化人類学は自己の認識に役に立って、初めて意味がある。現代に生きるわれわれの人間観、文化観を各自がもてるように努力したい。

講義の内容・授業スケジュール

年間の授業内容を大きく前期と後期に分ける。前期は親族や婚姻などの社会構造、後期は妖術や呪術などの信念体系を考える。

前期

1回 導入、2回 親族と人の分類、3回 キンドレッド、4回5回 単系出自集団、6回婚姻とその多様性 7回 婚姻連帯理論、8回 インセスタブーとエディプスコンプレックス、9回 擬制的親子関係、10回 性と年齢に基づく集団、11回 文化とジェンダー、12まとめ、13予備

後期

1回 導入、2回 文化とコミュニケーション、3回4回5回 妖術、6回7回8回 呪術、9回10回11回 シャーマニズム、12まとめ、13予備

履修上の留意点

静粛に、礼儀正しく授業を受けていただきたい。授業中携帯電話などの電子音が鳴った場合、その場で授業をうち切る。また、参考文献を紹介するので自主的な学修に役立てていただきたい。

成績評価の方法

前期、後期末の授業時試験（もしくは定期試験）と、授業時のミニテスト、ミニレポート、出席点などの総合評価

教科書

未定

参考書等

トピックごとの参考文献は、授業中に紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
文化人類学 〔諸民族とコスモロジー〕	すず き いっ けい 鈴 木 一 馨	法A・政治・法B選	4

講義のねらい

文化人類学は、人類の特徴的な活動とその表現である「文化」というものを、さまざまな方向から検討して「人類とはなにか」を問う学問である。これを学ぶことは、多様な文化を理解する術を得るばかりではなく、自己の存在意義を問うことにもつながる。

この講義では、前期にまず「文化」とそれを研究する「文化人類学」、また文化の共通性を帯びる「民族」について基礎的な知識を得た上で、コスモロジーとはどのようなものを学ぶ。この基礎に立って、後期には、コスモロジーの具体的事例として「風水」の文化現象としてのあり方と、それが人類にとってどのような意味を持つのかを学んでいくことにする。

講義の内容・授業スケジュール

- (前期) 第1部、「文化人類学」の基礎的知識
(1~3)「文化」と「文化人類学」 (4~5)「民族」とはなにか
第2部、民族とコスモロジー
(6~7)「コスモロジー」とはなにか (8~12)さまざまなコスモロジー
- (後期) 第3部、「風水」のコスモロジーとひとびと
(13~20)風水をつくる要素 (21~24)風水と人間社会

履修上の留意点

学生諸君が授業中の質問に答えたり、レポート提出などで見せる積極的な姿勢、そして社会予備軍としての常識性を重視する。なお、復習をきちんとしないといけない。行けない。

成績評価の方法

出欠状況・期末試験・小テスト・受講態度など、評価につながるものは全て考慮する。

参考書等

- 祖父江孝男『文化人類学入門（増補改訂版）』（中公新書560）800円
国立歴史民俗博物館編『異界談義』（角川書店）1,400円
鈴木一馨『陰陽道—呪術と鬼神の世界—』（講談社選書メチエ244）1,500円

科目名	担当者名	配当学科	単位
法学・憲法 〔法と国家〕	佐藤多美夫	法A・政治・法B選	4

講義のねらい

私たちは、社会の中で生活しているが、それは現代法の中で活動していることでもある。社会の仕組みや働きは、憲法を中心として刑法・民法・商法・労働法・経済法・行政法などの法によって規律されている。この講義は、政治・裁判・市民生活・経済・文化などの分野における現代法の原理や仕組みを把握しようと思う。私たちは法によって規律されているが、また、法を利用し法を制定・改廃するのも私たちである。この講義が、このような現代法の実態と諸問題を理解するために役立てればと考えている。

講義の内容・授業スケジュール

- I 現代法の特徴
 - 1. 法とは何か 2. 近代法の原理と展開 3. 明治憲法から日本国憲法へ
 - 4. 現代資本主義と法
- II 政治機構と法
 - 5. 国民主権と政治権力 6. 民主的統治の機構 7. 権力分立の原理 8. 地方自治の保障
 - 9. 政治からの自由 10. 政治への参加 11. 政治機構と政党 12. 国際政治と国際法
 - 13. 国際政治と人権
- III 裁判と法
 - 14. 裁判の機能 15. 刑事裁判の原則 16. 民事裁判の原則 17. 行政訴訟と不服審査
 - 18. 憲法訴訟の問題 19. 法と判例
- IV 生活と法
 - 20. 市民生活と法 21. 財産法の原則 22. 個人と法人 23. 家族法 24. 夫婦・親子・扶養
 - 25. 相続と法 26. 公安条例と集団行動の自由 27. 検閲と表現の自由 28. 刑事手続と人権
 - 29. 生存と人権 30. 市民法から社会法へ

履修上の留意点

ノートを作成することが望ましい。

成績評価の方法

筆記試験と出席の総合評価とする。

教科書

開講時に指示します。(欠席しないように)

参考書等

『ポケット六法』(有斐閣)

科目名	担当者名	配当学科	単 位
法 学 ・ 憲 法 〔法と国家〕	お だ て る こ 織 田 晃 子	法A・政治・法B選	4

講義のねらい

法とは何かに始まり、日本国憲法と人権、法と国家について判例を多く使って講義する。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 法とは何か
 - (1) 法と道徳
 - (2) 法の解釈
- 2 日本国憲法と人権
 - (1) 人権の主体
 - (2) 私法関係と人権
 - (3) 生命・自由および幸福追求権
 - (4) 法の下での平等
 - (5) 精神的自由権
 - (6) 居住・移転・外国移住・国籍離脱の自由
 - (7) 経済的自由権
 - (8) 社会権
 - (9) 人身の自由・裁判手続の保障
 - (10) 新しい人権
- 3 法と国家
 - (1) 日本における近代憲法の成立
 - (2) 日本国憲法の統治原理
 - (3) 司法権とその限界
 - (4) 平和主義と戦争の放棄

履修上の留意点

授業にはポケットサイズのもので十分であるが、六法を忘れないように持参し、講義中に条文がでてきたらそのつど面倒でも指摘された条文を見ること。

成績評価の方法

期末試験の成績による。再試験実施。

教 科 書

開講時に指示する。

参 考 書 等

『コンパクト六法』（岩波）
最近の判例を重視するため、プリントの配布が多くなる。

科目名	担当者名	配当学科	単位
法学・憲法 〔法と権利〕(夏季集中)	ふじもと しげる 藤本 茂	全学科選	4

講義のねらい

本講義は、法についての基礎的事項の学習や新聞などによる身近な法的問題の解説を通して、以下のことを学んでもらうことを目的としている。

- ・高校までの学習法とは違う、法学の学び方にふれてもらう。
- ・法学や法を学ぶうえで必要な基礎知識を身につけてもらう。
- ・我々と法との関わりを現代的問題を手がかりに学んでもらう。

講義の内容・授業スケジュール

できるだけ具体的な問題・事例にふれながら、法に触れて感じてもらうことにつとめたいと思う。教科書を順次説明するという形式はとらない。もっぱら、プリントを配布するなどして授業を進める。

出席することが重要になる。

講義スケジュールについては、

- ・法的思考を形成する基本的な諸概念
- ・現代法にいたる法の発展（西欧近代法の形成をふくむ）の概観
- ・近現代法の原理の概観。特に憲法の諸原理
- ・基本的人権
- ・現代社会問題に対する法的視角からの検討 などなど

なお、これは予定であり、講義開始時にあらためて伝える。また受講者の反応に応じて、変更することがある。

履修上の留意点

講義中、質問は歓迎。私語はNO、携帯電話はOFF、内職はNO、用なく席を立つのはNOなど、授業でのマナー厳守のこと。

成績評価の方法

記述式試験。また、出席を重視する。レポート等を実施することもある。これらを総合して評価する。

教科書

伊藤正巳・加藤一郎編『新版現代法学入門』（有斐閣双書）。学習の道しるべとして大いに活用してもらいたい。また、講義で言及できない部分を教科書の記述に委ねることがある。そうした場合は口頭、板書で触れなかったことがらでも試験の範囲となりうると考えて欲しい。

参考書等

参考書として、たとえば、道垣内正人『自分で考えるちょっと違った法学入門』（有斐閣）、渡辺洋三『法とは何か』（岩波新書）。その他授業で、読んでほしい文献を紹介する。

その他

六法は、毎回は使わないが、持参して授業に臨んでほしい。
授業日程

前半		1	2	3	4	5	後半		1	2	3	4	5
8月2日	月	○	○	○	○	○	8月20日	金					
8月3日	火	○	○	○	○	○	8月23日	月					
8月4日	水	○	○	○	○	○	8月24日	火					
8月5日	木	○	○	○	○	○	8月25日	水					
8月6日	金	○	○	○	○	○	8月26日	木					
8月9日	月	○	○	○	○	○	8月27日	金					

科目名	担当者名	配当学科	単位
政治学 〔社会生活とデモクラシー〕	大山礼子	法A・法B選	4

講義のねらい

この講義の目的は、一人一人が良き有権者として、選挙での投票をはじめとするさまざまな機会に政治と適切に関わっていくための基礎づくりにある。政治学の基本的な知識を身につけることによって、マスメディアの政治報道を鵜呑みにせず、自分自身で考える力を養っていたきたい。

1年間をとおして受講すれば、テレビや新聞の政治関連ニュースが面白くなるはずである。

講義の内容・授業スケジュール

基本的には教科書の順序にしたがって2回で1章を読むペースで講義を進めるが、そのときどきの時事的な問題も扱う。わかりやすい教科書なので、必ず事前に一読し、予習しておくこと。また、一方的に講義を聴くだけでなく、毎回、感想や簡単なレポートなどの提出を求めるので、積極的な参加を期待する。

主な講義内容は次のとおり。1) 政策決定、2) 規制緩和、3) 企業と政治、4) 選挙、5) 地方分権、6) マスメディア、7) 国会、8) 内閣と首相、9) 官僚、10) 国際政治。

履修上の留意点

新聞の政治面に目をとおす習慣をつけること。

成績評価の方法

受講者の人数にもよるが、定期試験は行わず、レポートや小テストの結果、質問・感想票の提出状況によって評価する予定である。

教科書

真淵勝、久米郁男、北山俊哉『はじめて出会う政治学（新版）』（有斐閣アルマ）2003年

科目名	担当者名	配当学科	単位
経済学 〔現代経済と人間〕	瀬戸岡 紘	法A・政治・法B選	4

講義のねらい

現代経済のしくみを概観し、現代経済の諸現象を生きた人間の目をとおしてながめてみます。

講義の内容・授業スケジュール

講義内容として以下を予定していますが、受講者の希望により随時追加・割愛します。
《前期》経済学をつくった人たちとその理論の概観：◇アダム・スミスと古典学派、◇フリードリッヒ・リストと歴史学派の系譜、◇カール・マルクスとマルクス経済学、◇限界革命をおこした人たちとヴィーン学派、◇アルフレッド・マーシャルとケンブリッジの学風、◇ケインズとケインズ革命、◇近年の主要な経済学派

《後期》現代経済の基本的なしくみ：◇資本主義経済のしくみ、◇資本主義の前史、◇等価交換のもとで利潤はなぜ生まれるか、◇なぜ違う先進国と後進国の価格差、◇景気循環のメカニズム、◇適度な規制かそれとも自由と規制緩和か、◇いつおこってもおかしくない国際金融恐慌、◇大量生産・大量販売・大量消費・大量廃棄の経済、◇働きすぎの構図、◇人間の目をとおして現代経済をながめる、など

履修上の留意点

原則として1回ごとに独立したひとつのテーマをとりあげます。毎回の講義では、まずテーマに即した最新のニュースを話題にするところから話を始め、ついでそれぞれのテーマを理解するための基礎的な事実とキーワードを具体的な資料やデータにもとづいて解説します。

成績評価の方法

年間をとおして随時、受講者のみなさんに小論を書いてもらい、それをもって成績評価をします。この平常点重視のたてまえから、一発勝負の年度末試験は、受講者の強い要望がないかぎり実施しない方向です。また、この成績評価のたてまえから、再試験も実施いたしません。

教科書

最新の情報をもとに講義をすすめます。だから特定の教科書は使用しません。日々のニュースとみなさんの周囲にあるさまざまな文献の全体が、いわばテキストです。

参考書等

よい文献などの紹介は随時します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会科学論 〔社会認識の思想〕	おおいし ゆうじ 大石雄爾	法A・政治・法B選	4

講義のねらい

私たちをとりまく社会はめまぐるしく変化しています。日本はいまだに「複合不況」とよばれる深刻な経済スランプから抜け出せていません。近年、危機に見まわれたアジア諸国の人々も、貧困にあえいでいるばかりか、好調に推移してきたアメリカ経済も大きくゆらいでいます。また、世界中の国々が協力して地球環境破壊を防止しようと前向きな姿勢を示しているときに、他方では、中東などの地域には戦闘の火だねが残っているのです。こうした問題を私たちはどのように扱えばよいのでしょうか。

人々は、人種や信条のちがいを問わず、より豊かに、より自由に、より安全に生活できることを願っています。社会科学は、社会の仕組みと法則性を明らかにすることを通して、こうした人類の願いに応える道を探ることを課題としています。

社会科学は、17世紀におけるイギリス資本主義経済の発展とともに芽生え、19世紀、機械制大工業の確立とともに体系的なものへと発展してきました。社会の変化とともに、社会を支配する法則の認識も発展してきたのです。

この講義では、資本主義の経済とそこにおける法や国家の仕組みに焦点をあてて、社会的諸関係を把握する方法について考えてゆきます。とくに、社会科学の前進にとって重要な意味をもった社会学者・思想家の社会観および思想をとり上げ、現代的な意味について考えます。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 思考する楽しみ
2. 社会科学とは何か
3. 社会の歴史的発展と社会思想
4. 社会科学の生誕：ホブズとロック
5. 資本主義経済の把握：スミスとリスト
6. 資本主義の経済と国家：マルクスとウェーバー
7. 現代資本主義の捉え方：レーニン・ケインズ・ガルブレイス
8. 現代社会の思想的諸潮流

なお、現代社会の時事的な諸問題についても時折とり上げ、解説してみるつもりです。

履修上の留意点

講義を聴きながらノートをとるという作業を1年間続けることによって、皆さんの理解力、書写能力も飛躍的に高まります。講義には、毎回欠かさず出席することを望みます。

成績評価の方法

授業中に小レポートを作成してもらうことがあります。成績は、この小レポートと後期に行なわれる定期試験の点数の合計点で評価します。再試験は実施しません。

教科書

特に指定しない。

参考書等

高嶋善哉『社会科学入門』（岩波新書）
 平野喜一郎『社会科学の生誕』（大月書店）
 城塚登編著『社会思想史の構図』（八千代出版）
 大石雄爾『商品の価値と価格』（創風社）

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育学 〔デス・エデュケーション〕	やなぎ ぼり すがこ 柳 堀 素雅子	法A・政治選	4

講義のねらい

死の問題をさまざまな視点から考えていく。病気による死、殺人による死、事故による死、戦争による死、自殺死など死の原因はさまざまである。いずれにしても「人間の死」には変わらないが、死んでいく本人、そして遺族をはじめとする周囲の人々に与える影響は異なってくる。

現在のところ「デス・エデュケーション」あるいは「死生学」という形で、これらを総合的に取り扱っている文献はほとんど見あたらないが、講義の中ではこれらの死を総合的に取り扱う予定である。あらゆる分野、多くのパースペクティブを必要とする内容なので、読書力、思考力、創造力、分析力などを働かせて、真剣に取り組んでもらいたい。人間の死を考えるには、それだけの人格を備えている必要があります。

講義の内容・授業スケジュール

- ①先端医療と死の問題—生命倫理の視点から取り扱う。医療の進歩と患者の人権。
 - ②戦争と死の問題—平和とは何か。核と人類。ヒロシマ、ナガサキ、沖縄、アウシュヴィッツ
 - ③環境倫理と死の問題—水俣病と公害問題。レイチェル・カーソンの警告。環境ホルモン。遺伝子組み換え食品の問題等。
 - ④自殺と死の問題—自殺者の心理と自殺防止の問題。遺族の気持ちとグリーフケア
 - ⑤犯罪事件と死の問題—犯罪者の分析。犯罪被害者および遺族のケア、犯罪防止の問題。
- ①～⑤のテーマをすべて取り扱うとは限らないが、講義のはじめに参加者と協議の上決めていく。

履修上の留意点

授業中に何回もレポートを提出してもらうので、講義に出席する意欲のない人は履修しないほしい。

成績評価の方法

レポートの提出状況と出席状況など総合的に評価する。

参考書等

講義中にその都度お知らせします。

その他

ビデオ、OHPも使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育心理 〔大学生の心理・教育臨床心理学の立場から〕	野中弘敏 <small>の なか ひろ とし</small>	法A・政治選	4

講義のねらい

「心の健康」なる言葉を耳にすることがありますが、人がいろいろな意味でできる限り「豊かに」生きていこうとするのはなかなか大変なことのようです。そして様々ないきさつから、人が「心のつまずき」を経験することも少なからずあるようですし、それぞれ生い立ちや出会った人々、とりまく環境も様々な人間の「心を理解する」といっても、それについてただ一つの公式があるというわけでもなさそうです。

「心理学」と一口に言っても、人間の心の作用や行動などに関して、焦点を当てる領域や研究方法はきわめて多岐にわたっています。この講義では、主に臨床心理学の立場から、「心のつまずき」に対する広い意味での「心理臨床的援助」の実際と、そのような援助の手がかりとなる基本的な考え方を紹介したいと思います。また、心理臨床的援助の実際のありようを通じて、人のこころや他者との関係の構造・成り立ち・はたらきについて、これまでの理論でどのような仮説が与えられてきたか、などをお話しできればと思います。

講義の中で紹介する理論や話題を、自分の体験や身の回りで触れる出来事などについて考えてみるきっかけに生かしてもらえたら幸いです。

講義の内容・
授業スケジュール

おおむね以下のトピックをとりあげる予定です。

- ・「心理的異常」の考え方をめぐって
- ・人間の心理－社会的発達
- ・人格の構造と機能
- ・心理臨床的アセスメント（心理検査など）
- ・心理療法の基本的考え方
- ・さまざまな心理臨床現場での実際

成績評価の方法

夏休み（前）のレポートと年度末の試験（持込不可）とを併せて考慮します。

参考書等

一読をお勧めしたい文献などは、その都度の講義の中で紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
生物学 〔生態と進化〕	しみず よしかず 清水 善和	法A・政治・法B選	4

講義のねらい

地球上の生物はすべて約40億年前に誕生した始原生物に端を発し、その後に関連と続いた進化の産物である。どの生物も進化の遺産を背負って存在しており、進化を抜きにして生物を理解することはできない。また、この地球上には現在1000万種以上の生物が存在していると推定されている。肉眼では見えないバクテリアから体長20mを超すシロナガスクジラまでさまざまな形、大きさの生物が熱帯から極地、高山から深海まで地球上のあらゆる場所にいて独自の生活を築いている。そして、これらの生物は孤立して存在するのではなく、互いに密接な関係を保ちながら地球上にさまざまな生態系を形成している。この多様、複雑な姿が生物のもう一つの特徴である。一方、生命の基本的な情報を担う分子である遺伝子の研究が進んで、あらゆる生命現象を遺伝子レベルで統一的に理解することも可能になってきた。そこで、本講義では生物の進化、多様性、遺伝子を3つのキーワードにして、生物の分類や生態の実際を体系的に捉えるとともに、生物の進化や多様性の維持に関するメカニズムについて解説する。

講義の内容・授業スケジュール

- 第1章 遺伝子と進化－我ら生物みな兄弟
 - (1) 生命の歴史性 (2) 遺伝子と生命現象 (3) 進化のメカニズム
- 第2章 40億年の生物進化－偶然と必然が織りなす奇跡
 - (1) 地質年代図 (2) マーグリスの共生説 (3) カンブリアの爆発 (4) 大量絶滅
 - (5) 生物の上陸
- 第3章 系統と分類－名もなき雑草はない
 - (1) リンネ式分類体系 (2) 生物五界説 (3) 種の定義と属性 (4) 分子時計
 - (5) 動物と植物の系統
- 第4章 行動と進化－生き物は誰がために生きるか
 - (1) 動物行動学の歩み (2) 適応度とゲーム理論 (3) 性選択と性比
 - (4) 利他的行動と血縁淘汰 (5) 利己的遺伝子
- 第5章 個体群生態学－産めよ殖えよ地に満てよ
 - (1) 潜在的な増殖率 (2) 密度効果とr-K戦略 (3) 食う・食われる関係
 - (4) 生命表
- 第6章 共生と競争－出し抜きながら深い仲
 - (1) 種間関係(共生と寄生) (2) 花と昆虫の共進化 (3) 菌根 (4) 擬態
- 第7章 人類の進化－ヒトは唯一の生き残り
 - (1) 霊長類の系統 (2) ヒトの発展段階 (3) ホミニゼーション(ヒト化)
 - (4) 人体の特徴
- 第8章 進化論－進化論も進化する
 - (1) ダーウィン以前 (2) ダーウィン進化論 (3) ネオ・ダーウィニズム
 - (4) 進化論批判
- 第9章 生態系－命は無数のつながりの中で
 - (1) 生態系(エコ・システム) (2) 食物連鎖と生物濃縮 (3) 光合成と呼吸
 - (4) 生産諸量
- 第10章 物質の循環－元素はめぐるよどこまでも
 - (1) 物質循環の大原則 (2) 水の循環 (3) 炭素の循環 (4) 窒素の循環
 - (5) 地球環境の形成
- 第11章 植生遷移－裸地もいずれは森林に
 - (1) 遷移のモデル (2) 遷移の実例 (3) 森林の更新
- 第12章 生物多様性－多様な世界に未来あり
 - (1) 3つの多様性 (2) 多様性の尺度 (3) 生物地理区と植生帯 (4) 多様性の危機
- 第13章 人為と生物－生物界のグローバルゼーション
 - (1) 里山の生物 (2) 都市と生物 (3) 帰化種の侵入

成績評価の方法

レポート、試験、出席を勘案して評価する。

教科書

受講者には清水が執筆したweb版教科書(無料ダウンロード可)を紹介する。

参考書等

適宜紹介する。

その他

必要な図表は適宜プリントにして配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
地 球 科 学 〔変動帯としての日本列島〕	ふじ い すずむ 藤 井 享	法A・政治・法B選	4

講義のねらい

地球科学は、地形、岩石、地質、火山、地震、重力など地球に関するさまざまな現象を研究する分野であるが、地殻の変動や地形・地質の形成史を究明することが特に重要である。日本列島はユーラシア大陸と太平洋に挟まれており、島弧-海溝系（海溝を伴う弧状列島）の変動帯である。日本列島付近は4種類のプレートが衝突しあっており、火山活動、地震が多発、地形の起伏が大きく地質構造も複雑である。したがって、日本列島は世界でも第一級の変動帯といって過言ではない。

日本列島は火山活動や地震の頻発する自然条件下にあるため、否応なしにそれらに遭遇することも止むを得ない。したがって、これらの自然現象を正しく理解し、日頃から関心を抱くとともにその対策を講じることが重要である。本講義は、以下のような変動地形と日本列島の地形の由来を十分理解できるように展開したいと思う。

講義の内容・
授業スケジュール

授業は地図を多用して、世界で最も活動的な変動帯としての日本列島の地形を多角的に扱ってみたい。主な内容とスケジュールは次のとおりである。

- | | |
|----------------------|------------------|
| ① 地球上の変動帯とプレートテクトニクス | ⑦ 中部地方の傾動運動 |
| ② 島弧-海溝系の変動帯と日本列島 | ⑧ 西南日本弧の曲動運動 |
| ③ 島弧と火山帯 | ⑨ 日本列島の活断層 |
| ④ 本州中部の地形とフォッサマグナ | ⑩ 日本列島の巨大地震と変動地形 |
| ⑤ 第四紀の地殻変動と変動地形 | ⑪ 火山活動と火山地形 |
| ⑥ 関東平野の地形と造盆地運動 | ⑫ 最終氷期と後氷期の日本列島 |

スケジュールは前期：①～⑤、後期：⑥～⑫を予定

履修上の留意点

「地球科学」は、地球の内部や地表で行われる自然現象を扱うために、地図を多用する。そのため、「地図帳」（高校で使用したもので可）を準備すること。また、講義ノートをとることは重要。地図やその他の図を書くことが多いので、色鉛筆（12色）を準備してほしい。

成績評価の方法

テスト、レポート、出席状況を総合して評価する。

教 科 書

使用しない。

参 考 書 等

貝塚爽平著『日本の地形-特質と由来』（岩波新書）1977年
貝塚爽平著『発達史地形学』（東大出版）

そ の 他

講義形式であるが、必要によりビデオ、スライド等を使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
自然環境論 〔環境と保全〕	やまがた 山 縣 毅	法A・政治・法B選	4

講義のねらい

18世紀後半から始まった産業革命以降、産業文明の発展により、地球規模の環境変化が自然の復元能力を超えて急激に進んでいます。その変化は、人類の生存自体にも深刻な影響を及ぼすようになってきています。本講義では、地球科学的立場から、地球環境の諸問題を解説し、人間活動が自然環境に与える影響、環境保全の意義について考えてもらうことを目標としています。実生活で体験したり、各種報道により伝えられる地球環境に関する諸事象を正しく理解するための教養を、受講者に身につけてもらえるように、講義を進めていきます。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 地球表層の環境変遷とその要因
2. 人間活動による環境変化
(地球温暖化、大気酸性化、オゾン層の破壊)
3. 資源・エネルギーと環境
4. 地質変動による環境変化と自然災害
(地震、火山活動、崖崩れ)
5. 地球環境に対する海の影響
6. 環境保全

履修上の留意点

講義時間内に、キャンパス内・駒沢公園において野外観察を行います。

成績評価の方法

期末試験で評価いたします。

教科書

特に定めません。

参考書等

講義の中で紹介します。

その他

OHP、スライド等を使用します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
自 然 環 境 論 〔生命と環境〕	もち丸 真 里	法A・政治・法B選	4

講義のねらい

生物を中心とした自然環境の仕組みを理解した上で、現代の人間活動が生態系へもたらしている諸問題について考えることを目的とする。講義では、基礎知識として、生物の基本構造と多様性、物質及びエネルギー代謝、生態系の成り立ちなどについて解説した上で、生化学・生態学的な視点を要求される現代の諸問題について各論的に取り上げてゆく。また、これらの事例を通して、生態系の保全のためにどのような姿勢が要求されるかを考察する。

講義の内容・
授業スケジュール

(前期) (1) 生態系の成り立ち (2・3) 生物とは何か (4・5) 生命の誕生と地球環境
(6・7) 地球温暖化 (8・9) 生態系内の物質循環 (10) 生産者の働きと生態系
(11・12) 森林破壊 (13) 前期まとめ
(後期) (14・15) 生態系の浄化作用 (16～18) 化学物質による生態系汚染 (19・20) グ
イオキシン問題 (21・22) 環境ホルモン (23) オゾン層破壊 (24・25) 近代農
業の問題 (26) まとめ

履修上の留意点

授業中の私語・飲食・携帯電話の使用は禁止。上記のようなスケジュールを基本とするが、学生の理解度にあわせて進度を調整したり、途中でニューストピックスを取り上げるなど、柔軟に勧めて行く。

成績評価の方法

出席点と筆記試験による。

教 科 書

なし

参 考 書 等

大石正道『入門ビジュアルエコロジー生態系と地球環境のしくみ』（日本実業出版社）1,500円
その他、講義の中で随時紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
自然環境論〔環境と保全〕 (夏季集中)	やまがた 山 縣 毅	法A・政治・法B選	4

講義のねらい

18世紀後半から始まった産業革命以降、産業文明の発展により、地球規模の環境変化が自然の復元能力を超えて急激に進んでいます。その変化は、人類の生存自体にも深刻な影響を及ぼすようになってきています。本講義では、地球科学的立場から、地球環境の諸問題を解説し、人間活動が自然環境に与える影響、環境保全の意義について考えてもらうことを目標としています。実生活で体験したり、各種報道により伝えられる地球環境に関する諸事象を正しく理解するための教養を、受講者に身につけてもらえるように、講義を進めていきます。

講義の内容・授業スケジュール

1. 地球表層の環境変遷とその要因
2. 人間活動による環境変化
(地球温暖化、大気の酸性化、オゾン層の破壊)
3. 資源・エネルギーと環境
4. 地質変動による環境変化と自然災害
(地震、火山活動、崖崩れ)
5. 地球環境に対する海の影響
6. 環境保全

成績評価の方法

レポートと出席状況で評価します。

教科書

特に定めない。

参考書等

講義の中で紹介します。

その他

OHP、スライド等を使用します。

授業日程

前半							後半						
	1	2	3	4	5	6		1	2	3	4	5	6
8月2日 月	○	○	○	○	○	○	8月20日 金						
8月3日 火	○	○	○	○	○	○	8月23日 月						
8月4日 水	○	○	○	○	○	○	8月24日 火						
8月5日 木	○	○	○	○	○	○	8月25日 水						
8月6日 金	○	○	○	○	○	○	8月26日 木						
8月7日 土	○	○	○	○	○	○	8月27日 金	△	△	△	△	△	

△は予備日

科目名	担当者名	配当学科	単位
自然誌 〔現代の自然像〕	清水 善和・篠原 正雄 持丸 真里・山縣 毅	法A・政治選	4

講義のねらい

我々は何者か、なぜ、今ここにいるのか？ 大宇宙の中で人類存在の意味を問う本質的には哲学的なこの問いに対して、20世紀の自然科学が見いだした一応の答えは、我々を取り巻く自然環境が100億年を越える宇宙の進化と、46億年の地球及び生命の進化の果てに出来上がったかけがえのないものであることを語っている。一方で、今世紀の科学技術の発展は、このかけがえのない自然環境を脅かすに至っている。もはや科学の未来は科学者だけの問題ではありえない。社会を構成する一人一人が考えねばならないことである。本講義では自然科学教室の専門を異にする4人の教員がそれぞれの専門分野の知識を持ち寄り、自然の階層構造と進化を軸に現代科学諸分野を総合して得られる自然像を語る。それは自然界全体を総合的、統一的にとらえるナチュラル・ヒストリー（博物学、自然誌）の伝統を現代的に蘇らせる試みでもある。地球の未来に向けいかなる道を目指すべきかを考える足掛かりとしてほしい。

講義の内容・授業スケジュール

自然科学教室の専任教員4人により、1人6回程度の輪講形式で行われる。宇宙の始まりから地球と生命の進化を経て人類の時代に至る自然の歴史をたどり、私達にとっての自然環境がどのようにして今日の姿をとるようになったかを学ぶ。また、21世紀の重要課題となる地球環境問題の本質とその解決の方向についても考察する。

- 第1講 宇宙の進化と地球の起源 篠原正雄
- (1) 宇宙の起源（自然の階層構造、膨張する宇宙、ビッグバンと元素の起源）
 - (2) 星の進化と物質の進化（星の一生、星間物質の進化、銀河の渦と星生成領域）
 - (3) 太陽系と地球の起源（太陽系起源仮説、牡牛座T型星、宇宙の有機化合物）
 - (4) 太陽と地球の進化（地球の核の形成、大気と海の起源、太陽の進化と地球環境）
 - (5) 宇宙の中の地球（太陽放射の変動、地球軌道の変化、隕石、銀河系）
- 第2講 地球の地殻変動と災害 山縣 毅
- (1) 地球のシステム（地球内部・表層での現象）
 - (2) 地震のメカニズムと災害
 - (3) 火山活動のメカニズムと災害
- 第3講 生命の起源と進化 清水善和
- (1) 生命の起源（生物体を作る物質、遺伝暗号とタンパク質合成、生命起源仮説）
 - (2) 生物の進化と進化論（生物進化40億年の歴史、進化のメカニズム、現代進化論）
 - (3) 人類の進化（霊長類の系統、ヒトの発展段階、ホミニゼーション）
 - (4) 生物の多様性（分類体系、生物多様性、植生帯、動植物の分布）
- 第4講 産業の発達と環境の変化 持丸真里
- (1) 人口増加とエネルギー消費の歴史
 - (2) エネルギー消費と「豊かさ」
 - (3) 化石燃料の化学
 - (4) 大気環境の変化（古典的大気汚染からグローバルな環境問題へ）
 - (5) 未来へ向けて－石油代替エネルギーの開発とその評価

履修上の留意点

本科目は1年間の継続的な講義を通じて総合的な自然像を養うことを目的としているので、毎回出席するのが困難な卒業年次生や運動部員等は履修を控えてほしい。一般の通年科目と異なり、4回の評価（テストやレポート等）を受けねばならないことの自覚をもって履修してほしい。

成績評価の方法

各担当者毎に小テストやレポート等の方法で評価し、最終的に4人の採点を合算して成績評価とする。

参考書等

各担当者がそれぞれ講義の中で適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
数 学 (1) 〔微積分学入門〕	お ざわ まこと 小 沢 誠	法A・政治選	4

講義のねらい

数学の基礎分野の一つである微積分学の入門的事項を学ぶ。将来必要になった時に困らないよう、例題を丁寧に解説し、練習問題を解けるようにする。また、単に問題が解けるだけでなく、その過程において、論理的思想を身に付けることを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

前期に、関数の極限と導関数・いろいろな関数の導関数・関数の変動・いろいろな応用を、後期に、定積分と不定積分・積分の計算・面積・曲線の長さ・体積・いろいろな応用を扱う。

履修上の留意点

毎回出席すること。数学は一つ一つの積み重ねであるので、欠席した場合には補習が必要である。

成績評価の方法

前期と後期の試験の結果で評価する。出席も考慮する。

教科書

『新訂 微積分 I』(大日本図書) 1,524円

参考書等

適宜紹介する。

その他

毎回の授業を三分割し、定義・定理の紹介、例題の解説の後、練習問題を解いていただく。

科目名	担当者名	配当学科	単位
数 学 (2) 〔線形代数学入門〕	お ざわ まこと 小 沢 誠	法A・政治選	4

講義のねらい

数学の基礎分野の一つである線形代数学の入門的事項を学ぶ。将来必要になった時に困らないよう、例題を丁寧に解説し、練習問題を解けるようにする。また、単に問題が解けるだけでなく、その過程において、論理的思想を身に付けることを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

前期に、平面のベクトル・空間のベクトル・行列・連立1次方程式と行列を、後期に、行列式の定義と性質・行列式の応用・線形変換・固有値とその応用を扱う。

履修上の留意点

毎回出席すること。数学は一つ一つの積み重ねであるので、欠席した場合には補習が必要である。

成績評価の方法

前期と後期の試験の結果で評価する。出席も考慮する。

教科書

『新訂 線形代数』(大日本図書) 1,619円

参考書等

適宜紹介する。

その他

毎回の授業を三分割し、定義・定理の紹介、例題の解説の後、練習問題を解いていただく。

科目名	担当者名	配当学科	単位
数学 (3) 〔現代数学入門〕	福田 賢一 <small>ふく だ けん いち</small>	法A・政治選	4

講義のねらい

現代数学の基礎概念を、諸科学への応用例を通して学ぶ。特に社会・経済現象に応用例を求め、具体的かつ基礎的な事例から無理のない数理的抽象化を計る。情報基礎数理、経済数理に力点を置き、実践な応用力の養成を目指す。

講義の内容・授業スケジュール

前期： 論理の基礎、論理と言語、情報理論と数理、論理回路、線型代数とその応用、
後期： 線型計画法、確率現象と社会現象、微積分とその応用、数値解析とその応用

履修上の留意点

予備知識は特に必要としない。高校数学の基礎的な知識があれば十分理解できる。しかし、数学は系統性の強い分野であるから、基本的な定義、性質を明確にする必要がある。

成績評価の方法

前後期試験結果を中心に、レポート、出欠状況を加味し、総合的に判断する。

教科書

使用しない。プリントを配布する。

参考書等

必要となり次第指示する。

その他

教材、資料等は数時限に一回の割合で配布する。再配布ができない事もあるので注意。講義に対する要望、質問等は積極的に言うこと。疑問点、理解不十分なところを放置しないように努める事。

科目名	担当者名	配当学科	単位
情報数学 〔情報と論理〕	上原 隆平 <small>うえ はら りょう へい</small>	法A・政治・法B選	4

講義のねらい

形式言語理論、中でも特にオートマトン理論を学ぶ。オートマトンとは「状態を持った機械」をモデル化したもので、情報科学分野で正規表現、正規言語などと呼ばれるものと同等である。情報科学や言語理論における基礎的分野である。

講義の内容・授業スケジュール

まず始めに基礎的な数学を学ぶ。次に形式言語理論の初歩的な知識を学び、形式的な記述に慣れる。そしてオートマトン理論に的を絞り、現実の問題がどのようにオートマトンとしてモデル化されるかを学ぶ。そしてオートマトンで表現できるものと、情報科学分野で正規表現、正規言語などと呼ばれるものが同等であることを学ぶ。本授業の中では実際のプログラミングは行なわない。

履修上の留意点

予備知識は假定しないが、講義は必ず毎回出席し、出題された演習を必ず解いているものとする。

成績評価の方法

評価は授業時間中に適宜行う演習やレポートによって行う。

参考書等

J.ホップクロフト、R.モトワニ、J.ウルマン共著、野崎昭弘、高橋正子、町田元、山崎秀記共訳『オートマトン 言語理論 計算論 I [第2版]』（サイエンス社）2,800円（2003年発売の[第2版]であることに注意）

科目名	担当者名	配当学科	単位
物理学 〔光と物質〕	篠原まさお のほらま 正雄	法A・政治選	4

講義のねらい

地上の天文学者は天体から来る光などの電磁波を分析して、手の届かない天体を作る物質の種類、温度、運動などを読み取ります。この天体物理学の方法は物質と光の関係の物理学的研究に伴って発展してきました。

本講では「光とはどのようなものか、光と物質の関係は？」という問いをめぐるさまざまな事柄を取り上げます。「光学」に限定せず、力学、電磁気学、熱力学、量子力学、宇宙物理等に及びます。

講義の目的は、光について学ぶことを通して、物理学的な目で世界を見ることを体験していただくことです。数式は物理学に不可欠な言葉ですが、数式により表現された物理的な意味の方が大切です。数式の使用は極力避け、用いる場合はその意味をできるだけ平易に説明するので、数学的な予備知識はいりません。

講義の内容・授業スケジュール

次のような項目について講義します。

波としての光

光線 影 鏡 屈折 蜃気楼 透明人間

光波 音波・地震波・水の波 シャボン玉の色

電磁波としての光

電気と磁気 電磁波 光の速度と電磁気学 電波望遠鏡 電子レンジ

色即ち波長？ 虹の七色 vs 三原色 茶色い光の波長？ X線とガンマ線

光子 熱と光 星の色 人の光 原子構造と光 光波は粒子・電子は波

光と宇宙

光速不変 ブラックホール 膨張する宇宙 光の旅

履修上の留意点

十分に出席する自信のない者は、履修しないようお勧めします。

成績評価の方法

学年末に実施する簡単な期末試験を受けた人だけが成績評価の対象となります。しかし、期末試験の比重は10%程度です。数回のテストを含む平常点を中心に評価します。

教科書

藤城敏幸著『生活の中の物理』（東京教学社）1,800円

参考書等

本間三郎・山田作衛著『電気の謎をさぐる』（岩波新書）563円
その他、講義の中で適宜紹介します。

その他

理解を深めるためにほぼ毎回問題を考えてもらいます。

科目名	担当者名	配当学科	単位
化学 〔衣食住の化学〕	持丸真里	法A・政治選	4

講義のねらい

現代の日常生活にあふれる化学物質について広く取り上げ、その利便性と問題点を理解するための基礎知識を解説してゆく。各受講生が、化学物質・技術の適用の可否や環境問題について、正確な基礎知識に基づいた意見を持てるようになることを目的とする。講義では、はじめに、生体への化学物質の作用を理解するために必要な有機化学及び生化学の基礎について解説する。その後、衣食住の化学として、各論の解説を行う予定である。

講義の内容・授業スケジュール

前期 (1) 有機化学・生化学の導入 (2・3) 物質の成り立ち (4) 水の性質 (5~7) 有機化学の基礎 (8・9) 合成繊維 (10) 染料 (11・12) 合成洗剤と水質汚濁 (13) 前期まとめ
後期 (14・15) タンパク質 (16・17) 遺伝子 (18) 遺伝子情報の社会への影響 (19・20) 遺伝子組み換え食品 (21) 食品の安全性 (22) 住環境の化学物質汚染 (23) まとめ

履修上の留意点

授業中の私語・飲食・携帯電話の使用は禁止。上記のようなスケジュールを基本とするが、学生の理解度にあわせて進度を調整したり、途中でニューストピックスを取り上げるなど、柔軟に進めていく。講義は、基礎的内容から順次、発展的・先端的事項へと進むので、欠席すると理解が困難になることを留意の上、履修すること。

成績評価の方法

出席点と筆記試験による。

参考書等

講義の中で随時紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
宇宙科学 〔星と銀河〕	篠原正雄	法A・政治選	4

講義のねらい

現代の天文学が描く宇宙の姿を研究の手法と併せて紹介します。
観測装置やコンピューターの発展に伴い、宇宙の研究は急速に進展しています。星と銀河についての知識のほとんどは20世紀になって明らかにされました。前世紀の成果をふり返り、新世紀の天文学を展望しつつ講義を進めます。宇宙が昔思われたような永遠不変・不生不滅の静かな広がりではなく、むしろ荒々しいまでにダイナミックな進化していく世界であること、我々人類もまたそうした宇宙の歴史の所産であることを知っていただきたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期は恒星をとりあげます。
太陽： 構造 エネルギー源
恒星： 研究の手法 恒星の分類 恒星の進化 太陽系の起源
後期は銀河をとりあげます。
銀河系： 星団 星雲 恒星の運動 星生成領域
銀河： 銀河の距離 分類 銀河団 宇宙の大規模構造
宇宙： 宇宙膨張 ビッグ・バン

成績評価の方法

学年末に行う筆記試験の結果により評価します。平常点も考慮します。

教科書

高瀬文志郎『星・銀河・宇宙』(地人書館) 1,800円

その他

講義を中心とするが、天体の映像などを多用する予定です。

科目名	担当者名	配当学科	単位
コンピュータ基礎 (1)(4)(6)(9) 〔コンピュータの実際〕 (前期)(後期)	小 沢 誠 <small>お ざわ まこと</small>	法A・政治選	2

講義のねらい

HTML (Hypertext Markup Language) 及び CSS (Cascading Style Sheet) を学ぶ。同時に、コンピュータの基本的な知識や操作方法等も習得できるようにする。最終的に、自分のホームページを公開できるようにすることを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

まず前半部分に HTML、後半部分に CSS の基礎を学ぶ。HTML では基本構造・テキスト・スタイル・リスト・テーブル・リンクを、CSS ではフォント・テキスト・色と背景・ボックス・表示形式と配置方法・リストを扱う。

履修上の留意点

毎回出席すること。

成績評価の方法

レポートで評価する。HTML・CSS・内容の3点を重視する。

教科書

HTML4.01 Specification (<http://www.w3.org/TR/html4/>), Cascading Style Sheets, level2 (<http://www.w3.org/TR/REC-CSS2/>)

参考書等

The World Wide Web Consortium (<http://www.w3.org/>)

その他

実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講者数を制限することもある。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
コンピュータ基礎 (2)(7) 〔コンピュータの実際〕 (前期)(後期)	やまもと ひろのぶ 山 本 博 信	法A・政治選	2

講義のねらい

この授業では、コンピュータの基本的な操作方法だけではなく、インターネットやワープロソフト、その他のアプリケーションの利用法を理解し、レポートや論文の作成、および、データ処理などの基礎を学習することを目的とします。そのため、パソコンの操作だけでなく、練習問題や演習問題などを含みます。

前期では、特にキータッチの基本、ワープロソフトによる文書作成・編集・印刷、電子メールやWWWブラウザの基本を取り上げます。これらのアプリケーションソフトを活用しながら、基本ソフトを操作すれば、Windows デスクトップを作業場とみなすことができるようになります。後期には特に文書によるコミュニケーションおよび表計算ソフトを学びます。

講義の内容・
授業スケジュール

- (1・2) 基本ソフトの基礎 (3・4) キータッチの基本
 (5) ActiveMail を用いたメールの操作、パスワードの変更、日本語入力・メールの送受信
 (6～7) ワープロソフトと日本語変換 (8～10) ワープロソフトによる文書作成・保存・印刷
 (11～12) WWW ブラウザを用いたホームページの閲覧、レポート作成
 (13) 総合演習

履修上の留意点

予備知識は假定しないけれども、講義は必ず毎回出席し、出題された演習を必ず解いているものとします。半期の授業なので、就職活動や教育実習などで2回以上休むことが当初から予想される学生は、その時期の授業は履修申請しないこと。駒澤大学の総合情報センターのコンピュータの利用申請が必須となります。

成績評価の方法

評価は授業期間中に適宜行う演習やレポート、授業の最終回で行う実技試験によって行います。

教 科 書

未定

参 考 書 等

参考書は必要に応じて紹介します。

そ の 他

実習が多いために、計算機室で講義を行います。コンピュータの数に限りがあるので、受講生数を制限することもあります。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
コンピュータ基礎 (3)(8) 〔コンピュータの実際〕 (前期)(後期)	小 川 健次郎 <small>お がわ けんじろう</small>	法A・政治選	2

講義のねらい

インターネットの原理や原則を学ぶ。その上で実現されているさまざまなサービスを、実習を通じて理解する。

講義の内容・
授業スケジュール

多数のコンピュータがネットワークを通じて相互に接続されたインターネットについて学ぶ。この上で具体的に電子メールやWWWなどのサービスを取りあげ、実習を通じて理解する。こうしたサービスを通じて、何ができるか、何をやってもよいか、何をやってはいけないか、といった事柄を、技術的、倫理的、法的側面から学ぶ。

履修上の留意点

予備知識は必要としないが、講義は必ず毎回出席し、出題された演習を必ず解いているものとする。半期の授業なので、就職活動や教育実習などで2回以上休むことが当初から予定されている学生は、その時期の授業は履修申請しないこと。駒澤大学の総合情報センターのコンピュータの利用申請が必須となる。

成績評価の方法

評価は授業時間中に適宜行う演習やレポートによって行う。

参 考 書 等

参考書は必要に応じて紹介する。

そ の 他

実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講者数を制限することもある。

科目名	担当者名	配当学科	単位
コンピュータ基礎(5) 〔コンピュータの実際〕 (前期)	さわぐち たかし 澤口 隆	法A・政治選	2

講義のねらい

DTP (DeskTop Publishing) をはじめとしたオンライン編集や、コンピュータグラフィックス (CG) を利用した CAD イメージ、映画などで用いられるリアルな CG 映像や、インターネットブラウザ上での FLASH アニメーションなど、現在のマルチメディア社会において、コンピュータを利用した映像やデザインなどはすでに一般的なものとなっている。

本講義では、これまでコンピュータを用いた画像処理や CG でのデザイン・作図などの経験のない学生を対象に、CG の基礎知識とアプリケーションの操作方法を様々な課題を作成しながら学習することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

コンピュータグラフィックスに関する基本知識の講義と、実際のアプリケーションを用いた作品製作の演習が中心となる。OS は Windows を用い、アプリケーションは Adobe Photoshop および Adobe Illustrator を使用する予定。

その他、インターネットで活用できるような画像処理技術やアニメーションについても学ぶ。

Web サイトを構築する上でのデザイン手法や HTML (HyperText Markup Language) などについても触れる。

履修上の留意点

初心者を対象とするので予備知識は必要としない。最低限、Windows の基本操作はマスターしているほうが望ましい。授業開始前に総合情報センターにおいてコンピュータの利用申請を済ませておくこと。

成績評価の方法

授業中に作成した課題と出席状況で評価する。

教科書

使用しない。適宜資料を配付する。

参考書等

同上

その他

計算機室での実習・講義となるが、計算機の数に限りがあるので受講者を制限することもある。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
コンピュータ基礎 (10)(23)(24) 〔コンピュータの実際〕 (前期)(後期)	うえ はら りゅう へい 上 原 隆 平	法A・政治選	2

講義のねらい

インターネットの原理や原則を学ぶ。その上で実現されているさまざまなサービスを、実習を通じて理解する。

講義の内容・授業スケジュール

多数のコンピュータがネットワークを通じて相互に接続されたインターネットについて学ぶ。具体的に電子メールやWWWなどのサービスを取りあげ、実習を通じて理解する。こうしたサービスを通じて、何ができるか、何をやってもよいか、何をやったらいけないか、といった事柄を、技術的、倫理的、法的側面から学ぶ。

履修上の留意点

予備知識は仮定しないが、講義は必ず毎回出席し、出題された演習を必ず解いているものとする。半期の授業なので、就職活動や教育実習などで2回以上休むことが当初から予想される学生は、その時期の授業は履修申請しないこと。駒澤大学の総合情報センターのコンピュータの利用申請が必須となる。総合情報センターが発行しているコンピュータの利用手引は授業中にも使用するため、必ず携帯すること。

成績評価の方法

成績評価は授業時間中に適宜行う演習やレポートによって行う。

参 考 書 等

村井純著『インターネット』（岩波新書416）630円および村井純著『インターネットII』（岩波新書571）640円

そ の 他

実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講者数を制限することもある。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
コンピュータ基礎 (11)(15) 〔コンピュータの実際〕 (夏季集中)	もと き みつ お 元 木 光 雄	法A・政治選	2

講義のねらい

コンピュータの原理とインターネットの原理や原則を学ぶ。特に、インターネットで実現されている様々なサービスを実習を通じて理解する。

講義の内容・
授業スケジュール

コンピュータの動作原理、特にOSの役割やファイルシステムについて学ぶ。また、多数のコンピュータがネットワークで相互に接続されたインターネットについて学ぶ。この上でどのようなサービスが利用できるのか、実際のサービスを利用しながら理解する。具体的には、インターネット上のサービスとして、電子メール、WWWなどのサービスを取りあげ、実習の形で利用する。このようなサービスを通じて、何ができるか、何をやってもよいか、何をやってはいけないか、といった事柄も、技術的、倫理的、法的側面から学ぶ。

履修上の留意点

予備知識は仮定しないが、講義は必ず毎回出席し、出題された演習を必ず解いているものとする。駒澤大学の総合情報センターのコンピュータの利用申請が必須となるので、必ず事前に総合情報センターで利用申請をして電子メールのアドレスを取得しておくこと。取得していない場合、単位取得に支障がある可能性がある。

成績評価の方法

評価は授業時間中に適宜行う演習やレポートによって行う予定である。

参 考 書 等

参考書は必要に応じて紹介する予定である。

そ の 他

実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講者数を制限することもある。

授業日程

コンピュータ基礎(11)

前半		1	2	3	4	5	6	後半		1	2	3	4	5	6
8月2日	月	○	○	○				8月20日	金						
8月3日	火	○	○	○				8月23日	月						
8月4日	水	○	○	○				8月24日	火						
8月5日	木	○	○	○				8月25日	水						
8月6日	金	○	○	○				8月26日	木						
8月9日	月							8月27日	金						

コンピュータ基礎(15)

前半		1	2	3	4	5	6	後半		1	2	3	4	5	6
8月2日	月							8月20日	金						
8月3日	火				○	○	○	8月23日	月						
8月4日	水				○	○	○	8月24日	火						
8月5日	木				○	○	○	8月25日	水						
8月6日	金				○	○	○	8月26日	木						
8月9日	月				○	○	○	8月27日	金						

科目名	担当者名	配当学科	単位
コンピュータ基礎(12) 〔コンピュータの実際〕 (夏季集中)	お 小 沢 さわ 誠 まこと	法A・政治選	2

講義のねらい HTML (Hypertext Markup Language) 及び CSS (Cascading Style Sheet) を学ぶ。同時に、コンピュータの基本的な知識や操作方法等も習得できるようにする。最終的に、自分のホームページを公開できるようにすることを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール まず前半部分に HTML、後半部分に CSS の基礎を学ぶ。HTML では基本構造・テキスト・スタイル・リスト・テーブル・リンクを、CSS ではフォント・テキスト・色と背景・ボックス・表示形式と配置方法・リストを扱う。

履修上の留意点 毎回出席すること。

成績評価の方法 レポートで評価する。HTML・CSS・内容の三点を重視する。

教科書 HTML4.01 Specification (<http://www.w3.org/TR/html4/>)、Cascading Style Sheets, level 2 (<http://www.w3.org/TR/REC-CSS2/>)

参考書等 The World Wide Web Consortium (<http://www.w3.org/>)

その他 実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講者数を制限することもある。

授業日程
コンピュータ基礎(12)

前半	1	2	3	4	5	6	後半	1	2	3	4	5	6
8月2日 月	○	○	○				8月20日 金						
8月3日 火	○	○	○				8月23日 月						
8月4日 水	○	○	○				8月24日 火						
8月5日 木	○	○	○				8月25日 水						
8月6日 金	○	○	○				8月26日 木						
8月9日 月	△	△	△				8月27日 金						

△は予備日

科目名	担当者名	配当学科	単位
コンピュータ基礎 (13)(17) 〔コンピュータの実際〕 (夏季集中)	やまもと ひろのぶ 山本博信	法A・政治選	2

講義のねらい

コンピュータを道具として、書き方、描き方を実習を通じて技術として把握します。コンピュータは、文字や画像をデジタル化して処理します。コンピュータによる情報処理によって、表現がどのように把握されるかについて理解します。言語のレベルにありながら画像に属するものとしての技法についてパソコンを道具として身につけます。

講義の内容・授業スケジュール

パソコンなどの情報機器やいろいろなソフトウェアが、企業をはじめ一般社会でも急速に普及しています。日常生活でも、パソコンなどに接する機会が増えてきました。パソコンの高性能化やLANの普及によって、ユーザは自分たちで情報を収集して発信することができるようになりました。パソコンでどのようにして画像などを作成してWebページを作成するかについて理解します。すなわち、アプリケーションソフトの活用を、縦軸を現場(業務)ごとの特質とし、横軸をファイル形式などの基礎をみながら行います。表現能力はパソコンを活用する上でもとても大事なものです。ここでは特に描き方(ビジュアル表現)についてペイント系グラフィックソフトやドロー系グラフィックソフトなどを活用しながら理解します。

- (1) コンピュータによる情報処理について
- (2) 表計算ソフトの基礎、応用
 - ・計算の自動化・運用とセキュリティ・マクロの作成など
- (3) グラフィックデータの作成
- (4) 画像効果の作成
 - ・トリミング・切抜き・明るさや色の調整など
- (5) 最適化処理
- (6) HTML ファイルの作成
- (7) ブラウザによる確認

履修上の留意点

予備知識は仮定しないけれども、講義は必ず毎回出席し、出題された演習は必ず解いているものとします。駒澤大学の総合情報センターのコンピュータの利用申請が必須となります。

成績評価の方法

評価は、授業期間中に適宜行う演習や最終日に実施する確認試験によって行います。

教科書

未定

参考書等

参考書は必要に応じて紹介します。

その他

実習の閉める割合が高いために、計算機室で講義を行います。コンピュータの数に限りがあるので受講生数を制限することもあります。

授業日程

コンピュータ基礎(13)

前半	1	2	3	4	5	6	後半	1	2	3	4	5	6
8月2日	月	○	○	○			8月20日	金					
8月3日	火	△	△	△			8月23日	月					
8月4日	水	○	○	○			8月24日	火					
8月5日	木	○	○	○			8月25日	水					
8月6日	金	○	○	○			8月26日	木					
8月9日	月	○	○	○			8月27日	金					

△は予備日

コンピュータ基礎(17)

前半	1	2	3	4	5	6	後半	1	2	3	4	5	6
8月2日	月						8月20日	金	○	○	○		
8月3日	火						8月23日	月	○	○	○		
8月4日	水						8月24日	火	△	△	△		
8月5日	木						8月25日	水	○	○	○		
8月6日	金						8月26日	木	○	○	○		
8月9日	月						8月27日	金	○	○	○		

△は予備日

科目名	担当者名	配当学科	単位
コンピュータ基礎 (14)(18) 〔コンピュータの実際〕 (夏季集中)	ながさかひろみ 長坂浩史	法A・政治選	2

講義のねらい

初心者を対象にして、コンピュータの概要の把握と一通りの基本的な操作能力の習得を目標とする。また、Web ページ作成の基本を学び、それによってインターネットを利用した情報収集・発信の実習をする。

講義の内容・授業スケジュール

情報教育センターのパソコン (OS は Windows) を使用し、実習を行う。ワープロソフトによる文章加工、Excel による表計算・データ処理、インターネット上のサービス利用 (電子メール、WWW) 等を通り体験したあと、これらを総合した簡単な資料の作成してもらう。この資料は Web ページの体裁で作成してもらうので、HTML の入門等、Web ページ作成のための基本も学ぶことになる。

履修上の留意点

初心者を対象としていることに注意。
予備知識は仮定しないが、短期集中講義なので毎回出席し、課題は必ず提出すること。
また授業開始前に情報センターの利用登録しておくこと。(課題は基本的にファイルの形で提出してもらうが、各自バックアップ用の領域を持ってほしい。そうでなければ、初日・2日目はフロッピーディスクを持参すること。)

成績評価の方法

課題に対する提出物によって判断する。
実習という授業の性質上、毎日の基本課題をクリアしていれば、概ね厳しい評定はつかないと思っていよい。

教科書

使用しない。適宜、簡単な資料を配布する。

参考書等

同上

その他

計算機室での実習・講義となるが、計算機の数に限りがあるので受講者数を制限することもある。

授業日程

コンピュータ基礎(14)

前半	1	2	3	4	5	6	後半	1	2	3	4	5	6
8月2日 月	○	○	○				8月20日 金						
8月3日 火	○	○	○				8月23日 月						
8月4日 水	△	△	△				8月24日 火						
8月5日 木	○	○	○				8月25日 水						
8月6日 金	○	○	○				8月26日 木						
8月9日 月	○	○	○				8月27日 金						

△は予備日

コンピュータ基礎(18)

前半	1	2	3	4	5	6	後半	1	2	3	4	5	6
8月2日 月				○	○	○	8月20日 金						
8月3日 火				○	○	○	8月23日 月						
8月4日 水				△	△	△	8月24日 火						
8月5日 木				○	○	○	8月25日 水						
8月6日 金				○	○	○	8月26日 木						
8月9日 月				○	○	○	8月27日 金						

△は予備日

科目名	担当者名	配当学科	単位
コンピュータ基礎 (19)(21) 〔コンピュータの実際〕 (夏季集中)	さわぐち 澤口 隆	法A・政治選	2

講義のねらい

DTP (DeskTop Publishing) をはじめとしたオンライン編集や、コンピュータグラフィックス (CG) を利用した CAD イメージ、映画などで用いられるリアルな CG 映像や、インターネットブラウザ上での FLASH アニメーションなど、現在のマルチメディア社会において、コンピュータを利用した映像やデザインなどはすでに一般的なものとなっている。本講義では、これまでコンピュータを用いた画像処理や CG でのデザイン・作図などの経験のない学生を対象に、CG の基礎知識とアプリケーションの操作方法を様々な課題を作成しながら学習することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

コンピュータグラフィックスに関する基本知識の講義と、実際のアプリケーションを用いた作品製作の演習が中心となる。OS は Windows を用い、アプリケーションは Adobe Photoshop および Adobe Illustrator を使用する予定。その他、インターネットで活用できるような画像処理技術やアニメーションについても学ぶ。Web サイトを構築する上でのデザイン手法や HTML (HyperText Markup Language) などについても触れる。

履修上の留意点

初心者を対象とするので予備知識は必要としない。最低限、Windows の基本操作はマスターしているほうが望ましい。授業開始前に総合情報センターにおいてコンピュータの利用申請を済ませておくこと

成績評価の方法

授業中に作成した課題と出席状況で評価する。

教科書

使用しない。適宜資料を配付する。

参考書等

同上

その他

計算機室での実習・講義となるが、計算機の数に限りがあるので受講者を制限することもある。

授業日程
コンピュータ基礎(19)

前半	1	2	3	4	5	6	後半	1	2	3	4	5	6
8月2日 月							8月20日 金	○	○	○			
8月3日 火							8月23日 月	○	○	○			
8月4日 水							8月24日 火	○	○	○			
8月5日 木							8月25日 水	○	○	○			
8月6日 金							8月26日 木	○	○	○			
8月9日 月							8月27日 金	△	△	△			

△は予備日
コンピュータ基礎(21)

前半	1	2	3	4	5	6	後半	1	2	3	4	5	6
8月2日 月							8月20日 金				○	○	○
8月3日 火							8月23日 月				○	○	○
8月4日 水							8月24日 火				○	○	○
8月5日 木							8月25日 水				○	○	○
8月6日 金							8月26日 木				○	○	○
8月9日 月							8月27日 金				△	△	△

△は予備日

科目名	担当者名	配当学科	単位
コンピュータ基礎 (16)(20)(22) 〔コンピュータの実際〕 (夏季集中)	小川 健次郎 <small>おがわ けんじろう</small>	法A・政治選	2

講義のねらい インターネットの原理や原則を学ぶ。その上で実現されているさまざまなサービスを、実習を通じて理解する。

講義の内容・授業スケジュール 多数のコンピュータがネットワークを通じて相互に接続されたインターネットについて学ぶ。この上で具体的に電子メールやWWWなどのサービスを取りあげ、実習を通じて理解する。こうしたサービスを通じて、何が出来るか、何をやってもよいか、何をやってはいけないか、といった事柄を、技術的、倫理的、法的側面から学ぶ。

履修上の留意点 予備知識は必要としないが、講義は必ず毎回出席すること。夏季集中の授業なので、就職活動などで1度でも休むことが当初から予想される学生は、その時期の授業は履修申請しないこと。駒澤大学の総合情報センターのコンピュータの利用申請が必須となる。必ず事前に総合情報センターで利用申請しておくこと。
なお、本講義はコンピュータ初心者対象である。

成績評価の方法 評価は授業時間中に行う演習やレポートによって行う。

教科書 必要に応じて適宜指定する予定である。

参考書等 必要に応じて紹介する予定である。

その他 実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講者数を制限することもある。

授業日程
コンピュータ基礎(16)

前半		1	2	3	4	5	6	後半		1	2	3	4	5	6
8月2日	月	○	○	○				8月20日	金						
8月3日	火	○	○	○				8月23日	月						
8月4日	水	○	○	○				8月24日	火						
8月5日	木	○	○	○				8月25日	水						
8月6日	金	○	○	○				8月26日	木						
8月9日	月	△	△	△				8月27日	金						

△は予備日
コンピュータ基礎(20)

前半		1	2	3	4	5	6	後半		1	2	3	4	5	6
8月2日	月				○	○	○	8月20日	金						
8月3日	火				○	○	○	8月23日	月						
8月4日	水				○	○	○	8月24日	火						
8月5日	木				○	○	○	8月25日	水						
8月6日	金				○	○	○	8月26日	木						
8月9日	月				△	△	△	8月27日	金						

△は予備日
コンピュータ基礎(22)

前半		1	2	3	4	5	6	後半		1	2	3	4	5	6
8月2日	月							8月20日	金	○	○	○			
8月3日	火							8月23日	月	○	○	○			
8月4日	水							8月24日	火	○	○	○			
8月5日	木							8月25日	水	○	○	○			
8月6日	金							8月26日	木	○	○	○			
8月9日	月							8月27日	金	△	△	△			

△は予備日

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
コンピュータ応用(1)(2) 〔コンピュータの原理〕	うえ ほん りゅう へい 上 原 隆 平	法A・政治選	4

講義のねらい

コンピュータの動作原理とプログラミングを学ぶ。また「効率のよいプログラム」とは何かを知る。

講義の内容・授業スケジュール

まずはじめに、コンピュータの動作原理を簡単に学ぶ。そしてコンピュータとは、単純な動作をたくさん積み重ねることで、さまざまな処理を行うことができる機械であることを知る。実際にまとまった処理を行う場合には、こうした単純な動作を、目的に応じて組み合わせることが必要になる。これをプログラミングとよぶ。いくつかの問題に対して、プログラムを作成する。同じ問題に対していくつかの解決方法があることを知り、これらの解決方法の「比較」を通じて「効率のよいプログラム」とは何かを学ぶ。

履修上の留意点

プログラミングに対する予備知識は仮定しない。しかし授業に必要な資料はWWWを通じて配布するので、必要最低限のコンピュータの操作（ウィンドウ操作、電子メール、WWWの利用など）はマスターしていること。またプログラムの比較の部分で、数学に関する知識（関数logなど）が多少必要となる。講義は必ず毎回出席し、出題された演習を必ず解いているものとする。駒澤大学の総合情報センターのコンピュータの利用申請が必須となる。

成績評価の方法

評価は授業時間中に適宜行う演習やレポートによって行う。

参 考 書 等

山崎秀記『Delphiによるプログラミング入門』（培風館）2,000円

そ の 他

実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講生数を制限することもある。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
人 類 学 (1)(2) 〔人類の進化〕	えん どう ばん り 遠 藤 萬 里	法A・政治選	4

講義のねらい

人類を理解し、その進化を知るには骨やその化石のことを聞くだけではほとんど意味をなさない。生物としてのヒトが自然界でどういう位置にあり、どのように分類され、身体の構造や機能がどうなっているかをきちんと考えることが重要である。進化史は年々書き替えられているが、このような基礎が不十分なためもある。しっかりとした基礎知識を持つように期待する。

講義の内容・授業スケジュール

ヒトが生物のなかでどのような位置にあり、動物としてどこに分類されるか、現在のようになったヒトの特異性とは何か、身体のさまざまな構造・機能にどのような特徴があるのか、文化も含めてどのように進化してきたと現在考えられているのか等について進めて行く。毎年新しい知識が加わるので注意。

履修上の留意点

できるだけ出席すること。内容の進行に応じて時々小テストを行なう。これは理解度を知るためでもある。なお、体育系運動部の学生であまり出席できない学生には、この講義の一部についてのレポートを提出してもらい採点したいので、学年度初めに申出ること。

成績評価の方法

成績は年度末試験と小テストで行なう。また上記の学生はレポートで加点する。

教 科 書

遠藤万里編『人類生物学入門』（てらべいあ）

参 考 書 等

進化については 遠藤万里『人類学百話一話』（てらべいあ）2,000円、アンドリュース・ストリンガーイラスト・ガイド『私たちヒトの進化』（てらべいあ）2,400円 他の分野については難しすぎるか、古すぎるので紹介しない。

そ の 他

スライドを多く使い、身近な例を引き合いに出して楽しく進めたい。質問は歓迎する。これまでの人体や人類進化の通俗的常識は通用しない。

科目名	担当者名	配当学科	単位
心理学 〔ヒューマン・ウォッチング〕	やまぎし なおき 山 岸 直 基	法A・政治・法B選	4

講義の内容・
授業スケジュール

心理学は人間のするあらゆることについて科学的・実証的に研究する学問です。なぜ多くの大学生は試験の直前にしか勉強しないのでしょうか。なぜ徹夜でプレステをするのでしょうか。この講義では人間のするさまざまなことについての一般的な原理を講義するとともに、日常生活の中のさまざまな行動がその原理とどのように関係しているのか、また日常の問題を解決しようとするときその原理をどのように応用することができるかについて講義します。授業スケジュールについては第1回目の授業時にお知らせする予定です。

履修上の留意点

出席はとりませんが、単位を取得するためには毎回の授業に積極的に参加する必要があります。そうすれば講義内容を理解することができます。しかし、単に出席するだけで講義の内容を理解していない場合には単位を修得できません。履修する学生はその点に注意してください。

成績評価の方法

授業内容の理解度を把握するための数回の小テストと年度末のテストによって評価します。全体の評価に対する小テストの割合は高くなります。詳しくは第1回目の授業時にお知らせします。

教科書

授業時にいくつか紹介します。

その他

基本的には講義形式の授業を行います。第1回目の授業時に配るレスポンスカードを使って随時質問に答えてもらいます。これは授業内容をよりよく理解するためのものです。積極的に参加してください。また、適宜 OHP やビデオを使用する予定です。

科目名	担当者名	配当学科	単位
心理学 〔心を科学する〕	なとり しほ 名 取 志 保	法A・政治・法B選	4

講義のねらい

人間を理解するための1つの視点として心理学を学ぶことを本講義のねらいとする。ここでいう人間理解とは一個人の性格や人格の理解も含むが、そればかりではなく、人間が一般的にもつ特性を知ることを含む。例えば、物の見え方や判断の仕方などのような様々な場面で何気なく行っている活動全般について理解するということである。

講義の内容・
授業スケジュール

心理学の概略、行動の基本様式、感覚・知覚、記憶、学習、人格などの他、生理学など関連分野についても講義する予定である。

履修上の留意点

この講義に限らず何かを学ぶということの根底には、普段の生活の中での「当たり前」のこととして捉えているようなことに対して、素朴な疑問とでもいうべき問題意識を抱くことが大切であると考えている。このような問題意識をもって授業に臨むことを希望する。

成績評価の方法

試験の結果（前期の講義内と定期試験の計2回）と出席点による。

教科書

第1回目の講義で紹介する。

参考書等

講義の中で紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
心 理 学 [心を科学する](夏季集中)	ほり うち まさ ひこ 堀 内 正 彦	全学科選	4

講義のねらい

人間を理解するための1つの視点として心理学を学ぶことを本講義のねらいとする。ここでいう人間理解とは一個人の性格や人格の理解も含むが、そればかりではなく、人間が一般的にもつ特性を知ることを含む。例えば、物の見え方や判断の仕方などのような様々な場面で何気なく行っている活動全般について理解するということである。

講義の内容・
授業スケジュール

心理学の概略、行動の基本様式、感覚・知覚、記憶、学習、思考、発達、社会的行動などについて講義する予定である。

履修上の留意点

この講義に限らず何かを学ぶということの根底には、普段の生活の中での「当たり前」のこととして捉えているようなことに対して、素朴な疑問とでもいうべき問題意識を抱くことが大切であると考えている。このような問題意識をもって授業に臨むことを希望する。なお、その他の細かい点については以下の通りである。

- ① 私語は厳禁である。
- ② 講義中に分からないことがあった場合には、講義をささぎって質問してもよい。また、E-mailでの質問も受け付ける。
- ③ 1回の講義において2回目以降に私語を中止された学生は、その講義に限り退場とする。

成績評価の方法

試験の結果を重視する。

教 科 書

特に指定しない。

参 考 書 等

講義の中で紹介する。

そ の 他

授業日程

前半		1	2	3	4	5	6	後半		1	2	3	4	5	6
8月2日	月 月	○	○	○	○	○		8月20日	金						
8月3日	火 火	○	○	○	○	○		8月23日	月						
8月4日	水 水	○	○	○	○	○		8月24日	火						
8月5日	木 木	○	○	○	○	○		8月25日	水						
8月6日	金 金	○	○	○	○	○		8月26日	木						
8月9日	月 月	○	○	○	○	○		8月27日	金	△	△				

△は予備日

科目名	担当者名	配当学科	単位
総合 I (1) 〔仏教と自然〕	よつや こうどう 四津谷 孝 道	法A・政治選	4

講義のねらい

「エコロジー」というものが、大きな社会的な且つ学問的な課題になって久しいが、仏教学の分野においても「エコロジー」との関連ですでに多くの研究が蓄積されつつある。本講座では、それらの研究を参照しながら、いくつかの具体的テーマに焦点をしばって、仏教と自然に関する検討を進めてゆきたい。

講義の内容・授業スケジュール

まず、本講座において扱うところの「仏教」並びに「自然」というものについて明確な説明を加える。

それを前提にして、「仏教と菜食主義」というテーマを、インド思想全体の関連の中で検討する。もう一つのテーマは「仏教と医学」である。このテーマの下に、特にインド・チベットの伝統医学の中にその自然観・人間観を探ってみる。

履修上の留意点

外国語の文献を扱うことが多いので、受講生は英語、ドイツ語、フランス語のある程度の語学力を有することが望ましい。

成績評価の方法

学年末の試験。

教科書

特になし。必要と思われるものは、授業において適宜に指示をする。

参考書等

特になし。必要と思われるものは、授業において適宜に指示をする。

科目名	担当者名	配当学科	単位
総合 I (2) 〔仏教と社会〕	くま もと まい にん 熊 本 英 人	法A・政治選	4

講義のねらい

日本の社会の諸問題を、仏教とのかかわりから考える。

講義の内容・授業スケジュール

社会とは、人間の言語、慣習、規範、制度などによって規定された世界であり、人間は、その社会のあり方を思索し、理想的な社会の実現に努力している。

仏教は、社会とどのようにかかわり、影響を与え、あるいは運動を起こしてきたか。生死、人権、女性、家族、平和といったキーワードから、仏教の立場、仏教への期待、社会の現実などをみていくことで、現代への問題提起を行いたい。

成績評価の方法

適宜レポートを課す。年度末の筆記試験と合わせて評価する。

教科書

適宜プリントで配布する。

参考書等

講義の中で随時紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
総 合 Ⅲ (1) 〔人権と社会問題〕	ピアス, D. M.	法 A ・ 政治選	4

講義のねらい

This being the most advanced English course available, its first intention is to prepare for studying abroad. Students will get a partial experience of what it is like to take a university-level course in a foreign country, and thereby have more success from studying abroad. Students will not study English; they will study something *in* English. Lectures, compositions, and conversation practice will concentrate on international social problems such as human rights, war, feminism, poverty, suicide, sex, racism, euthanasia, abortion, ecology, etc. Alternatively, programs in the history of economic and political thought, and in American sociology, may be used as lecture material.

講義の内容・授業スケジュール

Elementary level English conversation will not be taught, but there will be intensive practice every period in spoken English on, quotidian, opinion exchange, and intellectual levels. Emphasis is placed on learning to converse *intelligently*, that is, to communicate thought in spoken language. Time will be devoted to English composition and to listening comprehension practice.

The format of the course is not based fundamentally upon the lecture series; during most of the class time students will be actively producing, in writing and speaking.

履修上の留意点

ATTENDANCE: Attendance and active participation are most important; only practice improves English. Please attend all of the classes. The student may miss six classes in the year and still pass; if the student misses five classes, the final grade will be one letter-grade less than what the student would otherwise have received.

EXAMINATIONS: Apart from the two final-semester examinations, there will be frequent small exams. Such exams are not intended to apply pressure; an examination is an excellent method of learning. All exam questions will be questions that we have done together in class, which are printed in the textbook.

成績評価の方法

GRADING: Your final grade is the quality of the employment that you can find after university graduation. Never forget that English ability is extremely important when you are looking for a job; you will get better employment if you improve your English this year. This is an extremely important point; you are taking a high-quality English course to get better employment in the future, not just to get a university grade!

GRADING, AGAIN: Your final grade depends 70% on your class performance, in every class. I will keep a record of your participation in every single class meeting. This is a course for intellectual English conversation; one can improve speaking ability, similarly to playing piano, only by constant practice. This is true no matter how advanced the student may be. Therefore, attendance is extremely important, and the examinations have minor effect on the final grade. Finally! Everyone in the class is equally able to get an "A" in the class, because the final grade does not depend on the final examination. Even if a student cannot speak English at all, he/she has as much a chance as the other students to get an "A", because his final grade depends on his effort and his improvement in comparison to his initial ability.

教科書

Textbook and materials: We will probably use *Social Practices*, Themis Research Group as our textbook. In the first class meeting we will have a diagnostic test to determine the appropriate level of the class; do not buy the text until after the first class. Also recommended is an English-Japanese dictionary or an electronic dictionary. There will be some effort to absorb the vocabulary of written English that you probably do not know.

科目名	担当者名	配当学科	単位
総合Ⅲ (2) 〔欧米の教育と日本の教育〕	おが ぎき としちろう 岡 崎 寿一郎	法A・政治選	4

講義のねらい

日本の大学は、1949年の改革で、アメリカの一般教育の理念を採用し、人文・社会・自然科学・体育・外国語のコースを専門課程の前に課してきました。それが、新カリキュラムによって改変されました。しかし、アメリカの大学がいかなる変革を経て今日にいたったのか。また、その現状がどのようなものであるのかは、知られていないとおもわれます。大学数は、現在、アメリカでは、約3,000校、日本は、約1,000校（短大・四年制大学）です。ヨーロッパでは、まだ、日本の戦前における数（旧大学令・47校）とほぼ同数です。進学率も10%前後です。また、大学入試制度については、例えば、「各大学単位で独自の入学試験が行われている国は、OECD加盟国の中では日本とユーゴスラヴィアの二国だけであり、また選抜試験のみで大学生を入学させているのは、日本以外はポルトガルとトルコの二国のみである」（西尾幹二『ヨーロッパ像の転換』）とあります。欧米では、大学入学資格認定制度が採用されています。（例、イギリスの「A」レベル、ドイツのアビトゥア、フランスのパカロレア、アメリカのSAT等）講義では、文化相対論（異なる文化の風俗・習慣についての批判・評価と同時に、その風土・歴史的背景を十分に考慮する）の観点から、自国の教育（制度）を絶対視する価値観の単一化を避けつつ、国際化の時代に即応したグローバルな教育観の展望について論究します。

成績評価の方法

講義では、とくに教科書は指定せず、毎回、講義内容に則したプリントを配布します。成績評価については、平常評価としての出席（50%）、前期試験に代わる夏季レポート（25%）、後期試験（25%）による総合評価とします。

参考書等

参考書・文献については適宜言及します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
総合Ⅲ (3) 〔中国語圏文化の諸相〕	いわ さき ひろし 岩 崎 皇	法A・政治選	4

講義のねらい

同じ漢字文化圏の国として、中国の、漢字に関する言語政策を紹介します。

講義の内容・授業スケジュール

文字改革と80年以降の情報化社会に対応する政策を中心に解説します。

成績評価の方法

出席及び授業態度で判断します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
総合Ⅳ (1) 〔現代アメリカ事情〕	はやし あき と 林 明 人	法A・政治選	4

講義の内容・授業スケジュール

現代のアメリカが抱えているさまざまな問題を、具体的なキーワード（abortion, affirmative action, euthanasia, Brady Bill等）を説明しながら紹介します。なぜその問題が起こったのか、そしてそれがどのように発展し、現在どうなっているのかを見てゆきます。知っているようで知らないアメリカの諸相が見えてきます。

成績評価の方法

前・後期のレポート、出席の総合評価。

教科書

プリントを配布します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
総 合 IV 〔米国シアトルNPOの経営研究〕	にしむら ゆうこ 西村祐子	法A・政治選	4

講義のねらい

アメリカのNPO, NGO(非常利組織)は日本に比べ、非常にアクティブであるといわれるが、なかでもまちづくり(コミュニティビルディング)において市民と自治体の協同がとりわけて盛んでユニークな発展を続けているワシントン州、シアトル市の事例をとりあげてみる。さらに日本におけるまちづくりのありかたとの比較を行う。

講義の内容・
授業スケジュール

授業は通年で以下のようなテーマを中心におこなわれる。

アメリカの非常利組織と日本の非常利組織との違い
 コミュニティ・ビルディングとまちづくり
 シアトルのまちづくり
 シアトル・アジア系住民のまちづくり
 自治体とNPOの協同について
 日本のまちづくりとシアトル

成績評価の方法

平常点(出席率、レポート内容)重視。

教科書

教場にて指定。

参考書等

教場にて指定。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
総 合 IV (3) 〔ポスト・モダンの世界〕	丸 小 哲 雄 <small>まる こ てつ お</small>	法 A ・ 政治選	4

講義のねらい

本講義の狙いは、受講生の既成概念に対して挑発することで、既視感に対して違和感を抱くように講義します。それを念頭において、近代化の啓蒙思想を批判し、それを乗り越えるための主体性としての自己組織の確立を目指すことにあります。ポストモダン概念を整理し、そのような学際的な知の最前線として、固有なものに出会うための批判の方法によって権力の座(特権化された場所)を移動・転倒させつつ、歴史的過渡期の思想的表現としての近現代史の思想を批判すること(帝国主義と植民地化に対する批判)にあります。そのために「大きな物語」の終息後に、どのようにして世界を再構築していくかが現代的な問題となります。本講義においては、基本的に、近代の思想を担った思想家たちをモデルにして、その論理的枠組み、哲学・宗教の思想的な特徴、経済・政治におけるメカニズムと思想史的な特徴などのさまざまなキーワードを手がかりにして、近代思想の根拠を跡づけて、ポストモダンの現象と批判的立場を明確化していきます。前期では、近代建築史、広告批評史、エロスの解放問題、ファッション・モードの変遷、映画の変遷過程の特徴、文学と文学理論の特徴、近代を乗り越える根拠を原理的に見出すように講義していきます。従って、受講生がどのようにして主体性を形成するかが受講生の課題となります。

講義の内容・授業スケジュール

講義に際して、関連文献リストを配布し、事前に読むテキストを指示します。また、クラス外では文庫本・新書版を読んで、前期と後期にレポートを作成します。講義の骨子は以下の通りです。

1. 「モダン」の定義とポストモダンの特質について
2. 近代言語観の変遷について
3. 現代という時代の捉え方；「今ここ」における自己言及のパラドックスについて
4. 近代における人間観、宇宙観、社会観の変遷について
5. 西洋の理性批判(啓蒙思想批判)について
 - 1) ソクラテス、デカルト、ヘーゲルとマルクス、ショーペンハウエル、
 - 2) ニーチェとハイデガー 3) マック・ヴェーバー 4) ミュシェル・フーコー
6. トランスモダン
横断的近代：アメリカン・イデオロギーとグローバリズムに対するナショナル意識とリージョナル意識との対抗性について
7. レビュー：冷戦後における自己組織と反省の人間の特質について

成績評価の方法

出席、前期・後期の読書レポート(リストから選択)、ターム・ペーパー作成などの総合評価。

教 科 書

- ・読書リスト配布
- ・プリント配布

参 考 書 等

リーディング・リスト配布

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
総 合 VI (1) 〔民族とは何か〕	おおの ゆうじ 大 野 祐 二	法A・政治選	4

講義のねらい

この講義は、文化人類学的な視点から「民族」にまつわる様々な現象を、我々の日常生活において理解することを、主たるねらいとしています。世界各地で噴出する民族問題の百科事典的な紹介ではなく、問題を理解する際に必要なアプローチなり、方法や認識について考察することを通して、我々の日常との関連について、つまり「あちら／他者」の問題としてではなく、「あちらとこちら／自己と他者」との関係のあり方から検討することを目指します。

講義の内容・授業スケジュール

具体的なスケジュールについては最初の講義の際に伝えますが、前期においては文化人類学的方法論(文化の概念、異文化の記述・異文化へのまなざし、文化相対主義、他者表象など)についてが中心になります。

後期は、ビデオ教材も使いながら、日本・朝鮮半島・北米などにおける事例を検討しながら、「民族」現象について国家・ナショナリズム・植民地主義・歴史・伝統文化などとの関連から考察を進める予定です。

履修上の留意点

講義形式ですすめますが、一方的にならないため質問時間も可能な限りとりまします。大幅に遅刻する人はご遠慮ください。

成績評価の方法

前後期の定期試験(またはレポート)、および小テストで評価します。

教科書

詳細については授業中にプリントで伝える予定です。

参考書等

原尻英樹著『コリアンタウンの民族誌』(筑摩書房)
吉野耕作著『文化ナショナリズムの社会学』(名古屋大学出版会)
李孝徳著『表象空間の近代』(新曜社)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
総 合 VI (2) 〔イスラム〕	よしだ きょうこ 吉 田 京 子	法A・政治選	4

講義のねらい

現在、最も注目される思想、文化体系としてのイスラームに関する日本人の知識不足を補うための授業。国際社会の一員として最低限知っておくべき教養としての範囲のイスラームに関する知識を習得することが本講義の最大の目的である。多様な「イスラーム」認識の方法論の中から、イスラームの宗教的側面、信仰の概略、思想の根本を理解するため宗教学的アプローチを中心に講義を行う。従って、国際関係論的、政治学的、社会学的、文化人類学的視座に基づくイスラーム概説とは異なる点を注意されたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期、後期を通じ、イスラームの信仰の核である、クルアーン、預言者ムハンマド、イスラーム法学、イスラーム神学、歴史的分派、スーフィズム等々の思想トピックごとに概論的授業を行う。

履修上の留意点

宗教学的、思想的側面からのイスラーム論なので、社会学的、歴史学的、政治学的、国際関係論的アプローチの前段階の内容となる。そのため、そのような意味でのイスラーム論を期待する学生には不相当である場合もある。

成績評価の方法

年間を通じ、出席率、提出物、後期末の試験により成績を決定する。

教科書

特になし

参考書等

授業中紹介

その他

数回のビデオ上映を予定。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
総 合 VI (3) 〔フェミニズム・ジェンダー〕	はや かわ のり よ 早 川 紀 代	法 A ・ 政治選	4

講義のねらい

この世の中はあたり前のことだけれども、男性と女性、女性と男性の両性から成りたっている。この両性の関係はどんな風に私たちの社会の中で構成されているだろうか。それをつぎの分野でみなさんとともに考えます。私たちはどんな両性関係を望んでいるのか。私たちが理想とする両性関係を創造するには、どんなことが必要か、みなさんと考えます。

講義の内容・授業スケジュール

前期

a. ジェンダーってなに？

フェミニズムやジェンダーという考え方が誕生した歴史背景と私たちがもっているジェンダー観を考えます。

b. セクシュアリティとジェンダー

性同一性障害、ドメスティックバイオレンス、ホモセクシュアルとヘテロセクシュアル、生殖技術の発展と人間の歴史などを考えます。

後期

c. 家族の過去、現在、未来

日本の家族の歴史をふり返りながら、みなさんが生まれ、現在にいたるまでの間に、どんな風に家族の機能や形、人間関係、家族観が変わったか、今後の家族のあり方をさぐります。

d. 労働とジェンダー

2003年10月の新卒の就職率は60パーセント。企業の雇用戦略が変貌する過程で男女の配置はどうなっているのか。男女がともに家族と労働の生活をおくるには何が必要か、考えます。

成績評価の方法

前期 夏休みに課題のレポートをまとめ提出する。

後期 論述式試験。

そ の 他

随時、感想文などを提出してもらおう。なるべくみなさんの間で意志交換できるようにする。資料を随時配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
総合Ⅵ (1) 〔トラブルと法的解決〕	藤本 茂・荒木 正孝 竹中 智香・原田啓一郎 日笠 完治・山口 邦夫	法A・政治選	4

講義のねらい

日常生活は、常に順調と言うわけにはいかない。社会生活につきまとうトラブルを法的に解決することを考える。
法的トラブルにはどのようなパターンがあるか。それをどう解決すればよいのか、あるいは、トラブルを未然に防ぐにはどうすればよいのか。これらの点について、市民として知っておくべき基礎的知識を、各法領域の教員が交替で講義する。

講義の内容・
授業スケジュール

第1回目の講義で、履修上の注意点と各法領域での講義内容の概要を説明する。受講希望者は必ず、出席すること。
担当教員の順番や講義内容は、「詳細情報画面」を参照すること。各領域3回から4回を予定している。ここでは、各担当教員のテーマを上げるに止める。

- 1 日笠 完治 トラブルを憲法的観点から考える
- 2 山口 邦夫 刑事事件と法定手続
- 3 竹中 智香 変化する市民生活と民法
- 4 荒木 正孝 現代社会と商法
- 5 藤本 茂 現代雇用社会と労働法
- 6 原田啓一郎 大学生生活と社会保障の法的トラブル

履修上の留意点

各担当教員の実質講義回数が少ないため、講義には必ず出席すること。
私語は慎むこと。携帯電話のスイッチはOFFにすること。

成績評価の方法

各担当教員がそれぞれの担当枠の最後に実施する試験の成績を総合して評価する。講義に出席することはもとより、各担当教員の実施する試験は必ず受け、レポートが出されれば必ず、その担当期間内に提出すること。
追・再試験は、講義の形態上、行わない。

教科書

特に指定しない。

参考書等

各担当教員が講義に際し、必要に応じて、その都度開示する。
六法は毎回忘れずに、持参すること。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
総 合 VII 〔都市論〕 (2)	早川 純貴・浦田 早苗 坂井 文・品田 知美 保坂 尚郎	法 A ・ 政治選	4

講義のねらい

いま大都市は多くの問題を抱えている。過密化と空洞化、住宅難、犯罪、失業と貧困、ホームレス、ゴミ問題、再開発、あるいは国際化と多文化主義。しかしこれらは独自のダイナミズムを持ち、拡大と変容を繰り返すと都市社会が示す多様な表象にほかならない。都市の現状を政治学や経済学、あるいは社会学や建築学の観点から概観し、都市の将来を考える。

講義の内容・授業スケジュール

講義は5名の講師により、各々4～6回ずつ行う。その順序/時期と講義内容は以下の通り。

早川純貴『都市論』のガイダンス (1回/4月)

品田知美「都市の変容と生活様式」(6回/4・5月) ——都市には、多くの人々が集う場として独特の生活様式が見いだせる。本講義では、日本の大都市の変容過程を、主に2つの視点から振り返る。①環境：都市のかたちは、エネルギーや資源の消費とどう関係するのか。②家族：都市はいつも新しい家族のかたちを生み出す。異質な人々にとって、都市とはどういう場であるのか。2つの視点を、生活様式というキーワードで結びながら、近未来の都市のゆくえを考えたい。

保坂尚郎「都市と労働」(6回/6・7月) ——労働による肉体的負担は、労働時間に通勤時間、乗り物の混雑なども加わり、都市部ほどその負担が大きい。また都市では居住環境の制約から核家族が多く、両親が就労しながら子育てする場合、保育施設の整備が不可欠であるが、現実には絶対数が不足している。この講義では、裁量労働制、時差通勤、SOHOワークなどの新たな働き方と、駅周辺保育施設の整備などを組み合わせ、快適・効率的で、子育てと両立できる都市労働のあり方を考える。

坂井 文「都市オープンスペースの公共性」(4回/9月・10月) ——公共性の概念は、時代・文化とともに変容していく。本講座は、都市施設の一要素である都市オープンスペース整備の政策に注目しながら、その公共性のあり方について考察することを目的とする。具体的には、ロンドンと東京の歴史的な都市オープンスペースの概念の形成について考察したうえで、現在の政策について検証する。

早川純貴『「まちづくり」と住民参加」(4回/10・11月) ——いわゆる迷惑施設や道路建設をめぐる住民と行政の対立、地域による防災への取り組み、老人・障害者支援など身近にあるまちづくり、そして古い家並みや建造物の保存運動などを通じ、住みやすく愛着のある「まちのかたち」を住民参加の観点で考える。

浦田早苗「イギリスの都市はおいしい」(4回/11・12月) ——イギリス一般市民の都市生活を、食事、娯楽、住居などの面から観察し、日英の都市文化の比較を試みる。

履修上の留意点

日本や海外の都市問題に強い関心を持つ学生の受講を歓迎する。もちろん学生諸君が「都市」に居住しているかどうかは問わない。

成績評価の方法

成績は各講師がレポートないし小テスト等により判定し、それらを早川が総合して評価する。

3. 外国語科目

外
国
語

3 . 外国語科目

[英語]

英語 I A (法 A)	〈朝川真紀〉	97
英語 I A (法 A)	〈岩原康夫〉	97
英語 I A (法 A)	〈澤田真弓〉	98
英語 I A (法 A)	〈三浦真理〉	98
英語 I A (法 A)	〈佐藤江里子〉	98
英語 I A (法 A)	〈山岸二郎〉	99
英語 I A (法 A)	〈ササキ, M.〉	99
英語 I A (法 A)	〈真砂久晃〉	99
英語 I A (政)	〈三浦真理〉	100
英語 I A (政)	〈佐藤江里子〉	100
英語 I A (政)	〈山岸二郎〉	100
英語 I A (政)	〈ササキ, M.〉	101
英語 I A (政)	〈朝川真紀〉	101
英語 I A (法A・政)	〈牧野輝良〉	101
英語 I B (法 A)	〈木元喜久子〉	102
英語 I B (法 A)	〈藤井道行〉	102
英語 I B (法 A)	〈海琳泰子〉	103
英語 I B (法 A)	〈佐藤江里子〉	103
英語 I B (法 A)	〈木元喜久子〉	103
英語 I B (法 A)	〈藤井道行〉	104
英語 I B (法 A)	〈海琳泰子〉	104
英語 I B (政)	〈木元喜久子〉	104
英語 I B (政)	〈藤井道行〉	105
英語 I B (政)	〈海琳泰子〉	105
英語 I B (政)	〈佐藤江里子〉	105
英語 I B (法A・政)	〈亀田三重子〉	106
英語 I B (法A・政)	〈海琳泰子〉	106
英語 II A (法 A)	〈太田雅子〉	107
英語 II A (法 A)	〈杉村初枝〉	107
英語 II A (法 A)	〈小山太一〉	108
英語 II A (法 A)	〈松堂啓子〉	108
英語 II A (法 A)	〈高柳文江〉	108
英語 II A (法 A)	〈堀千和子〉	109
英語 II A (政)	〈風間則比古〉	109
英語 II A (政)	〈木村正俊〉	109
英語 II A (政)	〈北村弘文〉	110
英語 II A (政)	〈岩永祥恵〉	110
英語 II B (法 A)	〈鈴木美貴子〉	111
英語 II B (法 A)	〈林明人〉	111
英語 II B (法 A)	〈井伊順彦〉	112
英語 II B (法 A)	〈太田雅子〉	112
英語 II B (法 A)	〈平林卓郎〉	112
英語 II B (法 A)	〈中林正身〉	113
英語 II B (政)	〈田中保〉	113
英語 II B (政)	〈岸本茂和〉	113

英語 II B (政)	〈岩山義春〉	114
英語 II B (政)	〈丹治弘昌〉	114
英語 II D (法 A)	〈前期：町田尚子、後期：照山雄彦〉	115
英語 II D (法 A)	〈岩屋玉江〉	115
英語 II D (法 A)	〈真砂久晃〉	116
英語 II D (法 A)	〈丹治弘昌〉	116
英語 II D (法 A)	〈相馬美明〉	116
英語 II D (法 A)	〈田中保〉	117
英語 II D (法 A)	〈岸本茂和〉	117
英語 II D (法 A)	〈丸小哲雄〉	117
英語 II D (法 A)	〈桧山晋〉	118
英語 II D (政)	〈飯沼好永〉	118
英語 II D (政)	〈本間俊一〉	118
英語 II D (政)	〈大淵利春〉	119
英語 II D (政)	〈手島敬子〉	119
英会話 I	〈ウエルズ, J. K.〉	120
英会話 I	〈ソルタ, P. N. F.〉	120
英会話 I	〈ジトウィッツ, P. D.〉	121
英会話 I	〈ピアス, D. M.〉	121
英会話 I	〈プラスキー, J. C.〉	122
英会話 I	〈ラージ, R.〉	122
英会話 I	〈レイン, R. V.〉	123
英語 L L I	〈甲斐捷子〉	124
英語 L L I	〈加藤佐和子〉	124
英語 L L I	〈久保ひさ子〉	125
英語 L L I	〈中林正身〉	125
英語 L L I	〈西村祐子〉	126
英語 L L I	〈搞美智子〉	126
英語 L L I	〈ヘラー, P.S.〉	127
英会話 II	〈ジトウィッツ, P. D.〉	128
英会話 II	〈プラスキー, J. C.〉	128
英会話 II - 夏季集中 -	〈ピアス, D. M.〉	129
英語 L L II	〈太田雅子〉	130
英語 L L II	〈外池一子〉	130
英語 L L II	〈西村祐子〉	131

[ドイツ語]

ドイツ語 I A (法 A・政)	〈河上和史〉	132
ドイツ語 I B (法 A・政)	〈柴野博子〉	132
ドイツ語 II A (法 A)	〈百済勇〉	132
ドイツ語 II A (政)	〈柴野博子〉	133
ドイツ語 II B (法 A)	〈飯塚公夫〉	133
ドイツ語 II B (政)	〈織田繁美〉	133
ドイツ語 II C (会話) (法 A・政)	〈野島利彰〉	134
ドイツ語 II D (法 A・政)	〈志真斗美恵〉	134
ドイツ語 L L I (法 A・政)	〈小林ゲアリンデ〉	134

[フランス語]

フランス語ⅠA	(法A・政)	〈桑田 禮彰〉	135
フランス語ⅠB	(法A・政)	〈菅原 猛〉	135
フランス語ⅡA	(法A)	〈小玉 齊夫〉	136
フランス語ⅡA	(法A)	〈前田 祝一〉	136
フランス語ⅡB	(法A)	〈菅谷 暁〉	136
フランス語ⅡA	(政)	〈遠山 博雄〉	137
フランス語ⅡB	(政)	〈畑中 千晶〉	137
フランス語ⅡC	(会話)(法A・政)	〈桑田 禮彰〉	137
フランス語ⅡD	(法A・政)	〈伊藤 なお〉	138
フランス語LLⅠ	(法A・政)	〈ラリア・三倉, M.〉	138

[中国語]

中国語ⅠA・ⅠB	(法A・政)	〈宮本厚子・三田村圭子〉	140
中国語ⅠA・ⅠB	(法A・政)	〈村松哲文・陳洲挙〉	141
中国語ⅠA・ⅠB	(法A・政)	〈岩崎 皇〉	141
中国語ⅠA・ⅠB	(法A・政)	〈松本 丁俊〉	141
中国語ⅡA	(政)	〈松本 丁俊〉	142
中国語ⅡA	(政)	〈福地 桂子〉	142
中国語ⅡA	(法A・政)	〈岩崎 皇〉	142
中国語ⅡA	(政)	〈弘兼 加奈子〉	143
中国語ⅡA	(法A)	〈釜屋 修〉	143
中国語ⅡA	(法A)	〈李 雲〉	143
中国語ⅡA	(法A)	〈松本 丁俊〉	144
中国語ⅡB	(法A)	〈岩崎 皇〉	144
中国語ⅡB	(法A)	〈平石 淑子〉	144
中国語ⅡB	(法A)	〈弘兼 加奈子〉	145
中国語ⅡB	(政)	〈根岸 政子〉	145
中国語ⅡB	(政)	〈櫻庭 和典〉	145
中国語ⅡB	(政)	〈松本 丁俊〉	146
中国語ⅡC	(会話)(法A・政)	〈天野 節〉	146
中国語ⅡD	(法A・政)	〈曹 泰和〉	146
中国語ⅡD	(法A・政)	〈村松 哲文〉	147
中国語ⅡD	(法A・政)	〈三田村 圭子〉	147
中国語LLⅠ	(法A・政)	〈佐藤 普美子〉	147

[スペイン語]

スペイン語ⅠA	(法A・政)	〈荻野 雅司〉	148
スペイン語ⅠB	(法A・政)	〈上野 勝広〉	148
スペイン語ⅡA	(法A)	〈大岩 功〉	149
スペイン語ⅡA	(法A)	〈福本 久美子〉	149
スペイン語ⅡA	(政)	〈真下 祐一〉	150
スペイン語ⅡB	(法A)	〈宮地 達郎〉	150
スペイン語ⅡB	(政)	〈福本 久美子〉	151
スペイン語ⅡC	(会話)(法A・政)	〈真下 祐一〉	151
スペイン語ⅡD	(法A・政)	〈ナバロ, ホワン J.〉	151
スペイン語LLⅠ	(法A・政)	〈ナバロ, ホワン J.〉	152

〔ロシア語〕

ロシア語 I A (法A・政)	〈クロチコフ, Y.〉	154
ロシア語 I B (法A・政)	〈木村英明〉	154
ロシア語 II A (法A)	〈杉山秀子〉	154
ロシア語 II A (政)	〈木村英明〉	155
ロシア語 II B (法A)	〈木村英明〉	155
ロシア語 II B (政)	〈佐野朝子〉	156
ロシア語 II C (会話) (法A・政)	〈クロチコフ, Y.〉	156
ロシア語 II D (法A・政)	〈佐野朝子〉	156
ロシア語 L L I (法A・政)	〈安徳ニーナ〉	157

《再履修クラス》

〔英語〕

英語 I A [再クラス]	〈西村祐子〉	158
英語 I A [再クラス]	〈岩井洋美〉	158
英語 I A [再クラス]	〈林孝憲〉	158
英語 I A [再クラス]	〈牧野輝良〉	159
英語 I A [再クラス]	〈朝川真紀〉	159
英語 I A [再クラス]	〈佐藤アヤ子〉	159
英語 I A [再クラス]	〈吉江正雄〉	160
英語 I A [再クラス]	〈埴美智子〉	160
英語 I A [再クラス]	〈塚本利男〉	161
英語 I A [再クラス]	〈川島弘之〉	161
英語 I A [再クラス]	〈尾上典子〉	162
英語 I A [再クラス]	〈外池一子〉	162
英語 I A [再クラス]	〈高柳文江〉	162
英語 I A [再クラス]	〈熊沢和明〉	163
英語 I A [再クラス]	〈岩原康夫〉	163
英語 I A [再クラス]	〈西原克政〉	163
英語 I B [再クラス]	〈手島敬子〉	164
英語 I B [再クラス]	〈林孝憲〉	164
英語 I B [再クラス]	〈木村克彦〉	164
英語 I B [再クラス]	〈武藤久緒〉	165
英語 I B [再クラス]	〈江田幸子〉	165
英語 I B [再クラス]	〈甲斐捷子〉	166
英語 I B [再クラス]	〈石原孝哉〉	166
英語 I B [再クラス]	〈真砂久晃〉	166
英語 I B [再クラス]	〈高柳文江〉	167
英語 I B [再クラス]	〈熊沢和明〉	167
英語 I B [再クラス]	〈町田成男〉	167
英語 I B [再クラス]	〈飯沼好永〉	168
英語 II A [再クラス]	〈佐藤明子〉	168
英語 II A [再クラス]	〈宇都宮秀和〉	168
英語 II A [再クラス]	〈岡崎寿一郎〉	169
英語 II A [再クラス]	〈佐藤江里子〉	169
英語 II A [再クラス]	〈岡崎寿一郎〉	169
英語 II A [再クラス]	〈井伊順彦〉	170
英語 II A [再クラス]	〈川崎浩太郎〉	170

英語ⅡA〔再クラス〕	〈矢島直子〉	170
英語ⅡA〔再クラス〕	〈相馬美明〉	171
英語ⅡA〔再クラス〕	〈河内賢隆〉	171
英語ⅡA〔再クラス〕	〈古富猛〉	171
英語ⅡA〔再クラス〕	〈三浦真理〉	172
英語ⅡA〔再クラス〕	〈山岸二郎〉	172
英語ⅡB〔再クラス〕	〈佐藤江里子〉	172
英語ⅡB〔再クラス〕	〈伊藤美代子〉	173
英語ⅡB〔再クラス〕	〈川手浩一〉	173
英語ⅡB〔再クラス〕	〈川手浩一〉	174
英語ⅡB〔再クラス〕	〈長谷川公一〉	174
英語ⅡB〔再クラス〕	〈澤田真弓〉	174
英語ⅡB〔再クラス〕	〈落合和昭〉	175
英語ⅡB〔再クラス〕	〈前田脩〉	175
英語ⅡB〔再クラス〕	〈河内賢隆〉	176
英語ⅡB〔再クラス〕	〈本間俊一〉	176
英語ⅡB〔再クラス〕	〈笹倉貞夫〉	176
英語ⅡB〔再クラス〕	〈笹倉貞夫〉	177
英語ⅡD〔再クラス〕	〈前期：町田尚子、後期：照山雄彦〉	177
英語ⅡD〔再クラス〕	〈岩屋玉江〉	177
英語ⅡD〔再クラス〕	〈真砂久晃〉	177
英語ⅡD〔再クラス〕	〈丹治弘昌〉	177
英語ⅡD〔再クラス〕	〈相馬美明〉	177
英語ⅡD〔再クラス〕	〈田中保〉	178
英語ⅡD〔再クラス〕	〈岸本茂和〉	178
英語ⅡD〔再クラス〕	〈丸小哲雄〉	178
英語ⅡD〔再クラス〕	〈桧山晋〉	178
英語ⅡD〔再クラス〕	〈飯沼好永〉	178
英語ⅡD〔再クラス〕	〈本間俊一〉	178
英語ⅡD〔再クラス〕	〈大淵利春〉	178
英語ⅡD〔再クラス〕	〈手島敬子〉	179

〔ドイツ語〕

ドイツ語ⅠA〔再クラス〕	〈柴野博子〉	180
ドイツ語ⅠA〔再クラス〕	〈志真斗美恵〉	180
ドイツ語ⅠA〔再クラス〕	〈本橋右京〉	180
ドイツ語ⅠA〔再クラス〕	〈杉本正俊〉	181
ドイツ語ⅠB〔再クラス〕	〈飯塚公夫〉	181
ドイツ語ⅠB〔再クラス〕	〈野島利彰〉	182
ドイツ語ⅠB〔再クラス〕	〈井村行子〉	182
ドイツ語ⅠB〔再クラス〕	〈本橋右京〉	182
ドイツ語ⅡA〔再クラス〕	〈松岡晋〉	183
ドイツ語ⅡA〔再クラス〕	〈織田繁美〉	183
ドイツ語ⅡA〔再クラス〕	〈栗原万修〉	183
ドイツ語ⅡB〔再クラス〕	〈百濟勇〉	184
ドイツ語ⅡB〔再クラス〕	〈柴野博子〉	184
ドイツ語ⅡB〔再クラス〕	〈織田繁美〉	184
ドイツ語ⅡD〔再クラス〕	〈志真斗美恵〉	185

〔 フ ラ ン ス 語 〕

フランス語ⅠA〔再クラス〕	〈竹田正純〉	186
フランス語ⅠA〔再クラス〕	〈芦原 眷〉	186
フランス語ⅠA〔再クラス〕	〈小玉齊夫〉	186
フランス語ⅠA〔再クラス〕	〈遠山博雄〉	187
フランス語ⅠA〔再クラス〕	〈谷川かおる〉	187
フランス語ⅠB〔再クラス〕	〈菅谷 暁〉	187
フランス語ⅠB〔再クラス〕	〈今 関 ア ン〉	188
フランス語ⅠB〔再クラス〕	〈小玉齊夫〉	188
フランス語ⅠB〔再クラス〕	〈長谷川 光明〉	189
フランス語ⅡA〔再クラス〕	〈畑 中 千 晶〉	189
フランス語ⅡA〔再クラス〕	〈沼倉 広 子〉	189
フランス語ⅡA〔再クラス〕	〈長谷川 光明〉	190
フランス語ⅡB〔再クラス〕	〈前 田 祝 一〉	190
フランス語ⅡB〔再クラス〕	〈沼倉 広 子〉	190
フランス語ⅡB〔再クラス〕	〈谷 川 かおる〉	191
フランス語ⅡD〔再クラス〕	〈伊 藤 な お〉	191

〔 中 国 語 〕

中国語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈江 林 英 基〉	192
中国語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈戸 張 嘉 勝〉	192
中国語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈杉 山 静〉	192
中国語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈佐 藤 普美子〉	193
中国語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈塩 旗 伸一郎〉	193
中国語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈根 岸 政 子〉	193
中国語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈櫻 庭 和 典〉	194
中国語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈曹 泰 和〉	194
中国語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈村 松 哲 文〉	194
中国語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈三田村 圭 子〉	195
中国語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈小 川 隆〉	195
中国語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈胡 玉 華〉	195
中国語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈弘 兼 加奈子〉	196
中国語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈蘭 明〉	196
中国語ⅡA〔再クラス〕	〈平 石 淑 子〉	196
中国語ⅡA〔再クラス〕	〈岩 崎 皇〉	197
中国語ⅡA〔再クラス〕	〈大久保 明 男〉	197
中国語ⅡB〔再クラス〕	〈李 雲〉	197
中国語ⅡB〔再クラス〕	〈李 雲〉	198
中国語ⅡB〔再クラス〕	〈蘭 明〉	198
中国語ⅡD〔再クラス〕	〈曹 泰 和〉	198
中国語ⅡD〔再クラス〕	〈村 松 哲 文〉	198
中国語ⅡD〔再クラス〕	〈三田村 圭 子〉	199

〔 ス ペ イ ン 語 〕

スペイン語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈真 下 祐 一〉	200
スペイン語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈大 岩 功〉	200
スペイン語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈上 野 勝 広〉	201
スペイン語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈亀 山 晃 一〉	201
スペイン語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈宮 地 達 郎〉	202

スペイン語 I A・I B [再クラス]	〈荻野 恵〉	202
スペイン語 I A・I B [再クラス]	〈ナバロ, ホワン J.〉	202
スペイン語 I A・I B [再クラス]	〈佐藤 麻里乃〉	203
スペイン語 II A・II B [再クラス]	〈福本 久美子〉	203
スペイン語 II A・II B [再クラス]	〈大岩 功〉	204
スペイン語 II A・II B [再クラス]	〈亀山 晃一〉	204
スペイン語 II D [再クラス]	〈ナバロ, ホワン J.〉	204

〔ロシア語〕

ロシア語 I A・I B [再クラス]	〈廣田 英靖〉	205
ロシア語 I A・I B [再クラス]	〈佐野 朝子〉	205
ロシア語 I A・I B [再クラス]	〈木村 英明〉	206
ロシア語 I A・I B [再クラス]	〈安德 ニーナ〉	206
ロシア語 II A・II B [再クラス]	〈高木 美菜子〉	206
ロシア語 II A・II B [再クラス]	〈クロチコフ, Y.〉	207
ロシア語 II A・II B [再クラス]	〈安德 ニーナ〉	207
ロシア語 II D [再クラス]	〈佐野 朝子〉	207

《選 択 科 目》

英 文 講 読	〈林 明 人〉	208
英 文 講 読	〈矢 島 直 子〉	208
英 文 講 読	〈牧 野 輝 良〉	208
時 事 英 語 研 究	〈竹 村 恵 都 子〉	209
時 事 英 語 研 究	〈林 明 人〉	209
時 事 英 語 研 究	〈岸 本 茂 和〉	209
時 事 英 語 研 究	〈丹 治 弘 昌〉	210
時 事 英 語 研 究	〈矢 島 直 子〉	210
マルチ・メディア	〈落 合 和 昭〉	211
マルチ・メディア	〈大 庭 直 樹〉	212
マルチ・メディア	〈西 村 祐 子〉	212
英 会 話 II	〈ジトウィッツ, P. D.〉	213
英 会 話 II	〈プラスキー, J. C.〉	213
英 会 話 II - 夏季 集中 -	〈ピアス, D. M.〉	213
英 会 話 III	〈ウエルズ, J. K.〉	214
英 会 話 III	〈ラージ, R.〉	215
英 会 話 III - 夏季 集中 -	〈レーン, C. M.〉	216
英 語 L L II	〈太 田 雅 子〉	217
英 語 L L II	〈外 池 一 子〉	217
英 語 L L II	〈西 村 祐 子〉	217
英 語 L L III	〈久 保 ひ さ 子〉	218
英 語 L L III	〈西 村 祐 子〉	218
英 語 L L III	〈レーン, C. M.〉	219
ド イ ツ 語 L L I	〈小林ゲアリンデ〉	220
ド イ ツ 語 L L II	〈小林ゲアリンデ〉	220
ド イ ツ 語 I A (選)	〈五十嵐 信 子〉	220
ド イ ツ 語 I B (選)	〈野 島 利 彰〉	221
ド イ ツ 語 II (選)	〈松 岡 晋〉	221
フ ラ ン ス 語 L L I	〈ラリア・三倉, M.〉	222
フ ラ ン ス 語 L L II	〈ラリア・三倉, M.〉	222

フランス語 I A (選)	〈井田清子〉	222
フランス語 I A (選)	〈伊藤なお〉	223
フランス語 I B (選)	〈大野英士〉	223
フランス語 I B (選)	〈菅原猛〉	224
フランス語 II (選)	〈桑田禮彰〉	224
中国語 L L I	〈佐藤普美子〉	225
中国語 L L II	〈小川隆〉	225
中国語 I A (選)	〈釜屋修〉	225
中国語 I A (選)	〈宮本厚子〉	226
中国語 I B (選)	〈蘭明〉	226
中国語 II (選)	〈松本丁俊〉	226
スペイン語 L L I	〈ナバロ, ホワン J.〉	227
スペイン語 L L II	〈ナバロ, ホワン J.〉	227
スペイン語 I A (選)	〈宮地達郎〉	227
スペイン語 I B (選)	〈亀山晃一〉	228
スペイン語 II (選)	〈荻野雅司〉	228
ロシア語 L L I	〈安德ニーナ〉	229
ロシア語 L L II	〈安德ニーナ〉	229
ロシア語 I A (選)	〈クロチコフ, Y.〉	230
ロシア語 I B (選)	〈木村英明〉	230
ロシア語 II (選)	〈佐野朝子〉	231
朝鮮語 I A (選)	〈宋美玲〉	232
朝鮮語 I B (選)	〈宋美玲〉	232
朝鮮語 II (選)	〈宋美玲〉	233

英 語 I A

〈英語 I A の授業内容と履修上の留意点〉

英語による意思伝達 (Writing and/or Speaking) : 入学時の英語を基礎として、英語の運用能力をのばします。

演習科目なので、全授業日数の3分の2以上の出席が必要です。レポート、小テスト、プレゼンテーションなどの課題を重視します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I A	朝川真紀	法A1年	2

講義のねらい

日常生活におけるコミュニケーションに必要な基本的英語表現力を身につける。

講義の内容・授業スケジュール

授業の始めに単語テストを行う。毎回課題の予習状況をチェックする。テキストは2課ずつ進めていき、練習問題を行いながら重要な表現方法を覚えていく。

履修上の留意点

予習は毎回行うこと。辞書は必ず持参すること。遅刻した者は授業開始30分まで入室を認めるが、遅刻3回で1回欠席とする。全授業数の3分の2以上出席していない者は不合格とする。

成績評価の方法

小テスト30%、平常点10%、定期試験60%

教科書

小中秀彦著『比較して覚える基礎英語表現』(朝日出版社) 1,800円 ISBN4-255-15338-8

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I A	岩原康夫	法A1年	2

講義のねらい

英語による日常的なコミュニケーション力の向上を狙いとする。そのために、一定の基本的な動詞の構文と用法を学習する。

講義の内容・授業スケジュール

クラスはテキストに沿って、表現練習問題をやり、その応用を行ってもらう。

履修上の留意点

学生諸君の予習を前提にしてクラスを進める。

成績評価の方法

前期・後期の試験60パーセント、平常点40パーセントを基準として、成績評価をする。平常点はクラスにおける予習及び発表によって判断する。

教科書

『Cultivating Writing Skills』(朝日出版) 2,000円 ISBN4-255-15280-2

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A	澤田真弓	法A1年	2

講義のねらい	簡単な英語表現を学び、リスニングやライティングの能力を伸ばすことを目標とします。
講義の内容・授業スケジュール	毎時間さまざまな英語表現を学び、暗記してもらいます。
履修上の留意点	積極的に授業に参加することが望ましい。単語の意味調べは必ずしておくこと。
成績評価の方法	出席回数、発表や提出物、前期後期の試験の結果を総合的に判断して評価します。
教科書	Peter dluppenthaler 著、石原田正廣注訳『 <i>Today's Japan in the World</i> 世界の中の日本——豊かな明日のために』（大阪教育図書）1,400円 ISBN4-271-11299-2 C3082

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A	三浦真理	法A1年	2

講義のねらい	最近の世界を一つの共同体として考えるようになってきました。従って、気楽に海外に出かける人が急増しています。外国に出かけて楽しく、有意義な経験をしたいならば、自分の言いたいことを正確に伝え、理解してもらえるようにしなくてはなりません。特に留学した場合に必要な情報を伝えるための会話的表現を学習し、自分の言いたいことを正しく言い表せるように、実際に活用できる英語の能力向上を目指します。
講義の内容・授業スケジュール	教科書にそって基礎的な英文構造、成句、熟語をできるだけ多く学習し、Dialogue 形式による表現学習、特に大切な単語習得を目指します。
履修上の留意点	予習しておくこと。授業には必ず辞書を携帯すること。
成績評価の方法	テストは学習した章を中心に分割しておこないます。3分の2以上の出席（出席重視、原則的に遅刻は認めない）、小テスト、授業中の発表（30～40%）、定期試験の結果を入れて総合的に評価します。
教科書	『海外留学・旅行 表現英作文』（南雲堂）1,300円 プリントを使用することもあります。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A	佐藤江里子	法A1年	2

履修上の留意点	必ず予習をし、辞書を用意して授業に出席すること。
成績評価の方法	出席、発表、小テスト、授業態度などの平常点と、前期後期試験による総合評価。
教科書	<未定>

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A	山岸二郎	法A1年	2

- 講義のねらい 英文構造を理解し、それを活用しての「発信型英語」に習熟する。
- 講義の内容・授業スケジュール テキストは解説及び練習問題が2ページずつで一課が構成されている。これを One Lesson につき2回程度の進度で学習する。
- 履修上の留意点 必ず予習しておくこと。
- 成績評価の方法 平常の学習、前期後期のテスト、小テスト等総合して評価する。
- 教科書 『Matrix-発信する英語ライティング入門-』（金星堂）1,900円 ISBN4-7647-3784-1 C1082

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A	ササキ, M.	法A1年	2

- 講義のねらい Do you like to travel? Then please join my class. We will study English for a specific purpose: TRAVEL. Through watching video, you will experience how to use airport transportation, check into a hotel, and ask for directions, etc.
- 成績評価の方法 You will be graded on assignments, interview tests and pop-quizzes. You must attend at least 2/3 of the classes in which attendance was taken in order to pass.
- 教科書 Text: "Viva! San Francisco"

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A	真砂久晃	法A1年	2

- 講義のねらい 入学時の英語を基礎として、英語の運用能力向上を目指す。
- 講義の内容・授業スケジュール 初回の授業でオリエンテーションをする。必ず出席すること。
- 履修上の留意点 出席が3分の2未満の学生は単位を取得できない。但し、正当な理由のある欠席に関しては考慮する。
- 成績評価の方法 成績 = (前期の成績 + 後期の成績) ÷ 2
前期、後期共、成績は (100点満点) = 出席点 (20~30%) + テスト (70~80%) となる。
- 教科書 大矢 復著 Matrix (金星堂) 1,900円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A	三浦眞理	政治1年	2

- 講義のねらい** 最近の世界を一つの共同体として考えるようになってきました。従って、気楽に海外に出かける人が急増しています。外国に出かけて楽しく、有意義な経験をしたいならば、自分の言いたいことを正確に伝え、理解してもらえるようにしなくてはなりません。特に留学した場合に必要な情報を伝えるための会話的表現を学習し、自分の言いたいことを正しく言い表せるように、実際に活用できる英語の能力向上を目指します。
- 講義の内容・授業スケジュール** 教科書にそって基礎的な英文構造、成句、熟語をできるだけ多く学習し、Dialogue形式による表現学習、特に大切な単語習得を目指します。
- 履修上の留意点** 予習しておくこと。授業には必ず辞書を携帯すること。
- 成績評価の方法** テストは学習した章を中心に分割しておこないます。3分の2以上の出席（出席重視、原則的に遅刻は認めない）、小テスト、授業中の発表（30～40%）、定期試験の結果を入れて総合的に評価します。
- 教科書** 『海外留学・旅行 表現英作文』（南雲堂）1,300円
プリントを使用することもあります。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A	佐藤江里子	政治1年	2

- 履修上の留意点** 必ず予習をし、辞書を用意して授業に出席すること。
- 成績評価の方法** 出席、発表、小テスト、授業態度などの平常点と、前期後期試験による総合評価。
- 教科書** <未定>

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A	山岸二郎	政治1年	2

- 講義のねらい** 英語に関する知識を整理しつつ、英文表現に努める。
- 講義の内容・授業スケジュール** 各課の解説と練習問題の学習割合を1：2、One Chapterにつき2～3回程度の進捗で学ぶ。
- 履修上の留意点** 必ず予習しておくこと。
- 成績評価の方法** 平常の学習、前期後期のテスト、小テスト等総合して評価する。
- 教科書** 『English for Your Future I（基礎からの英語演習I）』（マクミラン）2,000円
ISBN4-89585-483-3 C3082

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A	ササキ, M.	政治1年	2

講義のねらい

Do you like to travel? Then please join my class. We will study English for a specific purpose: *TRAVEL*. Through watching video, you will experience how to use airport transportation, check into a hotel, and ask for directions, etc.

成績評価の方法

You will be graded on assignments, interview tests and pop-quizzes. You must attend at least 2/3 of the classes in which attendance was taken in order to pass.

教科書

Text: "Viva! San Francisco"

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A	朝川真紀	政治1年	2

講義のねらい

日常生活におけるコミュニケーションに必要な基本的英語表現力を身につける。

講義の内容・授業スケジュール

授業の始めに単語テストを行う。毎回課題の予習状況をチェックする。テキストは2課ずつ進めていき、練習問題を行いながら重要な表現方法を覚えていく。

履修上の留意点

予習は毎回行うこと。辞書は必ず持参すること。遅刻した者は授業開始30分まで入室を認めるが、遅刻3回で1回欠席とする。全授業数の3分の2以上出席していない者は不合格とする。

成績評価の方法

小テスト30%、平常点10%、定期試験60%

教科書

小中秀彦著「比較して覚える基礎英語表現」(朝日出版社) 1,800円 ISBN4-255-15338-8

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A [基礎英語特別クラス]	牧野輝良	法A・政治1年	2

講義のねらい

英文を理解するのに必要な英文の構造、語句等を年間を通じ、しっかりと学習する。

講義の内容・授業スケジュール

英文をよりよく理解するために英語の例文をよく読み、試訳を参考に自分で和訳し、英語と日本語の表現の違いを知ること。

履修上の留意点

毎時間例文を和訳し、提出すること。

成績評価の方法

授業中の課題の提出、3~5課毎の小テスト、期末テスト及び2/3以上の出席を総合して評価する。

教科書

『大学英文法 A to Z』(金星堂) 1,300円 ISBN4-7647-3697-7 C1082

英 語 I B

〈英語 I B の授業内容と履修上の留意点〉

Reading and Listening Comprehension (Reading and Listening) : 入学時の英語を基礎として、より高度な構文の理解と speed reading の基礎を身に付けます。

演習科目なので、全授業日数の 3 分の 2 以上の出席が必要です。レポート、小テスト、プレゼンテーションなどの課題を重視します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I B	木 元 喜久子	法 A 1 年	2

講義のねらい

アメリカ合衆国のエスニックマイノリティー（民族・文化的少数派）の移民史や直面する独自の問題について書かれたテキストを読んで、メディアで流れる主流派のアメリカ社会とは異なるもう一つのアメリカ社会の顔を一緒に探究したい。

講義の内容・授業スケジュール

まず全体をざっと読んで要点と話の流れを把握する速読と、再び詳しく読み直してその内容を確認する精読を通して読解力の向上をめざす。

履修上の留意点

十分な予習と授業への積極的な参加が求められる。授業中には英和辞典を必ず持参のこと。

成績評価の方法

成績は出席率（全授業回数の 2/3 以上）、授業中の発表・課題と、前・後期試験の結果を総合して評価する。

教科書

川村義治、Robert Muraskin（著）『民族から見たアメリカ社会』（成美堂）

その他

水曜日・3 時限。リスニングのテキストについては第一回目の授業で指示します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I B	藤 井 道 行	法 A 1 年	2

講義のねらい

英語の長文をたくさん読むことによって、内容を迅速に、正確にキャッチする訓練をします。

講義の内容・授業スケジュール

教材は、新聞・雑誌から選んだ記事をプリントしたものを用います。主として、日本の職場、学校、地域社会等が直面している問題を扱った記事を読みます。授業では、あらかじめ発表者を指名しておくことはしません。当然のことですが、コンスタントに予習する必要があります。

成績評価の方法

前・後期に実施する試験の成果によって評価が決まります。ただし、出席不良の場合は、受験資格がなくなります。注意してください。

教科書

プリントを用います。

その他

水曜日・3 時限

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I B	み 海 たま やす こ 海 琳 泰 子	法 A 1 年	2

- 講義のねらい** Reading—科学技術の発達は、私達の社会をどの様に変えていくのであろうか。論理的表現に最適な英語を通して、クローン、ナノテクノロジー、宇宙工学等、現代社会に不可欠な情報を正確に取る訓練をする。Listening—BBC World のニュースの聞き取り、新聞記事の dictation.
- 成績評価の方法** 前、後期末試験と年間 8 回の小テストを実施、期末試験は、いかなる理由でも、又一回でも欠試の場合は単位修得不可能。
- 教科書** Paul H. Allum、山村三郎著『Progress in Our World (21世紀の課題)』(成美堂) 1,700円 ISBN4-7919-4054-7 C1082
- その他** 水曜日・3時限

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I B	も 佐 とう 藤 えり こ 佐 藤 江 里 子	法 A 1 年	2

- 講義のねらい** 英文を速く的確に読むための基礎を身につけることを主な目標とします。
- 講義の内容・授業スケジュール** 音読やリスニングを通して英語のリズムに慣れることと、精読とは異なる「理解しながら読む」方法に慣れること、この二点を軸に英文を読みこなすための基礎的な練習をします。まず英文全体に目を通して要点と話の流れを把握したあと、もう一度詳しく読み直して内容を確認します。
- 履修上の留意点** 辞書を毎回必ず持参すること。
- 成績評価の方法** 全授業回数の 3 分の 2 以上の出席が必要です。前・後期試験の結果をベースに、授業中の取り組み方や発言を重視した平常点と、小テスト・レポート等の課題を加味して、総合的に評価します。
- 教科書** テキストについては、第一回目の授業で指示します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I B	も 木 もと きく こ 木 元 喜 久 子	法 A 1 年	2

- 講義のねらい** 国内外の問題を扱う記事を読んで、私たちが住む日本についての理解を深めると同時に、世界の出来事に目を向け自らの位置を確認し世界との距離を測ることで、問題の構造を理解することを目的とする。
- 講義の内容・授業スケジュール** まず全体をざっと読んで要点と話の流れを把握する速読と、再び詳しく読み直してその内容を確認する精読を通して読解力の向上をめざす。また、ディクテーションや会話文を聞き取る練習問題を通してリスニング力の向上もめざす。
- 履修上の留意点** 十分な予習と授業への積極的な参加が求められる。授業中には英和辞典を必ず持参のこと。
- 成績評価の方法** 成績は出席率(全授業回数の2/3以上)、授業中の発表・課題と、前・後期試験の結果を総合して評価する。
- 教科書** 『日本と世界の情勢を知る12の記事』—リーディングとリスニング—(金星堂)
- その他** 水曜日・1時限

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B	藤井道行	法A1年	2

講義のねらい

口語的な英文で書かれたエッセイを丹念に読むことによって、英文表現を活力あるものにする慣用語句に親しみをもてるようにしたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

テキストの各エッセイは、1回の授業で読み切るのに程よい分量のものです。また、英文も堅苦しいところのないフレンドリーなものなどで、無理なく読み進めることができます。授業では、あらかじめ発表者を指名することはしないので、コンスタントに予習をする必要があります。

成績評価の方法

前・後期に行う試験の出来によって評価が決まります。ただし、欠席回数が多い場合は受験資格がなくなります。注意してください。

教科書

Kay Hetherly *American Pie* (NHK Publishing) 750円 ISBN4-14-035057-1 C0082

その他

水曜日・1時限

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B	海琳泰子	法A1年	2

講義のねらい

Reading—イギリスの週刊科学雑誌、New Scientist の記事で構成されたテキストを年間で2冊使用、世界の主要都市に編集局があり、インターネットでも記事を読む事ができる。Listening—BBC World のニュースの聞き取り、新聞記事の dictation。

成績評価の方法

前、後期末試験と年間8回の小テストを実施、期末試験は、いかなる理由でも、又一回でも欠試の場合は単位修得不可能。

教科書

中里、永田、松本編『*Into the Frontier* (知のフロンティア I)』(南雲堂) 1,400円 ISBN4-523-17426-1 C0082

中里、永田、松本編『*Under the Microscope* (知のフロンティア II)』(南雲堂) 1,400円 ISBN4-523-17427-X C0082

その他

水曜日・1時限

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B	木元喜久子	政治1年	2

講義のねらい

アメリカ合衆国のエスニックマイノリティー(民族・文化的少数派)の移民史や直面する独自の問題について書かれたテキストを読んで、メディアで流れる主流派のアメリカ社会とは異なるもう一つのアメリカ社会の顔を一緒に探究したい。

講義の内容・授業スケジュール

まず全体をざっと読んで要点と話の流れを把握する速読と、再び詳しく読み直してその内容を確認する精読を通して読解力の向上をめざす。

履修上の留意点

十分な予習と授業への積極的な参加が求められる。授業中には英和辞典を必ず持参のこと。

成績評価の方法

成績は出席率(全授業回数の2/3以上)、授業中の発表・課題と、前・後期試験の結果を総合して評価する。

教科書

川村義治、Robert Muraskin (著)『*民族から見たアメリカ社会*』(成美堂)

その他

水曜日・3時限、リスニングのテキストについては、第一回目の授業で指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B	藤井道行	政治1年	2

- 講義のねらい** 断片的ではなく、まとまった内容をもつ英文の情報をきちんとキャッチする訓練をします。
- 講義の内容・授業スケジュール** 素材としては、新聞・雑誌からアジアの国々について新たに知ることの多い記事をプリントして読みたいと思います。授業では、あらかじめ発表者を指名しておくことはしません。毎回、いつ指名されても困ることのないようにコンスタントに準備しておく必要があります。
- 成績評価の方法** 前・後期行う試験の出来が評価の決め手となります。ただし、欠席が多い場合には、受験資格を失います。注意してください。
- 教科書** プリント使用。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B	海琳泰子	政治1年	2

- 講義のねらい** Reading—イギリスにとって、ヨーロッパ大陸の文化の流入の窓口となってきたフランス各地をビデオ（アメリカ人の視点）で周遊する。ノルマンディ、リヨン、ランス、ディジョン、コートダジュール等、写真をお目にかける。Listening—BBC World のニュースの聞き取り、新聞記事の dictation。
- 成績評価の方法** 前、後期末試験と年間8回の小テストを実施、期末試験は、いかなる理由でも、又一回でも欠試の場合は単位修得不可能。
- 教科書** 瀧口美子編注『*Touring France*（ビデオで周遊、フランス）』（北星堂書店）1,648円 ISBN4-590-01021-6 C3382 P1648E

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B	佐藤江里子	政治1年	2

- 講義のねらい** 英文を速く的確に読むための基礎を身につけることを主な目標とします。
- 講義の内容・授業スケジュール** 音読やリスニングを通して英語のリズムに慣れることと、精読とは異なる「理解しながら読む」方法に慣れること、この二点を軸に英文を読みこなすための基礎的な練習をします。まず英文全体に目を通して要点と話の流れを把握したあと、もう一度詳しく読み直して内容を確認します。
- 履修上の留意点** 辞書を毎回必ず持参すること。
- 成績評価の方法** 全授業回数の3分の2以上の出席が必要です。前・後期試験の結果をベースに、授業中の取り組み方や発言を重視した平常点と、小テスト・レポート等の課題を加味して、総合的に評価します。
- 教科書** テキストについては、第一回目の授業で指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B	かめ だ み え こ 亀 田 三 重 子	法A・政治1年	2

講義のねらい

時事問題は刻々と変わってゆきます。今回「日本」に関しては、家庭、環境の問題、日韓問題を取り上げ、「世界」関係では、アメリカの国内問題、アフガニスタン、イラクなどでの戦争を考えます。

講義の内容・授業スケジュール

英文記事を読み、内容把握と listening を行います。記事に関する英作文や会話練習をします。

履修上の留意点

記事は必ず読んで来る事。内容は国内外の現在の政治情勢を扱います。専攻分野ですから、積極的に考え、発言する事を要求します。

成績評価の方法

発表を含む日常点、出席、試験結果などを総合的に判断し、評価します。

教科書

『日本と世界の情勢を知る12の記事』（金星堂）1,800円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B 〔基礎英語特別クラス〕	み た ま や す こ 海 琳 泰 子	法A・政治1年	2

講義の内容・授業スケジュール

Reading - イギリスの週間科学雑誌、*New Scientist* の記事で構成されたテキストを年間で2冊使用。正確に情報を取る訓練をする。
Listening - BBC World のニュースの聞き取り新聞記事の dictation。

履修上の留意点

試合出場で欠席の折は、所定の文書で欠席届けを提出の事。

成績評価の方法

毎回、発表、小テストで評点を出す。その積み重ねで成績評価される。

教科書

2冊、中里、永田、松本編
① *Into the Frontier* 『知のフロンティア1』 ISBN4-523-17426-1 C0082
② *Under the Microscope* 『知のフロンティア2』 ISBN4-523-17427-X C0082
(南雲堂) 1,400円

その他

水曜日・4時限

英 語 II A

〈英語 II A の授業内容と履修上の留意点〉

英語による意思伝達 (Writing and/or Speaking) : I A を基礎として、より高度な英語の運用能力を身に付けます。

演習科目なので、全授業日数の3分の2以上の出席が必要です。レポート、小テスト、プレゼンテーションなどの課題を重視します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 II A	<small>おお た まさ こ</small> 太 田 雅 子	法 A 2 年	2

講義のねらい

英語のスピーキングとリスニングの力を養成することを目標とする。

履修上の留意点

全授業数の3分の1以上欠席した者には単位を認定しない。その他履修上の注意点は、第1回目の授業で指示するので、必ず出席すること。

成績評価の方法

毎回小テスト。

教 科 書

Hit Parade Listening Second Ed. (マクミランランゲージハウス)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 II A	<small>すぎ むら はつ え</small> 杉 村 初 枝	法 A 2 年	2

講義のねらい

英文を書く上で必要な文型・文法を学び、英語らしい表現の習得を目指します。センテンスからパラグラフィティングに達する事を目的とし、テーマに沿った文章構成の基礎を学びます。

講義の内容・授業スケジュール

授業は、テキストの演習を中心に進めます。随時、レポートの提出を課します。

履修上の留意点

出席回数が全授業回数数の3分の2に満たない場合は、成績評価の対象となりません。

成績評価の方法

授業時の発表、レポート、前後期に行う試験により評価します。詳しい評価基準は開講時に指示しますが、レポートは、必ず規定の枚数提出してください。

教 科 書

開講時に指示します。

参 考 書 等

英和・和英辞典はプログレッシブ以上のものを用意してください。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡA	小山太一	法A2年	2

講義のねらい

イギリス社会を批評するコラム集（といっても、まじめ半分・冗談半分のもの）を読むことによって、中等程度の読解力増強をはかります。

講義の内容・授業スケジュール

文法的な面からしっかり読めているかどうかをチェックするとともに、英語の流れを汲み取って楽しく読んでゆくことをめざします。

履修上の留意点

全回数の3分の2以上の出席、および予習は必須です。授業にはテキストと辞書を持参してください。

成績評価の方法

日常の発表を重視し、期末試験の結果と合わせて総合的に評価します。

教科書

George Mikes *How to Be a Brit* (Penguin Books)

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡA	松堂啓子	法A2年	2

講義のねらい

基本的な句読法等を確認しながら、日常生活に必要なライティングを学んでいく。

成績評価の方法

日常の発表及び演習を重視し、試験の結果等を含めて総合的に評価する。

教科書

Essential Writing Skills (南雲堂)
Essential Listening (マクミラン・ランゲージハウス)

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡA	高柳文江	法A2年	2

講義のねらい

自分の思っている事を英語でいかに適切に表すのか、Writing、及びSpeakingの両面から表現できる事をめざします。

講義の内容・授業スケジュール

教科書の中の演習問題、会話を中心に皆さんが度々出くわす様々な状況でどのように英語で表現していくのかを学びます。Writing能力だけでなくSpeaking能力も重視され、毎時間Speakingによる発表が課されます。

履修上の留意点

授業の内容上、予習は必ず必要です。2/3以上の出席が課されます。座席指定。

成績評価の方法

試験（前期・後期）60%、日常点（出席、小テスト、提出物、授業への取り組み方等）40%

教科書

Lively Writing: English Composition Through Dialogues (南雲堂) 1,800円 ISBN4-253-17388-5 C0082

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡA	堀 千和子	法A2年	2

講義のねらい	映画を題材にしたテキストで、実際の場面で使われている英語表現をマスターします。
講義の内容・授業スケジュール	映画を字幕なしで見たり、背景知識の解説の英文を読んだりすることで、内容を把握します。その後で、インプットした英語表現を使って作文したり、シャドウイングやスピーキングの練習をしていきます。年間に10本程度の映画（抜粋）を見ますが、各単元の内容に応じて関連した副教材（ニュース、新聞、インターネット記事、歌など）を適宜取り入れていく予定です。
履修上の留意点	毎時間ビデオを見ての学習となるので、欠席しないこと。また、授業には必ず自分のテキストを持参し、集中して臨むこと。
成績評価の方法	成績は、前・後期の試験、授業中の貢献度、提出物、休暇中の課題、小テストから総合的に判断する。欠席は1回につき2点の減点とし、通年の授業回数の3分の1以上の欠席で失格とする。欠席分を補う提出物はないので、くれぐれも欠席しないこと。
教科書	John S. Lander 『ハリウッド・ダイアログ』（朝日出版社）1,800円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡA	風 間 則比古	政治2年	2

講義のねらい	英語に限らず語学の勉強は'hearing', 'speaking', 'reading', 'writing'に分かれるが、ここでは主にreadingを通して意味を正確に理解することを学ぶ。
成績評価の方法	評価は出席、発表、前期と後期の試験結果などを総合して決める。
教科書	<i>Prosperous Life</i> （豊かな生活）（南雲堂）

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡA	木 村 正 俊	政治2年	2

講義のねらい	既習の英語知識と運用能力をさらに高度にするための実際的な訓練を行なう。
講義の内容・授業スケジュール	各分野の時事的な英文を素材に、音声テープで内容把握をしたあと、重要語句と構文の確認を行ない、さらにそれらを用いて口頭で表現する練習を行なう。テキストは全体で20章あるので、各回1章の割合で進む予定である。1章を終わるごとに小テストを実施する。
履修上の留意点	授業への参加度を重視するので、毎回欠かさず出席するよう心がけること。復習を大事にし、音読を繰り返し行なってほしい。
成績評価の方法	平常点で評価する。すなわち、授業中に行なう小テストの成績、レポート等提出物の成績をもとに、出席状況、授業への参加意欲等を考慮して総合的に判定する。
教科書	『新・時事英語へのニューアプローチ 2004/2005』（三修社）1,800円 ISBN4-384-33349-8 C1082

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡA	北村弘文	政治2年	2

講義のねらい

英語(A)の授業であるから、特に英語で自由に発信できる力を養うことを目指すのは言うまでもないことですが、一年中文法作文の内容の授業では話題性を欠き、味気ないので、テキストには総合教材を使用します。

成績評価の方法

定期試験(前・後期)の成績以外に、授業中の発表、レポート、出席状況などを勘案して評価します。

教科書

『YOUNG POP CULTURES』(郁文堂) 1,751円
 なお、テキストの目次は以下の通り(参考までに)

CONTENTS

CHAPTER 1 COLLEGE LIFE(A)...1
 CHAPTER 2 COLLEGE LIFE(B)...6
 CHAPTER 3 SPORTS(A)...11
 CHAPTER 4 SPORTS(B)...16
 CHAPTER 5 DATING(A)...21
 CHAPTER 6 DATING(B)...26
 CHAPTER 7 DRINKING(A)...31
 CHAPTER 8 DRINKING(B)...36
 CHAPTER 9 CARS(A)...41
 CHAPTER10 CARS(B)...46
 CHAPTER11 FAMILY RELATIONS(A)...51
 CHAPTER12 FAMILY RELATIONS(B)...56
 CHAPTER13 GUNS(A)...61
 CHAPTER14 GUNS(B)...66
 CHAPTER15 GIFT-GIVING(A)...71
 CHAPTER16 GIFT-GIVING(B)...76
 CHAPTER17 FASHION(A)...81
 CHAPTER18 FASHION(B)...86
 CHAPTER19 PUBLIC MANNERS(A)...91
 CHAPTER20 PUBLIC MANNERS(B)...96
 CHAPTER21 THE ELDERLY(A)...101
 CHAPTER22 THE ELDERLY(B)...106
 CHAPTER23 CAREERS(A)...111
 CHAPTER24 CAREERS(B)...116

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡA	岩永祥恵	政治2年	2

講義のねらい

本講義では作文力の強化、育成を目指す。文法を踏まえて基礎的な作文の表現力を養成するとともにパラグラフライティングの方法を学び、質量共にまとまった内容のパスセージを書くことを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

ライティングのテキストを使用し、基礎を固める。前期は文法復習と共に基礎を固めて、手順を学び、後期はグループもしくは個人でトピックを選んで資料を集めて文章を作成する方向に移行する。前期後期で少なくとも各2~3本のペーパーを課す予定である。

履修上の留意点

毎回の授業への積極的な参加。辞書を持参すること。

成績評価の方法

出席、予習、課題提出、試験等を総合的に判断して評価する。

教科書

静哲人著 *Writing Facilitator* (松柏社) 1,800円 ISBN4-88198-537-X

参考書等

開講時に指示する。

英 語 II B

〈英語 II B の授業内容と履修上の留意点〉

Speed Reading and Intensive Reading: I B を基礎として、できるだけ多くの量を読めるように、大意の把握に心掛け、読む速度を上げます。また、より高度な英文を正確に理解するための構文も学びます。

演習科目なので、全授業日数の3分の2以上の出席が必要です。レポート、小テスト、プレゼンテーションなどの課題を重視します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 II B	鈴木美貴子	法A2年	2

講義のねらい	英文読解力の向上を目指す
講義の内容・授業スケジュール	雑誌・新聞等から読み応えのある様々な話題を集めたテキストを読む。また、時事英語に触れながら速読力を高める為に、随時こちらで用意するプリントを読んでいただく。
履修上の留意点	常に辞書持参、予習必須
成績評価の方法	出席状況、前・後期試験、提出物により総合的に評価する。
教科書	夏目・河原 編著『今、生きている世界を読む World Outlook』 (朝日出版社) 1,800円 ISBN 4 - 255 - 15388 - 4 C1082

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 II B	林 明 人	法A2年	2

講義の内容・授業スケジュール	この授業は精読を通し、未知の語を含んだ長文であっても辞書を用いながら何とか文の要素を把握できるようになることを目的とします。自らの英語の知識を駆使し、長文を解読することが、まるで推理小説を読むようにスリリングだと実感できるようになります。あらかじめ各ユニットの試訳を皆さんに提出してもらい、質問をしながら授業を進めます。
成績評価の方法	前・後期の定期試験、ユニットの試訳、出席の総合評価。
教科書	『今、生きている世界を読む』(朝日出版) ISBN4 - 255 - 15388 - 4 C1082

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 II B	井伊 ^{のぶ} 順 ^{ひこ} 彦	法A2年	2

講義のねらい

現代アメリカの文化に関する興味深い文章によって読解力をきたえるとともに、英語を「聞く」、「書く」力ものばす。

講義の内容・授業スケジュール

毎回、かなりの時間はテープを聞いて問題に答える（口答もしくは筆記で）ことに費やされる。ときおり、ビデオを観てアメリカ社会の現状を視覚的に学びつつ、聞き取りの力の向上にも生かしたい。

履修上の留意点

毎回、全体の半数近い諸君が指名され、なんらかのかたちで答えることになる。積極的な参加を期待する。

成績評価の方法

数回の小テスト、質疑応答の出来、出席数を柱とするが、詳細は教室で。

教科書

Charles M. Knudsen 著 *Stranger than Fiction* (南雲堂)

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 II B	太田 ^{おお} 雅 ^た 子 ^{まさ}	法A2年	2

講義のねらい

英文をいちいち日本語に訳さなくても、上から順に読解していく訓練を行なう。

講義の内容・授業スケジュール

最初は精読、慣れてきたら速読の練習をする。

履修上の留意点

予習は必須。

成績評価の方法

平常点と前期、後期試験

教科書

Interesting Legal Stories (松柏社)

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 II B	平 ^{ひら} 林 ^{はやし} 卓 ^{たく} 郎 ^{ろう}	法A2年	2

講義のねらい

英語の技能は聞く、話す、読む、書くの4つに分けられる。この授業は英語II Bなので読解力に主眼を置く。また英文の中に重要な語彙、イディオム、構文などが使われているので多様性に富んだ英文を学ぶことになる。内容的には経済社会の基盤をなしている健康と経済をテーマにした題材を勉強する。また授業を通して主体性の養成も目標の1つである。

履修上の留意点

授業はスムーズに行なわれるよう必ず予習してくること。

成績評価の方法

前期、後期の試験の結果とレポート・出席点によって評価する。

教科書

ジョアン・ペロケティ *Bountiful Economics* (南雲堂) 1,900円+税

参考書等

その都度指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 II B	なかばやし まさみ 中林正身	法A2年	2

- 講義のねらい 多くの量の英文を読めるように、大意の把握に心がけるリーディングをしていく。
- 講義の内容・授業スケジュール 一冊の長編小説を一年かけて読むようなことはしないで、一回乃至は二回の授業で読み終えるくらいの長さでレベルの英文をできるだけ数多く読んでいきたい。従って、従来諸君の多くが経験してきたであろう逐語訳をしながらの輪読形式は採らない。とにかく英文を皆で順番にドンドン読んでいく。質問があれば僕がそれに答え、ときには僕のほうから諸君に質問をする。互いに質問がなければ、ひたすらに読み進む。
- 成績評価の方法 出席状況と授業への参加態度、そして各期末試験を総合的に評価する。
- 教科書 最初の授業時に指示する。
- 参考書等 Collins Cobuild English Dictionary
- その他 授業は演習形式で行なう。従って学生諸君の毎回の授業への参加態度は重視される。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 II B	たなか たもつ 田中保	政治2年	2

- 講義のねらい 英文の構文を理解し、読解力を培う。また、大意の把握にも心がけ、読む速度を高めていくように学習をする。
- 講義の内容・授業スケジュール 授業はテキストにそって進めますが、予習を前提とした発表形式によって行ないます。
- 履修上の留意点 必ず予習をして授業に臨むこと。
- 成績評価の方法 授業時の発表・前期後期の試験・出席・レポート等を総合的に検討して評価します。
- 教科書 『数が語る世界』（南雲堂）1,800円 ISBN4-523-17218-8

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 II B	ましもと しげかず 岸本茂和	政治2年	2

- 講義のねらい ヨーロッパ文化の理解をとおして現代ヨーロッパ事情を読みといてゆく。
- 講義の内容・授業スケジュール 「習うより馴れる」をモットーに、一年間でできるかぎりの量をこなしてゆきたいとねがっている。
- 履修上の留意点 授業には英和辞典をかならずもってこること。
- 成績評価の方法 試験は前期・後期の2回。全授業日数の3分の1以上欠席のばあいが「不可」とする。
- 教科書 『生まれ変わるヨーロッパ』（成美堂）1,800円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英 語 II B	いわ やま よし はる 岩 山 義 春	政治2年	2

講義のねらい

このクラスでは、英文の読解力とCNNニュース等を聞いてアウトラインを書く力を養うことを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

授業の前半では、ニュースを聞き、簡単にまとめる練習をする。毎回身近な話題のニュースを聞くことにより、英会話にも役立つ語彙や英語表現が身につきます。授業の後半では、テキストを読みます。使用するテキストはやや内容が難解なのでしっかりと予習をして授業に出席することを望みます。

成績評価の方法

前・後期末試験を全評価の60%とし、毎回提出するプリントとクラス・アクティビティーを40%とする。全授業回数の1/3以上を欠席した学生はこのクラスをパスできないものとする。

教 科 書

Books As Opinion Makers (松柏社)

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英 語 II B	たん し ひろ まさ 丹 治 弘 昌	政治2年	2

講義のねらい

教場にて説明いたします。

講義の内容・授業スケジュール

教場にて説明いたします。

履修上の留意点

教場にて説明いたします。

成績評価の方法

成績評価は、3分の2以上の出席とそれぞれの期末テストによって行います。

教 科 書

プリントを使用します。

英 語 II D

<英語 II D の授業内容と履修上の留意点>

専門学部にあった英語のテキストを用いおこなう講読の授業です。

外国語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 II D	前期：町田 尚子 後期：照山 雄彦	法 A 2 年	2

講義のねらい

前期：海外の英語新聞から法律や政治の問題を扱った報道記事、特集記事、論説・社説を選び、メディアの英語の習熟と内容の正確な理解を目指す。以下のウェブサイト等からの電子記事を利用する予定。<http://www.nytimes.com> <http://www.washingtonpost.com> <http://www.guardian.co.uk> <http://www.straitstimes.com> <http://www.atimes.com> <http://www.iht.com>
後期：これまで学んできた英語力を基礎として自分の考えや意見を表現できる能力を身につけることを目標とする。また英語読解力の養成とリスニングの向上をめざす。

講義の内容・授業スケジュール

前期（4・5・6月）：報道記事を速読し英語文体に慣れる。見出しの文法、同格表現、言い換え（パラフレイズ）、分詞構文、関係節、従属節などスペース上求められる構文の理解を徹底する。
7月第1週目に中間試験を実施し第2週目に前期成果を伝える予定。

履修上の留意点

前期：記事・社説を担当し、要約を発表する演習形式で授業を進めます。予習と疑問・問題点をもって毎授業に臨む姿勢が前提です。テキスト教材はすべてプリントコピーで準備し、前もって教場で渡します。

成績評価の方法

平常授業での発表を重視し、授業の態度、予習の有無、定期試験の結果を総合して評価します。

教科書

前期：プリント、後期：教場で指示。

参考書等

『時事ニューズワード2004→2005』（時事通信社）
その他、必要に応じてその都度紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 II D	岩 屋 玉 江	法 A 2 年	2

講義のねらい

海外の社会問題に関する認識と知識を深めながら、英文の読解力の向上を目的とします。

講義の内容・授業スケジュール

授業は予習復習を前提とした発表形式でおこないます。

成績評価の方法

評価は出席および演習への参加状況、小テスト、前期・後期試験等を総合しておこないます。

教科書

Snapshot USA（金星堂）1,850円 ISBN4-7647-3711-6

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 II D	真砂久晃	法A2年	2

講義のねらい

法学部2年次生の購読授業。社会科学系の英語の読解力向上を目指す。

講義の内容・授業スケジュール

初回の授業でオリエンテーションをする。必ず出席すること。

履修上の留意点

出席が3分の2未満の学生は単位を取得できない。但し、正当な理由のある欠席に関しては考慮する。

成績評価の方法

成績 = (前期の成績 + 後期の成績) ÷ 2
 前期、後期共、成績は (100点満点) = 出席点 (20~30%) + テスト (70~80%) となる。

教科書

W. Balsamo 他著 *A Changing America in a New World* (金星堂) 1,600円 税別

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 II D	丹治弘昌	法A2年	2

講義のねらい

教場にて説明いたします。

講義の内容・授業スケジュール

教場にて説明いたします。

履修上の留意点

教場にて説明いたします。

成績評価の方法

成績評価は、3分の2以上の出席とそれぞれの期末テストによって行います。

教科書

プリントを使用します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 II D	相馬美明	法A2年	2

講義のねらい

これまで培ってきた英語力を基礎として、様々な英語の運用能力(発話・読解・聴解)を身につける。教科書の読解を通じ、精読、多読の両面から、英語そして日本語訳に対する理解を深める。また、種々の検定試験対策として、適宜 TOEIC® のリスニング・セクションの問題等にも触れ聴解力を高めてゆく。

成績評価の方法

全授業日数の2/3以上の出席を基本とし、前期・後期に行う試験、及び授業で行う小テスト、また授業態度等を含め総合的に評価する。

教科書

Mituko Sugawara *10 - Minute Listening (Introductory)* (桐原書店) 780円
 和田晋一・大東俊一他『*Your Access To The Future* (国際社会へ英語でアクセス)』(南雲堂フェニックス) 1,800円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 II D	たなか たもつ 田 中 保	法A 2年	2

講義のねらい

英文の読解力を養成する。構文を正確に理解し、多くの量を読めるように、大意の把握を心がけ、読む速度を高めていくようにする。

講義の内容・授業スケジュール

時事・社会科学系のテキストを使用して、テキストにそって授業は進めますが、予習を前提とした発表形式によって行います。

履修上の留意点

必ず予習をして授業に臨むこと。

成績評価の方法

授業時の発表・前後期の試験・出席等を総合的に検討して評価します。

教 科 書

『ニュースメディアの英語』（朝日出版社）1,680円 ISBN4-255-15392-2

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 II D	きしもと しげかず 岸 本 茂 和	法A 2年	2

講義のねらい

世界の各地でおこっているさまざまな事件や状況をとおして、いまそこに生きているひとりとして存在していることを実感する。

講義の内容・授業スケジュール

一年間でできるかぎりの分量をこなしたいとねがっている。

履修上の留意点

授業にはかならず英和辞典をもってくること。

成績評価の方法

試験は前期・後期の2回。 全授業日数の3分の1以上欠席のばあいは「不可」とする。

教 科 書

『今、生きている世界を読む』（朝日出版社）1,800円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 II D	まるこ てつお 丸 小 哲 雄	法A 2年	2

講義のねらい

法律問題を素材として思考・推論・判断などの運用するための言語能力を目指します。社会現象の捉え方とその分析とコメント力の涵養が大事ですので、法律用語に親しみながら、法律的表现とリーガル・マインドの育成に役立てたい。問題意識を高めるために英字新聞・雑誌の購読はこの演習の前提条件です。

講義の内容・授業スケジュール

リスニング・タイムを総合理解をして、リーディング・タイム法律問題を読み、推論・判断を通して自己表現できるように発信型の能力も涵養してゆきます。レポート提出も課題とします。

成績評価の方法

出席、平常テスト、レポート作成課題(開講時に指示)、前期・後期の試験などの総合評価。クラスでの発表者には別途評価。

教 科 書

リーディング・テキスト：Viewpoints in Law (マクミラン)
リスニング・サブテキスト：12 Great Hit Songs : Listening Workbook (英宝社)

参 考 書 等

参考書：参考書を随時指示し、日常言語プリントや時事英語ニュースのコピーも適宜配布します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡD	ひやますすむ 桧山 晋	法A2年	2

講義のねらい

英字新聞の基本的読解力習得を目指す。

講義の内容・授業スケジュール

(前期) 基礎を固める。(後期) 応用力を伸ばす。

履修上の留意点

授業中何度も発信を求める。欠席・遅刻回数等の問い合わせには一切応じないので自己管理すること。携帯を授業中に鳴らした者は退室してもらい欠席扱いとする。毎回小テストを行い、小テスト解答終了時以降の入室は欠席扱い。

成績評価の方法

小テスト、出席、授業参加、発表等の平常評価50%、前期・後期試験50%。全授業日数の3分の1以上を欠席した者は自動的に「不可」。

教科書

第一回目の授業で指示。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡD	いいぬまよしなが 飯沼 好永	政治2年	2

講義のねらい

日本および世界が抱えるさまざまな問題を題材とした英文や欧米の学者の著した英文を読み、難易度の高い英文でも、正確に内容を把握できる読解力を養っていきたい。

履修上の留意点

授業は予習を前提として進めていきます。

成績評価の方法

出席状況、授業への取り組み方、課題、定期試験等を考慮して行う。平常評価(50%)、前期・後期試験(50%)

教科書

開講時に指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡD	ほんまとしかず 本間 俊一	政治2年	2

講義の内容・授業スケジュール

近年の情報革命はかつてない様相を呈し、ITやE-Mail、ECなどによってinternationalという言葉ではなくglobalという言葉で世界を説明しなければならない時代に突入した。このような時代にあって英語教育の世界も極めて刺激的な段階に至ったように思える。ある意味では、変革期は混乱を生み出すことにもなるのだが、私はこれらのNew Mediaを学習の動機づけととらえ、今日の話題を提供するつもりである。学生諸氏も、これを機会にコンピューター・ネットワークに習熟することが望まれる。

成績評価の方法

前期・後期の二回のテストと不定期に要求されるレポートによって評価される。又、普段の出席回数、授業中の発表も加味される。

教科書

Let's Enjoy Economics (南雲堂) 1,957円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡD	おお ぶち とし はる 大 湊 利 春	政治2年	2

講義のねらい

時事英語のテキストの中から特に政治に関わるトピックを選び、それを読み、聞き取る能力を養うことを狙いとする。

講義の内容・授業スケジュール

毎回テキストを読みすすめ、同時にリスニングの小テストを行う。

履修上の留意点

毎回多くの学生に発表してもらうので、予習をしっかりと行って下さい。また、辞書を必ず持参して下さい。

成績評価の方法

平常点50%、前、後期試験50%で評価します。平常点は出席率、発表の内容などから総合的に評価します。

教科書

Current English—2004/2005 Edition— (成美堂) 1,800円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡD	て しま けい こ 手 島 敬 子	政治2年	2

講義のねらい

身近な法律問題に関する話題を取り上げた記事を読むことで、抵抗なく法律英語に対する理解力を養うことを目標とします。

講義の内容・授業スケジュール

なるべく辞書に頼らず短時間に効率良くテキストを読む練習、さらにテキストの趣旨・要点を正確にとらえる練習を行っていきます。

履修上の留意点

英和辞典を必ず持参。

成績評価の方法

中間・定期試験、課題、出席状況、授業への参加度などに基づき総合的にを行います。

教科書

開講時指示。

英 会 話 I

〈英会話 I の授業内容と履修上の留意点〉

基本的な日常表現ができることを目指した大学初級レベルの英語会話の授業です。達成目標の目安は英検 2 級合格、TOEFL®のスコアー450点、TOEIC®のスコアー500点程度。I A の振り替え選択科目です。各担当者の講義内容 (syllabus) をよく読み、時間表で曜日・時限を確認してクラスを選び、事前登録をしなければなりません。

1 クラスの受講人数に制限があるので、希望通りに選択できない場合もあります。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 会 話 I	ウェルズ, J. K.	法 A ・政治 1 年	2

講義のねらい

WELCOME TO ENGLISH CONVERSATION I !!

Come to my class and learn to speak English by question and answer in pairwork. Learn proper pronunciation and challenge yourself. The 1st semester will be question and answer, while the 2nd semester will be role playing activities.

成績評価の方法

However, attendance is very important ! Small tests and quizzes will also be given. LET'S HAVE FUN

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 会 話 I	ソルタ, P. N. F.	法 A ・政治 1 年	2

講義のねらい

English Conversation I was designed for typical Japanese high school graduates who have studied English for six years at junior and senior high school, but have great difficulty in speaking and understanding spoken English. The course helps students overcome their natural shyness at speaking in a foreign language, and gives them many opportunities to practice, in a meaningful context, communicating in natural spoken English. This enables students to build up their speaking and listening skills, and improve their ability to understand and use real English for real communication. Finally, this course seeks to increase the number of situations in which students can function using real-world English.

講義の内容・授業スケジュール

A textbook with 15 units and the instructor's worksheets will be used as sources of classroom material. The course is based on the principle that the only way to become fluent in a language is through lots of practice. The emphasis in this class, therefore, will be firmly on speaking and listening exercises. Students will do most of their exercises with one other student (this is called pairwork) to give everyone the maximum number of opportunities for speaking and listening practice.

履修上の留意点

It will be assumed that students taking this course have studied English language at high school level for six years. Students must be willing to take a class where the instructor will speak only English. Students should note that only two absences per semester are permitted in this course. Constant attendance, and a positive attitude towards and active participation in all class activities, will be essential for a passing grade in English Conversation I.

成績評価の方法

A final grade will be based on three measures: a mid-year exam (30%), an end-of-year exam (30%), and a mark based on attendance, attitude in class and class performance throughout the year (40%). The nature of the exams may vary depending upon the class size. An interview-style exam will be given if the number of students is small. Otherwise, listening and written exercises will be used.

教 科 書

Communicate : book 1a / David Paul / Macmillan Language House, ¥1,230
ISBN0-435-26119-3

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 会 話 I	ジトウィッツ, P. D.	法A・政治1年	2

講義のねらい

To help students English in a variety of social usel and business situations. To increase students' working vocabulary and to improve pronunciation.

講義の内容・授業スケジュール

Students will intensively practice English through intensive pair work and assigned dialogues.

成績評価の方法

Students are expected to attend at least 80% of all classes and to positively participate in classes.

教 科 書

Teamwork by Richard Carrington, Macmillian Language House, 1994.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 会 話 I	ピアス, D. M.	法A・政治1年	2

講義のねらい

Please join this class together with your friends! During most of the class period you will be talking to each other in groups. You will not be learning any more English; all you have to do is to start using what you already know. By the end of the course you should be able to speak enough English to travel in foreign countries, talk with foreigners, and communicate about all the usual things in everyday life. Our textbook will guide you through everything. You will learn all the conversation patterns for everyday situations such as buying things, getting information, making reservations. The course also aims at helping you to find good employment in the future, and so we will concentrate on TOEFL®, EIKEN, and TOEIC®. There will also be a lot of intensive practice in English composition, which you can practice together in groups. It's a lot of fun!

履修上の留意点

Attendance and active participation are most important, because improvement in English speaking depends on the amount of practice. Please attend all of the classes. The student may miss six classes in the year and still pass; if the student misses five classes, the final grade will be one letter-grade less than what the student would otherwise have received.

Apart from the two final-semester examinations, there will be frequent small exams. Such exams are not intended to apply pressure; an examination is an excellent method of learning. All exam questions will be questions that we have done together in class, which are printed in the textbook.

成績評価の方法

Your final grade is how good your employment will be after university graduation. Never forget that English ability is extremely important when you are looking for employment; you will be able to get better employment if you improve your English this year. You are taking a high-quality English course to get better employment in the future, not just to get a university grade!

Your final grade depends 70% on your class performance, in every class. I will keep a record of your participation in every single class meeting. This is a course for English conversation; one can improve speaking ability, similarly to playing piano, only by constant practice. This is true no matter how advanced the student may be. Therefore, attendance is extremely important, and the examinations have minor effect on the final grade. Finally! Everyone in the class is equally able to get an "A" in the class, because the final grade does not depend on the final examination. Even if a student cannot speak English at all, he/she has as much a chance as the other students to get an "A" because his final grade depends on his effort and his improvement in comparison to his initial ability.

教 科 書

We will probably use *American Sociology*, Themis Research Group as our textbook. In the first class meeting we will have a diagnostic test to determine the appropriate level of the class; do not buy the text until after the first class. Also recommended is an English-Japanese dictionary or a battery-powered dictionary. There will be some effort to absorb the vocabulary of written English that you probably do not know.

科目名	担当者名	配当学科	単位
英会話 I	プラスキー, J.C.	法A・政治1年	2

講義のねらい

The goal of this course is for students to begin to express themselves at a basic level of proficiency about themselves and other topics about which they are familiar.

講義の内容・授業スケジュール

This class will primarily consist of student discussions. Topics will focus on the students, school, family and friends. These activities will be supplemented with grammar, pronunciation, intonation, stress and rhythm exercises as well as listening practice.

履修上の留意点

Students will be required to complete homework assignments before each class.

成績評価の方法

Students will be evaluated on the basis of class participation (50%), homework (30%) and a final oral test (20%) given during the last class meeting.

教科書

None.

科目名	担当者名	配当学科	単位
英会話 I	ラージ, R.	法A・政治1年	2

講義のねらい

The goal of this class is to give students simple fluency and confidence in English conversation by developing listening skills, asking questions and communicating information about themselves, their families, interests, homes and neighborhoods. Special attention is given to pronunciation. Students are given basic exposure to the differences in English spoken in the US and UK.

講義の内容・授業スケジュール

Vocabulary building and conversations in Present Simple and Present Continuous tense (some introductory use of future and past tense) about the following subjects: Personal information and meeting people; home and classroom objects, places around town and everyday activities; nationalities, professions and describing people and things; describing the weather; talking about family members, activities and events; asking directions, describing locations, describing and asking questions about neighborhoods and apartments; clothes, colors, going shopping; likes and dislikes, feelings; numbers; speaking about days of the week, months, years.

The class meets once a week for 90 minutes. After roll call, students follow modeled exercises in the text. Additional vocabulary is introduced and practiced. Once the model is established, pair-work, group-work and conversations around and beyond the model are practiced. To enhance listening skills 'conversations on tape' are played. Students listen and answer relevant questions. Homework consists of memorizing the new vocabulary and models, and completing grammar exercises in the Workbook. Extra materials including vocabulary, grammar exercises and conversation games are used in addition to the text.

履修上の留意点

Students must be punctual. They must bring their Textbooks and Workbooks for every class. They should be ready for unannounced quizzes and tests.

成績評価の方法

There is no final exam. Students will be marked for (i) Speeches (on predetermined topics) and answering questions on the speech (ii) 3 or 4 written tests over the year (iii) effort and class participation (hard work and improvement over the year). Students absent for more than 2/3 of the year will fail the course.

教科書

I) *Side by Side* (Third Edition) Book 2 *Student's book* by Steven J. Molinsky & Bill Bliss. Published by Pearson Longman. ISBN # 0-13-183935-7
 II) *Side by Side* (Third Edition) Book 2 *Activity Workbook* by Steven J. Molinsky & Bill Bliss. Published by Pearson Longman. ISBN # 0-13-026750-3

科目名	担当者名	配当学科	単位
英会話 I	レイン, R. V.	法A・政治1年	2

講義のねらい

This course will help the student to : 1) use conversational English language patterns and idioms with increased confidence, and 2) improve their presentation-skills.

講義の内容・授業スケジュール

The first half of the class is devoted to textbook speaking activities (done in pairs) to provide the student with opportunities to use a variety of language patterns and verb tenses. The second half of the class is devoted to students giving presentations in both small groups and in front of the class. Students are expected to participate actively in class and practice the activities at home.

履修上の留意点

Students should be aware that attendance is important. If the student is absent for 1/3 of the scheduled classes (approximately eight times), the student will fail the class.

成績評価の方法

Students will be tested orally on the textbook activities twice a month and will be given a grade for both group and class presentations.

教科書

Steven Molinsky and Bill Bliss, *Side by Side, 3rd Edition, LEVEL 3* (Pearson Education) 2001

英語 L L I

＜英語 LL I の授業内容と履修上の留意点＞

ランゲジ・ラボラトリ（1号館3・4階 PC 教場）を使用し、発音、アクセント、イントネーションなどの口頭練習とデジタル化されたテープ教材またはビデオ教材を用いて、日常会話などのヒアリングとスピーキングを訓練します。英検2級合格、TOEFL®のスコアー450点、TOEIC®のスコアー500点程度を達成目標とする初級レベルです。I A の振り替え選択科目なので、各担当者の講義内容（syllabus）をよく読み、時間表で曜日・時限を確認してクラスを選び、事前登録をしなければなりません。1クラスの定員が30名ですから、希望通りに選択できない場合もあります。

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 L L I	か い かつ こ 甲 斐 捷 子	法A・政治1年	2

講義の内容・授業スケジュール

テキストは日本人の留学生がアメリカの家庭、教育現場を通して、アメリカ社会に馴染んでゆく過程を写したビデオ教材です。様々な意思伝達の現場をビデオで見ながら、コミュニケーションのための英語運用能力を高めることを目的とします。徹底的に「聞き」、「話す」、授業の中で、基本的な発音の矯正も身につくまで、しっかり行います。

「旅行編」、「留学編」、全20課を前後期で終了する予定です。

履修上の留意点

授業としては週一回ですが、演習科目の成否は学習量で決まりますから、少なくとも週2回はLL自習室で復習して下さい。また一単元終了時には小テストを行います。

成績評価の方法

一応の目安として、平常評価としての出席10%、前期試験30%、後期試験30%、小テスト30%による総合評価とします。総合点が基準に達しなかった場合、欠席が三分の一を超えた場合、および前後期試験のいずれかを欠試した場合は不合格となりますから、特に欠席をしないよう、十分注意して下さい。

教科書

Viva! San Francisco (マクミラン・ランゲージハウス) 2,000円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 L L I	か どう きわ こ 加 藤 佐和子	法A・政治1年	2

講義のねらい

発音・アクセント・イントネーションを学習し、ネイティブ・スピーカーとのコミュニケーションが円滑にとれるようにする。TOEIC®スコア500を目標にする。

講義の内容・授業スケジュール

毎回テキストを1Lesson進む。更に、ヒットソング・映画の一場面・ニュース報道などのディクテーションをし、スピーキング・リスニングの力をつけていく。TOEIC®受験のための学習も行う。

履修上の留意点

各自カセット・テープを用意すること。必ず復習をすること。

成績評価の方法

毎回の小テスト・授業参加度50%
まとめテスト50%

教科書

『English20』(英進社)
『10分間 TOEIC リスニング演習』(桐原書店)

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 L L I	久保ひさ子	法A・政治1年	2

講義のねらい	海外旅行の場面別に、一回で通じる短い英会話文を習得する。
講義の内容・授業スケジュール	旅行英会話の短文を、ラボを使用して、聞き取り、書き取り、反復練習、録音、再生する。応用できるようにするため、さらに暗記する。小テストあり。
履修上の留意点	LL 授業は、ラボを用いた実習授業のため、欠席しないようにお願い致します。
成績評価の方法	試験と授業実習点と小テスト合計点
教科書	マイケル・ブラウン『旅行でしゃべる英会話』（南雲堂）

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 L L I	中林正身	法A・政治1年	2

講義のねらい	英語の発音、アクセント、イントネーション等の理解と習得。ほくたちが母語である日本語を習得してきたのと同じように、このクラスでは音声技能（リスニングとスピーキング）の習得に眼目を置く。英語の母音や子音の正しい発音を身につけて、英語の基本的な音を正しく発音できるようになり、また正しく聞き分けることができるようになってもらうことがこのクラスの第一のねらいである。第二のねらいは、多量の英語を聞き取り、リスニング能力を増強させることである。
講義の内容・授業スケジュール	前期は、英語の特徴を掴みながら、とくにフレーズ、文章などのリスニングを重点的にやってもらう。この作業のなかで学生諸君他人には、日本語のアクセントはピッチ・アクセントであるのに対して、英語のアクセントはストレス・アクセントであるとか、日本語が各音節をほぼ等しい時間で発音することによってリズムをつくる言語であるのに対して、英語はほぼ等しい間隔でストレスを置くことによってリズムをつくる言語であるというようなことを実体験をとおして知ってもらう。後期には、とにかく多種多様の英語をドンドン聞いて、英語の音に慣れってもらう。
履修上の留意点	上述したような能力をつけるためには、週に一回の授業では当然不十分である。従って諸君には何らかの課題を毎週課し、翌週の授業までの一週間に家などでその課題のためにそれ相応の時間を割いてもらうことになることを覚悟してもらいたい。そして、その結果を確認するためのテストを毎週行なうつもりである。授業時間外での復習は必須である。
成績評価の方法	出席状況と授業への参加態度と毎回の確認テストを総合的に評価する。
教科書	最初の授業時に指示する。
参考書等	最初の授業時に指示する。
その他	家庭やLL 自習室を利用しての予習復習は、毎週課せられることを認識して履修してもらいたい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 L L I	<small>にしむらゆうこ</small> 西村 祐子	法A・政治1年	2

講義のねらい

基本的な表現をつかってまず「話すこと」からはじめ、日常的なテーマを英語ではなしてみよう。後期は日常的スピードで話される会話をききとり、受け答えできるように聞き取る力を向上させていく。説明は日本語でおこなうが、すべて英語での授業となる LLII に進むための橋渡しとして、後期にはペアワークが多く取り入れられ、毎回かなりの量の英語を実際にはなすことをめざす。

講義の内容・授業スケジュール

4-7月：英語のビデオを見、ストーリーのまとめ方を学習。基本的な会話表現を学ぶ。
9-12月：ペアワークを多く取り入れ、ビデオの中で行われる会話を再現しながらスキットを独自につくっていく訓練をする。

成績評価の方法

定期試験はおこなわない。平常点（出席率、発表など）重視。

教科書

教場で指定。

参考書等

教場で指定する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 L L I	<small>ほなわ みちこ</small> 埜 美智子	法A・政治1年	2

講義のねらい

LL教室を使い英語の発音、アクセント、イントネーション等を習得し、明確な英語が使えるようになる。自分のことばで表現する力を養成する。

講義の内容・授業スケジュール

日常生活の中で実際に話されている生きたことばを教材に使い、音声聞き、繰り返し練習する。聞き、話す力を高めていく。

履修上の留意点

表現について研究したり、ことばの広がりをも自分なりに探す習慣をつける。

成績評価の方法

日常の授業を重視し、出席状況、前後期の試験の結果を入れて総合的に評価する。

教科書

『Talk of the Town—Adaptive language skills— 生きた英語から学ぶ会話ストラテジー』（マクミラン・ランゲージハウス）1,600円

参考書等

その都度黒板に板書し、案内する。

その他

いろいろなテーマが出てくるので、英語文化についても知識を増やしていく努力をする。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 L L I	ヘラー, P.S.	法A・政治1年	2

講義のねらい

発音を改善し会話ができる様にしていく。

講義の内容・授業スケジュール

教材を使いリスニング練習、口頭練習を通し、発音、イントネーション、リズム、ストレスを改善していく。

履修上の留意点

教室内では英語で話すこと。宿題をしてくること。

成績評価の方法

出席率、宿題、リスニングテスト、スピーキングテスト、授業に参加しているかどうかを総合して評価。

教科書

IMPACT LISTENING 1 ISBN962-00-5133-5
CLEAR SPEECH FROM THE START ISBN0-521-63737-6

英 会 話 II

〈英会話Ⅱの授業内容と履修上の留意点〉

英語を母語とする外国人教師が担当します。英会話Ⅰのレベルを修得しているか、またはそれに相当する力を持っていることを前提とします。関心のあるトピックを話したり、議論できることを目指した大学中級レベルの英語会話の授業です。達成目標の目安は英検準1級合格、TOEFL®のスコア480点、TOEIC®のスコア700点程度。各担当者の講義内容（syllabus）をよく読み、時間表で曜日・時限を確認してクラスを選び、事前登録をしなければなりません。英語ⅡDの振り替え科目として選択できます。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 会 話 II	ジトウィッツ, P. D.	法A・政治2年	2

講義のねらい

To build upon the skills mastered in English 1 by giving students intensive practice in listening, reading, writing and speaking.

To help students learn techniques for increasing their vocabulary and their reading skills.

To help prepare students who are interested in advanced English study for my advanced or study abroad.

講義の内容・授業スケジュール

Students will participate in debates, prepare speeches and practice scenes from plays and films.

成績評価の方法

Students are expected to attend at least 80% of all classes and to positively participate in class.

教 科 書

The Spirit of Broadway, The Spirit of America—An Introduction to the Broadway Musical by Philip Zitowitz, Eihosha, 2000.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 会 話 II	プラスキー, J. C.	法A・政治2年	2

講義のねらい

The goal of this course is for students to begin to express themselves beyond the basic level of proficiency about themselves and other topics about which they are familiar.

講義の内容・授業スケジュール

This class will primarily consist of student discussions about themselves, school, family and friends. Emphasis will be placed on the exchange of information and the negotiation of meaning. These activities will be supplemented with grammar, pronunciation, intonation, stress and rhythm exercises as well as listening practice.

履修上の留意点

Students will be required to complete homework assignments before each class.

成績評価の方法

Students will be evaluated on the basis of class participation (50%), homework (30%) and a final oral test (20%) given during the last class meeting.

教 科 書

None.

科目名	担当者名	配当学科	単位
英会話Ⅱ (夏季集中)	ピアス, D. M.	法A・政治2年	2

講義のねらい

This is a special intensive class for English conversation that advances students to a high level of speaking ability within a short period of time. It provides continuous conversational practice in quotidian conversational situations. It supplies special vocabulary and speech patterns for every sort of circumstance such as travel, banking, telephone, business exchange, etc. To the purpose of high scores in the important examinations intensive weekly review will be made of the major language aspects tested in TOEFL®, EIKEN, and TOEIC®. English composition and listening comprehension will be practiced by means of having students correct and improve materials they themselves have produced. The core of class activity will consist in accelerated practice in conversation. The method of the course is to render students active throughout the ninety minute period. Students will have opportunity to carry on intelligent dialogues about interesting topics at a level above ordinary conversation. The advanced conversation practice is especially good for students who need to show their English speaking ability when searching for employment. Short lectures will be given on sociological contrasts between Japan and America, following which students will develop personal reactions to the ideas conveyed in those topics.

履修上の留意点

ATTENDANCE: Attendance and active participation are most important, because improvement in English speaking depends on the amount of practice. Please attend all of the classes. The student may miss six classes in the year and still pass; if the student misses five classes, the final grade will be one letter - grade less than what the student would otherwise have received.

EXAMINATIONS: Apart from the two final-semester examinations, there will be frequent small exams. Such exams are not intended to apply pressure; an examination is an excellent method of learning. All exam questions will be questions that we have done together in class, which are printed in the textbook.

成績評価の方法

GRADING: Your final grade is the quality of the employment that you can find after university graduation. Never forget that English ability is extremely important when you are looking for a job; you will be able to get better employment if you improve your English this year. This is an extremely important point; you are taking a high-quality English course to get better employment in the future, not just to get a university grade!

Your academic grade depends 70% on your class performance, in every class. I will keep a record of your participation in every single class meeting. This is a course for English conversation; one can improve speaking ability, similarly to playing piano, only by constant practice. This is true no matter how advanced the student may be. Therefore, attendance is extremely important, and the examinations have minor effect on the final grade. Finally! Everyone in the class is equally able to get an "A" in the class, because the final grade does not depend on the final examination. Even if a student cannot speak English at all, he/she has as much a chance as the other students to get an "A," because his final grade depends on his effort and his improvement in comparison to his initial ability.

教科書

We will probably use *Social Practices*, publisher Themis Research Group, by Adam Pelagius, 2003, Themis Research Group as our textbook. In the first class meeting we will have a diagnostic test to determine the appropriate level of the class; do not buy the text until after the first class. Also recommended is an English-Japanese dictionary or an electronic dictionary. There will be some effort to absorb the vocabulary of written English that you probably do not know.

授業日程

前半		1	2	3	4	5	後半		1	2	3	4	5
8月2日	月	○	○	○	○	○	8月20日	金					
8月3日	火	○	○	○	○	○	8月23日	月					
8月4日	水	○	○	○	○	○	8月24日	火					
8月5日	木	○	○	○	○	○	8月25日	水					
8月6日	金	○	○	○	○	○	8月26日	木					
8月9日	月	○	○	○	○	○	8月27日	金					

英 語 L L II

〈英語LL IIの授業内容と履修上の留意点〉

中級：LL I程度の基礎訓練を修得していることを前提とします。デジタル化されたテープ教材またはビデオ教材を用いて、ニュース等の時事問題、やや専門的なテーマの英語スピーチ等の聴解力を集中的に訓練します。また、英語で要約・説明できる表現力を修得します。英検準1級合格、TOEFL®のスコアー480点、TOEIC®のスコアー700点程度をめざします。各担当者の講義内容（syllabus）をよく読み、時間表で曜日・時限を確認してクラスを選び、事前登録をしなければなりません。

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 L L II	おお した まさ こ 太田 雅子	法A・政治2年	2

講義のねらい

90分の授業の前半は、テキストを用いて英語の難しい音のききとりを徹底的に学習する。そして後半は、映画の中の英語をききとれるように練習を重ねる。又、その中の表現を応用して、英語での自己表現力を養成する。

履修上の留意点

全授業回数の3分の1以上欠席した者には単位を認定しない。その他履修上の注意点は、第一回目の授業で指示するので、必ず出席すること。

成績評価の方法

毎回小テスト、年に2回ほど総テストを実施。

教科書

Listrning Theory and Practice (開文社)

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 L L II	との いけ かず こ 外池 一子	法A・政治2年	2

講義のねらい

最初はVOA、その後CNN・BBCなどの最新のニュースを教材にリスニング力の向上を目指します。

講義の内容・授業スケジュール

前期はテキストに沿って進み、授業の進度に合わせて最新のニュースを取り入れて行きます。

履修上の留意点

英語ニュースの聞き取りにはニュースに関する背景知識が欠かせません。毎日新聞を読むこと。予習は当然ですが、復習をきちんとすること。カセットテープを必ず持参すること。

成績評価の方法

平常点30%、授業の進度にあわせて行う試験（目安は前期・後期各2回）70%。出席日数が3分の2以上の履修者のみが評価の対象となります。

教科書

開講時に指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 L L II	にしむら ゆうこ 西村 祐子	法A・政治2年	2

講義のねらい

基本的な会話と英語表現を学んだレベルIを終了した学生もしくはそれと同程度の英語力がある学生のためのクラス。レベルIIではナチュラルスピードで話されるさまざまなストーリーのビデオを見ながら、さらに込み入った日常表現を修得していく。授業はすべて英語でおこない、質問もすべて英語でおこなう。学生同士の英語での話し合いなどとりいれ、インターアクティブに授業をすすめる。到達目標はTOEIC®700-750程度。LLIにくらべ、難易度が高いので学生によっては受講を制限することがある。

講義の内容・授業スケジュール

4-7月：基本的な会話表現の復習と聞き取り、プレゼンテーション。
9-12月：LLIIIへの橋渡しとして、書き方とプレゼンテーションに力点をのいた授業となる。

履修上の留意点

学生への要望：学生は全員電子メールアドレスを取得しておいてほしい。
テープ録音をするので、カセットテープ（90分程度）をもってくること。

成績評価の方法

定期試験はおこなわない。平常点重視（出席率、発表内容など。）

教科書

テキスト：*Headway pre-intermediate* (Oxford Univ. Press.)
使用ビデオ：Headway elementary、および pre-intermediate、その他。（いずれも本学LL事務室に備え付けのものなので、予習、復習用に借り出して活用してほしい。）

参考書等

使用ビデオ：Headway (elementary)、および (pre-intermediate)、その他。（いずれも本学LL事務室に備え付けのものなので、予習、復習用に借り出して活用してほしい。）

その他

学生への要望：学生は全員電子メールアドレスを取得しておいてほしい。
電子メールアドレスは商業プロバイダーのものを持ちてさしつかえないが、大学の電子メールアドレスの取得はコンピュータ教場の使用の際にも必要なので、かならず事前におこなっておくことがのぞましい。なお、携帯電話の電子メールは長文英語の課題提出が不可能であり、返信に困難をきたすこともあるため、原則として本授業用には使用しないこと。はじめの授業からききとり力をつけるためにテープ録音をするので、カセットテープ（90分程度）をもってくること。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 I A	かわ かみ かず ひと 河上 和史	法A・政治1年	2

講義の内容・授業スケジュール

近代化の歩み、敗戦とその後の経済的繁栄など、ドイツは日本と多くの共通点を持つ国です。しかしその一方、ドイツは日本と対照的な面も多く持っています。今、我々と我々の国が直面している様々な問題を考えようとするとき、「ドイツ」はいろいろなヒントを与えてくれるはずです。知っているようで意外に知らない「ドイツ」、そして「ヨーロッパ」とあらためて出会うために、これから一年間「もう一つの外国語」を学びます。授業は単に「文法」の習得だけでなく、「話す」練習にかなり時間を使い、またビデオなどによって多角的で楽しいものにするつもりです。

成績評価の方法

授業と試験を総合して判断する。

教科書

「独和辞典」は必ず必要ですが、最初の授業でいくつか紹介しますので、あわてて買う必要はありません。教科書は「プリント」を使います。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 I B	しば の ひろ こ 柴野 博子	法A・政治1年	2

講義のねらい

ドイツ語を学びながら、できるだけドイツの文化にも触れるような授業にしたいと思っています。

履修上の留意点

ドイツ語の勉強には、一步一步積み重ねて行くことが非常に大切です。できるだけ休まずに出席して下さい。

成績評価の方法

年3回の試験と、平常の学習態度を総合して評価します。

教科書

小塩 節『ドイツ こころの旅』（朝日出版社）2,200円

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 II A	もも ずみ いさむ 百 濟 勇	法A2年	2

講義のねらい

自分が客員研究員をしている「ベルリン・ドイツ経済研究所」(DIW)のドイツ人大学院生は勿論のこと、フランス、ロシアなどの学生・院生は、明白な問題意識をもって勉強をしていると同時に、それに必要な外国語学修得が前提となっていることだ。そうした学習方法を学ぶ必要がある。

講義の内容・授業スケジュール

諸君が、ヨーロッパの人文科学、社会科学を履修対象とする場合には、ヨーロッパで一番語られているドイツ語が必要だ。その修得には、まず徹底して声をだして読むことだ。毎時間、一人一人数回当てての口答対話を行う。

履修上の留意点

ドイツ人が英国訪問をした際の「ドイツ人の為の英語会話」をテキストを使うので、毎回の授業出席が前提になる。そしてこうした学習方法は、結果として英会話も力がつくだろう。

成績評価の方法

これらを総合して年度末の成績として評価する。前期、後期の定期試験は行わない。時にはドイツの新聞の文化・政治・経済・記事などのコピーも使用する。熱心な学生の受講を希望する。

教科書

日本で作成した教科書は使わず、その都度、既に指摘したプリントを配布する。その際に初年度で使用したドイツ辞書、ドイツ語教科書を持参すること。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語ⅡA	柴野博子	政治2年	2

- 講義の内容・授業スケジュール**

この授業は、初級文法で習った事柄を復習しながら、ある程度まとまった、やさしい文章を読んでゆきます。
また、時々ビデオを使って、バイエルンの美しい町と芸術を紹介します。
- 履修上の留意点**

ドイツ語の勉強には、一步一步積み重ねてゆくことが非常に大切です。できるだけ休まずに出席して下さい。
- 成績評価の方法**

試験は年に3回行います。この3回の試験と、平常の学習態度を総合して、成績評価を行います。
- 教科書**

黒崎 勇『バイエルンの町と芸術』（朝日出版社）1,942円

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語ⅡB	飯塚公夫	法A2年	2

- 講義のねらい**

一年で習ったドイツ語の補習とその応用。辞書を引くことに慣れること。勉強する根気を養うこと。
- 講義の内容・授業スケジュール**

最初は一年の文法の復習と未修部分の文法説明及び練習問題。さらにそれらに関わる簡単な文章の読解。その後はこちらの用意したプリント（おそらく短編の物語）を読む。
- 履修上の留意点**

辞書を毎回持ってくること（完全に予習をしている人は持ってこなくてもよしい）。予習が必要になるので、予習時間を自分の生活スケジュールに組み込める人の参加が望ましい。
- 成績評価の方法**

前期後期各一回の筆記試験及び平常点（＝発表点）
- 教科書**

木村クリスタ他著『初級総仕上げ 2度目のドイツ語』（白水社）2,000円

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語ⅡB	織田繁美	政治2年	2

- 講義のねらい**

ドイツ語の基礎文法が履修されていることが望ましい。日常生活の様々な場面に遭遇した場合を扱った会話や記事、それに必要な常識的な知識をカセットやプリントを教材として勉強する。
- 講義の内容・授業スケジュール**

前期は比較的やさしい文を取り上げ、カセットで美しいドイツ語を聞くことに心掛け、日常の様々な状況をどんな風に表現しているかを感じ取るようにする。後期は会話を通じて日常の更に広い分野に切り込んでいくと同時に、文章を読み取る訓練もしていく。
- 履修上の留意点**

平常点を重視するため、や止むを得ない事情でもない限り、授業を休まない、遅刻をしないこと。辞書を必ず持参すること。
- 教科書**

プリントを使用する

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ドイツ語ⅡC(会話)	野島利彰 <small>のじまとしあき</small>	14以降入学生/法A・政治2年	2

講義のねらい	ドイツ語の文に慣れ、音に慣れ、今度はそのを使ってドイツ語で自己表現ができるよう練習します。
講義の内容・授業スケジュール	口頭練習が授業の中心です。
履修上の留意点	CD付きの教科書を使いますので自宅でそれをよく聞いてください。
成績評価の方法	随時行うヒアリングテストと、年2回期末に行う面接試験で成績を評価します。
教科書	高田・中村・湯浅・阿部著『とても欲ばりなドイツ語教科書』(郁文堂) 2,500円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ドイツ語ⅡD	志真斗美恵 <small>しまとみえ</small>	法A・政治2年	2

講義のねらい	ドイツ語の入門を一通り終えた方たちが、これまで学習したドイツ語の知識を確認しながらさらに能力を深めていくことを目標とします。
講義の内容・授業スケジュール	初級文法を復習しながら文章を読み、練習問題にとりくんでいきます。また各課の最後に掲載されている<基本的な会話をおぼえて使ってみよう>を毎回繰り返し練習し、基本会話を習得します。
履修上の留意点	欠席は極力避け、授業に積極的に参加することを特に望みます。(辞書は毎回持参のこと)
成績評価の方法	平常点と前・後期試験で総合的に評価します。
教科書	鳥途健一・高井絹子著『不思議な☆不思議な物語』(朝日出版社) 2,100円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ドイツ語LLI	小林ゲアリンデ <small>こばやし</small>	法A・政治2年	2

講義のねらい	ドイツ語の基礎的な知識を履修するとともにドイツおよびドイツ語を国語とするオーストリア、スイスの国情について知識を身につけることを目指す。
講義の内容・授業スケジュール	日常的な状況でのドイツ語を話し、理解することに重点をおく。そのため発音練習やパートナー練習を数多く取り入れる。基本的な文法の習得と並んでドイツ語を読む楽しみにも触れたい。適宜宿題を課す。
教科書	テキストは教室で配布する。
その他	ビデオ、カセットを使用する。

〔フランス語〕

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フ ラ ン ス 語 I A	くわ たる のり あき 桑 田 禮 彰	法A・政治1年	2

講義のねらい	フランス語の基礎の習得。
講義の内容・ 授業スケジュール	まず発音の基本をしっかりと確認した上で、簡単な会話表現に親しみながら、初級文法を理解し、読解力の基礎を身につけます。
履修上の留意点	発音練習や文法理解のために最も重要なのは、もちろん授業への出席です。一回一回の出席を大切にしてください。
成績評価の方法	ふだんの授業での評価をベースにして、年二回の試験の成績で決定します。
教 科 書	『ゼフィール——フランス語文法の基礎』（早美出版社）2,000円
参 考 書 等	そのつど授業で指示します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フ ラ ン ス 語 I B	すが わら たけし 菅 原 猛	法A・政治1年	2

講義のねらい	英語以外にも外国語の一つ位は知っておく必要があることは世界中の常識。
講義の内容・ 授業スケジュール	IAを補完するかたちで授業を進め、1年間の限られた時間枠の中でフランス語を読解する基礎知識を身につける。
履修上の留意点	教科書・辞典を持参し、可能なかぎり出席すること。
成績評価の方法	平常の授業、平常試験と学年末試験をプラスし、総合的な評価を出す。
教 科 書	天羽均・佐々木康之他著『初級フランス語文法』（朝日出版社）2,200円 ISBN4-255-35161-9 C1085

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語ⅡA	こ ^{だま} なり ^お 夫 小玉齊夫	法A2年	2

- 講義のねらい** 中級程度のフランス語で書かれた、フランス語の新聞記事を読み、自分自身の、日本あるいはフランス文化に対する思いを確定していく、そのきっかけになれば、という意図で、授業をすすめていくつもりです。
- 講義の内容・授業スケジュール** 初めは、文法的な事項の再確認を重視して、ゆっくりと読んでいきますが、後期からは、フランス語長文読解・把握の練習として、いささか速度を早めた読み方も試みます。可能であれば、フランス語の作文も、宿題として、書いてもらいます。
- 履修上の留意点** 仏和辞典を駆使して、フランス語としての言葉のつながり方を理解するつもりで、授業に出ること。生活に必要な単語を、フランス語として、覚えること。特別の事情がないかぎり、毎回、授業に出ること。
- 成績評価の方法** 宿題などの提出状態、前期・後期の試験によって、総合的に評価します。
- 教科書** 滝川 等著 『やさしく読めるフランス語新聞 (2004年度版)』 (第三書房) 1,700円 ISBN4-8086-2674-8 C1085
- 参考書等** 『現代和仏小辞典』 (白水社) が、フランス語の単語を使えるようになるためには、便利です。

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語ⅡA	まえ ^だ のり ^{かず} 前田祝一	法A2年	2

- 講義のねらい** レベルを中級フランス語に設定します。したがって、一年生で学んだフランス語の後半部分を学習し直し、さらに豊かなフランス語の世界への参入を試みます。
- 講義の内容・授業スケジュール** テキストに沿って進め、細かいニュアンスの把握にも挑戦しましょう。
- 履修上の留意点** 初級フランス語ⅠA・ⅠBの単位の未修者は、自分で参考書などで勉強する覚悟でいて下さい。
- 成績評価の方法** 基本的には前・後期のペーパー・テストで成績を評価しますが、授業中の課題や出席の状況にも配慮します。
- 教科書** ジャン・ド・ブリュノフ作、安東次男編 『仔象のババール』 (第三書房) 1,000円

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語ⅡB	すが ^や さとる ^あ 菅谷暁	法A2年	2

- 講義のねらい** 教科書はフランスの最近の新聞や雑誌の記事をやさしく書き直したものです。フランス語を読む力を養うとともに、フランス文化についての理解を深めます。
- 成績評価の方法** 前期末と後期末の試験によります。
- 教科書** ボームルー著 『セレクション・時事フランス語』 (朝日出版社) 1,800円
- その他** 毎回数人の担当者をあらかじめ決めておくので、その者は担当部分を正確に発音し、訳せるようにしておいてください。なお必要な文法事項は詳しく説明し、発音はカセットテープを利用して練習します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語ⅡA	と お や ま ひろ お 遠 山 博 雄	政治2年	2

講義のねらい

辞書を使ってやさしいフランス語の文章を読み、発音すること。あわせて口語的な表現を覚えること。

講義の内容・授業スケジュール

1年次でやり残した文法事項の説明をまずませ、その他の文法事項は復習したり、追加しながら、辞書を片手に熟読していきます。後期は短い読み物に挑戦します。

履修上の留意点

必ず辞書を持って出席すること。

成績評価の方法

2回の筆記試験を行ないます。リスニングも含まれます。

教科書

浜名エレース著『ア・ラ・カルト』（駿河台出版社）2,625円
ISBN4-411-01336-3 C1085

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語ⅡB	は た な か ち おき 畑 中 千 晶	政治2年	2

講義のねらい

リスニング力を強化しながら、フランス語でコミュニケーションする能力を身につける。

講義の内容・授業スケジュール

初回の講義の際に年間スケジュールを配布します。

履修上の留意点

自宅学習とクラスでの活動を連動させることで、力が伸びていきます。宿題には必ず取り組むようにしてください。

成績評価の方法

前期末試験30%、学年末試験30%、平常点（宿題、小テストなど）20%、夏期休暇の課題10%、出席10%

教科書

中井珠子『コミュニケーションのためのフランス語リスニング入門』（白水社）1998年
1,800円

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語ⅡC(会話)	くわ た のり おき 桑 田 禮 彰	14以降入学生/法A・政治2年	2

講義のねらい

フランス語会話中級

講義の内容・授業スケジュール

まず発音の基本をしっかりと確認した上で、生きたフランス語会話の習得をめざします。文法事項についても、できるかぎり分かりやすく説明するつもりです。

履修上の留意点

最も重要なのは、もちろん授業への出席です。一回一回の出席を大切にしてください。

成績評価の方法

ふだんの授業での評価をベースにして、年二回の試験の成績で決定します。

教科書

倉方秀憲他『ヌーヴォーオブジェクティブ』（早美出版社）2,500円

参考書等

そのつど授業で指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語ⅡD	伊藤 ^{いとう} なお	法A・政治2年	2

講義のねらい

フランスの時事社会問題およびスポーツや文化を扱った文章を読み、読解力を養うとともに、現代のフランス社会についての理解を深めます。

講義の内容・授業スケジュール

テキストは、フランスの子供たちに親しまれている新聞 *Le journal des enfants* をもとに編まれたものです。「フランス語Ⅰ」で学んだ文法の復習、新しい事項の学習を随時行ないながら、このテキストを読んでいます。またスムーズに読めるよう、テキスト付属のカセットを用いて音読の練習にも力を注ぎます。

履修上の留意点

初級文法を終えたばかりの皆さんでも充分取り組める内容です。辞書を用いて必ず予習をしてから授業に臨んで下さい。

成績評価の方法

前・後期の試験、および平常点を重視します。

教科書

瀧川好庸他編『やさしく読めるフランス語新聞（2004年度版）』（第三書房）1,700円

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語LLI	ラリア・三倉 ^{みくら} , M.	法A・政治2年	2

講義のねらい

フランス人講師や教材のフランス語を聞きながら、学生が簡単なフランス語で表現力を身につけることを学ぶ。

成績評価の方法

筆記試験はしない。授業の平常評価と簡単な口頭面接評価。

教科書

H. TAKAHASHI, S. GIUNTA 『P.P.P (パーパーパー) *Présenter Pratiquer Produire*』（第三書房）2,800円

中 国 語

中国語ⅠA・ⅠB

中国語の入門クラス。発音と文字（簡体字）そして文法の基礎を学ぶ。授業では、まず「ピンイン」というローマ字表記を使って発音を学び、次いでその表記法によりつつ基本的な文法・文型等を学んでゆく。「ピンイン」表記を最初にしっかり覚えないと、その後の学習がほとんど不可能になる（漢字で書かれているので他の外国語より易しいというのは、誤った俗説である）。

I A－I Bという週2コマの授業を通して1冊の教科書を使用する。I A－I Bの組み合わせは固定されており、それを一人の教員が担当する場合と、二人の教員が共同で担当する場合とがある。いずれにしても必ずその2コマを1セットで履修しなければならない。

中国語の学習には自分の口と耳を使った教室での実地練習がきわめて重要である。休まず出席し、教員の指導のもと、積極的に練習を行ってほしい。出席は成績評価においても重要な判断材料となる。そのほか年間を通じての各種小テスト、中間・定期試験、課題提出、および授業中に見られる実際の習熟度等々に基づいて最終的な成績評価がなされる。日頃の努力の積み重ねが不可欠であり、定期試験のときだけ一夜漬けで乗り切るということは絶対に不可能である。

中国語ⅡA

I A－I Bの学習を基礎としつつ、ピンイン付の長文を学び、中級程度の読解力・文法的理解力を養う。正確な読解は、読み書きだけでなく、話したり聞いたりするための基礎ともなるものである。

授業は、各担当者によって多彩な内容が用意される。文学的なもの、中国の社会や文化の理解に役立つもの、文法学習を主とするもの、またいろいろな文章の抜粋を読むもの、1～2編の、まとまった作品をじっくり読み上げるもの、等々である。いずれの場合も、発音と基礎文法の復習・定着、やや複雑な中級程度の語彙・文法・文型の学習、そして長文の論理展開や文章構成の把握、といったことが目標となるであろう。また、それと同時に、教材を通して、表面的な知識や情報にとどまらない、内在的な中国理解の眼を養ってもらいたいと思う。

中国語ⅡB

I A－I Bの学習を基礎としつつ、簡単な内容の文を言ったり書いたりすることのできるような、初歩的な表現力の獲得を目指す。長文読解中心のⅡAに対し、ⅡBの教材は短文の会話体を主とするもので、内容理解だけならさほど難しくはないであろう。ここで目標とされているのは新たな知識の拡張よりも、むしろ既修の知識を血肉化させ、それを「使える」ようにすることなのである。つまり、「発信型」の語学力の土台を築こうというわけである。そのため毎回の授業に休まず出席するのはもちろんのこと、教室で行われる練習に積極的に参加し、なるべく多くの反復練習をこなすよう努めてほしい。成績評価の原則は、上記I A－I Bに準ずる。

中国語ⅡD

現在の中国の社会情勢を知ることができるよう、時事的内容のテキストを用いて行われる中国語の授業である。

但し、内容は時事的であっても、社会情勢の解説を主にする授業ではない。あくまで、中国語の文章が読めるようになるための授業である。

【辞書について】

1年次の授業は辞書の購入を前提とせずに進められる。最初から中国語の勉強は1年限りと決めてしまおうなら、辞書なしで済ませることはできる。しかしそういう人にとっても、1年間の学習をより実りあるものとするために、次の辞書は役に立つことだろう。

相原茂『はじめての中国語学習辞典』(2002年 朝日出版社) 2,800円

2年次以降も中国語学習を続ける場合、辞書の購入は必須である。近年は中国語の辞書の出版が相次いだが、特に以下の2点が薦められる。

商務印書館・小学館『中日辞典〔第2版〕』(2003年 小学館) 語法解説や図版豊富。6,300円

相原茂『講談社中日辞典〔第2版〕』(2002年 講談社) 全例文にピンイン付き。6,500円

より手軽なサイズと価格では次の2点も推薦できる。しかし、学習の伴侶として息長くおつきあいすることを考えれば、思いきって奮発したほうが結局は「得」である。

松岡榮志『クラウン中日辞典』(2001年 三省堂) 4,000円

武信彰『プログレッシブ中国語辞典』(1998年 小学館) 3,500円

また、これらよりさらに小型のものや、中日・日中を1冊で間に合わせる類の辞書は薦められない。

なお、下の2点も、初学者向けではないが、中級から上級以降の学習や研究に十分耐え得る内容をもった優れた辞書である。

伊地智善継『白水社中国語辞典』(2002年 白水社) 7,800円

愛知大学中日大辞典編纂処『中日大辞典〔増訂第二版〕』(1987年 大修館書店) 8,600円

日中辞典は授業では必須としないが、次のものが手元があれば重宝するであろう。

対外経貿大学・商務印書館・小学館『日中辞典〔第2版〕』(2002年 小学館) 7,000円

倉石武四郎、折敷瀬興『岩波日中辞典〔第2版〕』(2001年 岩波書店) 5,000円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中 国 語 I A	宮 本 厚 子 <small>みやもとあつこ</small>	法A・政治1年	2
中 国 語 I B	三 田 村 圭 子 <small>みたむらけいこ</small>		

履修上の留意点	必ず予習をし単語等を調べてから授業に臨むこと。
成績評価の方法	年に4回の筆記試験(前後期末試験を含む)と平常点(小テストを含む)で評価する。
教科書	『新編・例文中心初級中国語』(同学社) 2,300円
その他	詳細は開講時に説明する。

科目名			担当者名		配当学科	単位
中国語	I	A	村松	哲文	法A・政治1年	2
中国語	I	B	陳	洲拳		

講義のねらい

中国語で簡単な日常会話ができ、平易な文章が読めるようになることを目標に、基本的な短文の暗記と徹底した発音訓練をする。

講義の内容・授業スケジュール

はじめは発音をマスターするために、中国語の発音表記(ピンイン)を反復練習し、その後、文法事項を確認しながら多くの文章を読みこなしてゆく。

履修上の留意点

授業は真剣勝負の時間である。特に語学は積み重ねが大切なので、真摯な態度で授業に臨むこと。

成績評価の方法

前期・後期の試験、授業中の小テスト、出席率などを総合評価する。

教科書

陳洲拳・劉光赤・水野麗子編著『耳留学中国語』（陸美出版）2,400円

科目名			担当者名		配当学科	単位
中国語	I	A	岩崎	皇	法A・政治1年	2
中国語	I	B	岩崎	皇		

講義のねらい

中国語という言語を体験してもらうことが目標です。とりわけ発音が重要ですから、繰り返し練習します。

講義の内容・授業スケジュール

ビデオを利用しつつ、テキストに沿って練習していきます。

履修上の留意点

授業にはすべて出席することが前提です。やむを得ない理由(急病、急用、忌引、クラブ活動等)により欠席する場合でも、6回を越えた場合は成績評価をしませんから注意してください。

成績評価の方法

授業態度及び試験で判断します。

教科書

遠藤光暁「理香と王麗 話す中国語1」（朝日出版社）2,500円

科目名			担当者名		配当学科	単位
中国語	I	A	松本	丁俊	法A・政治1年	2
中国語	I	B	松本	丁俊		

講義のねらい

発音篇でしっかり発音を身につける。本篇に入れば、会話で話す力を学習出来る様にする。毎課に表現のポイントは文法の基礎になる例文を憶えて、最終的に「書く」・「聞く」の力を修得することがねらいである。

講義の内容・授業スケジュール

日本人が中国人の家庭を訪問する設定で、挨拶から始まり、子供とのやり取り、バスでの北海公園見物、食卓での会話等、登場人物に親しみながら発音を学び、文法構造を飲み込める様な授業である。

履修上の留意点

ストーリーのある会話の連続であるため、毎時限しっかり憶えて、休まず頑張る事。

成績評価の方法

前期と後期にテスト、その結果を重点とし、授業中の発音と練習及び出席点を加味する。

教科書

植田渥雄『八木さんの中国家庭訪問』（金星堂）1,800円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡA	まつもと あつとし 松本 丁俊	政治2年	2

講義のねらい

初級中国語から一段あげた中級中国語のレベルに到達する事。

講義の内容・授業スケジュール

単なる中国紹介ではなく、1人の女性の体験を通して中国にふれる。
 1. 「重点」には、対話形式の例文
 2. 「比較」には、類義語、類義表現
 3. 「詞句」には、常用される多義語、関連表現
 4. 「練習」には、ピンインの漢字変換、穴埋め、並べ替え、作文

成績評価の方法

前期と後期のテストを重点とし、通常授業中に発音のチェック、練習などと小テスト、さらに出席点を加味する。

教科書

荒川清秀・周閔『中国見たり聞いたり15章』（光生館）1,800円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡA	ふくち けいこ 福地 桂子	政治2年	2

講義のねらい

自分で辞書をひいて、簡単な文章が読めることを目指す。
 文法は中国語Ⅰで学んだ基礎を定着させ、さらに接続詞を使った複文表現を学ぶ。
 中国語Ⅰに引き続き、正確な発音の練習に力を入れる。
 中国の社会文化に対する理解を深める。

講義の内容・授業スケジュール

中国の最新事情を紹介した文章を読む。
 文法事項を体系的に把握する。
 下記の教科書を用い、だいたい3週間に2課の進度で進めていく。

履修上の留意点

必ず予習してくること。授業には辞書を携帯すること。

成績評価の方法

期末テスト（前後期各1回）、小テスト、授業での発表内容（予習してあるかどうかを重視）を総合して評価する。

教科書

王曙光『中文大世界』（白帝社）2,500円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡA	いわさき ひろし 岩崎 皇	法A・政治2年	2

講義のねらい

中国語の文章を読むための文法知識の獲得及び語彙量を増やすことが目標です。

講義の内容・授業スケジュール

授業は、始めに本文を各自訳してもらった後、解説をするという形になります。単語のプリントを配布しますが、まず自分で訳さなければなりません。その際、疑問点は自由に質問して構いません。

履修上の留意点

授業にはすべて出席することが前提です。やむを得ない理由（急病、急用、忌引、クラブ活動等）により欠席する場合でも、6回を越えた場合は成績評価をしませんから注意してください。

成績評価の方法

試験の成績により評価します。試験は前期2回、後期2回行う予定です。

教科書

原田松三郎『エバンディのとんち話』（金星堂）1,850円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡA	ひろかねかほこ 弘兼加奈子	政治2年	2

講義の内容・授業スケジュール

めざましい発展をとげている現在の中国を「住宅の話」「結婚の話」等の十二の項目に分けて授業を行なう。
翻訳が中心となるが、発音・声調も重視していく。

成績評価の方法

成績は年間約4回のテストと教場での平常評価によって総合的に判断する。

教科書

三潞正道・楊光俊 新訂版『現代中国 走馬看花』（朝日出版社）2,000円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡA	かまや おきむ 釜屋 修	法A2年	2

講義のねらい

中国語Ⅰで身につけた力をさらに発展向上させ、基礎能力をいっそう固める。またⅠの復習の場ともする。

講義の内容・授業スケジュール

週一回、会話文と読解文を交互に学んでいくが、一人ひとり朗読、翻訳を担当する。

履修上の留意点

出席し積極的、自主的に授業に参加すること。予習、課題の提出を義務づける。

成績評価の方法

出席状況、授業への参加態度、平常点、期末テスト等を総合的に評価して判断する。

教科書

小川郁夫『中国を知るための中国語中級テキスト』（白帝社）1,700円

参考書等

開講時に指示する。辞書を必要とする。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡA	り うん 李 雲	法A2年	2

講義のねらい

講義と文法をかねたテキストを用いて、易しい読み物を通して中国語の発音、基礎的な文法の勉強を行う。

講義の内容・授業スケジュール

下記のテキストを使用し、だいたい3週間に2課の進度で授業を進めていく。

履修上の留意点

授業中、私語をしないこと。ちゃんと予習と復習をすること。

成績評価の方法

出席状況、日常の学習態度、並びに小テストによって成績評価を行います。

教科書

武信彰等『教養初級中国語』（郁文堂）2,000円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡA	まつもと あつとし 松本 丁俊	法A2年	2

講義の内容・授業スケジュール

中国の故事や民話、人民の生活、新聞記事、名作等から講読や鑑賞にふさわしい文章を選び、難易度に応じて、優しい文章から順に学習。長文学習は、単に読解力の向上にとどまらず、中国人の生活、風俗習慣、ものの見方、考え方なども垣間みることが出来る。巻末に練習があり、短文を作る様に工夫されている。

成績評価の方法

前期と後期のテストを重点とし、普段の授業中に、あてられた訳が出来ているか、練習をしているか、さらに出席状況も加味して、総合的に採点する。

教科書

陳榮生・頼石傳・蔡柱国『現代中文読本』（神保出版）1,650円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡB	いわさき ひろし 岩崎 皇	法A2年	2

講義のねらい

中国語の音声に慣れることが目標です。また、そのための道具としてピンインを使えるよう練習します。

講義の内容・授業スケジュール

ビデオを利用しつつ、テキストに沿って練習していきます。

履修上の留意点

授業にはすべて出席することが前提です。やむを得ない理由(急病、急用、忌引、クラブ活動等)により欠席する場合でも、6回を越えた場合は成績評価をしませんから注意してください。

成績評価の方法

授業態度及び試験で判断します。

教科書

董燕・遠藤光暁『理香と王麗 話す中国語2』（朝日出版社）2,700円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡB	ひら いし よしこ 平石 淑子	法A2年	2

講義のねらい

初級で習得した事柄を実際にコミュニケーションの手段として活用できるようにする。

講義の内容・授業スケジュール

中国語の正しい発音の習得に力を入れ、あわせて中国語の表現方法(語順)を学ぶ。一週間に一課進むことを目標とし、随時小テストなどを実施する。

履修上の留意点

①四分の三以上の出席を求める。②必ず予習をしてくること。③指定された宿題は必ずやってくる。

成績評価の方法

平常点(小テストを含む)、及び期末試験による。

教科書

塚本慶一監修 劉穎著『2年生のコミュニケーション中国語』（白水社）2,200円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡB	ひろかね かなこ 弘兼加奈子	法A2年	2

講義の内容・授業スケジュール

一年次で学んだことを定着させ、さらに発展させることを目標とする。課文は比較的長い会話体の本文、文法、練習から構成されている。実践的な中国語を学んでほしい。

成績評価の方法

成績は年間約4回のテストと教場での平常評価によって総合的に判断する。

教科書

荒川清秀『美香 in China』(同学社) 2,200円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡB	ねぎし まさこ 根岸政子	政治2年	2

講義のねらい

1年次に習得した基本文法を復習しながら、身近な会話をもとにして「読む」「聞く」「話す」を中心とした中国語の習得をめざす。

講義の内容・授業スケジュール

会話を中心としたテキストを使用し、3回で2課のペースで進めていく。

履修上の留意点

平常の反復練習が上達への鍵であるから、大きな声を出して何回も読むこと。必ず予習を行うこと。

成績評価の方法

前期後期の試験、小テスト、出席状況、授業への参加度などで評価する。

教科書

陳浩・梁月軍『中国語会話—ステップアップ(改訂版)』(郁文堂) 2,300円(CD付)

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡB	さくらば かずのり 櫻庭和典	政治2年	2

講義のねらい

中国語は、特に発音(四声)が明瞭でないと、意味が通じないため、一年次で学んだことを復習しながらより正しい発音(四声)の習得と、実生活で使える会話の習得を目指す。

講義の内容・授業スケジュール

発音(四声)・ピンイン表記(中国式ローマ字)の習得、中国語文の反復・応用練習・暗誦を中心に授業をおこない、さらに、各課ごとに内容について、中国語で質問し中国語で答える練習をする。

履修上の留意点

必ず予習を行うこと。
授業には辞書を携帯すること。

成績評価の方法

平常評価(授業態度・出席日数)、小テスト、学期末テスト(前期、後期各一回)を行うが、特に平常評価に重きをおく。出席日数の足りない場合は、受験資格を失うため注意すること。欠席・遅刻は日数により減点する。

教科書

櫻庭和典・服部元彦・堀誠共著『音で学ぶ中国語』(晃洋書房) 1,600円

参考書等

必要になったら授業のなかで紹介する。

その他

授業中の私語は厳禁とする。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡB	まつもと あつとし 松本 丁俊	政治2年	2

講義の内容・
授業スケジュール

中国の文化、歴史、風俗習慣、社会生活と歌等が理解できる様な内容、「読む」、「書く」、「聞く」、「話す」中国語の力になる様な授業を行う。

成績評価の方法

前・後期テストを重点とし、授業中に発音、訳し方又は練習用の小テスト、さらに出席点も加味する。

教科書

平井和子・于小薇『中国語の魅力』（好文出版）2,000円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡC（会話）	あまの せつ 天野 節	14以降入学生/法A・政治2年	2

講義の内容・
授業スケジュール

初級の学習を踏まえ、会話文で色々な表現を学習。単語、語句の発音練習、意味の確認後、新しい表現を取り出して学習し、会話文を読み解き練習する。

履修上の留意点

欠席せず、予習、復習を必ずやる。

成績評価の方法

出席率、授業態度、課題、期末テストで総合評価する。

教科書

荒川清秀『美香 in China』（同学社）1,900円

参考書等

授業の中で紹介。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡD	そう たいわ 曹 泰和	法A・政治2年	2

講義のねらい

現代中国社会に関する記事を読みながら、基本文型、慣用句などのマスターを旨すと同時に、中国の事についての理解を深める。

履修上の留意点

授業に積極的に参加すること。予習、復習を毎回欠かさずすること。記事を順番で読んで、訳していくので、担当者はとくに予習を忘れないこと。

成績評価の方法

出席率、テスト、学習態度で総合評価する。

教科書

三浦正道著『時事中国語の教科書—2004年度版』（朝日出版社）1,900円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡD	村松哲文 <small>むらまつ てつ かつみ</small>	法A・政治2年	2

- 講義のねらい 1年生までに習得した文法や単語を復習しつつ、ある程度長い文章が読めるように練習する。授業では、勉強した内容を確認するために、随時小テストを行う。
- 講義の内容・授業スケジュール 時事内容を含む中国語の文章を多く読みこなし、綺麗な日本語に訳せるように訓練してゆく。またスピードをつけた音読も練習したい。
- 履修上の留意点 授業は真剣勝負の時間である。特に語学は積み重ねが大切なので、真摯な態度で授業に臨むこと。
- 成績評価の方法 前期・後期のテスト、授業中の小テスト、出席率などを総合評価する。
- 教科書 三瀧正道・陳祖 & #34003 ; 『時事中国語の教科書—2004年度版』(朝日出版社) 1,900円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡD	三田村圭子 <small>みたむら けい こ</small>	法A・政治2年	2

- 講義のねらい 時事問題に関する中文を講読する。授業のはじめには、基礎中国語の復習を行う。
- 履修上の留意点 辞典が必要である。すぐに購入する必要はないが、開講時に説明をするので、その後、各自用意するように。
- 成績評価の方法 前期・後期テストと、2回の中間テスト。5題ほどの小テストを6回行い、出席等と合わせて評価する。
- 教科書 三瀧正道著『時事中国語の教科書—2004年度版』(朝日出版社) 1,900円
- 参考書等 開講時に説明する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語LLI	佐藤普美子 <small>さとう ふみこ</small>	法A・政治2年	2

- 講義のねらい 初級用のテープ教材を用い、会話と聴き取りの基礎訓練を行う。すでにIA-IBの単位を取得しているか、それと同程度の学習経験のある人を対象とする。
- 講義の内容・授業スケジュール 授業では基礎的な文法・文型の徹底的な習得を目ざす。耳と口の反復練習を大量に行い、中国語の基礎を、文字でなく音で身につけてほしい。
- 履修上の留意点 予習は必要ないが、復習と自習は不可欠。また教科書付録のCDを活用して、毎日、中国語を口にし耳にしてほしい。
- 成績評価の方法 平常点(出席及び授業への参加意欲)を重視。
- 教科書 董燕・遠藤光暁『話す中国語 北京篇3』(朝日出版社) 2,500円

[スペイン語]

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語 I A	おぎのまさし 荻野雅司	法A・政治1年	2

外国語

講義のねらい

スペイン本国のスペイン語に限らず、中南米で今日常用されているものも含めて、スペイン語の全体を概観することを狙いとします。

講義の内容・授業スケジュール

テキストに沿って初級スペイン語を学習して行きますが、言葉のみでなく、出来るだけヒスパニック圏の人々の物の考え方や文化、習慣を学ぶことで、*communication* がより容易に行えるようにします。

さらに、このクラスはスペイン語の理解を促進するために、英語の語法との対比を常時行うことを特徴の一つとしています。

成績評価の方法

原則として年2回正規のテストを行いますが、総合的な成績の評価に当たっては、良くても、悪くてもテストの結果のみによってこれを行いません。むしろ、日頃の出席状況と受講態度を同じくらいに重視して評価します。

教科書

細川幸夫著『英語からスペイン語へ』（芸林書房）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語 I B	うえのかつひろ 上野勝広	法A・政治1年	2

講義のねらい

スペイン語の基礎（発音・文法・語彙）を身につけ、その背景文化への理解と関心を深めてゆきます。

講義の内容・授業スケジュール

下記のテキストを用いて、前期は1課～6課まで、後期は7課～12課を解説します。同時に口頭および筆記の練習も行ないます。

履修上の留意点

少しでもスペイン語を身につけるには、ただ授業に出席するだけでは達成できません。集中して教師や録音CDのスペイン語を聴き、疲れるくらい口や手を動かしてレッスンに励みましょう。

また最低限の復習も欠かせません。

成績評価の方法

年間4回のテストの結果（70％）に平常点（30％）を合わせて評価します。

教科書

小池和良・上野勝広『太郎と学ぶスペイン語』（朝日出版社）2,100円

参考書等

初回の授業で紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語ⅡA	おお いわ いまお 大 岩 功	法A2年	2

講義のねらい	スペイン語Ⅰで学習した内容を踏まえ、文法の理解をさらに深めるとともに、スペイン語で書かれた文章に親しむことをめざします。
講義の内容・授業スケジュール	初めはスペイン語Ⅰで学習した文法項目を復習し、その後、さらに新しい項目を学習していきます。まとまった長さの文章を読むための教材も適宜使用します。
履修上の留意点	予習することによって授業の学習効果は何倍にも増幅されます。学生諸君はぜひ予習をしっかりやって授業に参加してください。なお、授業には必ず辞書を持参すること。
成績評価の方法	出席状況と年数回のテストの得点、および授業に臨む姿勢などを考慮して総合的に評価します。
教科書	寿里順平他著『スペイン語－基礎と演習－』（教材マルコ社） 長文読解用の教材についてはプリントを適宜用意します。
参考書等	辞書有本紀明編『西和辞典』（白水社）4,500円 宮城昇編『現代スペイン語辞典』（白水社）4,000円 カルロス・ルビオ、上田博人編『研究社新スペイン語辞典』（研究社）4,860円 桑名一博編『西和中辞典』（小学館）6,120円 これらのうちどれか一冊を入手することが望ましい。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語ⅡA	ふく ちと くみこ 福 本 久美子	法A2年	2

講義のねらい	接続法・命令法を中心に基礎文法を全て終える。また合わせて会話表現も学ぶ。
講義の内容・授業スケジュール	始業時に「授業方針」のプリントを配布する。
成績評価の方法	前・後期テストと、授業時の小テストの合計に拠る。
教科書	教室にて指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語ⅡA	真下祐一	政治2年	2

講義のねらい

一年次に学んだスペイン語の基礎を完成し、以降の学習につなげていくための授業です。復習にも力を入れましょう。読み、書き、聞き、話す四つの能力の総合的なトレーニングです。

講義の内容・授業スケジュール

前期 (1~4) 復習 直説法現在不規則動詞・目的格人称代名詞・現在完了 (5・6) 再帰動詞 GUSTAR (7・8) 直説法点過去 (9・10) 直説法線過去 (11・12) 直説法過去完了 比較 (13) 試験
後期 (14・15) 直説法未来・未来完了 (16・17) 過去未来 関係代名詞 (18・19) 接続法現在・1 (20・21) 接続法現在・2 (22・23) 接続法過去 (24・25) 命令 (26) 試験

履修上の留意点

予習・復習は欠かせません。また常にスペイン語圏のニュースに注意していること。

成績評価の方法

100点満点中、40点は出席、課題の提出など授業参加、残り60点は2回の期末試験と小テストの結果で評価します。

教科書

西川 喬 『スペイン語の基礎』(第三書房)

参考書等

西和辞典を一冊、『改訂版現代スペイン語辞典』(白水社) など。

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語ⅡB	宮地達郎	法A2年	2

講義のねらい

スペイン、中南米の国語スペイン語は国連の公用語6ヶ国語の一つでもあり、米国ではヒスパニックの人口比率が黒人を抜き最大となっている。米国におけるスペイン語の必要性は現在でも大きく、さらに増大することは必至である。従って、国際社会におけるスペイン語の重要性を認識させ興味を持続させることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

文法中心の前年度の簡単な復習を行い、日常生活に関連したいろいろなケースでの会話を履修することを目的とする。ケースの内容は例えば、自己紹介、デパートでの買い物、交通機関で、病気のとき、旅行、レストランで、郵便局でなどである。

履修上の留意点

使用する教科書以外に必ず前年に使用した教科書を持参すること。文法復習に必要。

成績評価の方法

出席率、授業中の態度、テストの3点を総合して評価する。

教科書

財団法人海外技術者研修協会編集『新日本語の基礎Ⅰ分冊スペイン語訳』(スリーエーネットワーク)

参考書等

推薦辞書：『現代スペイン語辞典(西和および和西)』(白水社)
『スペイン語ミニ辞典』

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語ⅡB	福本久美子	政治2年	2

講義のねらい 接続法・命令法を中心に基礎文法を全て終える。また合わせて会話表現も学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール 始業時に「授業方針」のプリントを配布する。

成績評価の方法 前・後期テストと、授業時の小テストの合計に拠る。

教科書 教室にて指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語ⅡC(会話)	真下祐一	14以降入学生/法A・政治2年	2

講義のねらい 旅先で、また日々の暮らしの中で、あなたがスペイン語に接する機会はますます増えていくでしょう。実際の場面で簡単でも適切な表現が自然と口をついて出てくるくらいスペイン語に親しんでください。すぐに答えられるドリル形式の問題に大きな声ではっきりと答える練習を通して自由な会話力の基礎を固めます。

講義の内容・授業スケジュール
 前期 (1~3) 復習 現在完了 進行形 未来形 (4・5) 再帰動詞 (6・7) 線過去 (8・9) 時の経過の表現 (10) TENER QUE (11・12) 不定語・否定語 (13) 試験
 後期 (14・15) 点過去・規則動詞 (16・17) 点過去・不規則動詞 (18・19) 関係代名詞・1 (20・21) 関係代名詞・2 (22・23) 感嘆文 (24・25) 線過去と点過去 (26) 試験

履修上の留意点 予習・復習を忘れずに。大きな声でしっかり練習しましょう。また自分の言いたいことだけを言うのではなく、相手の言うことがよく理解できるよう、聴解力を養う努力もしましょう。初級のおさらいにも役立つテキストを選びました。

成績評価の方法 100点満点中、40点は出席、課題の提出など授業参加、残りの60点は二回の期末試験と聞き取りや発話の小テストの結果で評価します。

教科書 サンチェス、リオス、ドミンゲス『エスパニョル エン ディレクト』(原題西語)(S.G. E.L.)

参考書等 西和辞典を一冊、『改訂版現代スペイン語辞典』(白水社)など。

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語ⅡD	ナバ口, ホワン J.	法A・政治2年	2

講義のねらい 一年次で学んだ文法をふまえ、命令形(規則動詞、不規則動詞、肯定、否定)を勉強します。次に直説法点過去、線過去(規則動詞、規則動詞)を学びます。さらに再帰動詞などを扱います。最後に直説法過去完了、未来、過去未来、および関係代名詞の使い方を学びます。授業中にプリントを配布します。各課短い読解が最初にあり、次に文法のまとめと練習、最後に会話の練習です。毎回、次の課の説明をします。

成績評価の方法 授業中の練習への参加と出席で評価します。特別試験も実施します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語 L L I	ナバロ, ホワン J.	法A・政治2年	2

講義のねらい

スペイン語の基礎知識がある学生のための授業です。授業中に配布されるプリントの文章や会話について問題を出します。日常会話でよく用いられる表現を聞き取り、話すことができるよう練習します。

成績評価の方法

授業中の練習への参加と出席で評価します。特別試験も実施します。

ロシア語

よく一国を理解するにはその国の言葉を学べば、一番よくわかると人々の口に伝えられているように、現代ロシアの秘められた部分を理解するには、ロシア語を学ぶことが一番手っとり早い方法です。一口にロシア語と言ってもそれはモスクワを中心とした東スラヴ語をさします。ロシア語と兄弟の関係のように近い、よく似た言葉には、ポーランド語、ブルガリア語、ウクライナ語、チェコ語、スロヴァキア語、セルビア語、マケドニア語等、多くの言葉があります。これらの中東欧語を理解するうえでも、ロシア語は、もっとも基本的な言葉となります。またこれらのスラヴ諸国を理解するうえでもロシア語が最も中心的な位置を占めていると言っても過言ではありません。しかもロシア語人口はヨーロッパの全人口に匹敵し得る程の数にのぼっているのです。これからの国際化時代にはどうしても見すごすことのできない言葉と言えます。21世紀においては、単にロシア語を学ぶことのみならず、その背後にある文化と広大な精神風土についても学ぶことは多に価値があることです。駒澤大学でのロシア語はこの国際化時代に向けて、実際に使えるロシア語の学習をめざします。ロシア語もどんどん変化しつつある昨今ですが、そのような流れにも常に敏感でありたいと願っています。

なお、一週間に学ぶロシア語の時間は現状では圧倒的に不足していますが、与えられた時間を最大限に有効に使うために次のような目標をたて、年間スケジュールで授業はすすめられます。

I A・I B：発音や聞きとり、発話を中心に学び、やさしい基本文法を一年間で修了させます。細目は以下の授業内容を参考にしてください。なお、一部のクラスはパソコンによるロシアサイトをリアルタイムでみたり、聞いたりする時間ももちます。

II A・II B：一年のI A・I Bのロシア語を基礎にさらに会話や聞きとり、読解力をつけます。また一年でやりのこした文法の能動・被動、副動詞、などの事項や、より複雑な文章を理解する練習をします。

II D：一年次の基礎ロシア語の学習を踏まえて、更に文法を補い、読み、話し、聴く力をつけます。単に語学の学習にとどまらず、ロシア文化の奥行きの高さもあわせて理解してもらうように、教材も視野の広がるものを選定します。

なお、最後に参考として辞典の紹介を若干しておきます。

- 『露和辞典』（研究社）東郷正延他著
- 『露和辞典』（岩波書店）和 久利他編
- 『博友社ロシア語辞典』（博友社）木村彰一他編
- 『和露辞典』（研究社）藤沼 貴著
- 『和露辞典』（講談社）佐藤 勇著

科目名	担当者名	配当学科	単位
ロシア語 I A	クロチコフ, Y.	法A・政治1年	2
ロシア語 I B	木村 英明		

講義のねらい

- 1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号(力点)の法則、イントネーションの5つの型をみっちりやります。
- 2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現(ボデー・ラングウエジを含む)を身につけます。
- 3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。
- 4) 基礎的な初等文法を学びます。
- 5) アルファベットを活字体、筆記体で書けるようにします。
はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を何回も繰り返しかえし練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に馴れてきたらCDを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらうようにします。授業では各人が何回も発話をさせられますが、全く恐れる必要はありません。全教員が優しく指導してくれますので恥かしがらないことが大切です。
- 6) 教科書を使用して、コミュニケーションに欠かせない基本的な日常会話を習得していきます。

講義の内容・授業スケジュール

2名の教員が、連携しながら、週に2回授業をします。前期は、イントネーションや発音に力点をおき、後期はやさしい短文のききとり、初級文法を学びます。

成績評価の方法

何よりも授業の出席を重視。平常の受け答えの得点、ミニテストなどを総合的にプラスして評価点を出します。

教科書

『21世紀のロシア語』(大学書林) 1,800円+税

科目名	担当者名	配当学科	単位
ロシア語 II A	すぎやま ひでこ 杉山 秀子	法A 2年	2

講義のねらい

1年次の文法事項の練習と、声を出してロシア語がスラスラ読めるように練習します。ロシア語のかんたんな会話と、速読による文意の把握をめざします。

講義の内容・授業スケジュール

- アクセント記号のついた文章をすらすらと読めるようにします。
- 日常つかわれる会話のより複雑なヴァリエーションを学びます。
- やさしい文章を速読で大意がつかめる練習をします。
- かんたんな文を正しく聴きとる練習をします。
- 中等文法のエッセンスを勉強をします。

成績評価の方法

出席と平常点を重視します。

教科書

1年次に使用した教科書と文法表。

その他

プリント配布。教場にて指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ロシア語ⅡA	木村英明	政治2年	2

講義のねらい	1年次の文法事項の練習と、声を出してロシア語がスラスラ読めるように練習します。ロシア語のかんたんな会話と、速読による文意の把握をめざします。
講義の内容・授業スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> ○アクセント記号のついた文章をすらすらと読めるようにします。 ○日常つかわれる会話のより複雑なヴァリエーションを学びます。 ○やさしい文章を速読で大意がつかめる練習をします。 ○かんたんな文を正しく聴きとる練習をします。 ○中等文法のエッセンスを勉強をします。
成績評価の方法	出席と平常点を重視します。
教科書	1年次に使用した教科書と文法表。
その他	プリント配布。教場にて指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ロシア語ⅡB	木村英明	法A2年	2

講義のねらい	正しい文法理解と速読によってロシア語の文意を適確に把握してもらうようにする。さらにやさしいヒアリングの練習と応用により、更にロシア語力を深めます。
講義の内容・授業スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> ・アクセント記号のついた文章をすらすらと読めるようにします。 ・日常つかわれる会話のより複雑なヴァリエーションを学びます。 ・やさしい文章を速読で大意がつかめる練習をします。 ・かんたんな文を正しく聴きとる練習をします。 ・中等文法のエッセンスを勉強をします。
成績評価の方法	平常点で評価します。
教科書	1年で使用した教科書および1年のときに渡した文法表。
その他	プリント配布。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ロシア語ⅡB	佐野朝子	政治2年	2

講義のねらい

正しい文法理解と速読によってロシア語の文意を適確に把握してもらうようにする。さらにやさしいヒアリングの練習と応用により、更にロシア語力を深めます。

講義の内容・授業スケジュール

- アクセント記号のついた文章をすらすらと読めるようにします。
- 日常つかわれる会話のより複雑なヴァリエーションを学びます。
- やさしい文章を速読で大意がつかめる練習をします。
- かんたんな文を正しく聴きとる練習をします。
- 中等文法のエッセンスを勉強をします。

成績評価の方法

平常点で評価する。

教科書

1年で使用した教科書および1年のときに渡した文法表。

その他

プリント配布。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ロシア語ⅡC(会話)	クロチコフ, Y.	14期入学学生/法A・政治2年	2

講義のねらい

以前に学習した発音、文法、会話の復習。講師が作成した練習テキストを用い、文法の基礎を学習しながら、同時に、会話、作文を練習します。ロシア語を通して世界を広げていきましょう。

成績評価の方法

平常点で評価します。授業中に、時々、簡単なテストを行います。

教科書

杉山秀子他著『やさしいロシア語読本』(大学書林) 1,751円、その他。プリント配布。ビデオ、オーディオ等を使用します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ロシア語ⅡD	佐野朝子	法A・政治2年	2

講義のねらい

正しい文法理解と速読によってロシア語の文意を適確に把握してもらうようにする。さらにやさしいヒアリングの練習と応用により、更にロシア語力を深めます。

講義の内容・授業スケジュール

- アクセント記号のついた文章をすらすらと読めるようにします。
- 日常つかわれる会話のより複雑なヴァリエーションを学びます。
- やさしい文章を速読で大意がつかめる練習をします。
- かんたんな文を正しく聴きとる練習をします。
- 中等文法のエッセンスを勉強をします。

成績評価の方法

平常点で評価します。

教科書

1年で使用した教科書および1年のときに渡した文法表。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ロシア語 L L I	^{あん とく} 安 徳 ニーナ	法A・政治2年	2

講義のねらい	ロシア語Ⅰ、Ⅱで学んだことを基に、日常会話からロシア文学への入門ができることを目標とします。 日常の話題等についても自由に会話ができるようになることを目指します。
講義の内容・授業スケジュール	教科書にもとづいて会話形式に講義を進めます。
履修上の留意点	講義で行う練習問題を主として学習態度も参考にし平常点で評価します。
教科書	S, KHAVRONINA 著 <i>RUSSIAN AS SPEAK IT</i> (ナウカ社)
参考書等	必要に応じてその都度資料を配布します。

《再履修クラス》

[英 語]

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I A 〔再クラス〕	にしむらゆうこ 西 村 祐 子	法A・政治2・3・4年	2

外国語

講義のねらい

英語による電子メールの書き方を修得しながら「苦手な英語」から「使える英語」を習得することをめざす。基本的なタッチタイピングから指導し、インターネットをつかって英語で海外の各地の情報を得たり電子メールでといあわせたりしてみる。

講義の内容・授業スケジュール

前期：自己紹介の仕方、確認、問い合わせ、お礼の英文メールなど基本的な英語表現を学ぶ。
後期：より複雑な内容のメールの書き方を学ぶ。

履修上の留意点

学生への要望：大学の電子メールアドレスの取得はコンピュータ教場の使用の際にも必要なので、かならず事前におこなっておくこと。タッチタイピング修得用にフロッピーディスクを用いるので、はじめの授業から、かならず一枚持参のこと。

成績評価の方法

成績評価：平常点重視。定期試験はおこなわない。

教 科 書

Subject: E-mail: writing effective messages (南雲堂)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I A 〔再クラス〕	いわいひろみ 岩 井 洋 美	法A・政治2・3・4年	2

講義のねらい

基礎的な文法を再確認し、英語で表現できるようにする。

講義の内容・授業スケジュール

テキストで語彙や文法を確認後、英作文などの問題に取り組む。

履修上の留意点

取り組み姿勢を重視するので、遅刻と欠席は評価に大きく響く。

成績評価の方法

出席と授業態度を重視。そのほか、小テストと前、後期試験で評価。

教 科 書

『会話作文のための復習英文法』（朝日出版社）1,800円 ISBN4-255-15389-2

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I A 〔再クラス〕	はやし たかのり 林 孝 憲	法A・政治2・3・4年	2

講義のねらい

日常生活に必要な英作文（手紙なども含む）を短文から学んでゆく。

講義の内容・授業スケジュール

テキストを用いて授業内で作文を行なう。必要に応じてプリントも使用する。

履修上の留意点

各自の必要に応じて、高校で使用した「英文法」の教科書などを持参するとよい。

成績評価の方法

出席、発表、前後期の試験の結果で総合的に評価する。

教 科 書

『自然な日本語から自然な英語へ』（成美堂）1,500円 ISBN4-7919-5028-3

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A 〔再クラス〕	牧野輝良	法A・政治2・3・4年	2

講義のねらい

英文を理解するのに必要な英文の構造・語句等を年間を通じ、しっかりと学習すること。

講義の内容・
授業スケジュール

英文をよりよく理解するために英語の例文をよく読み、試訳を参考に自分で和訳し、英語と日本語の表現の違いを知ること。

成績評価の方法

授業中の課題の提出、3～5課毎の小テスト、期末テスト及び2/3以上の出席を総合して評価する。

教科書

『大学英文法A to Z』（金星堂）1,300円 ISBN4-7647-3697-7 C1082

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A 〔再クラス〕	朝川真紀	法A・政治2・3・4年	2

講義のねらい

日常生活におけるコミュニケーションに必要な基本的英語表現力を身につける。

講義の内容・
授業スケジュール

大学で英語を学ぶために必要な最低限の文法事項を確認しながら、あらゆる場面での会話表現を学び、聞く力、話す力、書く力を伸ばし定着させていくための演習を繰り返す。

履修上の留意点

予習は毎回行うこと。辞書は必ず持参すること。遅刻した者は授業開始30分まで入室を認めるが、遅刻3回で1回欠席とする。全授業数の3分の2以上出席していない者は不合格とする。

成績評価の方法

平常点、小テスト、定期試験の総合評価。

教科書

浅川和也著『リスニングマスターコース英語で聴く世界事情』（金星堂）1,900円 ISBN4-7647-3782-5 C1082

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A 〔再クラス〕	佐藤アヤ子	法A・政治2・3・4年	2

講義のねらい

英語でのE-mailの書き方を学習します。

講義の内容・
授業スケジュール

毎回様々な話題の通信文を練習し、大切な表現を暗記します。

履修上の留意点

毎週、前週に学んだ表現の暗写テストをします。

成績評価の方法

毎回の暗写テスト、前期・後期の試験結果、平常点を総合的に評価します。

教科書

松居 司、Philip Hinder 著『はじめてのEメール英作文』（南雲堂） ISBN4-523-17321-4 C0082

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A 〔再クラス〕	よしえまさお 吉江正雄	法A・政治2・3・4年	2

講義のねらい

英文を正しく読み、発音し、その上で英文を正しく理解することを目標とする。しかし、そこには当然、構文の理解、文法的な正しい解釈も伴われなければならない。これらのことを総合的に学びながら、文明の黎明期、言語の発達段階等についても学ぶことになる。

講義の内容・授業スケジュール

一講時に進む範囲は大体決まってくるので、その範囲の読みと、解釈を中心に据え、後に文法・構文の説明を加える。小説家による美しい文章に触れ、美しい英文の書き方に繋げたい。

履修上の留意点

大体決まってくる一講時に進む範囲の予習をしてくることを望む。

成績評価の方法

前・後期の試験の平均点をベースに、授業参加の積極度、発表回数等を鑑みて評価を出す。ただし、授業総数の三分の一を超える欠席のある学生の評価は出ないから注意すること。

教科書

A Short History of the World (こびあん書房)

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A 〔再クラス〕	はなわ 美智子	法A・政治2・3・4年	2

講義のねらい

英語の運用能力養成をめざす。日常基本表現から多様な会話表現の理解と運用能力の養成をめざす。同時に文章表現も学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

テキストの中から多様な英語表現を習得する。日本語に訳さないで英語の表現として身につける習慣をつけていく。

履修上の留意点

辞書を使う場合も出来るだけ英英辞典を使う習慣を身につけていく。

成績評価の方法

日常の出席状況を重視し、普段の授業態度、前後期の試験の結果を入れて総合的に評価する。

教科書

『*Effective reading & listening—Learning About Different Cultures—* 読解・聴解のための効果的学習ブック』(松柏社) 1,800円

参考書等

その都度黒板に板書し案内する。

その他

大切なことばを一つでも多く頭に入れ必要な時すぐに使える様に毎日の生活の中で英語のことばについても関心を持っているようにする。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A 〔再クラス〕	塚本利男 <small>つかもととしお</small>	法A・政治2・3・4年	2

講義のねらい

語彙力の増強を図りながら、基本的な文法知識を復習・強化して英語の運用の能力を向上させる。

講義の内容・授業スケジュール

各章が、読み物、文法事項の解説と英作文から構成されていますので、1回の授業で1章を読み終えるようにします。毎回、授業の最後に、予習をかねる意味で作文の問題を提出する。テキストの問題以外にも100語～200語程度で自分の考えや意見を短文にまとめて、提出してもらう事もあります。

履修上の留意点

授業の予習をして下さい。

成績評価の方法

授業における発表・小テストと前・後期の定期試験に基づく。特に、平常授業を重視しますので、全授業数の3分の2以上は、必ず出席して下さい。

教科書

『エンジョイ・イングリッシュ』（朝日出版）1,700円＋税 ISBN4-255-15390-6 C1082

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A 〔再クラス〕	川島弘之 <small>かわしまひろゆき</small>	法A・政治2・3・4年	2

講義のねらい

英語を楽しんでもらうことを目指す。学生が強い関心と興味を抱いているロック音楽を教材として使う。学生にもロック音楽等のリクエスト曲を出してもらう。現代の若者にとって、ロック音楽の歌詞はかつての英詩にとって代るものであり、現代詩の一翼をになっている。その歌詞の中には「生きがい」や「Love」についての深い考え方や感性がこめられているので味わってもらいたい。

ロック音楽を通して、人間の心が揺さぶられ、英語音声の感性が磨かれ、人間と社会、人間と自然、人間と人間を見る眼が深まることを望む。

履修上の留意点

他の学生の発表に関心、興味、理解を抱くよう努力することを望む。

成績評価の方法

他の学生の発表に関心をもつこと、日常の発表、レポート、前後期の定期試験等、総合的に評価します。前期のテストは英語の歌を歌うことで行うこともできる。授業の欠席が3分の1を超えた場合は不合格とする。

教科書

『ロックの心』（大修館書店）1,339円 ISBN4-469-24066-4
その他DVDの映像を使用する。

参考書等

『ロックで読むアメリカ』（近代文芸社）
『ロックの意味』（草思社）
『ロック・ミュージックとアメリカ』（シンコーミュージック）
『ロック音楽と現代社会』（マクミラン・ランゲージハウス）

その他

DVDの映像を使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A 〔再クラス〕	尾上 典子 <small>のえ のり こ</small>	法A・政治2・3・4年	2

講義のねらい

日本と西洋の文化を比較したテキストを使用して、言語理解に必要な文化的・社会的背景知識を習得させるとともに、実践的な英語運用能力の向上をはかる。

講義の内容・授業スケジュール

下記のテキストを翻訳させながら、同時に欧米と日本の文化を正しく理解するのに役立つ様々な資料を配布し、読解・聴解・作文などの英語運用能力の向上を目標とする。

履修上の留意点

正当な理由なくして年間の出席率が2/3に満たない者および授業態度の著しく悪い者は落第させる。

成績評価の方法

評価は、授業態度、出席率、年2回の前・後期試験・小テストなどによって総合的に判断する。

教科書

飛岡 健・David Burleigh 共著 *Japanese and Westerners* 『日本人と欧米人』（マクミラン・ランゲージハウス）

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A 〔再クラス〕	外池 一子 <small>との いけ かず こ</small>	法A・政治2・3・4年	2

講義のねらい

日常生活の様々な場面をテーマにした会話の聞き取りを中心にリスニング力の向上と共に、それを基にスピーキングの力をつけることを目指します。

講義の内容・授業スケジュール

授業はテキストに沿って進めます。

履修上の留意点

予習は当然ですが、復習をきちんとすること。各レッスンのポイントとなる表現は必ず覚えること。

成績評価の方法

平常点30%、授業の進度にあわせて行う試験（目安は前期・後期各2回）70%。出席日数が3分の2以上の履修者のみが評価の対象となります。

教科書

開講時に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A 〔再クラス〕	高柳 文江 <small>たか やなぎ ふみ え</small>	法A・政治2・3・4年	2

講義のねらい

この授業においては、現代社会が抱えている様々な問題について書かれた簡潔な文章を基に、まずその Listening と Comprehension を行います。その後、章毎のトピック文の中の語彙、慣用句、文法を理解し、それを基に、writing, speaking 両面から文章を作る事を学びます。

履修上の留意点

授業の性質上、予習が必ず必要です。又、単位取得には2/3以上の出席が要求されます。座席指定。

成績評価の方法

試験（前期試験・後期試験）60%、日常点（出席、提出物、授業への取り組み方等）40%

教科書

第一回の授業にて発表します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A 〔再クラス〕	くま さわ かず あき 熊 沢 和 明	法A・政治2・3・4年	2

講義のねらい	基礎的な国語英語の教材を使い、日常基本表現からダイアログに至る会話表現の理解と運用能力の向上をめざす。
講義の内容・授業スケジュール	テキストを中心に学習しながら、プリントの副教材も使用します。
履修上の留意点	ペアワークやプレゼンテーションなどの活動もします。予習が必要です。
成績評価の方法	前期・後期の試験をしますが、出席点と日常の発表点を重視します。単語小テスト、レポート課題など、様々な活動を総合評価します。
教科書	開講時に指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A 〔再クラス〕	いわ はら やす お 岩 原 康 夫	法A・政治2・3・4年	2

講義のねらい	英語による日常的なコミュニケーション力の向上を狙いとする。そのために、一定の基本的な動詞の構文と用法を学習する。
講義の内容・授業スケジュール	クラスはテキストに沿って、表現練習問題をやり、その応用を行ってもらう。
履修上の留意点	学生諸君の予習を前提にしてクラスを進める。
成績評価の方法	前期・後期の試験60パーセント、平常点40パーセントを基準として、成績評価をする。平常点はクラスにおける予習及び発表によって判断する。
教科書	<i>Cultivating Writing Skills</i> (朝日出版) 2,000円 ISBN4-255-15280-2

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A 〔再クラス〕	にし はら かつ まさ 西 原 克 政	法A・政治2・3・4年	2

講義の内容・授業スケジュール	英語を話すときに役立つ表現力を中心にした作文の演習用のテキストを用いる。外国人が英語を学習する際に役立つと考えられている Basic English (850語で大体日常生活の必要な表現がすべてできるという考え方) を基本にしている。英語が書けるということは、英語が話せるということと直結しているので、その基礎を自分のものとして、会話に応用していただきたいと考えている。
履修上の留意点	受講者には第一回目の授業で、成績評価方法も含めて説明するので、必ず出席のこと。
成績評価の方法	出席が授業回数の3分の2以上であること。日常のプレゼンテーションをその都度評価する。前期・後期試験は行わない。
教科書	『英語表現トレーニング』(北星堂書店)

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B 〔再クラス〕	手島 敬子 てしま けいこ	法A・政治2・3・4年	2

講義のねらい 本科目は発音・リズム等の音声面の指導に留意しながら、標準的な英語で書かれた文章を読む力を養うことを目標とします。

講義の内容・授業スケジュール テキストは比較的平易な英語で書かれたものを使用し、短時間に効率良く、また適切に内容を読み取る練習を行っていきます。

履修上の留意点 英和辞典を必ず持参。

成績評価の方法 中間・定期試験、課題、出席状況、授業への参加度などにに基づき総合的にを行います。

教科書 『Reading Culture and Comprehension (2) 基礎英文講読法 (2)』
(マクミラン ランゲージハウス) 1,800円
ISBN4-89585-451-5

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B 〔再クラス〕	林 孝憲 はやし たかのり	法A・政治2・3・4年	2

講義のねらい 現代の我々の日常生活におけるエコロジーと経済に関する中級レベルの読解を行なう。またテーマ別のリスニングも行なう。

講義の内容・授業スケジュール 読解とリスニングを平行して行なう。

履修上の留意点 単語調べ等、予習が必要。

成績評価の方法 出席、発表、前後期の試験の結果で総合的に評価する。

教科書 『エコロジーとビジネス』(南雲堂) 1,900円 ISBN4-523-17430-X
『5分間ヒアリング』(南雲堂) 700円 ISBN4-523-17151-3

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B 〔再クラス〕	木村 克彦 きむら かつひこ	法A・政治2・3・4年	2

講義のねらい やや平易な英文を精読することにより、徐々に実際の運用面も補っていきたい。テキストには各課ごとに練習問題があるが、これらを、本文を再読せずに解ければ、最も望ましいであろう。また、適宜、「エコノミスト誌」や「フォーチュン誌」の記事も訳読してゆきたい。

成績評価の方法 基本的には、前・後期の定期試験に因るが、それ以上に授業態度を重視する。私語厳禁。

教科書 *Developing Reading Skills* (朝日出版社) 1,700円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英 語 I B 〔再クラス〕	武 藤 久 緒 むとうひさお	法A・政治2・3・4年	2

講義のねらい

英語学力の基礎となるのは読解力です。標準的で平明な英語を正しく理解できるよう、必要文法事項を説明しながら精読します。

講義の内容・授業スケジュール

- 前期
1. Too Many People? or Too Few?
 2. A Relative Problem
 3. Terrorists or Freedom Fighters?
 4. Fighting in the Name of God.
 5. Judging People the Wrong Way.
 6. The Emptiness Inside
 7. An All-American Planet
 8. The Enemy of Everybody
- 後期
9. A Big, Mean Teacher
 10. The Battle of the Sexes
 11. Trying to Cure the World
 12. When Conservation Isn't Enough
 13. The Fight for Rights
 14. The Issue You Seldom See
 15. Problems that Know No Borders

履修上の留意点

毎回、受講者に順次、訳読をしてもらいます。積極的に学習にとりくむよう努めて下さい。

成績評価の方法

成績評価は前・後期の期末テスト、授業中の発表、出席状況などを考慮して行います。

教科書

Peter Weld, *The World Ahead* (金星堂)

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英 語 I B 〔再クラス〕	江 田 幸 子 えださちこ	法A・政治2・3・4年	2

講義のねらい

英語の基本的な構文の読み取り方を重点的にチェックしながら一ページ程度の英文を精読します。トピックの違う内容を15編読みます。今年度はハリウッド映画の内容を要約した英文を読みます。時折ビデオを観て話される英語を聞いてみます。各々に面白い映画が扱われているので、楽しく英文を読めたら、と思っています。

英語は一見平易ですが読解力をつけるのに勉強になる構文や表現法が使われていて、楽しく読みながら読解力をつけるのには適しているでしょう。

講義の内容・授業スケジュール

クラスでは授業中が自宅学習のようにして英語学習を進めていきますので必ずテキスト、辞書、ノートを持参して下さい。解らないところは授業中に辞書をひいて、皆で学習して解るようにしていきます。

成績評価の方法

再履修クラスは出席を特に重視します。ほとんど毎回、辞書を使いながら小テストをして平常評価点とします。前期・後期の期末テストよりこの平常点を重視して評価点を出していきます。10回行う小テストの内、上位5回分の成績の平均点を最終評価点とします。欠席回数が多い人は平均点が当然悪くなりますので注意して下さい。出席者には最低50点を出しますが欠席者は0点になります。

教科書

John S. Lander, *Hollywood 2 Short Scenes from the Movies* (ASAHI PRESS) 1,800円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B 〔再クラス〕	甲斐捷子	法A2・3・4年	2

講義のねらい

今年のIB再クラスは、やさしい英語で書かれた面白い小説を読みます。ただし、言葉の解釈は英語で行い、語彙を増やしながら、口語英語の運用能力も高めるような授業内容となります。

講義の内容・授業スケジュール

テキスト一冊終了後時間が余れば、著者のインタビュー記事を読みます。これはハンドアウトとして配布します。

履修上の留意点

一単元終わるごとに小テストを行います。これは詳細な復習のためのテストで、本試験と同様の内容のものです。このテストで70%以上得点できるように、復習に重点を置いて学習して下さい。

成績評価の方法

一応の目安として、平常評価としての出席10%、前期試験30%、後期試験30%、小テスト30%による総合評価とします。総合点が基準に達しない場合、欠席が三分の一を超えた場合、および前後期試験のいずれかを欠試した場合は不合格となりますから、特に欠席をしないよう、十分注意して下さい。

教科書

The Summer after the War and A Family Supper (鶴見書店) 900円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B 〔再クラス〕	石原孝哉	法A・政治2・3・4年	2

講義のねらい

このクラスでは国際共通語としての英語にスポットを当てます。具体的にはアメリカ、イギリスばかりでなく、オーストラリア、インド、ドミニカ、ナイジェリアなど世界各地で使われている英語を、短編を教材にして学びます。教科書は全て英語、練習問題も英語なので英英辞典があると便利です。

成績評価の方法

成績は中間試験、期末試験のほかレポート等から総合的に評価し、出席を重視します。レポートはe-mailで提出することも可能で、提出先は教場で指示します。

教科書

Longman *The Whole Story* (南雲堂フェニックス)

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B 〔再クラス〕	真砂久晃	法A・政治2・3・4年	2

講義のねらい

英文読解の基礎力をつける。

講義の内容・授業スケジュール

初回の授業でオリエンテーションをする。必ず出席すること。

履修上の留意点

出席が3分の2未満の学生は単位を取得できない。但し、正当な理由のある欠席に関しては考慮する。

成績評価の方法

成績 = (前期の成績 + 後期の成績) ÷ 2
前期、後期共、成績は (100点満点) = 出席点 (20~30%) + テスト (70~80%) となる。

教科書

THE BEATLES (南雲堂フェニックス) 980円 + 税

参考書等

THE BEATLES の CD、DVD など。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B 〔再クラス〕	たかやなぎ 高柳 文江	法A・政治2・3・4年	2

講義のねらい

英文の逐一の翻訳ではなく英文を速やかに、かつ、正確に理解する事をめざします。

講義の内容・授業スケジュール

世界の中で現在生じている様々な問題について書かれた簡潔な文章を基にまずその Listening と Comprehension を行います。その後、章毎のトピック文の中の語彙、慣用句、文法についての演習問題を行い、更なる理解を深めます。

履修上の留意点

授業の性質上、予習が必ず必要です。又、単位取得には2/3以上の出席が要求されます。座席指定。

成績評価の方法

試験（前期試験、後期試験）60%、日常点（出席、小テスト、提出物、授業への取り組み方等）40%。

教科書

『World Today—文化の諸相』（鳳書房）

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B 〔再クラス〕	くまざわ 熊沢 和明	法A・政治2・3・4年	2

講義のねらい

総合教材のテキストを使い、主に読解の能力を向上させるのをめざす。

講義の内容・授業スケジュール

テキストを中心に学習しながらプリントの副教材を使用します。

履修上の留意点

ペアワークやプレゼンテーションなどの活動もします。予習してくることを。

成績評価の方法

前期、後期の試験をします。出席と日常の発表なども重視。単語小テストなどもやります。総合評価です。

教科書

開講時に指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B 〔再クラス〕	まちだ しげお 町田 成男	法A・政治2・3・4年	2

講義のねらい

入学時の英語を基礎として、より高度な構文の理解と速読の基礎を身につける。また、リスニングでは聞きながら文章の大意を把握する。

講義の内容・授業スケジュール

原則としてテキストにしたがって読みすすめる。

履修上の留意点

テキストと辞書は忘れずに持参すること。

成績評価の方法

出席＋発表＋試験の総合評価とする。

教科書

検討中のため、第一回の授業時に、オリエンテーションの中で発表する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅠB 〔再クラス〕	飯沼 好永 <small>いぬま よしなが</small>	法A・政治2・3・4年	2

講義のねらい 様々な英語の文章を読みながら、より正確な内容理解と、それに必要な基本的な文法事項も合わせて習得することに努める。

履修上の留意点 リーディングの力を向上させるには、多くの英文に触れることが大切であるが、受身の姿勢では、自己の英語力を向上させることは難しいので、積極的に授業に参加してください。特に英語に対して苦手意識のある人は、予習に力を入れてください。

成績評価の方法 出席状況、授業への取り組み方、課題、定期試験等を考慮して行う。平常評価（50%）、前期・後期試験（50%）

教科書 *Reading Landmarks of the world*（三修社）1,800円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡA 〔再クラス〕	佐藤 明子 <small>さとう あきこ</small>	法A・政治3・4年	2

講義のねらい リーディング・リスニング問題を中心に英語の運用能力を高めることを目標とします。

講義の内容・授業スケジュール テキストは、内容読解やリスニングの問題も入った総合テキストです。1回の授業で、1章程度進む予定です。

履修上の留意点 授業ではなるべく多くの学生を指名します。毎回予習を十分にしてくることを望みます。

成績評価の方法 前期・後期試験、平常点、出席状況を総合的に評価します。（ただし出席が3分の1に満たない場合は「不合格」とします）

教科書 『*Real Life in Britain*（イギリスを感じてみよう）』（三修社）1,850円（税別）
ISBN4-384-33246-7 C1082

参考書等 必ず辞書を持ってきて下さい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡA 〔再クラス〕	宇都宮 秀和 <small>うつのみや ひでかず</small>	法A・政治3・4年	2

講義のねらい 再履修のクラスを数年受けもって受ける印象は、a)出席数が不足している、b)理解していない部分を、理解するまで十分に掘り下げないで、あいまいな理解でやり過ぎて来た、以上の2点である。

講義の内容・授業スケジュール 以上のことを考慮して、解らない部分を中心に授業をすすめていきたい。

履修上の留意点 進み方は、遅くともよいから基本的なことをしっかりと理解しながらすすむ。

成績評価の方法 毎回、毎回、小テストを行い、それらを積み重ねた平常点。

教科書 プリント使用。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ A 〔再クラス〕	おが ぎき としいちろう 岡 崎 寿一郎	法A・政治3・4年	2

講義のねらい

語学教育は、人間の能力の開発と完成を目指す大学教育の場にある学生たちに必須の教育過程といえます。授業では、文法・文の構造についての理解を深めつつ、綿密な読解によって国際化の時代に即応したグローバルな視野の養成を目指します。

履修上の留意点

テキストの内容のトータルで正確な理解を目指すので、必ず予習をしてください。

成績評価の方法

平常評価としての出席（50%）、前期試験に代わる夏季レポート（25%）、後期試験（25%）の総合評価とします。

教科書

村田薫『英語で学ぶ知の原点』（鶴見書店）1,500円

その他

月曜日・5時限

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ A 〔再クラス〕	さ とう えりこ 佐 藤 江里子	法A・政治3・4年	2

履修上の留意点

必ず予習をし、辞書を用意して授業に参加すること。

成績評価の方法

出席、発表、小テスト、授業態度などの平常点と、前期後期試験による総合評価。

教科書

未定

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ A 〔再クラス〕	おが ぎき としいちろう 岡 崎 寿一郎	法A・政治3・4年	2

講義のねらい

語学教育は、人間の能力の開発と完成を目指す大学教育の場にある学生たちに必須の教育過程といえます。授業では、文法・文の構造についての理解を深めつつ、綿密な読解によって国際化の時代に即応したグローバルな視野の養成を目指します。

履修上の留意点

テキストの内容のトータルで正確な理解を目指すので、必ず予習をしてください。

成績評価の方法

平常評価としての出席（50%）、前期試験に代わる夏季レポート（25%）、後期試験（25%）の総合評価とします。

教科書

岡崎寿一郎『禅と日本文化』（太陽社）1,470円

その他

火曜日・4時限

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ A 〔再クラス〕	井伊順彦	法A・政治3・4年	2

講義のねらい 日米の文化の差異について会話からはじまり、文法事項を復習。Exercise で英語力を養成。センテンス・レベルの作文能力を養う。

講義の内容・授業スケジュール テキストに従って、前半 Letter から Vacation, 後半 Drinking から Loan Words まで。

履修上の留意点 授業の予習復習をすること。

成績評価の方法 日常の発表を重視し、小テスト、前・後期のテストによる総合的評価とする。

教科書 『異文化の理解に向けて』（旺史社）1,360円（本体）＋税

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ A 〔再クラス〕	川崎浩太郎	法A・政治3・4年	2

講義のねらい IA を基礎としてさらに高度な意思伝達能力の向上を目的とする。最終的には数パラグラフからなるエッセイで自分の意見を具体的かつ論理的に表現できるようになることをめざす。

講義の内容・授業スケジュール テキストをもとに、パラグラフを書く手順、パラグラフの基本構成、論理展開等を学習する。それを踏まえた上で、教科書の Unit ごとに適切な課題を出すので、それにしたがってエッセイライティングをおこなってもらう。また、口語表現の学習のため、TOEIC® のリスニングなどもおこなう。

履修上の留意点 毎時間必ず辞書を持ってくること。

成績評価の方法 出席点、発表点40%、授業中のレポート60%。全授業日数のうち3分の1以上欠席したものは不可とする。

教科書 『Skills for Better Writing—構造で書く英文エッセイ』（南雲堂）1,800円（税別）ISBN4-523-17448-2

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ A 〔再クラス〕	矢島直子	法A・政治3・4年	2

講義のねらい 英語のリスニングに慣れることを目標にします。

講義の内容・授業スケジュール 教科書とCDを使って、英語を聞き取る練習をします。

履修上の留意点 授業では、学生にどんどんあててやってもらいますから、予習をしてくる。二回目から教科書を使いますから、それまでに教科書を手に入れること。

成績評価の方法 平常点を考慮に入れ、前期末・後期末試験とともに総合的な評価をします。

教科書 James Bean 『Listen to this! Intermediate リスニングスキルの総合演習 中級』（成美堂）2,400円 ISBN4-7919-4579-4

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ 〔再クラス〕 A	相馬美明 <small>そう ま よし あき</small>	法A・政治3・4年	2

講義の内容・
授業スケジュール

I Aの英語を基礎として、様々な英語の運用能力(発話・読解・聴解)を身につける。また、様々な検定試験などにも対応すべく、TOEIC[®]、TOEFL[®]のリスニング・セクションの問題等にも触れ、聴解力を高めてゆく。

成績評価の方法

出席に関しては、基本的に全出席を期待し、前期・後期に行う試験、および授業で課すレポート、また授業態度等を総合的に評価する。

教科書

開講時に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ 〔再クラス〕 A	河内賢隆 <small>かわ うち けん りゅう</small>	法A・政治3・4年	2

講義のねらい

ここで扱われている題材は、さまざまなメディアから取った最新のものです。それを表現している語法も新しく、いわば生きた英語です。テープを多用しながら授業をすすめますので、耳の訓練も目指しています。

履修上の留意点

再履修クラスなので、出席と発表は重視します。

成績評価の方法

出席点+発表点=50点、残りの50点を二回のテストで評価します。とにかく真面目な授業態度で学習して下さい。

教科書

『メディア英語で読む現代社会2004』（金星堂）1,700円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ 〔再クラス〕 A	古富猛 <small>こ とみ たけし</small>	法A・政治3・4年	2

講義のねらい

講座上の点で、英語を使える様な素養を身につけるべく方向付けて欲しい。情報伝達の発展した今日、その渦の中で冷静さを失うわけにはゆかないので、国際化の中、外国語習得は重要ではないかと思われる。

講義の内容・
授業スケジュール

日本人の資質にそった習得法を私なりに実践している。そのやり方は最近、活躍している著名人のものと極めて酷似しており、自信を深めているので、講義中に話をしたい。テキストにも重点を置き、一年間、多読を目指したい。

履修上の留意点

最近とみに言われているが、学生諸君の学力低下の傾向は事実であると自らも、教壇で実感している。語学の習得は、本来地道な努力の積み重ねが、基本であることを認識してもらい、もう一度復習をしてもらいたい。

成績評価の方法

成績はあくまでもテキストによる予習発表を平常点とし、出席と前後期のペーパー・テストによって判断する。

教科書

テキストは教場にて指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ A 〔再クラス〕	三浦眞理 <small>み うら まり</small>	法A・政治3・4年	2

講義のねらい

英文法の基礎事項を学習し、日本人には分かりにくい点や、まちがいがやすい点を中心に学習し、文法的に誤りのない文が書けるように、豊かに表現できるようになることを目標とします。

講義の内容・授業スケジュール

教科書にそって基礎的な英文構造、成句、熟語をできるだけ多く学習し、それを基礎にして英作文を色々工夫しながら作成してみたいと思います。そして、実際に活用できるように学習していこうと思います。

履修上の留意点

予習しておくこと。授業には必ず辞書を携帯すること。

成績評価の方法

テストは学習した章を中心に分割して授業時間中に行い、後期最後に総まとめ試験を実施します（授業時間中の小テスト重視）。評価は、3分の2以上の出席（厳守）、小テスト、授業中の発表（50～60%）及び後期試験の結果を入れて総合的に評価します。

教科書

Essential English Grammar for Writing (弓プレス) 1,600円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ A 〔再クラス〕	山岸二郎 <small>やま ぎし じ ろう</small>	法A・政治3・4年	2

講義のねらい

英文構造の理解に努めつつ、いろいろな英文表現力の向上を計る。

講義の内容・授業スケジュール

「文法事項」に目を通してから「練習問題」「発展問題」更に「復習問題」へと学習をすすめる。

履修上の留意点

必ず予習をしておくこと。

成績評価の方法

平常の学習を重視する。前期後期のテスト、小テスト等総合して評価する。

教科書

『語順が身につく英作文』（朝日出版社）1,800円 ISBN4-255-15360-4C1082

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ B 〔再クラス〕	佐藤江里子 <small>き どう えりこ</small>	法A・政治3・4年	2

履修上の留意点

必ず予習をし、辞書を用意して授業に出席すること。

成績評価の方法

出席、発表、小テスト、授業態度などの平常点と、前期後期試験による総合評価。

教科書

未定。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ B 〔再クラス〕	伊藤美代子	法A・政治3・4年	2

講義のねらい

IBを基礎として、より高度で実社会に直結した生の英文の理解をめざす。
また、リーディングだけでなく、スピーキング、ヒヤリング、ライティングも行い、総合的な英語力を強化する。

講義の内容・授業スケジュール

原則として和訳は行わず、英語による内容の理解を図る。できるだけ、英語を使用するが、構文等の説明は日本語で行う。

履修上の留意点

予習が絶対条件である。また、半期に、4回以上欠席したものには、単位を与えない。また、遅刻2回で欠席1回と数える。

成績評価の方法

各学期毎に中間テストと期末テストを行い、その結果の平均が80%、残りの20%は、小テスト、平常点、提出物により計算する。

教科書

1. Naoko Ogawa, Yumiko Yoshida, Mariko Miyajima『パラグラフ中心の英語基礎演習』（金星堂）1,950円
2. 伊藤美代子（編著）『さらばジャパニーズイングリッシュ』（北樹出版）1,500円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ B 〔再クラス〕	川手浩一	法A・政治3・4年	2

講義のねらい

外国語としての広い見識と深い考えを養うようにする。

講義の内容・授業スケジュール

外国語としての英語を学ぶ目的はその国の文化を知ることである。

履修上の留意点

授業は前後、関連しているので予習復習をして問題点をさぐり出すようにする。

成績評価の方法

日常の出席を重視し、前期後期のテストをふくめて総合評価です。

教科書

『Looking at America 素顔のアメリカ』（誠美堂）1,600円

その他

月曜日・4時限

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ B 〔再クラス〕	かわて ひろかず 川手浩一	法A・政治3・4年	2

講義のねらい

外国語としての広い見識と深い考えを養うようにする。

講義の内容・
授業スケジュール

外国語としての英語を学ぶ目的は、言葉を学習してその国の文化を知ることである。テキストを読みながらその内容について理解する。

履修上の留意点

授業は前後、関連しているので予習復習をして問題点をさぐり出すようにする。

成績評価の方法

日常の出席を重視し、前期後期のテストをふくめて総合評価です。

教科書

『Skills for Better Reading 構造で読む英文エッセイ』（南雲堂）1,900円

その他

月曜日・5時限

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ B 〔再クラス〕	はせがわ こういち 長谷川公一	法A・政治3・4年	2

講義のねらい

マザー・テレサの生涯は、貧困にあえぐインド・カルカッタの人びとのハンセン氏病治療と救済のために、自分のエネルギーの全てを投入した人間愛に貫かれていた。彼女自身はユーゴ生まれだが、彼女の活動は国籍、宗教、人種の相違を越えた高い次元で、世界中の人びとに静かな感動を与えたのである。このテキストは、カトリック尼僧として、カルカッタで精力的に貧者の救済に当たったマザー・テレサの活動のドキュメントである。

成績評価の方法

出席率プラス前後期2回のテストによって採点する。

教科書

『マザー・テレサ』（桐原書店）388円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ B 〔再クラス〕	さわだ まゆみ 澤田真弓	法A・政治3・4年	2

講義のねらい

簡単な英語表現を学び、リスニングやライティングの能力を総合的に伸ばすことを目標とします。

講義の内容・
授業スケジュール

毎時間さまざまな英語表現を学び、暗記してもらいます。

履修上の留意点

積極的に授業に参加することが望ましい。単語の意味調べは必ずやっておくこと。

成績評価の方法

出席回数、発表や提出物、前期後期試験の結果を総合的に判断して評価します。

教科書

教場にて指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ B 〔再クラス〕	おち あい かず あき 落 合 和 昭	法A・政治3・4年	2

講義のねらい

このクラスのレベルは英語の中級（英検準二級、二級、準一級）程度とし、現代口語英語で書かれた文章とヒヤリングを通して、口語表現に慣れ、英語の運用能力を高めることを目標とする。また、各種の実用検定試験（英検、TOEIC[®]、TOEFL[®]、国連英語等）の受験準備にも役立つようにする。

講義の内容・授業スケジュール

一回の講義は、主として、四段階からなる。第一段階として、ヒヤリングを通して、英語の自然なスピードに慣れる。第二段階は書き取りをする。第三段階は、ヒヤリングや書き取りのなかで使用されている慣用表現の意味や用法を、テキストを通して、確認する。第四段階は、学生に会話文の発音練習をしてもらう。

履修上の留意点

授業は徹底した演習形式を取り、学生の予習を前提にして、進める。

成績評価の方法

前・後期定期試験が全評価の40%、課題・授業中の発表・小テスト等が60%（課題は年間約20回程度提出。授業中の発表等に関しては、一回の授業中に、最低一回は当てるともりである。出席率が3分の2を越えなければ、成績は「不可」とする。

教科書

『日常会話英作文』（成美堂） ISBN4-7919-5035-6 C1082
Oxford Idioms Dictionary for Learners of English（オックスフォード大学出版局）2,200円
 ISBN0-19-431545-2

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ B 〔再クラス〕	まえ だ おさむ 前 田 脩	法A・政治3・4年	2

講義のねらい

英文を丁寧に読むことで、異なる文化の思考過程の順路をたどってみます。

講義の内容・授業スケジュール

テキストを読みすすめながら、テキストにあった英文ニュースをコピーして使用します。

履修上の留意点

授業は予習し、積極的に参加してほしい。

成績評価の方法

日常の発表を重視し、前期、後期の試験の結果を総合的に評価します。

教科書

『サバイバル・イングリッシュ(1)』（朝日出版）1,359円 ISBN4-255-15168-7 C1082

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ B 〔再クラス〕	かわ うち けん りゅう 河 内 賢 隆	法A・政治3・4年	2

講義のねらい

テキストのタイトルからわかる様に、人間性と文化がどのように係ってきたかを歴史的に扱ったものです。これは、文明が行きづまった現代、我々が根本的に問い直さなければならぬ問題です。

講義の内容・授業スケジュール

また内容と共に英文も精読し、語法的な面にも注意を向けたいと思います。

履修上の留意点

3、4年の再履クラスなので真面目な授業態度を求めます。

成績評価の方法

評価は、出席点+発表点=50点、残りの50点を二回の試験でだします。

教科書

『知の進化論—人間性と文化の起源』（金星堂）1,900円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ B 〔再クラス〕	ほん ま とし かず 本 間 俊 一	法A・政治3・4年	2

講義の内容・授業スケジュール

教科書の英文の訳読とその構文理解を中心として学びながら、話題は英米文化圏の日常生活、そして彼らの思考、さらに日本との比較に及ぶ。通常の授業は、前もって学習する予定を発表し、予習を前提に授業を進める。さらに年間を通じていくつか課題の提出を要求するつもりである。学習においては、もちろん細部にこだわるつもりであるが、あまり細部にこだわり過ぎて全体観を失うことは愚かなことであるから、時には相手に大きな誤解を与えない程度に大胆に要約する能力を養えるようにする。

成績評価の方法

前期と後期の2回の試験はもちろんのこととして、普段の授業での発表、さらに年間を通じての課題の提出で評価を決定する。授業の出席は3分の2以上、遅刻3回で1回の欠席と計算する。なお、課題の提出の仕方については授業で細かく説明するつもりであるが、休暇中にパソコン・ネットワークでも可能であるから興味のある学生はそれに習熟されたい。

教科書

Checknote For Business Trends（金星堂） 1,100円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ B 〔再クラス〕	ささ くら さだ お夫 笹 倉 貞 夫	法A・政治3・4年	2

講義のねらい

近年ますます国際化していく現代社会に即応し得るような洗練された国際感覚の育成とともに英語の実践的な運用能力の伸長をめざす。

講義の内容・授業スケジュール

平易な現代アメリカ英語で書かれたテキストを用いて、英語による文章表現を学ぶ。テープ教材併用

履修上の留意点

予習・出席重視

成績評価の方法

前・後期末テストの他、場合によっては、レポートを提出していただき、出席状況も勘案しながら総合的に最終評価を出す。

教科書

Malvina Vogel『珍しい事実・記録のビッグブック The Big Book of Amazing Facts』（太陽社）

その他

土曜日・3時限

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ B 〔再クラス〕	笹倉貞夫	法A・政治3・4年	2

講義のねらい	近年ますます国際化していく現代社会に即応し得るような洗練された国際感覚の育成とともに英語の実践的な運用能力の伸長をめざす。
講義の内容・授業スケジュール	平易な現代アメリカ英語で書かれたテキストを用いて、英語による文章表現を学ぶ。テープ教材併用
履修上の留意点	予習・出席重視
成績評価の方法	前・後期末テストの他、場合によっては、レポートを提出していただき、出席状況も勘案しながら総合的に最終評価を出す。
教科書	Pearl Buck『聖書物語 <i>The Bible Story</i> 』（太陽社）
その他	土曜日・4時限

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ D 〔再クラス〕	前期：町田尚子 後期：照山雄彦	法A 3・4年	2

(P.115) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ D 〔再クラス〕	岩屋玉江	法A 3・4年	2

(P.115) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ D 〔再クラス〕	真砂久晃	法A 3・4年	2

(P.116) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ D 〔再クラス〕	丹治弘昌	法A 3・4年	2

(P.116) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ D 〔再クラス〕	相馬美明	法A 3・4年	2

(P.116) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ 〔再クラス〕 D	田中保	法A 3・4年	2

(P.117) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ 〔再クラス〕 D	岸本茂和	法A 3・4年	2

(P.117) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ 〔再クラス〕 D	丸小哲雄	法A 3・4年	2

(P.117) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ 〔再クラス〕 D	桧山晋	法A 3・4年	2

(P.118) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ 〔再クラス〕 D	飯沼好永	政治3・4年	2

(P.118) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ 〔再クラス〕 D	本間俊一	政治3・4年	2

(P.118) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ 〔再クラス〕 D	大瀨利春	政治3・4年	2

(P.119) 参照

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 II D 〔再クラス〕	て じ ま け い こ 手 島 敬 子	政治3・4年	2

(P.119) 参照

外
国
語

[ドイツ語]

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ドイツ語 I A 〔再クラス〕	柴野博子	法A・政治2・3・4年	2

講義のねらい

この授業は、初級文法の最も基本的な事柄のみを重点的に教え、ドイツ語の大枠がつかめるようにすることを目標にしています。

履修上の留意点

ドイツ語の勉強には、特に初級では、一歩一歩積み重ねて行くことが非常に大切です。従ってできるだけ休まずに出席することを希望します。

成績評価の方法

試験は、年に3回行います。この3回の試験と、平常の学習態度を総合して、成績評価を行います。

教科書

大岩信太郎『ドイツ文法のかなめ（新装版）』（三修社）1,600円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ドイツ語 I A 〔再クラス〕	志真斗美恵	法A・政治2・3・4年	2

講義のねらい

ABCの発音からはじめて、ドイツ語の初級文法の基礎を学習します。

講義の内容・
授業スケジュール

教科書にしたがって、文法事項を説明した後、その内容を理解するための練習問題を課し、提出していただきます。（毎回実施）

履修上の留意点

さまざまな理由で再履修になった方たちが受講していると思います。授業に参加していれば理解できる内容です。休まず出席してください。

成績評価の方法

平常点（練習問題の提出、小テスト。重視）と前・後期試験で総合的に評価します。

教科書

西本美彦・西本アンゲリカ著『エクセ12——ドイツ文法』（朝日出版社）2,100円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ドイツ語 I A 〔再クラス〕	本橋右京	法A・政治2・3・4年	2

講義のねらい

伝統的なドイツ語初級文法の配列にしたがって、やさしい文章にできるだけ多く触れることで、運用能力の涵養を期します。

講義の内容・
授業スケジュール

文法を初めから復習し、ドイツ語の仕組みを把握します。これをドリル式練習問題で確実なものとしましょう。必要に応じて補助練習プリントを配布します。

履修上の留意点

予習や授業中の発表など、みなさんの積極的な取り組みに期待します。

成績評価の方法

前期・後期の試験や出席などで総合評価します。

教科書

諏訪田 清 『新訂・ドイツ文法18歩』（同学社）2,200円

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 I A 〔再クラス〕	すぎもと まさとし 杉本正俊	法A・政治2・3・4年	2

講義のねらい

ヨーロッパ文化の重要な一翼を担い、現代日本とも深いかわりを持つドイツ語圏(ドイツ、オーストリア、スイスの一部など)の言語、ドイツ語を、発音、文法、語彙、文など様々な角度から学び、ドイツ語への入門を果たしてもらおう。授業の性質上、文法に重要な力点を置いた授業を行う。

講義の内容・授業スケジュール

教科書に従った授業を行う。

履修上の留意点

予習より、授業中の集中力に重点を置いて要領良く学んで下さい。教師のことばにしっかり耳を傾け、よく理解する事が重要です。こちらも必要事項は学生が理解しているかどうかを確認しながら繰り返し説明するつもりです。

成績評価の方法

前後2回の期末テストも重要だが、授業にきちんと参加しているかどうかを非常に重視します。当てられた問いには必ず自分なりによく考えて答えを出して下さい。その際に、結果的に正しい答えを出したかどうかより、自分なりに考えて答えを出せたかどうか、という点をより重視します。

教科書

藤代幸一・保阪靖一『ワンポイント・ドイツ文法』(郁文堂) 1,800円 ISBN4-261-01185-9

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 I B 〔再クラス〕	いいづか きみお 飯塚公夫	法A・政治2・3・4年	2

講義のねらい

正規の授業と同じで、ドイツ語の基本を振り出しからやっていきますが、発音と内容の読み取りを重視します。

講義の内容・授業スケジュール

教科書通りに、文法説明・発音練習・文章の読解といった手順でやっていきます。

履修上の留意点

出席ただけでは単位になりません。日常から頭をきりっとして生きている必要があります。あとはまじめであれば十分です。(授業中にものを飲んだり、ヘッドフォンを頭につけたまま、あとから教室に入ってくる神経には、ドイツ語のみならず、まともな知識は入っていないでしょう。)

成績評価の方法

前期後期各一回の筆記試験と平常点(=発表点)。

教科書

大久保進他著『ポータルサイト：ドイツ語』(朝日出版社) 2,300円

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 I B 〔再クラス〕	野島利彰 <small>の じま とし あき</small>	法A・政治2・3・4年	2

講義のねらい	文法をある程度踏まえながら、耳からドイツ語を学びます。
講義の内容・授業スケジュール	付属のCDを自宅で聞いてあることを前提として授業を進めます。教室では音読と練習問題に答えてもらうことを主眼にします。3課に1回程度ヒアリングテストを行います。
履修上の留意点	練習問題がたくさんあります。よく予習をして答えられるようにしておいてください。
成績評価の方法	予習をしてあるか否か、2回の期末試験、ヒアリングテストなどを総合的に判断して成績を評価します。
教科書	荻野・ラープ著『ベルリン・キャンパスライフ』（朝日出版）2,300円

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 I B 〔再クラス〕	井村行子 <small>い むら ゆき こ</small>	法A・政治2・3・4年	2

講義のねらい	ドイツ語の基礎を復習します。
講義の内容・授業スケジュール	文法事項を確認しながら、簡単なテキストを読んでいきます。
履修上の留意点	なにはともあれ出席を心がけてください。
成績評価の方法	学期末に試験を行います。場合によっては授業内に小テストを行うかもしれません。
教科書	教科書販売時まで決定して、書店の方に連絡しておきます。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 I B 〔再クラス〕	本橋右京 <small>もと はし う きょう</small>	法A・政治2・3・4年	2

講義のねらい	伝統的なドイツ語初級文法の配列にしたがった、やさしい文章をできるだけ多く読み、運用能力の涵養を期します。
講義の内容・授業スケジュール	文法を初めから復習します。文法によってドイツ語の仕組みを把握し、これをやさしいテキストで確認します。さらに多くの練習問題で理解を確実なものとし、できればユーモアに富む読章で、学ぶ楽しさを味わえればと願っています。
履修上の留意点	予習や授業中の発表など、みなさんの積極的な取り組みに期待します。
成績評価の方法	前期・後期の試験や出席などで総合評価します。
教科書	春日正男 『トア！トア！トア！ーサッカーで学ぶドイツ語』（郁文堂）2,400円

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語ⅡA 〔再クラス〕	まつおか 松岡 晋	法A・政治3・4年	2

講義のねらい

下に掲げた教科書を用いてドイツ語の現代文を読みます。ドイツ語の新聞、雑誌等を読むための基礎訓練になれば、と思っております。

講義の内容・授業スケジュール

教科書は、各課とも、現代ドイツの生活や社会に関する2～3ページのドイツ語の文章、関連する文法事項の説明および練習問題からなっています。ドイツ語の文章には注解も付いており、比較的容易に読みこなせるはずですが、合計10章からなっていますので、各章を2～3回分の授業で終えることを一応の目安とします。

履修上の留意点

多少は予習をお願いいたします。また、毎回、独和辞典を持参してください。ドイツ語に限らず、外国語のテキストを読むには、最初のうちは時間と忍耐力が必要です。すぐに諦めないで、粘り強く続けてください。再履修となった理由のほとんどは、途中で勉強を諦め、出席しなかったことです。今年はそのようなことのないように切に願います。

成績評価の方法

成績評価は最低二回以上おこなう筆記試験の結果および平常点（出席率、授業に取り組む姿勢、分担箇所の和訳をきちんと準備したかどうかなど）によっておこないます。したがって、試験結果もさることながら、定期的出席、授業中の熱意なども重視します。

教科書

石井寿子ほか『時事ドイツ語 '03トピックス』（朝日出版社）1,900円

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語ⅡA 〔再クラス〕	おだしば 織田 繁美	法A・政治3・4年	2

講義のねらい

この授業は、ドイツ社会の身近な話題、様々なジャンルの分野を扱った文章に触れながら、初級文法を見ていこうというものです。

講義の内容・授業スケジュール

授業初めの30分、40分は授業で扱う分野の説明に当てるので、遅刻しないように留意して下さい。

履修上の留意点

一回一回の積み重ねがドイツ語の力になっていくので、授業を休まないようにして下さい。辞書を必ず持参のこと。

成績評価の方法

前期末、後期末のテストの外に、平常点が重視される。

教科書

プリントを授業の都度渡す。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語ⅡA 〔再クラス〕	くりはら 栗原 万修	法A・政治3・4年	2

講義のねらい

再履修クラスなので、できるだけやさしく、わかりやすい授業にしたいと思います。ただし語学は継続的にやらないと習得できませんから出席を重視します。休まないように。

成績評価の方法

成績評価は、平常の小テストや宿題を中心に、授業中の学習意欲等も含め総合的に判断します。

教科書

テキストは特定せず、受講者の学力に合わせ、最適と思われる教材をその都度教場で配布します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語ⅡB 〔再クラス〕	百 済 勇 <small>もも ずみ いさむ</small>	法A・政治3・4年	2

講義のねらい

自分が客員研究員をしている「ベルリン・ドイツ経済研究所」(DIW)のドイツ人の経済専攻院生は勿論のこと、フランス、ロシアなどの学生・院生は、明白な問題意識をもって勉強をしていると同時に、それに必要な外国語学修得が前提となっていることだ。そうした学習方法を学ぶ必要がある。

講義の内容・授業スケジュール

受講生は人文科学・社会科学を学ぶ3年、4年である。それ故に諸君が、ヨーロッパ経済を学習対象とする場合には、ドイツ語の履修が不可欠だ。その修得には、まず徹底して声をだして読むことだ。毎時間、一人一人数回当てての徹底した口答対話を行う。

履修上の留意点

ドイツ人が英国訪問をした際の「ドイツ人の為の英語会話」をテキストを使うので、毎回の授業出席が前提になる。そしてこうした学習方法は、結果として英会話も力がつくだろう。時には、ドイツの新聞の文化・社会・政治・経済記事なども、テキストとして使用する。熱心な学生の受講を希望する。

成績評価の方法

前期、後期の定期試験は行わないが、それを総合して年度末の成績として評価する。

教科書

日本で作成した教科書は使わず、その都度、既に指摘したプリントを配布する。その際に初年度で使用したドイツ辞書、ドイツ語教科書を持参すること。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語ⅡB 〔再クラス〕	柴 野 博 子 <small>しば の ひろ こ</small>	法A・政治3・4年	2

講義のねらい

この授業は、初級文法で習った事柄を復習しながら、ある程度まとまった、やさしい文章を読んで行きます。テキストは、はじめてドイツに留学した日本の大学生の〈異文化との出会い〉を扱ったものです。

履修上の留意点

ドイツ語の学習には、一步一步つみ重ねて行くことが非常に大切です。従ってできるだけ休まずに出席して下さい。

成績評価の方法

試験は、年に3回行います。この3回の試験と、平常の学習態度を総合して、成績評価を行います。

教科書

岩崎英二郎・山路朝彦・Wolf Gewehr『留学生のみたドイツ』(朝日出版社) 1,748円

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語ⅡB 〔再クラス〕	織 田 繁 美 <small>お だ しば み</small>	法A・政治3・4年	2

講義のねらい

このクラスは、日常のやさしい会話を通じて、聞き取りに習熟することを目ざす。そのため、常識的な知識の取得と、会話ではどのような表現がなされるかというようなことを勉強する。

講義の内容・授業スケジュール

時には短い記事のようなものを読み、読解力を養うことも進めていきたい。授業には全精力を注ぐ位に気持ちを集中して臨んで下さい。

履修上の留意点

一回一回の授業では、大して沢山の勉強をしていないかには見えますが、それを積み重ねると、ドイツ語の大きな力になります。授業に休まないように、遅刻しないようにして下さい。

成績評価の方法

平常点に大きなウエイトが置かれます。

教科書

プリントを用いる。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語ⅡD 〔再クラス〕	志真斗美恵	法A・政治3・4年	2

(P.134) 参照

外国語

〔フランス語〕

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語 I A 〔再クラス〕	竹田 正純 <small>たけだ まさずみ</small>	法A・政治2・3・4年	2

講義のねらい

フランス語の音を大切にしながら、基礎的な文法事項の修得を目指す。

履修上の留意点

文法事項などの小テスト、発音テストを毎授業おこなうので休まないこと。

成績評価の方法

上記テストのほか、前後期2度の試験をもとに評価する。

教科書

竹内信夫・工藤 進『フランス文法カラントパージュ』（白水社）2,000円

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語 I A 〔再クラス〕	荻原 眷 <small>おしはら けん</small>	法A・政治2・3・4年	2

講義のねらい

1年かけて、仏語のやさしい文章（おもに会話の多い文章）が読めて（発音）、その内容が理解（読解力）できるようにします。読解力をつけるためには、文法の知識を身につけることがどうしても必要です。文法は読解力に非常に役立つ道具です。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、文法を土台にして、仏語の読み方、辞書の上手な引き方を覚えます。後期は、前期の作業を発展させて、できるだけ多くの仏文を読めるようにします。

履修上の留意点

教科書と同時に辞書を持参して下さい。

成績評価の方法

毎回小テストか辞書を使う和訳のテストをします。それに、期末の総合テスト。ときどきレポート。

教科書

野村二郎著『キャロット』（白水社）1,325円

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語 I A 〔再クラス〕	小玉 齊夫 <small>こたま なりお</small>	法A・政治2・3・4年	2

講義のねらい

フランス語の規則を、しっかりと覚えていきます。辞書を活用し、読み方を確実にして、簡単なフランス語文を読み解けるようになることが目標です。

講義の内容・授業スケジュール

一回の授業で、一課を学習する、という速度で、進んでいきます。各課終了時に、まとめとしての小テストを行い、より確実な記憶・学習をめざします。

履修上の留意点

特別な事情がないかぎり、毎回必ず出席すること。知識の確認を、授業のたびごとに、行うこと。

成績評価の方法

上記の小テストならびに前期・後期の試験によって、判定します。

教科書

小畑・寺家村 著 『快速フランス語』（駿河台出版社）1,600円
ISBN4-411-00752-5 C1085

参考書等

辞書については、初めの授業時に、説明します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語 I A 〔再クラス〕	と お や ま ひろ お 遠 山 博 雄	法A・政治2・3・4年	2

講義のねらい 基礎的な文法事項をきちんと身につけること。

講義の内容・授業スケジュール はじめに詳しい説明をし、その後で練習問題をやります。単純な事項から複雑な事項に順を追って進んでいきます。

履修上の留意点 必ず辞書を持って出席し、自分で問題に取り組む姿勢が必要です。遅刻をして説明を聞きもらさないこと。

成績評価の方法 2回ないし3回の筆記試験、動詞活用の小試験を行ないます。

教科書 佐藤久美子他著『フロレゾン』（白水社）2,000円

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語 I A 〔再クラス〕	な に か わ 谷 川 かおる	法A・政治2・3・4年	2

講義のねらい フランス語の基礎をゆっくりと学び直します。

講義の内容・授業スケジュール 文法の基礎を学んだ後に、なるべく数多くの練習問題を行い、基礎力を養います。毎回、小テストを行い、重要な項目を暗記します。

履修上の留意点 出席重視。辞書は毎回持参すること。

成績評価の方法 前期・後期試験、および小テストなど。

教科書 明石伸子著『パリで会いましょう』（白水社）2,200円

参考書等 授業中に紹介する。

その他 全員参加の演習方式ですので、積極的に参加してください。

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語 I B 〔再クラス〕	すが や さとる 菅 谷 暁	法A・政治2・3・4年	2

講義のねらい 初歩のフランス語を、コミュニケーション能力の学習に力点を置いて勉強します。

履修上の留意点 休まずに出席すること、継続的な努力を望みます。

成績評価の方法 前期末と後期末の試験、および小テストによります。

教科書 藤田著『彼女は食いしん坊！』（朝日出版社）2,500円

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語 I B 〔再クラス〕	いまぜき 今関アン	法A・政治2・3・4年	2

講義のねらい

一年時に習得できなかった箇所を確実なものにし、フランス語検定5級程度の力を付ける。

講義の内容・授業スケジュール

テープの聞き取り、単語調べ、その場での会話訓練および訳読、練習問題など。

履修上の留意点

2/3の出席は最低条件である。なお教科書・辞書も携行せず、漫然と椅子に座って出席点を貰おうなどと考えるのは言語道断である。予習し、積極的に授業に参加し、課題の提出を持って初めて出席と見なす。就職活動・疾病などでやむを得ず欠席する場合は、出席に相当する課題を出す。

成績評価の方法

2/3以上の出席 (25%) + 夏休みの課題『ふらんす夏休み学習号』白水社の実力テスト (25%) + 前・後期定期試験 (50%)

教科書

清岡智比古著『ボンボン・ショコラ』(白水社) 2,100円

参考書等

仏和辞典、『ふらんす夏休み学習号』(白水社) (7月中に大学内紀伊國屋書店で購入)
清岡智比古著『フラ語入門、わかりやすさにもホドがある』(白水社) 1,500円

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語 I B 〔再クラス〕	こだまなりお 小玉齊夫	法A・政治2・3・4年	2

講義のねらい

音としてのフランス語の習得を中心に、可能であれば、会話の基礎をつくりあげたい、と思います。

講義の内容・授業スケジュール

一時間に一課という進度で、そのつど、確実に、表現のかたちを確かめていく予定です。前期に、まとめとしての試験、後期に全体の試験を行い、また、随時、知識確認のための書き取りを行います。

履修上の留意点

必ず毎回出席すること。文法事項よりも、フランス語表現のかたちを覚えること。授業ごとに必ず自分が発声するつもりで来ること。

成績評価の方法

前述の諸試験で総合的に判定します。

教科書

藤田 著『彼女は食いしん坊!』(朝日出版社) 2,500円
ISBN4-255-35151-1 C1085

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語ⅠB 〔再クラス〕	はせがわ みつあき 長谷川 光明	法A・政治2・3・4年	2

講義のねらい

初級文法を復習しながら、フランス語の表現能力を徐々に高めていくことを目標とします。

講義の内容・授業スケジュール

下記の教科書に従って、各文法事項を解説したのち、その場で練習問題に取り組んでもらいます。試験は前期二回と後期二回の計四回行います。

履修上の留意点

基本表現をまず習得し、練習問題に取り組むことによって、その応用能力を養っていきます。そのためには、出席者は口答問題、筆答問題に積極的に取り組む必要があります。

成績評価の方法

前期二回、後期二回の試験と平常点。

教科書

岩間直文『話したくなるフランス語 全面改訂版』（朝日出版社）2,000円

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語ⅡA 〔再クラス〕	はた なかちあき 畑 中 千 晶	法A・政治3・4年	2

講義のねらい

初級文法を復習しつつ、会話、和文仏訳の力を伸ばす。また、フランス文化について書かれた文章を読みながら読解力を高める。その際、音読できるようになることを目指す。

講義の内容・授業スケジュール

初回の講義の際に年間スケジュールを配布します。

履修上の留意点

自宅学習とクラスでの活動を連動させることで、力が伸びていきます。宿題には必ず取り組むようにしてください（CDを活用します）。

成績評価の方法

前期末試験30%、学年末試験30%、平常点（宿題、小テストなど）20%、夏期休暇の課題10%、出席10%。

教科書

澤田直之、リリアンス・ラタンジオ、黒川学者『アミカルマン—フランス語・フランス文化への誘い—（改訂版、CD付）』（駿河台出版社）2004年 2,500円

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語ⅡA 〔再クラス〕	ぬま くらひろこ 沼 倉 広 子	法A・政治3・4年	2

講義のねらい

辞書を使いこなして、文章を読む力をつける。

講義の内容・授業スケジュール

文化、地理などを題材にフランスの現在を知る。

履修上の留意点

文法の説明など随時行うので、休まないことが肝要。

成績評価の方法

前後期とも試験を行うが、平常点も重視する。

教科書

野村二郎著『フランス、言葉と歴史の旅』（第三書房）2,400円
ISBN 4-8086-2099-5 C1085

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語ⅡA 〔再クラス〕	はせがわ みつあき 長谷川 光明	法A・政治3・4年	2

講義のねらい	ビデオ教材を用いながら、フランス語初級文法を復習していきます。
講義の内容・授業スケジュール	下記の教科書に従って、各文法事項を解説したのち、その場で練習問題に取り組んでもらいます。試験は前期と後期二回行います。
履修上の留意点	基本表現をまず習得し、練習問題に取り組むことによって、その応用能力を養っていきます。そのためには、出席者は口答問題、筆答問題に積極的に取り組む必要があります。辞書は毎回持参してください。
成績評価の方法	前期後期試験および平常点。
教科書	中山真彦他『ボンジュール・パリ』（白水社）2,200円

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語ⅡB 〔再クラス〕	まえだ のりかず 前 田 祝 一	法A・政治3・4年	2

講義のねらい	中級フランス語の最初の段階に、レベルを設定します。
講義の内容・授業スケジュール	比較的やさしい文章を少しずつ読んでゆき、音としてのフランス語に慣れ親しみ、同時にフランス人の感性や知性のあり方にも触れましょう。
履修上の留意点	初級フランス語の単位未修者や自信のない人は、自分で参考書を買って求めて勉強するつもりでいること。
成績評価の方法	前・後期のペーパー・テストで成績を評価しますが、出席や日頃の課題なども考慮します。
教科書	野内良三『フランス・ユーモア集』（第三書房）900円

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語ⅡB 〔再クラス〕	ぬま くら ひろこ 沼 倉 広 子	法A・政治3・4年	2

講義のねらい	辞書を使いこなして読解力をつける。
講義の内容・授業スケジュール	歴史、文学、文化、経済など多岐にわたる内容のテキストを使用する。
履修上の留意点	文法の説明など随時行うので、休まないことが肝要。
成績評価の方法	前後期とも試験を行うが、平常点も重視する。
教科書	瀧川好庸（他）著『やさしく読めるフランス語新聞』（第三書房）1,700円 ISBN4-8086-2674-8 C1085

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語ⅡB 〔再クラス〕	谷川 かのる <small>たに かわ</small>	法A・政治3・4年	2

講義のねらい

フランス語の文法を学び直しながら、実際のテキストに慣れ、辞書があれば読めるようになることを目標とします。

講義の内容・授業スケジュール

前期は主に文法の復習。後期には、いろいろなテキストの読解に挑戦します。

履修上の留意点

出席重視。辞書は毎回持参すること。

成績評価の方法

前期・後期試験、および小テストなど。

教科書

未定。

参考書等

授業中に紹介する。

その他

演習方式ですので、なるべく積極的に参加してください。

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語ⅡD 〔再クラス〕	伊藤 なお <small>いとう</small>	法A・政治3・4年	2

(P.193) 参照

〔中国語〕

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A・I B 〔再クラス〕	江 林 英 基 <small>こう りん ひで ちと</small>	法A・政治2・3・4年	2

講義のねらい

授業は発音とピンイン表記を再学習後、各課の文法を解説しながら本文と会話の文型を説明し、学生諸君に順番に朗読させ、正しい発音と声調を求める。

講義の内容・授業スケジュール

テキストは中国人が日常生活でよく使用する単語と簡単な文型を内容とするものであり、全20課、各課の本文のあとに基礎文法の解説と会話の例文を付してある。その内容も易から難へと自然な順序で配列されている。

成績評価の方法

小テスト、宿題、年2回の定期試験及び出席状況と学習態度を総合して判定する。

教科書

上野恵司『標準中国語（基礎編）』（白帝社）2,000円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A・I B 〔再クラス〕	戸 張 嘉 勝 <small>と げり よし かつ</small>	法A・政治2・3・4年	2

講義のねらい

中国語の発音と基礎的な文法（文型）・会話を修得する。

講義の内容・授業スケジュール

- ①中国語と日本語との異同を簡単に解説し、学習上の注意事項と学習要領を認識する。
- ②発音と声調の反復練習によって正確な発音を覚える。特に日本語にない発音や発音上の約束事を徹底して練習する。
- ③基礎的な文法（文型）や実用会話は教科書の展開に沿って行なう。

成績評価の方法

前期と後期の中間試験、前期と後期の期末試験、授業態度や発表などの平常点と出席率によって評価する。

教科書

劉郷英・嘉瀬達男・豊後宏記著『中国語精選サラダ（単語と基本文型）』（朝日出版社）2,200円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A・I B 〔再クラス〕	杉 山 静 <small>すぎ やま やすし</small>	法A・政治2・3・4年	2

講義のねらい

本講義は初級中国語の修得を目的とする。中国語の基礎的なものの履修を通じて、基本的な中国語の学力、読む、聞く等の力の育成を目指す。

講義の内容・授業スケジュール

最初の2～3週間は、中国語の最も重要且つ基本的な拼音・発音の知識について集中講義を行う。
発音の力を付けてから、教科書内の基礎句型、更に常用語彙等を重点的に授業を進めながら、簡単な文法の知識も講義に含まれる。

履修上の留意点

中国語の発音を学ぶには必ず“漢語拼音方案”という北京語の音声のローマ字綴りのシステムの勉強に力を注ぐべきである。それに漢字の簡体字や発音、意味等に留意し、日本の漢字と比較して見ること。

成績評価の方法

出席率を高く評価するが、授業に臨む態度も評価のポイントとなる。
年間約3回の筆記試験；前期末、中間試験と年末のテストを予定している。外に発音テストを1回行う。

教科書

渡辺晴夫・徐祖瓊著『はじめて習う中国語』（白水社）2,100円

参考書等

辞書を用意する必要がある。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A・I B 〔再クラス〕	佐藤 普美子	法A・政治2・3・4年	2

講義のねらい

中国語の基礎になる発音、語彙、基本文法をしっかり身につける。中国式ローマ字表記（ピンイン）を正確に読み、書けるようにする。

履修上の留意点

授業時は、耳、口はもちろん、手もフルに活用して言葉の整理定着をはかるので、気力及び体力がないと継続受講は難しくなるだろう。覚悟が必要。私語厳禁。

成績評価の方法

学期末テストも行うが、小テスト、平常点（出席、授業時の意欲）を重視する。

教科書

戸沼市子他『緑日はとてにぎやか』（郁文堂）2,600円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A・I B 〔再クラス〕	塩旗 伸一郎	法A・政治2・3・4年	2

講義のねらい

とにかくピンインを声に出して読めるようになる。そして中国語の音声的魅力を体感するとともに、その構造的特徴や文化的表現、ひいては中国人のものの考え方や世界観を理解し、私たち自身の言葉や習慣、社会について異なる視点から捉えなおすことが目的。

講義の内容・授業スケジュール

音を離れて言葉は存在し得ない。漢字だけ睨んで当て推量する暗号解読作業に陥らぬため、定期試験の約半分は音声により出題する。また年間を通じて聞き取り・発音等の小テストを行う。

履修上の留意点

携帯電話&メールの電源を切らぬ者は、そこにいないのと同じ。退席を命じ、欠席扱いとする。

成績評価の方法

定期試験+小テスト+平常点-欠席点。
欠席は前期・後期それぞれ3回目から10点ずつ減点。遅刻は2回で欠席1回に相当。

教科書

戸沼市子他『緑日はとてにぎやか』（郁文堂）2,600円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A・I B 〔再クラス〕	根岸 政子	法A・政治2・3・4年	2

講義のねらい

中国語の発音と基本文法を習得する。

履修上の留意点

最初の3、4回は中国語の発音を中心に進めるので、必ず出席すること。やさしい教科書なので、3回に2課のペースで進む。学習したことが力になっているかを確認するために随時小テストを行う。

第1時限の授業であるが、遅刻をせずに、きちんと4分の3以上出席すること。

成績評価の方法

前期後期のテスト、小テスト、出席状況などで評価する。

教科書

徐祖璦著『はじめて習う中国語』（白水社）2,100円（CD付）

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A・I B 〔再クラス〕	さくらば かずのり 櫻庭和典	法A・政治2・3・4年	2

- 講義のねらい 日常生活でよく使う表現を選び、実生活に役立つ基礎的な中国語会話の習得を目指す。
- 講義の内容・授業スケジュール 始めは、発音（四声）・ピンイン表記（中国式ローマ字）の習得に重きをおき、初歩的な語法にはいり、平易な文型を通して表現力を高める。中国語文の反復・応用練習・暗誦により基礎語学の向上を計る。
- 履修上の留意点 授業の開始までに、教科書を必ず購入すること。
- 成績評価の方法 平常評価（授業態度・出席日数）、小テスト、学期末テスト（前期、後期各一回）出席日数の足りない場合受験資格を失うため注意すること。欠席・遅刻は日数により減点する。
- 教科書 小川都夫著『中国語初級対話64』（白帝社）1,550円
- 参考書等 辞書は当然必要ないが、必要になったら授業のなかで紹介する。
- その他 授業中の私語は厳禁とする。携帯電話の電源は必ず切っておくこと。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A・I B 〔再クラス〕	そう たい わ 曹泰和	法A・政治2・3・4年	2

- 講義のねらい バリエーションに富む楽しいテキストで、実際に役立つような会話文を学ぶ。基礎的な発音、基本文法をゼロから学ぶ。
- 履修上の留意点 元気よく、積極的に授業に参加すること。
- 成績評価の方法 テスト、宿題、出席、学習態度で総合評価する。
- 教科書 相原茂・陳淑梅・飯田敦子『恋する莎莎』（朝日出版社）2,500円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A・I B 〔再クラス〕	むら かつ てつ ふみ 村松哲文	法A・政治2・3・4年	2

- 講義のねらい 中国語で簡単な日常会話ができ、平易な文章が読めるようになることを目標に、基本的な短文の暗記と徹底した発音訓練をする。
- 講義の内容・授業スケジュール はじめは発音をマスターするために、中国語の発音表記（ピンイン）を反復練習し、その後、文法事項を確認しながら多くの文章を読みこなしてゆく。
- 履修上の留意点 授業は真剣勝負の時間である。特に語学は積み重ねが大切なので、真摯な態度で授業に臨むこと。
- 成績評価の方法 前期・後期の試験、授業中の小テスト、出席率などを総合評価する。
- 教科書 陳洲拳・劉光赤・水野麗子編著『耳留学中国語』（陸美出版）2,400円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A・I B 〔再クラス〕	三田村 圭子 <small>みたむら けいこ</small>	法A・政治2・3・4年	2

講義のねらい

中国語の発音と文法の基礎を短い文例を学びながら、習得する。

講義の内容・授業スケジュール

最初の2ヵ月は、「ピンイン」の表記と、発音を中心に進める。その後は、配布するプリントと練習問題で文法の基礎を固める。

履修上の留意点

前回の失敗を繰り返さないこと。宿題は毎回提出すること。

成績評価の方法

前期・後期テストと2回の中間テストを行う。また、5題ほどの小テストを6回行い、出席等と合わせて評価する。

教科書

讃井唯允『着実にまなぶ中国語 入門編』（朝日出版社）2,300円

参考書等

第1回の授業時に。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A・I B 〔再クラス〕	小川 隆 <small>おがわ たかし</small>	法A・政治2・3・4年	2

履修上の留意点

発音と文法の基礎をゼロから学び直す。1年生のとき、なぜ失敗したか、自分でその原因をしっかりと反省して授業にのぞむこと。やり直しだからといってしょげる必要はないが、同じ失敗はくり返さないでほしい。授業ではまったくの基礎からていねいに学び直すので、やり直しの良い機会だと考えて、前向きに取りくんでもらいたい。

成績評価の方法

年間4～5回のテストと平常点。出席是最重視。必ず第1回の授業から出席すること。当たり前だが、遅刻・私語は厳禁。とくに卒業年次生は必ず初回に指示を受けること。

教科書

楊凱榮・張麗群『中国語への船出』（朝日出版社）2,200円（CD付）

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A・I B 〔再クラス〕	胡 玉華 <small>こ ぎょく か</small>	法A・政治2・3・4年	2

講義のねらい

- (a) 中国語の発音の方法、中国式ローマ字の発音表記（ピンイン）を理解しながら、繰り返し聞き発音し、中国語の発音の仕方を修得する。
- (b) 音声を通して、基礎的な単語や単語の結びつき方、配列順序、基本的な文句や表記を学ぶ。
- (c) 簡単な文章や会話を「聞き」・「話す」基礎力を養成する。
- (d) コトバだけではなく、コトバの勉強を通して中国或いは中国文化への理解を高める。

講義の内容・授業スケジュール

前期の前半は、発音の修得が中心となり、ピンイン表記の通りに正確な発音ができるようにする。後半は、発音を復習しながら、本文を通して簡単な日常会話をできるようにする。後期は、本文の学習によって、初級レベルに相当する語彙、文法を修得し、聞き、話し、読み、書く能力を総合的に身につけることを目標とする。

成績評価の方法

平常の学習態度、成果を重視し、各期末のテストとあわせて評価する。より楽しい授業を目指すため、授業の出席率と授業中の積極性を高く評価したい。

教科書

渡辺晴夫・徐祖璇著『はじめて習う中国語』（白水社）2,100円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	ひろ かね かなこ 弘 兼 加奈子	法A・政治2・3・4年	2

講義の内容・
授業スケジュール

当初は、発音や基本的な文法の内容の確認を行なう。学生の理解度をみながら、ゆっくりと進めていく予定である。

履修上の留意点

中国語が苦手な学生も、とにかく欠席せず積極的に授業に参加してほしい。

成績評価の方法

成績は年間約4回のテストと教場での平常評価によって総合的に判断する。

教科書

八木章好・鄭麗媚『はじめての中国語 ふうとんほあ』（朝日出版社）2,200円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	らん めい 蘭 明	法A・政治2・3・4年	2

講義の内容・
授業スケジュール

前期は最初の一カ月において、ピンインを読めるように集中的練習をする。その後、簡単な会話の練習に進む。後期は、やさしい日常会話を中心におき、授業を展開する。

成績評価の方法

出席など授業姿勢に評価の重きを置く。前後期二回に分け試験を行う。

教科書

董燕・遠藤光暁『話す中国語 北京篇1』（朝日出版社）2,500円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡA 〔再クラス〕	ひろ いし よし こ 平 石 淑 子	法A・政治3・4年	2

講義のねらい

中国語の基礎を確認しながら、やや長い文章に慣れると同時に、それを通して現代の中国に対する知識を深める。

講義の内容・
授業スケジュール

現代の中国事情に関する知識を深められるようなテキストを選び、発表形式で講読を進める。

履修上の留意点

①四分の三以上の出席を求める。②必ず予習・復習をすること。③授業には辞書を携帯すること。

成績評価の方法

小テスト、レポートなどを含む平常点、及び期末試験による。

教科書

磯部祐子・郭明輝著『中国語で中国を読む』（白帝社）1,800円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語Ⅱ A 〔再クラス〕	いわさき ひろし 岩崎 皇	法A・政治3・4年	2

- 講義のねらい 中国語の文章を読むための文法知識の獲得及び語彙量を増やすことが目標です。
- 講義の内容・授業スケジュール 授業は、始めに本文を各自訳してもらった後、解説をするという形になります。単語のプリントを配布しますが、まず自分で訳さなければなりません。その際、疑問点は自由に質問して構いません。
- 履修上の留意点 授業にはすべて出席することが前提です。やむを得ない理由(急病、急用、忌引、クラブ活動等)により欠席する場合でも、6回を越えた場合は成績評価をしませんから注意してください。
- 成績評価の方法 試験の成績により評価します。試験は前期2回、後期2回行う予定です。
- 教科書 原田松三郎『エベンディのとんち話』(金星堂) 1,850円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語Ⅱ A 〔再クラス〕	おおくぼ あきお 大久保 明 男	法A・政治3・4年	2

- 講義のねらい 中国語の「聴く」「話す」「読む」「書く」、各方面のバランスのとれた表現力を身につけることを目指す。
- 履修上の留意点 積極的に授業に参加すること。毎回予習、復習すること。
- 成績評価の方法 出席率、定期試験の成績、平常点の三項目で総合評価する。
- 教科書 尹景春・竹島毅『中国語さらなる一歩』(白水社) 2,000円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語Ⅱ B 〔再クラス〕	り うん 李 雲	法A・政治3・4年	2

- 講義のねらい 基本文型と表現が織り込まれた会話を中心に授業を進める。日常生活に必要な会話力、文章力をさらに高めることを目的とする。
- 講義の内容・授業スケジュール 基本文型、会話文、練習問題の順で練習し、各課ごとに、書き取りの練習もする。
- 履修上の留意点 平常の練習が大切なので必ず出席すること。
- 成績評価の方法 筆記試験、書き取り・会話のでき具合と出席率などによって総合的に評価する。
- 教科書 本門史『中国語ポイント42』(白水社) 2,100円
- その他 内容的に結構量があるので、きちんと予習、復習のできる学生に受講してもらいたい。
水曜日・4時限

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡB 〔再クラス〕	李 雲	法A・政治3・4年	2

講義のねらい	基本文型と表現が織り込まれた会話を中心に授業を進める。日常生活に必要な会話力、文章力をさらに高めることを目的とする。
講義の内容・授業スケジュール	基本文型、会話文、練習問題の順で練習し、各課ごとに、書き取りの練習もする。
履修上の留意点	平常の練習が大切なので必ず出席すること。
成績評価の方法	筆記試験、書き取り・会話のでき具合と出席率などによって総合的に評価する。
教科書	渡辺晴夫『はじめて習う中国語』（白水社）2,100円
その他	内容的に結構量があるので、きちんと予習、復習のできる学生に受講してもらいたい。 水曜日・5時限

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡB 〔再クラス〕	蘭 明	法A・政治3・4年	2

講義のねらい	基礎文型を復習し、日常生活でよく使う表現を習得する。
講義の内容・授業スケジュール	発音の練習・基礎文法の確認・会話文の暗誦という三つの内容を中心に進めていく。
履修上の留意点	授業時には大きな声で読むこと。欠席しないこと。
成績評価の方法	出席を重視する。宿題など提出物も評価に加味する。
教科書	董燕・遠藤光暁『話す中国語 北京篇2』（朝日出版社）2,500円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡD 〔再クラス〕	曹 泰 和	法A・政治3・4年	2

(P.146) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡD 〔再クラス〕	村 松 哲 文	法A・政治3・4年	2

(P.147) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡD 〔再クラス〕	<small>みたむら けいこ</small> 三田村 圭子	法A・政治3・4年	2

(P.147) 参照

外国語

[スペイン語]

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語 I A・I B 〔再クラス〕	ま しろ ゆう いち 真 下 祐 一	法A・政治2・3・4年	2

講義のねらい

世界中で用いられているスペイン語の初歩を学びます。読み書きの練習を通し文法や語彙に関する知識を少しずつ蓄えていきながら、正確な発音で生き生きとした表現ができるよう、また話し相手の言うことが確実に理解できるよう、総合的なスペイン語能力の開発を目指します。

講義の内容・授業スケジュール

前期 (1) アルファベット・文字と発音 (2) 人称代名詞 動詞SER (3) 冠詞 形容詞 (4) 動詞ESTAR・1 (5) 動詞ESTAR・2 (6) 時間・曜日・日付 (7) 規則動詞 (8) 動詞IR (9) Yoの活用が不規則な動詞 (10) 天候の表現 (11) 目的語人称代名詞 (12) 現在分詞 時の経過の表現 (13) 試験
後期 (14) 語根母音変化動詞 (15) その他の不規則動詞 (16) 動詞GUSTAR (17) 比較 (18) 再帰動詞 (19) 不定主語文 (20) 命令1 (21) 命令2 (22) 過去未来形 (23) 現在完了 (24) 感嘆文 (25) 試験

履修上の留意点

初級の授業ゆえ根気よく勉強を続ける必要があります。学習の動機を保てるよう常日頃スペイン語圏のニュースに注意していきましょう。また、大きな声ではっきりと話す習慣が身につくよう積極的な姿勢で授業にのぞんでください。毎回かならずあたります。練習用プリントも随時配布するのでファイルを用意しておくこと。

成績評価の方法

100点満点中、40点は出席、課題の提出など授業参加、残り60点は2回の期末試験と小テストの結果で評価します。

教科書

上野勝広 『新世紀のスペイン語』(同学社)

参考書等

西和辞典を一冊。『改訂版現代スペイン語辞典』(白水社)など。

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語 I A・I B 〔再クラス〕	おお いわ いさお 大 岩 功	法A・政治2・3・4年	2

講義のねらい

初級文法の基礎を概観し、スペイン語とその世界に対する理解を深めることをねらいとします。

講義の内容・授業スケジュール

文法事項の解説を演習をベースに、折りに触れて会話の練習なども行います。ビギナーが特につまづきやすいポイントを押さえながら授業を進めます。

履修上の留意点

予習するかしないかは一義的に学習者の自主性の問題ですが、かならず予習をして授業に臨むよう心がけてください。予習して損をすることは絶対にありません。なお、授業には辞書を必ず持参してください。

成績評価の方法

数回のテストと日頃の出席状況、受講態度を総合して評価します。

教科書

寿里順平他著『スペイン語-基礎と演習-』(教材マルコ社)
長文読解用の教材についてはプリントを適宜用意します。

参考書等

辞書
有本紀明編『西和辞典』(白水社) 4,500円
宮城昇編『現代スペイン語辞典』(白水社) 4,000円
カルロス・ルビオ、上田博人編『研究社新スペイン語辞典』(研究社) 4,860円
桑名一博編『西和中辞典』(小学館) 6,120円
これらのうちどれか一冊を入手することが望ましい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
スペイン語 I A・I B 〔再クラス〕	うえ の かつ ひろ 上 野 勝 広	法A・政治2・3・4年	2

- 講義のねらい** スペイン語の基礎（発音、文法、語彙）を身につけ、その背景文化への理解と関心を深めてゆきます。
- 講義の内容・授業スケジュール** 下記のテキストを用いて、前期は1課～6課まで、後期は7課～12課を解説します。同時に口頭および筆記の練習も行ないます。
- 履修上の留意点** 少しでもスペイン語を身につけるには、ただ授業に出席するだけでは達成できません。集中して教師や録音CDのスペイン語を聴き、疲れるくらい口や手を動かしてレッスンに励みましょう。
また最低限の復習も欠かせません。
- 成績評価の方法** 年間4回のテストの結果（70％）に平常点（30％）を合わせて評価します。
- 教科書** 小池和良・上野勝広『太郎と学ぶスペイン語』（朝日出版社）2,100円
- 参考書等** 初回の授業で紹介します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
スペイン語 I A・I B 〔再クラス〕	かめ やま こう いち 亀 山 晃 一	法A・政治2・3・4年	2

- 講義のねらい** 初級文法から始め、発音・アクセント・イントネーションを練習する。比較的簡単な例文を確実に習得することで会話の基礎を作り、スペイン語圏で生活したり、旅行するに当って役立つ、コミュニケーション能力の開発と養成を行う。背景文化や歴史にも触れ、関心を育てることにより、学習継続の為の動機付けとしたい。
- 履修上の留意点** 決して、遅刻・欠席をしない。自ら興味を持ち、学習を継続すること。
- 成績評価の方法** 数回のテスト、日頃の出席状況、受講態度を総合して行う。
- 教科書** 開講時、指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語 I A・I B 〔再クラス〕	みやち たつ ろう 宮地達郎	法A・政治2・3・4年	2

講義のねらい

スペイン、中南米の国語スペイン語は国連の公用語6ヶ国語の一つでもあり、米国ではヒスパニックの人口比率が黒人を抜き最大となっている。米国におけるスペイン語の必要性は現在でも大きく、さらに増大することは必至である。従って、国際社会におけるスペイン語の重要性を認識させ興味を持続させることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

基礎文法の徹底が目的。前期は英語との違い、特に性数一致、動詞の変化（現在形）に重点を置く。後期は過去形、未来形、できれば接続法まで入ることが目的。

履修上の留意点

欠席が多い場合、前回の授業内容が分からなければ、その回の授業についていけなくなる。スペイン語は他の外国語より易しいという先入観を持ったり、英語が苦手だからという簡単な理由で受講しても単位取得は簡単ではないことを認識して受講してほしい。

成績評価の方法

出席率、授業中の態度、テストの3点を総合して評価する。

教科書

宮本博司著『ようこそスペイン語の世界へ』（大学書林）

参考書等

推薦辞書：『現代スペイン語辞典（西和および和西）』（白水社）
『スペイン語ミニ辞典』

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語 I A・I B 〔再クラス〕	おど の めぐみ 荻野恵	法A・政治2・3・4年	2

講義のねらい

スペイン語文法の基礎を固めると同時に、イベリア半島の文化に関する平易な文章を通じて講読力を培う。

成績評価の方法

成績は出席、課題、年2回のテストを総合して評価する。

教科書

荻野・浜岡『イベリア文化への誘い』（大学書林）

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語 I A・I B 〔再クラス〕	ナバロ, ホワン J.	法A・政治3・4年	2

講義のねらい

よく用いられる規則動詞、不規則動詞の活用、定冠詞、不定冠詞、主格および目的格人称代名詞といったスペイン語の基礎を学びます。授業中にプリントを配布します。各課短い読解が最初にあり、次に文法のまとめと練習、最後に会話の練習です。

成績評価の方法

各回におわりに小テストを行います。その結果の集計により評価します。特別試験も実施します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
スペイン語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	佐藤 麻里乃	法A・政治2・3・4年	2

講義のねらい	文法の初歩を習得し、スペイン語の基本的な構造を理解する。
講義の内容・ 授業スケジュール	教科書にそって解説を行い、関連する練習問題を解いて提出後、答え合せをする。性数変化、動詞の変化（現在形・過去形）、再帰動詞、人称代名詞、分詞などを主に扱う。
履修上の留意点	教科書と辞書を毎回必ず持参すること。授業中は先生の話をよく聞き、きちんとノートをとること。授業時の提出物により評価するので、欠席をしないこと。
成績評価の方法	提出物の出来具合により評価する。
教 科 書	未定 辞書『プログレッシブスペイン語辞典』（小学館）
参 考 書 等	宮本博司『超入門スペイン語』（大学書林）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
スペイン語ⅡA〔再クラス〕	福本 久美子	法A・政治3・4年	2
スペイン語ⅡB〔再クラス〕			

講義のねらい	基礎文法を一通り終えることを目標とする。
講義の内容・ 授業スケジュール	始業時に、「授業方針」のプリントを配布する。
履修上の留意点	初心に戻り、やる気を持って授業を受けていただきたい。始業時は必ず出席して欲しい。
成績評価の方法	前・後期テストと、授業時の小テストの合計に拠る。
教 科 書	西川喬著『やさしく くわしいスペイン語の基礎』（第三書房）2,400円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語ⅡA〔再クラス〕	おお いわ いさお 大 岩 功	法A・政治3・4年	2
スペイン語ⅡB〔再クラス〕			

- 講義のねらい** スペイン語Ⅰで学習した内容を踏まえ、文法の理解をさらに深めるとともに、スペイン語で書かれた文章に親しむことをめざします。
- 講義の内容・授業スケジュール** 初めはスペイン語Ⅰで学習した文法項目を復習し、その後、さらに新しい項目を学習していきます。まとまった長さの文章を読むための教材も適宜使用します。
- 履修上の留意点** 予習することによって授業の学習効果は何倍にも増幅されます。学生諸君はぜひ予習をしっかりやって授業に参加してください。なお、授業には必ず辞書を持参すること。
- 成績評価の方法** 出席状況と年数回のテストの得点、および授業に臨む姿勢などを考慮して総合的に評価します。
- 教科書** 寿里順平他著『スペイン語－基礎と演習－』（教材マルコ社）
長文読解用の教材についてはプリントを適宜用意します。
- 参考書等** 辞書
有本紀明編『西和辞典』（白水社）4,500円
宮城昇編『現代スペイン語辞典』（白水社）4,000円
カルロス・ルビオ、上田博人編『研究社新スペイン語辞典』（研究社）4,860円
桑名一博編『西和中辞典』（小学館）6,120円
これらのうちどれか一冊を入手することが望ましい。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語ⅡA〔再クラス〕	かめ やま こう いち 亀 山 晃 一	法A・政治3・4年	2
スペイン語ⅡB〔再クラス〕			

- 講義のねらい** 基礎的な文法知識と日常会話によく出て来る表現を確実に身に付け、スペイン語圏で生活したり、旅行するに当って困らない為のコミュニケーション能力を養成する。演習の機会を多くすることにより習得した知識を定着させる。
- 履修上の留意点** 決して、遅刻・欠席をしない。自ら興味を持ち、学習を継続すること。
- 成績評価の方法** 数回のテスト、日頃の出席状況、受講態度を総合して行う。
- 教科書** 開講時、指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語ⅡD〔再クラス〕	ナバロ, ホワン J.	法A・政治3・4年	2

(P.151) 参照

〔ロシア語〕

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ロシア語 I A・I B 〔再クラス〕	ひろ た ひで やす 廣 田 英 靖	法A・政治2・3・4年	2

講義のねらい

- 1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号(力点)の法則、イントネーションの5つ型をみっちりやります。
- 2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現(ボディークラジを含む)を身につけます。
- 3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。
- 4) 基礎的な初等文法を学びます。
- 5) アルファベットを活字体、筆記体で書けるようにします。
はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を何回も繰り返しかえし練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に馴れてきたらCDを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらうようにします。授業では各人が何回も発話をさせられますが、全く恐れる必要はありません。全教員が優しく指導してくれますので恥かしがらないことが大切。

講義の内容・授業スケジュール

前期は発音、イントネーションに力点をおき、後期はやさしい短文の聞きとり、初級文法を学びます。

成績評価の方法

試験は行なわず、平常点で評価します。

教科書

杉山秀子他著『21世紀のロシア語』(大学書林) 1,800円

参考書等

『露和辞典』

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ロシア語 I A・I B 〔再クラス〕	さ の あさ こ 佐 野 朝 子	法A・政治2・3・4年	2

講義のねらい

発音、イントネーション、会話を学び、同時にやさしいテキストを読んでいきます。会話クラスにありがちな簡単な日常会話以外のことはいっさいわからない、という結果にならぬよう努力するつもりです。

履修上の留意点

予習はまずいらないと思いますが、ロシア語の発音、イントネーションを少しでも多く耳にするよう、できるだけ授業には出席して下さい。

成績評価の方法

平常点を重視します。

教科書

絵や図がたくさん入っているロシアで出版された教科書を使って授業をすすめますが、手に入りにくい教科書ですので、コピーを用意します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ロシア語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	木村英明 <small>きむら ひであき</small>	法A・政治2・3・4年	2

講義のねらい

発音、イントネーション、会話を学び、同時にやさしいテキストを読んでいきます。
会話クラスにありがちな簡単な日常会話以外のことはいっさいわからない、という結果にならぬよう努力するつもりです。

履修上の留意点

予習はまずいらないと思いますが、ロシア語の発音、イントネーションを少しでも多く耳にするよう、できるだけ授業には出席して下さい。

成績評価の方法

平常点を重視します。

教科書

絵や図がたくさん入っているロシアで出版された教科書を使って授業をすすめますが、手に入りにくい教科書ですので、コピーを用意します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ロシア語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	安徳ニーナ <small>あん とく にーな</small>	法A・政治2・3・4年	2

講義のねらい

基本的な文法、発音、読み、書き、が出来る事を目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

教科書に基づいて講義を進める。

履修上の留意点

要点の復習は必ずしてほしい。

成績評価の方法

講義の中で時々行う練習問題を主として学習態度を参考にする。

教科書

桑野隆『はじめてのロシア語』（白水社）

参考書等

必要に応じてその都度資料を配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ロシア語ⅡA〔再クラス〕	高木美菜子 <small>たか ぎ みなこ</small>	法A・政治3・4年	2
ロシア語ⅡB〔再クラス〕			

講義のねらい

以前に学習した発音、文法、会話の復習。
講師が作成した練習用テキストを用いて、文法の基礎を学習しながら、同時に、会話、作文を練習します。

成績評価の方法

ロシア語を通して世界を広げていきましょう。
平常点で評価します。授業中に時々、簡単なテストを行います。

教科書

プリント配布。

参考書等

ビデオ、オーディオ等を使用します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ロシア語ⅡA〔再クラス〕	クロチコフ, Y.	法A・政治3・4年	2
ロシア語ⅡB〔再クラス〕			

講義のねらい	以前に学習した発音、文法、会話の復習。 講師が作成した練習用テキストを用いて、文法の基礎を学習しながら、同時に、会話、作文を練習します。
成績評価の方法	ロシア語を通して世界を広げていきましょう。 平常点で評価します。授業中に時々、簡単なテストを行います。
教科書	プリント配布。学生の学力に応じて教科書を選びます。
参考書等	ビデオ、オーディオ等を使用します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ロシア語ⅡA〔再クラス〕	あん たく 安 徳 ニーナ	法A・政治3・4年	2
ロシア語ⅡB〔再クラス〕			

講義のねらい	一般的な文法、発音、読み、書き、ができる事を目標とする。
講義の内容・授業スケジュール	教科書に基づいて講義を進める。
履修上の留意点	要点の復習は必ずしてほしい。
成績評価の方法	講義の中で時々行う練習問題を主として学習態度を参考にする。
教科書	桑野隆『はじめてのロシア語』（白水社）
参考書等	必要に応じてその都度資料を配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ロシア語ⅡD〔再クラス〕	さ の あき こ 佐 野 朝 子	法A・政治3・4年	2

(P.) 参照

〔選択科目〕

科目名	担当者名	配当学科	単位
英文講読	はやし ありと 林 明人	法A・政治選	4

講義の内容・授業スケジュール

現代アメリカ文学の短編をなるべくたくさん読みます。単に英語を読むことから鑑賞できるようにすれば幸いです。

成績評価の方法

試験、発表、レポート、出席の総合評価。

教科書

教員が作成したものを 사용합니다。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英文講読	や しま なおこ 矢 島 直子	法A・政治選	4

講義のねらい

イギリス現代戯曲を読んで、現代の英語に慣れるとともに、想像力を働かせて読むことを学びます。

講義の内容・授業スケジュール

テキストとして使う戯曲を、きちんと読んでいきます。

履修上の留意点

ほぼ毎回あたりますから、必ず辞書をよく引いて予習をしてください。教科書の手配は、出席する学生数を確認してからなので、初回の授業から出席してください。教科書が書店に入るまで、プリントで授業を行ないます。

成績評価の方法

平常点を考慮に入れ、前期末・後期末試験とともに総合的に評価します。

教科書

Anthony Neilson, *The Lying Kind*, Methuen, £7-99, ISBN0-413-77314-0

科目名	担当者名	配当学科	単位
英文講読	まきの くるよし 牧 野 輝 良	法A・政治選	4

講義のねらい

英語の長文の内容理解に努める。

講義の内容・授業スケジュール

英文の構造をしっかり学習し、毎時間3頁読み進めることを目安とする。

履修上の留意点

テキストの文章がかなり長いから、履修者は指名されたら内容の発表、和訳が出来るようによく自習しておくこと。

成績評価の方法

授業中の発表、和訳、期末テストを総合的に評価するが、英語の理解力に力点をおく。

教科書

『真の国際化とは』(成美堂) 980円 ISBN4-7919-1236-5 C1382

科目名	担当者名	配当学科	単位
時事英語研究	たけむら えつこ 竹村 恵都子	法A・政治選	4

講義のねらい

今後の情報化時代に伴い、世界の動きに目を向け、国際社会の実状を的確に把握する必要があります。本授業では、基礎的な英語力を土台に、英文ニュースを学びます。新聞に使用される英語表現は、斬新な語句やイディオム、字句の省略など様々な特徴があります。日頃から内外の英字新聞を読むよう心掛けて下さい。十全な予習を望みます。

成績評価の方法

評価は前期・後期の試験を主とし、平常点（授業態度・発表も含む）、出席率及びレポートなどを総合的に判断し評価します。

教科書

未定

科目名	担当者名	配当学科	単位
時事英語研究	はやし あきと 林 明人	法A・政治選	4

講義のねらい

CNN, Herald Tribune 紙などから集めたニュース英語によく使用される語をキーとした短文をたくさん読むことにより、そのキーワードの意味、および使い方をおぼえることを目的とします。そのほかに実際に英字新聞を読みます。

尚、履修希望者が70名を越えた場合は、4月の第1回目の授業で抽選となります。

成績評価の方法

試験、レポート、出席の総合評価です。

教科書

教員が作成したものを用います。

参考書等

Sanseido's Dictionary of News English (三省堂)

科目名	担当者名	配当学科	単位
時事英語研究	まし もと しげ かず 岸本 茂和	法A・政治選	4

講義のねらい

racism (人種差別主義)、sexism (性差別主義)、ethnicity (少数民族)などを鍵のことばとして、現代アメリカを読みときつつ、“September11, 2001”——2001年9月11日の、あの悲劇の日までいたる。

講義の内容・授業スケジュール

「研究」と銘打っているが、いわゆる講義ではなくふつうの英語の授業だ。

履修上の留意点

授業にはかならず英和辞書をもってくる。テキストの英語はそうとう密度が高いのでその点を留意しておくこと。

成績評価の方法

試験は、前期・後期の2回。出席はとる。欠席が授業日数の3分の1をこえたばあい「不可」とする。

教科書

『現代アメリカの〈美德〉』（朝日出版社）1,400円

その他

受講者は70人を上限とする。

科目名	担当者名	配当学科	単位
時事英語研究	丹治弘昌 <small>たんじひろまさ</small>	法A・政治選	4

講義のねらい

時事英語の講座を担当してまず痛切に感ずるのは、学生の修得している語彙と実際に新聞、雑誌あるいは放送においてニュースに使われる英単語の間にはかなりの差があることである。これは習得語彙の量的な不足もさることながら、質的な面で個々の単語の意味を包括的にとらえていないことからきていることと思われる。一つの単語について一つの語義をもって事足りると思いついていたり、また頻度数の低い意味にこだわって、ニュース全体の意味を取り違えたりすることが良く見受けられる。そこで時事英語の単語を段階的に、同時にジャンル（分野）ごとに分けて、かなり整理してみることにした。時事英語という、むやみに英単語を暗記し、語彙数をふやさなければならないと思われがちだが、むしろ基礎的な語彙の活用や応用に習熟し、簡単なコメントを表現できることから始めて、段階的に語彙修得を重ねていって、質と量の両面から時事英語の学習をすすめることが望ましい。

成績評価の方法

成績評価は、3分の2以上の出席とそれぞれの期末テストによって行います。

教科書

『よくわかるニュース英語』（朝日出版社）1,800円

科目名	担当者名	配当学科	単位
時事英語研究	矢島直子 <small>やしまなおこ</small>	法A・政治選	4

講義のねらい

時事英語の読み方を学び、慣れることを目標にします。

講義の内容・授業スケジュール

教科書で時事英語を読み、記事の内容・構成を学びます。慣れてきたら、時に、英字新聞の記事も使います。

履修上の留意点

学生にどんどんあててやってもらいますから、必ず予習をしてくること。学生にあててやってもらいために、クラスの人数を60名までとしますから、初回の授業に必ず出席してください。できれば初回から教科書を持ってくること。

成績評価の方法

平常点を考慮に入れ、前期末・後期末試験とともに総合的に評価します。

教科書

馬場彰、佐藤和哉『Current English（『時事英語2004／2005年版』）』（成美堂）1,800円 ISBN 4-7919-4826-2

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
マルチ・メディア	おち 落 あい 合 かず 和 あき 昭	法A・政治選	2

講義のねらい

このクラスにタイトルを付けるとすると、「日常会話から映画の英語へ」とでもなるだろう。このクラスのレベルは英語の中級（二級、準一級）程度とする。自然な日常会話文や映画の台詞を通して、英語圏の日常生活で、頻繁に、使用される現代口語英語表現を学びながら、英語の運用能力を高めることを第一目標とする。また、各種の実用検定試験（英検、TOEIC[®]、TOEFL[®]、国連英語等）の受験準備にも役立つようにする。さらに、時間が許す限り、アメリカやカナダの作家、都市、国立公園等に関するビデオを鑑賞し、ヒヤリングの向上、文化や自然の多様性を学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

一回の講義は、主として、三段階からなる。第一段階として、日常会話文や映画を通して、英語の自然なスピードに慣れ、ヒヤリングを向上させる。第二段階は、その会話文や映画の中で、使用されている表現の意味や用法を、文字を通して、確認する。第三段階は、学生に登場人物になってもらって、会話文や台詞（せりふ）を再現しながら、会話練習をする。授業は徹底した演習形式を取り、学生の予習を前提にして、進める。

履修上の留意点

このクラスの受講生はすでに口語英語を一年以上学んでいることが望ましい。始めて口語英語を学ぶ学生には、かなりつらい授業になるかもしれない。課題、小テスト、授業中の発表等で、かなりのことを要求するので、そのつもりで受講するように心がけてもらいたい。また、受講を希望する学生は、最初の授業の時に、必ず、担当者の許可を得なければならない。教場は40名しか入れないLL教場を使用するので、40名以上の履修希望者がいた場合は、最初の授業の時に、抽選をする。そのため、最初の授業に出席しない学生はこのクラスを受講できない可能性がある。

成績評価の方法

定期試験が全評価の40%とする。その内訳は前期試験が10%（現代口語英語の和訳と会話英作文）、後期試験は30%（ヒヤリングが10%、会話英作文が20%）である。課題、小テスト、授業中の発表は60%とする。課題は、一回の量はそれほど多くはないが、年に20回程度（ちなみに、去年の場合は、約15回だった）、小テストは5～10分程度のものを10回程度（去年は8回）、授業中の発表、一回の授業に、全員が最低一回は当てるように努める（去年の場合は、一人約20回）。出席率が3分の2を超えなければ、成績は「不可」とする。

教科書

- 1) 『句動詞の実用総合演習』（マクミラン）
- 2) 『スモーク』（松柏社）1,750円 ISBN4-88198-457-8C3082
- 3) 『Oxford Phrasal Verbs Dictionary for Learners of English』（オックスフォード大学出版局）2,200円 ISBN0-19-431543-6

科目名	担当者名	配当学科	単 位
マルチ・メディア	おお ぼ なお き 大 庭 直 樹	法A・政治選	2

講義のねらい

このクラスは、マルチメディアを使って英語を学ぶクラスである。
 第一の課題は、インターネットを使って、世界の最新のニュースがどのように報道されているかを比較しながら読んでいく、ことである。インターネットという広大な情報空間から、必要な情報を探索し、その内容を理解するという訓練を積む。
 第二の課題は、研究、文献・資料整理等、カード型のデータベースの作り方を学び、またその有効的な使い方を身につける。具体的には、データベース・ソフト「ファイルメーカー」を使い、自分用の英語彙データベースをつくる。
 第三の課題として、Wordと電子辞書を使いながら、英語による論文、公式文書、ビジネス文、手紙等の書き方を訓練する。
 第四の課題は、英語の映画を一本観ながら、英語の表現の意味内容を徹底的に研究していく。

履修上の留意点

受講生は、一年間の課題をこなせば、コンピュータを活用した知的な活動において、相当なレベルに達するはずである。従って、このクラスを受講するには、年間を通じて毎週クラスに出席することが条件である。

成績評価の方法

試験、定期試験なるものは行わない。受講生には、サーバーの自分のフォルダに、一年間に20程度のファイルを提出してもらう。インターネットで各自が検索する情報もすべて、サーバーの自分のフォルダに入れてもらう。成績は、各学生が一年間にフォルダにセーブされたファイルの成果をもって評価する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
マルチ・メディア	にし むら ゆう こ 西 村 祐 子	法A・政治選	2

講義のねらい

インターネットやオーディオヴィジュアル機器を使用して、英語とコンピュータ操作の初歩を身につけるクラス。

講義の内容・授業スケジュール

4-7月：インターネットによる英語サイトを利用した読解・作文。
 9-12月：英語によるプレゼンテーションをまとめたビデオをコンピュータで製作。

履修上の留意点

あくまでも英語のクラスなので、コンピュータソフトについて詳しく学ぶよりも英語習得をめざす学生の履修を進める。

成績評価の方法

平常点（出席点、提出物など）で評価。定期試験は行わない。

教科書

教場にて指定。

参考書等

特になし。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英会話Ⅱ	ジトウィッツ, P. D.	法A・政治2・3・4選	2

(P. 128) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
英会話Ⅱ	プラスキー, J. C.	法A・政治2・3・4選	2

(P. 128) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
英会話Ⅱ (夏季集中)	ピアス, D. M.	法A・政治2・3・4選	2

(P. 129) 参照

英 会 話 Ⅲ

英語を母語とする外国人教師が担当します。英会話Ⅱのレベルを修得しているか、またはそれに相当する力を持っていることを前提とします。自分の専門分野のトピックを発表し、論じられる表現力を目指した大学上級レベルの英語会話の授業です。達成目標は英検1級合格、TOEFL®のスコア500点以上、TOEIC®のスコア900点程度。各担当者の講義内容（syllabus）をよく読み、時間表で曜日・時限を確認してクラスを選び、事前登録をしなければなりません。

外
国
語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 会 話 Ⅲ	ウェルズ, J. K.	法A・政治2・3・4選	2

講義のねらい

Welcome to my class! This is not a class to be shy. It is a chance to speak openly.
Students must have taken English conv. II to be a member of the class. A short interview will be given the first day of class. If you speak well already, please join the class and get better attendance is important!
I'm waiting to meet you and to improve your English. . .

成績評価の方法

However, attendance is very important! Small tests and quizzes will also be given.
LET'S HAVE FUN

科目名	担当者名	配当学科	単位
英会話Ⅲ	ラージ, R.	法A・政治2・3・4選	2

講義のねらい

The goal of this class is to give students fluency and confidence in English conversation by developing listening skills, and by discussing simple to moderately abstract / complex subjects. Students read stories and articles and extrapolate content verbally through questions and answers. Special attention is given to improvement in pronunciation and grammar.

講義の内容・授業スケジュール

Conversations using present, past and future tense: talking about oneself, other people, families, one's likes and dislikes, professions and neighbors; forms of communication and communities around the world, cultural patterns and traits, travel; human interests and hobbies, habits, possessions; going shopping, shopping districts and specialties, currencies and numbers; crime; asking and giving directions; feelings and needs, etc. Some introductory explanation of word roots, English slang and commonly used phrases.

The class meets once a week for 90 minutes. After roll call, students follow the text that has a number of stories or essays with questions and answers and grammar exercises. Additional vocabulary is introduced and explained. After modeling a few examples, the text is discussed through pair-work and group-work. To enhance listening skills 'conversations on tape' are played. Students listen and answer relevant questions. Homework consists of revising, memorizing new vocabulary, written assignments and completing exercises in the Workbook. Extra materials including vocabulary and conversation games, and grammar exercises are used in addition to the text.

履修上の留意点

Students must be punctual. They must bring their Textbooks and Workbooks for every class. They should be ready for unannounced quizzes and tests.

成績評価の方法

There is no final exam. Students will be marked for (i) Speeches (on predetermined topics) and answering questions on the speech (ii) written tests and papers (iii) effort and class participation (hard work and improvement over the year). Students absent for more than 2/3 of the year will fail the course.

教科書

I) *New Headway English Course Pre-Intermediate Student's Book* by John and Liz Soars. Published by Oxford University Press. ISBN#0-19-436670-7

II) *New Headway English Course Pre-Intermediate Workbook* by John and Liz Soars. Published by Oxford University Press. ISBN#0-19-436672-3

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英 会 話 Ⅲ (夏季集中)	レーン, C. M.	法A・政治2・3・4選	2

講義のねらい

The main aim of this class is to help students take control of their own learning and to help them gain confidence speaking English in front of groups of people. This will be achieved through presentations and small group discussions. The course will also concentrate on cultural and/or controversial issues and will teach the students to view value systems, which are different from their own.

講義の内容・授業スケジュール

Each week one student will be in charge of the content of the class. This means that they will at the beginning of the class they will give a presentation on their chosen subject. Then they will provide a discussion sheet related to their topic, which will be discussed either as a class activity or else in small groups. Students will be required to give two such presentations during the academic year.

The teacher will prepare some discussion subjects as well. How many will depend on how many students decide to enrol in the class. Also, the teacher will choose the material to be discussed only after consultation with the students as a whole. This is because it is felt that students tend to contribute much more when they are actually interested in the topic up for discussion.

履修上の留意点

1. The presentations and discussion sheets must be shown to the teacher at least one week before the student's presentation, so that the teacher can help the student with corrections and ideas.
2. Students must be able to communicate, or at least be willing to try to participate, within group discussions. Failure to do so will result in the student failing the course.

成績評価の方法

There is no exam for this course. However, students will be graded by the quality of their presentations and by the amount of their week-to-week participation.

- 20% two take home essays (10% each essay)
- 40% two presentations, with discussion sheet (20% each presentation)
- 40% participation within the class (20% each semester)

教科書

There is no required textbook for this course. However students will be required to have a good dictionary and to buy a binder to keep the handouts and presentation copies in.

授業日程

前半	1	2	3	4	5	後半	1	2	3	4	5
8月2日 月	○	○	○	○	○	8月20日 金					
8月3日 火	○	○	○	○	○	8月23日 月					
8月4日 水	○	○	○	○	○	8月24日 火					
8月5日 木	○	○	○	○	○	8月25日 水					
8月6日 金	○	○	○	○	○	8月26日 木					
8月9日 月	○	○	○	○	○	8月27日 金					

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 L L II	太田雅子 <small>おお た まさ こ</small>	法A・政治2・3・4選	2

(P.130) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 L L II	外池一子 <small>との いけ かず こ</small>	法A・政治2・3・4選	2

(P.130) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 L L II	西村祐子 <small>にし むら ゆう こ</small>	法A・政治2・3・4選	2

(P.131) 参照

英 語 L L III

〈英語 LL IIIの授業内容と履修上の留意点〉

上級：LL IIを修得、またはそれと同等以上のレベルであることを前提とします。英語圏の大学の教養／専門科目等の授業が聞き取れ、演習で議論できる程度の英語の表現力を養成します。英検1級、TOEFL®のスコア500点以上、TOEIC®のスコア900点程度を目指した訓練コースです。各担当者の講義内容（syllabus）をよく読み、時間表で曜日・時限を確認してクラスを選び、事前登録をしなければなりません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 L L III	久 保 ひさ子	法A・政治2・3・4選	2

講義のねらい

英文のレクチュアが、聞き取れ、ディベートできる程度をめざしたい。

講義の内容・授業スケジュール

テキストを、聞き取り、書き取り、反復練習、録音、再生する。ビデオやスピーチや、ディスカッションを含む。

履修上の留意点

LL 授業は、ラボによる実習の、授業のため、欠席しないようにお願いします。

成績評価の方法

試験と授業実習点

教 科 書

World Times of Japan, "Michigan Action English Step 6"

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 L L III	西 村 祐 子	法A・政治2・3・4選	2

講義のねらい

基本的な表現をつかっても「話すこと」からはじめたLLIのレベルに対して、レベルIIでは日常的なテーマを掘り下げ、より高度な表現をききとることをめざした。このレベルIIIはそれより一層高度な会話表現力を習得することをめざす。LLII同様、授業はすべて英語でおこなわれ、質問も英語でのみ受けつける。毎回英語でのプレゼンテーションが要求され、教員との応答によって授業がすすめられる。LLレベルIIを終了し、英検一級程度（TOEIC®800以上の学生を対象とする。このレベルに達していない学生はレベルIIを受講することをすすめる。

講義の内容・授業スケジュール

4-7月：アメリカの大学教養レベルの社会科学系ビデオを素材として用いて英語でのサマリーの仕方を中心とする授業。
9-12月：英語での発表とエッセイ・ライティングを中心とした授業。

履修上の留意点

学生への要望：学生は課題提出用に全員電子メールアドレスを取得しておいてほしい。レベルIIIは例年高度なクラスなので途中で落伍しないためにも履修を決める場合にLLIIの内容とよく比較して決定してほしい。

成績評価の方法

平常点重視（出席率、プレゼンテーションなど）。定期試験はおこなわない。

教 科 書

教場で指示（主にプリントを使用）。

参 考 書 等

使用カセットテープ：Open University Program シリーズ（LL 事務室備え付け）。
使用ビデオ：Mapping the Landscape（ジェムコ出版、LL 事務室備え付け）その他社会科学系教育ビデオを適宜使用。

そ の 他

学生への要望：聞き取り練習用にテープ録音をするので、カセットテープ（90分程度）をもつてくること。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 L L Ⅲ	レーン, C. M.	法A・政治2・3・4選	2

講義のねらい

The main aim of this class is to help students gain confidence in speaking and listening to English. This will be achieved using a special interactive listening video course. The course will concentrate on cultural and news items. It will teach students to be able to understand and view American Television without subtitles.

The problem with most listening courses is that many English as a second language tapes or videos slow down the speech to help students understand every word.

However, when the students go out into the 'real world' they suddenly find that they are consequently unable to understand anything. This course, therefore, teaches students, not only to listen, but also to watch and guess from context. This is because about 40% of what people generally say is actually conveyed through body language, gestures or can be guessed due to the context of the situation.

This course will also teach basic conversational structures helping students to gain confidence speaking and having fun expressing their ideas.

講義の内容・授業スケジュール

Each week students will watch one ABC news story and through the use of specially designed vocabulary and listening exercises will by the end of the lesson be also to completely understand the related news story.

The teacher will also sometimes prepare other listening exercises, using real material, such as, music or popular TV dramas.

Students will also have time to practice speaking and to try to express their ideas using all the facilities of the new language laboratory.

履修上の留意点

1. To really improve their listening students must be prepared to attend every class and actively participate within the classroom setting.
2. Since the lesson is only once a week, students must also 'take control' of their own learning and must be prepared to study other listening activities outside of the classroom. They should ideally get into the habit of listening to some form of English everyday. Only then will students see a marked improvement in their listening skills.

成績評価の方法

- 20% attendance
- 40% exams
- 40% participation within the class

教科書

There is no textbook as photocopies will be provided. However, students need to buy a folder to keep all the copies together.

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 L L I	^{こばやし} 小林ゲアリンデ	法A・政治2・3・4選	2

- 講義のねらい** ドイツ語の基礎的な知識を履修するとともにドイツおよびドイツ語を国語とするオーストリア、スイスの国情について知識を身につけることを目指す。
- 講義の内容・授業スケジュール** 日常的な状況でのドイツ語を話し、理解することに重点をおく。そのため発音練習やパートナー練習を数多く取り入れる。基本的な文法の習得と並んでドイツ語を読む楽しみにも触れたい。適宜宿題を課す。
- 成績評価の方法** 定期試験は行わないが、毎時間、口答対話を行い、それを総合して年度末の成績として評価する。
- 教科書** テキストは教室で配布する。
- その他** ビデオ、カセットを使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 L L II	^{こばやし} 小林ゲアリンデ	法A・政治2・3・4選	2

- 講義のねらい** ドイツ語を1年(LLまたは他のドイツ語科目)で学んだ学生を対象とする。ドイツ語を話し、理解する能力をさらに伸ばし、ドイツ語圏諸国についての知識を拡げることが目標とする。
- 講義の内容・授業スケジュール** 話す力、とくに正しい発音を習得する。ややこみ入った状況での会話、中級テキストを読む練習をする。
- 成績評価の方法** 定期試験は行わないが、毎時間、口答対話を行い、それを総合して年度末の成績として評価する。
- 教科書** *Themen I neu*
- その他** ビデオを使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 I A (選)	^{い がらし のぶ} 五十嵐 信子	法A・政治1・2・3・4選	2

- 講義のねらい** 1年間でドイツ語の基礎的な力をつけることを目指します。発音からはじまり、動詞、冠詞、名詞、形容詞、前置詞…とすすんで一通りの文法を学び、1年の最後には、辞書を引きながらやさしいドイツ語の文章を読むことができるようになるでしょう。ドイツ語を身につけることは、ドイツ語圏への鍵を手に入れることになるのです。
- 講義の内容・授業スケジュール**
- 1) ドイツ人の発音のテープを聞き、それを声に出して発音することで、ドイツ語を聞き取り、また正しく発音することを学びます。
 - 2) ドイツ語の文法をしっかりと理解し、くりかえし練習して身につけます。
 - 3) 同時に良いドイツ語の例文に多く触れて、楽しくそのルールを感得します。
 - 4) やさしいドイツ語会話を学びます。
- 履修上の留意点** 新しい言葉を学ぶことは、本来楽しいことです。それは新しい世界への発見の旅だからです。しかし言語はどの部分も不可欠な建造物のようなものです。それゆえこの時間は、休まず出席して下さい。
- 成績評価の方法** 年2回の試験および時間内の小テストを行ない、これに出席、授業への参加態度などを加味して評価します。
- 教科書** 橋本政義・橋本淑恵著『楽しく身につくドイツ文法』(白水社) 1,800円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ド イ ツ 語 I B (選)	野 島 利 彰 <small>の じま とし あき</small>	法A・政治1・2・3・4選	2

- 講義のねらい

CDつき教科書を使い、音からドイツ語を学びます。ドイツ語は発音と文字とが一致しており、また難しい音も少ないので、練習すればすぐ上手に発音できるようになります。
- 講義の内容・授業スケジュール

教場ではCDを聞きません。授業でテキストの音読を指名します。自宅で十分CDを聞き、音読練習もしておいてください。
- 履修上の留意点

教科書には多数の練習問題があります。答えられるよう予習をしてください。
- 成績評価の方法

3課ごとに1回ヒアリングテストを行います。このテストと定期試験(筆記試験)の成績が評価の大きな基準になります。
- 教科書

三室・シュレヒト著『ドイチュ・プラクティッシュ<グリーン>』(三修社) 2,500円
- 参考書等

ドイツ語の辞書は最初は引きにくいのですが、すぐに慣れます。二年次でもドイツ語を履修する人、将来大学院まで進む人は簡単な辞書を買わず、しっかりした辞書にしてください。
- そ の 他

ラジオやテレビのドイツ語講座も役に立ちます。ぜひ視聴してください。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ド イ ツ 語 II (選)	松 岡 晋 <small>まつ おか すずむ</small>	法A・政治2・3・4選	2

- 講義のねらい

初等文法の知識を基礎にして、より多くのドイツ語の文章を読んでみようというのがこの授業のねらいです。
- 講義の内容・授業スケジュール

授業は下に掲げる教科書に即して行われます。各課は読章(1~2ページからなるドイツ語の文章)、文法説明および練習問題からなっています。文法説明は最小限度にとどめ、ドイツ文の読解に専念します。独和辞典を毎回、必ず持参してください。なお教科書が早く終わった場合には、他の教材(短い新聞記事など)をコピーで配布して読む予定しております。
- 履修上の留意点

ドイツ語の文章に慣れてもらい、今後、新聞・雑誌等のより難しい文章を読むための基礎を築きたいと考えております。さほど難しくない教科書をゆっくり進めますので、定期的な出席と最低限度の予習をお願いします。
- 成績評価の方法

成績評価は、最低限二回以上行われる筆記試験および平常点(出席率、担当箇所の和訳をきちんと行ったかどうか等々)によって行います。
- 教科書

諏訪功ほか著『文法読本——ヨーロッパとは何か(新訂版)』(郁文堂) 2,000円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語 L L I	ラリア・三倉, M. <small>みくら</small>	法A・政治2・3・4選	2

講義のねらい フランス人講師や教材のフランス語を聞きながら、学生が簡単なフランス語で表現力を身につけることを学ぶ。

成績評価の方法 筆記試験はしない。授業の平常評価と簡単な口頭面接評価。

教科書 H. TAKAHASHI, S. GIUNTA 『P.P.P (パーペーパー) *Présenter Pratiquer Produire*』(第三書房) 2,800円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語 L L II	ラリア・三倉, M. <small>みくら</small>	法A・政治2・3・4選	2

講義のねらい フランス語の基礎学習の経験のある学生のためのクラスです。生徒は小さなグループにわかれ、フランス語会話をたくさんすることで発音、表現力の向上をめざします。尚、ビデオで現在のフランスの若者の生活パターンが多く紹介されているので、それに触れながら楽しく学習できます。

成績評価の方法 筆記試験はしない。授業の平常評価と口頭面接評価。

教科書 MONNERIE 著 *BIENVENUE EN FRANCE TOME 1* (Didier HATIER)
プリントした資料を学生に与えますので、学生は、格別に教科書を買う必要がありません。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語 I A (選)	井田清子 <small>い だ きよ こ</small>	法A・政治選	2

講義のねらい フランス語の初級文法を中心に基本的知識をマスターできるように学習します。文法事項のみにかたよらず、パリの生活情景を主題とした読本としても楽しめます。文章体と会話体とを同時に身につけましょう。

講義の内容・授業スケジュール パリを中心とした生活が身近に感じられるよう、文章と会話を生きたフランス語として習得します。

履修上の留意点 辞書をひく手間を惜しまず、自分で面白さを味わってください。

成績評価の方法 前期・後期の試験を中心に、通常点も加味します。

教科書 山崎庸一郎他『パリのどこかで』(第三書房) 1,900円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フランス語 I A (選)	伊藤 乃 希	法 A・政治選	2

講義のねらい	一年間かけてフランス語文法の基礎を習得し、実際に運用できるようになるための基礎固めをします。
講義の内容・授業スケジュール	テキストは、簡単な対話文をもとに基本単語と平易な日常表現によってフランス語の基礎を習得するよう組み立てられています。テキストにそって各文法事項を理解したうえで、聴き取り問題も含めた練習問題に取り組みます。発音練習と音読には力を注ぎます。テキストに付属する現地ロケによるビデオも覗いてみましょう。
履修上の留意点	選択科目ではありますが、できるだけ毎回出席し、授業には積極的に参加してください。
成績評価の方法	平常点、前・後期試験によって判定します。
教科書	藤田祐二『彼女は食いしん坊!』(朝日出版社) 2,500円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フランス語 I B (選)	大野 英 士	法 A・政治選	2

講義のねらい	フランス語を全く知らない初心者を対象に、フランス語の基礎的な文法知識を学習しつつ、特に、話す、聞く、読む、書く能力を無理なく、バランスよくつけてもらうことを目標として授業を行います。
講義の内容・授業スケジュール	『新エスカルゴ』は、各課ごとにそれぞれ「挨拶する」「自己紹介する」「家族・年齢を言う」などと、日常生活のなかで遭遇する実践的な課題を設定し、それを言うために必要な文法事項や、関連表現を学ばせるというきわめて合理的な構成になっています。1年で1冊を終わらせます。習った知識を確認するため『練習問題ABC』を適宜併用します。
履修上の留意点	授業中は、恥ずかしがらないで、大きな声で積極的に授業に参加してください。その上で、教科書に出てくる会話は暗記するぐらい声を出して、何度も読んでください。「練習」はできれば予習の段階で、あらかじめ準備してきてください。
成績評価の方法	授業中の小テスト、前期末のテスト、定期試験の三つの総合点で評価します。
教科書	藤田裕二著『新・えすかるご1』(朝日出版社) 2,500円 加賀山孝子他『フランス語練習問題ABC』(早美出版社) 2,000円
参考書等	『フランス語動詞活用表』(駿河台出版社) 800円
その他	辞書等は、授業の開始時に簡単なガイダンスを行います。

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語 I B (選)	菅原 猛	法A・政治選	2

講義のねらい

英語以外にも外国語の一つ位は知っておく必要があることは世界中の常識。

講義の内容・授業スケジュール

I A を補完するかたちで授業を進め、1年間の限られた時間枠の中でフランス語を読解する基礎知識を身につける。

履修上の留意点

教科書・辞典を持参し、可能なかぎり出席すること。

成績評価の方法

平常の授業、平常試験と学年末試験をプラスし、総合的な評価を出す。

教科書

澤田直之・黒川学他著『アミカルマン—フランス語・フランス文化への誘い—』（駿河台出版社）2,500円 ISBN4-411-01093-3 C1085

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語 II (選)	桑田 禮彰	法A・政治2・3・4選	2

講義のねらい

フランス語中級。フランス語の基礎を既に習得した者を対象にします。

講義の内容・授業スケジュール

比較的簡単で興味深い最新の時事フランス語の文章を読んでいます。発音の基本を確認しつつ、文法事項についても、できるかぎり分かりやすく説明するつもりです。フランス語の基礎を終えた人は、ぜひこの授業を取って、もう一步踏み込んだフランス語の魅力、フランスの魅力に触れてください。

履修上の留意点

最も重要なのは、もちろん授業への出席です。一回一回の出席を大切にしてください。

成績評価の方法

ふだんの授業での評価をベースにして、年二回の試験の成績で決定します。

教科書

長谷川公昭他著『時事フランス語（2004年度版）』（朝日出版社）

参考書等

そのつど授業で指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 L L I	佐藤 普美子	法A・政治2・3・4選	2

講義のねらい

初級用のテープ教材を用い、会話と聴き取りの基礎訓練を行う。すでに IA-IB の単位を取得しているか、それと同程度の学習経験のある人を対象とする。

講義の内容・授業スケジュール

授業では基礎的な文法・文型の徹底的な習得を目ざす。耳と口の反復練習を大量に行い、中国語の基礎を、文字でなく音で身につけてほしい。

履修上の留意点

予習は必要ないが、復習と自習は不可欠。また教科書付録の CD を活用して、毎日、中国語を口にし耳にしてほしい。

成績評価の方法

平常点（出席及び授業への参加意欲）を重視。

教科書

董燕・遠藤光暁『話す中国語 北京篇3』（朝日出版社）2,500円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 L L II	小川 隆	法A・政治2・3・4選	2

講義のねらい

最初に発音の復習を行い、その後テープを使って、中級ていどの会話と聴き取りの練習をする。週1回、年20数回の授業では、練習量が絶対的に不足なので、授業のほかに毎日の音読と暗誦を課す。それさえ怠らないなら、現在の基礎学力に自信がない人でも、充分について行けると思う。

履修上の留意点

短期・長期の留学をめざす人は、ぜひこの科目をとるようにして下さい（個別に学習の相談に応じます）。

成績評価の方法

出席および毎回の暗誦の成果をもとに平常点評価。

教科書

楊凱栄『表現する中国語』（白帝社）2,400円（CD 付）

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A (選)	釜屋 修	法A・政治選	2

講義のねらい

中国語発音の基礎、語法のしくみについての基本理解の獲得を中心とする。ピンインの習得と正確な発音の学習に重点をおく。

講義の内容・授業スケジュール

週一回の授業なので学習量の不足が心配となる。課題の消化、テキストについている CD を活用した家庭学習が望まれる。

履修上の留意点

I B (選) とあわせて受講できるが、この科目のみを履修する人は、学習機会が週一回となるので欠席は大敵である。

成績評価の方法

出席状況、平常の学習の積極性、平常点と期末テストの成績等を総合的に判定する。

教科書

守屋宏則『フォーアップ初級中国語』（同学社）2,500円

参考書等

開講後指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A (選)	宮本厚子 <small>みやもとあつこ</small>	法A・政治選	2

講義の内容・
授業スケジュール

発音を学んだ後、会話文を通して、基本的な文法を学び、語彙を増やしてゆく。

履修上の留意点

毎回暗誦あるいは聞き取り（小テスト）を行うので十分に復習をして授業に臨むことが求められる。

成績評価の方法

年に4回の筆記試験（前後期末試験を含む）と平常点（暗誦・小テストを含む）で評価する。

教科書

『〈新版〉中国語はじめの一步』（白水社）2,200円

その他

詳細は開講時に説明する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I B (選)	蘭明 <small>らんめい</small>	法A・政治選	2

講義の内容・
授業スケジュール

前期は最初の一カ月（4回に分け）において、ピンインを読めるように集中的練習をする。その後、簡単な会話の練習に進む。後期は、やさしい日常会話を中心におき、授業を展開する。

成績評価の方法

出席など授業姿勢に評価の重きを置く。前後期二回に分け試験を行う。

教科書

董燕・遠藤光暁『話す中国語 北京篇1』（朝日出版社）2,500円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 II (選)	松本丁俊 <small>まつもとあつとし</small>	法A・政治2・3・4選	2

講義の内容・
授業スケジュール

外国人である日本人が中国人に接したとき言うべき言葉、言うべき表現など実用面の中国語。中国語を学んでもない田中さん夫婦の北京旅行という設定で、挨拶から始まり、買物、食事といった日常生活に限られた会話を学ぶ。

成績評価の方法

前期と後期のテストを重点とし、普段授業中の発音、練習問題、さらに出席点も加味する。

教科書

王元武・鶴島俊一郎『北京旅行』（白帝社）1,800円

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語 L L I	ナバロ, ホワン J.	法A・政治2・3・4選	2

講義のねらい

スペイン語の基礎知識がある学生のための授業です。授業中に配布されるプリントの文章や会話について問題を出します。日常会話でよく用いられる表現を聞き取り、話すことができるよう練習します。

成績評価の方法

授業中の練習への参加と出席で評価します。特別試験も実施します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語 L L II	ナバロ, ホワン J.	法A・政治2・3・4選	2

講義のねらい

スペイン語の基礎知識がある学生のための授業です。授業中に配布されるプリントの文章や会話について問題を出します。日常会話でよく用いられる表現を聞き取り、話すことができるよう練習します。

成績評価の方法

授業中の練習への参加と出席で評価します。特別試験も実施します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語 I A (選)	みやち たつろう 宮地 達郎	法A・政治選	2

講義のねらい

スペイン、中南米の国語スペイン語は国連の公用語6ヶ国語の一つでもあり、米国ではヒスパニックの人口比率が黒人を抜き最大となっている。米国におけるスペイン語の必要性は現在でも大きく、さらに増大することは必至である。従って、国際社会におけるスペイン語の重要性を認識させ興味を持続させることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

基礎文法の徹底が目的。前期は英語との違い、特に性数一致、動詞の変化（現在形）に重点を置く。後期は過去形、未来形、できれば接続法まで入ることが目的。

履修上の留意点

欠席が多い場合、前回の授業内容が分からなければ、その回の授業についていけなくなる。スペイン語は他の外国語より易しいという先入観を持ったり、英語が苦手だからという簡単な理由で受講しても単位取得は簡単ではないことを認識して受講してほしい。

成績評価の方法

出席率、授業中の態度、テストの3点を総合して評価する。

教科書

宮本博司著『ようこそスペイン語の世界へ』（大学書林）

参考書等

推薦辞書：『現代スペイン語辞典（西和および和西）』（白水社）
『スペイン語ミニ辞典』

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語 I B (選)	かめ やま こう いち 亀 山 晃 一	法A・政治選	2

講義のねらい

初級文法から始め、発音・アクセント・イントネーションを練習する。比較的簡単な例文を確実に習得することで会話の基礎を作り、スペイン語圏で生活したり、旅行するに当って役立つ、コミュニケーション能力の開発と養成を行う。背景文化や歴史にも触れ、関心を育てることにより、学習継続の為の動機付けとしたい。

履修上の留意点

決して、遅刻・欠席をしない。自ら興味を持ち、学習を継続すること。

成績評価の方法

数回のテスト、日頃の出席状況、受講態度を総合して行う。

教科書

開講時、指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語 II (選)	おぎ の まさ し 荻 野 雅 司	法A・政治2・3・4選	2

講義のねらい

スペイン語 I で学習したものをさらに広く深く学ぶことで実際に使えるスペイン語を習得し、3億人といわれるヒスパニック圏の人々を行う communication の術を身に付けることを狙いとします。

講義の内容・授業スケジュール

上記の目的を達成するために、一方でスペイン語 I で得た知識を今一度リフレッシュしながら、新しい領域に進んでいきます。この過程では教科書以外に、プリント、テープ、ビデオ等を通じて実際に使われている、生きたスペイン語にも接して行きます。

履修上の留意点

言葉の学習には継続が肝要ですから、年間を通じて、コンスタントに出席できる学生の受講を期待します。

成績評価の方法

成績の評価に当たっては、テストの成績よりも、むしろ日頃の受講態度を重視します。

教科書

佐藤玖美子著『新・何を話しましょうか』(芸林書房)

科目名	担当者名	配当学科	単位
ロシア語 L L I	あん とく 安 徳 ニーナ	法A・政治2・3・4選	2

講義のねらい	ロシア語 I、II で学んだことを基に、日常会話からロシア文学への入門ができることを目標とします。 日常の話題等についても自由に会話ができるようになることを目指します。
講義の内容・授業スケジュール	教科書にもとづいて会話形式に講義を進めます。
成績評価の方法	講義で行う練習問題を主として学習態度も参考にし平常点で評価します。
教科書	S, KHAVRONINA 著 <i>RUSSIAN AS SPEAK IT</i> (ナウカ社)
参考書等	必要に応じてその都度資料を配布します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ロシア語 L L II	あん とく 安 徳 ニーナ	法A・政治2・3・4選	2

講義のねらい	日常会話からロシア文学への入門、新聞、雑誌を読みこなせることを目標とします。また自由に会話ができるようになることをめざします。
講義の内容・授業スケジュール	資料にもとづいて会話形式に講義を進めます。
成績評価の方法	講義で行う練習問題を主として学習態度も参考にし平常点で評価します。
教科書	新聞、雑誌の記事など必要に応じてその都度資料を配布します。(学生の希望も考慮します。)
その他	講義の状況に応じビデオ等を使用し「現在のロシアとロシア語について」説明と話もします。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ロシア語 I A (選)	クロチコフ, Y.	法A・政治選	2

講義のねらい

- 1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号(力点)の法則、イントネーションの5つの型をみっちりやります。
- 2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現(ボディー・ランゲージを含む)を身につけます。
- 3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。
- 4) 基礎的な初等文法を学びます。
- 5) アルファベットを活字体、筆記体で書けるようにします。
- 6) 教科書を使用して、コミュニケーションに欠かせない基本的な日常会話を習得していきます。

はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を何回も繰り返しかえし練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に慣れてきたらCDを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらおうようにします。授業で各人が何回も発話をさせられますが、全く恐れる必要はありません。全教員がやさしく指導してくれますので恥ずかしがらないことが大切。

講義の内容・授業スケジュール

前期は発音やアクセントに重点をおき、後期は短文の読みや文法をくり返し学びます。

成績評価の方法

テストは行わず、平常点で評価。

教科書

『21世紀のロシア語』(大学書林) 1,800円、プリント配布。
ビデオ、オーディオ等を使用します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ロシア語 I B (選)	木村英明	法A・政治選	2

講義のねらい

日本の隣国ロシアはソ連崩壊後の長い混迷から抜け出し、21世紀の経済的、文化的飛躍の道をたどり始めています。ロシアの人々とじかにコミュニケーションできる機会、必要性は日本でも高まりつつあります。この授業では、言葉を通してロシアの習慣や文化にも触れていきたいと思えます。

講義の内容・授業スケジュール

この授業では、簡単な日常会話表現をもとにして、初歩の文法を速習します。音声面を重視して、できるだけコミュニケーションに役立つロシア語を学習します。

成績評価の方法

試験は行わず、平常点で評価します。

教科書

桑野隆『エクスプレス・ロシア語』(白水社)をもとに、必要に応じて適宜プリントを配布します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ロシア語Ⅱ(選)	佐野朝子	法A・政治2・3・4選	2

講義のねらい	ロシア語Ⅰで学んだことを基に、ロシア文学を理解できることを目標とします。
講義の内容・授業スケジュール	教科書にもとづいて会話を主体的に講義を進めます。
履修上の留意点	講義で時々行う練習問題を主として学習態度も参考にし平常点で評価します。
成績評価の方法	平常点で評価します。
教科書	S.KHAVRONINA 著 RUSSIAN AS WE SPEAK IT (ナウカ社)
参考書等	必要に応じてその都度資料を配布します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
朝鮮語 I A (選)	宋美玲 <small>そん み りょん</small>	法A・政治選	2

講義のねらい

同一の教員が同一の教科書をもって週2回の授業を行う。Aクラスは会話中心、Bクラスは文法中心という方針である。朝鮮語の文字と発音、語彙と文法の基礎を獲得し、朝鮮語を学び朝鮮語に触れることの楽しさを堪能することを目指す。同時に韓国を始めとする朝鮮語圏の文化との触れ合いも試みる。

講義の内容・授業スケジュール

文字と発音の基礎を学び、実用的な会話文を中心に基本的な文法および表現を学習する。基本的な学習の内容はA、Bクラス同様であるが、後期からはAクラスでは、口頭練習および聞き取りと書き取り、Bクラスでは、文法事項による作文や読解などに力を注いでいく。

履修上の留意点

最初の文字と発音に慣れていくまでがその後の進歩と楽しさを決定するので、4月、5月はとりわけ熱心に取り組んでほしい。

成績評価の方法

授業への参加度、学習態度、小テストや期末試験の成績により、総合的に評価する。

教科書

長谷川由紀子著『コミュニケーション韓国語（会話編1）』（白帝社）1,890円

参考書等

野間秀樹著『暮らしの単語集 韓国語』（ナツメ社）1,000円

科目名	担当者名	配当学科	単位
朝鮮語 I B (選)	宋美玲 <small>そん み りょん</small>	法A・政治選	2

講義のねらい

同一の教員が同一の教科書をもって週2回の授業を行う。Aクラスは会話中心、Bクラスは文法中心という方針である。朝鮮語の文字と発音、語彙と文法の基礎を獲得し、朝鮮語を学び朝鮮語に触れることの楽しさを堪能することを目指す。同時に韓国を始めとする朝鮮語圏の文化との触れ合いも試みる。

講義の内容・授業スケジュール

文字と発音の基礎を学び、実用的な会話文を中心に基本的な文法および表現を学習する。基本的な学習の内容はA、Bクラス同様であるが、後期からはAクラスでは、口頭練習および聞き取りと書き取り、Bクラスでは、文法事項による作文や読解などに力を注いでいく。

履修上の留意点

最初の文字と発音に慣れていくまでがその後の進歩と楽しさを決定するので、4月、5月はとりわけ熱心に取り組んでほしい。

成績評価の方法

授業への参加度、学習態度、小テストや期末試験の成績により、総合的に評価する。

教科書

長谷川由紀子著『コミュニケーション韓国語（会話編1）』（白帝社）1,890円

参考書等

野間秀樹著『暮らしの単語集 韓国語』（ナツメ社）1,000円

科目名	担当者名	配当学科	単位
朝鮮語Ⅱ(選)	宋美玲 <small>そん みりょん</small>	法A・政治2・3・4選	2

講義のねらい	初級における基本的な文法の内容をふまえ、日常生活での基礎会話が話せるようにする。また、韓国を始めとする朝鮮語圏の文化との触れ合いを試み、資料の読解及びビデオの鑑賞を通して、実践的な習得を目指す。
講義の内容・授業スケジュール	初級のテキストをもって、基本的な文法及び表現に基づいた文型練習を行う。また、口頭練習を通して聞き取り及び書き取りの能力を、プリントの資料をもって読解の能力を強化していく。
履修上の留意点	テキストの復習・予習など、積極的な授業への参加が望ましい。
成績評価の方法	授業への参加度、学習態度、小テストや期末試験の成績により、総合的に評価する。
教科書	1) 野間秀樹著『至福の朝鮮語』(朝日出版社) 2,900円 2) 野間秀樹著『暮らしの単語集 韓国語』(ナツメ社) 1,000円
その他	書き取りと聞き取りの練習のため、ノートを必ず持参すること。 『暮らしの単語集 韓国語』で単語のテストを行う。

外
国
語

4. 保 健 体 育 科 目

保健体育科目の目標

本学の『保健体育科目』は、総合的人間性の形成を目指し以下の点に留意して開設されています。

人間がひととして生きていくうえで、自己の身体について知り、理解を深めていくことは重要なことであり、健康の増進や、体力の向上のための基本的な知識や習慣を、生涯を通じて知的・身体的遺産として獲得することは、あらゆる人間活動を支える基盤であります。スポーツは、単に楽しみとしてではなく、健康や体力づくりの手段として、また、身体を認識する手段としても重要であると考えられます。本学の『保健体育科目』は、様々なスポーツ種目を通して展開し、その種目の特性に沿った活動や経験を通して、生涯を通じて健康の増進や体力の向上を図ると共に、スポーツを楽しむ能力を高め、ゆとりある人間社会の形成を実現する能力を学生自らが考え獲得することを目標としています。

さらに、人間疎外条件の多い現代社会において、運動実践の過程で習得される公正、協調、克己、決断、集中などのスポーツの本質的要素であるパーソナリティーを共通の体験を通して得ることで、学生時代でなければ得られない人間関係を構築し、社会性を養い、人間愛豊かな人間を形成することを目指しています。

4 . 保健体育科目

健康・スポーツ実習 (サッカー)	〈秋田浩一〉	241
健康・スポーツ実習 (ゴルフ)	〈館岡儀秋・森本葵〉	242
健康・スポーツ実習 (ソフトボール)	〈森本葵〉	243
健康・スポーツ実習 (室内球技)	〈川村正義〉	244
健康・スポーツ実習 (トレーニング)	〈秋田浩一〉	245
健康・スポーツ実習 (卓球)	〈竹田幸夫〉	246
健康・スポーツ実習 [集中授業コース] (サッカー)	〈秋田浩一〉	247
健康・スポーツ実習 [集中授業コース] (卓球)	〈川村正義・山口良博〉	248
健康・スポーツ実習 [集中授業コース] (バドミントン)	〈牧野茂〉	249
健康・スポーツ実習 [集中授業コース] (ソフトボール)	〈高橋俊介・村松誠〉	250
健康・スポーツ実習 [集中授業コース] (室内球技)	〈鈴木淳平〉	251
健康・スポーツ実習 [集中授業コース] (トレーニング)	〈山口良博〉	252
生涯スポーツ実習 I～IV前期・後期/基礎 (簡化太極拳)	〈大石武士〉	253
生涯スポーツ実習 I～IV前期・後期/基礎 (バドミントン)	〈長濱友雄〉	254
生涯スポーツ実習 I～IV前期・後期/基礎 (室内球技)	〈鈴木淳平〉	254
生涯スポーツ実習 I～IV前期・後期/基礎 (卓球)	〈牧野茂〉	255
生涯スポーツ実習 I～IV前期・後期/基礎 (バスケットボール)	〈牧野茂〉	256
生涯スポーツ実習 I～IV前期・後期/応用 (簡化太極拳)	〈大石武士〉	257
生涯スポーツ実習 I～IV前期・後期/応用 (ニュースポーツ)	〈大石武士〉	258
生涯スポーツ実習 I～IV前期・後期/応用 (バドミントン)	〈長濱友雄〉	259
生涯スポーツ実習 I～IV前期・後期/応用 (室内球技)	〈鈴木淳平〉	259
生涯スポーツ実習 I～IV前期・後期/応用 (バドミントン)	〈鈴木淳平〉	260
生涯スポーツ実習 I～IV前期・後期/応用 (卓球)	〈牧野茂〉	261
生涯スポーツ実習 I～IV前期・後期/応用 (バスケットボール)	〈牧野茂〉	262
生涯スポーツ実習 (集中前期) (テニス集中)	〈江口淳一〉	263
生涯スポーツ実習 (集中後期) (テニス集中)	〈江口淳一〉	264
生涯スポーツ実習 (集中後期) (ゴルフ集中)	〈三幣晴三〉	265
生涯スポーツ演習 (シーズン前期) (ゴルフ)	〈森本葵他〉	266

生涯スポーツ演習 (シーズン後期) (スキー・スノーボード) (鈴木 淳平 他) ...	267
健康・スポーツ論 1 (舘 岡 儀 秋)	268
健康・スポーツ論 1 (竹 田 幸 夫)	269
健康・スポーツ論 2 (大 石 武 士)	270
健康・スポーツ論 2 (村 松 誠)	271
健康・スポーツ論 2 (牧 野 茂)	272

「健康・スポーツ実習」開講種目一覧

(於：玉川校舎)

	1 時限 (政治)		2 時限 (法律-1)		3 時限 (法律-2)	
水曜日	※秋田	サッカー	※館岡	ゴルフ	※森本	ソフトボール
	竹田	卓球	秋田	トレーニング	秋田	トレーニング
	森本	ゴルフ	森本	ソフトボール	館岡	ゴルフ
	川村	室内球技	竹田	卓球	川村	室内球技

※は、科目の主担当者

保健体育

「生涯スポーツ実習 I ~ IV」開講種目一覧

(於：本校体育館)

	月 曜 日		火 曜 日		水 曜 日		木 曜 日		金 曜 日			
1 時限												
2 時限	長	前期・基礎	大	前期・応用		牧	前期・応用	牧	前期・応用			
		バドミントン		ニュースポーツ※			卓球		バスケットボール			
	濱	後期・基礎	石	後期・応用		後期・応用	後期・応用	野	卓球		野	バスケットボール
		バドミントン		ニュースポーツ※								
3 時限	長	前期・応用	大	前期・基礎	鈴	前期・応用	牧	前期・基礎	牧	前期・基礎		
		バドミントン		簡化太極拳※				室内球技		卓球	バスケットボール	
	濱	後期・応用	石	後期・基礎	木	後期・応用	野	後期・基礎	野	後期・基礎		
		バドミントン		簡化太極拳※		室内球技		卓球		バスケットボール		
4 時限	大	前期・応用			鈴	前期・基礎	木	前期・応用		前期・応用		
		簡化太極拳※						室内球技		バドミントン		
	石	後期・応用				後期・基礎		後期・応用		後期・応用		
		簡化太極拳※				室内球技		バドミントン				

※印の科目は、本校修道館（第2体育館）にて実施し、それ以外は、本校第1体育館で実施します。

保健体育

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 (サッカー)	あき 秋 た こう 浩 いち 一	政治1選	2

講義のねらい

サッカーのゲームは、ボールを蹴ること（キック）、止めること（とらッピング）、運ぶこと（ドリブル）から成り立っている。週一回の授業で全てをマスターすることは難しいが、各々の技術の要領を知ることによって数段ボール扱いがうまくなり、ゲームもまた楽しいものになる。本授業では、毎時間基本技術とゲームを行ない、サッカーの楽しさを実感する。また、正しいルールを学び、ゲームに生かすことの理解度を高める。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション、授業内容、服装等の説明
- 2時限目：班分け、インサイドキック、トラッピング（グラウンダー）
- 3時限目：インサイドキック、練習ゲーム
- 4時限目：浮玉のとらッピング1、リーグ戦1
- 5時限目：インステップキック、リーグ戦2
- 6時限目：インフロントキック、リーグ戦3
- 7時限目：オフサイドルールの理解、リーグ戦4
- 8時限目：浮玉のとらッピング2、リーグ戦5
- 9時限目：基礎技術の応用練習、リーグ戦6
- 10時限目：基礎技術の応用練習、リーグ戦7
- 11時限目：基礎技術の応用練習、リーグ戦8
- 12時限目：基礎技術の応用練習、リーグ戦9
- 13時限目：基礎技術の応用練習、優勝決勝戦
- 14時限目：基礎技術の応用練習、優勝決勝戦
- 15時限目：まとめ

履修上の留意点

服装は、一般的な運動服装で良いが必ずアップシューズもしくはゴム底のスパイクシューズを用意すること（6本ポイントのスパイクは不可）。靴下は厚手のものがよい。

成績評価の方法

評価は出席点70点、実技点30点とする。実技点はチーム対抗リーグ戦の結果と受講態度により採点する。個人に実技テストは、行わない。

そ の 他

雨天の場合は、室内にて他種目の運動もしくは、ルールの説明、ビデオによるプロゲームの観戦

注) 運動服装は雨天でも持参すること。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 (ゴルフ)	たておか よしあき もりもと まもる 館岡 儀秋・森本 葵	法A・政治1選	2

講義のねらい

ゴルフゲームは、現在将来ともにより豊かな余暇時間体験を持つことのできる活動として最良の生涯スポーツである。
生涯スポーツとして、ゴルフのラウンドを楽しくプレーすることのできる基礎的知識、技術、及び態度を身につける。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：グリップ、アドレス、スイング
- 3 時限目：打撃練習（7・9アイアン）
- 4 時限目：打撃練習（7・9アイアン）・ビデオによるスイング理論の解説
- 5 時限目：打撃練習（5アイアン）
- 6 時限目：打撃練習（5アイアン）
- 7 時限目：打撃練習（W1・W3）
- 8 時限目：打撃練習（W1・W3）
- 9 時限目：打撃練習（アプローチ）
- 10 時限目：打撃練習（アプローチ）
- 11 時限目：打撃練習（パッティング）・ルールの解説
- 12 時限目：打撃練習（パッティング）・ラウンドにおけるマナー、エチケットの解説
- 13 時限目：ラウンド（模擬コース）
- 14 時限目：ラウンド（模擬コース）
- 15 時限目：実技テスト

履修上の留意点

1. 服装は、一般的な運動服装とする。
2. シューズは、運動靴とする。
3. ゴルフ用グローブを各自用意すること。

成績評価の方法

授業に出席して実習することが重要である。したがって成績は、出席点70%・実技点（実技テストを含む）30%の割合で評価する。

そ の 他

雨天時及び強風などの場合は、教場を変更する場合がありますので掲示板を確認すること。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 (ソフトボール)	もり もと まもる 森 本 葵	法A1選	2

講義のねらい

ソフトボールは野球と同様1チーム9名で2組が得点を争うゲームである。野球が体育実技で取り上げづらいのは、ある種の経験を要するからであり、ソフトボールは、チームの中で1~2名の未経験者がいてもゲームはある程度成立する。野球は、9回の攻守に対してソフトボールは7回と、時間の区切られた実技に適している。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：基本練習(キャッチボール、フライ・ゴロの捕球、打撃練習：トス・ハーフ・フリーバッティング、走塁練習、その他)
- 2 時限目： 〃
- 3 時限目：試合(勝ち点制)
- 4 時限目： 〃
- 5 時限目： 〃
- 6 時限目： 〃
- 7 時限目： 〃
- 8 時限目：審判の仕方(球審、1・3塁審)
- 9 時限目： 〃
- 10時限目：試合(勝ち点制)
- 11時限目： 〃
- 12時限目： 〃
- 13時限目： 〃
- 14時限目： 〃
- 15時限目：まとめ

履修上の留意点

用具：貸与
 服装：ユニフォームの着用が必要はないが、実技のできる服装とする。
 シューズ：ランニングシューズ、アップシューズは可。野球のスパイクシューズは不可とする。

成績評価の方法

出席を重視し、試合毎の勝ち点も加えて評価する。

そ の 他

雨天時は、視聴覚室において、ルールの解説とビデオ観戦とする。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 (室内球技)	かわむらまさよし 川村正義	法A・政治1選	2

講義のねらい

バスケットボール、バレーボール、バドミントンを教材とし、それぞれの競技を楽しむための基礎技術やルールを学びながら、健康・体力を維持し、自己の身体への認識を深め、ゲームを通じて、これらの競技を理解すると共に、豊かな人間関係づくりを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、授業内容の説明
(バスケットボール)
- 2 時限目：ボールハンドリング、ドリブルシュート、グループ分け
- 3 時限目：ハーフコート2対1、ゲーム (1次リーグ)
- 4 時限目：ハーフコート3対2、ゲーム (1次リーグ)
- 5 時限目：ハーフコート4対3、ゲーム (1・2次リーグ)
- 6 時限目：ハーフコート3対3、ゲーム (2次リーグ)
- 7 時限目：ゲーム (2次リーグ)
(バレーボール)
- 8 時限目：オーバー・アンダーパス、ゲーム (リーグ戦)
- 9 時限目：レシーブ・スパイクの基本、ゲーム (リーグ戦)
- 10 時限目：サーブ・レシーブ・スパイクの応用、ゲーム (リーグ戦)
- 11 時限目：ゲーム (トーナメント)
(バドミントン)
- 12 時限目：ラケットイング、ミニラリー、スマッシュ、ドロップショット
- 13 時限目：クリアー、ネット・ショット、ダブルスのルール
- 14 時限目：サーブ、ストロークの応用、ダブルスのゲーム
- 15 時限目：ダブルスのゲーム

履修上の留意点

服装は、一般的な運動服装とする。体育館シューズを用意すること。担当教員によって時間配分を多少変更することがある。

成績評価の方法

出席点 (70点)、実技点 (20点)、態度点 (10点)、60点以上を合格とする。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 (卓球)	たけだ ゆきお 竹田 幸夫	法A・政治1選	2

講義のねらい

卓球の様々な技術の向上を図る事により、卓球の面白さを知る。また、スポーツの中で最も簡単だと言われるルール（シングルス、ダブルス）を理解し、将来、生涯スポーツの一つとしての基盤をつくる。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、授業内容と服装等の説明
- 2 時限目：ラケットイング、ネットの張り方の学習、フォアハンドの基本形
- 3 時限目：フォアハンドドライブ、フォアハンドゲーム
- 4 時限目：フォアハンドドライブのショート、ロングの打ち方。シングルスゲーム
- 5 時限目：バックハンドショートの打ち方。バックハンドゲーム
- 6 時限目：カットの打ち方、返球の方法。カット&カット、シングルスゲーム
- 7 時限目：カット&ドライブリターン、シングルスゲーム
- 8 時限目：スマッシュ（3球目）、シングルスゲーム
- 9 時限目：シングルスゲーム
- 10 時限目：ダブルスゲームのやり方。ダブルスゲームの練習
- 11 時限目：ダブルスゲーム（5人一組でのリーグ戦）
- 12 時限目：ダブルスゲーム（5人一組でのリーグ戦）
- 13 時限目：ダブルスゲーム（5人一組でのリーグ戦）
- 14 時限目：ダブルスゲーム（5人一組でのリーグ戦）
- 15 時限目：まとめ

履修上の留意点

服装は、一般的な運動服装が良いが、必ず体育館シューズを用意すること（土足厳禁）。土足の場合は授業を受けることはできない。

成績評価の方法

評価は出席点70点、実技点30点とする。実技点は平素のゲームの中で採点し、受講態度を加味して評価する。個人の実技テストは行なわない。

そ の 他

30分以上の遅刻は認めない。とくにゲームの班分けをした後の授業参加は認めない。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 集中授業コース(サッカー)	あき た こう いち 秋 田 浩 一	法A・政治(2年次以降)	2

講義のねらい

サッカーのゲームは、ボールを蹴ること(キック)、止めること(トラッピング)、運ぶこと(ドリブル)から成り立っている。週一回の授業で全てをマスターすることは難しいが、各々の技術の要領を知ることによって数段ボール扱いがうまくなり、ゲームもまた楽しいものになる。本授業では、毎時間基本技術とゲームを行ない、サッカーの楽しさを実感する。また、正しいルールを学び、ゲームに生かすことの理解度を高める。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1日目午前：基本技術練習(キック、トラップ、ヘディング、ドリブル) チーム分け
 1日目午後：
 2日目午前：パス練習、ゲーム
 2日目午後：ロングキック、ゲーム
 3日目午前：ドリブル、ゲーム
 3日目午後：シュート、ゲーム
 4日目午前：ルールの解説、ゲーム
 4日目午後：ゲーム(リーグ戦)
 5日目午前：
 5日目午後：

履修上の留意点

服装は、一般的な運動服装で良いが必ずアップシューズもしくはゴム底のスパイクシューズを用意すること(6本ポイントのスパイクは不可)。靴下は厚手ものがよい。

成績評価の方法

出欠は午前午後の二回確認する。成績は授業参加態度から総合的に判断する。

そ の 他

雨天の場合は、室内において補強トレーニングまたは視聴覚機材を用いて、ルールや競技の理解を深める。

再クラス 集中授業コース実施について

- (1) 実施期間：(前期) 7月18日(日)～22日(木)
(後期) 12月21日(火)～25日(土)
7月18日及び12月21日更衣の上、午前10時に玉川体育館集合
- (2) 実施時間：午前10：00～12：00
午後13：00～15：30
- (3) 実施場所：玉川グラウンド
- (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届(事前登録)』は集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。
- (5) 備 考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 集中授業コース(卓球)	かわむら まさよし やまぐち よしひろ 川村 正義・山口 良博	法A・政治(2年次以降)	2

講義のねらい

卓球の様々な技術の向上を図る事により、卓球の面白さを知る。また、スポーツの中で最も簡単だと言われるルール(シングルス、ダブルス)を理解し、将来、生涯スポーツの一つとしての基盤をつくる。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1日目午前：オリエンテーション、ラケットイング、フォアハンドの基本形。
- 1日目午後：フォアハンドドライブ、フォアハンドゲーム
- 2日目午前：バックハンドショットの打ち方、バックハンドゲーム
- 2日目午後：カットの打ち方と返球の方法、シングルスゲーム
- 3日目午前：シングルスゲーム、ダブルスゲームのやり方
- 3日目午後：ダブルスゲームの練習
- 4日目午前：ダブルスゲーム
- 4日目午後：ダブルスゲーム
- 5日目午前：トーナメント形式の試合
- 5日目午後：まとめ

履修上の留意点

服装は、一般的な運動服装で良いが、必ず体育館シューズを用意すること。

成績評価の方法

評価は出席点70点、実技点30点とする。実技点は平素のゲームの中で採点し、受講態度を加味して評価する。個人の実技テストは行なわない。

そ の 他

再クラス 集中授業コース実施について

- (1) 実施期間：(前期) 7月18日(日)～22日(木)
(後期) 12月21日(火)～25日(土)
7月18日及び12月21日更衣の上、午前10時に玉川体育館集合
- (2) 実施時間：10：00～12：00
13：00～15：30
- (3) 実施場所：玉川体育館
- (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届(事前登録)』は集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。
- (5) 備 考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 集中授業コース(バドミントン)	まき の 野 茂 しげる	法A・政治(2年次以降)	2

講義のねらい

ゲームを楽しむための基本的な技術やルールを習得し、仲間づくりを通して社会的態度を養うとともに、生涯スポーツとして取り組むことができる基本的能力を身につけることを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1日目午前：オリエンテーション、ラケットティング、ストロークの基本技術（回内、回外）
- 1日目午後：オーバー・ヘッド・ストローク
 - ①（スマッシュ、ドロップ）、コート反面のシングルス・ゲーム
- 2日目午前：オーバー・ヘッド・ストローク
 - ②（スマッシュ、クリアー、ドライブ）、サービス
- 2日目午後：アンダー・ハンド・ストローク
 - ①（クリアー、ヘアピン・ショット）、サービス、コート反面のシングルス・ゲーム
- 3日目午前：アンダー・ハンド・ストローク
 - ②（ロブ、クロス、ネットショット）、シングルス・ゲーム
- 3日目午後：サイド・ハンド・ストローク（ドライブ、クリアー）、サービス、シングルス・ゲーム
- 4日目午前：オーバー・ヘッド・ストローク
 - ③（カット、プッシュ）、総合練習、ダブルス・ゲーム
- 4日目午後：総合練習、ダブルス・ゲーム
- 5日目午前：総合練習、ダブルス・ゲーム
- 5日目午後：総合練習、トーナメント型式のゲーム

履修上の留意点

- (1) 服装は、一般的な運動服とする。
- (2) 体育館シューズを用意すること。
- (3) ラケットは貸与する。

成績評価の方法

出欠は午前午後の二回確認する。成績は授業参加態度から総合的に判断する。

そ の 他

- 再クラス 集中授業コース実施について
- (1) 実施期間：(前期) 7月18日(日)～22日(木)
(後期) 12月21日(火)～25日(土)
7月18日及び12月21日更衣の上、午前10時に玉川体育館集合
 - (2) 実施時間：10:00～12:00
13:00～15:30
 - (3) 実施場所：玉川体育館
 - (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届(事前登録)』は集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。
 - (5) 備 考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 集中授業コース(ソフトボール)	たかはし しゅんすけ むらまつ まこと 高橋 俊介・村松 誠	法A・政治(2年次以降)	2

講義のねらい

補強運動、練習及びゲームなどを積極的に行い、体力や運動能力を高める。技術やルールを習得し、ソフトボールのゲームを行う基本的能力を身につける。また、ソフトボールの楽しさをゲームや技術の習得を通して体験する。さらに、クラスの仲間と協力して練習やゲームを行う中で社会的態度を養う。

講義の内容・
授業スケジュール

第1日目 午前：チーム分け、基本練習（キャッチボール、フライ・ゴロの捕球、トスパッティング、走塁練習、その他）
午後：同上
第2日目 午前：ゲーム
午後：ク
第3日目 午前：ク
午後：審判法・ゲーム
第4日目 午前：ク
午後：ク
第5日目 午前：ク
午後：ク

履修上の留意点

一般的の体育服装を用意すること。野球用ユニフォームでも良い。運動靴は必ず用意すること。スパイクシューズは認めない。用具は貸与する。

成績評価の方法

出席を重視し、総合的に評価する。

そ の 他

雨天の場合は、室内において補強トレーニングまたは視聴覚機材を用いて、ルールや競技の理解を深める。

再クラス 集中授業コース実施について

- (1) 実施期間：(前期) 7月18日(日)～22日(木)
(後期) 12月21日(火)～25日(土)
7月18日及び12月21日更衣の上、午前10時に玉川体育館集合
- (2) 実施時間：10：00～12：00
13：00～15：30
- (3) 実施場所：玉川グラウンド
- (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への「履修届(事前登録)」は集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。
- (5) 備 考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 集中授業コース(室内球技)	すずき じゅん べい 鈴 木 淳 平	法A・政治(2年次以降)	2

講義のねらい

室内で行なわれる球技を教材とし、そこで用いられる基礎的な技術・戦術を体得し、同時に体力の増強を図る。

講義の内容・
授業スケジュール

バレーボール・バスケットボール・バドミントンを行なう。チームスポーツ、個人スポーツに必要とされる要素(体力的・技術的)を意識してゲームを多く消化していく。
スケジュール(どの種目をどの程度やるか等)は受講学生と相談して決定する。

履修上の留意点

○スポーツウェア(上下)、スポーツシューズ(室内用として履き分ける)の着用を厳守すること。

成績評価の方法

出欠席の状況、運動への積極性、授業態度、技術・体力などから総合的に評価する。

そ の 他

雨天の場合は、室内において補強トレーニングまたは視聴覚機材を用いて、ルールや競技の理解を深める。

再クラス 集中授業コース実施について

- (1) 実施期間：(前期) 7月18日(日)～22日(木)
(後期) 12月21日(火)～25日(土)
7月18日及び12月21日更衣の上、午前10時に玉川体育館集合
- (2) 実施時間：10:00～12:00
13:00～15:30
- (3) 実施場所：玉川体育館
- (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届(事前登録)』は集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。
- (5) 備 考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 集中授業コース(トレーニング)	やまぐち よしひろ 山口 良博	法A・政治(2年次以降)	2

講義のねらい

基礎的な体力要素である筋力、持久力、柔軟性、敏捷性を高めることを目的にして、さまざまなトレーニングを実践する。また、自分の体力の特徴を知ることによって、それに応じたトレーニングの方法を学ぶことを主なねらいとする。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1日目 午前：オリエンテーション、体力測定
 1日目 午後：カイザーカムⅡの使用法の説明、最大筋力の測定
 2日目 午前：ストレッチ体操、トレーニング
 2日目 午後：トレーニング
 3日目 午前：ストレッチ体操、マッサージ法
 3日目 午後：トレーニング
 4日目 午前：ストレッチ体操、トレーニング
 4日目 午後：12分間走
 5日目 午前：ストレッチ体操、トレーニング
 5日目 午後：体力測定、まとめ

履修上の留意点

服装は、一般的なスポーツウェアを用意すること。実技は、おもに体育館地下のトレーニング場で行なうので、体育館シューズを用意すること。

成績評価の方法

出席状況、トレーニング内容、授業態度を総合的に判断して評価する。

そ の 他

再クラス 集中授業コース実施について

- (1) 実施期間：(前期) 7月18日(日)～22日(木)
(後期) 12月21日(火)～25日(土)
7月18日及び12月21日更衣の上、午前10時に玉川体育館集合
- (2) 実施時間：午前 10:00～12:00
午後 13:00～15:30
- (3) 実施場所：玉川体育館
- (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届(事前登録)』は集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。
- (5) 備 考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	おお いたけ し 大 石 武 士	法A・政治1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ (前期・基礎)		法A・政治2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ (後期・基礎)		法A・政治3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ (簡化太極拳)		法A・政治4選	

講義のねらい

太極拳は、中国古来の武術であるが、硬拳のように筋骨を鍛錬するものではなく、腰を軸に手足のバランスを取り、呼吸法にのっとり、一定の早さを保ち、ゆっくりとした柔軟な動作が要求される。このしなやかな動作は日本の能の所作に似ており、繰り返し稽古することによって内面の気、優美さ、心の静けさを養い、現在および将来の健康の保持増進を目的とする。そして生涯スポーツとして取り組むことのできる基本的な姿勢を養う。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：重心の移動・腹式呼吸運動
- 3 時限目：第一組 起勢・左右野馬分鬃・白鶴亮翅
- 4 時限目：第二組 左右膝拗歩・手揮琵琶・左右倒卷肱
- 5 時限目：第三組 左攪雀尾・右攪雀尾
- 6 時限目：第四組 単鞭・雲手・単鞭
- 7 時限目：第五組 高探馬・右擱脚・双峰貫耳・轉身左擱脚
- 8 時限目：第六組 左下勢独立・右下勢独立
- 9 時限目：第七組 左右穿梭・海底針・閃通臂
- 10 時限目：第八組 轉身搬當捶・如封似閉・十字手・収勢
- 11 時限目：総合
- 12 時限目：総合
- 13 時限目：総合
- 14 時限目：総合
- 15 時限目：テスト

履修上の留意点

- 1) 定員：45名とする。
- 2) 服装：一般的運動服装で身軽に動きやすいものがよい。シューズ・その他のものは不用。
- 3) 教場：修道館2階

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行う。

科目名		担当者名	配当学科	単位
生涯スポーツ実習Ⅰ	(前期・基礎) (後期・基礎) (バドミントン)	なが はま とも お 長 濱 友 雄	法A・政治1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ			法A・政治2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ			法A・政治3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ			法A・政治4選	

講義のねらい

1. 補強運動、練習およびゲームなどを積極的に行ない、体力や運動能力を高める。
2. バドミントンの楽しさをゲームや技術の習得など通して体験することから、これからの活動欲求を高める。

また、技術的課題として、以下の点に留意して行なう。

- (1) フォアハンド、バックハンドとも使うことが出来る。
- (2) ゲームの中で各種技術を効果的に使えるようする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：ルールの説明、サーブ、ハイクリヤー
- 3 時限目：サーブ、ハイクリヤー、ドロップショット
- 4 時限目：反面での簡易ゲーム
- 5 時限目：〃
- 6 時限目：サーブ、ハイクリヤー、スマッシュ
- 7 時限目：サーブ、ドライブ、スマッシュ
- 8 時限目：
- 10 時限目： } 総合練習・ゲーム（シングルス）
- 11 時限目： } 総合練習・ゲーム（ダブルス）
- 15 時限目： }

履修上の留意点

1. 定員は40名とする。
2. 実技は本校第1体育館で行なう。
3. 服装は身軽に動作できるものがよい。
4. シューズは体育館専用のものを用意する。
5. その他のものは用意しなくてもよい。

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行なう。

科目名		担当者名	配当学科	単位
生涯スポーツ実習Ⅰ	(前期・基礎) (後期・基礎) (室内球技)	すず き じゅん べい 鈴 木 淳 平	法A・政治1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ			法A・政治2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ			法A・政治3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ			法A・政治4選	

講義のねらい

室内で行なわれる球技を教材とし、そこで用いられる技術・戦術を体得し、同時に体力の増強を図る。

講義の内容・授業スケジュール

バレーボール・バスケットボール・フットサルといった、室内でのボールゲーム（主にチームスポーツ）を行う。技術・戦術の基礎を学んだ後は主にゲームを通じて技術の習熟、体力の向上を図る。

スケジュール（どの種目をどの程度やるか等）は受講学生と相談して決定する。

履修上の留意点

○スポーツウェア（上下）、スポーツシューズ（室内用として履き分ける）の着用を厳守すること。

成績評価の方法

出欠席の状況、運動への積極性、授業態度、技術・体力などから総合的に評価する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	まきの野 牧 野 茂	法A・政治1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ		法A・政治2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ		法A・政治3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ		法A・政治4選	

講義のねらい

1. 補強運動、練習およびゲームなどを積極的に行ない、体力や運動能力を高める。
2. 卓球の技術やルールを習得し、生涯スポーツとして取り込むことが出来る基本的技能を身につける。
3. クラスの仲間と協力して練習やゲームを行なう中で社会的態度を養う。
技術的課題として、以下の点に留意して行なう。
 - (1) フォアバンド、バックハンドとも使うことが出来る。
 - (2) スマッシュを打つことが出来る。
 - (3) ゲームの中で各種技術を使うことが出来る。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時 限 目：オリエンテーション
- 2 時 限 目：ラケットの持ち方、サーブ
- 3 時 限 目：サーブ、サーブレシーブ、ラリー
- 4 時 限 目：サーブ、フォアハンドドライブ
- 5 時 限 目：サーブ、バックハンドの使い方、ラリー
- 6 時 限 目：サーブ、フォアハンド、バックハンド
- 7 時 限 目：シングルスゲームの練習
- 8 時 限 目：
- 9 時 限 目：
- 10 時 限 目：} 総合練習、シングルスゲーム練習
- 11 時 限 目：}
- 12 時 限 目：}
- 13 時 限 目：} 総合練習、ダブルスゲーム
- 14 時 限 目：}
- 15 時 限 目：}

履修上の留意点

1. 定員は50名とする。
2. 実技は本校第1体育館で行なう。
3. 服装は身軽で動きやすいものがよい。
4. シューズは体育館専用のものを用意する。
5. その他のものは用意しなくてもよい。

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行なう。

科 目 名		担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	(前期・基礎) (後期・基礎) (バスケットボール)	まき の 野 しげる 茂	法A・政治1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ			法A・政治2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ			法A・政治3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ			法A・政治4選	

講義のねらい

バスケットボールを教材とし、基本的な技術やルールを学びながらゲームの楽しみ方を身につけるとともに、体力や運動能力の向上をはかる。また、仲間づくりを通して社会的態度を養うとともにスポーツを生涯にわたって、生活の中に取り入れ実践していく基礎的能力をも養うことを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：ボール・ハンドリング、ドリブル・シュート、ハーフコート2マン・パス
- 3 時限目：フルコート2マン・パス①、ハーフコート2対1、ミニゲーム
- 4 時限目：フルコート2マン・パス②、ハーフコート3対2、ミニゲーム
- 5 時限目：フルコート3マン・パス、シューティング・ドリル、ゲーム（リーグ戦）
- 6 時限目：2マン・ファースト・ブレイク①、フルコート2対1、ゲーム（リーグ戦）
- 7 時限目：2マン・ファースト・ブレイク②、フルコート2対1、ゲーム（リーグ戦）
- 8 時限目：3マン・ファースト・ブレイク、フルコート3対2、ゲーム（リーグ戦）
- 9 時限目：4マン・ファースト・ブレイク、フルコート4対3、ゲーム（リーグ戦）
- 10 時限目：初歩的なマンツーマン・オフENSE①ハーフ・コート2対2、ゲーム（リーグ戦）
- 11 時限目：初歩的なマンツーマン・オフENSE②ハーフ・コート3対3、ゲーム（リーグ戦）
- 12 時限目：初歩的なマンツーマン・オフENSE③ハーフ・コート3対3、ゲーム（リーグ戦）
- 13 時限目：総合練習、ゲーム（リーグ戦）
- 14 時限目：総合練習、ゲーム（リーグ戦）
- 15 時限目：実技テスト、ゲーム（リーグ戦）

履修上の留意点

- (1) 定員は50名とする。
- (2) 実技は本校第1体育館にて行う。
- (3) 服装は、一般的運動服装とする。体育館シューズを用意すること。

成績評価の方法

出席点（70点）、実技テスト（20点）、態度点（10点）

科 目 名		担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	(前期・応用) (後期・応用) (簡化太極拳)	おお しい たけ し 士 大 石 武 士	法A・政治1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ			法A・政治2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ			法A・政治3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ			法A・政治4選	

講義のねらい

太極拳は、中国古来の武術であるが、硬拳のように筋骨を鍛錬するものではなく、腰を軸に手足のバランスを取り、呼吸法にのっとって、一定の早さを保ち、ゆっくりとした柔軟な動作が要求される。このしなやかな動作は日本の能の所作に似ており、繰り返し稽古することによって内面の気、優美さ、心の静けさを養い、現在および将来の健康の保持増進を目的とする。そして生涯スポーツとして取り組むことのできる基本的な姿勢を養う。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：重心の移動・腹式呼吸運動
- 3 時限目：第一組 起勢・左右野馬分負・白鶴亮翅
- 4 時限目：第二組 左右膝拗歩・手揮琵琶・左右倒卷肱
- 5 時限目：第三組 左攬雀尾・右攬雀尾
- 6 時限目：第四組 単鞭・雲手・単鞭
- 7 時限目：第五組 高探馬・右擱脚・双峰貫耳・轉身左擱脚
- 8 時限目：第六組 左下勢独立・右下勢独立
- 9 時限目：第七組 左右穿梭・海底針・閃通臂
- 10時限目：第八組 轉身搬齒捶・如封似閉・十字手・収勢
- 11時限目：総合
- 12時限目：総合
- 13時限目：総合
- 14時限目：総合
- 15時限目：テスト

履修上の留意点

- 1) 定員：45名とする。
- 2) 服装：一般的運動服装で身軽に動きやすいものがよい。シューズ・その他のものは不用。
- 3) 教場：修道館2階

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行う。

科目名		担当者名	配当学科	単位
生涯スポーツ実習Ⅰ	(前期・応用) (後期・応用) (バドミントン)	なが はま とも お 長 濱 友 雄	法A・政治1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ			法A・政治2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ			法A・政治3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ			法A・政治4選	

講義のねらい

1. 補強運動、練習およびゲームなどを積極的に行ない、体力や運動能力を高める。
2. バドミントンの楽しさをゲームや技術の習得など通して体験することから、これからの活動欲求を高める。
3. クラスの仲間と協力して練習やゲームを行なう中で社会的態度をを養う。
また技術的課題として、以下の点に留意して行なう。
(1) スマッシュ、ドロップショットを打つことが出来る。
(2) ゲームの中で各種技術を効果的に使えるようする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：サーブ、ハイクリヤー、ドライブ
- 3 時限目：サーブ、ハイクリヤー、スマッシュ
- 4 時限目：総合練習
- 5 時限目：総合練習
- 6 時限目： }
総合練習・ゲーム（シングルス）
- 10時限目： }
- 11時限目： }
総合練習・ゲーム（ダブルス）
- 15時限目： }

履修上の留意点

1. 定員は40名とする
2. 実技は本校第1体育館で行なう。
3. 服装は身軽に動作できるものがよい。
4. シューズは体育館専用のものを用意する。
5. その他のものは用意しなくてもよい。

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行なう。

科目名		担当者名	配当学科	単位
生涯スポーツ実習Ⅰ	(前期・応用) (後期・応用) (室内球技)	すず き じゅん へい 鈴 木 淳 平	法A・政治1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ			法A・政治2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ			法A・政治3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ			法A・政治4選	

講義のねらい

室内で行なわれる球技を教材とし、そこで用いられる技術・戦術を体得し、同時に体力の増強を図る。

講義の内容・授業スケジュール

バレーボール・バスケットボール・フットサルといった、室内でのボールゲーム（主にチームスポーツ）を行う。技術・戦術の基礎を学んだ後は主にゲームを通じて技術の習熟、体力の向上を図る。

スケジュール（どの種目をどの程度やるか等）は受講学生と相談して決定する。

履修上の留意点

○スポーツウェア（上下）、スポーツシューズ（室内用として履き分ける）の着用を厳守すること。

成績評価の方法

出欠席の状況、運動への積極性、授業態度、技術・体力などから総合的に評価する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	すずき じゅん べい 鈴 木 淳 平	法A・政治1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ		法A・政治2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ		法A・政治3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ		法A・政治4選	

講義のねらい

1. 補強運動、練習およびゲームなどを積極的に行ない、体力や運動能力を高める。
2. バドミントンの技術やルールを習得し、生涯スポーツとして取り組むことができる基本的能力を身につける。
また、技術課題として、以下の点に留意して行なう。
(1) フォアハンド、バックハンドとも使うことができる。
(2) ゲームの中で各種技術を効果的に使えるようにする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：ルールの説明、サーブ、ハイクリヤー
- 3 時限目：サーブ、ハイクリヤー、ドロップショット
- 4 時限目：反面での簡易ゲーム
- 5 時限目：ク
- 6 時限目：サーブ、ハイクリヤー、スマッシュ
- 7 時限目：サーブ、ドライブ、スマッシュ
- 8 時限目： } 総合練習・シングルスゲーム
- 11時間目： }
- 12時間目： } 総合練習・ダブルスゲーム
- 15時間目： }

履修上の留意点

1. 定員は40名とする。
2. 実技は本校第1体育館で行なう。
3. 服装は身軽に動作できるものがよい。
4. シューズは体育館専用のものを用意する。
5. その他のものは用意しなくてもよい。

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行なう。

科 目 名		担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	(前期・応用) (後期・応用) (卓 球)	まきの野 牧 野 茂	法A・政治1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ			法A・政治2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ			法A・政治3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ			法A・政治4選	

講義のねらい

- (1) 補強運動、練習およびゲームなどを積極的に行ない、体力や運動能力を高める。
- (2) 卓球の楽しさやゲームを通して、これからの活動欲求を高める。
- (3) クラスの仲間と協力して練習やゲームを行なう中で社会的態度を養う。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション
- 2時限目：サーブ、サーブレシーブ
- 3時限目：サーブ、ラリー
- 4時限目： } 総合練習・シングルスゲーム
- 8時限目： }
- 9時限目：総合練習、ダブルスゲーム練習
- 10時限目： } 総合練習・ダブルスゲーム
- 13時限目： }
- 14時限目：総合練習、シングルス勝ち抜き戦
- 15時限目：総合練習、ダブルス勝ち抜き戦

履修上の留意点

- (1) 定員は50名とする。
- (2) 実技は本校第1体育館で行なう。
- (3) 服装は身軽で動きやすいものがよい。
- (4) シューズは体育館専用のものを用意する。
- (5) その他のものは用意しなくてよい。

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行なう。

科 目 名		担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	(前期・応用) (後期・応用) (バスケットボール)	まき の 野 牧 しげる 茂	法A・政治1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ			法A・政治2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ			法A・政治3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ			法A・政治4選	

講義のねらい

バスケットボールを教材とし、体力や運動能力の向上をはかりながら、基本的な技術を復習し、より高度な技術の習得を目指す。また、審判法やゲームに関する戦術やセオリーを学ぶことによって、生涯を通じてより次元の高いゲームを実施できる能力を養うことを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：ボール・ハンドリング、レイアップ・シュート、ハーフコート2対1
- 3 時限目：2ボール・ドリブル、シューティング・ドリル、3対3ゲーム
- 4 時限目：2マン・ファースト・ブレイク、フルコート2対1、3対3ゲーム
- 5 時限目：3マン・ファースト・ブレイク、フルコート3対2、ゲーム（リーグ戦）
- 6 時限目：4マン・ファースト・ブレイク、フルコート4対3、ゲーム（リーグ戦）
- 7 時限目：著名なマンツーマン・オフENSE①ハーフ・コート2対2、ゲーム（リーグ戦）
- 8 時限目：著名なマンツーマン・オフENSE②ハーフ・コート3対3、ゲーム（リーグ戦）
- 9 時限目：著名なマンツーマン・オフENSE③ハーフ・コート3対3、ゲーム（リーグ戦）
- 10 時限目：モーション・オフENSE①ハーフ・コート2対2、ゲーム（リーグ戦）
- 11 時限目：モーション・オフENSE②ハーフ・コート3対3、ゲーム（リーグ戦）
- 12 時限目：モーション・オフENSE③ハーフ・コート4対4、ゲーム（リーグ戦）
- 13 時限目：総合練習、ゲーム（リーグ戦）
- 14 時限目：総合練習、ゲーム（リーグ戦）
- 15 時限目：実技テスト、ゲーム（リーグ戦）

履修上の留意点

- (1) 定員は50名とする。
- (2) 実技は本校第1体育館にて行う。
- (3) 服装は、一般的運動服装とする。体育館シューズを用意すること。

成績評価の方法

出席点（70点）、実技テスト（20点）、態度点（10点）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習 (集中前期・基礎/応用) テニス集中	え ぐち じゅん いち 江 口 淳 一	全学科選	1

講義のねらい

テニスは、華やかなプロスポーツから、ファミリーテニスまで色々な技術レベルによって楽しむことができ、我が国の生涯スポーツとして完全に定着したスポーツの1つである。

本実習においては、フォアハンド・バックハンドグラウンドストローク、ボレー、サーブ、スマッシュなど基本的なテニスの技術の習得と、ゲームに関するルール、マナーを学ぶことによって、生涯を通じて楽しくテニスが行なえる能力と、態度を養うことを目標にしている。

また、テニスを教材にスポーツを楽しむという活動や経験を通して、スポーツのもつ価値を実感し、自分の能力や技術に合わせた楽しみ方を身に付け、スポーツを自立的に生活化する態度を養うことを目指す。

さらに、5日間集中的に行なうことでテニスを通した人間関係を広げ深めることの楽しさを知る。

(基礎) …初心者を対象とする。「テニスを楽しむ」という観点から段階的に技術を習得し、ゲームを楽しむことを目標とする。

(応用) …エキスパートを対象とし、「ゲームに勝つ」ことや指導法などを学びながら High で Full にテニスと関わる態度を養う。

講義の内容・授業スケジュール

1日目午前：ラケットティング、フォアハンド・バックハンドグラウンドストロークの基本技術

1日目午後：ミニラリー、ラリーを楽しむ

2日目午前：フォア・バックハンドボレー、スマッシュ、サーブ、ストロークの応用

2日目午後：ラリーの応用とミニゲーム

3日目午前：半面でのシングルスゲーム (ゲームを楽しむ)

3日目午後： (戦術と応用)

4日目午前：ダブルスのルールとポジショニング

4日目午後：ダブルスのゲームを楽しむ

5日目午前：トーナメント形式の試合

5日目午後：まとめ

履修上の留意点

- (1) 履修者の技術レベルは問わない。
- (2) 服装は一般的な運動服装とする。
- (3) テニスシューズを必ず用意すること。
- (4) ラケットは貸与する。

成績評価の方法

出席状況 (出欠は午前午後の二回確認する。)、授業参加態度から総合的に判断する。

そ の 他

雨天の場合は、テニスの歴史、技術の科学的な解説、ビデオによる戦術の解説および分析などの講義を行なうかまたは、テニスに必要なトレーニングを解説を交えながら行なう予定である。

集中授業コース実施について

- (1) 実施期間：7月18日(日)～22日(木)
7月18日更衣の上、午前10時にテニスコート集合
- (2) 実施時間：午前10：00～12：00
午後13：00～15：30
- (3) 実施場所：玉川グラウンドのテニスコート
- (4) 定 員：40名とする。
- (5) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届 (事前登録)』は集中授業コース用に設定された下記の曜日・時限で提出すること。
特・4時限 (前期)

科目名	担当者名	配当学科	単位
生涯スポーツ実習 (集中後期・基礎/応用) テニス集中	えぐちじゅんいち 江口 淳一	全学科選	1

講義のねらい

テニスは、我が国の生涯スポーツとして完全に定着したスポーツの1つである。本実習では、フォアハンド・バックハンド グラウンドストローク、ボレー、サービス、スマッシュなど打球技術の習得と、ゲームに関する戦術やセオリーを学ぶことによって、生涯を通じてより高度な次元でテニスに関わる能力と、態度を養うことを目標にしている。

また、テニス兼打球技術の習得ばかりでなく《あがり》や《プレッシャー》といったメンタル面を克服することが重要視される心理ゲームで、それゆえに奥が深く、勝敗の行方が読めないスポーツとなっている。本実習においては、このテニスにおけるメンタルトレーニングの重要性を実技と解説を交えながら理解し、さらなるステップアップを目指す。

さらに、5日間集中的に行なうことでテニスを通した人間関係を広げ深めることの楽しさを知ることを目標とする。

(基礎) …初心者を対象とする。「テニスを楽しむ」という観点から段階的に技術を習得し、ゲームを楽しむことを目標とする。

(応用) …エキスパートを対象とし、「ゲームに勝つ」ことや指導法などを学びながら High で Full にテニスと関わる態度を養う。

講義の内容・授業スケジュール

- 1日目午前：フォアハンド・バックハンド グラウンドストロークの基本技術の確認
- 1日目午後：ラリーの応用練習
- 2日目午前：より高度なフォア・バックハンドボレー、スマッシュ、サーブ
- 2日目午後：より正確でスピーディーなテニスを目指す。
- 3日目午前：ダブルスのルールとポジショニング
- 3日目午後：ダブルス (平行陣への移行)
- 4日目午前：ダブルス・ゲーム (メンタル面を考慮した)
- 4日目午後：シングルス・ゲーム (メンタル面を考慮した)
- 5日目午前：団体戦形式の試合
- 5日目午後：まとめ

履修上の留意点

- (1) 履修者の技術レベルは問わない。
- (2) 服装は一般的な運動服装とする。
- (3) テニスシューズを必ず用意すること。
- (4) ラケットは貸与する。

成績評価の方法

出席状況 (出欠は午前午後の二回確認する。)、授業参加態度から総合的に判断する。

その他

雨天の場合は、テニスの歴史、技術の科学的な解説、ビデオによる戦術の解説および分析などの講義を行なうかまたは、テニスに必要なトレーニングを解説を交えながら行なう予定である。

集中授業コース実施について

- (1) 実施期間：12月21日(火)～25日(土)
12月21日更衣の上、午前10時に玉川テニスコート集合
- (2) 実施時間：10：00～12：00
13：00～15：30
- (3) 実施場所：玉川グラウンドのテニスコート
- (4) 定員：40名とする。
- (5) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届(事前登録)』は集中授業コース用に設定された下記の曜日・時限で提出すること。
特・4時限(後期)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習 (集中後期・基礎/応用) ゴルフ集中	み ぬさ はる み 三 幣 晴 三	全学科選	1

講義のねらい

ゴルフは、今や国民的スポーツになりつつある。初めてゴルフを体験しようとする初心者から、経験者までを対象として実施する。

本講義は、ゴルフの技術的な上達を主たるねらいとするが、プレイヤーとしてのマナーやエチケット、さらに受講者同士とのコミュニケーションも重要なねらいである。

生涯スポーツとして、ゴルフの良さを十分に楽しみ、ゴルフを通して良き人間関係を作っていくための基礎を学んでほしい。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 日 実技：打撃練習（グリップ・アドレス・スイングの基本練習）
講義：スイングの基本
- 2 日 実技：打撃練習（9I、7I・アプローチ練習）
講義：マナーとエチケット
- 3 日 実技：打撃練習（7I、5I、1W・パッティング練習）
講義：ゴルフルール
- 4 日 実技：打撃練習（PW、7I・アプローチ練習・パッティング練習）
講義：ゴルフコースとラウンドについて
- 5 日 実技：打撃練習（総合的打撃練習）

履修上の留意点

- (1) 服装・用具
 - ① 一般的な運動服装（セーター・ウインドブレーカーも天候によっては必要）
 - ② グローブ（ゴルフ用グローブに限る）は、必ず各自で用意すること。

そ の 他

- (1) 実施期間：12月21日（火）～25日（土）
12月21日更衣の上、午前10時に玉川校舎グラウンド集合
- (2) 実施時間：10：00～12：00
13：00～15：30
- (3) 実施場所：玉川校舎グラウンド
- (4) 費 用：受講者の上達度によっては、民間の練習場を利用する予定である。この場合ボール代として、2,000円程度必要である。
- (5) 定 員：40名
- (6) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届（事前登録）』は集中授業コース用に設定された下記の曜日・時限で提出すること。
特・4時限（後期）

科目名	担当者名	配当学科	単位
生涯スポーツ演習 (シーズン前期・基礎/応用) ゴルフ	もりもと まさる 森 本 葵 他	法A・政治選	2

講義のねらい

「健康スポーツ実習」で行われているゴルフ授業を一步進めて、ゴルフコースを使用してゴルフを基本からラウンドプレーまでを体験することをねらいとする。したがって、初めてゴルフを体験しようとする初心者から、経験者までを対象とするカリキュラムが組まれている。ゴルフの技術的向上を主たるねらいとするが、プレーヤーとしてのマナーやエチケット、更に同伴競技者とのコミュニケーションも本講義の重要なねらいとなる。

生涯スポーツとして、ゴルフの良さを十分に楽しみ、ゴルフを通して良き人間関係を作っていくための基礎を学んでほしい。

講義の内容・授業スケジュール

- オリエンテーション 1回目 4月10日(土) 12:20~12:40 2研-102教場
2回目 4月17日(土) 12:20~12:40 2研-102教場
※ 本オリエンテーションにて、受講許可書を発行いたします。
1回目のオリエンテーションで定員に達しない場合、2回目を実施します。
- 事前授業 7月23日(金) 13:00~16:00 2研-102教場「ゴルフの基礎知識」
- 実習内容および現地講義
 - 1日目 9月6日(月) 実技:12:50~17:20 打撃練習
講義:10:40~12:10 17:30~18:00 《ゴルフスイングの基本》
※注意:1日目は、玉川校舎で実施する。
 - 2日目 9月7日(火) 実技:13:30~16:30 打撃練習
講義:19:00~21:00 《ゴルフのマナーやエチケット》
 - 3日目 9月8日(水) 実技:9:00~16:30 打撃練習・ラウンド
講義:19:00~21:00 《ゴルフのルール・ラウンドについて》
 - 4日目 9月9日(木) 実技:9:00~16:30 打撃練習・ラウンド
講義:19:00~21:00 《ラウンドの反省と総括》
 - 5日目 9月10日(金) 実技:9:00~12:00 ラウンド

履修上の留意点

- 生涯スポーツ演習 シーズン前期・基礎/応用 ゴルフを履修する場合は、上記オリエンテーションに出席し、担当者の受講許可を受けなければなりません。
- 実習日程:9月6日(月)~9月10日(金)の3泊5日(現地集合解散)
 - 場 所:①宿泊 ホテル安比グランド 電話0195-73-6400 FAX0195-73-5025
岩手県岩手郡松尾村安比高原
②練習場 玉山ゴルフクラブ 電話019-683-3100 FAX019-683-3100
③コース 安比高原ゴルフクラブ 電話0195-73-5311 FAX0195-73-5044
 - 定 員:40名
 - 集合解散:現地(ホテル安比グランド)
※希望者多数であれば、格安なバスの利用も可能です。詳細については、オリエンテーションにおいて説明します。
 - 受講料:39,500円(左記金額には、交通費は含まれない)
証明書自動発行機(教務部ロビー設置)で受講料を納入後、納入書を保健体育部(第2研究館9階資料室)に提出すること。期間内に納入しない場合は、受講することができないので注意して下さい。
納入期間:5月24日(月)~6月5日(土)
 - 服装・用具
 - ① 一般的なゴルフ服装(セーター・ウインドブレーカーも天候によって必要)
 - ② ゴルフシューズ(ソフトスパイクに限る)は、必ず用意すること。ただし、練習場においては運動靴でも可。
 - ③ グローブは、必ず各自で用意すること。
 ※ゴルフクラブ・キャディーバッグは大学で用意するが、自分の物を持参してもよい。

成績評価の方法

オリエンテーション・事前授業および実習(5日間)によって2単位が認められる。成績は、講義・実技の出席状況、講義・実技テスト、実習参加態度等、総合的に評価される。

そ の 他

都合で参加できなくなった場合は、早急に保健体育部(第2研究館9階資料室)に連絡すること。なお、受講料の一部は、返却されないことがあります。

科目名	担当者名	配当学科	単位
生涯スポーツ演習 (シーズン後期・基礎/応用) スキー・スノーボード	すずき じゅん べい 鈴木 淳平 他	法A・政治選	2

講義のねらい

現在わが国において、スキーやスノーボードに代表されるスノースポーツは、国民に広く普及し「生涯スポーツ」として定着している。これらを楽しむ為に、実習および講義によって基礎技術や練習方法、ならびにゲレンデにおけるマナーなどについて理解を深めていきたい。実習はそれぞれの技術レベルに応じて班分けして実施する。コースの内容は以下の通りである。

- スキー・スノーボード基礎コース：雪面に慣れることから始まり、基礎的な滑走技術の習得を目指す。
- スキー・スノーボード応用コース：基礎コースを更に発展させ、安全で楽しくゲレンデを滑る技術の習得を目指す。

講義の内容・授業スケジュール

1. オリエンテーション 1回目 4月10日(土) 12:20~12:40 2研-102教場
2回目 4月17日(土) 12:20~12:40 2研-102教場
※ 本オリエンテーションにて、種目決定と受講許可書発行を行います。
1回目のオリエンテーションで定員に達しない場合、2回目を実施します。
2. 事前授業 12月20日(月) 13:00~16:00 2研-102教場「スノースポーツの基礎知識」
3. 実習内容および現地講義
 - 1日目 2月14日(月)
午後、現地ホテルロビー集合
午後：班別実習および全体講義「スノースポーツの基礎技術解説および安全・マナー」
 - 2日目 2月15日(火)
午前・午後：班別実習および全体講義「スノースポーツの応用技術解説」
 - 3日目 2月16日(水)
午前・午後：班別実習および全体講義「スノースポーツと環境」
 - 4日目 2月17日(木)
午前・午後：班別実習および全体講義「本実習の反省とまとめ」
 - 5日目 2月18日(金)
午前・午後：班別実習 午後、現地解散の予定

履修上の留意点

本講座は、生涯スポーツ演習 シーズン後期・基礎/応用ですが、履修する場合は、スキーまたはスノーボードのどちらかの種目とします。また、上記オリエンテーションに出席し、担当者の受講許可書を受けなければなりません。受講要項および本講義内容をよく確認して下さい。

- 1) 実習日程：平成17年2月14日(月)~2月18日(金)の4泊5日(現地集合解散)
- 2) 場 所：実習 安比高原スキー場
宿泊・現地講義 安比グランド 電話 (0195) 73-5019
- 3) 定 員：スキー 30名
スノーボード 20名(但し、初心者に限る)
- 4) 受講料：50,000円 ※なお左記金額には、交通費は含まれない。
証明書自動発行機(教務部ロビー設置)で受講料を納入後、納入書を保健体育部(第2研究館9階資料室)に提出すること。期間内に納入しない場合は、受講することができないので注意して下さい。
納入期間：5月24日(月)~6月5日(土)
- 5) 用 具：用具は現地レンタル可能(有料)。
- 6) 特記事項：卒業年次生の追再試、1~3年生の追試験と重なっているので特に注意すること。

成績評価の方法

オリエンテーション・事前授業および実習(5日間)に参加終了し、2単位が認められる。成績評価の方法は、事前授業参加状況、各班において実施する実技テストと実習参加態度、並びに技術や理解度も含めて総合的に成績評価がなされる。

そ の 他

都合で参加できなくなった場合は、早急に保健体育部(第2研究館9階保健体育部資料室)に連絡すること。なお、参加費は返却されないことがある。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ論1(前期)	たて おか よし あき 館 岡 儀 秋	法A1選	2

講義のねらい

健康を保持することは、すべての個人の願望にはかならないが、現代社会においては健康そのものの捉えかたが多様化している。また、運動やスポーツが健康増進の手段として考えられてきたが、その方法を誤ると健康を阻害する一面も内在している。健康管理を人に頼るのではなく、自主管理していくための基礎的知識を解説する。

人間の根源とも言える性と関連するエイズの諸問題を解説し、HIV感染者・エイズ患者を差別することなく、偏見を抱くことなく、エイズと共存する社会の実現のための知識・態度を解説する。

私たちは、いつ、どこで、どのような急病・事故・災害に出会うかわからない。このようなときに、医師以外の一般人でも、器具や薬品を使わずにできる一次救命処置の基礎的知識を解説する。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：人間と健康（体力と健康）
- 3 時限目：〃（寿命と健康）
- 4 時限目：〃（運動不足症）
- 5 時限目：〃（健康管理法）
- 6 時限目：献血と血液製剤
- 7 時限目：エイズ（エイズの現状と推移）
- 8 時限目：〃（エイズの予防・検査・治療）
- 9 時限目：〃（人権と差別）
- 10 時限目：体力とトレーニング（トレーニングの方法・運動処方）
- 11 時限目：救命救急（一次救命処置）
- 12 時限目：〃（一次救命処置）
- 13 時限目：〃（一次救命処置）
- 14 時限目：〃（応急処置）
- 15 時限目：まとめ

履修上の留意点

授業時間内に次のことを発表するので注意すること。

- ① 「小テスト」の期日（1、2回実施する予定）
- ② 「レポート」の提出期日（1、2回）

成績評価の方法

「小テスト」70%、「レポート」30%で総合評価する。

教 科 書

特に指定しない。

参 考 書 等

駒澤大学保健体育部編『保健体育概論』
『学生のための性とエイズ』（朝倉書店）
『救命救急』（小学館）

そ の 他

授業は主に講義形式で行うが、ビデオ等も活用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ論1(前期)	たけだ ゆきお 竹 田 幸 夫	法A・政治1選	2

講義のねらい

健康・スポーツに関する基礎的な知識についての講義を行なう。健康については、現代病やストレス、肥満などのテーマで、とくに心と体の関わりで考えていく。体力については、基礎的な体力要素の特徴とトレーニング方法、またスポーツ運動学の立場から人間の運動のさまざまな特徴を具体的な例によって解説する。

大学生の年代は、将来におけるライフスタイルの基礎を確立する大切な時期でもある。講義の内容から、自分の健康や体力、さらにはスポーツに関する基礎的な知識と考え方について理解を深めてもらいたい。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限：オリエンテーション、授業内容の説明
- 2 時限：人間と健康（心と体、現代病）
- 3 時限：〃（心と体、ストレス）
- 4 時限：〃（心と体、肥満とダイエット）
- 5 時限：体力とトレーニングの方法（基礎的な体力要素）
- 6 時限：〃（体力要素の特徴）
- 7 時限：〃（トレーニング方法）
- 8 時限：スポーツ運動の理論（スポーツ運動の特徴）
- 9 時限：〃（運動の上達、習熟とは）
- 10 時限：〃（運動の発達）
- 11 時限：〃（スポーツにおける右と左）
- 12 時限：〃（イメージトレーニング）
- 13 時限：〃
- 14 時限：まとめ
- 15 時限：試験

履修上の留意点

授業において扱う内容を、知識として聞くだけではなく、自分の身近な、そして具体的な問題として考えながら講義を聞いてほしい。

成績評価の方法

授業最後の試験と出席を加味して成績評価を行なう。

教 科 書

駒澤大学保健体育部編『保健体育概論』（カヅサ出版部）1,700円

参 考 書 等

授業内容と関わりのある以下の書籍を参考図書として上げておきたい。

- 1) 芦原睦著『心でおきる身体の病』（講談社ブルーバックス）760円
- 2) D. チョブラ著『パーフェクトヘルス』（ダイヤモンド社）
- 3) 白石豊著『スポーツ上達の基礎理論』（自由現代社）1,200円

そ の 他

授業は、主に講義形式で進めるが、テーマによっては受講生の見解を発表してもらう場合もある。また、バイオフィードバック装置（脳波測定装置）等の機器を利用して実験的な内容の授業も試みたい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ論 2 (前期)	おお いし たけ し 大 石 武 士	全学科選	2

保健
体育

講義のねらい

生涯を通じての健康や体力・身体運動の効果、体育・スポーツの概念やエイズ問題にふれていき、スポーツ・レクリエーション時や日常生活において、我々はいつどこで、どのような急病や傷害に出会うかもしれない。このような時、救急車が来るまでにしなければならない処置、とっさの処置が生命の別れ目になる。また、小さい怪我でも最初の手当が悪ければ経過が長引く。救命救急のための知識や技術を身につける事によって、病人や怪我人の生命、病気や怪我の経過に大きな差が生じてくる。このことをよく理解し、主な病気・傷害に対する救急処置法について講義を行う。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：講義内容の説明
- 2 時限目：体育の概念
- 3 時限目：身体運動と体育運動
- 4 時限目：健康の概念、身体運動の効果
- 5 時限目：人体構造の概略、エイズ問題
- 6 時限目：救急処置の目的、一次救命処置
- 7 時限目：一次救命処置
- 8 時限目：一次救命処置実習
- 9 時限目：出血多量、ショック
- 10 時限目：熱中症、やけど（熱傷）、凍傷
- 11 時限目：R・I・C・E 処置、創傷、創傷のない障害
- 12 時限目：挫滅傷、打撲、刺し傷
- 13 時限目：中毒、鼻出血、咬傷、虫や毒魚
- 14 時限目：体力について
- 15 時限目：テスト

成績評価の方法

出席・実習および学期末試験で評価する。

参 考 書 等

- 1 駒澤大学保健体育部編『保健体育概論』（カヅサ出版）1,700円
- 2 『最新図解救命救急-応急手当の手引き-』（小学館）700円

そ の 他

救急処置法については、心肺蘇生訓練用マネキンを使った実習や、ビデオを交えながら講義を展開していく。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ論2(前期)	むら 村 まつ 松 まこと 誠	全学科選	2

講義のねらい

現代は健康の時代の不健康な時代と言われる。健康に関する情報は、テレビに、雑誌にと、世に溢れている。健康情報が商品になる時代である。また、民間療法による健康法も数多く存在している。このような状況の中で、健康とは何であるかという、しっかりした健康観をもつことは、間違った選択をしないためにも大切なこととなる。そして、学生時代は人生の中でもっとも健康な時期と言われるが、現代の健康問題とされる生活習慣病は、この学生時代より多くは始まると言われている。このような認識のもとに、現代における健康問題も話題に取り上げながら、生涯に渡っての健康を考えて行く。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：健康観の変遷
- 3 時限目：現代の健康観
- 4 時限目：健康の成立要因
- 5 時限目：健康の成立条件
- 6 時限目：病気の原因
- 7 時限目：疾病構造の変遷と病気の予防
- 8 時限目：現代の感染症
- 9 時限目：喫煙と健康
- 10時限目：飲酒と健康
- 11時限目：ストレスと健康
- 12時限目：食べ物と健康
- 13時限目：運動と健康
- 14時限目：環境と健康
- 15時限目：まとめ

履修上の留意点

数回の小テストを行なう予定。

成績評価の方法

定期試験とその他を加味して評価する。

教 科 書

教科書は特に指定しないが、保健体育部編『保健体育概論』を参考図書とする。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ論2(前期)	まきの 野 茂 しげる	全学科選	2

講義のねらい

現代社会における健康の意義と認識を深めるとともに、ますます高齢化していく社会において、学生生活を含め生涯にわたって健康な生活を送るための基礎的な知識と、自己の健康管理能力を高めることを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：目的と課題の把握 全体ガイダンス、アンケートとその解説
- 2 時限目：健康とは何か① 語源・定義・性格
- 3 時限目：健康とは何か②
- 4 時限目：健康とは何か③
- 5 時限目：恒常性と適応 ストレス学説
- 6 時限目：健康の成立条件 健康を規定する条件
- 7 時限目：健康の保持増進① 科学的研究、健康教育
- 8 時限目：健康の保持増進② 保健衛生サービス、健康の獲得
- 9 時限目：健康指標 WHOの総合健康指標
- 10 時限目：日常生活と健康① 運動・栄養・休養①
- 11 時限目：日常生活と健康② 〃・〃・〃 ②
- 12 時限目：日常生活と健康③ 嗜好品と健康
- 13 時限目：感染症について① インフルエンザ、結核
- 14 時限目：感染症について② 性行為感染症
- 15 時限目：筆記試験

成績評価の方法

筆記試験において、60点以上を合格とする。

教 科 書

教科書は使用しない。必要に応じてプリントを配布するが、主として黒板を用いるので、出席し、ノートを整理しておくこと。

参 考 書 等

『保健体育概論』（カヅサ出版部）1,700円
他は、講義のなかで紹介する。

Ⅱ 専 門 教 育 科 目

1 法律学科フレックスA

授業時間表の区分「B」の科目を履修する場合は、
フレックスBの頁を参照してください。(→P. 587)

法

律

II. 専門教育科目

(1) 法律学科

法 学 概 論	〈北野かほる、高橋洋城〉	279
〔15以前入学生：法学概論A〕		
公 法 入 門	〈金子昇平・塩入みほも・山口邦夫〉	280
〔15以前入学生：法学概論B〕		
私 法 入 門	〈河野弘矩、鶴井俊吉〉	281
〔15以前入学生：法学概論B〕		
憲 法	〈日 笠 完 治〉	282
憲 法	〈西 修 修〉	283
民 法 総 則	〈河 野 弘 矩〉	284
民 法 総 則	〈鶴 井 俊 吉〉	285
刑 法 総 論	〈山 口 邦 夫〉	286
刑 法 総 論	〈関 根 徹〉	287
会 社 法	〈山 田 泰 彦〉	288
会 社 法	〈荒 木 正 孝〉	289
債 権 総 論	〈河 野 弘 矩〉	290
物 権 総 論	〈鶴 井 俊 吉〉	291
行 政 法 総 論	〈金 子 昇 平〉	291
刑 法 各 論	〈佐 藤 多 美 夫〉	292
裁 判 法	〈五 百 田 俊 治〉	293
国 際 法	〈王 志 安〉	294
有 価 証 券 法	〈島 原 宏 明〉	295
商 法 総 則・商 行 為 法	〈関 口 雅 夫〉	295
担 保 物 権 法	〈鶴 井 俊 吉〉	296
相 続 法	〈竹 中 智 香〉	297
保 険・海 商 法	〈加 瀬 幸 喜〉	298
民 事 訴 訟 法	〈間 渕 清 史〉	298
刑 事 訴 訟 法	〈松 本 英 俊〉	299
労 働 法	〈藤 本 茂 茂〉	300
社 会 保 障 法	〈原 田 啓 一 郎〉	301
行 政 法 各 論	〈金 子 昇 平〉	302
国 際 紛 争 解 決 法	〈王 志 安〉	303
国 際 私 法	〈笠 原 俊 宏〉	304
新 入 生 演 習		
〈王志安・山口邦夫・鶴井俊吉・佐藤多美夫・島原宏明・河野弘矩・原田啓一郎・荒木正孝・藤本茂・西修・金子昇平・大宮隆〉		
比 較 憲 法	〈西 修 修〉	305
法 社 会 学	〈岡 崙 修 修〉	306
日 本 法 制 史	〈茂 野 隆 晴〉	307
西 洋 法 制 史	〈北 野 か ほ る〉	308
政 治 学 原 論	〈大 塚 桂 桂〉	309
マス・コミュニケーション論 〈 休 講 〉		
政 治 史	〈村 井 良 太〉	310
経 済 原 論	〈浅 野 克 巳〉	311
行 政 学	〈田 丸 大 大〉	312

法律時事英語	〈牧野和夫〉	312
政治思想	〈休講〉	
刑事政策	〈斎藤静敬〉	313
刑法史	〈高橋洋城〉	314
債權論	〈青野博之〉	315
英法	〈北野かほる〉	316
仏法	〈上井長久〉	317
独基	〈山口邦夫〉	318
基基	〈大宮隆〉	318
基基	〈今尾真〉	319
基基	〈佐藤多美夫〉	320
基基	〈原口伸夫〉	321
基基	〈池田実一〉	321
基基	〈和知恵弘矩〉	322
基基	I 〈河野弘人〉	322
基基	I 〈小林弘訓男〉	323
基基	I 〈小堀訓宏明〉	323
基基	I 〈島原丸大〉	324
基基	I 〈田丸幸美〉	324
基基	I 〈川口純貴〉	325
基基	I 〈早川英俊〉	325
基基	I 〈松本博之〉	326
基基	I 〈青野正孝〉	326
基基	I 〈荒木志安〉	327
基基	I 〈大王塚桂隆〉	327
基基	I 〈大塚隆〉	328
基基	I 〈大山礼子〉	328
基基	I 〈金子昇平〉	329
基基	I 〈北野かほる〉	329
基基	I 〈佐藤多美夫〉	330
基基	I 〈塩入みほも〉	330
基基	I 〈高橋洋城〉	331
基基	I 〈竹中智香〉	332
基基	I 〈竹花光範〉	333
基基	I 〈鶴井俊吉〉	333
基基	I 〈西修〉	334
基基	I 〈原田啓一郎〉	334
基基	I 〈日笠完治〉	335
基基	I 〈藤本茂〉	335
基基	I 〈間濑清史〉	336
基基	I 〈山口邦夫〉	336
基基	I 〈山田泰彦〉	337
基基	I 〈山田かほる〉	337
外書講読 I・II (英書)	〈北野かほる〉	338
外書講読 I・II (英書)	〈金子昇平〉	338
外書講読 I・II (英書)	〈牧野和夫〉	339
外書講読 I・II (独書)	〈休講〉	
外書講読 I・II (仏書)	〈荒木正孝〉	339
外書講読 I・II (中国書)	〈江林英基〉	340

登	記	法	〈田沼浩〉	340
稅		法	〈岸田貞夫〉	341
地	方	法	〈富井幸雄〉	341
環	境	法	〈休講〉	
經	濟	法	〈若林亜里砂〉	342
消	費	法	〈河野弘矩〉	343
知	的	法	〈盛岡一夫〉	344
國	際	法	〈休講〉	
民	事	法	〈橋本聰〉	344
倒	產	法	〈雨宮眞也〉	345
法	哲	學	〈高橋洋城〉	346
律	學	義	〈関口雅夫〉	347
財	政	學	〈半谷俊彦〉	348
國	際	論	〈南山淳〉	348
經	濟	策	〈森岡仁〉	349
社	會	策	〈原田啓一郎〉	349
外	交	史	〈休講〉	
政	治	史	〈休講〉	
實	務	I	〈中野辰久〉	350
實	務	II	〈鶴井俊吉・上野雅祥・小林覺・濱中善彦〉	350
現	代	III	〈木村美隆〉	351
演	習	論	〈代田純〉	351
演	習	II	〈雨宮眞也〉	352
演	習	II	〈岡田外司博〉	352
演	習	II	〈小木曾綾〉	353
演	習	II	〈河野弘矩〉	353
演	習	II	〈小林弘人〉	353
演	習	II	〈島原宏明〉	354
演	習	II	〈関根徹〉	354
演	習	II	〈田丸大〉	354
演	習	II	〈早川純貴〉	355

法
律

科目名	担当者名	配当学科	単位
法学概論(前期)	きたの 北野かほる・高橋 洋城	16入学生/法A1必	2
法学概論A(前期)		15以前入学生/法A1必	

講義のねらい

法学部に入ってはじめて法学を学ぶひとに、法学科目履修の前提となるような知識を身につけてもらうことが、第1のねらいです。法学学習の上で必要になる、現実をイメージしながらその法的構造を読みとる力の基礎的感覚を開発することが、第2のねらいです。はじめてのことばかりで、最初はとまどうかもしれませんが、休まずに学習するよう心がけてください。

講義の内容・授業スケジュール

1. 法のイメージと法学部の講義科目
 - (1) 法とは何か
 - (2) 法学部ではどう学ぶか
2. 法の一般的分類
 - (1) 法の分類
 - (2) 法令の種類
3. 近代日本法とその社会
 - (1) 国家と社会
 - (2) 近代日本が受け継いだ法
 - (3) 近代法の変容
4. 立法の角度からの法
 - (1) 制定法主義とその法源
 - (2) 法の体系性
5. 司法の角度からの法
 - (1) 紛争解決の仕組みと機構
 - (2) 紛争の種類と解決の種類
6. 法令の解釈
 - (1) 事実の法的再構成
 - (2) 事実への法令のあてはめ

法
律

履修上の留意点

半期科目で集中的に多くのことを学びます。継続的に出席することが必要です。授業中に小テストを実施することもありますので、休まないようにしてください。

成績評価の方法

前期定期試験。小テストやレポートなどが課される場合は、その評価を加味します。

教科書

特に指定しません。参考書などは随時紹介します。授業中に参考資料を配ることもあります。配付資料は原則として研究室などでの追加請求には応じませんので、必ず出席して受け取るようにしてください。

科目名	担当者名	配当学科	単位
公法入門 (前期)	金子 昇平・塩入みほも	16入学生/法A1必	2
法学概論 B (前期)	山口 邦夫	15以前入学生/法A1必	

講義のねらい

平成16年度から、従来の法学概論を区分けして、法学概論・公法入門・私法入門とし、それぞれ2単位ずつ、計6単位とした。今年度は、公法入門を2名で6回ずつ担当する。内容は、前半を刑法入門、後半を行政法入門とし、それぞれ最終回に試験を行う。

講義の内容・授業スケジュール

前半 (刑法入門)

1. 刑法とはどのような法律か (国家法体系の中での位置づけ)
2. 刑罰について (国家刑罰権・刑による威嚇と現実の裁判)
3. 犯罪が成立するための要件 (なぜ逮捕されるのか・裁判を受ける権利)
4. いわゆる罪刑法定主義について (事後法の禁止と法の適正手続)
5. まとめと質疑応答
6. 試験

後半 (行政法入門)

1. 行政法とは何か
2. 行政法の法源
3. 行政法の領域
4. 法治行政
5. 行政作用と法
6. 試験

履修上の留意点

前半と後半で担当者も講義内容も異なるため、各担当者の話は、5回しかない。したがって、1回の欠席もゆるがせにできない。さもなければ試験の成績にひびくことになる。

成績評価の方法

成績は、前半と後半の各試験を合計して評価するが、どちらか一方が不可となれば単位を取得することが難しくなるので注意すること。

教科書

前半・後半ともに教科書は使用しない。

参考書等

参考書はその都度紹介するので、積極的に読書するようにしてほしい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
私 法 入 門 (前期)	こうの ひろのり つるい しゅんきち 河野 弘矩・鶴井 俊吉	16入学生/法A1必	2
法 学 概 論 B (前期)		15以前入学生/法A1必	

講義のねらい

この科目は、法律学科の新入生がこれから私法分野の科目を学んでいく上で、必要な基礎的な知識を身につけていくために設けられているものです。

本来、「私法」は個人の日常生活に密接に関連した問題を扱い、身近な分野であるはずですが、「公法（憲法や刑法）」に比べると近寄りにくい。その理由は、登記簿・契約書・手形・小切手など一般の学生にとって必ずしも親しみのわかないものが次々に出てくるし、少なくとも、学生の日常生活からかけ離れ、具体的問題としてイメージすることができないことにあります。そこで、現実の社会生活における身近な問題や具体的事案を多く取り上げ、興味を持てるように講義を進めます。

講義の内容・授業スケジュール

学習の順番や方法は、それぞれの先生が工夫して、講義を進めていきますが、共通して学ぶ項目は以下の通りです。

1. 法の分類と私法の意義
 - (1)公法と私法 (2)私法 (3)公私混同法 (4)新たな方領域
2. 私法の基本原理
 - (1)序説 (2)近代私法の基本原理 (3)現代における近代私法原理の修正
3. 私法の法源
 - (1)序説 (2)制定法 (3)慣習法 (4)判例 (5)条理
4. 私法の効力
 - (1)序説 (2)時に関する効力 (3)人に関する効力 (4)場所に関する効力
5. 私法の適用と解釈
 - (1)序説 (2)裁判外の紛争解決 (3)裁判による紛争解決 (4)私法の適用と解釈
6. 私法上の権利
 - (1)権利とは何か (2)私権の種類 (3)私権の社会性
7. 財産法と家族法

成績評価の方法

半期科目であるため、前期末に行う試験による評価が中心になる。しかし、先生によっては、出席点や質疑と応答による平常点を加味することもあります。

教科書

担当の先生から指示があった場合には、それに従ってください。

参考書等

講義の際に紹介するので、積極的に読書するようにしてください。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
憲 法	ひ 日 笠 完 治 ひ かさ かん じ	法A1必	4

講義のねらい

憲法学を体系的に理解できるようにする。ただ、憲法学のすべての領域に触れることはできないため、基礎的項目や重要論点を取り上げ講義する。受講者が、講義を聴講するのみならず予復習を行い、憲法学的に思考する能力を修得することを期待する。

講義の内容・授業スケジュール

(前期) 第1回イントロダクション、第2～7回憲法原理(国民主権、法の支配、権力分立、象徴天皇制、平和主義)、第8～11回統治機構論(国会、内閣、裁判所)、第12回財政と地方分権、第13回憲法改正などについて学説の検討を交えながら講述する。
(後期) 第1～4回基本的人権の理論(人権の歴史と体系、人権享有主体性、人権の効力、公共の福祉と人権の限界)、第5回人身の自由、第6～9回精神的自由権、第10回経済的自由権、第11回国務請求権、第12回社会権、第13回参政権などについて判例解説を交えながら講述する。

履修上の留意点

授業後に質問を受け付けたい。積極的に質問して欲しい。

成績評価の方法

原則的には、定期試験の結果に基づき評価を行う。なお、レポート提出などの日常的学習活動については、加点主義で考慮する。

教科書

日笠完治『憲法がわかった』改訂版(法学書院)2003年 2,600円

参考書等

法令集として、『ポケット六法』『コンパクト六法』『デーリー六法』などの最新版が必要。判例集として、『憲法判例百選Ⅰ・Ⅱ [第4版]』『憲法判例集』などを参考に。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
憲 法	にし 西 おさむ 修	法A1必	4

講義のねらい

何年か前に発表された日米教育比較に関する米側専門家の報告書によると、日本の大学教育は完全に失敗していると診断しています。「授業は貧弱で、大学生はいたって不勉強」というのがその結論です。日本の大学改革が叫ばれているいま、このような診断が誤りであることを証明する必要があると思います。

私は、次のような授業方針でのぞみますので、了解されたい。

- ① 私の教師になってからのモットーは「授業は休まず、遅く始めず、早く終わらず」というものです。したがって、受講生諸君は講義には必ず出席し、かつ授業時間に遅れないように。
- ② あらかじめ講義計画（シラバス）を立て、その計画にそって授業を進めます。キーポイントと参考文献が示してあります。KOMSY を見るようにしてください。
- ③ 授業中の私語・遅刻は、他人の迷惑になるので、絶対に慎んでほしい。
- ④ 成績は平常点を重視。私が独自に作成した出席カードを利用し（質問欄あり）、双方向性を大切に授業内容にします。
- ⑤ 授業内容は、コピーの配布、ビデオ、スライド、パワーポイントなどの活用をはかり、できるかぎり理解を容易にするよう工夫をこらします。
- ⑥ 成績評価の目安は、おおむね以下のとおり。

前期試験30%、後期試験40%、出席・レポート30%。

要するに、講義内容を生き活きたものにし、受講者から知的関心を引き出し、知的満足感をもって終了するというのが、最大のねらいです。

講義の内容・ 授業スケジュール

取り扱う主な項目は、以下のとおり。

- | | |
|---------------|---------------|
| ① 日本国憲法の制定過程 | ⑨ 国会の組織と機能 |
| ② 憲法の改正と限界 | ⑩ 経済的自由権 |
| ③ 国民主権と象徴天皇制 | ⑪ 内閣の機能、議院内閣制 |
| ④ 基本的人権の歴史と意義 | ⑫ 社会権 |
| ⑤ 日本国憲法と平和主義 | ⑬ 司法の構造と権限 |
| ⑥ 法の下での平等 | ⑭ 身体の自由 |
| ⑦ 政治改革と憲法問題 | ⑮ 憲法の保障 |
| ⑧ 精神的自由権 | ⑯ 財政・地方自治 |

教 科 書

西 修編著『エレメンタリ憲法』（成文堂）2001年 2,700円＋税

参 考 書 等

- (1) 西 修著『ここがヘンだよ！日本国憲法』（アスキー）2001年 1,500円＋税
- (2) 西 修著『日本国憲法がおどろくほどよくわかる本』（ワニブックス）2002年 1,000円
ほかに配布または KOMSY の授業細目を参照すること

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
民 法 総 則 (後期)	こ う の 野 ひろ の り 矩	法 A 1 必	4

講義のねらい

民法は、実質的意義において、司法関係を規律する原則的・一般的な法を指し、形式的意義においては民法典を指している。この民法典は、市民生活のうち財産領域を「物権」と「債権」とに分け、それに家族関係の領域の「親族」と「相続」に関する規定を加え、それらの通則として民法の最初に「総則」規定を置くといった5編から構成されている。民法典の編纂にあたって、最初に抽象的命題を置き、次に具体的な法命題へと下降するといった手法を採用したため、民法の最初の編である民法総則は、抽象的で、理解しにくい規定が多く、民法典のなかでは比較的難解な編であると言われている。本講義では、可能な限り具体的事例を通して、抽象的理論をより容易にし、受講者の知的好奇心・学問的興味を深めていきたい。

講義の内容・
授業スケジュール

民法総則は、「権利」を中心に、まず「権利の主体」、「権利の客体」、「権利の変動」といった順序による体系的な構成を採用している。本講は、その体系に従い進行する。

毎回講義終了後、その日の講義内容について質問を受けるほか、「民法総則」の講義の最終日に質問のみを受け付ける日を予定している。

履修上の留意点

講義では、民法の条文は当然のこと、それ以外の法律の条文をも参照する機会が多く、そのため必ず六法を持参して受講してください。授業を休まずに、継続して受講されるように努めてください。

成績評価の方法

期末試験の成績により評価する。出席点を加味するか否かについては今後検討したい。

教 科 書

河野弘矩『民法総則講義』（八千代出版）

参 考 書 等

授業の中で紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
民法総則 (後期)	つるい しゅんきち 鶴井俊吉	法A1必	4

講義のねらい

民法総則は、民法全体に共通する原則や事項を扱う分野であり、抽象的条文も多く、なかなかなじめない領域である。受講生にとって、民法の条文や教科書に説かれている理論が、現実の社会において、どのような問題であるのかが理解できていないようである。そこで、具体的事例や興味のあるようなテーマを取りあげ、紛争の当事者になったつもりで、自分がこの立場であったら、どう考えたらよいのか等、条文の意味や学説・判例の理論が身近なものとして考えられるようにつとめる。

講義の内容・
授業スケジュール

民法総則とは、民法典のうち、第一編「総則」をいう。その第1章「人」、第2章「法人」、第3章「物」、第4章「法律行為」、第5章「期間」及び第6章「時効」が対象となる。授業スケジュールとしては、ほぼこの順序で行うが、理解の容易さを考えて、法典の順序を少し入れ替えて講義を進める。主な項目は以下のとおりである。

- | | |
|--------------|--------------|
| ①民法入門 | ⑪代理 |
| ②権利能力 | ⑫無権代理・意見代理 |
| ③行為能力 | ⑬無効・取消 |
| ④権利の客体 | ⑭条件・期限 |
| ⑤法律行為 | ⑮期間 |
| ⑥意思表示 | ⑯時効 |
| ⑦心裡留保・虚偽表示 | ⑰法人 |
| ⑧錯誤 | ⑱信義則・権利濫用の禁止 |
| ⑨詐欺・強迫 | |
| ⑩意思表示の効力発生時期 | |

履修上の留意点

2年次以降に履修できる民科の科目(物権法、担保物権法、債権総論、債権各論、家族法、登記法、消費者法等)もできるだけ受講してほしい。そうすることによって、民法全体を理解することができるようになる。

成績評価の方法

期末試験の評価が中心となるが、講義出席の状況をも考慮して総合的に評価する。

教科書

遠藤・川井他編『民法(1)総則』(第4版増補補訂2版)(有斐閣双書)2003年 1,600円。
教科書は上記の者を使うが、自分が気に入ったもの、手持ちのものがあれば、それでもよい。

参考書等

講義に際して紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
刑 法 総 論 (後期)	やまぐちくに お 夫 山 口 邦 夫	法A1必	4

講義のねらい

一年次の専門科目として、高校時代の学習あるいは予備校時代の勉強方法から、一日も早くぬけ出し、大学における真の学問を学ぶ姿勢になってもらうことを主眼に講義をする。大学生としての自覚をもち、講義や読書を通じて、みづから積極的に学ぶ態度を身につけるように諸君も努力してほしい。

講義の内容・
授業スケジュール

次の2期に分けて講義をする。Ⅰ期(9・10月)、Ⅱ期(11・12月)。

Ⅰ期。学問とは何か。特に学問の限界について考える。それから、法律学とは何か。法律学の体系における刑法学の位置づけへと進む。

刑法における刑罰と犯罪概念を中心に、法治国家の原則として罪刑を法定しておくことの意味を検討する。

Ⅱ期。ドイツの構成要件論を手がかりに、犯罪論の構築の仕方について、数種のパターンを考えて講義をする。その際、違法と責任との区別を峻別する立場から解説をする。

犯罪の既遂・未遂について、昔の学派の争いを考慮しながら、未遂処罰の根拠、さらに過失犯に実行行為があるか否かを考えながら、故意犯と過失犯との区別について検討する。最後に二人以上の犯罪者が加わる共犯の問題について論究し、刑法学の概説を終る。

履修上の留意点

原則として出席はとらない。ただし、上記の各期ごとのまとめとして、小テストを時間内に行う予定である。

質問時間は、研究室2719号に掲示してある。毎週2~3時間は、毎年確保しているので、この時間内は、自由に質問が可能である。

成績評価の方法

上記の小テストが実行できれば、その結果と、学年末試験の成績とを総合して評価し、単位を認定する。

教 科 書

教科書は、原則として使用せずに講義をすすめ、そのつど参考書を紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
刑 法 総 論 (後期)	せき ね つよし 関 根 徹	法 A 1 必	4

講義のねらい

刑法とは、犯罪とそれに対する制裁を規定した法律をいい、その中心は刑法典です。この刑法典は、1条から264条までありますが、73条以下で、個々具体的な犯罪とそれに対する制裁について規定しています。刑法総論は、これら個々の犯罪および制裁の共通部分について説明することをその任務とし、その中心となるのは、1条から72条です。本授業では、このような刑法総論における解釈論上の諸問題について講義します。刑法解釈論の面白さの一端でも、感じとっていただきたいと思います。

講義の内容・
授業スケジュール

第1回～第2回 刑法の意義・基本原理・刑罰等
 第3回～第6回 構成要件
 第7回～第10回 違法性
 第11回～第14回 責任
 第15回～第16回 未遂・予備
 第17回～第20回 共犯

履修上の留意点

時間の関係上、基礎的な部分についての説明は、簡潔にせざるをえません。あらかじめ教科書に一通り目を通しておいていただきたいと思います。授業は、刑法総論における解釈が中心になります。

成績評価の方法

学期末の試験の結果により、評価します。

教 科 書

特に指定はしません。最初の授業のときにいくつか紹介しますが、それ以外でも、刑法総論に関するものであれば、かまいません。なお、刑法という実定法の解釈に関する授業ですから、必ず六法を用意して下さい。

参 考 書 等

参考書についても、最初の授業のときに、紹介します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
会 社 法	やま だ やす ひこ 山 田 泰 彦	15以前入学生/法A2必	4

講義のねらい

会社——特に、株式会社は、現在の経済活動にとって不可欠の組織である。この講義では、株式会社の組織・運営に関する法規制、株式会社法を中心にその制度の体系および構造を概観する。会社法といっても、学生諸君にすれば、会社という場に身を置いていないこともあって、それは別世界のことでもあり、あまり身近に感じられない遠い世界でもあるかのようなものである。しかし、私たちの生活は、高度な経済社会の営みの上に展開しているものであり、それは、企業活動の単位としての株式会社によって支えられているといっても過言ではない。平成13年、14年と相次いで株式会社法には大きな改正が行なわれ、株式会社制度は、大きく変貌するにいたっている。このような会社という存在に、法の側面から、この講義では接近する。

さて、株式会社とは、出資単位を均一の細分化した株式にして、社会に潜在している資本を効率よく集めるために、考案されたものである。したがって、立法制定者は、相当大きな資本を擁する複雑な構造をもった組織として、典型的な株式会社の姿を法典の上に描いて見せたが、現実には、個人企業や組合に等しいような株式会社が多い。このような株式会社にとって株式会社法は、身の丈に合わないだぶついた服となっており、法と現実との遊離といった問題が生じている（そもそも、こうした小さな企業がなぜ株式会社という法形態選択をするのだろうか）。講義ではこの点にも触れる。他方、株式を証券市場に上場しているような会社は、その資本金も株主の数も多く、中にはそれ自体が一個の社会的権力にも比肩できるような巨大会社もめずらしくないが、これら会社にとって株式会社法は、むしろスモール・サイズの服となっている。株式会社法は、この両極において、困難な問題に直面しているといえよう。講義では、株式会社法の基本的な制度内容に十分配慮しながら、株式会社法制度の根幹にかかわる困難な問題が、株式会社法の個々の制度・規制について、どのように問題となっているかについても触れてみたい。

講義の内容・授業スケジュール

講義内容は、会社法の中でも、最も重要な株式会社法を中心とする。そこでまず、①会社法総論として、会社の経済的機能、法的意義、法的特色を押さえた後、株式会社の特質を位置付ける。次いで、②株式会社の設立に入る。設立手続の内容、定款の作成、変態設立事項、出資の履行、設立登記とその効果とその具体的内容となる。③株式制度として、株式の意義、種類、株主平等の原則、株式譲渡自由の原則とその例外、株券、株主名簿、名義書換、株式金融、単元株制度・端株を順次、取り上げる。④会社の運営機構を見る。具体的には、機関総論、株主総会、取締役・取締役会、監査役を講義する。このようにして、株式会社の基本的内容を見た後、余裕があれば、⑤資金調達にも入りたい。③株式制度の途中で、夏季休暇に入るものと予定している。

履修上の留意点

講義での私語は厳禁する。六法全書は、必ず持参すること。講義では、必ず条文を参照する必要がある。六法がないと、そこで理解がスムーズに行かなくなる。平成13年および14年に改正があったので、平成15年度以降の六法を持参して下さい。

成績評価の方法

成績評価は、期末試験での評価による。出席は、取らない。これまでの私の経験から言えば、不可を取る学生の数は、およそ、出席していない学生の数にほぼ相当すると感じている。大体、履修登録者数の半分前後が、出席しているが、この位の数が、単位を取得しているからである。

教 科 書

開講時に指示します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
会 社 法	あら き まさ たか 荒 木 正 孝	15以前入学生/法A2必	4

講義のねらい

この講義では、会社法（総則、合名会社、合資会社、有限会社、株式会社）の基礎的かつ基本的な事項について解説するが、とくに現代の経済活動において重要な役割を果たしている株式会社の法規制について多くの時間を割くつもりである。

講義の内容・授業スケジュール

大企業は全て株式会社の形態をとり、その株式会社が現代の経済を担い、多くの人々に商品やサービスを提供し、労働の場を提供するという社会的機能を通して国民の生活に計り知れない大きな影響を及ぼしている。そこで、この講義では、株式会社の生成、機能、構造、消滅などの私法的側面を中心に規制する株式会社法に重点を置き、そこでの重要問題を探り上げ、判例や学説の対応、実務の取り扱いなどを検討し、会社法の基本原理を理解してもらうつもりである。

具体的には、①会社法総論として、会社の経済的機能、法的概念、権利能力などについて解説し、②会社の設立においては、株主有限責任の原則、資本に関する原則、発起人の意義・地位、定款の作成、会社の実体形成手続、設立関与者の責任、設立無効、設立登記などを説明し、③株式制度では、株式の概念、株式の種類、株式の併合・分割・消却、株式譲渡の自由と制限、名義書換、株式の担保化などに触れる。④会社の管理・運営については、機関の意義・特色・分化、株主総会、取締役、取締役会、代表取締役、監査役および委員会等設置会社などについて各種の問題点を検討する。

法
律

履修上の留意点

会社法は商法の重要な部分であり、その中心は、商法第二編会社、有限会社法などの規定である。商法は、民法を一般法とする特別法であるから、会社法に限らず、商法を学ぶ際には、その基礎となる民法総則、物権法、債権法などの知識があると一層理解しやすい。ただ、講義の内容を理解するために必要な範囲で民法＝財産法の規定や基本概念にも触れるつもりであるから、財産法の全てを履修していなくても受講には差し支えない。

平成13、14年度および15年度に重要な商法の改正が行なわれたので、必ず平成16年度版の六法をもって講義に臨んで下さい。

成績評価の方法

年度末に行なわれるペーパーテストの点数で評価します。

教 科 書

荒木正孝著『新企業法』（成文堂）2003年

参 考 書 等

鴻・落合・岩原・江頭編『会社判例百選』（第6版）（有斐閣）
奥島・中島編『商法演習Ⅰ（会社法）第3版』（成文堂）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
債 権 総 論	河 野 弘 矩	法 A 2 選 必	4

講義のねらい

債権法とは、形式的には民法第三編債権の規定の総体（399条～724条）をいい、実質的には債権関係を規律する法規の全体を意味している。債権法は、物権法と共に市民生活のうち財産関係を規律する法規であり、主として財貨の移動関係を定めた法律といえよう。

債権法 債権総論 第一章 総則－債権の目的、効力、多数当事者の債権、債権譲渡、債権の消滅の5節から構成されている（399条～548条）。

債権各論 第二章 契約（549条～696条）

第三章 事務管理（697条～702条）

第四章 不当利得（703条～708条）

第五章 不法行為（709条～794条）

講学上、債権法第一章総則を債権総論といい、第二章以降を債権各論と呼んでいる。

本講義は、上記の第一章の債権総則を対象とする。債権総則は、実質上契約から生ずる債権を念頭においた規定と解される場合が多いことから、講義のなかでは契約の例示を多く登場させ、極力具体的事例を以て抽象的理論を説明するようにしたい。

法
律

講義の内容・
授業スケジュール

講義の進行は、債権法の規定の順序に従い、以下の通り行う。

- (1) 債権の意義及びその性質
- (2) 債権の目的
- (3) 債権の種類（特定債権、種類債権、金銭債権、利息債権、選択債権、任意債権）
- (4) 債権の効力（自然債務、強制履行、債務不履行、第三者による債権侵害、責任財産の保全、他）
- (5) 多数当事者の債権関係（連帯債務、保証債務）
- (6) 債権関係の移転（債権譲渡、債務の引受、契約上の地位の譲渡）
- (7) 債権の消滅（弁済、代物弁済、供託、相殺、更改、免除、混同）

履修上の留意点

必ず続けて受講すること。講義には、六法全書を必ず持参すること。

講義についての質問は、毎回講義終了後質問を受けることは当然であるが、その他前期と後期の授業最終日に質問を受ける時間を設ける予定です。

成績評価の方法

期末試験により評価する。出席点を加味するか否かは今後検討したい。

教 科 書

教科書は、『民法（5）債権総論』（有斐閣双書）を使用する。

参 考 書 等

参考書については、授業のなかで紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
物 権 法	つる 鶴 井 俊 吉	法A2選必	4

講義のねらい 物権法の分野について基本的な理解ができるように、できるだけ各制度についての具体的事例をあげて解説する。そして個々の制度や条文が、現実社会で起きるどのような場合を想定して設けられたものであるかを理解できるように講義を進めたい。

講義の内容・授業スケジュール 物権法は、民法典の第二編「物権」のうち、第1章「総則」、第2章「占有権」、第3章「所有権」、第4章「地上権」、第5章「永小作権」、第6章「地役権」までを対象とする。第7章以降は、3年次以降の「担保物権法」の領域である。
講義スケジュールとしては、ほぼこの順序で解説するが、物権法において、重要であって複雑な問題がある。不動産売買をめぐるトラブルなどにみられるように、契約による物権変動において、物権の移転はいつ生ずるのか、また物権変動に関して、第三者が生じたとき、どのように解決されているか、理論的にもわかりづらい領域であるため、多くの時間を割くつもりである。

履修上の留意点 物権法は、解釈学上においても体系的理解が困難な分野であるといわれている。それは立法の沿革に基づいている。現行民法がドイツ民法を継受してできあがっているにもかかわらず、物権法の主要な部分については、フランス民法の影響を強く受けているからである。それゆえに講義に出席しないとなかなか興味を持てないし、理解しづらい分野であるので、毎時限の出席と予習を強く希望する。

成績評価の方法 年度末に行なわれるペーパーテストの点数で評価する。

教科書 遠藤・川井他編『民法(2)物権』(有斐閣双書)を予定している。

参考書等 講義の最初に指示する。

法
律

科目名	担当者名	配当学科	単位
行 政 法 総 論	かね 金 子 昇 平	15以前入学生/法A2選必	4

講義のねらい 現代の行政法は、従来、対象とされていない新たな法分野が続出しているといえる。例えば、行政手続法の制定をはじめ、情報公開法、個人情報保護法、環境アセスメント法等を挙げることが出来るが、これらの法領域に対応すべく行政法の理論を考えていかなければならない。
そこで講義においては、行政法総論での、基本的な原理や原則に対する、よりアップ・ツー・デートな課題を積極的に提示し、諸君とともに、問題発見と問題解決のための法的手法を考えてみたい。

講義の内容・授業スケジュール

- 1) 行政と法の関係
 - ①法による行政の原理
 - ②行政法の意義と範囲
 - ③行政法の法形式
 - ④行政上の法律関係
- 2) 行政主体と私人
 - ①行政主体と行政客体
 - ②国の行政組織
 - ③地方公共団体の行政組織
 - ④行政機関・公務員
 - ⑤行政情報と法
- 3) 行政手段法
 - ①行政立法
 - ②自治法
 - ③行政計画
 - ④行政行為
 - ⑤行政契約
 - ⑥行政指導
 - ⑦行政調査
 - ⑧行政強制
 - ⑨行政罰
- 4) 行政手続の法

履修上の留意点 行政法は、きわめて数多くの法律が登場してくるので、六法全書を必ず持参すること。

成績評価の方法 期末試験の成績により評価する。

教科書 原田尚彦『行政法要論』(学陽書房)

参考書等 塩野宏他編『行政判例百選Ⅰ、Ⅱ』(第四版)(有斐閣)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
刑 法 各 論	佐 藤 多 美 夫 <small>さとう たみお</small>	15以前入学生/法A2選必	4

講義のねらい

刑法各論講義では、刑法総論で学んだ一般原理・原則をベースにしなが、刑法典第2編各則に規定されている殺人罪、傷害罪、窃盗罪など犯罪の一つひとつについて、その具体的な内容と成立要件（たとえば、有価証券偽造罪[刑162条]はどのような場合に成立するか）や、それらの犯罪の相互関係などを学ぶことにする。

講義の内容・授業スケジュール

- 一 生命・身体に対する罪
 - 1 殺人の罪 2 傷害の罪 3 堕胎の罪 4 遺棄の罪
- 二 自由に対する罪
 - 1 逮捕・監禁の罪 2 脅迫の罪 3 略取誘拐の罪 4 性的自由に対する罪
 - 5 住居侵入罪 6 秘密を侵す罪
- 三 名誉・信用に対する罪
 - 1 名誉に対する罪 2 信用及び業務に対する罪
- 四 財産に対する罪
 - 1 窃盗罪 2 強盗罪 3 詐欺罪 4 恐喝罪 5 横領罪 6 背任罪
 - 7 盗品等に関する罪 8 毀棄隠匿の罪
- 五 公衆の安全に対する罪
 - 1 騒乱の罪 2 放火及び失火の罪 3 溢水・水利に関する罪
 - 4 往來を妨害する罪 5 国民の健康に関する罪
- 六 偽造に関する罪
 - 1 通貨偽造の罪 2 有価証券偽造の罪 3 文書偽造の罪 4 印章偽造の罪
- 七 風俗秩序に対する罪
- 八 国家法益に対する罪

成績評価の方法

筆記試験とその他の総合評価とする。

教科書

開講時に指示する（欠席しないように）。

その他

予習することを望む

科目名	担当者名	配当学科	単 位
裁 判 法	いほた とし はる 五百田 俊 治	15以前入学生/法A2選必	4

講義のねらい	裁判手続上の基本原則を講義しつつ、弁護士の視点から、裁判（特に民事裁判）の実体について説明します（例えば、証拠としての書証の重要性、判決と和解の違い、最高裁判所の意義等）
講義の内容・授業スケジュール	①民事手続の流れ ②請求・主張・立証の各段階における基本概念 ③口頭弁護の諸原則とその実態 ④口頭弁論における当事者の欠席 ⑤貸金返還請求訴訟における当事者の主張・立証 ⑥建物明渡訴訟の実体 ⑦弁論主義と職権探知主義 ⑧証拠の概念 ⑨書証の重要性 ⑩立証責任の分配 ⑪経験則と自由心証主義 ⑫上告審における審理の特色 ⑬刑事手続の流れ ⑭刑事手続における証拠法の特徴 ⑮無罪事例の検討
履修上の留意点	できるだけ具体的に裁判の流れや特色を講義したいと考えています。
成績評価の方法	学年末試験の結果のみで判定します。
教科書	特にありません。適宜レジメを配布します。
参考書等	特にありません。適宜レジメを配布します。
その他	講義方式で行います。

科目名	担当者名	配当学科	単位
国際法	おうしあん 王 志 安	15以前入学生/法A 2選必	4

講義のねらい

国際法学の基礎知識を修得し、国際関係の現状を法的側面から理解する能力を養う。

講義の内容・授業スケジュール

国際法学の全体を様々な基礎的課題に細分し、毎回の講義においてできるだけ一つの課題を絞り、それぞれ基礎概念、理論体系、そして事例分析の形で解明する。前期においては、国際法の史的展開、国際法と国内法との関係、国際法の法的性質といった基礎知識から着手し、国家および国際機構にかかわる様々な法的問題を取り上げていきたい。たとえば、国家の分裂や統合に生じた国家の承認や承継の問題、違憲的な政府変更やクーデターに関する国際的対応の法的性格、国内裁判における未承認政府や国家の地位、そして国連を中心とした国際機構の法的地位や機能の形態などを分析する。

後期では、前期の基礎知識の修得を踏まえて、領域に関する管轄権、国際的人権保障、条約関係の理論および外交関係の法的仕組みを検証する。具体的には、国家領域の法的地位や取得に関する理論および実行、国際地域、国際海域および宇宙空間といった国際区域の法的地位、外国人の法的地位、人権保障に関する国際制度の展開、条約の締結、形式および効力に関する法規則、外交関係および領事関係における特権および免除などを取り上げる。

履修上の留意点

国際関係を法的側面からとらえる視点の養成を常に心構えとする。個々の概念、理論、事例を解明する戦術的な能力がまず重要視されるべきであるが、政治、外交、経済、文化といった様々な形態で展開される国際関係を法という枠内でとらえる戦略的な資質をのばすことも見失われてはならない。そのためには、教科書に取り上げられた学説を理解するだけでなく、講義に取り上げられた課題の視点、問題意思をしっかりと修得する必要もある。配布される参考資料や聴講ノートを参照しながら、教科書の理解を深めてもらいたい。

成績評価の方法

成績は年末の定期試験で決定する。ただし、前期小テストや講義出席の状況も成績を評価する際に考慮される。

教科書

大沼保昭編著『資料で読み解く国際法』第2版(上)(東信堂)2002、2,800円

参考書等

松田幹夫編著『現代国際法』(八千代出版)1997年 2,700円
市販されている国際条約集

その他

授業はすべて講義方式で行い、適宜に参考資料を配付し、power point を利用した講義を行います。簡潔な聴講ノートは、下記のホームページから入手できる。

<http://www.komazawa-u.ac.jp/~anzhi/index.htm>

科目名	担当者名	配当学科	単位
有価証券法	しまはらひろあき 島原宏明	15以前入学生/法A2選必	4

講義のねらい

現代の経済社会における企業間の取引では、手形や小切手等の有価証券が数多く使用されている。中でも手形と小切手は典型的な有価証券であって、その流通に関する法規制の多くは商法上の他の有価証券にも及んでいる。したがってその体系の理解は有価証券全般を理解する上で不可欠なものである。また、手形や小切手は金銭債権と結び付いた証券であるため、これに関する法体系は債権法の一部として把握され、民法の債権総論と密接な関係にある。

講義の内容・授業スケジュール

手形法は第一編為替手形と第二編約束手形の二編から成り立っており、為替手形についての規定の多くを約束手形に準用するという構成になっている。ただし、わが国においては為替手形がほとんど用いられていないという現実があり、また為替手形に比べて約束手形の方が仕組みが単純であるため、条文の順序とは一致しないが講義では約束手形を中心にして説明を行い、適宜為替手形、及び為替手形と基本的な仕組みを同じくする小切手についての説明を付け加えていくという形をとる。

なお、企業活動に関わったことのない学生諸君には手形や小切手の世界は現実感が乏しく興味が起こりにくいいため、なるべく具体的な判例を示して解説をしていくつもりである。

成績評価の方法

成績評価は期末試験による。

教科書

島原宏明『手形法学への誘い』（八千代出版）2,500円

参考書等

開講時に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
商法総則・商行為法	せきぐちまさお 関口雅夫	15以前入学生/法A3・4選必	4

講義のねらい

実質的な商法は、①商法総則、②会社、③商行為法、④保険・海商法及び⑤手形・小切手法よりなる。民法が人の一般的な生活関係を規律する法というならば、商法は、営利を目的とする人（商人・企業）の営利を目的とする生活関係を規律する法である。本講義は、①商法総則とそれに密接に関連する③商行為法を研究の対象にしている。商法総則における基本概念は商人概念で、「商行為を行うことを業とする者」を言う（商4条1項）。商行為法における基本概念は、商行為概念（商501条・502条）で、絶対的商行為と営業的商行為よりなる。本講義は、まず商人概念と商行為概念の異別を把握させることにより、商法の民法との違いを正確に理解させるものとする。

講義の内容・授業スケジュール

前期は商法総則を講義し、後期は商行為法を講義する。

前期は、商法第1篇総則の（1章）法例、（2章）商人、（3章）商業登記、（4章）商号、（5章）商業帳簿、（7章）商業使用人と（8章）代理商を研究する。

後期は、商法第3篇商行為の（1章）総則、（2章）売買、（3章）交互計算、（4章）匿名組合、（5章）仲立営業、（6章）問屋営業、（7章）運送取扱営業、（8章）運送営業と（9章）寄託を研究する。

履修上の留意点

商法の研究は、正確に基本概念をマスターすることから始まります。予習・復習を心がけることが望まれます。

成績評価の方法

学年末試験の成績を持って評価いたします。教科書をよく読み、基礎的な問題を正確に把握することががのぞまれます。

教科書

『現代商法（総則・商行為）』現代法学双書9（八千代出版）2,800円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
担 保 物 権 法	つるい しゅんきち 鶴 井 俊 吉	15以降入学生/法A3・4選必	4

講義のねらい

この講義では、民法典の第二編「物権」のうちで、留置権、先取特権、質権、抵当権を中心に、譲渡担保、仮登記担保等が対象となる。担保物権制度は、資本主義経済の発展に伴って、その重要性がますます増大している。今日、財産法領域で最も変化の多いところであり、取引界の要請により、新しい法令が制定され、年々歳々進展し、著しく変動している。

講義の内容・授業スケジュール

私たちが土地を買い、建物を建てる、あるいは自動車を買うという場合に、多くは金融機関から融資を受けることになるが、金融機関では何らかの担保を要求してくる。この場合に、抵当権や質権といった担保物権を金融機関に設定する。このように小は個人の資金調達のため、あるいは大は、企業の活動資金獲得のために担保は重要な役割を担っている。担保物権法のもつ経済的意義は極めて重要である。

しかし、学生にとって担保物権法は、民法の中で最も難解なところと感じられ、また比較的なじめない領域だと思われる。それは、多数の関係当事者が複雑に絡み合い、また解釈上でも技術的性格が強いことに原因がある。

そこで講義では、担保物権法の基礎的な考え方を理解できるように、できるだけ判例等の具体例をとりあげ、図解してわかりやすいように心掛ける予定でいる。

履修上の留意点

学期の初めには、担保物権法の主要な部分についての概略の説明を予定している。それによって担保制度の全体像がおおよそ把握できるであろう。それゆえ、最初から講義に出席しないと理解できなく、なかなか興味が持てなくなるので、毎時限の出席と予習を強く希望する。

なお、平成15年度に担保法・執行法の改正が行われたので、必ず平成16年度版の六法をもって講義に出席して下さい。

成績評価の方法

年度末の定期試験の結果と講義出席の状況を考慮して総合的に評価する。

教 科 書

遠藤・川井他編『民法（3）担保物権』（有斐閣双書）を予定している。

参 考 書 等

講義の最初に指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
相 続 法	たけ なか ち か 竹 中 智 香	15以前入学生/法A3・4選必	4

講義のねらい

民法典第五編「相続法」は第4編「親族法」と大きくリンクしていることから、前期に親族法を概説したうえで、後期で相続法の説明に入ります。親族法は、われわれにとって最も身近な家族生活を規制する法律であり、「家制度」の存在とその解体、高度・低度経済成長期やバブル前後の経済的变化、さらには少子化・超高齢化、女性の社会進出といったさまざまな社会の動向に影響を受けています。社会の変化に伴って生じてきた問題に対して、親族法がどのように対応しているかを、具体的な裁判例の紹介も交えながら、検討していきます。一方、後期に取り上げる相続法も、第二次大戦の敗戦後、戦前の家督相続が庶子均分共同相続へと変遷し、さらに近年、遺言制度の利用も増加するなど、著しく変化している分野です。本講義では、こうした変遷の内容とその背景の理解とともに、財産法の応用問題といわれるほど難解な相続法の理解を目指します。

講義の内容・授業スケジュール

[前期]

- (1) 家族法と財産法の相違と家族法の特徴、欧米家族法との比較とわが国の家族法の特徴
- (2) 氏と戸籍、親族
- (3・4) 婚姻：婚約、婚姻成立の要件
- (5・6) 婚姻：婚姻の効果、夫婦財産制
- (7) 婚姻解消
- (8・9) 親子：実親子関係
- (10・11) 親子：養親子関係
- (12) 後見・保佐・補助、扶養

[後期]

- (1) わが国の相続法の変遷とその背景
- (2) 相続人
- (3～5) 相続の効力：相続財産の範囲
- (6) 相続の効力：相続分
- (7) 相続の効力：遺産の共有
- (8・9) 相続の効力：遺産分割、相続回復請求権
- (10) 相続の承認・放棄、財産分離、相続人の不存在
- (11・12) 遺言と遺留分

履修上の留意点

身近な問題を取り上げる分野とはいえ、難解なテクニカルタームが多用されています。講義を受ける際には、教科書の該当部分を読んだうえで、分からない文言を調べておくことが望まれます。

成績評価の方法

学年末の筆記試験の他、出席状況などの平常点も重視します。

教 科 書

有斐閣双書『民法 (8) 親族 [第4版増補版]』(有斐閣) 1,600円
有斐閣双書『民法 (9) 相続 [第4版増補版]』(有斐閣) 1,600円

参 考 書 等

六法
久貴忠彦・米倉明編『家族法判例百選 [第5版]』(有斐閣) 2,200円
『法律学小辞典』(有斐閣) 4,500円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
保 険 ・ 海 商 法	か せ こう き 加 瀬 幸 喜	15以前入学生/法A3・4選必	4

講義のねらい

保険法および海商法の基礎的知識を修得することがこの講義の目的です。

まず、保険法についてですが、私たちは、火災、自動車事故や病気といった様々な危険に囲まれて生活しています。これらの危険を予防・軽減することは可能ですが、それらをすべて除去することは不可能です。ここに保険制度が必要な理由があります。保険は、共通する危険をもつ者達があらかじめ掛け金を拠出し、その掛け金を損害を被った者の損害填補に充てる制度です。このように、保険制度は私たちにとって有用なものです。他面、これは濫用されるおそれの高いものでもあります。少額の保険料で多額の保険金を取得することが可能だからです。近年、しばしば新聞などで報道されている保険金殺人事件がこれの代表的なものです。この講義では、保険制度のもつこれら2つの側面を法的視点から解明しようと考えております。

次に、海商法ですが、海商法は船舶を手段とする海上企業活動に関する法です。船舶というと、時代遅れの交通手段に思われますが、物品の運送については依然として主役の地位にあります。また、海商法は、歴史的にいうとその起源を中世の慣習法に求めることができます。そのため、この分野には独特の制度がみられます。この講義では、海上運送契約法を中心に概説する予定です。

講義の内容・授業スケジュール

前期では、保険制度の仕組み、損害保険の法的仕組みを解説します。後期では、火災保険、自動車保険、生命保険を解説し、次いで海商法を概説します。

履修上の留意点

債権法の基礎的知識を習得していることが望ましいです。

成績評価の方法

成績は、学年末試験の結果で判定します。試験は持ち込み不可で行います。出席は、7～8回とる予定です。これは、成績評価の際に加点事由とします。

教 科 書

山野嘉朗・山田泰彦編『現代保険・海商法30講第6版』（中央経済社）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
民 事 訴 訟 法	ま がち きよ し 間 渕 清 史	15以前入学生/法A3・4選必	4

講義のねらい

この講義では、民法など民事実体法についての一応の学習を終えた人を対象として、民事訴訟手続の概説を行います。ここに民事訴訟手続とは、私人間の権利義務ないし法律関係の存否を巡って生じた紛争の解決を目指し、そのための基準を提示する手続のことをいいます。判決手続のみならず、和解、調停および仲裁などの訴訟以外の民事紛争解決手続についても講ずる予定です。受講者に民訴手続の全体像と民訴理論の基本を体得してもらうのがこの講義の目標です。

講義の内容・授業スケジュール

(1)民事紛争の解決制度、(2)民事訴訟制度の現代的課題、(3)訴え、(4)裁判所、(5)当事者、(6)第三者による訴訟進行、(7)本案と訴訟要件、(8)当事者と裁判所の役割、(9)口頭弁論の諸原則、(10)口頭弁論の準備、(11)証明と証拠、(12)証明責任、(13)当事者の行為による訴訟の終了、(14)終局判決とその効力、(15)複数請求、(16)共同訴訟、(17)訴訟参加、(18)当事者の変動、(19)上訴・再審、(20)簡略な手続

履修上の留意点

問答方式による双方向授業を行う。受講者は相当の覚悟をもち、かつ必ず予習のうえ出席すること。

成績評価の方法

日常の授業参加態度、学年末試験の結果及び受講者の提出物の内容等に依拠して行います。問題作成および成績評価にあたっては、講義に積極的に参加した人が有利になるよう配慮します。

教 科 書

小林秀之編『判例講義民事訴訟法』（悠々社）2001年。その他については、追って指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
刑 事 訴 訟 法	まつもと ひでとし 松 本 英 俊	15以前入学生/法A3・4選必	4

講義のねらい

我々は日々、事件の大小にかかわらず、多くの事件報道、犯罪報道に接している。社会的に重大な事件であればその報道も大量になされる。しかし、日常的に我々が接する、このような情報は概ね捜査段階という刑事司法手続のごく一部にすぎない。また、公判段階の問題については、その情報量はとりわけ少ないといえよう。

本講義では、まず刑事司法手続の全体像を確認・把握し、報道や捜査段階および公判段階等に見られる問題点を刑事司法の理念をふまえて検討することを目的とする。

講義では、憲法・刑事訴訟法の理念に基づいた解釈から、現状を批判的に検討し、実務上どのような問題があるのかを考え、あるべき司法の姿を展望する。

講義の内容・授業スケジュール

前期

(1・2) 刑事手続の概観 (3・4) 捜査の全体像・捜査の端緒 (5・6) 逮捕 (7・8) 証拠の収集 (9・10) 勾留 (11・12) 被疑者取調べ (13) 公訴の提起

後期

(14・15) 公判手続 (16・17) 違法収集証拠の排除 (18~20) 伝聞法則 (21・22) 自白法則 (23・24) 上訴・再審 (25・26) 刑事手続の目的・まとめ

法
律

履修上の留意点

テキストおよび六法を持参すること。日ごろから問題意識を持ち、新聞・テレビ等の犯罪報道にも注意を向けてもらいたい。

成績評価の方法

原則として、定期試験により評価する。適宜、小テストやレポートを課し、その結果も参考とする。

教科書

白取祐司『刑事訴訟法 (第2版)』(日本評論社) 3,600円

参考書等

松尾浩也・井上正仁編『刑事訴訟法判例百選 (第七版)』(有斐閣) 2,100円

その他

授業は講義形式で行う

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
労 働 法	ふじもと しげる 藤 本 茂	15以前入学生/法A3・4選必	4

講義のねらい

今日、労働法の対象である雇用社会は、リストラ、解雇や能力主義人事管理の導入などが行われ、日本型雇用システムの見直しがなされています。

労働法は、この雇用社会において生じる紛争を法的解決方法を検討する法領域です。この変化に無関係ではられません。

この変化は労働法の領域でも雇用関係法領域に大きく関わってきます。

講義では、雇用関係法領域を中心に、雇用社会の変化を頭の隅に置きつつ、これまで形成定着した労働法理の基礎を学びます。また、変化する法制度をまなびます。こうして、主に雇用関係法領域を概観し現代的課題に対して自ら考える視座を身につけてもらうことをねらいとしています。

法 律

講義の内容・授業スケジュール

授業では、下記事項について、基礎的知識をまなぶとともに、現代的課題に触れます。

以下に、アウトラインを示します。

- (1) 労働法の基礎的考え方
- (2) 日本の雇用システムの変容と労働法
- (3) 労働関係の主人公－労働者、使用者、労働組合
- (4) 労働条件の最低基準の法定－労働基準法の特徴
- (5) 雇用における男女平等
- (6) 労働条件の決定－労働契約、就業規則、労働協約
- (7) 労働条件の変更
- (8) 雇用の入り口－採用、採用内定、試用期間
- (9) 人事異動－配転、出向、転籍
- (10) 雇用の出口－解雇、定年、退職
- (11) 賃金、賞与、退職金
- (12) 労働時間、時間外労働
- (13) 休憩、休日、休暇
- (14) 労働災害など

履修上の留意点

毎時間出席。授業のマナーは守ること。

授業は、配布するレジュメと資料を使って行います。レジュメには取り上げる項目が挙げられているだけです。内容は授業で埋められていきます。ノートをとることが必要ですし予習復習は欠かせません。

また、憲法、民法総則、債権総論、債権各論、社会保障法、社会政策といった近接した専門科目や労働経済なども履修すること(あるいは履修済みであること)が望ましい。

成績評価の方法

学年末試験(論述式)がメインで、出席、レポートなどとともに総合的に評価して決めます。追・再試験は実施します。

教科書

教科書は、ベーシック労働法(浜村彰ほか著・有斐閣)、労働法(浅倉むつ子ほか著・有斐閣)が手ごろでしょう。物足りなさを感じる受講生は、労働法(菅野和夫著・弘文堂)がいいでしょう。教科書は予習復習をするうえで必要です。少なくとも1冊は用意してください。

参考書等

労働判例百選第7版(別冊ジュリスト)、六法は用意してください。六法は、法改正がありますから、最新のものを用意する必要があります。また、労基法施行規則の載っているものが必要です。第1回目の授業で紹介します。

その他

各項目についてイメージを描きやすいように、裁判例など具体的な例を掲げながら授業を進めます。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社 会 保 障 法	ほらだ けいいちろう 原 田 啓 一 郎	15以前入学生/法A3・4選必	4

講義のねらい

今日の社会保障制度が本格的に構築されたのは、第二次世界大戦後であったこともあり、社会保障法学が本格的な法学の一研究領域として認知されたのはごく最近である。
 社会保障は、第一義的には国民の生活保障を目的とする制度であり、その重要性は私たちの日常生活において無視し得ないものになっている。本講義では、社会保障法の基礎と個別制度の特質・内容の理解を通して、社会保障の法的理解を深めることを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

- I 社会保障とその特質
- II 社会保障法の理論と課題
- III 年金制度——国民年金，厚生年金，企業年金
- IV 社会手当制度
- V 医療保障制度——国民健康保険，健康保険
- VI 労災保険制度
- VII 雇用保険制度
- VIII 社会福祉制度
- IX 公的扶助制度

法
律

履修上の留意点

社会保障の法政策論などは、同担当者による「社会政策」で詳細に取り扱う。

成績評価の方法

原則、筆記試験の結果によって成績判定を行う。出席はとらない。ただし、出席せずして単位を取得できるほどやさしい評価ではないことに留意されたい。

教 科 書

教科書は講義開講時に指定する。
 指定する教科書と併せて、佐藤進ほか編『社会保障判例百選〔第3版〕』（有斐閣）2000年をそろえること。
 六法は、『社会保障関係法規集』（労働新聞社）を必ず携帯すること。

参 考 書 等

適宜紹介する。

そ の 他

履修にあたっては、憲法、行政法、民法、労働法、社会政策、法哲学などの科目を既修若しくは本科目と平行履修していることが望ましい。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
行政法各論	かねこしょうへい 金子昇平	15以前入学生/法A3・4選必	4

講義のねらい

現代の行政法は、従来、対象とされていない、新たな法分野が続出している。例えば、行政手続法、情報公開法等の制定をはじめ、各行政分野ごとの基本法が整備されようとしている。また現実の行政需要も変化、発達し、その適正化が求められている。

講義は、行政紛争解決の手法として、行政救済法を、主な内容として行う。そこで具体的に、どのような国家賠償事件、行政事件が存在し、何が法律上の問題となっているのか、また、どのように法的解釈を、すべきかについて解明していきたい。

講義の内容・
授業スケジュール

行政法の基本的な原理や原則に対する、再学習をし、総論と各論とのリンケージを確認しながら講義を行う。

- (1) 国家補償（国家賠償法、損失補償）
- (2) 行政上の苦情処理
- (3) 行政上の不服申立（行政不服審査法）
- (4) 行政訴訟（行政事件訴訟法）

履修上の留意点

行政法は、きわめて数多くの法律が登場してくるので、六法全書を必ず持参すること。

成績評価の方法

期末試験の成績により評価する。

教 科 書

原田尚彦『行政法要論』（学陽書房）

そ の 他

塩野宏他編『行政判例百選Ⅰ・Ⅱ』第四版（有斐閣）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 際 紛 争 解 決 法	おう し あん 王 志 安	15以前入学生/法A3・4選必	4

講義のねらい

国際法における紛争処理の様々な手段について、それぞれの形態、機能、限界および適用可能性を把握し、国際紛争解決の法的仕組みを理解する。

講義の内容・
授業スケジュール

国際紛争の処理を具体的な法制度、手続きの側面から取り上げ、一回の講義で一つの課題を絞り、それぞれ制度の展開、機能および事例検証の形で説明する。前期では、国際紛争の基本構造、紛争解決手段の基本的枠組みを講義した上で、外交的手段による紛争解決、国連における紛争解決および世界貿易機構（WTO）の紛争処理制度を取り上げる。具体的には、国際義務違反の責任形態、紛争の平和的解決の意義、交渉、仲介、国際調査および調停といった制度の展開および適用、国連における紛争処理の制度的展開および現状、そしてWTOの紛争処理制度の発展、手続きおよび制度の意義を講義する。後期では、仲裁裁判および国際司法裁判を取り上げる。具体的には、国際裁判の史的展開、仲裁裁判制度の確立およびその手続き、国際商業仲裁の現状、国際司法裁判所の組織、管轄権、適用法規則、手続規則などを講義する。

履修上の留意点

参考資料を適宜に配布し、教科書の内容を補足しながら講義を進めていく。聴講ノートをしっかり取ってもらいたい。

power pointで講義を進める。簡潔な聴講ノートは、下記のホームページから入手できる。
<http://www.komazawa-u.ac.jp/~anzhi/index.htm>

成績評価の方法

学年末の筆記試験によって評価する。ただし、前期小テストや出席状況も成績を評価する際に考慮される。

教 科 書

大沼保昭編著『資料で読み解く国際法』第2版（下）（東信堂）2002 2,000円

参 考 書 等

市販されている国際条約集および国際判例集。これらにつき開講時に詳しい情報を提供する。

そ の 他

授業はPower Pointを使って講義方式で行うが、判例の分析につき学生のまとめ報告を求めこともある。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 際 私 法	かざ ほう とし ひろ 笠 原 俊 宏	15以前入学生/法A3・4選必	4

講義のねらい

渉外的要素を有する私法問題の解決を目的とするのが国際私法である。それは、狭義において、準拠法の選定を主たる役割とする。その意味において、国際私法は、民法や商法のように私法問題の直接的な判断基準となる法律とは、規律する領域を異にしており、異なる次元に位置づけられるものとして、上位規範などと呼ばれることがある。講義においては、国際私法のこのような特質を明らかにしつつ、実質法における理念の変化が国際私法にとっても無縁でないことを実証的に論じたいと考えている。時として難解な科目であるといわれることがあるが、最近の身近な問題を具体例として取り上げるなどして、できる限り分かり易いものとなるよう工夫したい。

講義の内容・授業スケジュール

講義の内容およびスケジュールについては、ほぼ次のように予定している。

1. 国際私法総論（4月、5月、6月）
2. 国際家族法（6月、7月、9月、10月）
3. 国際財産法（11月、12月）
4. 国際民事訴訟法（1月）

履修上の留意点

基礎となる他の科目、就中、家族法について、基礎知識を有することが好ましく、民法についても併せて学習することを期待する。

成績評価の方法

学年末の筆記試験によって行なう予定である。

教 科 書

笠原俊宏著『国際家族法要説（新訂増補版）』（高文堂出版社）を使用する。

参 考 書 等

いずれかの六法を常に携帯することを望む。

そ の 他

授業は普段講義によって進行するが、時折、事例を設定して、皆で一緒に考えることも予定している。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
新 入 生 演 習	王 志安・山口 邦夫 鶴井 俊吉・佐藤多美夫 島原 宏明・河野 弘矩 原田啓一郎・荒木 正孝 藤本 茂・西 修 金子 昇平・大宮 隆	16入学生/法A1選	2

講義のねらい

この科目は、法学部に入学してはじめて法律学を学ぶ法律学科の新生が、これから法律学を学んでいく上で必要な基礎的な勉学の方法を身につけていくために設けるものです。選択科目ですが、できる限り多くの学生が積極的に履修し、4年間の法律学の学修を効果的に行うための基本を修得することを期待します。

授業は、一週おきに、教室と研究室（オフィス・アワー）での学習を組み合わせた形態で行います。教室で教わったり体験したりしたさまざまな知識や学習方法を、次の週に研究室で先生と相談したり、指導に従って自習したりしながら、発展させて、自分なりに最も適切な勉学方法を探し当て、開発していったと欲しいと願っています。

法
律

講義の内容・ 授業スケジュール

学習の順番や指導の方法はそれぞれの先生が工夫して、学生のみなさんの習熟度を見ながら組み立てていきますが、共通して学ぶ項目は以下の通りです。数字の順番の通りにすべて学習していくというよりも、いろいろな項目を組み合わせ、全体としてこれらの基本的なスキルが身についていくものとして、考えられています。

1. 基本的な学習施設
 - ・図書館や情報センターの利用方法と文献の探し方・調べ方
 - ・教室での講義の受け方とノートのとり方
2. 基本的な書籍の利用方法
 - ・六法全書の読み方と使い方
 - ・法学用語集や辞書の活用方法
 - ・法律学的な文章の読み方とまとめ方
3. 発展的な書籍の活用
 - ・法学文献以外の書籍から法についての感覚を学ぶ
 - ・注のある文献の読み方と注の使い方
4. 法学学習に必要な文の書き方と書くための作業
 - ・レジュメ・レポート・答案のまとめ方と書き方
 - ・ゼミなどでの発表のし方
5. 将来設計と学修
 - ・卒業後の進路をどう考え、法律学科での学修をどう生かすか

履修上の留意点

一週おきの教室での一斉授業への出席は当然ですが、オフィス・アワーに課題を課されたり面接があったりする場合には、担当の先生の指示に従って学習してください。

成績評価の方法

出席点および課題提出評価点を総合して成績評価します。

教科書

指定教科書はありません。

参考書等

担当の先生からの指示があった場合には、それに従って参考にしてください。

科目名	担当者名	配当学科	単位
比較憲法	にし西 おさむ修	法A・法B1・2選	4

講義のねらい

比較憲法は、世界の憲法動向を知り、日本国憲法を広い視野から眺めるといって非常に大きな効用をもっている。本講義は、主要諸国のみならず、アジアや発展途上国の憲法をも対象にして、立体的に組み立てる。

講義の内容・授業スケジュール

おおむね以下の内容になる。①比較憲法とは（研究の意義、比較の対象、方法、限界など）②主要諸国の憲法（アメリカ、イギリス、フランス、ドイツ、中国など）の概要、③アジアおよび発展途上国の憲法（韓国、北朝鮮、タイ、イスラム圏）の概要、④項目別の比較（平和主義、人権条項、有事対処、憲法改正など）。

履修上の留意点

①開講時にシラバスを配付するか、KOMSYに詳細を記載するので、よく読んでおくこと
②日本国憲法との関連で問題意識をもつこと ③私語は絶対に慎むこと ④途中からの入退室はしないこと。

成績評価の方法

①出席・レポート 30点 ②前期試験 30点 ③後期試験 40点。

教科書

年度内に作成の予定だが、コピーなどを配付する。

参考書等

- ①西修著『ここがヘンだよ！日本国憲法』（アスキー）2001年。とくにPART3「世界の憲法はこうなっている！」
- ②アルバート・ブラウスタイン著、西修訳『棋界の憲法—その生成と発展—』（成文堂）1994年
- ③西修著『憲法体系類型的研究』（成文堂）1997年

その他

授業中に試験をする可能性があるので、注意すること。

科目名	担当者名	配当学科	単位
法社会学	おか ぎき岡 おさむ修	法A・法B1・2選	4

講義のねらい

法社会学は、ヨーロッパで経験科学の隆盛を背景に、19世紀末に誕生した学問である。講義では、化学の発展の歴史を振り返り、法社会学誕生に至る経緯を辿る。また、知識を革新した近代化学と、社会を革新した近代市民社会論との間には重要な関連性がある。このことを踏まえ、市民社会の視点から今日の日本分析を試みる。法解釈の問題に関しては、20世紀初めのアメリカにおける法解釈論争を、文言の背後にある価値観の対立との関係で論じる。

講義の内容・授業スケジュール

前期：近代化学の思考法とその発展史。法解釈の伝統的手法。エールリッヒの『法社会学の基礎理論』。近代化学と市民社会論との関連。戦後日本社会の分析。
後期：20世紀初めアメリカの社会変化。価値観の対立を背景とした法解釈論争。ホームズ、パウンド、デューイのプラグマティズム法学。それを受け継ぐリアリズム法学。

履修上の留意点

基礎法学に属する法社会学には、法の解釈への関心の他に、知識論や歴史、あるいは戦後の日本社会の構造などに、幅広い関心を持って臨んでもらいたい。

成績評価の方法

夏休み中の課題とするレポートと、学年末の論述試験により、成績を決める。

教科書

前期と後期の講義内容を一冊でカバーする書物はないので、教科書は指定しない。講義の際に随時プリントを配布し、それを用いて話を進める。

参考書等

参考書としては、講義中にも紹介するが、ここでは次のものを上げておく。
碧海純一『法と社会：新しい法学入門』中公新書125（1967）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 法 制 史	しげのたかはる 茂野隆晴	法A・法B1・2選	4

講義のねらい

基礎法学の一つとしての法制史は、文字通り、法学教育における史学である。私の担当する「日本法制史」は日本国民の法生活の歴史的考察を行うものである。年間の通史の授業は時代区分に基づいて行うのがふつうである。近年では、近現代史のもつ重要性も強調されるようになってきているので、講義ではそうしたことにも配慮しつつも、本年は国初から近世までの4期の法制の特色を主に講述し、終りに『家』制度を行いたい。
年間の講義を受講することによって、日本の法文化への愛着が深まったといわれるようになればと思う。

講義の内容・授業スケジュール

- 序 日本法制史を学ぶにあたって
- I 日本法制史とは
 - II 基礎法学のなかの法制史
 - III 日本法制史の時代区分
 - IV 日本法制史教育の沿革
- 第1章 上古（氏族法時代）
 (1) 総説 (2) 氏族制度 (3) 法の始源 (4) 法の分化
- 第2章 中古（律令法時代）
 (1) 総説 (2) 律令法
- 第3章 中世（武家法時代前期）
 (1) 法の系統 (2) 分国法〔国法〕 (3) 起請文
- 第4章 近世（武家法時代後期）
 (1) 織豊二氏の法令 (2) 徳川幕府の法令
 終りに 『家』制度と現代の法意識

法
律

履修上の留意点

史資料に則して行う授業ですのでテキストは必ず揃えて欲しい。また、授業中の私語は当然ながら厳禁ゆえ、守れない者があれば直接にも指摘することになろう。

成績評価の方法

年間1度の定期試験と出席点によって評価する。

教科書

大久保治男・茂野隆晴共編著『日本法制史史料60選』（芦書房）2,300円

参考書等

大久保治男・茂野隆晴共著『日本法制史』（高文堂出版社）3,000円。このほかにも、場合によりプリントを配布します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
西洋法制史	きたの 北野かほる	法A・法B1・2選	4

講義のねらい

イギリスの法制度の歴史を、社会の法的構造と国家統治機構のかかわりを軸に解説する。特に注目される法的現象を挙げながら、各時代毎の法制度の全般的特徴と、基本的社会・政治構造との関連について考察する。

講義の内容・
授業スケジュール

- 第1部 総論
 - 第1章 法制史学概説
 - 第1節 法制史学の方法と対象
 - 第2節 法制史学の目的と効用
 - 第3節 イングランド法制史学の対象と方法
 - 第2章 イギリス歴史学の基本的知識
 - 第1節 時間的範囲
 - 第2節 空間的範囲
- 第2部 イングランド法制史
 - 第1章 古代
 - 第1節 歴史過程
 - 第2節 社会構造
 - 第3節 法構造
 - 第2章 中世 (1066-1350)
 - 第1節 歴史過程
 - 第2節 社会構造 封建制
 - 第3節 統治構造 封建制の解体
 - 第4節 法構造
 - 第3章 近世 (1350-1650)
 - 第1節 歴史過程
 - 第2節 社会構造
 - 第3節 統治構造
 - 第4節 法構造

法
律

履修上の留意点

講義中の私語・騒音は厳しく規制する。予め十分留意すること。

成績評価の方法

論文式筆記試験 (後期試験期間・年1回)

教科書

特に指定しない。

参考書等

年度当初に指示する。

その他

一冊で間に合うような参考書はないため、試験準備に最も有効なものは講義の際に筆記した各自のノートである。今年度から講義内容を少し変更するため、過去の講義ノートはあまり役に立たない。敢えて出席はとらないが、出席してノートをとらないと事実上試験準備ができなくなるので十分注意すること。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
政 治 学 原 論	おお つか かつら 大 塚 桂	法A・法B1・2選	4

講義のねらい

I 自己紹介
 私は、いままでイギリスの政治的多元主義・新自由主義、ならびにフランスの社会連帯主義を研究してきました。現在は、日本における多元的国家論の受容過程に関して勉強をしています。このような私の研究経歴からして、講義内容は少しばかり哲学的、観念的なものになるかもしれませんが。政治学のみならずひろく隣接領域にもふれながら一年間の授業をしてみたいと思います。
 私の研究室は、第二研究館八階（2835）にあります。研究上支障が生じたときや質問があるときには訪問してください。なお、研究室の電話番号は、3418-9377（直）です。

法
律

講義の内容・授業スケジュール

II 講義の目的
 政治学原論はカリキュラム上、基礎的部門に属しています。政治学原論は政治学の総論であるとともに、基礎理論としての意味合いをもつものです。講義の目的の第一は、現代政治学の体系的な理解を深めることにあります。目的の第二は、政治現象の理論的説明と説明ができるように基礎的原理的知識を修得することです。目的の第三は、近い将来履修するであろう他の専門学教科目を研究する上で必要な知識を提供することです。

III 講義のすすめかた
 現代政治学のアウト・ラインを理解してもらうために、一回一テーマ主義でかなり広範囲な問題にふれていきます。それだけに、授業のペースは少しばかりはやくなります。講義はテキストに準拠しつつすすめます。学生諸君は授業に出席することはもちろんのこと、予習・復習・自主研究などの研鑽をつんでください。教員と学生、それぞれの努力によって学習効果をあげていきたいと考えています。

IV 講義の内容
 おおよそ、以下の諸問題を取り上げる予定です。
 A 政治学の課題と対象、ならびに方法
 B 政治の原理的究明
 ①政治的なるもの
 ～政治的空間、政治権力、正当性、権威、政治倫理、抵抗と不服従
 ②共同体的なるもの
 ～国家、社会、主権、法
 ③イデオロギー的なるもの
 ～イデオロギー、正義、自由、平等、人権（シティズンシップ）
 C 政治の実体論的究明
 ①制度論的究明
 ～権力分立、議会、選挙、地方自治、官僚制
 ②機能論的究明
 ～政党、圧力団体、市民参加、マスコミ、政治教育、政治的社会化

成績評価の方法

V 成績評価
 単位の認定は、ペーパー試験を中心におこないます。
 成績評価は
 中間試験：50%
 学年末試験：50%
 以上の割合によるものとします。
 なお、追・再試験も実施します。

教科書

大塚桂『政治学原論序説』（勁草書房）3,296円
 大塚桂『政治哲学入門』（法律文化社）2,900円

参考書等

上記教科書の巻末にある参考文献を参照のこと。

その他

学習にあたっては、大塚編「補章オリエンテーション政治学」『政治学へのいざない』（成文堂）を参考にしてください。

科目名	担当者名	配当学科	単位
政治史	むら い りょう た 村 井 良 太	法A・法B1・2選	4

講義のねらい

政治は広く私たちの生活に関係しており、また私たちは主に選挙を通じて政治を形作っていく立場にもあります。したがって政治を知ることは社会人の大事なたしなみといえます。本講義は、法律学科の1・2年生を対象としていますので、社会人の素養としての活きた政治史を心がけ、政治史上の基本的な知識を修めるとともに、歴史的な分析を通じて現在への政治的理解を深めることを目的としています。

そこで本年度の「政治史」では、20世紀の政治史を日本の歩みに注目しながら講義していきます。講義は、基本的に教科書に沿いつつ、話を加えながら進めていきます。

講義の内容・
授業スケジュール

講義内容は、以下を予定しています。スケジュールなど詳細は開講後にお知らせします。

前期：①日本政治の戦前と戦後 ②20世紀の開幕 ③日露戦争と戦後経営 ④帝国主義の時代
⑤政党政治と国際協調 ⑥軍部と政治 ⑦官僚の新時代 ⑧日米開戦と総力戦体制
後期：⑨占領と改革 ⑩エリートと教育 ⑪冷戦と講和 ⑫政党の変貌 ⑬高度成長期の政治
⑭沖縄返還と日中国交正常化 ⑮「経済大国」の動揺 ⑯20世紀の閉幕

履修上の留意点

履修する学生に特別な知識などは求めませんが、講義への積極的な参加と、それを支える熱意と知的好奇心の豊かな学生を歓迎します。

成績評価の方法

成績は、随時おこなう出席調査と中間レポート、学年末試験によって評価します。

教科書

天川晃・御厨貴『日本政治史—20世紀の日本政治』（放送大学教育振興会）1,900円＋税

参考書等

参考図書は講義のなかで随時紹介していきます。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
経済原論	あさの 浅野 かつみ 克巳	法A・法B1・2選	4

講義のねらい

現実の経済の動きを念頭におきながら、現代経済学の基礎理論を以下の順序で解説する。なお、公務員試験（その他の国家試験等）の受験対策にもなるように必要に応じ問題練習を行うので、下記の問題集も用意してください。

講義の内容・授業スケジュール

- I マクロ経済学
 1. 経済循環と国民所得の諸概念
 2. 所得はどのようにして決まるのか
 3. 45度線モデルとI-Sバランス
 4. IS-LM分析と財政金融政策
 5. 経済の変動と成長
 6. 賃金・物価・インフレーション
 7. 国際マクロ経済学
- II ミクロ経済学
 1. 市場と価格メカニズム
 2. 消費者行動の理論
 3. 企業行動の理論
 4. 不完全市場とは何か
 5. 市場の失敗
 6. 不完全情報の経済学
 7. リスクと不確実性
 8. 市場と企業組織の関係
- III 公共政策

法
律

履修上の留意点

経済学を勉強するうえで不可欠なことは、現実の経済問題にできるかぎり関心をもつことだ。これらはさまざまなメディアをとおしあふれるほど提供されている。特に『日本経済新聞』には毎日必ず目をとおしてもらいたい。授業でも関連する記事やデータは参考にするので、できるだけ持参してもらいたい。また必要な記事・データはスクラップ・ブックなどに整理しておく、授業だけでなく将来の就職試験などにも大いに役立つだろう。

また、経済学を理解するために数学の知識が必要だといわれるが、入門的なコースで用いる数学は高校の基礎解析あるいは代数程度で十分。必要があれば授業の中でも説明するが、要は「習うより慣れろ！」のつもりで反復練習するにかぎる。

ついでに、初心者でも使いやすいコンピュータのソフトが「駒澤大学情報センター」に常備されている。それらを利用しシミュレーションしてみることも、おもしろく経済学を学ぶ方法だろう。ともあれ、授業には必ず出席しノートをしっかり取り、予習復習を実行すれば「100点取るのも夢じゃない！」

なお授業中は、私語厳禁、勝手に席を立たないこと、ケータイなどもってのほか、以上厳守。守れない者は、直ちに退席してもらう！

成績評価の方法

定期試験とレポートによる。

教科書

浅野・荒木・浅田『エコノミクス・改訂版』（成蹊堂）

参考書等

青山『経済原論の頻出問題』（実務教育出版）
八木『基礎からステップ経済学』（実務教育出版）

その他

経済学部浅野ゼミHPの『過去問コーナー』には、授業に必要な資料・参考文献、あるいは練習問題と解答などを掲載しておくので、各自でダウンロードして参考にしてもらいたい。また、質問その他どんなことでも書き込みOK！ 大いに利用してください。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
行 政 学	た 田 丸 大 まる だい	法A・法B1・2選	4

講義のねらい

行政学は政治学の中でも比較的新しい分野であるが、私たちの日常生活とも非常に関係の深い学問でもある。例えば、国レベルでは狂牛病騒動に見られる農林水産省の対応や、葉害エイズ・肝炎などに見られる旧厚生省の対応、自治体（地方）レベルでは、2003年4月に政令指定都市に昇格するさいたま市に見られるような市町村合併であるとか、原発の是非をめぐる住民投票など、世の中の様々な現象に何らかの形で行政は関わっている。これらの行政現象に流れる行政活動の論理を探ることが、行政学の大きなテーマの1つである。

本講義では、国の省庁や地方の自治体がどのようなメカニズムに基づき活動をしているのか、政策立案や執行さらには評価の過程などにも触れつつ検討することによって、複雑な現代社会の問題点や改革のあり方を正しく理解し、問題の本質を見抜くための基本的知識や思考様式を伝えたいと考えている。

講義の内容・授業スケジュール

講義内容は、例えば以下を考えている（スケジュールなど詳細は開講後に知らせる）。

- 1 官僚制、2 議院内閣制、3 地方自治、4 公務員制度、5 政策過程、6 行政組織における意思決定、7 政策評価、8 行政改革、9 地方分権改革 など。

履修上の留意点

出席は取らない。レポートは課さない。しかし、テストは全範囲から満遍なく出題するので、出席していない者が単位を獲得するのは著しく困難である。

成績評価の方法

学期末のテストおよび学年末のテスト（持ち込み不可）で評価する。

教科書

森田朗『改訂版 現代の行政』（放送大学教育振興会）2000年 本体2,000円
教科書にアンダーラインを引く、書き込みを行うといった具合に使用するので、必ず用意してほしい。

参考書等

早川・大山・内海・田丸『政策過程論』（学陽書房）価格未定

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
法 律 時 事 英 語	まきの かつお 牧野和夫	法A・法B1・2選	4

講義のねらい

国際取引やビジネスの場で実際に使用されている法律英語のキーワードを分かり易く解説することにより「法律英語」の実際を学習することをねらいとしています。社会に出てからも直ちに役立つように、実戦的、実務的な内容で、具体例を挙げつつ講義を進めます。

講義の内容・授業スケジュール

下記の順序で進める予定です。

- ① 英米法の考え方
- ② 英文契約の基礎
- ③ 国際ビジネスにおける法律英語キーワード
- ④ インターネット上の取引におけるキーワード

履修上の留意点

講義を中心に進めますので、出来る限り講義へ出席することを要望します。

成績評価の方法

学年末筆記試験1回（論文式。但し、教科書など何でも持ち込み可とする）

教科書

牧野和夫著『法律英語ハンドブック（上）及び（下）』（プロスパー企画）各1,800円、1,500円（税別）

参考書等

河村實治他著『国際法務グローバル・スタンダード17ヶ条』（プロスパー企画）4,300円（税別）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
刑 事 政 策	さいとうよしゆき 斎藤静敬	法A・法B 2選	4

講義のねらい

人間は、なぜ罪を犯すのであろうか。どうすれば、この世の中から犯罪を防止することができるのであろうか？ たしかに、犯罪のない社会を実現させることは非常に困難なことである。しかしながら、実現不可能であるとして、何の努力もせずには、何の解決策にもならない。少しでもよいから犯罪のない社会の実現にむけて、われわれは努力すべきである。刑事政策を学ぶということは、まさにこの犯罪のない社会の実現にむけて貢献することにある。

講義の内容・授業スケジュール

刑事政策は犯罪を防遏するための合理的、合目的な手段、方法を探究するものである。そこで、

- 1 犯罪現象の類型的考察(例えば、少年犯罪、女性犯罪、性犯罪、暴力団犯罪、公務員犯罪、公害犯罪、精神障害者の犯罪、薬物乱用犯罪、交通犯罪、外国人犯罪)。
- 2 犯罪者の処遇(例えば、受刑者の法的地位、刑務作業、拘禁の形態、仮釈放)。
- 3 犯罪者に対する制裁(例えば、死刑、自由刑、財産刑、保安処分)。
- 4 犯罪の司法的処理(例えば、起訴猶予、執行猶予)……などについて概説する。

履修上の留意点

1. 講義には、毎回かかさず出席して欲しい。
2. 毎日、新聞の犯罪記事に目を通しておく。

成績評価の方法

筆記試験

教科書

斎藤静敬『刑事政策の諸問題』(創成社)2,800円+税

その他

講義方式

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
法 思 想 史	なかほしひろき 高橋洋城	法A・法B2選	4

講義のねらい

法に関する概念や用語が生まれてきた歴史的、哲学的背景や世界観に遡って検討するのが法思想史の役割である。これには二つの側面がある。一つは、中核的な概念の由来や変遷を知ることにより現代法を形成する要素の理解を深めることである。しかし同時に、様々な思考様式に触れることによって近代的思考を相対化し、実はそれが或る特殊な一様式なのだとすることを自覚する、ということも重要である。

なお題材はヨーロッパの法思想史にはほぼ限定される（東洋および日本固有の法思想を扱うことはできない）。講義の理解のためには、最低限の世界史的知識が必要だが、講義時間内においてはそこに時間をさくことはではないので、そうした点について不安のある受講者は自学自習して講義に臨んでもらわねばならない。また20世紀以降の法理論史については本講義ではとりあげず、むしろ法哲学講義の方で扱うことになるのでそちらを参照されたい。

講義の内容・授業スケジュール

- [1] 簡単に講義の意義・注意事項などについての説明したのち、プラトン思想の背景として、ソフィストとソクラテスの問題について概観する。
- [2] プラトンの法思想：『国家』を中心にその意義を検討する。
- [3] アリストテレスの法思想：まずアリストテレス哲学の基礎理論を形相質料論を中心に紹介する。その後、『ニコマコス倫理学』『政治学』等を題材として、正義論、政治体制論を中心に検討する。
- [4] ローマ法の思想史的意義：現代に至るまでヨーロッパの法律学・法思想を規定してきたローマ法上の諸概念、思考方法について概説的な紹介を行なう。
- [5] キリスト教の法思想への影響を概念的に考察する。
- [6] 中世自然法論：トマス・アキナスの思想をとりあげ、古典的自然法論への理解を深める。また後半では、唯名論思想と近代的世界像への転換についても言及する。
- [7] 社会契約説総論とホブズの法思想：『リヴァイアサン』を中心にホブズの議論を紹介し、またその現代的意義について考察する
- [8] ロックの法思想：『統治論』を中心に、ホブズとの比較を念頭に置きつつ考察を行なう。
- [9] ロックの所有権論に関連させつつ、同時に所有権論史全般について考察する。
- [10] ルソーの法思想：題材としては『社会契約論』『不平等起源論』が中心になる。
- [11] カントの哲学と法思想：法理論におけるカント思想の重要性を論じ、さらに現代のカント主義的理論の展開をとりあげる。

履修上の留意点

とりあげる著作の原文抜粋を中心とした資料をあらかじめ配布し、これに基づいて説明を加える形式で講義を進める。受講者は少なくとも資料の該当箇所を事前に読んだ上で講義に臨むことが要求される。

成績評価の方法

年度末の定期試験によって評価する。それ以外に課題レポート等を設定する可能性もあるが、その場合は自由提出課題とし加算点にのみ用いる（定期試験のみを受験するのでもかまわないということ）。

教科書

教科書としては特定の書籍を指定しないが、講義の理解を深めるため、法思想史全般の概観ができる図書を手元に置き、予・復習に役立てることを推奨する。次項の参考図書参照。

参考書等

法思想史に関する概説書の例として
 ・田中成明他編『法思想史』（有斐閣Sシリーズ）1,800円：法思想史の流れを大まかにつかみ整理するのに役立つだろう。
 ・三島淑臣『新版・法思想史』（青林書院）4,854円：講義内容をさらに深く掘り下げて勉強したい場合に有益であろう。
 講義開始時に、上記の他にもいくつかの概説的な入門書について、それぞれの特徴などを紹介するが、書店・図書館などで手に取ってみて自分にあったものを選ぶと良いと思う。また講義でとり上げる思想家の著作原著については、そのつど指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
債 権 各 論	あおのひろゆきの 青野博之	法A・法B2選	4

講義のねらい

債権各論とは、民法典のうち、第3編「債権」の第2章「契約」、第3章「事務管理」、第4章「不当利得」および第5章「不法行為」をいう。

たとえば、Aが自己所有の土地をBに売却する契約をBとの間で締結した場合には、Aは、Bに対して代金を払うように請求することができる。つまり、代金債権が発生する。また、Cの家にDの運転する車がぶつかって、家が壊れた場合には、Cは、Dに対して賠償金を払うように請求することができる。つまり、損害賠償債権が発生する。このように、債権は、契約、不法行為など、さまざまな理由によって発生する。このような債権発生原因について考察するのが、債権各論である。具体的には、たとえば不法行為では、どんな場合に損害の賠償を求めることができるか、どのような損害の賠償を求めることができるかが問題となる。

なお、債権の発生原因のうち、債権各論で学ぶのは、契約、事務管理、不当利得および不法行為だけであるが、これらが債権発生原因の主要なものである。

法
律

講義の内容・
授業スケジュール

契約の成立（申込、承諾）
 契約の効力（同時履行の抗弁権、危険負担）
 契約の解除
 所有権移転型の契約（贈与、売買、交換）
 貸借型の契約（消費貸借、使用貸借、質貸借）
 労務提供型の契約（雇傭、請負、委任、寄託）
 その他の契約
 事務管理
 不当利得
 不法行為の要件
 不法行為の効果
 特殊な不法行為

履修上の留意点

できるだけ債権総論も受講してほしい。債権各論を理解するために重要な科目だからである。また、これ以外の民法の科目も受講すると、民法全体の理解につながる。

質問は大歓迎である。講義の中では、私からも質問するので、答えてほしい。双方向性型の講義を目指している。

成績評価の方法

質問した回数および私からの質問に対する解答の回数を重視する。解答が正しいかどうかではなく、考えて解答することに意味がある。安心して答えてほしい。

受講者がそれほど多くなければ、質問と応答による平常点だけで成績を評価する。しかし、平常点で成績を評価することができないほど受講生が多ければ、年度末の試験を行う。試験を行う際には、いっさいの持ち込みを不可とする。

教 科 書

大島俊之ほか著『プリメール民法4・債権各論（第2版）』（法律文化社）2003年 2,700円
 教科書は上記のものを使うが、自分が気に入ったもの、手持ちのものがあれば、それでもよい。

参 考 書 等

講義に際して紹介する。

そ の 他

出席し、質問し、私からの質問に答える、積極的な学生であってほしい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 米 法	きたの 北野 かほる	法A・法B 2選	4

講義のねらい

近現代法治国家の主要法系のひとつである英米法系について、日本法を含む大陸法系と比較しての基本的特徴を外観し、その主要な理由をなすと考えられる、法形成における裁判の意味について、判例法を中心に考察する。

講義の内容・
授業スケジュール

- 第1章 法系
 - 第1節 近代法の法系
 - (1) 西洋近代法 (2) 二大法体系 (3) 大陸法系あるいはローマ法系
 - (4) 英米法系あるいはコモン・ロー法系
 - 第2節 イギリス法の特徴
 - (1) 一般的特徴 (2) 歴史的特徴
 - 第3節 英米法の分類
 - (1) 法域 (2) 法源 (3) コモン・ロー
- 第2章 英米法の特徴
 - 第1節 法内容の歴史性
 - (1) 歴史的連続性 (2) 法系としての特徴
 - 第2節 法観念の社会性
 - (1) 法の観念 (2) 法システムにおける裁判の位置 (3) 救済と権利
 - 第3節 法思考の実務性
 - (1) 総論 (2) 法曹一元
- 第3章 判例法の理論
 - 第1節 判例法
 - (1) 判例法 (2) 判決における法考察 (3) 判例法の考察
 - 第2節 判例法の理論
 - (1) 外枠 (2) 内実 (3) 先例性の判断
 - 第3節 制定法の解釈
 - (1) 制定法の位置づけ (2) 厳格な分離解釈の理論

履修上の留意点

講義中の私語・騒音は厳しく規制する。予め十分留意すること。

成績評価の方法

論文式筆記試験（後期試験期間・年1回）

教 科 書

特に指定しない。

参 考 書 等

望月礼二郎『英米法（新版）』（青林書院）現代法律学全集55 5,150円
その他の参考書：年度当初に指示する。

そ の 他

試験準備には講義ノートが最も有効である。各自注意して出席し、ノートをとること。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏 法	うえい たけひさ 上 井 長 久	法A・法B2選	4

講義のねらい

本講義は、フランス法のうち、とくにフランス私法の根幹をなす諸問題を対象として、フランス私法の基底を理解することを目的とする。近現代の私法の基本的問題ばかりでなく、古代フランク時代と封建制度下の中世の法とにわけられる古法の時代、および自由と平等を旗印とした大革命に始まる革命期の法すなわち中間法の時代の私法をも本講義の課題としているのはそのためである。フランスの近現代法は、19世紀初頭に統一的な成文法により樹立され発展したが、それまでの法を基礎として統一・整備されたものである。フランスの近現代の私法を深く理解するためには、古法、中間法をも学ぶ必要がある。本講義は、そのようなフランスでいわゆるフランス私法の序論と歴史と称する領域を原典資料（法文、判例、学説、一般論述等）により理解しようとするものである。

講義の内容・授業スケジュール

本講義は、まず、近現代のフランス公・私法の基礎であるフランス人権宣言と19世紀におけるその開化を学び、次いでフランスの革命期および近現代の私法の基本的問題を検討し、後に、その基本的問題さらには近現代の私法の個別的問題と出来るだけ関係づけながら古法における私法の歴史を考察する。講義の内容は、具体的には以下の通りであるが、その各項目について原典資料を解説しながら講義を進める。なお、フランスの革命期から今日までの政治、行政、裁判制度についても、適宜折り込み説明する。

I. 革命期および近現代の私法の基本的問題……（前期）

1. 人権宣言と自由の確立

①人権宣言の着想の背景・精神・性質・効力・趨勢 ②人権宣言の内容——基本的人権、各種自由権、法の下での平等、法律の支配、政治組織の原理（国民主権、権力分立） ③公的自由と私的自由

2. 法典編纂とその後の私法の変遷

①法典化の意義・目的 ②ナポレオンの5法典と王令・中間法
③法典編纂の経緯と問題点 ④近現代における私法の変遷

3. 判例の効力

①判決の構造と判例 ②判例観の変遷（古法、中間法） ③判決の既判力、判例の拘束力と創造力 ④法律の解釈と法学の法律学化（注釈学派、科学学派）

II. 私法の歴史……（後期）

1. フランク王国の法

①法源（法の属人性） ②社会経済制度—一人の身分、土地（個人、共同）所有形態、形式主義的契約、教会と家族財産（相続、贈与、遺贈）、フランクの家族共同体とローマの個人的家族制度 ③訴訟制度

2. 高期中世（制限王政期）の法

①法源（法の属地性、ローマ法の再生、教会法の編纂、慣習法） ②社会経済制度—階級制、封建的土地所有（分割所有権）と自由地、形式主義的契約と合意主義的契約、家族制度（教会婚、自由処分分と家族遺留分、夫婦財産共有制） ③都市の社会経済制度—ブルジュア身分大市・市の組織と取引、同業組合の組織と規約

3. 絶対君主制（旧体制）の法

①法源（慣習法の編纂、ローマ法の第二の再生、王令） ②社会経済制度—階級制の変遷、封建的土地所有制度の変遷

履修上の留意点

フランス法とフランス語に興味があれば、楽しく受講してもらえます。

成績評価の方法

成績評価は、学年末の定期試験で行う。

教科書

上井長久著プリント版 *Introduction au droit privé* 及び *Histoire du droit privé*（最初の講義の時に配付する予定）

参考書等

ジャン・アンバール著三井哲夫＝菅野一彦訳『フランス法制史』（白水社文庫クセジュ）
山口俊夫『概説フランス法 上』（東大出版会）

科目名	担当者名	配当学科	単位
独 法	山口邦夫 <small>やまぐちくに お</small>	法A・法B 2選	4

講義のねらい

外国法の一種類としてドイツ法全般について一年間で講義をすることは不可能なので、日本が明治以降、政治上の理由から、先進国の外国法を多数継受してきたなかで、ドイツ法のはたした役割が大きかったので、その点を中心に講義をする。したがって、ドイツ法の歴史も近世以降に限定し、特に19世紀以降の立法と日本が継受する際に最も強く影響を受けたドイツの法律を中心とする。明治期の仏法・英法の影響については、各自学習することが望ましい。

講義の内容・授業スケジュール

一年を次の4期に分けて講義をする。
 I期 4/5月、II期 6/7月、III期 9/10月、IV期 11/12月。
 I期 プロイセン憲法と明治憲法との関連、特に Kaiser と天皇との比較。次にドイツ民法第一草案と日本民法との関連。パンデクテンシステムの導入。行政法の分野について。
 II期 一般ドイツ商法典と日本の商法との関連。民商統一論。社会法、経済法など。
 III期 刑法及び手続法（特に民事訴訟法と刑事訴訟法）の分野において、ドイツ法が日本法に与えた影響について。
 IV期 ドイツの法思想家のうち、I期からIII期において対象とした分野で影響を与えた法学者の思想をドイツの原書を参考に解説する。

履修上の留意点

当然ドイツ語を履修した2年生以上の学生を念頭において講義をする。授業中にドイツ語の条文などが登場するので、他の外国語の履修者には不適當と考えるが、単位取得を目的としなければ聴講可能である。

成績評価の方法

毎年10人前後の小クラスなので、毎回出席をとり、平常点に、年2回のレポート提出によって単位の認定を行う。いわゆる学年末試験は行わない。

参考書等

Gerd Kleinheyer/Jan Schröder, *Deutsche und Europäische Juristen aus neun Jahrhunderten*. 4. Aufl. 1996. (初版の和訳あり)

科目名	担当者名	配当学科	単位
基礎演習	大宮隆 <small>おおみや たかし</small>	法A 2選	4

講義の内容・授業スケジュール

本講は、3年次から開講されている演習のための基礎知識を修得することを目的とする。「婚姻及び離婚制度の改正問題」を通して、文献・資料の検索、発表の方法を指導する。よって、当初は私が法律雑誌や判例集について解説し、その後、各人の関心に沿ったテーマを選んで勉強し、報告、ディスカッションするという形をとる。

履修上の留意点

予習すること。

成績評価の方法

年間を通して、総合的に評価する。

教科書

プリントを配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
基 礎 演 習	いまおま 今 尾 真	法 A 2 選	4

講義のねらい

具体的事例（判例・教室説例）を素材として、民法の知識および経験則を総動員して、紛争を解決する際の法的なものの考え方（法的思考法）を身につけ、その考え方を実際に紛争に当てはめ妥当な結論を導く（法解釈学の技術的訓練）という能力を養成する。

講義の内容・
授業スケジュール

本演習は、これから法律学、特に民法を本格的に学習するための基礎学力を習得することを目的とする。具体的には、民法総則の法律問題を素材として、民法の考え方、文献の読み方、討論の仕方、文章の書き方の訓練を行う。参加者は、教科書の指定されたテーマに関する諸文献を検索・熟読すること（読む）、法的争点を抽出してこれをめぐる判例・学説の解決策の当否を自分の頭で考えること（考える）、自分の考えを明快に展開して他人と討論できること（論ずる）等が要求される。また、随時、重要で基本的な問題について、レポート作成（書く）を義務づけ、その一部のことを講評して、法律の文章・論文の書き方をもあわせて指導する。

教 科 書

川井健・鎌田薫・平野裕之編『新判例マニュアル民法 I〔総則〕』（三省堂）2000年

参 考 書 等

- ①星野英一・平井宜雄・能見善久編『民法判例百選 I 総則・物権〔第五版〕』（有斐閣）別冊ジュリスト159号2001年
- ②加藤一郎・米倉明編『民法の争点 I（総則・物権・親族・相続）』（有斐閣）ジュリスト増刊1985年

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
基 礎 演 習	さ とう たみ お 佐 藤 多美夫	法 A 2 選	4

講義のねらい

このゼミは刑法における基本的な問題を検討し、法的知識を修得するとともに法的な思考を身につけることを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

刑法総論講義で修得した犯罪の成立要件である構成要件該当性、違法性、責任の基本的な問題を扱うが、以下のような諸問題も対象としたい。例えば、少年犯罪に関する問題、ハイテク犯罪に関する問題、生命に関する問題、犯罪被害者に関する問題などを予定している。

- 1 回 ゼミ員紹介、レポート・小論文作成について、設問出題
- 2 回 グループ決定・グループの研究テーマ決定、レポート・小論文作成について、レポート提出
- 3 回 設問解説、レポート・小論文作成について、
- 4 回 グループ研究
- 5 回 グループ研究
- 6 回 グループ研究
- 7 回 グループ研究、全グループの研究報告書を提出
- 8 回 グループ研究発表
- 9 回 グループ研究発表
- 10 回 グループ研究発表
- 11 回 グループ研究発表、個人研究テーマ提出
- 12 回 グループ研究発表
- 13 回 グループ研究発表、前期のまとめ
- 後期 個人研究報告を中心に行う

履修上の留意点

主体的、意欲的な学生の参加を望みます。

成績評価の方法

報告内容、質問、出席等総合して評価する。

教 科 書

各自テーマが異なるため特定のテキストはない。

そ の 他

このゼミは、受講者数にもよるが個人およびグループによる研究発表をもとに行う。発表者は報告の一週間前までにレジュメを配布し他のメンバーはこれをもとに質問出来るようにして、当日は活発な討論に参加できるようにしなければならない。発表者・質問者はそのテーマについて文献を収集したりその理解に努力する必要がある。また、図書館での資料収集の仕方、報告書の書き方等についてもアドバイスをする。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
基 礎 演 習	原 口 伸 夫 <small>はら ぐち のぶ お</small>	法A 2選	4

- 講義のねらい** この基礎演習は、刑法・犯罪論の基礎を理解するとともに、法律を学習する上で必要不可欠となる基本書・参考文献の探し方・利用の仕方、判例の調べ方・読み方、レポート・論文の作成方法等の習得を目的としている。
- 講義の内容・授業スケジュール** まず、刑法総論の重要な解釈問題(たとえば、因果関係、正当防衛、錯誤、共謀共同正犯等)を題材としてテーマを決め、グループ(2～3人)で報告し、議論する。次いで、刑事法に関して各自興味のあるテーマを決め、個別に報告し、皆で議論する。
- 履修上の留意点** 報告者はもとより、報告者以外の者も主体的に参加し議論することによって、本演習での目的である学習方法を習得し、また、問題点とその背景事情について探り・考える力や、それを整理し・筋道立てて説明する力をしっかりと身につけ、今後の専門ゼミ等においてより深く研究する基礎を固めてもらいたい。
- 成績評価の方法** 報告・出席等の平常点で成績を評価する。
- 教科書** とくに指定しない。
- 参考書等** 授業中に適宜紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
基 礎 演 習	池 田 実 <small>いけ だ のる</small>	法A 2選	4

- 講義のねらい** 文献・判例の調べ方、レポート・論文作成のルールなど、法学研究の方法を習得するとともに、3年次からの演習に備え、憲法に関するさまざまな問題への関心を高めることを目的としています。前期は、教科書を講読しながら、関連法令や学説・判例にも広く接し、日本国憲法の基礎的理解を深めることに重点を置きます。後期は、前期から引き続く内容に加え、担当教員の与える課題や学生から提起された問題について、全員が調べ、まとめ、報告し、討論することを通じて、憲法に対する多角的な視点と広い問題関心を育んでいきます。
- 講義の内容・授業スケジュール** [前期] (1)憲法の基本概念 (2)前史・前文 (3)天皇 (4)戦争の放棄 (5)人権保障(総論)・国民の義務 (6)包括的人権 (7)精神的自由権 (8)経済的自由権 (9)身体的自由権 (10)社会権 (11)受益権 (12)人権論補遺 (13)前期演習総括
[後期] (14)国会 (15)選挙・政党 (16)内閣 (17)裁判所 (18)財政 (19)地方自治 (20)憲法改正・最高法規 (21～26)自由課題演習
- 履修上の留意点** 演習は、教員と学生が一体となってつくりあげる授業ですから、遅刻や無断欠席は厳に慎んでください。
- 成績評価の方法** 出席、研究報告、発言、レポート等を総合的に評価します。
- 教科書** 抱喜久雄・野畑健太郎・吉川智編『初めての憲法』(法律文化社) 2,600円
- 参考書等** 授業時に適宜指示します。
- その他** 法令や判例を緻密にフォローする生真面目さと、若者らしい柔軟かつ大胆な発想で憲法を科学する遊び心とを兼ね備えた、バイタリティあふれる学生諸君の履修を期待します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
基礎演習	わちけいいち 和知恵一	法A2選	4

講義のねらい

本演習は、三年次以降における民法の専門演習に参加するために必要な基礎知識を整理・確認し、より高度な研究に対する準備を行うことを目的とする。判例や関連文献の収集方法および利用の仕方、レポート・論文の作成方法、報告・討論の仕方などの修得に努める。

講義の内容・授業スケジュール

前半は、民法総則に関する基本的な事例問題をテーマとして、参加者全員にレポートを作成してもらい、割り当てられた数名のグループが報告を行う。その報告を基に、全員で議論する。後半は、各人（グループ）が興味・関心を持った具体的事件について、それぞれがレポートし、全員で議論する。

履修上の留意点

全員がレポート作成・発表・討論に参加することが義務付けられる。したがって、自主性・積極性・責任感を持った、意欲有る学生の参加を期待する。又コンピューターを利用して、インターネットにアクセスし、判例や文献の検索を行うことも考えており、多少のコンピューターの知識があることが望ましい。

成績評価の方法

受講態度、提出レポートおよび報告内容を総合的に評価する。（出席することは当たり前のことであり欠席は減点とする。）

教科書

法令集（六法）を必ず持参すること。その他については、授業中に適宜指示します。

法
律

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演習 I	こうのひろのり 河野弘矩	法A3選	4

講義のねらい

民法に関する具体的事例に直面した場合に自分の頭で考え、妥当と思われる結論を創造する習慣を習得することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

教材の事例を通して、自分の思考を助けるため、参考文献や判例の研究を行うことはもちろんであるが、演習参加者の活発なる議論を主体として進行する。3年生は主として債権法を学習対象とする。夏と冬に合宿を予定しています。

履修上の留意点

演習参加者は、3年・4年の2ヶ年間継続して受講すること。
毎週必ず出席すること。

成績評価の方法

毎回の平常点で成績評価を行いたい。

教科書

プリントを用意する予定。

参考書等

教場で指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 I	こばやし ひろひと 小林 弘人	法A3選	4

講義のねらい

この演習は3年生を対象とする。ここでは、行政法のうち「行政作用法」および「行政救済法」分野の基礎的知識を深めることを目的とする。具体的には25～30の論題を事前に提示し、その問題を演習時間又はゼミ合宿などで検討する。なお、当然のことであるが、演習参加者の事前の準備および教場などでの活発な発言がとくに望まれる。

後期においては、公務員受験志望者の希望もとり入れたようなゼミにしたい。ゼミにとって必要なことからはすべて演習初日に説明する。

成績評価の方法

出席状況、ゼミでの報告、質問など総合的な観点から評価する。

参考書等

新山一雄著『行政法』（法学書院）1,800円
藤田宙靖著『行政法入門』（有斐閣）1,900円

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 I	こぼりのりお 小堀 訓男	法A3選	4

講義のねらい

国家は国際社会にあって、外部から受けるインパクトに対し、さまざまなアクションを引起す。これを国家の行動と呼ぶならば、国家は国際社会のなかで行動するための何らかの基準があるのではないかと、という素朴な疑問をもって、戦争・紛争・国家間の経済問題・国家の統合などを研究の素材としてとりあげ、それらの事象を分析する。つまり、この演習では、国家には何らかの行動基準があるのではないかとという問題意識をもって、諸種の国際事象を分析、考察する。

講義の内容・
授業スケジュール

第1回から第4回までの演習では、“国際政治とは、いかなるものか”をテーマに討論し全員が国際政治について共通の認識をもてるようにする。

第5回から第8回までの演習では、国家についての基礎的知識を得るために、国家論の諸説を整理する。殊に、国家・民族・階級について、各自研究し討論する。

第9回からの演習では、戦争・紛争・国家間の経済問題・国家の統合などの具体的な事象について、興味あるテーマを各自が選び、その現象を分析しながら、国家の内部に包含されている民族や階級が、その国家の行動にどのように作用しているかを考察し、国家の行動基準の法則性の有無を検討する。

履修上の留意点

問題意識を明確にもった学生の受講を希望する。殊に国家の政策決定について興味をもっている学生の受講をのぞむ。

成績評価の方法

講義中の発言、研究発表の内容で評価する。

参考書等

授業中に適宜紹介する。

その他

演習に関連したビデオ（20世紀の戦争の記録など）を見る予定である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	しま 島 ほん 原 ひろ 宏 明	法 A 3 選	4

講義のねらい

〔商法学演習〕
 法律行為論の基本的な思考方法を身に付けるために、主に手形・小切手法の領域における種々の問題をテーマとして、ケース・スタディーを行う。
 現時点においては、民法・商法に関する予備知識が無くてもかまわないが、ファイトだけは必要であるから、アピールするもの（成績、スポーツ、特技等）を持っていて欲しい。
 大学を出たという実感を味わってもらうことが、このゼミの目標である。
 なお、春と夏に合宿（全員参加）を行っている。

成績評価の方法

平常点で評価します。

法
律

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	た 田 まる 丸 だい 大	法 A 3 選	4

講義のねらい

本演習では、国あるいは地方の行政はどのように展開されているのか、具体の行政活動や政策を取り上げ、その仕組みや問題点を考察することによって、今後の日本の中央・地方行政のあり方を探ってみたい。現実の行政の観察、問題発見、提案能力を培うことが本演習の最終目標である。

講義の内容・授業スケジュール

ゼミ生と相談して決めたいと思うが、現在のところ、以下を考えている。
 (1)ゼミ生がそれぞれテーマを設定し、個別であるいは共同で調査研究し、その成果を発表する。
 (2)ディベートを行う。
 ちなみに去年は、私鉄駅全面禁煙、外国人犯罪、川崎市の地下鉄建設、市町村合併、マンション建設による景観侵害などがテーマとなった。

履修上の留意点

無断欠席は認めない。夏合宿およびコンパ（年3回程度）も出席点に加味する。

成績評価の方法

出席・発表・発言などを総合的に評価する。無断欠席者には単位を与えないこともある。

そ の 他

①ゼミの諸活動への参加意欲の高い学生を歓迎する。②公務員志望者には、試験勉強の仕方・併願先のアドバイス・面接対策などを行う予定である。（おそらく勉強会を開催するが、これは生徒による自主的な運営であり、教員が塾や家庭教師のように受験勉強の指導をするわけではない。また、公務員志望者を優先するわけではない。）

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 I	川口幸美	法A3選	4

講義のねらい

会社法の重要問題を中心に、判例・学説を検討し、体系的に理解を深めることを目的とする。具体的には判例研究・事例研究を主とする予定である。また取り上げるトピックについては、学生の希望も聞くので、関心あるテーマを用意しておいて欲しい。

講義の内容・授業スケジュール

初回にテキストのテーマ毎に報告者を決め、レジュメの説明に沿った形で、ディスカッションを行なう予定。スケジュール等については学生と相談する。

履修上の留意点

ゼミは出席重視とする。また年に数回、報告の機会があり、その度、レジュメを準備すること。報告者以外の者は予め資料を読んでおくこと。

成績評価の方法

出席と普段の議論への参加態度、レジュメの完成度で評価する。

教科書

『会社法判例百選（第6版）』（有斐閣）
テーマによっては別に資料を配布する。

法
律

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 I	早川純貴	法A3選	4

講義のねらい

当演習の基本目的は現代日本政治の特質を理解し、その問題点を探り出すこと、あるいはそれらの問題をいかに克服できるかを考えることである。特に当演習では研究対象を政策形成・施行過程に置く。具体的には、いくつかの政策が成立する背景と過程を明らかにしつつ、それらがいかに施行されたか、その過程でどんな問題が生じたのか、あるいはそれらの政策が日本の経済や社会、国際関係にどのような意味・影響を持ったのかを考察する。

講義の内容・授業スケジュール

当ゼミは前期が統一テーマによるグループ研究であり、後期は学生自身が選択したテーマで個人発表を行い、あわせてゼミ論を執筆してもらう。平成16年度の前期・統一テーマは「議会と政党の役割」である。日本の国会および地方議会（都・県議会、区議会、市議会など）の機能不全が叫ばれて久しい。しかし本当に議会は機能していないのだろうか。ジャーナリズムの口ぐせに乗せられていないだろうか。国会や地方議会でがんばる政党や個々の議員を再評価してみたい。そして議会のこれからの可能性を議論してみよう。

履修上の留意点

当演習は法律学科の学生にも開講する。政治学科の学生はもとより、政策の形成・執行に関心のある法律学科学生諸君の参加を大いに歓迎する。また当演習は春と夏に合宿を行うが、ここではディベートやパネル・ディスカッションなど、通常の演習ではあまりできないことを企画している。

成績評価の方法

個々人の発表・報告の充実度、レポート・ゼミ論の内容などを総合的に判断して評価する。

教科書

教科書は使用しない。参考文献は演習の過程で随時紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 I	まつもと ひでとし 松本英俊	法A 3選	4

講義のねらい

演習 I では、刑事手続全体を概観した上で、捜査および公判段階における問題を扱う。判例を中心に具体的事例に則して、捜査・公判段階の主要な論点について、問題の所在や学説などを検討し、解決の展望を探る。

講義の内容・授業スケジュール

前期はテキストや基本書の輪読を中心に行い、刑事訴訟法の基礎的な知識を身につける。後期は判例百選や判例集掲載の主要判例や比較的最近の判例を素材に、事例研究を行う。

履修上の留意点

刑事訴訟法、刑法、刑事法関連科目を履修していることが望ましい。
担当者の報告に基づいて全員で議論するが、報告担当者以外の者も毎回のテーマについて事前に準備して、自分の見解を持った上で参加し、議論に際しては積極的に発言すること。

成績評価の方法

授業での報告および発言などにより、総合的に評価する。適宜、レポートを課し、その結果も参考とする。

教科書

白取祐司『刑事訴訟法（第2版）』（日本評論社）3,600円
松尾浩也・井上正仁編『刑事訴訟法判例百選（第七版）』（有斐閣）2,100円

参考書等

参考書等は随時紹介します。

その他

報告者を決め、報告者は論点の整理と検討のための素材を十分な事前準備の上、報告する。授業では、報告者の報告に基づいて、全員で討論を行う。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 I	あおの ひろゆき 青野博之	法A 3選	4
演習 II		法A 4選	

講義のねらい

民法に関する判例や事例を用いて、具体的な判断能力を養うことを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

演習受講者をグループに分けて、そのグループ毎に、テーマを自由に選択する。テーマは民法に関するものであれば、分野は問わない。テーマは、判例から取り上げられることが多いが、マス・メディアで報道されたばかりのものでもよい。

履修上の留意点

担当グループは、テーマに関する資料の要旨（レジュメ）を少なくとも1週間前に配布すること。
演習をどのように進めていくかは、それぞれの担当グループにゆだねる。担当者が報告し、（指名しながら？）質疑応答する場合、担当者が裁判官の役割を果たし、他の者を原告・被告に分けて議論する場合などが考えられる。

成績評価の方法

出席して、しっかり発言をしたか、担当者として十分な準備をしたかなど総合して判断する。ゼミは、発言することがポイントである。そのことを基準として、成績を評価する。

その他

議論に積極的に参加し、たくさん発言する学生であってほしい。
希望者は、できれば、事前に先輩または私に演習の内容や進行方法を聞いておくとよい。その意味でも、履修前の見学はよい機会である。見学を歓迎する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	あら き まさ たか 荒 木 正 孝	法 A 3 選	4
演 習 II		法 A 4 選	

講義のねらい

会社法や手形・小切手法の講義、またはこれらを理解するのに必要な民法総則、物権法および債権法など各種の講義で聞いた個々の知識や考え方が本当に学生諸君の血となり肉となったかどうかは、実際に具体的な問題に取り組み、多くの人々が納得するような妥当な解決を導き出すことができるか否かにかかっている。この演習では、講義で修得した個別の知識を総合し、それをより深く理解し、十分に応用できる力をつけることを目的とします。

講義の内容・授業スケジュール

この演習では、基礎的知識を確認する作業を常に心掛けながら、具体的には、会社法と手形・小切手法に関する裁判例の中から参加者が希望するテーマや課題について発表してもらい、そのレポートを中心に活発な議論を展開するという方法で進めます。本年度は、近年における会社法の大改正にも相当の時間を割くつもりです。

履修上の留意点

参加者は、自分が発表を担当しないときでも毎時限必ず質問したり、問題提起をするつもりで予習し、積極的に発言するようにして下さい。演習では出席を重視します。夏期と冬期(学年末試験終了後)に合宿を予定しています。必ず参加して教場では望めない参加者間の全人格的な触れ合いを実現したいと思っています。

成績評価の方法

出席と平常の発言や活動を考慮して評価します。

教科書

鴻・落合・江頭・岩原編『会社判例百選』(6版)(有斐閣)、鴻・竹内・江頭・岩原・山下編『手形小切手判例百選』(5版)(有斐閣)などを予定していますが、その他については必要な都度指示します。

参考書等

奥島孝康・中島史雄編『商法演習Ⅰ〔会社法〕』(3版)(成文堂)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	おう し あん 王 志 安	法 A 3 選	4
演 習 II		法 A 4 選	

講義のねらい

国際裁判および国内裁判の判例の分析を通して、現代国際法の適用過程を検証する。具体的に、慣習国際法が裁判においてどのように確認され、適用されるか、また条約がどのように適用されるかを実際の判例において分析する。そして演習を通して国際法に関する知識だけでなく、判例分析や報告書又は小論文の作成に関する知識および能力をも養っていただきたい。

講義の内容・授業スケジュール

テーマとして国家の領域紛争、国際法における承認および人権問題にかかわる判例を選定し、判例の読解および関連の参考資料の学習を通して国際法の適用における実情および問題点を明らかにしていく。前期において特定の中心テーマを基準に選定された事例の勉強となるが、後半において参加者の関心を尊重して個別の判例の分析を中心に演習を行っていきたい。また、夏休みでは、原文(英文)の国際判例を読み解くための合宿を行う。

履修上の留意点

出席および配布された資料を事前に読むことを要求する。

成績評価の方法

演習への参加状況および報告に望む態度や積極性を考慮して評価する。

教科書

『判例百選国際法』(有斐閣)2001年

その他

ゼミに関する情報などは、下記のホームページから入手できる。
<http://www.komazawa-u.ac.jp/~anzhi/index.htm>

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	おおつか 大 塚 桂	法 A 3 選	4
演 習 II		法 A 4 選	

講義のねらい

政治学における基礎的・原理的研究をおこないます。基礎研究にあたっては、古典的文献の取り組みが不可欠です。政治原理・哲学・国家論に関心のある学生の参加を期待します。

講義の内容・授業スケジュール

- I 政治学の基本文献を輪読する。
- II 共通テーマを設定し、共同研究をおこなう(例えば、明治の政治家たち、自由主義の系譜)。
- III ゼミ生各自が定めた個人研究の発表とそれに対する指導をおこなう。

履修上の留意点

一定の読書と思索をつみかさねてきた学生の参加を切望します。政治学原論が現代国家論を履修し、私の政治学に対する姿勢を理解してくれる学生さん、いらっしやい!

成績評価の方法

平常点

教科書

M・ヴェーバー (脇主平訳)『職業としての政治』(岩波文庫) 300円
吉野 作造『吉野作造評論集』(岩波文庫) 620円

参考書等

参考書として、拙著をあげておきます。図書館等で目を通しておいください。大塚『フランスの社会連帯主義』(成文堂)、同『ラスキとホップハウス』(勁草書房)、同『多元的国家論の展開』(法律文化社)、同『多元的国家論の周辺』(信山社)、同『近代日本の政治学者群像』(勁草書房)。

その他

4年次生は就職活動を最優先させます。金銭的負担(OB会・合宿等)、規則、束縛は一切ありません。年1~2回のお食事会を開催しますが、教員がゼミ生をご招待いたします。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	おおみや 大 宮 隆	法 A 3 選	4
演 習 II		法 A 4 選	

講義のねらい

家族法の研究上、知っておいてほしいと思われる裁判例をとりあげる。

履修上の留意点

予習が必要である。

成績評価の方法

年間を通して、総合的に評価する。

教科書

泉久雄他編『家族法基本判例32選』(信山社) 2,500円

法
律

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	おおやま れい こ 大 山 礼 子	法 A 3 選	4
演 習 II		法 A 4 選	

講義のねらい

この演習は、議会を中心とする政治制度について理解を深め、学生が主体的に考えるための基礎を築くことを目的としている。各自が意欲をもって積極的に参加することが第一であるが、自分自身で文献やインターネットを活用し、物事を調べる能力が身につくように配慮したい。また、自分の主張を他人に理解してもらうために必要な、論理の組み立て方、表現の仕方の学習も重視する。

講義の内容・授業スケジュール

3年次の前期は政治関係の新聞記事や基礎的文献などを講読して基礎知識を確認し、後期には学生が選択したテーマで報告、ディベート等を行う。4年次はゼミ論文の執筆を中心とする予定である。

受講者の希望により、夏期の合宿または集中ゼミ、国会見学などを実施する。

履修上の留意点

日頃から新聞の政治面の記事を読み、積極的に討論に参加すること。

成績評価の方法

平常点（ゼミ論文の評価を含む）。

そ の 他

ゼミコンパなどのイベント時は原則として禁煙。

法
律

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	かね こ しょう へい 金 子 昇 平	法 A 3 選	4
演 習 II		法 A 4 選	

講義のねらい

本演習においては、行政上の諸制度、行政法規の仕組及び複雑多様な法現象を広範囲にとりあげ、現代のあるべき行政法理論について理解を深めていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

ゼミ生の関心のあるテーマについて、判例研究及び、学術論文の書評を行い、参加者全員と共に、議論をつくしたいと思っている。演習の内容については、例えば、環境の問題、教育の問題、公務員の問題、地方自治の問題、租税の問題、医療の問題、高齢者の問題、福祉の問題等である。

年二回、七月、二月にゼミ合宿を行い、研究の成果を発表し、討論を行う。

年二回、公的施設の見学会を行う。

履修上の留意点

ゼミ生は、あらかじめ該当する判例、法令等を読みこなして欲しい。六法を持参すること。判例、論文、法律を知ることだけではなく、現実の社会の実態についても、調査し、国・地方公共団体に出向いて、担当者と面会し、取材してもらいたい。

成績評価の方法

出席（ゼミ、見学会、合宿等）により評価する。

教 科 書

適宜指示する。

そ の 他

発表者は、レジュメを作成し、論点及び、自分の意見を発表する。全員が、議論に参加出来ることを望む。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	きたの 北野 かほる	法 A 3 選	4
演 習 II		法 A 4 選	

講義のねらい

英米法の諸特徴について具体的に理解を深める。

講義の内容・授業スケジュール

ゼミ員全員で検討のうえ選んだテキストを輪読形式で読み進める。毎回担当者を決め、テキスト内容のほか関連事項を調査・報告させ、それにつき全員で討論する。

成績評価の方法

演習 I (三年次生) はゼミでの報告・発言をもとに平常点評価。
演習 II (四年次生) は上記のほか卒業研究発表と卒業レポートにより評価。

教科書

提示する候補の中からゼミ員全員が検討して決定する。

参考書等

随時適宜紹介する。

その他

十分な事前学習が要求される。受け身の出席はしないこと。

法
律

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	きたとう たみお 佐藤 多美夫	法 A 3 選	4
演 習 II		法 A 4 選	

講義のねらい

このゼミでは、刑法上の重要問題を検討し、刑法理論を体系的に理解し、法的な思考を修得することを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

具体的には、罪刑法定主義、不作為犯 (不真性不作為犯)、因果関係、正当防衛問題、錯誤問題、責任問題、共犯問題、生命・身体に対する罪、財産に対する罪等につき、判例事例研究を通して、問題点を検討し考察する。

履修上の留意点

主体的、意欲的な学生の参加を望みます。

成績評価の方法

報告内容、質問、出席等総合して評価する。

教科書

各自テーマが異なるため特定のテキストはない。

その他

このゼミは報告者の研究発表をもとに行う。発表者は報告の一週間前までにレジュメを配布し他のメンバーはこれをもとに質問出来るようにして、当日は活発な討論に参加出来るようにしなければならない。発表者・質問者はそのテーマについて文献を収集したりその理解に努力する必要がある。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	しお いら 塩 入 みほも	法 A 3 選	4
演 習 II		法 A 4 選	

講義のねらい

行政法上の諸問題を取り上げて、演習を行います。他から教授されるだけの受動的な学問ではなく、判例及び学説を自分なりに分析・検討する作業を通じて能動的に研究し、報告し、且つ他の者と法律学的討論を行えるための能力を鍛錬することを目的とします。

講義の内容・授業スケジュール

当演習は、学生諸君の主体性を重視し、基本的には、毎回学生一人一人に研究報告をしてもらい、報告後に全員でディスカッションする、という形式で行っていきます。テーマについては、行政法総則一般、行政訴訟法、行政手続法、情報公開法などの各分野から重要なテーマを選び、学生各自の希望を踏まえた上で割り当てます。

履修上の留意点

公務員、行政書士等の国家試験受験者には特に有意義であると思われませんが、それ以外の者でも無論履修可能です。

成績評価の方法

平常点（出席・報告・発言等）により成績評価を行います。

教科書

未定

参考書等

初回授業の際に紹介します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	たか はし ひろ き 高 橋 洋 城	法 A 3 選	4
演 習 II		法 A 4 選	

講義のねらい

この演習は、法律の解釈論や政策論を越える（あるいはその基礎となる）原理的な議論に関心を持つ学生のために「法哲学演習」として開講するものである。とはいえ「法哲学」という名称からイメージしがちな抽象的・理論的なアプローチだけではなく、対象に応じて様々な方法や視角を用いて、法と人間、社会、時代、文化 etc. の問題に対して、検討を加えるつもりである。そうした中で、「法学の学習の中で培った知見を応用する」と同時に「それに縛られることのない自由な議論を交わす」、この両方が本演習の目標になる。さらに、社会科学的な文章の扱い方に慣れること、報告や討論の中で問題を掘り下げる能力、自分の言いたいことをわかりやすく他人に伝える能力、これらのトレーニングも、本演習のねらいの一つである。

講義の内容・授業スケジュール

法
律

<基本方針> 1年間を通じて扱う統一テーマを設定しそれに基づいて演習を進めていく。本年度は、たとえば「法の中の言語」、「法的論証の構造」、「共同体主義的な法理論の可能性」あるいは「現代における自然法の可能性」などのテーマから一つを選ぶことを予定しているが、最終的には適切な文献・資料の有無や参加者の意向などを勘案した上で、演習開始時の席上で決定する。全員で読むための文献も演習開始時に選定する。

<年間スケジュール> 前期は、選定した文献についての報告を軸にし、テーマに関する議論を参加者全員が共有することを目指す。その上で、後期から（進行状況によっては早まることもある）は、そこから発展したテーマやさらに議論を深めるための文献を割り当て、より各参加者の関心に引きつけた報告を行なってもらうことを予定している。

<運営方法> 毎回の演習は、報告・コメント・質疑・討論の形式で運営する。その概要および留意事項については以下の通り。

- [1] 各回の報告にあたっては、報告担当者（参加人数が多い場合はグループ単位）と、その報告に対するコメンテーターを設定する。報告者はコメンテーターに報告レジュメを事前に渡しておき、コメンテーターはそれに基づいてあらかじめ質問・批判を用意しておくこととする。報告者はもちろんであるが、コメンテーターも担当回の報告の共同運営責任者であることに留意されたい。報告は通年で最低限で2度、コメンテーターも1度は、各人が担当するよう配分を設定する（参加者の人数によってはこれ以上の回数になることも当然ありうる）。
- [2] 報告担当者は、報告担当後、次回の演習日までに、自らの報告に対する質疑や討論等を簡単にまとめた小レポートを提出しなければならない。このレポート提出をもって報告義務が完遂されたものと見なす。
- [3] もちろん、報告者・コメンテーター以外の参加者も積極的な発言が不可欠であることはいうまでもなく、これも評価対象となる。

履修上の留意点

<受講に当たっての心構え> 講義のねらいで述べたように、実際の演習では必ずしも常に純粹に思弁的な問題を扱うわけではないが、「現象への単なる感覚的反応」を克服するために、少なくとも、抽象度の高い議論にも耐える「知的体力」は参加者に要求される。本演習参加者はその点、覚悟しておいてほしい。

<次年度以降の予定> 本年度参加者が4年次に引き続き法哲学演習（高橋担当の演習II）を履修するケースも多いと思われるので、次年度の予定も参考までに記載しておく。

法哲学演習は、年度ごとになるべく交互に、現代法理論上の特定の問題を中心にするか、法思想史上の古典的文献精読に重点を置くか、いずれかのやりかたで進める予定である。2004年度は上述の通り、前者（現代法理論上のトピック）を採り上げるが、2005年度の演習は、文献精読を中心としたゼミになる可能性も大きい（詳細は未定）ことを承知しておかれない。毎回のゼミ運営方法は本年と同一である。また卒業年次生には演習での題材とは別に各自の研究テーマを持ってもらい、演習終了までに自分のテーマに関する研究発表の時間を設定し、さらにゼミ総括レポート（成績評価の方法 [3] を参照）に替わるものとして、自分の研究に関するレポートの提出を求めることになる。

成績評価の方法

以下の [1] ~ [3] に基づいて評価する。

- [1] 平常点：出席、報告・コメンテーターの義務を主とし、これに質疑・討論における発言を勘案して評価する。
 - [2] 報告担当回終了後提出のレポート（上記「講義の内容・授業スケジュール」を参照）。
 - [3] ゼミ総括レポート（全日程終了後、1月定期試験期間終了までに提出）
- 出席、報告義務を果たすことはもちろんだが、[2]、[3]の提出がなされなければ単位認定はできない。なお [2]、[3] のレポートはゼミ内で公開・共有する。

教 科 書

演習で用いる文献については上記「講義の内容・授業スケジュール」を参照。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	たけなか 竹 中 智 香	法 A 3 選	4
演 習 II		法 A 4 選	

講義のねらい

民法第4編の「親族法」と第5編の「相続法」は私たちの生活に最も身近な家族生活を規制する法律です。私たちの家庭生活を取り巻く環境は、「家制度」の存在とその解体、高度・低度経済成長期やバブル前後の経済的変化、少子化・超高齢化、女性の社会進出、戦前の家督相続から庶子均分共同相続への変遷、近年増加してきた遺言制度の利用等々に対して、日々刻々と変化しつつあります。このような変化に対して親族法、相続法がどのように対応しているか、どのような限界があり、どのように改善を図るべきなのかについて、判例を題材にした事例について、毎回学生諸君に報告をしてもらい、その報告をもとに参加者全員で検討・考察します。こうした作業を通して報告の仕方、議論の仕方、法的考察力等の取得を目指します。

講義の内容・授業スケジュール

[前期] 親族法における問題点
[後期] 相続法における問題点

履修上の留意点

講義とは違い、少人数で行う演習は、ゼミ生同士あるいはゼミ生と教員との議論が可能です。こうした議論をするためには、十分な準備とともに、毎回の出席することが大変重要となります。

成績評価の方法

報告の内容の評価以外に、毎回の出席と、出席時の参加の様子等を考慮して評価します。

教科書

道垣内弘人・大村敦志『民法解釈ゼミナール⑤親族・相続』（有斐閣）2,000円

参考書等

内田 貴『民法Ⅳ 親族・相続』（東京大学出版会）3,500円

法
律

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	たけはな 竹 花 光 範	法 A 3 選	4
演 習 II		法 A 4 選	

講義のねらい

世界の主要国——アメリカ、イギリス、フランス、ドイツ、中国など——の憲法を比較考察することにより「日本国憲法」の正しい理解を行うとともに、それら諸憲法が定める制度——例えば、議会制度、内閣制度、裁判制度、人権保障の制度など——についても個別研究を行う。

講義の内容・授業スケジュール

各自がテーマを設定し個人報告を行うことを基本とする。報告終了後、質疑を中心に全員で討論を行う。なお、合宿の際は、統一テーマを設定し、グループ報告を行うことを原則としている。

履修上の留意点

ゼミの運営はでき得るかぎり、学生の自主性にまかせているので、ゼミ活動に積極的に参加することのできる諸君の応募を期待する。

成績評価の方法

出席点やゼミ活動への参加度等を中心に総合的に判断する。

参考書等

必要に応じて適宜紹介する。

その他

個人報告は義務ではない。従って希望者のみの報告となることもある。

科目名			担当者名	配当学科	単位
演習	I	鶴井俊吉	つるいしゅんきち	法A3選	4
演習	II			法A4選	

講義のねらい

本演習は、金融取引において重要な役割を担う担保制度に関する問題を検討する。

講義の内容・授業スケジュール

本年度は、担保制度を理解するうえで必要な財産法の基礎的な問題を扱う。その方法は、具体的な事案を解決するために必要な民法の基本的な原理・原則をどのように活用し、法律構成として妥当な結論に導くかという、問題把握の仕方を重視した演習になる。

履修上の留意点

各自がテーマを設定し、個別報告を行い、それに対する質疑という形式で進めるので、積極的に討論に参加できる意欲ある学生を希望する。

成績評価の方法

課題に対するレポートとゼミでの平常点で評価する。

法
律

科目名			担当者名	配当学科	単位
演習	I	西修	にしおさむ	法A3選	4
演習	II			法A4選	

講義のねらい

本演習は、日本国憲法にかかわるさまざまな問題点について、成立過程、解釈、各国憲法との比較などを通じて討究することを主たる内容とする。それゆえ、これまで日本国憲法の基礎的理解をしてきていることが前提になる。

講義の内容・授業スケジュール

年度はじめに簡単なシラバスを配布する。前年度における活動内容は、ゼミのホームページで公表している。

履修上の留意点

まじめに出席し、積極的に発言すること。

成績評価の方法

出席、発言、課題論文などを総合的に判断する。

教科書

拙著『ここがヘンだよ！日本国憲法』（アスキー）2001年 1,500円＋税、『日本国憲法はこうして生まれた』（中公文庫）2000年 1,143円＋税、『日本国憲法を考える』（文春新書）1999年 690円＋税など。

その他

授業以外に年2回の簡単なボランティア活動、夏と冬（スキー＆スノーボード）の合宿、新入生歓迎と卒業生追い出しのコンパ、「ザ・ウエスト」（新聞およびゼミ論集）の作成などへの参加が求められる。各自がなんらかの役員（ゼミ長、レク担当、会計など）に選任される。合宿、コンパでは私の落語を聴かされることがある。
（法律と共通）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	ほら だ けいいちろう 原 田 啓一郎	法 A 3 選	4
演 習 II		法 A 4 選	

講義のねらい

講学上の理論に終始せず、現実社会に軸をおいて、理論と現実の乖離や接点を認識しながら、社会保障に関する法的問題を受講生が主体的に検討することにより、社会的事実在即しながら法学的討論が行える能力を涵養することを目的とする。その際の検討素材として政策論議や裁判例などがあるが、フィールドワークや関係機関・当事者へのヒアリングといった手法で積極的に社会保障の現場に飛び込むことにより、社会保障の法的問題を実感・抽出することを忘れてはならない。

講義の内容・授業スケジュール

社会保障法の各領域(年金・医療・福祉・生活保護・雇用・労災など)の基本的な学習を行ったうえで、受講生と相談をして決定する。
社会保障関係の行政機関、政策担当者、施設、社会保障受給者/利用者等へのヒアリングを通して、随時「社会」と接する機会を設ける。

履修上の留意点

社会保障法の習得にあたっては、憲法・行政法・民法・労働法等といった主要な法分野の素養が必要である。ゼミへの参加のみならず、他の法分野の積極的な学習が望まれる。
ゼミでの検討成果は、ゼミ論文としてまとめることを予定している。

成績評価の方法

平常点(ゼミ論文の成果を含む)

そ の 他

当演習では、受講生の積極的な勉学態度が要求される。①法的に重要な事実は何か、②問題点をどのように抽出するのか、③問題点についてどのような理論的解決を図るべきか等について、自分の頭で考えてみるのが求められる。
仲間との連帯と社会性を身につける機会として、ゼミ合宿やゼミコンパを積極的に行っている。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	ひ だ かん じ 日 笠 完 治	法 A 3 選	4
演 習 II		法 A 4 選	

講義のねらい

研究会としては、最新の憲法問題を常にフォローすることを目標とする。一方、教育的には、受講者各自が関心のある憲法問題について研究する能力を身につけることを目標とする。
担当者としては、一生涯にわたって付き合いのできる仲間づくりを考えている。

講義の内容・授業スケジュール

第1段階は、社会事象への深い関心の惹起、憲法学の基礎能力の修得(教科書レベル)。
第2段階は、専門書や法律雑誌掲載の論文を理解する能力の修得(社会で通用するレベル)。
第3段階は、各自が専門的な意見を発信することができる能力の獲得。

履修上の留意点

積極的に責任感のある学生諸君の演習参加を期待している。研究会参加者の共同学習によって、法学検定試験、行政書士試験などにも挑戦していただく。演習Ⅰと演習Ⅱは続けて履修してもらいたい。
3年次は個別演習を繰り返し行い、基礎力を充実する。
4年次は各自の研究関心により卒業論文を作成する。

成績評価の方法

3年生は、日常の研究活動について、積極性、成果などに基づき評価する。
4年生は、主として卒業論文を評価の対象とする。

そ の 他

ゼミとして夏合宿などを行う予定である。

科目名			担当者名	配当学科	単位
演習	I	藤本 茂	ふしもと しげる	法A 3選	4
演習	II			法A 4選	

講義のねらい

わが国雇用社会は、経済構造の変化に伴う雇用システムの変容、少子高齢社会の到来、労働者意識の多様化などにより大きく変わろうとしています。最近の労働基準法改正、労働契約法制、個別労働紛争処理制度などに関する議論はその表われです。この現代労働法の対象である雇用社会を知り、今までの労働法理の基礎を自ら学びとる場が演習だと思っています。

講義の内容・授業スケジュール

本演習では、テーマを各自受講生が関心のあるところから、自ら選択し勉強し、理解を深めたところで発表し、議論をする方法をとっています。特に発表し議論するところに重点を置いています。

夏季には研究合宿を行いません。

履修上の留意点

演習のいいところは、大いに勉強し、恥をかくところにあります。出席は大前提。評価はそのあと。

ゼミ運営に積極的に関わることも大切だと考えています。

講義科目として、憲法、民法総則、債権総論・各論、社会保障法、社会政策は、ぜひとも、履修してください。

成績評価の方法

出席、積極的発言、ゼミ運営への積極的参加など。平常時の積極的な姿勢で評価します。追再試はありません。

教科書

開講時に話しをします。

参考書等

必要に応じて、〈調べ方〉を教えます。参考書というより法律雑誌の論文等が重要になります。自分で探すことが勉強の第一歩と思っています。

科目名			担当者名	配当学科	単位
演習	I	間 淵 清 史	ま ぶち きよ し	法A 3選	4
演習	II			法A 4選	

講義のねらい

この演習は、参加者が民事訴訟法の講義で習得した基礎的知識の幅を広げ且つその理解度をより一層深めることを目的とします。民事訴訟理論の緻密さとダイナミックさを体得してもらいたいと考えています。

講義の内容・授業スケジュール

民事訴訟法に関する重要判例の中から毎回1～2を選んで、報告書による報告と参加者全員での討論を行うことを予定しています。実際の法廷見学にも行きたい。

履修上の留意点

演習参加者は、毎回予習のうえ出席し、主体的に演習に参加し、且つ積極的に発言する必要があります。

成績評価の方法

演習参加度（出席態度、報告内容、発言の有無・内容等）に依拠して行います。

教科書

『判例講義 民事訴訟法』（悠々社）3,500円 2001年。その他については、追って指定する。

参考書等

『民事訴訟法の争点〔第3版〕』（有斐閣）2,476円 1998年

『民事訴訟法判例百選〔第3版〕』（有斐閣）2004年

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	やまぐちくに お 夫 山 口 邦 夫	法 A 3 選	4
演 習 II		法 A 4 選	

講義のねらい

1・2年次において、刑法総論及び刑法各論ともに履修済みの3年生を中心に進める刑事法演習である。当然、少年法をも含む、刑事政策的な問題意識を持つことが望まれる。

講義の内容・授業スケジュール

1年間を下記の4期に分けて、討論の問題を考えている。
 第Ⅰ期（4・5月）罪刑の法定をする政治的意味及び犯罪不成立の事由について。
 第Ⅱ期（6・7月）刑事責任のとらせ方と少年事件における、いわゆる保護処分について。
 第Ⅲ期（9・10月）生命・身体に対する侵害犯罪と財産犯の諸問題について。
 第Ⅳ期（11・12月）いわゆるセクハラ問題と性犯罪との関連と峻別について。

履修上の留意点

毎時間出席し、討論に積極的に参加できる者が望ましい。また年4回ぐらい発表の機会があるので、自分の意見を発表する能力が必要である。

成績評価の方法

演習の成績評価は、講義科目と違い試験は行わない。毎回発表する際のレジメの作成及びその発表内容、さらに他人の発表に対しての討論の仕方・内容などを総合して評価する。したがって、一ヶ間、出席すれば、単位取得については問題はない。

教科書

判例を中心に、法解釈を考えるので判例集そのものが教材になる。判例を解説した書物なども参考になるが、毎時間、資料については、注意するので、あらかじめ指定する書物はない。

法
律

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	やま だ やす ひこ 山 田 泰 彦	法 A 3 選	4
演 習 II		法 A 4 選	

講義のねらい

会社法の重要問題を中心に、判例・学説を検討することで、会社法制度についての基本的な理解を深めると同時に、事実から法的問題を発見し、問題を法的に分析して法的論理を展開する基礎的な力を身につけることを目的とします。そのため、判例研究と事例研究を取り混ぜながら、研究する予定です。

講義の内容・授業スケジュール

前期と後期に私の方から要項を配布し、演習の内容とスケジュールを相談します。基本的には、前期は、会社法総論、株式会社の設立、株式を、後期には、株主総会、取締役・取締役会を研究する予定です。夏は、合宿を行い、株式会社法に関する法律討論会や、最新判例の研究を行います。そして、2月にはゼミ会誌（昇山会誌—最新号は、7号です）を刊行します。

履修上の留意点

ゼミに積極的に参加して下さい。

成績評価の方法

レポーターとしての報告を中心に、平常点を加味して評価します。

教科書

会社法判例百選（第6版）（有斐閣）1,900円

その他

ゼミは、3人一組で班を構成し、レポーターの班と、質問班を中心にゼミをすすめます。ゼミは、良い友人、先輩、後輩との出会いの場でもありますので、勉学や課外活動を通して活発な充実したゼミにしたいと思います。2年に1度、ゼミのOB会を開きますので、在ゼミ生の皆さんにはお手伝いをお願いすることにもなります。

なお、ゼミ生の募集は、新3年生です。

科目名	担当者名	配当学科	単位
外書講読Ⅰ(英書)	きたの 北野かほる	法A・法B3選	4
外書講読Ⅱ(英書)		法A・法B4選	

講義のねらい

イギリス法を素材に、法についての入門的理解を英語の文章から理解する。

講義の内容・授業スケジュール

A. W. B. Simpson, *Invitation to Law* をはじめから順次講読していく。担当者による翻訳を全員で検討しながら理解を深める。

履修上の留意点

報告担当者は担当部分の全訳を作ってこれを読み上げるが、他の受講生も毎回下調べをしてること。随時指名してその者の翻訳案を提示させる。

成績評価の方法

出席点および報告成果評価。平常点であるが受け身の出席は評価の対象にならない。

教科書

A. W. B. Simpson, *Invitation to Law* (1988)
購入する必要はない。コピーで配布する。

参考書等

辞書・参考書・事典等は随時指示する。

法
律

科目名	担当者名	配当学科	単位
外書講読Ⅰ(英書)	かねこしょうへい 金子昇平	法A・法B3選	4
外書講読Ⅱ(英書)		法A・法B4選	

講義のねらい

講義のねらいは、アメリカの憲法や法律、あるいは重要と思われる論文や判例を読むことによって、単なる法知識を得ることのみならず、その基本的な考え方をつかみとっていききたい。すなわち英語を読むだけでなく、考える講義をしていきたい。

そのためには、基礎的学習として法律英語を知ることであり、英単語やテクニカル・タームを豊富に身につけることである。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、主にアメリカ合衆国憲法等の基本的なものを選び講読する。憲法は、構成要素としての統治機構(立法権、行政権、司法権)や、基本的人権について、どの様に規定しているのか、それぞれの意義及び内容について検討してみる。

後期は、受講生の希望をとり入れながら、あらためて指示したい。

履修上の留意点

英和辞典(和英辞典)は、持参すること。英単語の意味がわからないからこそ、辞典が必要である。受講生は、出来るだけ多く、辞典に当たることを身につけて欲しい。

成績評価の方法

講義への出席状態と、発表の評価で成績評価を行う。

教科書

開講時にプリントを配布する。

参考書等

講義内容に応じて適宜指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
外 書 講 読 I (英書)	まきの かつお 夫 牧野和夫	法A・法B 3選	4
外 書 講 読 II (英書)		法A・法B 4選	

講義のねらい

英文の法律文書とりわけ英文契約書を読みこなすための基本的な表現を修得する。

講義の内容・授業スケジュール

回数	前期講義内容	回数	後期講義内容
1	オリエンテーション	1	各種英文契約の読解 (1)
2	法律英語の基礎表現 (1)	2	各種英文契約の読解 (2)
3	法律英語の基礎表現 (2)	3	各種英文契約の読解 (3)
4	法律英語の基礎表現 (3)	4	各種英文契約の読解 (4)
5	英文契約書の目的	5	各種英文契約の読解 (5)
6	英文契約の成立要件	6	各種英文契約の読解 (6)
7	英文契約書の構成	7	各種英文契約の読解 (7)
8	英文契約書重要条項の解説 (1)	8	各種英文契約の読解 (8)
9	英文契約書重要条項の解説 (2)	9	各種英文契約の読解 (9)
10	英文契約書重要条項の解説 (3)	10	各種英文契約の読解 (10)
11	英文契約書重要条項の解説 (4)	11	レター・オブ・インテント (1)
12	英文契約書重要条項の解説 (5)	12	レター・オブ・インテント (2)
13		13	レター・オブ・インテント (3)
14	前期の総括	14	後期の総括

法
律

成績評価の方法

学年末に実施される筆記試験(教科書・ノート持込み可)で100%評価します。

教科書

牧野和夫他著『国際契約と紛争処理の実務』(中央経済社)

その他

難しい英文法律文書を学年末には理解することができるように、一緒に頑張りましょう。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
外 書 講 読 I (仏書)	あらかきの まさたか 荒木正孝	法A・法B 3選	4
外 書 講 読 II (仏書)		法A・法B 4選	

講義のねらい

わが国が近代国家として出発するとき、ヨーロッパ諸国の法制度や政治制度に多くを学んだ。そして、その諸制度は基本的に現在もわが国を支える枠組みとなっている。これらの諸制度が、本来どのような考え方を基礎として生まれ、どのような社会的、政治的背景のもとに発展してきたのかについて、フランス語の原書の講読を通して母国法の思考や事情を学び、わが国の制度をより広い観点から深く理解する力をつけてもらいたい。

講義の内容・授業スケジュール

教材は、受講生の語学力に合わせ、公法や私法の基本的な考えや政治の仕組みをやさしく解説した文献を選ぶつもりである。

履修上の留意点

履修にあたっては、基礎的なフランス語の力が必要であるが、なによりも継続して文献の解説に取り組む熱意のあることが求められる。

成績評価の方法

成績は、出席の回数と平常の努力を評価して行う。ペーパーテストは行わない。

教科書

教材については、必要に応じてプリントを配布する。

参考書等

参考書は、授業の内容に応じてその都度指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
外書講読Ⅰ(中国書)	江 林 英 基	法A・法B 3選	4
外書講読Ⅱ(中国書)		法A・法B 4選	

講義のねらい

現在の中国は経済の改革・開放政策をとっており、これを実現するため、1982年に四回目の新憲法を制定・施行し、その後三回にわたる改正を行った。その他の法律もこの憲法に基き、“雨後春筍”のようにつぎつぎ公布された。“一衣帯水”の隣国である中国を認識することが必要である以上、その法制から着手しなければならないのである。

講義の内容・授業スケジュール

この授業は中国憲法138条の条文に書かれている中国の内政と外交方針、国民の基本権利と義務、人民代表大会の権限、人民政府の組織などを主な内容とする。

履修上の留意点

授業の進度は一週間5ページ程度である。学生諸君に朗読させ、法律用語、条文の構造(文型)を説明しながら立法理由と現在状況を論評する。

成績評価の方法

出席率、学習態度、レポートなどを判断基準として総合的に評価する。

教科書

コピーを配布する。

参考書等

江英居著『中国憲法』(大学書林) 3,500円、『中華人民共和国法律彙編』(北京人民出版社)

その他

学生への要望：授業中私語禁止。

法
律

科目名	担当者名	配当学科	単位
登記法	田 沼 浩	法A・法B 3・4選	4

講義のねらい

初めて登記法を学ぶ者にも、以前勉強したことのある者にも、民法・商法の手続法としての「不動産登記法・商業登記法」が現在の取引社会においてどのような役割を担っているのか、商法のより深い理解を図ります。また、登記簿等のオンライン閲覧や今後予想されるオンライン登記申請に伴う情報リテラシー(活用)能力を養います。

講義の内容・授業スケジュール

(前期) (1・2) 登記法概論 (3) 不動産登記法総則・商業登記法総則 (4~6) 民法典物権編総則にかかる不動産登記 (7~9) 所有権にかかる不動産登記 (10~13) 民法典相続編にかかる不動産登記
(後期) (14~18) 担保物権にかかる不動産登記 (19) 商法典第一編総則第三章商業登記 (20~25) 商法典第二編会社(会社法)及び有限会社法にかかる商業登記 (26) まとめ

履修上の留意点

不動産に関する取引全体の流れに対して、情報として重要な役割を果たす不動産登記を理解することを旨とし、会社法と相関させることによって会社の起業や取引先の情報収集に役立つ商業登記法の知識を最低限習得できるように努めます。受講者は民法典第二編物権、第三編債権、第五編相続、商法典第二編会社の履修を望みます。また、この講義を受講することが望ましい者として、将来、不動産・金融関係の会社に就職を希望する者、起業して自営業を目指す者、そして司法書士試験を受験したいと考えている者に限らず、広く対象とします。

成績評価の方法

学年末試験の結果と提出物(前期レポート)の内容に依拠して行います。問題作成及び成績評価にあたっては、講義に積極的に参加した人が有利になるように配慮します。

教科書

法務省民事局編『不動産登記実務〔五訂版〕』(法曹会) 4,000円
『模範六法』(三省堂) 5,200円

参考書等

遠藤浩・青山正明編『別冊法学セミナー 基本法コンメンタール〔第四版補訂版〕不動産登記法』(日本評論社) 3,500円(初学者は基本法コンメンタールを直ちに購入しなくても良い。)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
税 法	岸 田 貞 夫 <small>ましだ さだ お</small>	法A・法B3・4選	4

講義のねらい	税法の体系を法律的な見地から検討し、所得税法等の規定の解釈を中心として、税法の意義、役割、問題点等を研究する。
講義の内容・授業スケジュール	税法の意義、機能、体系、租税法律関係の特色、租税の確定手続き、所得税法における納税義務者、課税所得の意義、所得の種類、収入及び必要経費の範囲等について、順次、講義する。
履修上の留意点	予習の上、問題意識をもって授業に参加されたい。
成績評価の方法	前期および後期の試験の結果により評価する。
教科書	岸田貞夫著『税法としての所得課税』（税務経理協会）2,900円
参考書等	金子宏著『租税法』（弘文堂）
その他	授業は講義方式で行う。なお、レジュメを配付する予定である。

法
律

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
地 方 自 治 法	富 井 幸 雄 <small>とみ い ゆき お</small>	法A・法B3・4選	4

講義のねらい	日本国憲法下における地方自治の法制度を体系的に理解する。すなわち、昭和22年に制定された地方自治法が具体的にいかなる意味をもち現実化されているか、憲法の意図する地方自治の理念がそこに具体化されているかを批判的に検討する。平成12年度より、地方分権を旨とした新しい地方自治制度がスタートする。この改革がいかなる意義をもつのかをきみしめながら、新地方自治法の理念を理解する。
講義の内容・授業スケジュール	地方自治法の体系に沿って講義を行う。前期は、憲法と地方制度の関係を比較法的ならびに歴史的に考察を行った後、地方公共団体の概念、住民の地位及び権利、自治立法権について議論する。後期は、地方公共団体の事務、組織、財政、地方公務員制度について勉強する。教科書を基本に講義するが、毎週レジュメを配布し、それに沿って授業を行う。判例等の資料も適宜配布する。
成績評価の方法	前期試験（40%）と学年末試験（60%）で総合的に評価する。
教科書	原田尚彦『地方自治の法としくみ』（学陽書房）2,000円
参考書等	『地方自治判例百選（第2版）』（別冊ジュリスト）。 なお制度の概要を大まかに理解するには、鈴木正明他『図解 地方自治法』（良書普及会）は便利。地方自治の制度的問題を勉強するには、新藤宗幸『地方分権』（岩波書店）、同他『概説日本の地方自治』（東京大学出版会）は必読。
その他	講義では頻繁に法律の条文に言及するので、六法（『地方自治小六法』（学陽書房）があるがポケット六法でよい。）は必携。その都度チェックすること。平成12年度には地方自治法の大規模な改正がなされたので、必ず平成13年度版を購入すること。憲法や行政法の履修者が望ましいが、少なくとも両法分野について高い関心を持つこと。わからないことは遠慮なく質問に来て欲しい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経 済 法	わか ばやし ありさ 若 林 亜理砂	法A・法B3・4選	4

講義のねらい

経済法の中心をなす独占禁止法を理解をすることを目標とする。独占禁止法は、市場における競争秩序の維持をになうものであるが、これは事業者の活動にかかわるのみならず、私たち消費者の生活にも密着している。この点を念頭に置き、講義では、なるべく多くの事例を紹介することにより、独占禁止法の解釈や運用について具体的なイメージをもって理解できるように進める予定である。

講義の内容・
授業スケジュール

以下のトピックについて講義を行う予定である。

- 1 独占禁止法の基礎概念
- 2 不当な取引制限
- 3 私的独占
- 4 一般集中規制
- 5 市場集中規制
- 6 不公正な取引方法
- 7 公正取引委員会
- 8 私的エンフォースメント・刑事罰

法
律

成績評価の方法

期末試験により評価を行う。

教 科 書

丹宗・厚谷編『新現代経済法入門（第2版）』（法律文化社）

参 考 書 等

別冊ジュリスト『独禁法審決・判例百選（第六版）』（有斐閣）

そ の 他

授業は毎回配布するレジメに基づいて進めることとする（基本的には教科書に沿ったものとなる予定である）。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
消 費 者 法	こ う の 野 ひ ろ の り 矩	法A・法B3・4選	4

講義のねらい

今日、消費者を取り巻く生活環境は、訪問販売・通信販売・割賦販売契約、保証契約・クレサラ契約・電子商取引・介護契約・弁護士や医師などの専門家との契約などの例に見られるように多様化・複雑化・専門化の一途をたどっている。本来、消費者と事業者との間のいわゆる消費者契約自体は、自由・公正・安全に締結されることが望まれるものである。しかし、「消費者と事業者との間の情報の質及び量並びに交渉力の格差」のあることは否定できず、結果として消費者側に不本意な自己責任を強いることになり適当ではなく、消費者の利益の擁護と消費者が自己責任に基づいて契約を締結できるための諸環境の整備が不可欠である。そのための法制度としては、民法を基本として、「消費者契約法」、更には各種の取引に対応した特別法(特定商取引に関する法律・製造物責任法他)とが適用法令として制定されており、そのため消費者にとっては極めて複雑な法体系となっている。このうち「消費者契約法」は、2000年5月12日に公布、2001年4月1日から施行されており、「事業者の一定の行為により消費者が誤認し、又は困惑した場合について契約の申込み又はその承諾の意思表示を取り消すことができること」とするとともに、事業者の損害賠償の責任を免除する条項その他の消費者の利益を不当に害することとなる条項の全部又は一部を無効とする事により消費者の利益の擁護を図ること」を目的として日常生活における消費者契約の基本法としての意味を持たせ、消費者が日常生活で締結する全ての消費者契約に対して例外のない適用を意図して制定されたものである(同法1条)。本講義では、この自由で公正・安全な消費者契約が締結されるための環境整備を目的とした同法を中心として以下のスケジュールにしたがった講義を計画している。

法
律

講義の内容・授業スケジュール

- 1 総論(消費者契約の特質、消費者問題の多様性)
- 2 諸外国の法制度
- 3 消費者契約法の概要
- 4 特定商取引法(訪問販売、通信販売、電話勧誘販売、連鎖販売取引、特定継続的役務提供)
- 5 クレサラ契約と貸金業法・利息制限法
- 6 製造物責任法
- 7 消費者紛争の解決のための法や制度
 - (1) 小額訴訟(訴状の書き方、申立て手続き等を含む)
 - (2) 調停制度(調停申立て手続きを含む)
 - (3) 各種ADR

履修上の留意点

消費者契約関連法規は、体系的であるとは言えないため、そのため可能な限り継続し受講することを心掛けて頂きたい。

成績評価の方法

期末試験の成績によって評価する予定である。出席点を加味するかどうかは未定。

教 科 書

未定。授業の始めに指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
知的財産権法	もりおかかずお 盛岡一夫	法A・法B3・4選	4

講義のねらい

知的財産権法には、狭義の工業所有権法（特許法・実用新案法・意匠法・商標法）の他に著作権法等が含まれている。知的財産権法は知的所有権法または無体財産権法といわれることもある。

知的財産権法全般についての基礎理論を理解できるように、わかりやすく講義したいと考えている。学説・判例の対立している点については、これに関連する学説・判例を紹介し、問題点の所在をあきらかにしたい。

特許法においては、発明の定義、特許を受けるための要件、従業者が発明をした場合の法律関係、特許権の侵害に対する救済方法、実施契約等について、実用新案法においては、特許法との相違について、商標法については、商標登録要件および類似商標について詳しく解説する。著作権法および不正競争防止法についても講義する。

講義の内容・授業スケジュール

前期：4月・5月・6月 特許法・実用新案法、7月 意匠法
後期：9月・10月 商標法、11月 著作権法、12月 不正競争防止法

成績評価の方法

後期に行なう平常試験および学年末試験によって評価する。

教科書

盛岡一夫『知的財産法概説』（法学書院）

参考書等

特許庁編『工業所有権法逐条解説』（発明協会） 中山信弘『工業所有権法上』（弘文堂）
鴻・紋谷・中山編『特許判例百選』（有斐閣） 齊藤・半田『著作権判例百選』（有斐閣）

法律

科目名	担当者名	配当学科	単位
民事執行・保全法	はしもとさとし 橋本 聡	法A・法B3・4選	4

講義のねらい

この講義では、民事執行法と民事保全法を取り上げます。前者は、債権者・債務者・第三者の諸利益の調整を行い、かつ、権利を迅速に実現するための仕組みを定めたものであり、後者は、そのような権利の実現を保全するための仕組みを定めたものです。講義では、これらの法律が権利実現のためにどのような仕組みを予定しているのか、そして、それがどのような基本原則に基づいて動かされているのか、ということについて理解することを主たる目的にしたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

第一回目の講義の際にシラバスを配布する予定です。

履修上の留意点

民事訴訟法および民法（特に担保物権）を履修しているか、または併行して履修していることが望ましい。

成績評価の方法

年度末の定期試験（70%）および前期末の中間テストあるいはレポート（30%）によって評価を行います。尚、中間テストあるいはレポートの返却および評価の公表は予定していません。

教科書

山本戸克己『民事執行・保全法講義〔補訂二版〕』（有斐閣ブックス）1999年 およびコピー資料を予定していますが、場合によっては変更の可能性があります。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
倒 産 処 理 法	あめ 雨 みや 宮 まさ や 真 也	法A・法B3・4選	4

講義のねらい

主として、破産法についての基礎理論と現行法の解釈論を中心に講義する。関連して会社更生法、民事再生法についても講義し、わが国の倒産処理体制の総合的理解が得られるよう講義する。

法理論は社会現象をリードするとともに、社会現象はまた法理論をリードする。両者の相互関係をふまえつつ、学生諸君の法的思考力の向上に努めたい。

講義の内容・授業スケジュール

教科書の構成に従って、順次講義を進める。

履修上の留意点

破産法は、法律のつぼと云われるように、実体法、手続法、刑事法から構成され、民法、商法、労働法等々を、いかに修正するか of 学問でもある。破産法の学習を通して、学生諸君が実体法と手続法を総合して理解する力を養うことを期待する。

成績評価の方法

定期試験の成績により評価する。

教 科 書

山本和彦著『倒産処理法入門』（有斐閣）

参 考 書 等

霜島甲一著『倒産法体系』（勁草書房）

そ の 他

授業は講義方式となるが、受講生の数によっては、ゼミ方式をとり入れることもある。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
法 哲 学	たか はし ひろ き 高 橋 洋 城	法A・法B3・4選	4

講義のねらい

法哲学という学問の本来の役割は、法に関する思考の「解体」から始まるといってもいいように思う。本講義も、これまで諸君が学んできたであろう知識や常識に、いったん疑いの目を向けてもらうことを第一の目標とする。「法」というものが本当に存在しているのだろうか？ルールとか客観的基準が存在しているというのは幻想ではないだろうか？このような疑問が湧いてきて、「当然だと思っていたこと・わかっていたはずのことがかえってわからなくなる」ところに「哲学」としての「法哲学」講義の意味がある。しかし「あらためて考え直してみる」という過程で、様々な思想や思考法に触れ理解を深めることは、将来、自らの力であらためて根本的な問題を考えてゆくための手がかり・突破口を得ることもつながるはず。その意味で、他の法律学の理解を深める一助としても有益なものになるだろうと、担当者としては考えている。また文献抜粋等を中心とした資料を配布することもあるので、通常法律学とはことなる文献に触れる機会を持つこともできるだろう。

法
律

講義の内容・
授業スケジュール

まず始めに、法や法律学にかかわる基本的な諸概念、および法理論史において繰り返し論じられてきた諸トピックをとりあげ、その結論のみならず問題設定方法について批判的に検討する（第1部）。次にその成果を応用する形で、法の客観性、法解釈の性質という問題について集中的に検討していく（第2部）。講義はこの2部構成に沿って進行するが、その範囲内では受講者の理解度、興味等によって、細目の変更等を行なうこともありうる。

第1部 「法」の存在を多角的に検討するための概念装置

- [1] 自然法論と法実証主義、権利概念についての諸見解など、法理論上の基本的な考え方を紹介・再確認する。
- [2] ルールとは何か、その中で法の独自性とは何か。「法と道徳」や「法と強制」などのテーマをとりあげてこうした問題を考えていく。

第2部 法解釈および法の客観性に関する理論の検討：「法が存在する」とはどういうことか、という問いを機軸として考察していく。

- [1] 批判的検討のための準備作業：法解釈の様々な技法、概念など、法的思考の道具立てを再確認する。
- [2] 概念法学という用語とそれをめぐる近代法学史、および自由法運動や英米圏におけるリアリズム法学などこれに対抗する法理論史を採り上げる。
- [3] 日本における法解釈の性質をめぐる論争の意義を若干詳細に紹介・検討する。さらに法解釈学論争以降の我が国における諸理論についても概括的に触れる。
- [4] いわゆる哲学的解釈学の成果：ガダマーをはじめとする哲学的解釈学の紹介と、法学におけるその意義について考えてみる。さらにこの文脈の中でドゥオーキンの法解釈理論について紹介、検討する。
- [5] その他の現代法理論から、日本の法解釈学にも影響を与えている諸動向を紹介し、法の客観性の問題について検討する。
- [6] 全体のまとめ

履修上の留意点

講義に際しては、受講者が、本講義履修対象年次までの必修科目について、最低限でもその基本的・原理的部分にすでに理解があることを前提に進める。その点に不安がある場合には受講にあたって十分な自助努力が必要となることを了解しておいて欲しい。

成績評価の方法

- 次の[1]～[3]を総合して評価する。
- [1] 年度末の定期試験（主たる成績評価材料）
 - [2] 上記第1部終了時に行なう小テスト
 - [3] その他授業時間内に小作文を課する場合はこれをも評価材料に含める（講義スケジュールとの関係で実施できない可能性もある）。

教 科 書

特定の教科書を、直接試験範囲に指定したり、試験の際の持ち込み対象にしたりすることはしない。しかし何らかの概説的な書を手元に置いて講義に望むことを推奨する。次項の参考図書参照。

参 考 書 等

- 例として以下のものを上げておく。
- ・三島淑臣編『法哲学入門』（成文堂）2,200円
 - ・田中成明『法理学講義』（有斐閣）3,100円
- ここに上げたもの以外の概説的な参考図書については開講時に紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
法律学特殊講義	せきぐちまさお 関口雅夫	法A・法B3・4選	4

講義のねらい

本年は、航空宇宙法のうち、国際航空運送法の基礎理論を講義いたします。
航空旅客運送にあつては、エアーラインと旅客との間には、エアーラインが「安全に目的地まで運びます」と約束し、それを対価に旅客が「運賃を払います」と約束する契約が存在しています。けれどもエアーラインが事故を起こし、安全に目的地まで運ぶという約束を反古にした場合には、エアーラインは、怪我をした旅客自身又は死亡した旅客の遺族に補償をすることが求められます。けれども、東京・ニューヨーク間旅客運送のような国際運送における航空事故の場合は、わが国の商法の規定の準用では、事態に対応することが出来ません。そこには、世界の各国が国際航空運送契約を律する条約を定める必要が生まれています。これまでは、1929年ワルソー条約という国際航空運送条約により事態の処理をしてまいりましたが、今後は、2003年11月4日に発効した新しい国際航空運送条約に従い、新しい理論のもと事態を処理することが可能になりました。本講義は、新条約の規定内容をやさしく解説いたします。将来航空関係の仕事に就きたいと考える諸君の受講を歓迎します。

講義の内容・
授業スケジュール

前期は、1999年モントリオール条約の適用範囲と国際航空運送の定義（4月）旅客の死亡又は、身体の傷害並びに手荷物の損害に就いての運送人の責任と損害賠償の範囲（5月6月）、延着、責任の免除（7月）を研究し、後期は、旅客の死亡又は傷害の場合の賠償（9月）、通貨の換算、責任の限度の見直し（10月）、責任の限度に関する約定、契約上の規定の無効、前払金、裁判管轄（11月）、訴えを提起する期限（12月）を研究します。

履修上の留意点

条約の研究は、正確に基本概念をマスターすることから始まります。予習・復習を心がけることが望まれます。

成績評価の方法

学年末試験の成績を以って評価いたします。下記の指定論文をよく読み、基礎的な問題を正確に把握することがのがぞまれます。

教科書

1999年モントリオール条約は2003年11月に批准されましたので、未だ教科書は出来ておりません。もっとも、講義担当者は、同条約に関する論文を、すでに日本語、英語及びフランス語で20数編以上公刊しておりますので、最初の講義日にそのリストを配ります。

科目名	担当者名	配当学科	単位
財政学	はんやとしひこ 半谷俊彦	法A・法B3・4選	4

講義のねらい

政府（国や地方自治体）の経済的役割は市場経済を補完することであり、これには①資源の効率的配分、②富と所得の再分配、③経済の安定化がある。この授業では、こうした目的を達成するためには、政府がどのように制度を持ち、どのように行動すべきであるのかを、主にお金の集め方と使い方という観点から学ぶことを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

- 前期は政府が持つ経済手段（財政制度）を学ぶ。
1. 予算制度（政府によるお金の管理）
 2. 政府支出（政府によるお金の使い方）
 3. 租税制度（政府によるお金の集め方）
 4. 財政調整（国と地方自治体間の任務と財源の分け方）
- 後期は政府の経済活動（財政政策）を学ぶ。
1. 資源の効率的配分（政府による財・サービスの供給）
 2. 富と所得の再分配（所得格差の縮小）
 3. 経済の安定化（景気変動の抑制、経済成長の促進）

履修上の留意点

財政学は、政府の活動を通じて私たち国民の生活を向上させるにはどうすべきかを考える学問である。授業では原理・原則を中心に学習を進めるが、そうした理論は実際の政治状況との関連の中で始めて意味を持つ。日頃から新聞に目を通し、現在は何が問題となっているかを知っておくことが望まれる。

成績評価の方法

原則として前期末および学年末の試験により評価するが、出席状況も加味する。

教科書

里中恒志・八巻節夫編著『新財政学〔改訂版〕』（文眞堂）2002年発行

科目名	担当者名	配当学科	単位
国際関係論	みなみやまあつし 南山淳	法A・法B3・4選	4

講義のねらい

近代ヨーロッパに成立した近代国際社会は、戦争による世界秩序の崩壊と新たな世界秩序の創造というサイクルを描きながら、地球全体を覆うまでにその規模を拡大してきている。他方冷戦構造の崩壊、グローバル化の拡大、米国における同時多発テロ、イラク戦争等に象徴されるように、近年の国際関係は激しく変動し、複雑化の一途をたどっている。

本講義の目的は、伝統的な国家間関係とトランスナショナルな関係が相互に影響を与え合う現代国際関係の全体像を構造的に理解することにある。構造的な理解とは、近代から現代にいたる国際関係のダイナミズムのなかで、持続する領域と変容する領域を画定していく作業に他ならない。そのためには、歴史と理論を別々に考えるのではなく、共通の視角を設定して理解することが不可欠である。現実の国際政治構造の変動とともに学問としての国際関係論のあり方も大きく変化しており、できるだけ最新の研究動向とカレントな問題を関連させながら、講義を進めていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、主権国家、国際的アナーキー、権力政治、安全保障、相互依存など、国際関係論の基本概念的な理解と主要理論の解説に重点をおき、後期は、国際組織、地域紛争、グローバル経済、地球環境問題、ジェンダーなど、現代国際関係の諸問題を近年の（特に理論的な）研究動向と併せてとりあげる予定である。

履修上の留意点

政治経済、国際関係史、時事問題に関する基本的な知識を整理したうえで受講すること。

成績評価の方法

学期末試験およびレポートにより評価する。

教科書

南山淳著『国際安全保障の系譜学—現代国際関係理論と権力／知—』（国際書院）
進藤榮一著『現代国際関係学—歴史・思想・理論—』（有斐閣）

参考書等

国際関係論を体系的に学習するうえで必要な文献リストを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
経済政策	もり おか じん 森 岡 仁	法A・法B3・4選	4

講義のねらい

経済学の実践部門としての経済政策が自由主義経済に成立した過程と、そこではたす役割を明らかにする。人口高齢化や少子化の経済的帰結にも言及し、最後に高齢化社会における経済政策と人口政策の関係を論ずる。

講義の内容・授業スケジュール

I. 現代経済と経済政策 II. 経済政策学の発展 III. 現代経済政策の課題 IV. 経済の成長政策 V. 経済の安定政策 VI. 産業組織政策 VII. 社会均衡化政策 VIII. 経済政策と人口政策

履修上の留意点

日常生活に生起する経済問題に日頃から関心を抱き、自分達の身の回りにある経済問題の解決手段として経済政策を考え、学ぶことが大切である。

成績評価の方法

学年末の定期試験、授業の出席状況

教科書

森岡他著『現代経済政策』（千倉書房）1975年

法
律

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会政策	はら だ けいいちろう 原 田 啓一郎	法A・法B3・4選	4

講義のねらい

社会政策は、市場経済の限界や市場経済が生み出す弊害から、人々を保護し、国民生活のリスクを社会的に軽減、防止する目的で発展してきたものである。本講義では、社会政策の理論的理解を行なうとともに、社会政策の過去と現状を再評価しながら、社会政策の課題を展望することを目的とする。具体的には、労働政策・社会保障政策について、法学・経済学・社会学・政治学などの知見を用いながら、理論的課題を学際的かつ多角的視点で理解を深める。

講義の内容・授業スケジュール

- I 社会政策の原理
 - 1 社会政策とは
 - 2 社会政策の歴史
 - 3 福祉国家と福祉社会
- II 社会政策の諸相
 - 1 労働時間と社会政策
 - 2 賃金と社会政策
 - 3 労働市場と社会政策
 - 4 所得保障と社会政策
 - 5 サービス保障と社会政策
- III 社会政策の理論的視点

成績評価の方法

原則、筆記試験の結果によって成績判定を行う。出席はとらない。ただし、出席せずして単位を取得できるほどやさしい評価ではないことに留意されたい。

教科書

講義開講時に指定する。

参考書等

参考文献については、適宜指示する。

その他

日頃より新聞、雑誌等で社会の動向を注視してほしい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
実務演習Ⅰ	なかの たつ ひさ 中野辰久	法A3・4選	4

講義のねらい

本演習は、憲法を中心に演習を行っていきます。特徴としては、弁護士が担当することで実務における法の適用のされ方を踏まえた、憲法の諸論点の理解並びに法解釈能力を養うことを目的とします。

講義の内容・授業スケジュール

憲法の中でも基本的人権論を中心に取り上げ、それに関連する形で統治機構論・憲法訴訟論を加味していく予定です。

検討テーマの一例を挙げると下記のとおりです。

- 1 基本的人権総論
- 2 基本的人権の限界－公共の福祉論
- 3 精神的自由権を規制する法律の合憲性審査基準
- 4 経済的自由権を規制する法律の合憲性審査基準
- 5 社会権を巡る問題
- 6 法の下の平等

履修上の留意点

演習（ゼミ）形式を想定しておりますので、出席が必須と考えます。また、本演習を受講した後の復習をしていただきたいと思います。

成績評価の方法

演習（ゼミ）形式を想定しておりますので、出席とレポートで評価する予定です。

教科書

芦部信喜・高橋和之補訂『憲法第三版』（岩波書店）
芦部信喜・高橋和之・長谷部恭男編『別冊ジュリスト 憲法判例百選Ⅰ・Ⅱ（第四版）』（有斐閣）

参考書等

演習の都度、レジユメを配布する予定です。

その他

弁護士の業務内容その他の法律実務の話等も適宜行っていきたいと思っています。

科目名	担当者名	配当学科	単位
実務演習Ⅱ	つるい しんきち うのの まさよし 鶴井俊吉・上野雅祥 こばやし ひとる ほまなか よしひこ 小林 寛・濱中 善彦	法A3・4選	4

講義のねらい

本演習の特徴は、①法科大学院（ロー・スクール）への準備段階として、専門領域について精通している経験豊かな弁護士を中心に、模擬授業を共同で行うこと（共同で演習を担当するのは、前年度に続き3回目である）。②法曹になるための前提としての大学院試験（ロー・スクール）等を念頭に入れている演習であること、の2点である。

講義の内容・授業スケジュール

演習内容は、三名の弁護士と相談して決定するが、基礎民法演習で学んできたことを前提として、ケース・スタディーなど実践的な内容の比重が大きくなると思われる。具体的事案の解決にあたって、今まで学んできた民法の基本原則をどのように活用し、法律構成して妥当な結論に導くかという、理論的思考を重視した演習になる。そのために、積極的に討論に参加できるように希望する。

検討するテーマは、受講者決定後にプリントを配布する予定です。

履修上の留意点

受講者が多数の場合は、最初の演習の時間に選択を行う予定です。全員が成績証明書を持参して下さい。

成績評価の方法

出席状況と平常点で総合評価する。

参考書等

演習の都度、適宜指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
実 務 演 習 Ⅲ	木 村 美 隆 <small>きむらよし たか</small>	法A3・4選	4

講義のねらい

実定法上のひとつである刑法は、現実の社会への適用を前提に存在している。そうであれば、その適用の現実を知ることは、刑法の学習上不可欠でもあることは言うまでもないし、ひいては大学での学習と実社会との接点を知ることにもなる。またこれを検討することによって、これまで学んできた知識の正確さが問われるとともに、さらには新たな興味が喚起されることともなって、より高いレベルへの学習の契機となるはずである。

講義の内容・授業スケジュール

このような視点から、基礎刑法演習等で充分時間をとって紹介することのできなかった刑法の重要判例を、総論、各論の分野にとらわれずとりあげ、これを素材に社会に生起する現実の事件に対する刑法の適用の姿を知ることとしたい。

履修上の留意点

この講義を有意義なものとするためには、受講者は、単に判例を知識として集積しようというだけでなく、常にこれを批判的に検討しようとする姿勢が大切である。

成績評価の方法

講義で取り上げた判例のうち、任意のものをテーマにレポートを提出してもらい、成績を評価することとしたい。

参 考 書 等

教科書、参考書としては、開講の際、受講者が入手しやすい学生向けの判例集を紹介するが、できれば、各判例の原典に当たってみることをお勧めしたい。

法
律

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
現 代 企 業 論 (前期)	代 田 純 <small>しろ た じゅん</small>	法A3・4選	2

講義のねらい

野村證券株式会社の提供による本講座は、「資本市場の役割と証券投資」をテーマとし、野村証券および野村総合研究所の現役スタッフによって前期13回で講義される。講義では、証券市場に密接に関連する経済情報の捉え方からスタートし、株式や、債券、投資信託などの基礎を解説した後、資産運用とライフプランニング、資本市場と投資家心理などの実践的課題に接近し、最後にはベンチャービジネスにも言及する。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 ガイダンス
- 2 経済情報の捉え方
- 3 経済成長と金融資本市場について
- 4 証券投資のリスク・リターンについて
- 5 株式市場の役割と投資の基礎知識について
- 6 債券市場の役割と投資の基礎知識について
- 7 投資信託の役割とその仕組みについて
- 8 ポートフォリオ・マネジメントについて
- 9 市場のグローバル化と証券投資について
- 10 資産運用とライフプランニング
- 11 資本市場における投資家心理について
- 12 個人投資家と証券ビジネスについて
- 13 ベンチャービジネスとIPOについて

履修上の留意点

遅刻、途中退室は認めない。講師の都合でテーマが変更されることもある。

成績評価の方法

定期試験による。再試験はない。但し、レポート提出者には加点する。

教 科 書

毎回、講義資料が配布される。指定参考書として、代田純『日本の株式市場と外国人投資家』（東洋経済新報社）2002年を使用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 II	あめ みや まさ や 雨 宮 眞 也	法A4選	4

講義のねらい

法律問題に対する着眼の仕方(問題点発見能力)、理論構成の仕方(問題解決方法発見能力)を修得し、自ら考える能力(問題処理能力)を育成することをもって、演習のねらいとする。

講義の内容・授業スケジュール

民法財産法部門に関する具体的事例を与え、各人が六法全書だけを頼りに、解決結果を導き出すトレーニングを行うことをもって、演習の内容とする。

履修上の留意点

民法財産法部門の教科書を精読して、基礎知識を充分に体得しておくことを要望する。法学は、自ら問題を解き自ら考えない力がつかないものであるが、自ら考えるためには、それに必要な基礎知識(教科書の知識)が必要不可欠である。

成績評価の方法

平常点による。

教科書

問題に応じ、その都度、指示する。

その他

各週毎に、具体的事例についての解答の作成と、これに対する論評とを交互に行う。

法
律

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 II	おか だ としひろ 岡 田 外司博	法A4選	4

講義のねらい

この経済法学演習では、主に独禁法に関係する事件(審決・判決等)のうち、重要な法律問題を含むものを様々な角度から検討し、全員で討論することによって、事例研究の方法を学ぶとともに、現代日本経済と独禁法について理解を深めることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

前期は10件、後期は5件(合計15件)の事例を研究する。前期の事例は予め選んだ審決・判決(最初の5件は独禁法以外の事件を素材とする)を各グループに割当て、グループの報告に基づいて討論する。後期においては、各グループが自主的に選んだ独禁法(もしくは企業)関係の素材について、文献調査や実態調査を踏まえた詳細な報告を中心に1事件につき2回分の時間をとって検討を進めることとし、各グループが自ら考えた論点について全員で討論する。

履修上の留意点

独禁法(もしくは企業)に興味のある学生の参加を希望する。

成績評価の方法

出席を最重視し、出席点に報告内容や質問・意見の回数に現れた意欲点を加味して成績評価を行う。

参考書等

その都度コピーを配布するか、又は該当文献のコピーを指示する。

その他

簡単な資料検索実習、見学等も予定している。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 II	おぎそ 小木曾 綾	法A 4選	4

講義のねらい

各自のゼミ論文を作成し、それぞれのテーマについて理解を深めると共に、理論構成力や文章構成力を養うことを狙いとする。

講義の内容・授業スケジュール

出席者と相談しながら決めるが、作成途中の論文についての報告はしてもらう。そのほか、内容についての希望にはできるだけ応じる。

履修上の留意点

各自の進路を明確に定め、その目的達成のため4年目を計画的に送ってほしい。

成績評価の方法

平常点で評価する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 II	こうの 河野 弘 矩	法A 4選	4

講義のねらい

民法に関する具体的事例に当面した場合に自分の頭で考え、妥当と思われる結論を創造する習慣を習得することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

教材の事例を通して、自分の思考を助けるため、参考文献や判例の研究を行うことはもちろんであるが、演習参加者の活発なる議論を主体として進行する。4年生は民法全般を対象とする。夏と冬に合宿を予定しています。

履修上の留意点

演習参加者は、3年・4年の2ヶ年間継続して受講すること。毎週必ず出席すること。

成績評価の方法

毎回の平常点で成績評価を行いたい。

教科書

プリントを用意する予定。

参考書等

教場で指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 II	こばやし 小林 弘 人	法A 4選	4

講義のねらい

この演習は、原則として、私の演習Iを履修した4年生を対象とする。内容は、行政法の全領域におよび、行政法総論の知識の再確認を行う。具体的には、演習参加者各自に研究テーマを設定してもらい、その設定されたテーマについて、演習時間又は合宿等で発表を義務づける。なお、前期においては要望があれば、各種公務員試験のための「技術的指導」を行うことも可能である。

演習に必要な文献、その他の事項については、すべて演習初日に指示する。

成績評価の方法

出席状況、ゼミでの報告、質問など総合的観点から評価する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 II	しま はら ひろ あき 島 原 宏 明	法A 4選	4

講義のねらい

〔商法学演習〕
法律行為論の基本的な思考方法を身に付けることを目標として、前期は手形・小切手法の判例研究を、後期は各自のテーマでゼミ論の指導を行う。

成績評価の方法

平常点で評価します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 II	せき ね つよし 関 根 徹	法A 4選	4

講義のねらい

今年度は、松村教授の代わりに、担当します。授業は、松村教授の方針にしたがって行いたいと思います。昨年度の松村教授の演習のシラバスを参考にしてください。進め方などは、第一回目の授業のときに、皆さんと相談して決めたいと思っています。

講義の内容・授業スケジュール

内容、スケジュールも松村教授の方針を踏襲したいと思います。

履修上の留意点

演習ですから、学生の積極的な発言を求めます。発言するためには、基本的な知識が必要となりますので、あらかじめ、基本的な知識について予習しておくことを望みます。

成績評価の方法

出席と発言等の積極性をみて、総合的に判断します。

教 科 書

松村外3名著『刑法総論』（ミネルヴァ書房）3,800円

参 考 書 等

授業のときに逐次紹介します。

そ の 他

演習は、他人と討論し、自己の見解を高めていくことを、目的とします。したがって、欠席は原則として認めません。この点、注意してください。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 II	た まる だい 田 丸 大	法A 4選	4

講義のねらい

現実の政治・行政の観察・問題発見・提案能力を培うことを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

- (1) 個別研究
- (2) グループ研究

履修上の留意点

無断欠席は認めない。

成績評価の方法

平常点。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅱ	はやかわよしき 早川純貴	法A4選	4

講義のねらい

当演習の基本目的は現代日本政治の特質を理解し、その問題点を探り出すこと、あるいはそれらの問題をいかに克服できるかを考えることである。特に当演習では研究対象を政策形成・施行過程に置く。具体的には、いくつかの政策が成立する背景と過程を明らかにしつつ、それらがいかに施行されたか、その過程でどんな問題が生じたのか、あるいはそれらの政策が日本の経済や社会、国際関係にどのような意味・影響を持ったのかを考察する。

講義の内容・授業スケジュール

当ゼミは前期が統一テーマによるグループ研究であり、後期は学生自身が選択したテーマで個人発表を行い、あわせてゼミ論を執筆してもらう。平成16年度の前期・統一テーマは「議会と政党の役割」である。日本の国会および地方議会（都・県議会、区議会、市議会など）の機能不全が叫ばれて久しい。しかし本当に議会は機能していないのだろうか。ジャーナリズムの口ぐせに乗せられていないだろうか。国会や地方議会でがんばる政党や個々の議員を再評価してみたい。そして議会のこれからの可能性を議論してみよう。

履修上の留意点

当演習は法律学科の学生にも開講する。政治学科の学生はもとより、政策の形成・執行に関心のある法律学科学生諸君の参加を大いに歓迎する。また当演習は春と夏に合宿を行うが、ここではディベートやパネル・ディスカッションなど、通常の演習ではあまりできないことを企画している。

成績評価の方法

個々人の発表・報告の充実度、レポート・ゼミ論の内容などを総合的に判断して評価する。

教科書

教科書は使用しない。参考文献は演習の過程で随時紹介する。

法
律

II 專 門 教 育 科 目

2 政 治 学 科

政
治

政

治

(2) 政治学科

政治学概論	〈前期：早川純貴、後期：浦田早苗〉	363
政治学概論	〈前期：浦田早苗、後期：早川純貴〉	364
憲法論	〈竹花光範〉	365
政治学原理論	〈大塚桂〉	366
現代政治理論	〈井戸正伸〉	367
日本政治思想史	〈大山礼子〉	368
行政思想史	〈清滝仁志〉	369
行政学	〈田丸大〉	370
国際政治学	〈小堀訓男〉	370
政治制度論	〈大山礼子〉	371
日本政治史	〈村井良太〉	372
政治過程論	〈早川純貴〉	372
ヨーロッパ政治史	〈浦田早苗〉	373
地方行政	〈内海麻利〉	373
政策決定論	〈田丸大〉	374
行政法総論	〈塩入みほも〉	374
行政法各論	〈塩入みほも〉	375
地方自治法	〈富井幸雄〉	375
民法（総則・物権法）	〈大宮隆〉	376
刑法総論	〈佐藤多美夫〉	377
労働法	〈藤本茂〉	378
刑事政策	〈斎藤静敬〉	379
社会政策	〈原田啓一郎〉	380
環境政策	〈横田匡紀〉	381
国際関係論	〈南山淳〉	382
比較政治学	〈木暮健太郎〉	383
国際行政学	〈福田耕治〉	384
国際経済学	〈徳永俊明〉	385
国際法	〈齋藤洋〉	386
北米政治論(1)	〈小堀訓男〉	387
北米政治論(2)	〈小堀訓男〉	387
東南アジア政治論(1)	〈中村正志〉	388
東南アジア政治論(2)	〈中村正志〉	388
中国政治論(1)	〈竹花光範〉	389
中国政治論(2)	〈竹花光範〉	389
ヨーロッパ政治論(1)	〈若松邦弘〉	390
ヨーロッパ政治論(2)	〈若松邦弘〉	390
ヨーロッパ政治論(3)	〈浅見正江〉	391
ヨーロッパ政治論(4)	〈浅見正江〉	391
アラブ・イスラム政治論	〈中島勇〉	392
中南米政治論	〈岸川毅〉	392
比較都市論	〈内海麻利〉	393
マス・コミュニケーション論	〈前期：平塚千尋、後期：相田敏彦〉	393
数量政治学	〈富崎隆〉	394
メディア社会論	〈前期：平塚千尋、後期：相田敏彦〉	395
政治心理学	〈富崎隆〉	396
政治社会学	〈若松邦弘〉	397

政治	経済学	〈井戸正伸〉	398
比較	メデイア論	〈前期：岩崎宇雄、後期：島中 誠〉	399
基礎	演習	〈井戸正伸〉	399
基礎	演習	〈内海麻利〉	400
基礎	演習	〈浦田早苗〉	400
基礎	演習	〈小堀訓男〉	401
基礎	演習	〈塩入みほも〉	401
基礎	演習	〈田丸大〉	402
基礎	演習	〈富崎隆〉	402
基礎	演習	〈早川純貴〉	403
基礎	演習	〈村井良太〉	403
比較	憲法	〈西 修〉	404
現代	国家論	〈大塚 桂〉	405
国家	安全保障論	〈小堀訓男〉	406
外	外交史	〈村井良太〉	406
日	本法制史	〈茂野隆晴〉	407
西	洋法制史	〈北野かほる〉	408
英	米法史	〈北野かほる〉	409
会	社法	〈荒木正孝〉	410
経	済法	〈若林 亜里砂〉	411
国際	紛争解決法	〈王 志安〉	412
刑	法各論	〈佐藤多美夫〉	413
民	法(債権)	〈上井長久〉	414
社	会保障法	〈原田啓一郎〉	415
社	会学原理	〈渡辺源樹〉	416
財	政学	〈半谷俊彦〉	417
経	済原論	〈浅野克巳〉	418
経	済政策	〈森岡 仁〉	419
農	業政策	〈溝手芳計〉	419
工	業政策	〈奥山 雅之〉	420
ヨ	一口ッパ経済論	〈休 講〉	
商	業政策	〈岩下 弘〉	421
地	方財政論	〈篠原 章〉	422
交	通論	〈休 講〉	
地	域計画論	〈原 昭夫〉	423
政治学	特殊講義(1)	〈内海麻利〉	424
政治学	特殊講義(2)	〈三竹直哉〉	425
政治学	特殊講義(3)	〈大島稔彦〉	426
政治学	特殊講義(4)	〈大島稔彦〉	426
外書講読	I・II(英書)	〈大山礼子〉	427
外書講読	I・II(英書)	〈清滝仁志〉	427
外書講読	I・II(英書)	〈三竹直哉〉	428
外書講読	I・II(独書)	〈休 講〉	
外書講読	I・II(仏書)	〈荒木正孝〉	428
外書講読	I・II(中国書)	〈江林英基〉	429
現代	企業論	〈代田 純〉	429
演習	I	〈浦田早苗〉	430
演習	I	〈清滝仁志〉	430
演習	I	〈島原宏明〉	431

演習	I		〈田丸大〉	431
演習	I		〈富崎隆〉	432
演習	I		〈早川純貴〉	432
演習	I	・	II 〈井戸正伸〉	433
演習	I	・	II 〈内海麻利〉	433
演習	I	・	II 〈大山塚礼子〉	434
演習	I	・	II 〈大塚桂〉	434
演習	I	・	II 〈小堀訓男〉	435
演習	I	・	II 〈塩入みほも〉	435
演習	I	・	II 〈竹花光範〉	436
演習	I	・	II 〈西修〉	436
演習	I	・	II 〈日笠完治〉	437
演習	I	・	II 〈三竹直哉〉	437
演習	I	・	II 〈村井良太〉	438
演習	I	・	II 〈山口邦夫〉	438
演習	II		〈雨宮眞也〉	439
演習	II		〈浦田早苗〉	439
演習	II		〈岡田外司博〉	440
演習	II		〈田丸大〉	440
演習	II		〈富崎隆〉	441
演習	II		〈早川純貴〉	441
演習	II		〈島原宏明〉	442

政治

政

治

科目名	担当者名	配当学科	単 位
政治学概論	前期：早川 純貴 後期：浦田 卓苗	政治1必	4

講義のねらい

本講義は3コース（＝専門課程）に向けて最初のステップとして、各コースの基本的知識を習得し、各自の政治に対する問題関心を養っていくために設けられている。専門用語や理論の講義に際しては、できるだけ具体的事例に即して説明していきたい。

講義の内容・授業スケジュール

【前期】

- ①アメリカ政治学の展開 [行動論政治学とその批判]
- ②権力論 [実体論と関係論、多元主義論と権力エリート論]
- ③政党について [機能と類型]
- ④イデオロギーについて [社会民主主義、自由主義、保守主義]
- ⑤利益団体とロビイング [利益の組織化と圧力行動]
- ⑥選挙と政治参加について [政治的関心、政治的社会化、投票行動、マス・メディア]

【後期】

- ①現代日本の政治システムとその問題点
- ②官僚と天下り
- ③日本社会の特異性
- ④自由・権利・公共
- ⑤第二次大戦後の国際政治の軌跡
- ⑥西欧の政治制度

履修上の留意点

政治学は権力の形成・行使・監視にかかわる事象を扱う科学であり、権力は悪魔的魅力を有する存在でもある。権力への評価は常に価値の対立を内在する。つまり政治学とはさまざまな価値が交錯する学問であり、薄っぺらな理想論者ではなく、冷徹な現実主義者が学ぶ学問でもある。

成績評価の方法

前後期に試験を実施する。

教科書

前期は教科書を使用する。早川・大山・内海・田丸『政策過程論』（学陽書房）2004年 価格未定

参考書等

参考文献については講義の中で随時紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
政 治 学 概 論	前期：浦田 早苗 後期：早川 純貴	政治1必	4

講義のねらい

本講義は3コース（＝専門課程）に向けて最初のステップとして、各コースの基本的知識を習得し、各自の政治に対する問題関心を養っていくために設けられている。専門用語や理論の講義に際しては、できるだけ具体的事例に即して説明していきたい。

講義の内容・
授業スケジュール

- 【前期】
- ①現代日本の政治システムとその問題点
 - ②官僚と天下り
 - ③日本社会の特異性
 - ④自由・権利・公共
 - ⑤第二次大戦後の国際政治の軌跡
 - ⑥西欧の政治制度

- 【後期】
- ①アメリカ政治学の展開〔行動論政治学とその批判〕
 - ②権力論〔実体論と関係論、多元主義論と権力エリート論〕
 - ③政党について〔機能と類型〕
 - ④イデオロギーについて〔社会民主主義、自由主義、保守主義〕
 - ⑤利益団体とロビイング〔利益の組織化と圧力行動〕
 - ⑥選挙と政治参加について〔政治的関心、政治的社会化、投票行動、マス・メディア〕

政
治

履修上の留意点

政治学は権力の形成・行使・監視にかかわる事象を扱う科学であり、権力は悪魔的魅力を有する存在でもある。権力への評価は常に価値の対立を内在する。つまり政治学とはさまざまな価値が交錯する学問であり、薄っぺらな理想論者ではなく、冷徹な現実主義者が学ぶ学問でもある。

成績評価の方法

前後期に試験を実施する。

教 科 書

前期は教科書を使用する。早川・大山・内海・田丸『政策過程論』（学陽書房）2004年 価格未定

参 考 書 等

参考文献については講義の中で随時紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
憲 法	たけ はな みつ のり 竹 花 光 範	政治1必	4

講義のねらい

本講義は、憲法とは何か、憲法はどうあらねばならないかといった視点からの考察を中心に、日本国憲法の実在性格を明らかにすることを目的としている。すなわち、日本国憲法が、どのようにして存在するにいたったのか（憲法の成立過程）、日本国憲法は、どのような憲法として存在しているのか（憲法の性格と特色）、日本国憲法の実在が、どのような結果を生ぜしめているのか（憲法の施行状況）といったことを明らかにしようというのである。

講義の内容・授業スケジュール

そのため、全体を二つに分け、前半は総論的講義、後半は各論的講義を行う。前半の総論的講義は、次のような章節から構成される。

第一章 憲法のご概念と歴史

(一) 憲法とは (二) 憲法の種類 (三) 憲法の歴史

第二章 日本国憲法成立の経緯と法理

(一) 日本国憲法成立の経緯 (二) 日本国憲法成立の法理

第三章 日本国憲法の特質

(一) 日本国憲法の基本原理 (二) 日本国憲法の特異性

各章節の内容は、それぞれの表題からはほほ明らかなものと思われるが、第一章では、憲法とはどのような規範か、憲法にはどのような種類があるのか、成文の憲法はどのようにして生まれ、どのような発展をとげて今日にいたっているのかについて述べる。なお、我が国における憲法の歩みということで、明治憲法の成立過程、同憲法の内容、成立後の展開についても概説する。

第二章では、現行日本国憲法が、どのようなプロセスを経て成立するにいたったのか（アメリカの対日政策、極東委員会の動き、日本政府の対応、GHQ 民政局の役割、第九〇帝国議会での審議状況等）、日本国憲法の成立を法理上どのように説明したらよいか（明治憲法との関係、占領下の改憲をどう考えるか、八月革命説、改正憲法説、無効論の是非等）を論じる。

第三章では、憲法の分類上から認められる日本国憲法の特異性（例えば、民定憲法なのか、欽定憲法なのか、協約憲法なのか、はたまた占領憲法とよぶべき憲法なのかといった、憲法を成立せしめた主体をめぐる争いがある点等）を指摘し、そのような日本国憲法が、どのような基本原理に依って立っているのか（国民主権の原理、象徴天皇制の原理、平和主義の原理、基本的人権尊重主義の原理）を明らかにする。

一方、後半の各論的講義は、本来なら、日本国憲法の逐条（日本国憲法は世界でも有数の簡略な憲法であるが、それでも全体で、前文と本文十一章103カ条に及ぶ）解説ということであろう。しかし、限られた時間内では、それは、ほとんど不可能に近い。そこで、とりあえず、各章ごとに規定内容や問題点を整理し、一部に立法論的指摘（どこにどのような不都合があり、それをどのように改めたらよいかといった指摘）も加味しつつ、全体として、日本国憲法の性格と特色が理解できるような講義としたい。

もちろん、第九条をはじめ、解釈上の対立が大きい条項や多くの問題を抱えている条項については、判例の紹介をはじめ、比較憲法的な考察を行うなど、特別に時間を割きたいと考えている。

履修上の留意点

講義は教科書を用いて進めるが、時事的な憲法問題をとり上げ解説するなど立体的な講義を心がける予定であり、「教科書を読む」ような講義ではまったくないので、でき得る限り講義に出席することが望まれる。

成績評価の方法

成績評価は、論述型（「について述べよ」ないし「について論じよ」といったタイプの問題）のペーパーテストによって行う。評価に際しては、問いに答えているか（出題された問題に関係のないことを書いた場合は大幅な減点とする）、必要なことが書き込まれているか（簡にして要を得た内容であること、余計なことを多く書いても加点されない）、論理展開に説得力があるか（単なる箇条書きでは論述型の問題に対する解答とはいえない、全体として一つの小論文となっていること）、誤字、脱字がどの程度か（専門用語の誤りは大幅な減点となる）などをチェックする。

教科書

竹花光範『憲法学要論補訂版』（成文堂）3,300円

参考書等

必要に応じて、参考書の紹介、資料の配布等も考えている。

その他

いずれにしても、学生諸君が、憲法に関心をもち、憲法問題を積極的に考えていくよすがとなるような講義を心がけるつもりである。

政 治

科目名	担当者名	配当学科	単位
政治学原論	おおつか 大塚 かつら 桂	15以降入学生/政治1・2・3・4 14以前入学生/政治2必	4

講義のねらい

I 自己紹介

私は、いままでイギリスの政治的多元主義・新自由主義、ならびにフランスの社会連帯主義を研究してきました。現在は、日本における多元的国家論の受容過程に関して勉強をしています。このような私の研究経歴からして、講義内容は少しばかり哲学的、観念的なものになるかもしれません。政治学のみならず隣接領域にもふれながら一年間の授業をしてみたいと思います。

私の研究室は、第二研究館八階（2835）にあります。研究上支障が生じたときや質問があるときには訪問してください。なお、研究室の電話番号は、3418-9377（直）です。

II 講義の目的

政治学原論はカリキュラム上、基礎的部門に属しています。政治学原論は政治学の総論であるとともに、基礎理論としての意味合いをもつものです。講義の目的の第一は、現代政治学の体系的な理解を深めることにあります。目的の第二は、政治現象の理論的説明と解明ができるように基礎的原理的知識を修得することです。目的の第三は、近い将来履修するであろう他の専門学科目を研究する上で必要な知識を提供することです。

III 講義のすすめかた

現代政治学のアウト・ラインを理解してもらうために、一回一テーマ主義でかなり広範囲な問題にふれていきます。それだけに、授業のペースは少しばかりはやくなります。講義はテキストに準拠しつつすすめます。学生諸君は授業に出席することはもちろんのこと、予習・復習・自主研究などの研鑽をつんでください。教員と学生、それぞれの努力によって学習効果をあげていきたいと考えています。

IV 講義の内容

おおよそ、以下の諸問題を取り上げる予定です。

A 政治学の課題と対象、ならびに方法

B 政治の原理的究明

① 政治的なるもの

～政治的空間、政治権力、正当性、権威、政治倫理、抵抗と不服従

② 共同体的なるもの

～国家、社会、主権、法

③ イデオロギー的なるもの

～イデオロギー、正義、自由、平等、人権（シティズンシップ）

C 政治の実体論的究明

① 制度論的究明

～権力分立、議会、選挙、地方自治、官僚制

② 機能論的究明

～政党、压力団体、市民参加、マスコミ、政治教育、政治的社会化

成績評価の方法

V 成績評価

単位の認定は、ペーパー試験を中心におこないます。

成績評価は、

中間試験：50%

学年末試験：50%

以上の割合によるものとします。

なお、追・再試験も実施します。

教科書

大塚桂『政治学原論序説』（勁草書房）3,296円

大塚桂『政治哲学入門』（法律文化社）2,900円

参考書等

上記教科書の巻末にかかげた参考文献を参照のこと。

その他

学習にあたっては、大塚編「補章オリエンテーション政治学」『政治学へのいざない』（成文堂）を参考にしてください。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
現 代 政 治 理 論	井 戸 正 伸 ^{まさのぶ}	15以降入学生/政治1・2・3・4選必	4
		14以前入学生/政治2・3・4選必	

講義のねらい

ひとびとが迫害を受けることなく、自由な生活を営むことができるか否か。また、ひとびとが豊かな生活を享受することができるか否か。政治のあり方は、政府の政策への影響を通じて、現実社会のわれわれの生活を大きく左右しています。この講義では、このように重要な役割を果たしている政治について、現代の政治学は、どこまで明らかにしているか、検討することを目的としています。

講義の内容・ 授業スケジュール

この講義では、現代政治学の主要な理論を学んでいきます。特に、近年、めざましく理論的洗練が進んでいる、新制度論、デモクラシーへの移行・確立論、ソーシャル・キャピタル論、コンセンサス型民主政論、コーポラティズム論、福祉国家の「三つの世界」論などの諸理論をとりあげて、各理論が現実の各国の政治を説明することにどれほど成功してきたか、検討していきます。

(前期)

1. 政治学における理論とは何か
2. 現代民主政 (『比較政治学』 4章)
3. 政治制度 (議会制と大統領制) (『比較政治学』 2章)
4. 拒否権プレイヤーと政策決定 (『比較政治経済学』 11章)
5. 政権党とマクロ経済政策 (『比較政治経済学』 10章)
6. 政治と文化 (『比較政治学』 3章)
7. 政党と政党制 (『比較政治学』 8章)

(後期)

8. 非民主的体制 (『比較政治学』 5章)
9. デモクラシーへの移行と確立 (『比較政治学』 6、7章)
10. 政治体制と経済成長 (『比較政治経済学』 12章)
11. コーポラティズムと経済運営 (『比較政治経済学』 4、5、6章)
12. 福祉国家の発展・再編 (『比較政治学』 12、13章)
13. 福祉国家の行方 (『比較政治経済学』 8、9章)
14. グローバリゼーションと新しい社会運動 (『比較政治学』 15章)
15. むすび

履修上の留意点

授業では、教科書の内容についてより詳しい説明を行うと同時に、教科書で取り上げられなかったさまざまな理論についても紹介して行きます。履修者は、教科書を予習したうえで、毎回の講義に出るよう心がけてください。

成績評価の方法

授業への出席、前期試験および期末試験の成績をもとに総合的に判断します。

教 科 書

新川・井戸・眞柄・宮本『比較政治経済学』(有斐閣)
眞柄・井戸『比較政治学』(放送大学教育振興会)

参 考 書 等

その都度、プリントを配布します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 政 治 論	おおやま れいこ 大 山 礼 子	政治1・2・3・4選必	4

講義のねらい

日本政治の機能不全が指摘される現在、これまでの政治のあり方があらためて問直されている。この講義の目的は、日本の政治のどこが問題なのか、歴史的視点や国際比較の観点から検討し、今後の改革の方向を探ることにあるが、1年生の受講者が多いので、まずは他の専門科目を受講する際の基礎ともなる日本政治の常識を身につけてもらうことから始めたい。

講義の内容・授業スケジュール

- (前期)
- (1) 日本政治の特質
 - (2～8) 日本近代政治史概観 (明治維新～自由民権運動～大日本帝国憲法制定～議会開設～政党政治の発展～男子普通選挙権～第二次大戦～敗戦～占領統治～日本国憲法制定～戦後改革の意味～55年体制～冷戦終結)
 - (9) 現行憲法下の政治制度の枠組み
 - (10・11) 政党の変遷
 - (12・13) 選挙制度
- (後期)
- (14～16) 政策決定過程
 - (17・18) 内閣と国会議員
 - (19・20) 政官関係と利益団体
 - (21・22) 地方政治
 - (23) 公共事業
 - (24) マスメディアとポピュリズム
 - (25) 政治改革
 - (26) まとめ

政
治

履修上の留意点

途中で出入りする者、私語する者には、退場を求める場合がある。
現代日本の政治が講義の対象となるので、毎日、新聞の政治面に目をとおす習慣をつけること(新聞の政治面を読まない政治学科の学生などというものは存在そのものが矛盾である!)

成績評価の方法

年度末の定期試験を中心に、数回実施する小テストの結果、授業への参加状況を加味して評価する。

教 科 書

早川・大山・内海・田丸『政策過程論』(学陽書房) 2004年、価格未定

そ の 他

毎回の講義の内容、参考文献等については、原則として事前にKOMSY詳細版で公開する予定である。必ず参照してもらいたい。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
政治思想史	きよ たき ひと し 清 滝 仁 志	14以降入学生/政治1・2・3・4選必 14以前入学生/政治2・3・4選必	4

講義のねらい

この講義では、ヨーロッパの政治思想史を歴史上の出来事との関連から著述家の視点を通して、具体的に論じます。変動する時代に直面した人々が同時代をどのように眺め、いかなる心配をし、解決策を考えていったかを明らかにします。この授業で論じる「思想」とは抽象的概念でなく、現実の政治状況に対応して生まれ、実際の制度・政策と結びつく性格のものです。講義では、代表的人物の考えを題材に、①現在の政治現象を自分で判断する知的能力を身につけていく、②欧米の政治・社会・文化を基礎づける知的背景を理解する、ことを目的にします。

講義の内容・授業スケジュール

詳細は初回の授業で説明します。

- 1 古代ギリシアと政治の誕生
- 2 キリスト教秩序の確立と動揺
- 3 ルネサンスと宗教改革—マキアヴェッリ、モア、ルター、カルヴァン—
- 4 社会契約論の形成と発展—ホッブズ、ロック、ルソー—
- 5 デモクラシーと自由—パーク、トクヴィル—
- 6 近代化と国民統合—イギリス政治の伝統と改革—

履修上の留意点

本講義では次のことをおこないます。

- 1 授業に関する時事問題を取り上げながら、そのポイントを解説
 - 2 授業の冒頭で皆さんの質問に答えて、復習
 - 3 授業中、文章の表現能力を身につけるための練習
- さらに公務員試験やその他の資格試験の関係箇所にも配慮します。

成績評価の方法

定期試験を中心にしますが、レポート、出席状況を勘案します。評価は、講義を受けることでいかに力をつけたか、を重視します。

教科書

文献は講義・HPを通じて随時紹介

参考書等

毎回、レジュメと資料を配布。レジュメはHPを通じても入手可。

その他

講義を受け身に聴くのではなく、取り上げた話題を自発的・積極的に考えていくことを期待します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
行政学	田丸大	15以降入学生/政治1・2・3・4選必 14以前入学生/政治2・3・4選必	4

講義のねらい

行政学は政治学の中でも比較的新しい分野であるが、私たちの日常生活とも非常に関係の深い学問でもある。例えば、国レベルでは狂牛病騒動に見られる農林水産省の対応や、葉害エイズ・肝炎などに見られる旧厚生省の対応、自治体（地方）レベルでは、2003年4月に政令指定都市に昇格するさいたま市に見られるような市町村合併であるとか、原発の是非をめぐる住民投票など、世の中の様々な現象に何らかの形で行政は関わっている。これらの行政現象に流れる行政活動の論理を探ることが、行政学の大きなテーマの1つである。

本講義では、国の省庁や地方の自治体がどのようなメカニズムに基づき活動をしているのか、政策立案や執行さらには評価の過程などにも触れつつ検討することによって、複雑な現代社会の問題点や改革のあり方を正しく理解し、問題の本質を見抜くための基本的知識や思考様式を伝えたいと考えている。

講義の内容・授業スケジュール

講義内容は、例えば以下を考えている（スケジュールなど詳細は開講後に知らせる）。

1 官僚制、2 議院内閣制、3 地方自治、4 公務員制度、5 政策過程、6 行政組織における意思決定、7 政策評価、8 行政改革、9 地方分権改革 など。

履修上の留意点

出席は取らない。レポートは課さない。しかし、テストは全範囲から満遍なく出題するので、出席していない者が単位を獲得するのは著しく困難である。

成績評価の方法

学期末のテストおよび学年末のテスト（持ち込み不可）で評価する。

教科書

森田朗『改訂版 現代の行政』（放送大学教育振興会）2000年 本体2,000円
教科書にアンダーラインを引く、書き込みを行うといった具合に使用するので、必ず用意してほしい。

参考書等

早川・大山・内海・田丸『政策過程論』（学陽書房）価格未定

政
治

科目名	担当者名	配当学科	単位
国際政治学	小堀訓男	政治1・2・3・4選必	4

講義のねらい

国際社会に展開する政治現象を、政治学的アプローチで論及し、国際政治の本質を理解することが、本講義のねらいである。

前期の講義は、国際政治とは、いかなるものか、分かり易く概説する。具体的には、国家、権力、民族、階級、国際政治における権力と道義、国内政治と国際政治等をテーマに“国際政治の本質”について考察する。つぎに、より理解を深めるために、“国際政治の基調”と題して、国際政治が展開し、現在に至るまでの、各時代の国際政治の基調を、歴史的に概観する。

後期では、“国際政治の問題”と題して、冷戦後の国際政治、ナショナリズム、地域的安全保障、エネルギーと環境問題、国連の使命と限界、地域統合と国家の役割の変化等の、国際政治学が取り組むべき課題を、理論的かつ実証的に解明しながら、受講生とともに考えたい。

講義の内容・授業スケジュール

講義のテーマ、内容については予告する。受講生は必ず予習をして、講義に出ること。基本的な知識については、共通の理解を徹底したいので、全員で討論しながら授業を進めたい。よって、積極的な参加を求める。

成績評価の方法

1年間に数回程度、授業中に30分のショートテストを実施する。これは講義の理解の程度を知るためであるが、このテストの評価を30%とし、定期試験を70%の評価とする。

教科書

必要に応じて講義のなかで紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
政 治 制 度 論	おおやま れいこ 大 山 礼 子	政治1・2・3・4選必	4

講義のねらい

民主主義国家においては、政治制度の究極の目的は、いかにして国民の民意を正確に反映する政治を実現するかにあるとよい。近代の歴史は、よりよい政治制度の探求の歴史だったと考えることもできよう。この講義では、こうした視点から、政治制度の発展史を辿り、議院内閣制や大統領制、あるいはさまざまな選挙制度などのもつ意味を考えていくことにしたい。

講義の内容・
授業スケジュール

- (前期) 政治制度の考察に入る前に、まず、制度の目的であるデモクラシーとは何かについて考え、その後、デモクラシーを実現するための政治制度の発展を概観する。
 (1・2)デモクラシーとは (3～5)イギリスにおける議院内閣制の出現と発展
 (6・7)議院内閣制の展開 (フランス、ドイツ、日本) (8・9)大統領制
 (10・11)政党 (12・13)選挙制度。
- (後期) 前期の講義で得た知識をもとに、以下のような政治制度のさまざまな側面を順次検討し、最後に「制度は政治を変えるか?」という問題を考えることにしたい。
 (14～17)議会と政策決定過程 (18・19)政治資金 (20・21)中央地方関係
 (22)司法審査制 (23・24)官僚制 (25)直接民主制 (26)まとめ

履修上の留意点

途中で出入りする者、私語する者には、退場を求める場合がある。

成績評価の方法

年度末の定期試験を中心に、数回実施する小テストの結果、授業への参加状況を加味して評価する。

教 科 書

使用しない。適宜プリントを配布。

参 考 書 等

前田英昭『現代政治制度』（高文堂出版社）
 的場敏博『政治機構論講義』（有斐閣ブックス）

そ の 他

毎回の講義の内容、参考文献等については、原則として事前にKOMSY詳細版で公開する予定である。必ず参照してもらいたい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 政 治 史	むら い りょう た 村 井 良 太	15以前入学生/政治1・2・3・4選必 14以前入学生/政治2・3・4選必	4

講義のねらい

政治を理解するには、思想分析、比較、一般化など様々な方法がありますが、歴史という経験に学ぶのが政治史の分野です。本講義の目的は、第一に、日本政治史を学ぶことを通じて、日本の置かれてきた立場、選択とその結果について基本的な理解と知識を得ることです。留学生など日本で学ぶ方々にとって日本の来歴は興味深いものでしょうし、日本人の学生にとっては自分の国についてしっかりと説明できるというのは重要な能力です。加えて、歴史を学ぶことを通じて、政治を知り、現代を相対化してみる視点を養ってもらいたいと思います。

本年度の「日本政治史」では、戦後史を中心に講義をおこないます。日本は、敗戦後、いかにして再生し、現代へと続く道を歩んできたのでしょうか。講義では教科書は使わず、基本的にノートによって進めますが、全体を理解する助けとして参考図書をまず一冊あげておきます。

講義の内容・授業スケジュール

講義内容は以下を予定しています。スケジュールなど詳細は開講後にお知らせします。
 前期：①日本政治の戦前と戦後 ②占領と改革 ③講和と独立 ④五五年体制の成立
 ⑤日米安保の改訂 ⑥高度成長期の日本
 後期：⑦通称国家の発展と限界 ⑧危機の七〇年代 ⑨新保守主義的改革の時代
 ⑩模索する日本 ⑪冷戦後の日本と世界 ⑫まとめ

政 治

履修上の留意点

履修する学生には、何より出席と積極的な授業参加を求めます。

成績評価の方法

成績は、随時おこなう出席調査、中間レポートと学年末試験によって評価します。

教 科 書

特定のテキストは用いません。

参 考 書 等

参考図書は講義の中で随時紹介していきますが、五百頭旗真編『戦後日本外交史』（有斐閣）1,800円＋税をまずあげておきます。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
政 治 過 程 論	はや かわ よし き 早 川 純 貴	政治1・2・3・4選必	4

講義のねらい

本年度の政治過程論は、前期は前決定過程を中心に、後期は利益団体の政策形成へのかかわりについて論じていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期	後期
1 前決定とアジェンダについて	1 利益の組織化について
2 権力と非決定形成	2 オルソンとソールズベリの主張
3 コップ&エルダーの前決定過程	3 組織内決定過程（ローゼンバーグ・モデル）
4 事例研究	4 政策ネットワークとコーポラティズム
5 ゴミ箱モデルについて	5 企業と政策形成
6 キングダム・モデルについて	6 アメリカ政治とロビイング

履修上の留意点

前期の講義は主として理論を中心に、後期は事例研究を中心に進める。理論の話は継続して聞かないと理解できない。分からないときは遠慮せず質問すること。質問は学生の権利であり、教員はそれに答える義務がある。

成績評価の方法

中間試験と定期試験の合計点数により評価する。

教 科 書

早川・大山・内海・田丸『政策過程論』（学陽書房）2004年 価格未定

参 考 書 等

講義の中で随時紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ヨーロッパ政治史	うら た き なえ 浦 田 早 苗	政治1・2・3・4選必	4

講義のねらい

現代西ヨーロッパの政治は、そこから多くのことを学んできた我々の先達が描いたほど理想的な状態で機能しているわけではなく、数々の矛盾にみちている。自由、平等の精神なり、『華やかなりし議会政治』の概念は、激動の現代政治のなかにあっては時として空虚な響きを投げかけてくることは否定できない。しかし、国家や政党、国民や民族といった西洋で生まれた近代政治の概念に再検討が迫られている今ほど、そうした概念の本質を成立した歴史過程のなかで考察することの重要性が問われたときはなかった。本講義では、近代ヨーロッパの歴史全般を概説しながら、ヨーロッパが抱える問題の本質を明らかにすること、及び現代政治を誤りなく把握する上で必要な基礎概念を検討することに視点がおかれている。

講義の内容・授業スケジュール

- ・近代の始点—ルネサンス期と18世紀 ・英国革命とIRA ・ジャコバイトと英国王室
- ・議院内閣制の成立変遷過程 ・英国における政治腐敗防止過程
- ・フランス革命と国家の概念 ・フランス政治におけるジャコバン主義
- ・「後発国型近代化」の問題点—ドイツの場合— ・統合ヨーロッパの源流

成績評価の方法

年5～6回とる出席点は学年末試験に加算する。試験はあらかじめ提示した4問から2題出題する。(ノートの持ち込みは不可)

教科書

特に教科書は指定しないが、さらに詳細な研究を望む学生には適宜参考書を推薦する。

政
治

科目名	担当者名	配当学科	単位
地方行政	うち うみ ま り 内 海 麻 利	15以降入学生/政治2・3・4選必(付録メディア) 15以降入学生/政治2・3・4選(国際) 14以前入学生/政治2・3・4選必	4

講義のねらい

わが国の地方自治体は、国際化、情報化、高齢化など社会経済の急激な変化にさらされる一方、規制緩和、行政改革、地方分権の推進などの行政システム改革の強い要請のもとで、21世紀の地方自治のあり方を探究する変革期にある。本講義は私たちにとって身近な地方自治体における行政の仕組みや政策課題について、そのあり方を生活者市民の視点から明らかにし、学生諸君の地方自治についての専門知識と理解を深めることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

- 授業では、地方自治体の政策・制度・管理を中心として多角的に地方行政のあり方を具体的な事例を参照しながら考察し、地方自治に対する主体的な取り組みや可能性またその課題を実践的観点から考えることとした。なお、主として地方行政に関する次の枠組みにおいて講義するが、詳しい授業スケジュールについては、第1回目の授業の際に配付する。
- ・都市社会の変化と地方自治体
 - ・地方自治制度
 - ・地方分権改革
 - ・政策過程と政策評価
 - ・地方自治体の計画
 - ・地方自治と条例・要綱
 - ・市民参加と情報公開

履修上の留意点

地方自治体に関する報道記事や関連の専門誌などに目を配り、地方行政について理解を深めるよう努力を払ってほしい。

成績評価の方法

授業への出席、レポート、学期末試験の成績を中心に評価する。

教科書

『政策過程論』(学陽書房) 2004年 価格未定

参考書等

授業中に随時提示し、さらに詳細な考察を望む学生にはテーマに沿う参考書を推薦する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
政 策 決 定 論	た ま る だ い 田 丸 大	15以降入学生/政治2・3・4選必(行政/メディア)	4
		15以降入学生/政治2・3・4選(国際)	
		14以前入学生/政治2・3・4選必	

講義のねらい

本講義では、「政策はどのように作られるのか」をテーマに、なるべく幅広い切り口で考察を加えてみたいと考えている。具体的には、日本の国の省庁や地方自治体（行政）における政策決定のあり方、政治はどのように政策決定に関わっているのかといった点について、理論的な考察を加えるとともに、法律・条例・予算などを取り上げ具体的な政策決定についても論じてみたい。

講義の内容・授業スケジュール

およそ3回ずつで、以下の順。
現代日本の経済状況（デフレと金融など）。その経済状況と政策決定との関係。日本の政策決定における基本的特質。与党における政策決定。省庁における政策決定。法案の作成過程。政策決定のスタイルに関する近年の改革。政策の実施と評価。地方政府における政策決定のスタイル（首長、役所、議会の関係）政策実務家による特別講義（公務員、政治家など）

履修上の留意点

日本の政治に対する基本的な知識、加えて行政学の教科書程度の知識の備わっていることが望ましい。

成績評価の方法

一学期最後の講義におけるテスト（30点）、および学年末のテスト（70点）で評価する。出席は取らない。

教科書

早川・大山・内海・田丸『政策過程論』（学陽書房）価格未定

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
行 政 法 総 論	し お い り 塩 入 みほも	15以降入学生/政治2・3・4選必(行政)	4
		15以降入学生/政治2・3・4選(国際/メディア)	
		14以前入学生/政治2・3・4選必	

講義のねらい

存在する法の約9割は行政法です。この講義では、その行政法の基本的な仕組みと理論一般について学びます。行政法は、民法や刑法、憲法等の他の法分野とは異なって、学生レベルではあまり日常生活に直接関連がないと感じられがちですが、例えば交通取締・治安等に関わる警察権行使の適法／違法や国家賠償請求の可否など、実は知っておくと便利なのがたくさんあります。また、政治を学ぶ上では、やはり行政法の知識を備え、日本の統治構造を支えている法的事態を知ることが重要でしょう。それを学ぶのが当講義の狙いです。

講義の内容・授業スケジュール

内容としては、まず総則——行政法学の基本原則、諸概念、諸制度等に関する基礎論——を説明し、次に、行政作用論——行政の各種行為形式とその法的性質（法的拘束力の有無など）、行政上の強制措置・制裁、行政調査など——について講義していきます。

履修上の留意点

行政法を初めて学習する者でもその基礎知識を一年間で習得できるよう、判例・通説を引用しながら、出来るだけ解り易く且つ簡潔に説明していくつもりです。特に公務員や行政書士等の国家試験を目指している学生のために、出題頻度の高い問題は都度指摘します。

成績評価の方法

試験は学年末試験のみ。成績評価は、学年末試験の結果と平常点（不定期に確認する出欠）の総合判断により行ないます。

教科書

特定の教科書は使用しません。但し、オリジナルノートが作れるように毎回丁寧に板書します。

参考書等

最初の講義の際に紹介します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
行 政 法 各 論	しお 塩 入 みほも	15以降入学生/政治2・3・4選必(行政)	4
		15以降入学生/政治2・3・4選(国際メディア)	
		14以前入学生/政治2・3・4選必	

講義のねらい

行政活動に対する国民の権利救済に関する法制度（＝行政救済法）について講義します。

講義の内容・
授業スケジュール

内容的には、国家賠償、損失補償、行政不服審査、行政事件訴訟の各法制度について講義していきます。

履修上の留意点

行政法の基礎知識を前提とするので、基本的には行政法総論を履修済みであることが望ましいです。ただし、努力次第では、総論との並行又は単独履修も可能です。特に公務員、行政書士等の国家試験を目指している学生のために、出題頻度の高い問題、論点についてはその都度指摘します。

成績評価の方法

定期試験（年度末一回）及び不定期に確認する出欠の総合判断により評価します。

教 科 書

特定の教科書は使用しません。

参 考 書 等

初回講義時の際に紹介します。

政
治

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
地 方 自 治 法	とみ 富 井 幸 雄	15以降入学生/政治2・3・4選必(行政)	4
		15以降入学生/政治2・3・4選(国際メディア)	
		14以前入学生/政治2・3・4選必	

講義のねらい

日本国憲法下における地方自治の法制度を体系的に理解する。すなわち、昭和22年に制定された地方自治法が具体的にいかなる意味をもち現実化されているか、憲法の意図する地方自治の理念がそこに具体化されているかを批判的に検討する。平成12年度より、地方分権を旨とした新しい地方自治制度がスタートする。この改革がいかなる意義をもつのかをくみしめながら、新地方自治法の理念を理解する。

講義の内容・
授業スケジュール

地方自治法の体系に沿って講義を行う。前期は、憲法と地方制度の関係を比較法的ならびに歴史的に考察を行った後、地方公共団体の概念、住民の地位及び権利、自治立法権について議論する。後期は、地方公共団体の事務、組織、財政、地方公務員制度について勉強する。教科書を基本に講義するが、毎週レジメを配布し、それに沿って授業を行う。判例等の資料も適宜配布する。

成績評価の方法

前期試験（40%）と学年末試験（60%）で総合的に評価する。

教 科 書

原田尚彦『地方自治の法としくみ』（学陽書房）2,000円

参 考 書 等

『地方自治判例百選（第2版）』（別冊ジュリスト）。
なお制度の概要を大まかに理解するには、鈴木正明他『図解 地方自治法』（良書普及会）は便利。地方自治の制度的問題を勉強するには、新藤宗幸『地方分権』（岩波書店）、同他『概説日本の地方自治』（東京大学出版会）は必読。

そ の 他

講義では頻繁に法律の条文に言及するので、六法（『地方自治小六法』（学陽書房）があるがポケット六法でよい。）は必携。その都度チェックすること。平成12年度には地方自治法の大規模な改正がなされたので、必ず平成13年度版以降を購入すること。憲法や行政法の履修者が望ましいが、少なくとも両法分野について高い関心を持つこと。わからないことは遠慮なく質問に来て欲しい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
民法（総則・物権法）	おおみや たかし 大宮 隆	15以降入学生/政治2・3・4選必(行政)	4
		15以降入学生/政治2・3・4選(国際メディア)	
		14以前入学生/政治2・3・4選	

講義のねらい

民法という法律は、日常の社会生活(財産関係と家族関係)を規律の対象とし、総則・物権・債権・親族・相続の五編に編別されている。本講の対象は、第一編総則、第二編物権である。なかでも総則は、全編に共通な規定と、どの編にも入れることができない規定を集めて構成されているので、抽象的な法文形式が多い。よって講義においては、具体例を挙げてわかりやすく説明したいと思っている。

講義の内容・授業スケジュール

- ① 民法の意義
- ② 民法典の編別
- ③ 民法の指導原理とその修正
- ④ 自然人
- ⑤ 法人
- ⑥ 物
- ⑦ 法律行為
- ⑧ 期間
- ⑨ 時効
- ⑩ 物権変動
- ⑪ 占有権
- ⑫ 所有権
- ⑬ 地上権
- ⑭ 永小作権
- ⑮ 地役権
- ⑯ 留置権
- ⑰ 先取特権
- ⑱ 質権
- ⑲ 抵当権

政
治

履修上の留意点

講義には六法持参のこと。講義終了時に次週の予告をするので、教科書を読んてくること。

成績評価の方法

年度末の定期試験と出席状況を総合して評価する。

教科書

『新民法概説(1)総則・物権』(有斐閣双書)1,900円

参考書等

講義の中で随時紹介します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
刑 法 総 論	ま とう た み お 佐 藤 多 美 夫	15以降入学生/政治2・3・4選必(行政)	4
		15以降入学生/政治2・3・4選(国際メディア)	
		14以前入学生/政治2・3・4選	

講義のねらい

刑法総論講義は、刑法典第一編総則にある犯罪の基本的・重要な課題について、その意義と問題点を学説や判例をふまえながらすすめ、体系的に刑法総論を理解することをねらいとする。

講義の内容・
授業スケジュール

刑法の基礎理論
 刑法および刑法学
 刑法の意義 刑法の法源
 刑法理論の根本原理
 犯罪論の体系
 行為、構成要件、結果、実行行為、未遂、因果関係、不作為犯
 違法性
 正当行為、正当防衛、緊急避難
 責任
 責任能力、故意、過失、期待可能性
 共犯
 正犯と共犯、共同正犯、教唆犯、幫助犯
 共犯の諸問題

成績評価の方法

筆記試験とその他の総合評価とする。。

教 科 書

開講時に指示する(欠席しないように)。

そ の 他

予習をしてくること。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
労 働 法	ふじもと しげる 藤 本 茂	15以降入学生/政治2・3・4選必(行政)	4
		15以降入学生/政治1・3・4選(国際メディア)	
		14以前入学生/政治2・3・4選	

講義のねらい

今日、労働法の対象である雇用社会は、リストラ、解雇や能力主義人事管理の導入などが行われ、日本型雇用システムの見直しがなされています。

労働法は、この雇用社会において生じる紛争を法的解決方法を検討する法領域です。この変化に無関係ではられません。

この変化は労働法の領域でも雇用関係法領域に大きく関わってきます。

講義では、雇用関係法領域を中心に、雇用社会の変化を頭の隅に置きつつ、これまで形成定着した労働法理の基礎を学びます。また、変化する法制度をまなびます。こうして、主に雇用関係法領域を概観し現代的課題に対して自ら考える視座を身につけてもらうことをねらいとしています。

講義の内容・授業スケジュール

授業では、下記事項について、基礎的知識をまなぶとともに、現代的課題に触れます。以下に、アウトラインを示します。

- (1) 労働法の基礎的考え方
- (2) 日本の雇用システムの変容と労働法
- (3) 労働関係の主人公－労働者、使用者、労働組合
- (4) 労働条件の最低基準の法定－労働基準法の特徴
- (5) 雇用における男女平等
- (6) 労働条件の決定－労働契約、就業規則、労働協約
- (7) 労働条件の変更
- (8) 雇用の入り口－採用、採用内定、試用期間
- (9) 人事異動－配転、出向、転籍
- (10) 雇用の出口－解雇、定年、退職
- (11) 賃金、賞与、退職金
- (12) 労働時間、時間外労働
- (13) 休憩、休日、休暇
- (14) 労働災害など

履修上の留意点

毎時間出席。授業のマナーは守ること。

授業は、配布するレジュメと資料を使って行います。レジュメには取り上げる項目が挙げられているだけです。内容は授業で埋められていきます。ノートをとることが必要ですし予習復習は欠かせません。

また、憲法、民法総則、債権総論、債権各論、社会保障法、社会政策といった近接した専門科目や労働経済なども履修すること(あるいは履修済みであること)が望ましい。

成績評価の方法

学年末試験(論述式)がメインで、出席、レポートなどとともに総合的に評価して決めます。追・再試験は実施します。

教科書

教科書は、ベーシック労働法(浜村彰ほか著・有斐閣)、労働法(浅倉むつ子ほか著・有斐閣)が手ごろでしょう。物足りなさを感じる受講生は、労働法(菅野和夫著・弘文堂)がいいでしょう。教科書は予習復習をするうえで必要です。少なくとも1冊は用意してください。

参考書等

労働判例百選第7版(別冊ジュリスト)、六法は用意してください。六法は、法改正がありますから、最新のものを用意する必要があります。また、労基法施行規則の載っているものが必要です。第1回目の授業で紹介します。

その他

各項目についてイメージを描きやすいように、裁判例など具体的な例を掲げながら授業を進めます。

科目名	担当者名	配当学科	単位
刑事政策	さいとう よしゆき 齋藤 静敬	15以降入学生/政治2・3・4選Ⅱ(行政)	4
		15以降入学生/政治2・3・4選(国際メディア)	
		14以前入学生/政治2・3・4選	

講義のねらい

人間は、なぜ罪を犯すのであろうか。どうすれば、この世の中から犯罪を防止することができるのであろうか？ たしかに、犯罪のない社会を実現させることは非常に困難なことである。しかしながら、実現不可能であるとして、何の努力もせずには、何の解決策にもならない。少しでもよいから犯罪のない社会の実現にむけて、われわれは努力すべきである。刑事政策を学ぶということは、まさにこの犯罪のない社会の実現にむけて貢献することにある。

講義の内容・授業スケジュール

刑事政策は犯罪を防遏するための合理的、合目的な手段、方法を探究するものである。そこで、

- 1 犯罪現象の類型的考察(例えば、少年犯罪、女性犯罪、性犯罪、暴力団犯罪、公務員犯罪、公害犯罪、精神障害者の犯罪、薬物乱用犯罪、交通犯罪、外国人犯罪)。
- 2 犯罪者の処遇(例えば、受刑者の法的地位、刑務作業、拘禁の形態、仮釈放)。
- 3 犯罪者に対する制裁(例えば、死刑、自由刑、財産刑、保安処分)。
- 4 犯罪の司法的処理(例えば、起訴猶予、執行猶予)……などについて概説する。

履修上の留意点

1. 講義には、毎回かかさず出席して欲しい。
2. 毎日、新聞の犯罪記事に目を通しておく。

成績評価の方法

筆記試験

教科書

齋藤静敬『刑事政策の諸問題』(創成社) 2,800円+税

その他

講義方式

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社 会 政 策	はら だ けいいちろう 原 田 啓一郎	13以降入学生/政治2・3・4選Ⅱ(行政)	4
		13以降入学生/政治2・3・4選Ⅱ(国際メディア)	
		14以前入学生/政治2・3・4選	

講義のねらい

社会政策は、市場経済の限界や市場経済が生み出す弊害から、人々を保護し、国民生活のリスクを社会的に軽減、防止する目的で発展してきたものである。本講義では、社会政策の理論的理解を行なうとともに、社会政策の過去と現状を再評価しながら、社会政策の課題を展望することを目的とする。具体的には、労働政策・社会保障政策について、法学・経済学・社会学・政治学などの知見を用いながら、理論的課題を学際的かつ多角的視点で理解を深める。

講義の内容・
授業スケジュール

- I 社会政策の原理
 - 1 社会政策とは
 - 2 社会政策の歴史
 - 3 福祉国家と福祉社会
- II 社会政策の諸相
 - 1 労働時間と社会政策
 - 2 賃金と社会政策
 - 3 労働市場と社会政策
 - 4 所得保障と社会政策
 - 5 サービス保障と社会政策
- III 社会政策の理論的視点

成績評価の方法

原則、筆記試験の結果によって成績判定を行う。出席はとらない。ただし、出席せずして単位を取得できるほどやさしい評価ではないことに留意されたい。

教 科 書

講義開講時に指定する。

参 考 書 等

参考文献については、適宜指示する。

そ の 他

日頃より新聞、雑誌等で社会の動向を注視してほしい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
環 境 政 策	よこ た ま き とし 横 田 匡 紀	15以降入学生/政治2・3・4選必(行政)	4
		15以降入学生/政治2・3・4選(国際4選7)	
		14以前入学生/政治2・3・4選必	

講義のねらい

環境問題は現代世界の将来にかかわります。従って環境政策は将来の世代の生活にかかわる選択をする営みといえましょう。この講義では、多様化、複雑化、グローバル化している環境問題の状況を踏まえて、環境政策のメカニズムを理解していきます。日本、世界各国、国際社会における環境政策の具体例に言及しながら、行政の視点、企業の視点、市民の視点が交錯する諸相を明らかにします。公務員志望者、マスコミや民間企業志望者あるいは環境問題関連の資格試験なども念頭に置き、有益な情報の提供をこころがけたい。また現代社会の一市民として環境政策をみる視座、問題解決への視座を育成することが期待されます。

講義の内容・授業スケジュール

*前期は「グローバル化と環境問題への対応」と題して、環境政策がグローバルな性質を持つことを理解します。後期は「持続可能な社会のガバナンス」と題して環境問題に対応する社会のあり方を考えます。

前期テーマ「グローバル化と環境問題への対応」

序—将来の世代のための選択：政策科学の視点

- ・環境政策の射程と担い手—ローカルからグローバルへ
- ・環境政策のキーワード

持続可能な発展 予防原則 共通だが差異のある責任原則 等

1. ストックホルムからヨハネスブルクへ

- 持続可能な発展をめぐるガバナンスの軌跡
- ・環境のグローバル化
- ・国連人間環境会議と地球サミット
- ・ヨハネスブルク・サミットと制度改革

2. 新しい政策課題

- ・「人間の安全保障」と環境問題
- ・淡水資源のガバナンス
- ・ジェンダー／人権と環境問題
- ・反グローバル化と環境問題

後期テーマ「持続可能な社会のガバナンス」

序—持続可能な社会のキーワード

ガバナンス コモンズ 社会関係資本と環境 政策手法の変質 等

1. 持続可能な社会の政策課題

- オゾン層保護
- 再生可能エネルギー 等

2. 政策統合の諸相

- 環境経営
- 貿易と環境
- エコツーリズム
- 持続可能な交通政策 等

3. 京都議定書と日本の課題

- 地球温暖化のメカニズム
- 京都議定書の国際制度
- 京都メカニズム

環境政策の展望

*受講生の関心や授業の進捗に応じて優先順位を変更したり、トピックを選別することがある。

*時事問題を随時とりあげる予定である。

*新聞記事やビデオなどを多用し、理解の深化に努める予定である。

履修上の留意点

講義中は私語厳禁とする。

出席点はないが、出席しないことで生じる不利益は各自の責任となることに注意してください。

KOMSYの詳細情報にも講義情報のエッセンス、試験情報を掲載する予定であり、出席できなかった学生は確認するように心がけてください。

成績評価の方法

試験を基本とし、レポートや平常点などを加味し総合的に判断する。

教科書

横田匡紀『地球環境政策過程』（ミネルヴァ書房）（第2刷）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 際 関 係 論	みなみ やま あつし 南 山 淳	15以降入学生/政治2・3・4選必(国際)	4
		15以降入学生/政治2・3・4選(行政メディア)	
		14以前入学生/政治2・3・4選必	

講義のねらい

近代ヨーロッパに成立した近代国際社会は、戦争による世界秩序の崩壊と新たな世界秩序の創造というサイクルを描きながら、地球全体を覆うまでにその規模を拡大してきている。他方冷戦構造の崩壊、グローバリゼーションの拡大、米国における同時多発テロ、イラク戦争等に象徴されるように、近年の国際関係は激しく変動し、複雑化の一途をたどっている。

本講義の目的は、伝統的な国家間関係とトランスナショナルな関係が相互に影響を与え合う現代国際関係の全体像を構造的に理解することにある。構造的な理解とは、近代から現代にいたる国際関係のダイナミズムのなかで、持続する領域と変容する領域を画定していく作業に他ならない。そのためには、歴史と理論を別々に考えるのではなく、共通の視角を設定して理解することが不可欠である。現実の国際政治構造の変動とともに学問としての国際関係論のあり方も大きく変化しており、できるだけ最新の研究動向とカレントな問題を関連させながら、講義を進めていきたい。

政 治

講義の内容・授業スケジュール

前期は、主権国家、国際的アナーキー、権力政治、安全保障、相互依存など、国際関係論の基本概念の理解と主要理論の解説に重点をおき、後期は、国際組織、地域紛争、グローバル経済、地球環境問題、ジェンダーなど、現代国際関係の諸問題を近年の(特に理論的な)研究動向と併せてとりあげる予定である。

履修上の留意点

政治経済、国際関係史、時事問題に関する基本的な知識を整理したうえで受講すること。

成績評価の方法

学期末試験およびレポートにより評価する。

教 科 書

南山淳著『国際安全保障の系譜学—現代国際関係理論と権力／知—』(国際書院)
進藤榮一著『現代国際関係学—歴史・思想・理論—』(有斐閣)

参 考 書 等

国際関係論を体系的に学習するうえで必要な文献リストを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
比較政治学	こ ぐれ けん たろう 木 暮 健太郎	15以降入学生/政治2・3・4選必選(行政)	4
		15以降入学生/政治2・3・4選(行政)	
		14以前入学生/政治2・3・4選必	

講義のねらい

本講義の目的は、20世紀に発展をとげた比較政治学の諸理論を中心に考察を行い、各国の政治の類似点や相違点を明らかにするための視座を提供することである。それぞれの理論の解説を通じて、比較政治学のさまざまな理論が、現実政治を考察する上でいかに適応可能なのかという点についても言及する。政党システムや政治システムに関する代表的な理論から、討論型民主主義や電子民主主義といった近年の新しい理論まで、幅広くとり上げる。

前期（4～7月）は、比較政治学の基本的な前提について考察した後、政党システムをめぐる理論を中心に講義を進める。後期（9月～1月）は、現代世界の民主主義理論を中心に講義を進める。後期後半では、比較政治学と国際関係との関連性についても言及する。

講義の内容・授業スケジュール

（前期）（1～2）イントロダクション。（3～9）政党システムと政党システムの規定要因。（10～12）政党システムの変化といくつかの事例。（13）前期まとめ。
（後期）（14～17）現代民主主義の基礎理論。（18～19）現代民主主義のタイプ。
（20～22）新しい民主主義理論。（23～25）民主化と国際関係。（26）後期まとめ。

履修上の留意点

関連する他の科目と併せて履修することが望ましい。また、この科目に関連する情報を新聞やニュース、インターネットなどを通じて日常的に収集し、理解を深める努力を求めたい。

成績評価の方法

定期試験およびレポートの評価を総合して判断する。前期もしくは後期のいずれかを筆記試験とし、もう一方の学期をレポートとするような形態を考えている。

教科書

岩崎正洋『政党システムの理論』（東海大学出版会）2,800円

参考書等

河野勝・岩崎正洋編『アクセス比較政治』（日本経済評論社）2,500円

その他

講義形式を中心とする。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 際 行 政 学	ふく だ こう じ 福 田 耕 治	15以降入学生/政治2・3・4選必(国際)	4
		15以降入学生/政治2・3・4選(行政メディア?)	
		14以前入学生/政治2・3・4選必	

講義のねらい

国際行政学は、国民国家の枠を超える行政現象に注目し、国際機構内部の行政管理、国際行政と国内行政の関係、国際公共政策の管理や国境を越える政府間関係をめぐる諸問題を扱う新しい学問分野である。国際機関の行政は、その加盟国の中央行政や地方行政とどのような関係を持ち、いかにして国際公共政策を形成し、実施していくのか。国内行政の「国際化」への対応はいかなるものであり、国際機関の行政はこれにどのようにかかわっているのだろうか。国際行政学は、このようなグローバルな視点、地球市民社会の一員として、人類共通の利益(国際公益)の実現という観点に立って、国際社会に貢献することを目的とする実践的性格を持った新しい研究領域である。本講義の内容は、国家公務員、地方公務員志望者、NGO職員、商社等の民間企業志望者にとっても役立つものとなる。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 国際行政の発達史と国際行政学の研究—対象と方法
- 2 国際機構の人事行政と国際公務員制度
- 3 国際機構の財源調達と財務行政
- 4 国際公共政策と政策科学—
- 5 国際安全保障政策
- 6 地球環境政策
- 7 国際開発援助政策
- 8 国際人権・人道政策
- 9 国際社会保障政策
- 10 国境を越える加盟国警察協力政策
- 11 食品の安全保障政策など
- 12 国際機構と行政統制、行財政改革(国際行政統制論)
- 13 国際機構行政と国内行政の関係—規制の国際的調整、国際機構、国、自治体間の国際規制協力
- 14 国際協力における NGO/NPO と自治体の役割
- 15 国際行政学の課題

成績評価の方法

前期・後期の試験による。

教 科 書

福田耕治『国際行政学』(有斐閣) 2003

参 考 書 等

福田耕治『現代行政と国際化—国際行政への序説(第二版)』(成文堂)
 福田耕治・真淵勝・縣公一郎編『行政の新展開』(法律文化社) 2002

そ の 他

講義に関係する国際機構、NGO等のURLについては、講義の際に適宜紹介していく。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 際 経 済 学	とく なが とし おき 徳 永 俊 明	15以降入学生/政治2・3・4選必(国際)	4
		15以降入学生/政治2・3・4選(行政メディア)	
		14以前入学生/政治2・3・4選必	

講義のねらい

学問への出発点は「私はどこにいるのか?」という問いにあります。実際、私たちはアマゾンの密林で生活しているわけではありませんし、江戸時代の農村に生きているわけでもありません。では「どこ」にいるのでしょうか。

「世界の中にいる」と言っても、「日本にいる」と言ってみても、これらは答えになりません。どのような世界なのか、どのような日本にいるのか——少なくともこれをつかまなければ先の問いに対する答えにはなりません。今日の世界社会、今日の日本社会の〈内容〉を理解しなければなりません。

ところで、世界経済は、今日、世界社会・日本社会の〈土台〉をなしているものです。世界経済という〈土台〉なしには、世界社会も日本社会も成り立ちません。世界と日本を理解するカギは世界経済を理解することにあります。この講義では、このような位置にある世界経済の〈基本構造〉の解明をめざします。ただし、私の力量からして“社会主義”経済に十分言及することはできません。資本主義世界経済に限定して検討します。

この講義のキーワードは〈階級的支配関係〉と〈民族的支配関係〉です。世界経済は、資本主義という社会の誕生とともに成立し始め、資本主義社会の〈土台〉として、またその〈産物〉として推移してきました。資本主義社会は、言うまでもなく、〈階級的支配関係〉を命綱としていますが、同時に、世界の諸民族の間の〈民族的支配関係〉をもう1本の命綱として重要な特徴です。これら二つの支配・従属の関係は資本主義社会のいわば2本柱をなすものです。そして、〈民族的支配関係〉こそ世界経済の〈基本構造〉として機能してきたのです。そこで、この講義では、この〈民族的支配関係〉の問題を座標軸にして世界経済の基本的な理論と歴史、現状そして展望を検討したいと思います。

〈国際化〉の問題がいよいよ重大になっているいま、多くの諸君の主体的な受講を期待します。

講義の内容・授業スケジュール

〈講義のテーマ(予定)〉

前期は、世界経済の歴史を跡づけ、今日の世界経済の歴史的段階を確認します。

後期は、歴史的知識を念頭において、今日=第2次世界大戦後の世界経済の〈基本構造〉を形づくっている主な柱を一つずつ検討します。

前期——世界経済の歴史的推移

- (1) 〈講義の趣旨〉および〈講義テーマ〉の説明
- (2) 資本の本源の蓄積と重商主義植民地体制
- (3) 産業革命と自由貿易植民地体制
- (4) 帝国主義と帝国主義植民地体制
- (5) 第1次世界大戦と世界経済
- (6) 戦間期の世界経済

後期——今日の世界経済

- (1) 第2次世界大戦と世界経済
- (2) 「アメリカ中心体制」
- (3) 新植民地主義と世界経済
貿易・国際通貨制度・資本輸出——(「援助」と多国籍企業)・〈南北問題〉と新国際経済秩序
- (4) 世界経済の現段階
- (5) 日本経済と世界経済
- (6) われわれの選択

〈講義の方法〉

教場では毎回資料をプリントして配布し、それを説明するという形で講義をすすめます。

成績評価の方法

成績は世界経済の基本事項、世界経済の“枝葉”ではなく、“幹”の理解度をミニ・レポート(3回予定)および学年末レポートで評価します。(レポート評価のため追・再試験は行いません。)

参考書等

講義の中で適宜紹介します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 際 法	さいとう 齋 藤 ひろし 洋	15以降入学生/政治2・3・4選必(国際)	4
		15以降入学生/政治2・3・4選(行政メディア)	
		14以前入学生/政治2・3・4選必	

講義のねらい

国際社会で日々生起している諸現象・諸事件を法学の視点から捉えられるようにするために、その基礎となる知識や原則・ルール of 習得をめざす。本講義は各法制度を法の発展過程の中で理解しようとする傾向をもつ。それは、担当者が現在という時間に区切って現行法制度を理解しようとするのではなく、過去から将来に続く一連の法発展過程の一時期の状態という視点で、現行法制度、特に国際法学を研究していることから生ずる傾向である。したがって講義内容も、狭大な法解釈・判例研究ではなく、当該法制度あるいは判例が人類社会もしくは国際社会の発展の中で如何なる意味を有するのか、それが社会にどのような影響を与えるのか、といったことを中心にして、現行法制度の基本ルールを説明することになる。

講義の内容・授業スケジュール

前期：戦争観念と国家主権観念、国家と国際法（承認論、責任論、承継論、対外機関、条約法など）、
 地的管轄権（1）（主として海洋法）
 後期：地的管轄権（2）（主として航空法・宇宙法）、人的管轄権（国籍、外国人問題、犯罪人引渡、難民など）、
 国際機関（法主体性論、国連、その他）、紛争解決（平和的解決手段、WTOの紛争処理、国際裁判など）

履修上の留意点

国際法は我々の日常生活に最も縁遠い法制度である。したがって、法学、憲法や民法、国際関係論、外交史などを履修した上で、3年次以上になってからの受講が望ましい。換言すればそれだけの予備知識がないと理解に困難を感ずるとと思われる。
 また受講生は、毎日必ず新聞を読むこと。自ら図書館で判例を調べるくらいの気持ちが必要である。

成績評価の方法

学年末の定期試験の成績で評価する。夏期休暇中の課題は原則として課さない。

教科書

齋藤洋『国際法講義ノート・資料2004』（虹有社）予価2,000円＋税

参考書等

授業中、適宜指示する。

その他

受講にあたって、私語を慎み、一所懸命ノートをとること。このノートが定期試験に威力を発揮するはずである。

政
治

科目名	担当者名	配当学科	単位
北米政治論(1)(前期)	こぼりのお 堀 訓 男	15以降入学生/政治2・3・4選必(国際)	2
		15以降入学生/政治2・3・4選(行政メディア)	
		14以前入学生/政治1・2・3・4選必	

講義のねらい

この講義のねらいは、“アメリカ政治の特質”を理解することにある。アメリカは、世界中から集まった、多種多様な人種によって形成された不思議な国家である。その不思議な国家を理解するためには、たった一度の独立革命(独立戦争)で国家が成立してしまった様子、アメリカの国家理念、アメリカの政党と政治を考察し理解する必要がある。

講義の内容・授業スケジュール

1. アメリカ国家の成立過程
2. アメリカ政治の型式
3. アメリカの政党の機能
4. 民主党と共和党——両党の支持者はだれか。
5. 民主党か共和党か——両党の相違点は何か。
6. アメリカ政治の将来

履修上の留意点

この講義では、アメリカ政治の総論を概説するが、政治学の基礎的な知識を必要とする。基礎的な事項は、その都度明示し解説するが、理解できない点は積極的に質問して欲しい。

成績評価の方法

定期試験70%、授業中の小テスト30%、授業中の積極的な発言も評価の対象とする。

教科書

特定のテキストは使用しない。

参考書等

参考書、雑誌、論文など、講義のなかでその都度紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
北米政治論(2)(後期)	こぼりのお 堀 訓 男	15以降入学生/政治2・3・4選必(国際)	2
		15以降入学生/政治2・3・4選(行政メディア)	
		14以前入学生/政治1・2・3・4選必	

講義のねらい

この講義のねらいは、“アメリカ政治の特質”を理解することにある。そのため、ルーズベルト大統領のニューディール政策からブッシュ大統領までの歴代の大統領の内政と外交を概観する。

講義の内容・授業スケジュール

1. ニューディール体制
2. 第2次大戦後の政治と社会
3. 激動の1960年代
4. 社会変動と政治の対応
5. 1970年代後半の保守化への動き
6. レーガン政権、I期II期
7. ブッシュ政権と社会主義諸国との関係
8. 冷戦終結後のアメリカと国際政治

履修上の留意点

ルーズベルト以後の各大統領の内政と外交について、受講生のなかで希望者が研究発表をおこない、受講生全員で討論しながら理解を深めていきたい。積極的に授業に参加することを望む。

成績評価の方法

定期試験70%、研究発表30%、授業中の積極的な発言も評価の対象とする。

教科書

特定のテキストは使用しない。

参考書等

参考書、雑誌、論文など、講義のなかでその都度紹介する。

その他

今日の問題とアメリカとの関係について、授業中に討論するので、新聞を毎日良く読んでおくこと。

科目名	担当者名	配当学科	単位
東南アジア政治論(1)	なかむらまさし 中村正志	15以降入学生/政治2・3・4選必(国際)	2
		15以降入学生/政治2・3・4選(行政メディア)	
		14以前入学生/政治1・2・3・4選必	

講義のねらい

民族的多様性は、東南アジア諸国に共通してみられる重要な社会的特徴のひとつです。本講義では、マレーシアの事例を中心に、東南アジアがなぜ多民族化し、それによってどのような社会的問題が発生し、どのような政治的対応がとられてきたのかについて考察します。

講義の内容・授業スケジュール

- 本講義では、以下のトピックを扱います。
- ①イントロダクション：マレーシアのプミプトラ政策
 - ②植民地化と多民族社会、複合社会の形成
 - ③独立運動とナショナリズム：インドネシアとマレーシアの比較
 - ④宗教と政治：イスラム問題を中心に
 - ⑤言語と政治：マレーシアとシンガポールの比較
 - ⑥グローバル化とナショナリズム：マレーシアの移民問題

履修上の留意点

東南アジアの時事問題についても、随時紹介、コメントしていきます。受講者には、新聞の国際面に目を通し、東南アジア関連のニュースをフォローしておくことを望みます。

成績評価の方法

期末のレポートならびに講義中に行う予定の小論文によって評価します。

教科書

教科書はとくに指定しませんが、初回の授業で参考文献リストを配布します。

政
治

科目名	担当者名	配当学科	単位
東南アジア政治論(2)	なかむらまさし 中村正志	15以降入学生/政治2・3・4選必(国際)	2
		15以降入学生/政治2・3・4選(行政メディア)	
		14以前入学生/政治1・2・3・4選必	

講義のねらい

東南アジアには、フィリピンやタイ、インドネシアのように民主化を達成した国がある一方で、軍事政権（ミャンマー）や一党制（ベトナム、ラオス）の国もあります。また、マレーシアやシンガポールの政治体制は「セミ・デモクラシー」とか「柔らかな権威主義」と呼ばれています。本講義では、マレーシアの事例を中心に政党や選挙などの政治制度と、制度の総体としての政治体制について考察します。その際「民主主義こそ最良の政治体制であり、あらゆる国は民主化されるべきだ」という広く普及した考え方はいったん棚上げし、今ある政治体制を形成し維持してきた政治家と民衆の苦悩の歴史に焦点を当てたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

- 本講義では、以下のトピックを扱います。
- ①民主主義と政治的安定：理論上の理想と途上国の現実とのギャップ
 - ②民主化のコスト：民主化後のインドネシアにおける暴力
 - ③軍事政権のコスト：援助の条件としての民主主義
 - ④民主主義と安定の相克(1)：政権交代なき民主主義としての多極共存モデル
 - ⑤民主主義と安定の相克(2)：政権交代なきマレーシアの現実
 - ⑥経済と政治(1)：なぜインドネシアでは通貨危機が政治危機を招いたか？
 - ⑦経済と政治(2)：なぜマレーシアの政治体制は通貨危機を生き延びたのか？

履修上の留意点

東南アジアを少しでも身近に感じてもらうために、時事問題について随時紹介、コメントしていきます。受講者には、新聞の国際面に目を通し、東南アジア関連のニュースをフォローしておくことを望みます。

成績評価の方法

期末のレポートならびに講義中に行う予定の小論文によって評価します。

教科書

教科書はとくに指定しませんが、初回の授業で参考文献リストを配布します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国政治論(1)(前期)	たけ はな みつ のり 竹 花 光 範	15以降入学生/政治2・3・4選必(国際)	2
		15以降入学生/政治2・3・4選(行政メディア)	
		14以前入学生/政治1・2・3・4選必	

講義のねらい

当科目は、地域研究入門講座的な性格をもって設けられたものであり、中国政治の歴史と現状について、正しい理解を得ることを目的としている。

講義の内容・授業スケジュール

授業内容は、辛亥革命以後の中国の政治制度と政治事情の変遷が中心になるが、とくに中華人民共和国建設後は、そうした変遷が、国家の最高法規であるはずの憲法の上に、どのように反映しているかについて詳述する。恐らく、プロレタリア文化大革命から75年憲法の採択あたりまでの講義になるものと思う。

履修上の留意点

時事的な問題をとり上げて解説するなど立体的な講義を心がけるので、できる限り講義には出席すること。

成績評価の方法

成績の評価は、論述型のペーパーテストによって行う。前もって数題提示し、その中から出題することになるものと思う。

教科書

竹花光範『中国憲法論序説』(成文堂)3,500円

参考書等

参考書(とくに、中国政治史、中国共産党史や現代化路線に関するもの)は、必要に応じて講義の中で紹介する。

その他

中国は「近くて遠い国」であるといわれる。地理的には、まさに隣国といってよく、歴史的にも深い関わりがありながら、お互いの理解は、必ずしも充分とはいえない。そのことが両国の間に不必要な軋轢を生んでいるといっただいである。学生諸君が、正しい中国認識をもって、「あるべき日中関係」を考えるよすがとなるような講義を心がけるつもりである。

政
治

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国政治論(2)(後期)	たけ はな みつ のり 竹 花 光 範	15以降入学生/政治2・3・4選必(国際)	2
		15以降入学生/政治2・3・4選(行政メディア)	
		14以前入学生/政治1・2・3・4選必	

講義のねらい

当科目は、地域研究入門講座的な性格をもって設けられたものであり、中国政治の歴史と現状について、正しい理解を得ることを目的としている。

講義の内容・授業スケジュール

後期においては、78年憲法から現行83年憲法の採択、その後の三度にわたる部分改正について述べることになるが、そこでは、いわゆる「中国の特色をもった社会主義」、すなわち社会主義市場経済体制の特色、並びに問題点についても論及する予定である。

履修上の留意点

時事的な問題をとり上げて解説するなど立体的な講義を心がけるので、できる限り講義には出席すること。

成績評価の方法

成績の評価は、論述型のペーパーテストによって行う。前もって数題提示し、その中から出題することになるものと思う。

教科書

竹花光範『中国憲法論序説』(成文堂)3,500円

参考書等

参考書(とくに、中国政治史、中国共産党史や現代化路線に関するもの)は、必要に応じて講義の中で紹介する。

その他

中国は「近くて遠い国」であるといわれる。地理的には、まさに隣国といってよく、歴史的にも深い関わりがありながら、お互いの理解は、必ずしも充分とはいえない。そのことが両国の間に不必要な軋轢を生んでいるといっただいである。学生諸君が、正しい中国認識をもって、「あるべき日中関係」を考えるよすがとなるような講義を心がけるつもりである。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ヨーロッパ政治論(1)(前期)	わか まつ くに ひろ 若 松 邦 弘	15以降入学生/政治2・3・4選必(国際)	2
		18以降入学生/政治2・3・4選(行政メディア)	
		14以前入学生/政治1・2・3・4選必	

講義のねらい

市場と国家の対立、民主主義の保証と統治の改善、国際統合の進展など、西ヨーロッパの諸国が今日抱える政治上の課題を理解するために重要な枠組みについて概説的な講義を行います。各国の相違というより地域の共通性、個別の事象というより基底の構造を明らかにすることに重点を置きます。

講義の内容・授業スケジュール

以下のトピックを順に各1～2回の講義で扱います。

- ①ヨーロッパ政治をみる視点、②歴史的背景、③イデオロギーと政党グループ、④対外関係、⑤西欧における国際統合、⑥西欧の民主主義

履修上の留意点

現代政治は現実の問題であるため、新聞、国際ニュース、インターネットのニュースサイト等により、最新の国際ニュースに触れておくことが望まれます。参考書を随時紹介しますので、それらを含めた関係分野の文献を自発的に検索し、授業外での学習を進めることを期待します。また、高校の「世界史」の知識を前提に授業を進めますので、自信のない人は復習しておいてください。

成績評価の方法

学期末試験の結果を成績とします。

教科書

とくに指定しません。

参考書等

授業内で各トピックごとに参考書を紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ヨーロッパ政治論(2)(後期)	わか まつ くに ひろ 若 松 邦 弘	15以降入学生/政治2・3・4選必(国際)	2
		18以降入学生/政治2・3・4選(行政メディア)	
		14以前入学生/政治1・2・3・4選必	

講義のねらい

議会政治の祖国であり、日本の政治制度にも大きな影響を与えてきたイギリスの政治をとりあげ、そのしくみを理解するために基礎となる見方を概説します。幅広く関心をもってもらうため、現代のイギリスを中心に講義を進めていきますが、表面的な知識の寄せ集めではなく、その裏にあるイギリス政治・社会の構造を理解してもらえよう期待しています。

講義の内容・授業スケジュール

以下のトピックを順に各1～2回の講義で扱います。

- ①「連合王国」の構成、②自由主義の歴史、③立憲体制、④議会、⑤行政機構、⑥政党制と選挙制度、⑦第二次大戦後の政治史

履修上の留意点

新聞、国際ニュース、インターネットのニュースサイト等により、最新のニュースに触れておくことが望まれます。また、参考書を随時紹介しますので、それらを含めた関係分野の文献を自発的に検索し、授業外での学習を進めることを期待します。

成績評価の方法

学期末試験の結果を成績とします。

教科書

とくに指定しません。

参考書等

授業内で各トピックごとに参考書を紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ヨーロッパ政治論(3)(前期)	あさみ まさえ 浅見 政江	15以降入学生/政治2・3・4選必(国際)	2
		15以降入学生/政治2・3・4選(行政メディア)	
		14以前入学生/政治1・2・3・4選必	

講義のねらい

本講座ではドイツ連邦共和国を素材に欧州の政治に関する理解を深めていきます。周知のように「ドイツ」は欧州を代表する主要国のひとつです。その「ドイツ」の誕生から現在に至る歴史を概観し、現在のドイツの政治制度、社会、経済について解説します。さらに欧州連合(EU)の中核的存在である「ドイツ」を欧州統合の文脈で評価してみたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

- 第1クール：「ドイツ」とは何か・「ドイツ」誕生の歴史(3回)
- 第2クール：近代「ドイツ」の歴史(2回)
- 第3クール：戦後ドイツの歴史(3回)
- 第4クール：ドイツの政治制度・社会・経済(2回)
- 第5クール：ドイツとEU(2回)

履修上の留意点

ドイツを対象に講義を行います。特段ドイツ語の知識は必要ありません。ただ、講義内容を正確に理解し、理解を深めるためには講義中提示した参考文献の手助けが必要です。講義に欠かさず出席することはもちろんのこと、講義を発展的に活用する意気込みのある人の履修を期待します。

成績評価の方法

学期末の試験とレポート(1回)によって成績評価を行います。

教科書

特定のテキストは使用しませんが、講義中適宜参考文献を提示します。また、随時講義内容に関連するレジュメを配布する予定です。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ヨーロッパ政治論(4)(後期)	あさみ まさえ 浅見 政江	15以降入学生/政治2・3・4選必(国際)	2
		15以降入学生/政治2・3・4選(行政メディア)	
		14以前入学生/政治1・2・3・4選必	

講義のねらい

欧州の政治を民主主義という観点で考察することが本講座の目的です。民主主義という概念の起源は古代ギリシャの昔に遡ることができます。しかし、ひとことに民主主義といっても、その概念は多様であり、かつ民主主義理念を反映させた制度は非常に千差万別ともいえます。米国的な民主主義モデルや英国的な(ウェストミンスター型)モデルについては、よく議論されますが、本講座では、これらのモデルとは一線を画する欧州独自の民主制度に関する議論を展開したいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

- 第1クール：民主主義について・ヨーロッパの民主主義(4回)
- 第2クール：オランダの民主主義と北欧諸国の民主主義(3回)
- 第3クール：スペイン、ポルトガルの民主主義とイタリアの民主主義(2回)
- 第4クール：欧州連合(EU)と民主主義(2回)
- 第5クール：欧州の新興民主主義諸国の現状(1回)

履修上の留意点

講義内容を正確に理解し、理解を深めるためには講義中提示した参考文献の手助けが必要です。講義に欠かさず出席することはもちろんのこと、講義を発展的に活用する意気込みのある人の履修を期待します。

成績評価の方法

学期末の試験とレポート(1回)によって成績評価を行います。

教科書

特定のテキストは使用しませんが、講義中適宜参考文献を提示します。また、随時講義内容に関連するレジュメを配布する予定です。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
アラブ・イスラム政治論(後期)	なかしま いさむ 中 島 勇	15以降入学生/政治2・3・4選必(国際)	2
		15以降入学生/政治2・3・4選(行政メディア)	
		14以前入学生/政治1・2・3・4選必	

講義のねらい 現代中東の政治問題を中心に扱う。開講中に発生する事件や紛争を手がかりに、その背景にある民族問題、宗教問題を整理する。中心的テーマは、アラブ・イスラエル紛争、イラク問題、イスラム系組織のテロ問題となる。また一神教の成立など、現在の事件の背景を理解するために必要な歴史にもふれる。

履修上の留意点 ニュースを扱うので、国際報道に関心があることが望ましい。

成績評価の方法 評価は、レポートの提出で行う。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中南米政治論(前期)	ましかわ たけし 岸 川 毅	15以降入学生/政治2・3・4選必(国際)	2
		15以降入学生/政治2・3・4選(行政メディア)	
		14以前入学生/政治1・2・3・4選必	

講義のねらい 比較政治学の観点から、中南米諸国の政治体制の基本構造と変動のメカニズムを解説する。まず独立後の政治史を概観したのち、軍、政党、教会、労組、住民組織、ゲリラ組織など主要アクターの役割を明らかにしつつ、中南米地域に共通して見られる一般的性格や国ごとの独自性を明らかにする。そしてさらに、民主化や経済自由化といった近年の動きが伝統的な政治のあり方をどう変えていったのかを見ていく。

講義の内容・授業スケジュール

- (1・2) 中南米政治の歴史的背景
- (3～6) 主要な政治アクター
- (7～9) 革命と革命後政権
- (10・11) 民主化
- (12) 経済自由化
- (13) 中南米政治の新たな課題

履修上の留意点 積極的な質問を期待する。本講義では基礎的知識の提供を目的としているので、より知識を深めたい学生に対しては、専門文献や研究方法を個別に紹介する。

成績評価の方法 学期末に実施する論述式の試験によって評価する。出席点も若干加味する。

教科書 松下洋・乗浩子編『ラテンアメリカ 政治と社会』(新評論)

政
治

科目名	担当者名	配当学科	単位
比較都市論	うち内海まり うみま	15以降入学生/政治2・3・4選(国際メディア)	4
		15以降入学生/政治2・3・4選(行政)	
		14以前入学生/政治2・3・4選	

講義のねらい

経済成長を目的に都市開発を進めた時代から、地域管理や経営という視点を含む持続的発展を目指した都市づくりが要請される時代へと移行しつつある。このような変化に対し今日の都市づくりは、経済のグローバル化に伴い国内外にわたる地域間競争にさらされ、持続可能性をもって地域ポテンシャルを高めることが期待されている。一方、地方分権改革により各都市独自の政策に基づき、固有の環境や景観、歴史や文化・産業などの資源を活かした個性豊かな都市のあり方が問われている。本講義では持続可能で個性豊かな都市づくりという観点から、諸外国と日本、日本における各都市について比較し、また、先進的な事例をとおして今後の都市政策における学生諸君の専門知識と理解を深めることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

授業では、各回毎に今日的なテーマを設定し、様々な都市のデータ及び都市づくりに関する計画や政策、実践的な取り組み等を提示しながら講義を行うが、詳しい授業スケジュールについては、第1回目の授業の際に配付する。

履修上の留意点

授業時に紹介する教科書や参考書を読み理解を深めるよう努力を払ってほしい。

成績評価の方法

授業への出席、レポート、学期末試験の成績を中心に評価する。

教科書

特に教科書は指定しない。

参考書等

授業中に随時提示し、さらに詳細な考察を望む学生にはテーマに沿った参考書を推薦する。

政
治

科目名	担当者名	配当学科	単位
マス・コミュニケーション論	前期：平塚千尋 ちひろ あいた 後期：相田敏彦 としひこ	15以降入学生/政治2・3・4選(メディア)	4
		15以降入学生/政治2・3・4選(行政国際)	
		14以前入学生/政治2・3・4選	

講義のねらい

現代社会に不可欠なものとして構造化されているマスコミについて、前期は、テレビ報道・制作の経験をもとに、現場に近い視点から具体的に考察する。後期は、報道の真実性について、原理的および具体的検討を行う。

講義の内容・授業スケジュール

前期…災害情報とメディア：・災害報道の特徴・その歴史的展開・災害報道から防災報道へ。

後期…「カメラはウソをつかないか」：・原理的検討（記号論、カルチュラル・スタディーズ）・具体的検討（新聞の具体的写真をめぐって）。

成績評価の方法

前期のレポートと学年末試験との総合評価。

教科書

前期：平塚千尋『災害情報とメディア』（リベルタ出版）2,000円、後期：ナン

参考書等

前期：講義の中で随時紹介する。後期：児島和人『マス・コミュニケーション受容理論の展開』（東京大学出版会）

科目名	担当者名	配当学科	単位
数量政治学	とみ さき 富 崎 たかし 隆	15以降入学生/政治2・3・4選Ⅱ(メディア)	4
		15以降入学生/政治2・3・4選Ⅰ(行政国際)	
		14以前入学生/政治2・3・4選Ⅱ	

講義のねらい

「数字」と聞くだけで毛嫌いな学生諸君も多いかもしれないが、数量的手法は今日の政治学において大変重要な手法となっている。政治現象が「そうである」ことを確認し、現象を明晰に「説明する」する上で、数量的手法は極めて強力なツールとなりうるからである。さらに、コンピュータを中心とした情報処理技術の急速な発達により、それは益々進展しつつある。なお、この数量的政治分析は、現代政治学で目指された政治学の「科学化」の潮流の中で急速に政治学の中に定着化していった。そして、政治を「科学的」に分析するという潮流は、戦後アメリカを中心に広がっていき、現代政治学においては、もはや主流のスタンスとなったといつてよい。実際、アメリカ政治学の代表的学術誌であり、アメリカ政治学会の学会誌である「American Political Science Review」誌上の論文中、今日では実証的論文のほとんどが広い意味での数量政治的分析(数理・計量モデルによる政治分析)をその論旨の中核に含むものとなっている。

本講義では、数量的政治分析が実証政治学全般にわたりその適用範囲を広げてきたことに注目し、数量的手法による政治分析を「マクロ政治学」「ミクロ政治学」「国際政治学」の各分野(内容については、初回講義時に説明)において紹介していき、数量政治分析が政治的現実をどのように明らかにしてきたか、また明らかにしていく可能性をもち、いかなる限界をもつかについて検討していきたい。

なお、本講義を受講する際、特別に数学素養が必要という訳ではない。政治現象を論理一貫した形で「説明」し(数理モデル)、政治現象が「そうである」ことを確認すること(計量モデル)の面白さと難しさを追体験し、理解することによって、学生諸君自らが政治を分析し、理解することへ進む足がかりを提供することが本講義の主要な目的である。また、できるだけ日々の政治トピックとの関連を意識し、数量的政治分析が決して「冷たく」「現実離れ」したものであることを示しながら、学生諸君が現実政治を「考える」材料を提供することを目指したい。

講義の内容・授業スケジュール

- I 講義のねらいと数量的分析の基礎
- II マクロ政治学(国家と自由民主主義体制のマクロ動態解明)における数量政治学
 - 1, 政治・権力・国家の意味とその数量分析
 - 2, 近現代国家システムの展開とその数量分析
 - 3, 自由民主主義体制・民主化の意味とその数量分析
 - 4, 自由民主主義体制の比較枠組みとその数量分析
 - 5, 政治と経済のマクロ的連動関係の数量分析
- III ミクロ政治学(自由民主主義体制の作動メカニズム解明)における数量政治学
 - 1, 政党と有権者の投票行動における数量分析
 - 2, 政権形成と議会立法過程における数量分析
 - 3, 官僚制と政策決定における数量分析
 - 4, 利益集団政治における数量分析
 - 5, 中央地方関係における数量分析
- IV 国際政治学における数量政治学
 - 1, 国際政治の意味
 - 2, 国際政治の主要理論潮流とその数量的分析
 - 3, 戦争・紛争の数量的分析

成績評価の方法

受講生と相談の上、総合的に評価する。

教科書

特に使用しない。

参考書等

小林良彰編 『叢書・社会科学の理論とモデル(全11巻)』(東京大学出版会)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
メディア社会論	前期：平塚 千尋 <small>ひらつか ちひろ</small> 後期：相田 敏彦 <small>あいだ としひろ</small>	15以降入学生/政治2・3・4選必(メディア)	4
		15以降入学生/政治2・3・4選(行政国際)	
		14以前入学生/政治2・3・4選	

講義のねらい

現代はテレビとともに始まった。そして今、デジタル電子メディアとともにポスト現代、新しい社会が暮を開けつつある。前期は社会の変化をメディア発展史と関連づけてたどる。後期はメディアにかかわる「情報」、「記号」、「コミュニケーション」の概念について原理的検討を行う。

講義の内容・授業スケジュール

前期…・メディア史・メディア特性・デジタル化と市民社会
 後期…・情報論・記事論・コミュニケーション論

成績評価の方法

前期のレポートと学年末試験との総合評価。

教科書

特に指定しない。

参考書等

前期：講義中に随時紹介する。後期：児島和人編著『講座社会学8、社会情報』（東京大学出版会）。竹内郁郎編著『メディア・コミュニケーション論』（北樹出版）。池上嘉彦『記号論への招待』

政
治

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
政 治 心 理 学	とみ さき 富 崎 隆	15以降入学生/政治2・3・4履必(メディア)	4
		15以降入学生/政治2・3・4履(行政官職)	
		14以前入学生/政治2・3・4履必	

講義のねらい

民主政治において、国民がどのように政治に参加するかは決定的に重要である。そして、政治心理学とは、政治に参加・関与する人々の心理と行動様式を、個々の市民（や政治家）のミクロ的視点から体系的にとらえようとする研究アプローチである。一般的には、政治心理・政治意識・政治的パーソナリティー・政治文化・政治的社会化等の個別研究領域がある。今日まで、民主政下における人々の政治心理学的分析は多様に展開してきた。さらに、近年新しい政治文化論ともいうべき社会関係資本（Social Capital）論が注目を集めつつある。一方で、近年のグローバル化・情報化、特にインターネットの急速な普及によって人々の情報空間は大きく変容しつつある。

本講義では、前半に政治心理学アプローチの諸理論・モデルについて解説する。後半では、今日の日本及び先進各国における市民の政治意識や投票行動について、最近の世論調査データや選挙結果などに基づいた分析を行う。そして、それが今後の民主政治に対して持つ意味を考察する。また、政治心理を分析する際に必要な計量的分析における方法論についても解説する。

全体としては、政治心理学アプローチによる様々な研究を検討していくことを通じ、現代における政治・社会変動を視野にいれつつ、自由民主主義体制の作動メカニズムを、有権者を中心とした政治心理や行動の側面から明らかにしていくことを目指したい。

政
治

講義の内容・
授業スケジュール

- I 政治心理学の理論とモデル
 1. 政治心理学の目的と方法
 2. 合理的選択理論と政治心理
 3. 態度理論と政治心理
 4. 認知理論と政治心理
 5. 政治文化論・パーソナリティー論と政治心理
 6. 社会関係資本（Social Capital）論と政治心理
 7. インターネット時代の政治心理（サイバー・デモクラシー？）
- II 政治心理の実証分析
 1. 戦後日本（1）55年体制下・石油ショック以前
 2. 戦後日本（2）55年体制下・石油ショック以後
 3. 戦後日本（3）細川内閣以後
 4. 戦後アメリカ
 5. 戦後イギリス
 6. その他の諸国
- III まとめ

成績評価の方法

受講生と相談の上、総合的に評価する。

教 科 書

特に使用しない。

参 考 書 等

堀江・富田・上條編『政治心理学』（北樹出版）1980年
小林良彰『選挙・投票行動』（東京大学出版会）2000年
その他、適時指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
政 治 社 会 学	わか 若 松 邦 弘 まつ くに ひろ	15以降入学生/政治2・3・4選必(メディア)	4
		15以降入学生/政治2・3・4選(行政国際)	
		14以前入学生/政治2・3・4選必	

講義のねらい

現代の政治現象を理解する1つの視点として、「国家」と「社会」の関係に注目することがあげられます。文化、宗教、民族、国籍、地域、性別、世代、職業、階層といった個人のもつ属性の違いが、どのように多様な社会集団へとまとめられ、集団間の利害の対立として表面化し、さらにその対立が調整され、国家という公的な場の意思決定へと反映されていくか、「政治」と呼ばれるその過程のメカニズムを考えていきます。

講義の内容・
授業スケジュール

以下のトピックを順に各1～2回の講義で扱います。
 ①社会的亀裂と政治的競争、②政治制度、③議会、④行政制度、⑤立憲体制の擁護、⑥政治過程、⑦政党、⑧利益集団、⑨選挙と政治参加（以上、前期を予定）
 ⑩業績と属性、⑪市民権、⑫産業化と社会、⑬社会福祉と国家、⑭市民社会の活性化、⑮国民国家とナショナリズム、⑯地域主義と分権、⑰国際移民とエスニックマイノリティ（以上、後期を予定）

履修上の留意点

参考書を随時紹介しますので、それらを含めた関係分野の文献を自発的に検索し、授業外での学習を進めることが望まれます。また、高校の「現代社会」（または「政治・経済」）の知識を前提に授業を進めますので、自信のない人は復習しておいてください。

成績評価の方法

学期末試験の結果を成績とします。

教 科 書

とくに指定しません。

参 考 書 等

授業内で各トピックごとに参考書を紹介します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
政 治 経 済 学	井 戸 正 伸	15以降入学生/政治2・3・4選(メディア)	4
		15以降入学生/政治2・3・4選(行政国際)	
		14以前入学生/政治2・3・4選	

講義のねらい

今日、先進国では政治と経済の関係は互いに密接不可分のものとなっています。この講義は、先進各国における民主政治のあり方の違いが、各国の経済政策や経済パフォーマンスに及ぼす影響を検討することを目的としています。

講義の内容・授業スケジュール

政府の能力、コーポラティズム、自由主義的資本主義 vs. 調整型資本主義、福祉国家レジームについての政治学の主要な理論を紹介するとともに、これら諸理論が日本をはじめとする先進各国の政治経済システムをどれほど説明できるのか、検討していきます。

- (前期)
1. 政治経済学へのアプローチ (『国家と企業』序章、1章；『制度の政治経済学』7章)
 2. 政府は強いのか？ (『国家と企業』2章)
 3. コーポラティズムと経済運営：理論 (『比較政治経済学』4、5章)
 4. コーポラティズムと経済運営：ケーススタディー (『経済危機の比較政治学』すべて)
- (後期)
5. 自由主義的資本主義 vs. 調整型資本主義 (『資本主義対資本主義』)
 6. 日本は調整型資本主義か？ (『企業と国家』4章)
 7. 福祉国家の再編：ケーススタディー (『福祉国家再編の政治』1、2、3、4章)
 8. ポスト・インダストリアル社会の方へ？ (『ポスト工業経済の社会的基礎』)

履修上の留意点

この授業は、『現代政治理論』の授業内容の理解を前提として、講義を行います。

成績評価の方法

授業への出席、前期試験および期末試験の成績をもとに総合的に判定します。

教科書

アルベール『資本主義対資本主義』(竹内書店新社) 2,266円
 井戸『経済危機の比較政治学』新評論 3,200円
 エスピン・アンデルセン『ポスト工業経済の社会的基礎』(桜井書店) 4,000円
 恒川恵市『企業と国家』(東京大学出版会) 2,600円
 宮本太郎編『福祉国家再編の政治』(ミネルヴァ書房) 3,500円

参考書等

授業の最初に指示します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
比 較 メ デ ィ ア 論	前期：岩崎 宇雄 後期：島中 誠	15以降入学生/政治2・3・4選必(メディア)	4
		15以降入学生/政治2・3・4選(行政国際)	
		14以前入学生/政治2・3・4選	

講義のねらい

- (前期) 現代のメディアの置かれている状況と現代社会との関わりについて、広範囲な視点から、最近のITの発展と情報ネットワーク社会化が既存のメディア構造をどう変化させるか、その社会へのインパクトについて日本、欧米、アジアモデルを比較し、考察する。
- (後期) 新聞業界を取り巻く環境はますます厳しい。情報発信に1世紀以上寄与してきたにもかかわらず、余命は5年しかないとの悲観論さえある。「紙」で発刊する日刊紙は絶滅の危機にあるのか。用済み、臨終ですと宣告されないための生き残り策を探る。

講義の内容・授業スケジュール

- (前期) 現代メディアの構造、IT革命とメディア、メディアと政治システム、メディアとグローバルイズム、テレビメディア論、メディアと文化摩擦、電子メディアと選挙システム。
- (後期) 新聞業界の現況。経営基盤と編集理念。社論と世論操作。全国紙と地方紙の差。新聞製作の現場。取材から記事作成、紙面掲載までの模擬体験。海外特派員の生活。国際報道のあり方。政治的偏向など新聞ジャーナリズム批判。テレビのニュース報道。

履修上の留意点

- (前期) 自分自身のメディア・リテラシー度を採点してみる。
- (後期) 一方的な「講演」ではなく、双方向性を目指したい。そのためには毎日の新聞報道に興味を持って欲しい。

成績評価の方法

学期末試験の結果、授業への積極性、レポート内容等で総合的に評価する。

教科書

教科書は使わない。毎回プリントや新聞の現物・切り抜きを配布する。

参考書等

参考文献、論文等はテーマごとに指定、推薦する。

その他

- (前期) テーマごとに課題の提示とレポート提出等をおりませ授業を進める。
- (後期) 時折、同一ニュースの扱いの違い(国内紙同士、国内紙と海外紙)を比較してみる。

政
治

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
基 礎 演 習	井 戸 正 伸	政治2選	4

講義のねらい

この基礎演習では、現代政治学の古典的著作を輪読していくことにより、教科書よりもう一步進んだ学術書の読み方を学びます。また、3、4年時におけるゼミナールにおいて学生諸君が十分な成果をあげることができるように、ゼミでの発表の仕方、ゼミ論文作成の方法などについても指導していきたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、政治学の入門書と政治学の古典的著作それぞれ一冊ずつをゼミ生全員で読んでいきます。

後期は、現代政治理論の中から、学生自身がテーマを選んで、各自、個人研究を進め、その中間成果をゼミで発表し、最終的にゼミ論文を完成させることを目指します。

履修上の留意点

『現代政治理論』、『政治経済学』を必ずとってください。また、まずは演習に毎回、出席してください。そして、わからない点はなんでも聞いてください。

成績評価の方法

ゼミ論文の内容とゼミへの熱意により総合的に評価します。

教科書

加茂・大西・石田・伊藤『現代政治学』(有斐閣) 1,800円
バリントン・ムーア『独裁と民主政治の社会的起源』(岩波書店) 絶版

参考書等

木下『論文の組み立て方』(筑摩書房) 780円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
基 礎 演 習	うちうみま 内海麻利	政治2選	4

講義のねらい

本基礎演習は、3年次からの演習に向けて、都市政策・地方行政・市民参加・まちづくりに関する基礎的な知識を養い、受講者が持つ問題意識を喚起するとともに、問題を研究する手法、分析力、報告・発表する能力を身につけることを主な目的としている。特にその演習方法は、図書や資料で知識を広げるとともに、3・4年次生との交流や、ワークショップ、フィールドワークなど人との対話や実践的な活動を通して知見を深める。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、研究の方法や進め方、テーマ毎に異なる課題への解決方を理解するため、主に4年次生等が行ってきた研究報告に対してワークショップなどの手法を活用しながら議論する。また、受講者の興味に応じて、参考図書や資料、事例などを紹介し、基礎的な知識を養う。

後期では、前期の基礎的な知見を踏まえて、演習期間内において各人が行う研究スケジュールやプログラム（問題意識の発掘、研究テーマ・研究方法の設定、関連文献の収集及び実地調査、とりまとめ方法など）を自ら作成し、各人の問題意識に対する解決策を検討・報告する。

例えば、平成15年度の研究テーマには次のようなものがある。
密集市街地の狭隘道路整備、自治体の財政状況、自治体税制の可能性、地方都市の合併問題、地方及び中心市街地の活性化、景観問題、市民参加手法、介護・医療保険制度、年金制度、人口安定地域の実態調査、環境問題などである。

履修上の留意点

ゼミの運営自体も学生の主体性を重視するため、積極的なゼミ活動への参加が望まれる。

成績評価の方法

出席状況、個々人の発表・報告の充実度、ゼミに対する意欲などを総合的に評価する。

参考書等

個々人の研究テーマに応じて適宜紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
基 礎 演 習	うら た さ なえ 浦田早苗	政治2選	4

講義のねらい

これまでわれわれが直面してきた、そしてこれからも直面し続ける様々な政治・社会現象について、純粹かつ鋭い視点から問題を喚起し、幅広い柔軟な発想をもって解決策を導きだせる人材を育成することに主眼をおいている。

講義の内容・授業スケジュール

15年度は共通テーマとして「変革期の日本」とし、内外の重要課題について個人研究及びグループ研究が行われている。前期の発表は『市町村合併』、『ドメスティック・バイオレンス』、『地球温暖化問題』、『2大政党制への道』、『児童虐待をなくす』、『北朝鮮への食料援助』というものであった。後期は発言する力を強める目的でパネルディスカッションやディベートを行う予定でいる。

履修上の留意点

オリジナリティ溢れる問題解決策・プランニングの作成にはかなりの時間を費やさなければならない。

成績評価の方法

発表内容と各自の持つ意欲（発表に対する質問・意見等）によって評価する。

参考書等

文藝春秋編『日本の論点2004』（文藝春秋）2,700円

そ の 他

研究発表では、学生諸君各自が興味あるテーマを自由に選択することができる。年3～4回のコンパと夏合宿が7月にある。

科目名	担当者名	配当学科	単位
基礎演習	こぼりのりお 小堀訓男	政治2選	4

講義のねらい

政治学と国際政治学の基礎的な知識を整理しながら理解すると同時に、受講者各自が興味をもっている問題を研究する方法と、発表する能力を訓練する。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、政治学と国際政治学の基礎的な知識を受講者全員で討議しながら、講義形式で授業をおこなう。同時に並行して、受講者各自に自分が興味をもっているテーマを提出させ、それをもとに、各自に研究資料や研究方法を指導する。

後期は、それまで指導を受けた各自の研究テーマを各自が発表し、その内容について全員で討議する。討議することによって、研究発表の方法や研究内容・問題点の所在を明らかにし、本格的な演習を受講する能力を身につけたい。

履修上の留意点

問題意識を明確にもった学生の受講を希望する。研究したい、ということと、研究出来るということは別であるが、まず、研究テーマを明確にして研究したいという情熱をもつことが先決である。あとは、この講座で研究するための方法や能力を身につける訓練をしてほしい。

成績評価の方法

講義中の発言、研究発表の内容で評価する。

参考書等

授業中に適宜紹介する。

その他

活発な授業参加と発言を求める。講義に関連したビデオ（各種の国際事象の実録など）を見る予定である。

科目名	担当者名	配当学科	単位
基礎演習	しおいり 塩入みほも	政治2選	4

講義のねらい

三、四年次においていずれかのゼミに所属を希望する者の為に、演習を行える基礎的能力を修得させることを狙いとします。

講義の内容・授業スケジュール

毎回各自に特定のテーマについて研究・報告をしてもらい、報告後には全員でディスカッションを行います。テーマは、主として行政法（国家と国民の関係を規制する法）に関する問題を取り上げます。具体的テーマの割り当ては、学生各自の希望を踏まえて決定する予定です。

履修上の留意点

公務員、行政書士等の国家試験の受験を考えている学生には、特に有意義であると思われる。

成績評価の方法

成績評価は、平常点（出席・報告・発言回数等）により行います。

参考書等

適宜必要により指示します。

その他

授業はゼミナール形式で行います。研究・調査方法、報告の仕方、レジュメの書き方等のノウハウは、初回に指導すると共に、その都度必要に応じて教示します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
基 礎 演 習	た 丸 だ 田 丸 大	政治2選	4

講義のねらい

本基礎演習では、現実の政治・行政の観察・問題発見・分析・提案能力の基礎を養うことを目的とする。自らが現実の政治・行政の問題に興味を持ち、自分の力でそれを調べ考え、その結果をゼミ生に報告し議論をすることによって、様々な能力を身につけて欲しい。

講義の内容・授業スケジュール

ゼミ生と相談してから決めたいと思うが、現在のところ、以下を考えている。
 (1)ゼミ生がそれぞれテーマを設定し、個別であるいは共同で調査研究し、その成果を発表する。
 (2)ディベートを行う。
 ちなみに、去年は、千代田区の歩きタバコ禁止条例、外国人の地方参政権付与、国民年金の空洞化、公共事業の見直し・評価などを扱った。

履修上の留意点

無断欠席は認めないので、注意すること。

成績評価の方法

出席・発表・発言などを総合的に評価する。無断欠席者には単位を与えないこともある。合宿も出席点に含める。

教 科 書

なし。

そ の 他

①ゼミの諸活動への参加意欲の高い学生を歓迎する。②なお、ゼミ生のうち、卒業後の進路として、各種公務員を視野に入れている者に対しては、国・地方の公務員の仕事や職場環境がどのようなものであるか、試験勉強をどのようにスタートさせればよいかなどについて、若干のアドバイスをしたいと考えている。

政
治

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
基 礎 演 習	とみ さき たかし 富 崎 隆	政治2選	4

講義のねらい

3年次からの演習に向け、様々な政治課題に関する問題意識、政治学的分析をおこなうための資料収集能力、論理構築能力、プレゼンテーション能力等を養うことを目的とします。
 具体的には、前期にグループ対抗のディベートを中心におこない、後期に班毎の共同研究リサーチとプレゼンテーションを中心におこなっていきたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

日本および世界で議論されている具体的政策課題をディベートのテーマとして取り上げます。ディベートとは、ある問題を取り上げ、是非の2チームに分かれ一定の形式に沿って、一種のゲームのように（勝敗を決める形で）討論をおこなうものです。基礎演習での、ディベート実施の目的は、具体的政策課題を採りあげることで、広く政治問題への問題意識をもつと同時に、ディベートを通じ諸君の論理・実証・思考・討論能力を向上させてもらう事にあります。
 前期議論した政策問題を中心に統一テーマを決め、後期に班毎にリサーチを行い、プレゼンテーションをおこなってもらいます。さらに、全体で論集をつくることを目標としたいと思います。
 受講生の希望や場合によっては、3・4年の演習にも参加してもらいたいと思います。

成績評価の方法

受講生と相談の上、総合的に評価します。

そ の 他

積極的・主体的参加を期待したいと思います。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
基 礎 演 習	ばや かわ よし き 早 川 純 貴	政治2選	4

講義のねらい

基礎演習は3年次からの演習に向け、政治学の基礎的知識を養い、多面的な観察力と深い分析力、さらには資料収集方法を身につけることを目的としている。とりわけ当演習ではこうした能力を、グループ対抗のディベートおよび班毎のリサーチ（フィールドワークを含む）を通して涵養していきたい。

講義の内容・授業スケジュール

ディベートで扱うテーマは日本の政治・社会・経済の諸問題（特に賛否両論が際立つ問題）に限定し、それぞれのテーマについて二つのグループが是側・非側の立場からアプローチしていく。ディベートは勉強の目標であり総括でもある。リサーチは地方政治が抱えるさまざまな課題について、それぞれ担当の班がフィールドワークを行い、その成果を発表する。また担当したりサーチについてはレポートを提出してもらおう。

履修上の留意点

当基礎演習で鍛えて欲しいのは、自分の考えをきちんと言葉で表現できる力、あるいは自分たちの主張を効果的に相手（聞き手）に伝え、十分に納得させる力である。そのためには学生諸君の議論とフィールドワークへの積極的参加を求めたい。

成績評価の方法

議論や調査への参加度、発表の充実度、レポートの内容などを総合して評価する。

教科書

教科書は用いない。参考文献は演習の過程で随時紹介する。

政
治

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
基 礎 演 習	むら い りょう た 村 井 良 太	政治2選	4

講義のねらい

本演習は政治史の良書を輪読し、議論することを通じて政治への理解を深めることを目的としています。戦前戦後の日本政治史をはじめ、アメリカやアジアなど他の国々の政治史をも学ぶことで、「世界のなかの日本」という広い視座を身につけ、さらには、歴史を学ぶことの楽しさを知ってもらいたいと思います。加えて、本演習を通じて、読む、書く、話すという基本的な技術を身につけてもらうことを目指します。

講義の内容・授業スケジュール

テキストは、論文を用いたり、本を指定したり、学生とも話し合いながら決めていきます。テーマは日本政治史を中心としつつ、広く政治史全般を考えています。このようなディスカッションと平行して、レポートの書き方やディベートなどにも時間を割いていきたいと思えます。前期で合宿と課題レポート、後期でディベートとゼミ論文を予定しています。

履修上の留意点

履修する学生には、たくさん本をまじめに読み、考え、出席し、積極的に発言しあうことが求められます。それを楽しんでいる学生を歓迎します。

成績評価の方法

成績は、出席、報告、発言、レポートなどから総合的に判断されます。演習は他の講義以上に、教官、学生ともに参加者全員でつくりあげていくものです。その貢献は評価の対象になります。積極的に参加してください。

教科書

テキストは話し合いながら決めていきますが、平成16年度は、入江昭『二十世紀の戦争と平和（増補版）』（東大出版）2,400円＋税をまず指定しておきます。

その他

授業の方法は、基本的には、毎回、テキストを指定して、それを輪読しながら議論することになります。報告者・討論者はレジュメをつくらせて報告します。それ以外の学生も、毎回、少なくとも一分間程度の発言を求められます。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
比 較 憲 法	にし 西 おさむ 修	政治2・3・4選	4

講義のねらい

比較憲法は、世界の憲法動向を知り、日本国憲法を広い視野から眺めるという点で非常に大きな効用をもっている。本講義は、主要諸国のみならず、アジアや発展途上国の憲法をも対象にして、立体的に組み立てる。

講義の内容・
授業スケジュール

おおむね以下の内容になる。①比較憲法とは（研究の意義、比較の対象、方法、限界など）
②主要諸国の憲法（アメリカ、イギリス、フランス、ドイツ、中国など）の概要、③アジアおよび発展途上国の憲法（韓国、北朝鮮、タイ、イスラム圏）の概要、④項目別の比較（平和主義、人権条項、有事対処、憲法改正など）。

履修上の留意点

①開講時にシラバスを配付するか、KOMSY に詳細を記載するので、よく読んでおくこと
②日本国憲法との関連で問題意識をもつこと ③私語は絶対に慎むこと ④途中からの入退室はしないこと。

成績評価の方法

①出席・レポート 30点 ②前期試験 30点 ③後期試験 40点。

教 科 書

年度内に作成の予定だが、コピーなどを配付する。

参 考 書 等

①西修著『ここがヘンだよ！日本国憲法』（アスキー）2001年。とくにPART3「世界の憲法はこうなっている！」
②アルバート・ブラウスタイン著、西修訳『棋界の憲法—その生成と発展—』（成文堂）1994年
③西修著『憲法体系類型的研究』（成文堂）1997年

そ の 他

授業中に試験をする可能性があるので、注意すること。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
現 代 国 家 論	おお つか かつら 大 塚 桂	15以降入学生/政治2・3・4選	4
		14以前入学生/政治2・3・4選必	

講義のねらい

近年、政治制度の諸改革（1府12省庁、地方分権、規制緩和 etc）がすすんでいます。これにより、21世紀型国家が構築されたものと評価されています。ところで、第2次大戦後、新生日本国家がスタートしました。民主化の徹底、人権意識の高揚がはかられました。これにより、大日本帝国体制が清算されたと考えられています。しかし、果たしてそうといえるのでしょうか。明治国家のフレームワークは、今日にあっても直接間接に影響を与えていますし、その痕跡もはっきりと残っています。現代国家を理解するにあたっては、明治国家の構造を知ることが有益です。本講義では、明治国家における制度、思想、運動について究明していきます。

講義の内容・授業スケジュール

1. 国家論の課題
2. 幕末政治過程
3. 幕末政治思想（水戸学、国学）
4. 公議政体論
5. 太政官制・内閣官制
6. 大日本帝国憲法
7. 法典整備・司法制度
8. 統帥権・戒嚴（令）
9. 地方官官制
10. 自由民権運動
11. 帝国議会
12. 財政制度
13. 教育勅語
14. 国家神道
15. 社会主義運動
16. 大正デモクラシー
17. 天皇機関説
18. 天皇制ファシズム
19. 統制経済
20. まとめ

成績評価の方法

受講生と相談の上で、以下のいずれかの方式によって単位を認定します。
 A方式（レポートによる単位認定）～年4回の課題報告を提出してもらい成績を評価します。
 レポート作成を通して、読解力と書く能力を涵養します。
 B方式（試験による単位認定）～中間、期末試験により評価します。
 ※なお、B方式のみ追・再試験を実施します。

政
治

教科書

大塚桂『明治国家の基本構造』（法律文化社）3,300円

参考書等

大塚桂『現代国家へのアプローチ』（成文堂）3,000円

その他

私の研究室は、第2研究館8階（2835）です。電話は3418-9377（直）です。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 家 安 全 保 障 論	こ ぼり のり お 小 堀 訓 男	15以降入学生/政治2・3・4選	4
		14以前入学生/政治2・3・4選必	

講義のねらい

カントがその著、『永遠平和のために』において「相共に生活する人々間の平和状態は、けっして自然状態なのではない。自然状態はむしろ戦争状態である。すなわち、たとえつねに敵対行為が勃発してはならないにしても、絶えずそれによって脅かされているのである。だから平和状態は樹立されなければならない」と述べているごとく、人間が、その長い歴史のうちで不断に希求してきたものは永遠平和であって、戦争それではなかったのである。カントによって提起された「永遠平和」という、この哲学的命題は、皮肉にも彼の夢想曲に終始してきたのが現実の歴史過程の常態である。本講では、「人は何故集団社会を形成するのか、集団を単位とした闘争と、個人レベルでの闘争は何処がどのように違うのか」をテーマに、国家の安全保障を考える。

講義の内容・授業スケジュール

1. 人は何故集団社会を形成するのか。
2. 近代国家の特質。
3. 国家安全保障の意味・機能・手段。
4. 国家安全保障に関する諸見解。
5. 国家安全保障の理念と現代的課題。

履修上の留意点

「人はなぜ闘争するのか」ということに興味をもっている学生への積極的な参加を望む。

成績評価の方法

ディスカッションでの発言点と期末試験で評価する。

教 科 書

小堀・志鳥共著『国家安全保障の研究』（高文堂出版） 1,200円

参 考 書 等

授業中に随時指示する。

政
治

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
外 交 史	むら い りょう た 村 井 良 太	15以降入学生/政治2・3・4選	4
		14以前入学生/政治2・3・4選必	

講義のねらい

国と国とのつきあいと、人と人とのつきあいは、何か違いがあるのでしょうか。また、戦争が起こるのは悪い国があるからでしょうか。現在の国際政治は混沌と模索の中にあります。そのような中で、過去の経験から学び、未来への糧としようとするのが、外交史の分野です。本講義は、外交をめぐる歴史をたどりながら、外交の本質に迫ることを目的としています。民主主義国家において、外交は国民を離れては成り立ちません。また、相互依存の時代にあって、外交は生活の中にまで強い影響を及ぼしています。したがって、社会人の一つの素養として、外交への理解を身につけてもらいたいと考えています。講義は、教科書を軸に、それをふくらませる形で進めていきます。

講義の内容・授業スケジュール

講義内容は以下を予定しています。スケジュールなど詳細は開講後にお知らせします。
前期：①世界に生きる日本 ②国際政治上の紛争と論理 ③20世紀における大紛争の起源
④勢力均衡と第一次世界大戦 ⑤集団的安全保障の挫折と第二次世界大戦
後期：⑥冷戦 ⑦介入、制度、地域紛争 ⑧相互依存、グローバリゼーション、そして情報の時代 ⑨新しい世界秩序？ ⑩事例と総括

履修上の留意点

履修する学生には、何より出席と積極的な授業参加を求めます。

成績評価の方法

成績は、随時おこなう出席調査、中間レポートと学年末試験によって評価します。

教 科 書

ジョセフ・ナイ『国際紛争〔原書第4版〕』（有斐閣）2,600円

参 考 書 等

参考図書は講義のなかで随時紹介していきます。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 法 制 史	しげのたかはる 茂野隆晴	政治2・3・4選	4

講義のねらい

基礎法学の一つとしての法制史は、文字通り、法学教育における史学である。私の担当する「日本法制史」は日本国民の法生活の歴史的考察を行うものである。年間の通史の授業は時代区分に基づいて行うのがふつうである。近年では、近現代史のもつ重要性も強調されるようになってきているので、講義ではそうしたことに配慮しつつも、本年は国初から近世までの4期の法制の特色を主に講述し、終りに『家』制度を行いたい。
年間の講義を受講することによって、日本の法文化への愛着が深まったといわれるようになればと思う。

講義の内容・授業スケジュール

- 序 日本法制史を学ぶにあたって
- I 日本法制史とは
 - II 基礎法学のなかの法制史
 - III 日本法制史の時代区分
 - IV 日本法制史教育の沿革
- 第1章 上古（氏族法時代）
 (1) 総説 (2) 氏族制度 (3) 法の始源 (4) 法の分化
- 第2章 中古（律令法時代）
 (1) 総説 (2) 律令法
- 第3章 中世（武家法時代前期）
 (1) 法の系統 (2) 分国法〔国法〕 (3) 起請文
- 第4章 近世（武家法時代後期）
 (1) 織豊二氏の法令 (2) 徳川幕府の法令
 終りに 『家』制度と現代の法意識

政
治

履修上の留意点

史資料に則して行う授業ですのでテキストは必ず揃えて欲しい。また、授業中の私語は当然ながら厳禁ゆえ、守れない者があれば直接にも指摘することになる。

成績評価の方法

年間1度の定期試験と出席点によって評価する。

教科書

大久保治男・茂野隆晴共編著『日本法制史史料60選』（芦書房）2,300円

参考書等

大久保治男・茂野隆晴共著『日本法制史』（高文堂出版社）3,000円。このほかにも、場合によりプリントを配布します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
西 洋 法 制 史	きたの 北 野 かほる	政治2・3・4選	4

講義のねらい

イギリスの法制度の歴史を、社会の法的構造と国家統治機構のかかわりを軸に解説する。特に注目される法的現象を挙げながら、各時代毎の法制度の全般的特徴と、基本的社会・政治構造との関連について考察する。

講義の内容・
授業スケジュール

- 第1部 総論
 - 第1章 法制史学概説
 - 第1節 法制史学の方法と対象
 - 第2節 法制史学の目的と効用
 - 第3節 イングランド法制史学の対象と方法
 - 第2章 イギリス歴史学の基本的知識
 - 第1節 時間的範囲
 - 第2節 空間的範囲
- 第2部 イングランド法制史
 - 第1章 古代
 - 第1節 歴史過程
 - 第2節 社会構造
 - 第3節 法構造
 - 第2章 中世 (1066-1350)
 - 第1節 歴史過程
 - 第2節 社会構造 封建制
 - 第3節 統治構造 封建制の解体
 - 第4節 法構造
 - 第3章 近世 (1350-1650)
 - 第1節 歴史過程
 - 第2節 社会構造
 - 第3節 統治構造
 - 第4節 法構造

政
治

履修上の留意点

講義中の私語・騒音は厳しく規制する。予め十分留意すること。

成績評価の方法

論文式筆記試験 (後期試験期間・年1回)

教 科 書

特に指定しない。

参 考 書 等

年度当初に指示する。

そ の 他

一冊で間に合うような参考書はないため、試験準備に最も有効なものは講義の際に筆記した各自のノートである。今年度から講義内容を少し変更するため、過去の講義ノートはあまり役に立たない。敢えて出席はとらないが、出席してノートをとらないと事実上試験準備ができなくなるので十分注意すること。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 米 法	またの 北野 かほる	政治2・3・4選	4

講義のねらい

近現代法治国家の主要法系のひとつである英米法系について、日本法を含む大陸法系と比較しての基本的特徴を外観し、その主要な理由をなすと考えられる、法形成における裁判の意味について、判例法を中心に考察する。

講義の内容・
授業スケジュール

- 第1章 法系
 - 第1節 近代法の法系
 - (1) 西洋近代法
 - (2) 二大法体系
 - (3) 大陸法系あるいはローマ法系
 - (4) 英米法系あるいはコモン・ロー法系
 - 第2節 イギリス法の特徴
 - (1) 一般的特徴
 - (2) 歴史的特徴
 - 第3節 英米法の分類
 - (1) 法域
 - (2) 法源
 - (3) コモン・ロー
- 第2章 英米法の特徴
 - 第1節 法内容の歴史性
 - (1) 歴史的連続性
 - (2) 法系としての特徴
 - 第2節 法観念の社会性
 - (1) 法の観念
 - (2) 法システムにおける裁判の位置
 - (3) 救済と権利
 - 第3節 法思考の実務性
 - (1) 総論
 - (2) 法曹一元
- 第3章 判例法の理論
 - 第1節 判例法
 - (1) 判例法
 - (2) 判決における法考察
 - (3) 判例法の考察
 - 第2節 判例法の理論
 - (1) 外枠
 - (2) 内実
 - (3) 先例性の判断
 - 第3節 制定法の解釈
 - (1) 制定法の位置づけ
 - (2) 厳格な分離解釈の理論

政
治

履修上の留意点

講義中の私語・騒音は厳しく規制する。予め十分留意すること。

成績評価の方法

論文式筆記試験（後期試験期間・年1回）

教科書

特に指定しない。

参考書等

望月礼二郎『英米法（新版）』（青林書院）現代法律学全集55 5,150円
その他の参考書：年度当初に指示する。

その他

試験準備には講義ノートが最も有効である。各自注意して出席し、ノートをとること。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
会 社 法	あら き まさ たか 荒 木 正 孝	政治2・3・4選	4

講義のねらい

この講義では、会社法（総則、合名会社、合資会社、有限会社、株式会社）の基礎的かつ基本的な事項について解説するが、とくに現代の経済活動において重要な役割を果たしている株式会社の法規制について多くの時間を割くつもりである。

講義の内容・授業スケジュール

大企業は全て株式会社の形態をとり、その株式会社が現代の経済を担い、多くの人々に商品やサービスを提供し、労働の場を提供するという社会的機能を通して国民の生活に計り知れない大きな影響を及ぼしている。そこで、この講義では、株式会社の生成、機能、構造、消滅などの私法的側面を中心に規制する株式会社法に重点を置き、そこでの重要問題を採り上げ、判例や学説の対応、実務の取り扱いなどを検討し、会社法の基本原則を理解してもらおうつもりである。

具体的には、①会社法総論として、会社の経済的機能、法的概念、権利能力などについて解説し、②会社の設立においては、株主有限責任の原則、資本に関する原則、発起人の意義・地位、定款の作成、会社の実体形成手続、設立関与者の責任、設立無効、設立登記などを説明し、③株式制度では、株式の概念、株式の種類、株式の併合・分割・消却、株式譲渡の自由と制限、名義書換、株式の担保化などに触れる。④会社の管理・運営については、機関の意義・特色・分化、株主総会、取締役、取締役会、代表取締役、監査役および委員会等設置会社などについて各種の問題点を検討する。

履修上の留意点

会社法は商法の重要な部分であり、その中心は、商法第二編会社、有限会社法などの規定である。商法は、民法を一般法とする特別法であるから、会社法に限らず、商法を学ぶ際には、その基礎となる民法総則、物権法、債権法などの知識があると一層理解しやすい。ただ、講義の内容を理解するために必要な範囲で民法＝財産法の規定や基本概念にも触れるつもりであるから、財産法の全てを履修していなくても受講には差し支えない。

平成13、14年度および15年度に重要な商法の改正が行なわれたので、必ず平成16年度版の六法をもって講義に臨んで下さい。

成績評価の方法

年度末に行なわれるペーパーテストの点数で評価します。

教 科 書

荒木正孝著『新企業法』（成文堂）2003年

参 考 書 等

鴻・落合・岩原・江頭編『会社判例百選』（第6版）（有斐閣）
奥島・中島編『商法演習Ⅰ（会社法）第3版』（成文堂）

政
治

科目名	担当者名	配当学科	単位
経済法	わかばやし ありき 若林 亜理砂	政治2・3・4選	4

講義のねらい

経済法の中心をなす独占禁止法を理解することを目標とする。独占禁止法は、市場における競争秩序の維持をになうものであるが、これは事業者の活動にかかわるのみならず、私たち消費者の生活にも密着している。この点を念頭に置き、講義では、なるべく多くの事例を紹介することにより、独占禁止法の解釈や運用について具体的なイメージをもって理解できるように進める予定である。

講義の内容・
授業スケジュール

以下のトピックについて講義を行う予定である。

- 1 独占禁止法の基礎概念
- 2 不当な取引制限
- 3 私的独占
- 4 一般集中規制
- 5 市場集中規制
- 6 不公正な取引方法
- 7 公正取引委員会
- 8 私的エンフォースメント・刑事罰

成績評価の方法

期末試験により評価を行う。

教科書

丹宗・厚谷編『新現代経済法入門（第2版）』（法律文化社）

参考書等

別冊ジュリスト『独禁法審決・判例百選（第六版）』（有斐閣）

その他

授業は毎回配布するレジメに基づいて進めることとする（基本的には教科書に沿ったものとなる予定である）。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 際 紛 争 解 決 法	おう 王 志 安	政治2・3・4選	4

講義のねらい

国際法における紛争処理の様々な手段について、それぞれの形態、機能、限界および適用可能性を把握し、国際紛争解決の法的仕組みを理解する。

講義の内容・授業スケジュール

国際紛争の処理を具体的な法制度、手続きの側面から取り上げ、一回の講義で一つの課題を絞り、それぞれ制度の展開、機能および事例検証の形で解明する。前期では、国際紛争の基本構造、紛争解決手段の基本的枠組みを講義した上で、外交的手段による紛争解決、国連における紛争解決および世界貿易機構（WTO）の紛争処理制度を取り上げる。具体的には、国際義務違反の責任形態、紛争の平和的解決の意義、交渉、仲介、国際調査および調停といった制度の展開および適用、国連における紛争処理の制度的展開および現状、そしてWTOの紛争処理制度の発展、手続きおよび制度の意義を講義する。後期では、仲裁裁判および国際司法裁判を取り上げる。具体的には、国際裁判の史的展開、仲裁裁判制度の確立およびその手続き、国際商業仲裁の現状、国際司法裁判所の組織、管轄権、適用法規則、手続規則などを講義する。

履修上の留意点

参考資料を適宜に配布し、教科書の内容を補足しながら講義を進めていく。聴講ノートをしっかり取ってもらいたい。

power pointで講義を進める。簡潔な聴講ノートは、下記のホームページから入手できる。
<http://www.komazawa-u.ac.jp/~anzhi/index.htm>

成績評価の方法

学年末の筆記試験によって評価する。ただし、前期小テストや出席状況も成績を評価する際に考慮される。

教科書

大沼保昭編著『資料で読み解く国際法』第2版（下）（東信堂）2002年 2,000円

参考書等

市販されている国際条約集および国際判例集。これらにつき開講時に詳しい情報を提供する。

その他

授業はpower pointを使って講義方式で行うが、判例の分析につき学生のまとめ報告を求めるところもある。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
刑 法 各 論	佐 藤 多 美 夫	政治2・3・4選	4

講義のねらい

刑法各論講義では、刑法総論で学んだ一般原理・原則をベースにしなが、刑典第2編各則に規定されている殺人罪、傷害罪、窃盗罪など犯罪の一つひとつについて、その具体的な内容と成立要件（たとえば、有価証券偽造罪[刑162条]はどのような場合に成立するか）や、それらの犯罪の相互関係などを学ぶことにする。

講義の内容・授業スケジュール

- 一 生命・身体に対する罪
 - 1 殺人の罪
 - 2 傷害の罪
 - 3 堕胎の罪
 - 4 遺棄の罪
- 二 自由に対する罪
 - 1 逮捕・監禁の罪
 - 2 脅迫の罪
 - 3 略取誘拐の罪
 - 4 性的自由に対する罪
 - 5 住居侵入罪
 - 6 秘密を侵す罪
- 三 名誉・信用に対する罪
 - 1 名誉に対する罪
 - 2 信用及び業務に対する罪
- 四 財産に対する罪
 - 1 窃盗罪
 - 2 強盗罪
 - 3 詐欺罪
 - 4 恐喝罪
 - 5 横領罪
 - 6 背任罪
 - 7 盗品等に関する罪
 - 8 毀棄隠匿の罪
- 五 公衆の安全に対する罪
 - 1 騒乱の罪
 - 2 放火及び失火の罪
 - 3 溢水・水利に関する罪
 - 4 往來を妨害する罪
 - 5 国民の健康に関する罪
- 六 偽造に関する罪
 - 1 通貨偽造の罪
 - 2 有価証券偽造の罪
 - 3 文書偽造の罪
 - 4 印章偽造の罪
- 七 風俗秩序に対する罪
- 八 国家法益に対する罪

政
治

成績評価の方法

筆記試験とその他の総合評価とする。

教 科 書

開講時に指示する（欠席しないように）。

そ の 他

予習することを望む

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
民 法 (債権)	うえ い たけ ひさ 上 井 長 久	政治2・3・4選	4

講義のねらい

本講義は、他人に対して、或る物を交付させること、または、或ることを為すことを要求する権利、すなわち債権についての実体的権利関係を総合的に考察するが、それを通して、債権をめぐる問題に対して精通するとともに、柔軟に解決できるように導くことを目標とする。そのように人が人に対して或る事柄を要求することを正当と認め、その請求の実現が当事者間ではかることが出来ない場合に、当事者の一方の訴えに基づき他方の責任を追求するために裁判所が力を貸す関係が債権関係である。そのような人と人の関係は、封建的な身分関係から生じるのではなく、周知のように近現代では多くは契約関係から生じる。その他に、契約関係がなくとも相互扶助、公平、損害補填等の要請に基づく事務管理、不当利得、不法行為などからも債権関係が生じる。

債権法は、その全てについて言えることではないが、合意優先ないし契約自由の原則の及ぶ領域においては、その規定が任意法規性のゆえに日常の経済生活では往々にして、合意により債権法規と異なる生活規範が設定され、また、それが許される法の範疇である。この範疇においては、日常生活の一定の基準たる債権法規の解釈と、その法規を排除した、より有益な準則を設定した生活関係の両方を理解することが必要である。

政 治

講義の内容・授業スケジュール

この講義は、債権総論と債権各論を講義の対象とする。まず債権法全体の仕組み、内容をひとつと説明したうえで、債権一般の通則たる債権総論、次いで債権発生の原因にあたる契約、事務管理、不当利得、不法行為などの債権各論について逐条的かつ重点的に解明する。講義の内容および進行は、具体的には、以下の予定である。

- ① 債権の意義・性質・社会的機能、債権法の法源、債権法の特質・体系（前期）（第1回）
- ② 債権の目的・内容（第2回）
- ③ 債権の効力——債務と責任、履行強制（第3回）
- ④ 債務不履行責任（第4、5回）
- ⑤ 債権の対外的効力——債権者代位権（第6回）
- ⑥ 詐害行為取消権（債権者取消権）（第7回）
- ⑦ 多数当事者の債権関係——債権の共有・合有・総有、分割・不可分債権（第8回）
- ⑧ 連帯債務、保証債務（第9、10回）
- ⑨ 債権の譲渡、債務の引受（第11回）
- ⑩ 債権の消滅（第12、13回）
- ⑪ 契約総則——債権発生原因、契約自由の原則、契約の種類（後期）（第14回）
- ⑫ 契約の成立（第15回）
- ⑬ 契約の効力——同時履行の抗弁権（第16回）
- ⑭ 危険負担、（第17回）
- ⑮ 第三者のためにする契約（第18回）
- ⑯ 契約の解除（第19回）
- ⑰ 贈与、売買、交換（第20回）
- ⑱ 消費貸借、使用貸借、賃貸借（第21回）
- ⑲ 雇傭、請負、委任等の契約（第22回）
- ⑳ 事務管理、不当利得（第23回）
- ㉑ 不法行為（第24、25回）

履修上の留意点

債権法は、民法学の一分野であるから、必然的に民法の他の分野にも関連する。とくに債権を担保するための担保物権や民法全体の基本原則である民法総則などを扱う「民法I」も併せて履修することが望ましい。

成績評価の方法

学年末の定期試験で行う。

教 科 書

遠藤浩・川井健他編『民法（4）～（7）』（有斐閣双書）

参 考 書 等

我妻栄・有泉亨共著水本浩補訂正『民法2債権法』（一粒社）および稲本洋之助・上井他共著『民法講義5契約』（有斐閣大学双書）

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会保険法	ほらだ けいいちろう 原 田 啓一郎	政治2・3・4選	4

講義のねらい

今日の社会保障制度が本格的に構築されたのは、第二次世界大戦後であったこともあり、社会保障法学が本格的な法学の一研究領域として認知されたのはごく最近である。
 社会保障は、第一義的には国民の生活保障を目的とする制度であり、その重要性は私たちの日常生活において無視し得ないものになっている。本講義では、社会保障法の基礎と個別制度の特質・内容の理解を通して、社会保障の法的理解を深めることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

- I 社会保障とその特質
- II 社会保障法の理論と課題
- III 年金制度——国民年金、厚生年金、企業年金
- IV 社会手当制度
- V 医療保障制度——国民健康保険、健康保険
- VI 労災保険制度
- VII 雇用保険制度
- VIII 社会福祉制度
- IX 公的扶助制度

履修上の留意点

社会保障の法政策論などは、同担当者による「社会政策」で詳細に取り扱う。

成績評価の方法

原則、筆記試験の結果によって成績判定を行う。出席はとらない。ただし、出席せずして単位を取得できるほどやさしい評価ではないことに留意されたい。

教科書

教科書は講義開講時に指定する。
 指定する教科書と併せて、佐藤進ほか編『社会保障判例百選〔第3版〕』（有斐閣、2000年）をそろえること。
 六法は、『社会保障関係法規集』（労働新聞社）を必ず携帯すること。

参考書等

適宜紹介する。

その他

履修にあたっては、憲法、行政法、民法、労働法、社会政策、法哲学などの科目を既修若しくは本科目と平行履修していることが望ましい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会学原理	わた なべ ちと き 渡 辺 源 樹	政治2・3・4選	4

講義のねらい

社会学の主要な対象である社会的人間、集団、組織を柱に据え、加えて社会変動の問題を加味させた社会意識論を配置し、その各々を構成する主要な問題を講述する。そのためのものとして社会学の概念や理論を用いて、身近な社会現象をとらえて社会的な理解や認識を深めさせたい。

講義の内容・授業スケジュール

- 第1回 社会学とは何か 社会的事実/実証性 “予期せんがために見る” / 社会的分析/現代社会学の領域と方法
- 第2回 社会的行為 なぜ “action” からなのか / 社会の基礎的単位として行為/行為の社会性・歴史性
- 第3回 相互行為・社会関係・社会過程 人間の行為は “inter” して社会的となる / 人間関係・社会関係・国際関係/交換/社会過程
- 第4回 社会的役割の基本公準 1、役割の取得-社会化 フロイドとパーソンズの “社会化の過程” を中心に
- 第5回 2、役割の準拠-準拠集団 準拠枠/所属集団と準拠集団/動機と態度の概念
- 第6回 3、役割の葛藤/マージナル・マン アイデンティティとモラトリアム/マージナルマンとして青年期/マージナルマンとして職場人間
- 第7回 社会統制と逸脱行為 1、規範と同調-逸脱の次元 行為と社会的秩序/サンクション・パターン
- 第8回 2、ラベリングと予言の自己成就 印象操作/シンボルとシンボル操作/逸脱とラベリング/予言の自己成就
- 第9回 アノミー デュルケムのアノミー、マートンのアノミー論 マクロ社会学とミクロ社会学
- 第10回 社会集団 1、社会集団とは何か 集団の特質/集団の分類/家族と企業体
- 第11回 2、集団の構造と機能 社会有機体説と構造・機能/機能連関/機能要件 (AGIL 図式)
- 第12回 3、地位と役割 集団の単位としての役割/ロールセット、地位系列/業績的地位・帰属的地位
- 第13回 4、集団のリーダーシップ 集団目標/集団効果性/ホワイトのリーダーシップ論/PM 理論とリーダーシップ
- 第14回 5、集団の凝集性・モラール 同調への圧力・斉一性/集団規範/凝集性を高める条件/モラール
- 第15回 集団・文化・パーソナリティ
- 第16回 組織論と官僚制 1、組織の一般理論 現代社会と組織体/組織の一般理論第17回
- 第18回 2、官僚制組織の基本原則 ウェーバーの支配の3類型/官僚制組織の基本原則(ウェーバー、ミヘルス) / 支配・権力・権威
- 第19回 3、官僚制組織の動態 官僚制組織における “目標の転移” / ホーソン実験/グールドナー、ブラウの官僚制論
- 第20回 社会意識 1、社会意識とは何か 社会意識の2つの途/マルクスとウェーバー
- 第21回 2、ウェーバーのエートス論 「プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神」を中心として
- 第22回 3、社会的性格 i) フロムの社会的性格 「自由からの逃走」を中心として ii) ミルズ、リースマンの社会的性格 「ロンリー・クロード」を中心として
- 第23回 4、社会的態度(社会心理) 行為の科学的説明/ニューカムの社会的行動の説明図式
- 第24回 全体社会の構成 1、経済と社会…経済と経済社会学/産業社会・消費社会/経済の国際化・従属理論
- 第25回 2、政治と社会…政治と政治社会学/権力/政治文化 3、法と社会…法と法社会学/法の機能/規範 4、教育と社会…教育と教育社会学/学歴と社会移動
- 第26回 社会成層の社会学 階級と階層/職業構成/社会移動/地位の一貫性・非一貫性/成層研究の課題

成績評価の方法

定期試験のほか、七月に中間試験を行います。

教科書

開講時に提示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
財 政 学	ほん 半 や とし ひこ 谷 俊 彦	15以降入学生/政治2・3・4選	4
		14以前入学生/政治2・3・4選必	

講義のねらい

政府（国や地方自治体）の経済的役割は市場経済を補完することであり、これには①資源の効率的配分、②富と所得の再分配、③経済の安定化がある。この授業では、こうした目的を達成するためには、政府がどのように制度を持ち、どのように行動すべきであるのかを、主にお金の集め方と使い方という観点から学ぶことを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

- 前期は政府が持つ経済手段（財政制度）を学ぶ。
1. 予算制度（政府によるお金の管理）
 2. 政府支出（政府によるお金の使い方）
 3. 租税制度（政府によるお金の集め方）
 4. 財政調整（国と地方自治体の間の任務と財源の分け方）
- 後期は政府の経済活動（財政政策）を学ぶ。
1. 資源の効率的配分（政府による財・サービスの供給）
 2. 富と所得の再分配（所得格差の縮小）
 3. 経済の安定化（景気変動の抑制、経済成長の促進）

履修上の留意点

財政学は、政府の活動を通じて私たち国民の生活を向上させるにはどうすべきかを考える学問である。授業では原理・原則を中心に学習を進めるが、そうした理論は実際の政治状況との関連の中で始めて意味を持つ。日頃から新聞に目を通し、現在は何が問題となっているかを知っておくことが望まれる。

成績評価の方法

原則として前期末および学年末の試験により評価するが、出席状況も加味する。

教 科 書

里中恆志・八巻節夫編著『新財政学〔改訂版〕』（文眞堂）2002年発行

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経 済 原 論	あさの かつみ 浅野 克巳	政治2・3・4選	4

講義のねらい

現実の経済の動きを念頭におきながら、現代経済学の基礎理論を以下の順序で解説する。なお、公務員試験（その他の国家試験等）の受験対策にもなるよう必要に応じ問題練習を行うので、下記の問題集も用意してください。

講義の内容・
授業スケジュール

- I マクロ経済学
 - 1. 経済循環と国民所得の諸概念
 - 2. 所得はどのようにして決まるのか
 - 3. 45度線モデルとI-Sバランス
 - 4. IS-LM分析と財政金融政策
 - 5. 経済の変動と成長
 - 6. 賃金・物価・インフレーション
 - 7. 国際マクロ経済学
- II ミクロ経済学
 - 1. 市場と価格メカニズム
 - 2. 消費者行動の理論
 - 3. 企業行動の理論
 - 4. 不完全市場とは何か
 - 5. 市場の失敗
 - 6. 不完全情報の経済学
 - 7. リスクと不確実性
 - 8. 市場と企業組織の関係
- III 公共政策

履修上の留意点

経済学を勉強するうえで不可欠なことは、現実の経済問題にできるかぎり関心をもつことだ。これらはさまざまなメディアをとおしあふれるほど提供されている。特に『日本経済新聞』には毎日必ず目をとおしてもらいたい。授業でも関連する記事やデータは参考にするので、できるだけ持参してもらいたい。また必要な記事・データはスクラップ・ブックなどに整理しておくこと、授業だけでなく将来の就職試験などにも大いに役立つだろう。

また、経済学を理解するために数学の知識が必要だといわれるが、入門的なコースで用いる数学は高校の基礎解析あるいは代数程度で十分。必要があれば授業の中でも説明するが、要は「習うより慣れろ！」のつもりで反復練習するにかぎる。

ついでに、初心者でも使いやすいコンピュータのソフトが「駒澤大学情報センター」に常備されている。それらを利用しシミュレーションしてみることも、おもしろく経済学を学ぶ方法だろう。ともあれ、授業には必ず出席しノートをしっかり取り、予習復習を実行すれば「100点取るのも夢じゃない！」

なお授業中は、私語厳禁、勝手に席を立たないこと、ケータイなどもつてのほか、以上厳守。守れない者は、直ちに退席してもらう！

成績評価の方法

定期試験とレポートによる。

教 科 書

浅野・荒木・浅田『エコノミックス・改訂版』（成蹊堂）

参 考 書 等

青山『経済原論の頻出問題』（実務教育出版）
八木『基礎からステップ経済学』（実務教育出版）

そ の 他

経済学部浅野ゼミHPの『過去問コーナー』には、授業に必要な資料・参考文献、あるいは練習問題と解答などを掲載しておくので、各自でダウンロードして参考にしてもらいたい。また、質問その他どんなことでも書き込みOK！ 大いに利用してください。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経 済 政 策	もり おか じん 森 岡 仁	政治2・3・4選	4

講義のねらい

経済学の実践部門としての経済政策が自由主義経済に成立した過程と、そこではたす役割を明らかにする。人口高齢化や少子化の経済的帰結にも言及し、最後に高齢化社会における経済政策と人口政策の関係を論ずる。

講義の内容・授業スケジュール

I. 現代経済と経済政策 II. 経済政策学の発展 III. 現代経済政策の課題 IV. 経済の成長政策 V. 経済の安定政策 VI. 産業組織政策 VII. 社会均衡化政策 VIII. 経済政策と人口政策

履修上の留意点

日常生活に生起する経済問題に日頃から関心を抱き、自分達の身の回りにある経済問題の解決手段として経済政策を考え、学ぶことが大切である。

成績評価の方法

学年末の定期試験、授業の出席状況

教科書

森岡他著『現代経済政策』（千倉書房）1975年

政
治

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
農 業 政 策	みぞ て よし かず 溝 手 芳 計	政治2・3・4選	4

講義のねらい

“工業が先進国型産業であるのに対して農業は途上国型の産業だ”、“工業が環境負荷になりやすいのに対して、農業は環境に優しい産業である”、“食料価格は主に農業の生産性の高さによって決まる”、“日本農業の競争力が低いのは、主に農家の人が甘えているせいだ”、、、こうした認識は果たして正しいでしょうか。

農業は、一方では、他産業、とりわけ川上の農機具・資材産業や川下の食品関連産業などいわゆるアグリビジネスとの関連が強まり、他方で、WTO農業交渉に象徴される国際化への対応を求められるなど、かつて見られなかった激動の時代を迎えています。こうした時代に農業政策のあり方を考えるためには、農業という産業の特質と現代の農業問題の構図を理解するとともに、政策ツールについて批判的に検討していくことが必要です。

授業では、現代の主要な農業問題と農業政策をいくつか取り上げて、経済学の視点から説明します。

講義の内容・授業スケジュール

1. 「農業政策」とは（1～2回）
2. 食料問題と食料政策（3～7回）
3. 農家所得問題と農産物価格政策・直接支払い（8～12回）
4. 農業構造問題と構造政策（13～18回）
5. 戦後における日本と世界の農業政策（19～25回）

履修上の留意点

充実した授業は、教員の努力だけでできるものではありません。授業中に「コミュニケーション・カード」を配布しますので、授業の感想や質問、意見を書いてください。授業改善の参考にします。

成績評価の方法

成績評価は定期試験を基本とします。再試験は行いません。

教科書

田代洋一『新版農業問題入門』（大月書店）

参考書等

F. マグドフ他編（中野一新監訳）『利潤への渴望』第5章（大月書店）
梶井功『新基本法と日本農業』（家の光協会）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
工 業 政 策	おく やま まさ ゆき 奥 山 雅 之	政治2・3・4選	4

講義のねらい

現在、わが国の工業は、長引く不況や生産の海外化等の影響で厳しい状況にあります。しかし、将来においても「ものづくり」は、日本にとって重要であることに変わりありません。この講義では、わが国における工業の特徴を確認しながら、それに対する政策の課題と方向性について考察します。

前期では、わが国の工業の役割と状況変化を中心に、日本社会を支える「ものづくり」について様々な観点からみていきます。後期では、環境調和、産学連携、知的財産、企業再生など、「ものづくり」をめぐる今日的な題材を取り上げて検討を加えます。

講義の内容・
授業スケジュール

前期(1~3)わが国の工業の役割と特徴 (4~6)戦後における工業の発展と工業政策
(7~9)工場立地の変化と工業集積の効果 (10~13)生産の海外化と空洞化問題
後期(14~16)工業の業種別課題 (自動車産業、繊維産業ほか)
(17・18)「ソフトなものづくり」産業 (ソフトウェア産業、アニメーション産業ほか)
(19)産学連携 (20)知的財産の創造・保護・活用
(21・22)工業の環境調和 (23・24)資金調達が多様化と企業再生
(25)規制緩和と構造改革特区 (26)まとめ

政
治

履修上の留意点

1年間の講義を通して「ものづくり」を中心とした産業課題に対する問題意識や提言力を身につけてもらうのが目標です。日頃から新聞の経済・産業関連記事に接することが望まれます。

成績評価の方法

成績は学年末試験とレポート提出で評価します。試験およびレポートの内容については、講義に積極的に参加していた人が有利になるように配慮します。

教 科 書

教科書は特に指定しません。配布する資料によって講義を行います。

参 考 書 等

加藤秀雄『地域中小企業と産業集積』（新評論）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
商 業 政 策	いわ した ひろし 岩 下 弘	政治2・3・4選	4

講義の内容・
授業スケジュール

- 一 わが国の小売商業構造と蓄積構造
 - 1 90年代の小売商業構造 2 80年代の大手小売業の資本蓄積構造
 - 3 90年代の大手小売業の資本蓄積構造
- 二 わが国の流通政策論
 - 1 中小小売商保護政策論 2 流通近代化政策論 3 流通システム化計画論
 - 4 流通革命論
- 三 流通ビジョンと流通政策
 - 1 70年代の流通 2 80年代流通産業ビジョン 3 90年代流通ビジョン
 - 4 21世紀へ向けた流通ビジョン
- 四 わが国の小売商業調整政策の展開過程
 - 1 百貨店法
 - 1) 第一次百貨店法 2) 第二次百貨店法
 - 2 中小小売商業振興法
 - 3 小売商業調整特別措置法
 - 4 大店法
 - 1) 1973年法 2) 1979年改正法 3) 1991年改正法
 - 5 凍結宣言、要綱及び条例
 - 6 通産省による行政指導＝抑制措置
 - 7 規制緩和
 - 1) 規制緩和の流れ－前川レポート、行革審報告 2) 日米構造問題協議
 - 3) 適正化措置
 - 8 特定商業集積法
 - 9 街づくりと都市計画
- 五 流通政策の転換
 - 1 大店立地法 2 中心市街地活性化法
- 六 海外の流通政策
 - 1 イギリス
 - 1) 出店調整政策－都市・農村計画法 2) 日曜営業問題－商店法
 - 2 フランス－ロワイエ法
 - 3 ドイツ－土地利用計画
 - 4 アメリカ－ゾーニング規制

政
治

成績評価の方法

定期試験、レポート、出席により評価。再試験は実施しない。

教科書

指定しない。

参考書等

その都度指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
地方財政論	しのほら 篠原 章	政治2・3・4選	4

講義のねらい

地方財政の枠組みを理解するとともに、地方財政の基本問題を分析するための基礎的な手法を学ぶことを主眼とする。時事問題なども、折に触れて取り上げる予定である。

講義の内容・授業スケジュール

年間を通じて以下の項目を講義する予定である。

[基礎編] (主として前期)

1. 地方財政論を学ぶということ
2. 地方公共支出の役割
3. 地方公共支出の現状
4. 地方公共支出と公共財供給
5. 租税体系と地方税
6. 地方税制度の歴史と現状
7. 負担と受益
8. 地方債の基礎知識

[応用編] (主として後期)

1. 分権と集権
2. 地方財政調整の実態
3. ケーススタディ：沖縄問題と地方分権
4. 地方財政と地域開発
5. 地方財政制度の国際比較
6. ケーススタディ：高齢化と地方財政
7. ケーススタディ：「東京」の社会経済学

履修上の留意点

初学者を対象としたコースだが、財政学の知識があれば、より深く理解することができる。したがって財政学の履修経験があるか、財政学を履修中であることが望ましい。

成績評価の方法

学期末の筆記試験と授業時の課題（レポート）等によって総合評価する。再試験実施。

教科書

片桐昭泰・兼村高文・星野泉共編著『地方財政論』（税務経理協会刊）2,800円（本体価格）

参考書等

参考書・参考文献・資料等は随時指示する。

その他

テキスト・参考書以外に、新聞等の時事的な資料やビデオ資料等もしばしば利用する予定である。質問等については電子メール（akirashinohara@ma2.justnet.ne.jp）でも受けつける。また、篠原ホームページ（<http://www.daito.ac.jp/~akirashi/>）にも講義関連の情報を掲示するので活用してほしい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
地域計画論	原 昭 夫 <small>はら あき お</small>	政治2・3・4選	4

講義のねらい

ドイツ語でErdkunde（土地の技法）と言う地理学の領域では、土地の履歴や現況を観察・分析する様々な手法が蓄積されて来た。それらの技術や手法をふまえて、地域の将来像をつくり、それに向けて現況の改変・整序・維持・保全していく計画学へつなげていくことを考えていく。

地域とは、立地・規模・歴史・自然・生産形態などによって多様な姿を有し、それに政治・文化・経済のあり方なども加わって日々形を変えている。

そうした地域の現況や動態を把握し、そこにどのような秩序や活性をつくり、我々の住み働き楽しむ場所としていくか、その手法や考え方を、地域計画・都市計画・まちづくり・建築などを通して深めていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

- I. (4・5月) 地域を知る：地域や都市の姿・成り立ち・現況・動態等を把握する。
- II. (6・7月) 課題を発見する：地域や都市がどのような課題を抱えているかを知る。
- III. (9・10月) 課題を考える：そうした課題がどんな原因・関連を持つか考える。
- IV. (11・12月) 地域を計画する：地域の課題を解決し、その将来像を考える。

履修上の留意点

現代の地域や都市全般についての幅広い関心と、そこでの課題の改善について意欲を持っていることが大切。

成績評価の方法

出席（授業への積極性評価）及びレポート（年数回：折々の社会の課題に対する自己の意見や論評）による。

教科書

『自治体まちづくり』（学芸出版社）2,800円＋税

参考書等

『都市計画』（共立出版株式会社）3,800円＋税
『都市計画論』（日本放送出版協会）2,400円＋税
その他授業の都度に提示する。

その他

講義形式を基本とし、折々スライドも使用。聴講人数によっては、ワーク形式も考えて見たい。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
政治学特殊講義(1)(前期)	うちうみま 内海麻利	政治2・3・4選	2

講義のねらい

近年、社会情勢の変化の中で、市民参加・市民活動が注目されている。特に前者は、政策形成プロセスにおける参加を意味する場合が多く、これは行政が主として担う「公共性」と市民が望む「公共性」との乖離をうめようとするものである。他方、市民活動においては、自治に対する自主的な取り組みやNPO等による公益活動の急速な展開により、地域社会が育て担う「新しい公共」の存在が顕在化している。しかし、こうした市民を中心とした政策形成プロセスや公益活動等には、合意形成や一定の秩序を生み出す政治システムが必要とされる。本講義は全国の事例を通じて市民と公共性との関係を政治という観点からとらえ、その体系と理論、実践手法について学生諸君の専門知識と理解を深めることを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

授業では、主として次の視点につき講義するが、その内、数回、講義に関する議論について受講者の考えを発表する機会を設ける。なお、詳しい授業スケジュールについては、第1回目の授業の際に配付する。

- ・市民と公共性
- ・市民団体と市民活動
- ・政策形成プロセスにおける市民参加
- ・合意形成とその手法
- ・コミュニティ・ガバナンス

履修上の留意点

受講期間に身近な地域の市民参加や市民活動に参加、見学されることが望ましい。

成績評価の方法

授業への出席、発表の充実度などを中心に評価する。

教科書

特に教科書は指定しない。

参考書等

授業中に随時提示し、さらに詳細な考察を望む学生にはテーマに沿う参考書を推薦する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
政治学特殊講義(2)(後期)	三 ^み 竹 ^{たけ} 直 ^{なお} 哉 ^や	政治2・3・4選	2

講義のねらい

この授業では、他の社会と比較することを通じて、私たちの住む日本の社会や私たち自身について、よりよく理解することを目的とします。外国の話がよく出てきますが、日本の社会や自分たち自身のあり方を考え、よく知ることが目的です。

この授業では、必ずしも私が専門的に研究していることを取りあげるわけではありません。みなさんと一緒に、考えたり悩んだり面白がったりする授業です。

講義の内容・授業スケジュール

なるべく日本の政治学ではあまり取りあげられないトピックを取りあげます。特に、社会の中の価値観が問題になるトピックに重点を置きたいと思います。トピックの例は、授業内容を載せてある下記のホームページの、「政治学特殊講義」のところを参考にしてください。(まったく同じトピックを取りあげるかもしれませんが、違うトピックを取りあげるかもしれません。)その他、この授業についての最新情報も、このホームページで確認してください。
<http://homepage2.nifty.com/mitakezemi/>

履修上の留意点

クラス全体の雰囲気や人数にもよりますが、3・4人のグループに分けて意見交換する時間を多く作りたと思いますので、そのつもりで参加してください。

課題をやってきていなかったり、遅刻したり、前の回の授業に出席していなかった学生は、そうしたディスカッション中心の日の授業には参加できませんので、注意してください。

成績評価の方法

学年末試験と平常点によります。詳しいことは最初の授業で説明しますし、下記のホームページにも掲載しますので、履修登録される方は<必ず>参照してください。なお、2004年度用の情報は、2004年4月に入ってから確認してください。
<http://homepage2.nifty.com/mitakezemi/>

教科書

授業で指示します。

参考書等

適宜、授業で紹介します。

その他

授業では、みなさんがせつかく6年間(以上)も勉強した英語がさびつかないように、英語に接する機会を少しでも多く作るようにします。英語の資料は英語のまま見せたり配布したりします。

ホームページにこの授業用の掲示板を設けますので、質問や話し合いに使ってください。
<http://homepage2.nifty.com/mitakezemi/>

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
政治学特殊講義(3)(前期)	おおしまとしひこ 大島稔彦	政治2・3・4選	2

講義のねらい

国会における立法の機能を中心に、国会の構成・組織・運営について、議会の制度論に偏らず、法制度と実態の相互関係を検証しながら、概観します。議会制民主主義のあり方を踏まえて、国会が実際にどのように動いているかを、そのときどきのトピックも取り上げながら、政治の動向と絡めて見ていき、立法過程も含めて、日本の議会制度と議会関係法規の実際の特徴を明らかにしていきたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

次のような内容の構成とスケジュールを予定しています。

(1) ガイダンス、(2) 国会とルール・法制度、(3) 民主主義の歴史と制度、(4) 民主主義の原理、(5) 日本の議会—帝国議会と国会、(6) 国会の組織と構成—二院制、(7) 議員と選挙・政党、(8) 議院の構成、(9・10) 国会の権限と機能、立法とその過程、予算、政府コントロール、(11) 国会の手続と運営—会期と議事手続、(12) 本会議と委員会、(13) 両院関係

履修上の留意点

憲法をはじめとする国会関係法規も参照すること。新聞は少なくとも全国紙一紙には目を通すことが望まれます。

成績評価の方法

基本的には提示する課題テーマについてのレポート提出によります。その内容によって決定しますが、授業への出席状況も加味します。

教 科 書

講義レジュメを随時配布します。また、大石眞著『議会法』・有斐閣（有斐閣アルマ）・2001.12発行（本体1,600円）を参照してください。

参 考 書 等

講義で紹介

そ の 他

講義形式（場合によりディスカッションを併用したい）

政
治

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
政治学特殊講義(4)(後期)	おおしまとしひこ 大島稔彦	政治2・3・4選	2

講義のねらい

現代国家における民主主義の基本的な制度である選挙制度について、制度のあり方、日本における制度設計の議論、実際の法制度とその作用を検討します。日本の選挙法制はさまざまな面で特色を持っていますし、これまで政治改革の名の下に、政治とカネとの関係も含めて、いろいろな改革論議がされてきました。これらの特色や論議の再検討を踏まえて、制度の考え方、その作用の実際を、原理的な視点から検証し、選挙制度のあり方を考えてみたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

次のような内容の構成とスケジュールを予定しています。

(1) ガイダンス (2) 基本的な選挙制度 (3・4) 選挙制度の歴史—近代民主主義と選挙、歴史と制度 (5) 憲法と選挙の原理 (6・7) 選挙の方法—多数代表、比例代表、選挙権、選挙区、投票方法、政党 (8) 日本の選挙法制—選挙管理体制 (9・10) 投開票・立候補・当選人・選挙運動 (11) 公民権停止・連座制・罰則 (12・13) 制度改革論議—経緯・内容とねらい・メリットとデメリット・制度のあり方

履修上の留意点

選挙制度は、政治のあり方と密接に結びついています。政治の動向にも注意を払い、そのためには少なくとも全国紙一紙には目を通すことが望まれます。

成績評価の方法

基本的には提示する課題テーマについてのレポート提出によります。その内容によって決定しますが、授業への出席状況も加味します。

教 科 書

講義レジュメを随時配布します。また、加藤秀治郎著『日本の選挙』（中公新書）2003.3発行（本体700円）を参照してください。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
外 書 講 読 I (英書)	おお やま れい こ 大 山 礼 子	政治 3 選	4
外 書 講 読 II (英書)		政治 4 選	

講義のねらい

デモクラシーに関する論説を集めた教科書の中から、いくつかを選んで購読する。英語を敬遠する学生が多いが、ある程度の基礎知識があれば、学術論文は小説や新聞記事などより読みやすいはずである。ぜひ、積極的に挑戦してもらいたい。

ただし、外書購読は英語科目ではなくあくまで政治学科の専門科目である。したがって、この講義のねらいも英語の学習ではなく、英語の論説を素材として、さまざまな観点からデモクラシーを考えることにある。

講義の内容・授業スケジュール

学生の読解力、興味を勘案しながら、いくつかの論説を読む。一編は数ページ程度のものなので、最終的には、一度に全体を通読して内容を把握できるようにしたい。

履修上の留意点

予習は必須。辞書をひく手間を惜しまぬこと。

成績評価の方法

平常点による。

教科書

Robert A. Dahl et al(ed.), *The Democracy Sourcebook* (受講者にはコピーを配布する)。

その他

毎回、必ず英和辞典(あまり薄いものは困る。電子辞書可)を持参すること。

政
治

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
外 書 講 読 I (英書)	きよ たき ひと し 清 滝 仁 志	政治 3 選	4
外 書 講 読 II (英書)		政治 4 選	

講義のねらい

この講義では、英文に慣れ親しむことからはじまって、新聞・雑誌を読みこなすことのできる基礎的な英文読解能力を身につけることを目的にします。TOEIC[®]、公務員試験の各種試験における英文読解に対処できるだけの実力をつけることを期待しています。さらに英文読解を通じて、日本語における論理的思考(ロジカルシンキング)、論文・レポートの作成能力の向上にもつながるように配慮します。

講義の内容・授業スケジュール

詳細は授業の最初に説明します。

次の3つの段階で実力UPをめざします。

- 1 日本の英字新聞(ジャパン・タイムズなど)を読みながら、記事内容を理解する。
 - 2 インターネット等で海外の新聞を読み、概要を理解し、各記事を比較する。
 - 3 英文雑誌(Economistなど)を通じ、時事問題の背景等の分析に取り組む。
- 時事問題については適宜、(日本語で)解説を加えます。

履修上の留意点

演習方式で運営します。授業で英語力をUPすることを目的にしていますので、成績等に関わりなく参加してください。英文読解に加え、国際事情・時事問題について理解・関心を深めることも期待しています。

成績評価の方法

授業の参加状況を勘案します。評価は、講義を受けることでいかに力をつけたか、を重視します。

教科書

英字新聞、雑誌のコピーを使います。

参考書等

英語を学ぶ心構えに次の文献を読むことをお勧めします。
斎藤兆史『英語達人列伝』『英語達人塾』(中公新書)

その他

授業を通じて、身の回りの情報に自発的・積極的に関心を抱く知的習慣が身につくことを期待します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
外書講読Ⅰ(英書)	み たけ なお や 三 竹 直 哉	政治3選	4
外書講読Ⅱ(英書)		政治4選	

講義のねらい

英語で、比較政治学分野の専門的な文献(本や論文)を読むことに挑戦します。

講義の内容・授業スケジュール

この外書講読では、日本語訳を作ることは一切しません。実践的に、英文を英文のまま理解し、できるだけ早く読めるようになることを目指します。
最初の数回で、新聞記事などを使って、訳さずに早く読む練習をします。
後は、グループで専門的な文献を読んでいくことになります。

履修上の留意点

他の参加者と一緒に助け合いながら読んでいきますので、英語力はそれほど気にする必要はありません。入試の英語に準備をした人であれば十分です。むしろ、英語で専門文献を読むので、日本語で専門的な文献を読んだことがある、もしくは読むつもりのある人が対象になることに注意してください。
授業時間は、グループ作業が多くなりますので、必ず毎回出席することが前提になります。重くても、必ず中辞典以上の辞書(電子辞書は不可)を持参してもらいます。

成績評価の方法

平常点によります。ただし、病気等で欠席が多くなってしまった人や授業態度に問題があった人などは、特別に試験を行った上で単位認定します(この場合、試験は定期試験期間外に行います)。

教科書

英文の本を指定するかもしれませんが、その場合、授業中に案内します。

参考書等

なし。

その他

詳しい情報は、三竹ゼミのホームページで確認して下さい。
<http://homepage2.nifty.com/mitakezemi/>

政
治

科目名	担当者名	配当学科	単位
外書講読Ⅰ(仏書)	あ ら き ま さ た か 荒 木 正 孝	政治3選	4
外書講読Ⅱ(仏書)		政治4選	

講義のねらい

わが国が近代国家として出発するとき、ヨーロッパ諸国の法制度や政治制度に多くを学んだ。そして、その諸制度は基本的に現在もわが国を支える枠組みとなっている。これらの諸制度が、本来どのような考え方を基礎として生まれ、どのような社会的、政治的背景のもとに発展してきたのかについて、フランス語の原書の講読を通して母国語の思考や事情を学び、わが国の制度をより広い観点から深く理解する力をつけてもらいたい。

講義の内容・授業スケジュール

教材は、受講生の語学力に合わせ、公法や私法の基本的な考えや政治の仕組みをやさしく解説した文献を選ぶつもりである。

履修上の留意点

履修にあたっては、基礎的なフランス語の力が必要であるが、なによりも継続して文献の解説に取り組む熱意のあることが求められる。

成績評価の方法

成績は、出席の回数と平常の努力を評価して行う。ペーパーテストは行わない。

教科書

教材については、必要に応じてプリントを配布する。

参考書等

参考書は、授業の内容に応じてその都度指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
外書講読Ⅰ(中国書)	江 ^{こう} 林 ^{りん} 英 ^{ひで} 基 ^{もと}	政治3選	4
外書講読Ⅱ(中国書)		政治4選	

講義のねらい

現在の中国は経済の改革・開放政策をとっており、これを実現するため、1982年に四回目の新憲法を制定・施行し、その後三回にわたる改正を行った。その他の法律もこの憲法に基き、“雨後春筍”のようにつぎつぎ公布された。“一衣帯水”の隣国である中国を認識することが必要である以上、その法制から着手しなければならないのである。

講義の内容・授業スケジュール

この授業は中国憲法138条の条文に書かれている中国の内政と外交方針、国民の基本権利と義務、人民代表大会の権限、人民政府の組織などを主な内容とする。

履修上の留意点

授業の進度は一週間5ページ程度である。学生諸君に朗読させ、法律用語、条文の構造(文型)を説明しながら立法理由と現在状況を論評する。

成績評価の方法

出席率、学習態度、レポートなどを判断基準として総合的に評価する。

教科書

コピーを配布する。

参考書等

江英居著『中国憲法』(大学書林) 3,500円、『中華人民共和国法律彙編』(北京人民出版社)

その他

学生への要望：授業中私語禁止。

政
治

科目名	担当者名	配当学科	単位
現代企業論(前期)	代 ^{しろ} 田 ^た 純 ^{じゅん}	政治3・4選	2

講義のねらい

野村証券株式会社の提供による本講座は、「資本市場の役割と証券投資」をテーマとし、野村証券および野村総合研究所の現役スタッフによって前期13回で講義される。講義では、証券市場に密接に関連する経済情報の捉え方からスタートし、株式や、債券、投資信託などの基礎を解説した後、資産運用とライフプランニング、資本市場と投資家心理などの実践的課題に接近し、最後にはベンチャービジネスにも言及する。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 ガイダンス
- 2 経済情報の捉え方
- 3 経済成長と金融資本市場について
- 4 証券投資のリスク・リターンについて
- 5 株式市場の役割と投資の基礎知識について
- 6 債券市場の役割と投資の基礎知識について
- 7 投資信託の役割とその仕組みについて
- 8 ポートフォリオ・マネジメントについて
- 9 市場のグローバル化と証券投資について
- 10 資産運用とライフプランニング
- 11 資本市場における投資家心理について
- 12 個人投資家と証券ビジネスについて
- 13 ベンチャービジネスとIPOについて

履修上の留意点

遅刻、途中退室は認めない。講師の都合でテーマが変更されることもある。

成績評価の方法

定期試験による。再試験はない。但し、レポート提出者には加点する。

教科書

毎回、講義資料が配布される。指定参考書として、代田純『日本の株式市場と外国人投資家』(東洋経済新報社) 2002年を使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 I	浦田早苗	政治3選	4

講義のねらい

これまでわれわれが直面してきた、そしてこれからも直面し続ける様々な政治・社会現象について、純粹かつ鋭い視点から問題を喚起し、幅広い柔軟な発想をもって解決策を導きだせる人材を育成することに主眼をおいている。

講義の内容・授業スケジュール

15年度は共通テーマとして「変革期の世界と日本」とし、内外の重要課題について個人研究及びグループ研究が行われている。前期の発表は『政治献金と癒着』、『お台場カジノ計画』、『産業廃棄物撤廃にむけて』、『理想的ワークシェアリング』、『イラク復興計画』、『(パネルディスカッション)少年犯罪増加の要因』、『(パネルディスカッション)個人情報保護法の是非』、『(ディベート)外国人参政権の是非』、『(ディベート)首都機能移転の是非』というものであった。

履修上の留意点

オリジナリティ溢れる問題解決策・プランニングの作成にはかなりの時間を費やさなければならない。

成績評価の方法

発表内容と各自の持つ意欲(発表に対する質問・意見等)によって評価する。

参考書等

文藝春秋編『日本の論点2004』(文藝春秋)2,700円

その他

学内外のディベート戦に積極的に参加すること、及び年2回の合宿とゼミ論集の刊行を励行している。

政治

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 I	清滝仁志	政治3選	4

講義のねらい

この演習では、現在の社会における変化を政治思想史の観点を通じて考えていくことを目的にしています。皆さんの生きている時代は、かつてない規模と速さで社会が変化し、今までになく将来が見えない時代となっております。政治社会についての考え方を学ぶことを通じて、現在の状況を理解し、将来自分がどのような知的態度をもって対応すべきか、を解明する手がかりとなるような内容をめざしていきます。

演習を通じて、自分で未来を切り開くための基礎的知識と知的習慣を身につけ、どのように自分が能力を磨き、何をしたいのかを考えることを期待しています。

さらに、文章の表現能力を身につけるための練習や報告の仕方について、演習という特性を生かしながら具体的に指導します。

講義の内容・授業スケジュール

演習では次のことが身につくことを目的にしています。

- 1 政治学の基本的問題について理解する。
 - 2 自分の考えを的確にまとめ、相手にわかりやすく表現する技術を習得する。
 - 3 さまざまな情報を自分で的確に判断できる知的能力を身につける。
- さらに公務員試験やその他の資格試験に対応できるように配慮します。
*就職面接での「集団討論」の対策を念頭においた練習もおこないます。

履修上の留意点

前期は、テキストを担当者が報告し、議論をする方式を取ります。後期は、各自が関心のある問題について、報告・討論をおこないます。報告の仕方など、随時説明しますので、演習を通じて実力UPをめざして下さい。

成績評価の方法

演習での報告内容、議論の参加状況など。

教科書

なるべく新しく読みやすい新書・文庫を選択します。

その他

演習での行事としてコンパ、ゼミ旅行、公務員試験等のためのサブ・ゼミを予定。質問があれば、hkiyo@arion.ocn.ne.jp まで気軽にご相談下さい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	しま はら ひろ あき 島 原 宏 明	政治3選	4

講義のねらい

〔商法学演習〕

法律行為論の基本的な思考方法を身に付けるために、主に手形・小切手法の領域における種々の問題をテーマとして、ケース・スタディーを行う。

現時点においては、民法・商法に関する予備知識が無くてもかまわないが、ファイトだけは必要であるから、アピールするもの（成績、スポーツ、特技等）を持っていて欲しい。

大学を出たという実感を味わってもらうことが、このゼミの目標である。

なお、春と夏に合宿（全員参加）を行っている。

成績評価の方法

平常点で評価します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	た まる だい 田 丸 大	政治3選	4

講義のねらい

本演習では、国あるいは地方の行政はどのように展開されているのか、具体的な行政活動や政策を取り上げ、その仕組みや問題点を考察することによって、今後の日本の中央・地方行政のあり方を探ってみたい。現実の行政の観察、問題発見、提案能力を培うことが本演習の最終目標である。

講義の内容・授業スケジュール

ゼミ生と相談して決めたいと思うが、現在のところ、以下を考えている。

(1)ゼミ生がそれぞれテーマを設定し、個別であるいは共同で調査研究し、その成果を発表する。

(2)ディベートを行う。

ちなみに去年は、私鉄駅全面禁煙、外国人犯罪、川崎市の地下鉄建設、市町村合併、マンション建設による景観侵害などがテーマとなった。

履修上の留意点

無断欠席は認めない。夏合宿およびコンパ（年3回程度）も出席点に加味する。

成績評価の方法

出席・発表・発言などを総合的に評価する。無断欠席者には単位を与えないこともある。

そ の 他

①ゼミの諸活動への参加意欲の高い学生を歓迎する。②公務員志望者には、試験勉強の仕方・併願先のアドバイス・面接対策などを行う予定である。（おそらく勉強会を開催するが、これは生徒による自主的な運営であり、教員が塾や家庭教師のように受験勉強の指導をするわけではない。また、公務員志望者を優先するわけではない。）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	<small>とみ まさ たかし</small> 富 崎 隆	政治3選	4

講義のねらい

全体としては、現代政治学の理論的・実証研究（特に数量的研究）を「体験すること」を演習の主たる目的としていきたいと思ひます。演習の雰囲気自体は、学生諸君と「創りあげていく」ものだとも思ひます。そして、共同（及び個々に）で研究活動やその他の活動に参加していく中で、「現代政治をみる視点」を養って欲しいと思ひます。

講義の内容・授業スケジュール

演習の第1の活動は、3年次における共同研究、4年次における卒業論文の作成です。ここでいう「研究」とは、本を読んでまとめることとは基本的に異なります。それは単なる「お勉強」です。本研究会における研究とは、従来世界中でも誰も「知らなかった」「そうであるといえなかった」政治現象を「そうである」と確認・発見する作業です。もちろん、そのためには多くの努力と創造性が必要です。

第2に、具体的な、みなさんの毎週の研究会での中心活動は、当面ディベート（模擬討論）になると思ひます。毎週のディベートを通じて、政治学における基本問題に対する理解と問題発見をしてもらひます。研究会でのディベート実施の目的は、政治学の従来の議論の意義と問題点を探ることにあります。しかし、同時にディベートを通じ諸君の論理・実証・思考・討論能力を向上させてもらひたいと思ひます。

第3に、研究会としてインターカレッジ・セミナーに参加していきたいと思ひます。他の参加ゼミとしては、明治大学・中邨ゼミ・小西ゼミ、日本大学・青木ゼミ、拓殖大学・大谷ゼミなど（予定）があります。このセミナーでは、年1回の共同合宿や講演会、大学対抗のディベート大会などを行なっていく予定です。

成績評価の方法

受講生と相談の上、総合的に評価します。

そ の 他

積極的・主体的参加を期待したいと思ひます。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	<small>はや かわ よし き</small> 早 川 純 貴	政治3選	4

講義のねらい

当演習の基本目的は現代日本政治の特質を理解し、その問題点を探り出すこと、あるいはそれらの問題をいかに克服できるかを考えることである。特に当演習では研究対象を政策形成・施行過程に置く。具体的には、いくつかの政策が成立する背景と過程を明らかにしつつ、それらがいかに施行されたか、その過程でどんな問題が生じたのか、あるいはそれらの政策が日本の経済や社会、国際関係にどのような意味・影響を持ったのかを考察する。

講義の内容・授業スケジュール

当ゼミは前期が統一テーマによるグループ研究であり、後期は学生自身が選択したテーマで個人発表を行い、あわせてゼミ論を執筆してもらひます。平成16年度の前期・統一テーマは「議会と政党の役割」である。日本の国会および地方議会（都・県議会、区議会、市議会など）の機能不全が叫ばれて久しい。しかし本当に議会は機能していないのだろうか。ジャーナリズムの口ぐせに乗せられていないだろうか。国会や地方議会でがんばる政党や個々の議員を再評価してみたい。そして議会のこれからの可能性を議論してみよう。

履修上の留意点

当演習は法律学科の学生にも開講する。政治学科の学生はもとより、政策の形成・執行に関心のある法律学科学生諸君の参加を大いに歓迎する。また当演習は春と夏に合宿を行うが、そこではディベートやパネル・ディスカッションなど、通常の演習ではあまりできないことを企画している。

成績評価の方法

個々人の発表・報告の充実度、レポート・ゼミ論の内容などを総合的に判断して評価する。

教 科 書

教科書は使用しない。参考文献は演習の過程で随時紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	い 井 戸 まま の ぼ 正 伸	政治3選	4
演 習 II		政治4選	

講義のねらい

本演習では、現代政治理論における重要な著作の輪読を通じて、今日、問題となっている政治・経済現象を政治学的に分析するテクニックを身につけることを目指したい。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、政治と文化、政党、利益集団、民主政への移行・確立、福祉国家などのテーマについてかかれた現代政治学の重要な著作をゼミ生全員で読んでいきます。

後期には、学生自身がテーマを選んで、各自、個人研究を進め、その中間成果をゼミで発表し、最終的にレポートを完成させることを目指します。

履修上の留意点

ゼミ生は必ず『現代政治理論』、『政治経済学』をとること。まずはゼミに毎回、出席してください。そして、わからない点はなんでも聞いてください。

成績評価の方法

レポートの内容とゼミへの熱意により総合的に評価します。

教 科 書

川人ら『現代の政党と選挙』（有斐閣）2,600円
 アルベール『資本主義対資本主義』（竹内書店新社）2,266円
 ドーア『日本型資本主義と市場主義の挑戦』（東洋経済新報社）2,400円

参 考 書 等

木下『レポートの組み立て方』（筑摩書房）780円

政
治

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	う ち 内 う み ま り 海 麻 利	政治3選	4
演 習 II		政治4選	

講義のねらい

本演習は、社会情勢が変化し、その変革が求められる都市政策・地方行政・市民参加・まちづくりに関連し、柔軟な発想から問題意識を持ち、実践的かつ創造的な新たな知見を自ら探求するとともに、その解決策を提起できる能力を引き出し伸ばすことを主な目的としている。

講義の内容・授業スケジュール

研究期間内において各人が行う研究スケジュールやプログラム（問題意識の発掘、研究テーマ・方法の設定、関連文献の収集及び実地調査、考察とりまとめなど）を自ら作成し、問題意識に対する新たな知見や解決策を自主的に進める。主にゼミでは発表・報告、ディスカッションを中心に各研究内容を議論する。

履修上の留意点

ゼミの運営自体も学生の主体性を重視するため、積極的なゼミ活動への参加が望まれる。

成績評価の方法

出席状況、個々人の発表・報告の充実度、ゼミに対する意欲などを総合的に評価する。

参 考 書 等

個々人の研究テーマに応じて適宜紹介する。

科目名			担当者名	配当学科	単位
演	習	I	おおやま れいこ 大山礼子	政治3選	4
演	習	II		政治4選	

講義のねらい

この演習は、議会を中心とする政治制度について理解を深め、学生が主体的に考えるための基礎を築くことを目的としている。各自が意欲をもって積極的に参加することが第一であるが、自分自身で文献やインターネットを活用し、物事を調べる能力が身につくように配慮したい。また、自分の主張を他人に理解してもらうために必要な、論理の組み立て方、表現の仕方の学習も重視する。

講義の内容・授業スケジュール

3年次の前期は政治関係の新聞記事や基礎的文献などを講読して基礎知識を確認し、後期には学生が選択したテーマで報告、ディベート等を行う。4年次はゼミ論文の執筆を中心とする予定である。

受講者の希望により、夏期の合宿または集中ゼミ、国会見学などを実施する。

履修上の留意点

日頃から新聞の政治面の記事を読み、積極的に討論に参加すること。

成績評価の方法

平常点（ゼミ論文の評価を含む）。

その他

ゼミコンパなどのイベント時は原則として禁煙。

科目名			担当者名	配当学科	単位
演	習	I	おおつか かつら 大塚 桂	政治3選	4
演	習	II		政治4選	

講義のねらい

政治学における基礎的原理的研究をおこないます。基礎研究にあたっては、古典的文献の取り組みが不可欠です。政治原理・哲学・国家論に関心のある学生の参加を期待します。

講義の内容・授業スケジュール

- I 政治学の基本文献を輪読する。
- II 共通テーマを設定し、共同研究をおこなう（例えば、明治の政治家たち、自由主義の系譜）。
- III ゼミ生各自が定めた個人研究の発表とそれに対する指導をおこなう。

履修上の留意点

一定の読書と思索をつみかさねてきた学生の参加を切望します。政治学原論か現代国家論を履修し、私の政治学に対する姿勢を理解してくれる学生さん、いらっしゃい！

成績評価の方法

平常点

教科書

M・ヴェーバー（脇圭平訳）『職業としての政治』（岩波文庫）300円
吉野 作造『吉野作造評論集』（岩波文庫）620円

参考書等

参考書として、拙著をあげておきます。図書館等で目を通しておいください。大塚『フランスの社会連帯主義』（成文堂）、同『ラスキとホップハウス』（勁草書房）、同『多元的国家論の展開』（法律文化社）、同『多元的国家論の周辺』（信山社）、同『近代日本の政治学者群像』（勁草書房）。

その他

4年次生は就職活動を最優先させます。金銭的負担（OB会・合宿等）、規則、束縛は一切ありません。年1～2回のお食事会を開催しますが、教員がゼミ生をご招待いたします。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	こ ぼ り のり お 小 堀 訓 男	政治3選	4
演 習 II		政治4選	

講義のねらい

国家は国際社会にあって、外部から受けるインパクトに対し、さまざまなりアクションを引起す。これを国家の行動と呼ぶならば、国家は国際社会のなかで行動するための何らかの基準があるのではないか、という素朴な疑問をもって、戦争・紛争・国家間の経済問題・国家の統合などを研究の素材としてとりあげ、それらの事象を分析する。つまり、この演習では、国家には何らかの行動基準があるのではないかという問題意識をもって、諸種の国際事象を分析、考察する。

講義の内容・授業スケジュール

第1回から第4回までの演習では、“国際政治とは、いかなるものか”をテーマに討論し全員が国際政治について共通の認識をもてるようにする。

第5回から第8回までの演習では、国家についての基礎的知識を得るために、国家論の諸説を整理する。殊に、国家・民族・階級について、各自研究し討論する。

第9回からの演習では、戦争・紛争・国家間の経済問題・国家の統合などの具体的な事象について、興味あるテーマを各自が選び、その現象を分析しながら、国家の内部に包含されている民族や階級が、その国家の行動にどのように作用しているかを考察し、国家の行動基準の法則性の有無を検討する。

履修上の留意点

問題意識を明確にもった学生の受講を希望する。殊に国家の政策決定について興味をもって

成績評価の方法

講義中の発言、研究発表の内容で評価する。

参 考 書 等

授業中に適宜紹介する。

そ の 他

演習に関連したビデオ（20世紀の戦争の記録など）を見る予定である。

政
治

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	しお いり 塩 入 みほも	政治3選	4
演 習 II		政治4選	

講義のねらい

行政法上の諸問題をとり上げて、演習を行います。他から教授されるだけの受動的な学問ではなく、判例及び学説を自分なりに分析・検討する作業を通じて能動的に研究し、報告し、且つ他の者と法律学的討論を行えるための能力を鍛錬することを目的とします。

講義の内容・授業スケジュール

当演習は、学生諸君の主体性を重視し、基本的には、毎回学生一人一人に研究報告をしてもらい、報告後に全員でディスカッションする、という形式で行っていきます。テーマについては、行政法総則一般、行政訴訟法、行政手続法、情報公開法などの各分野から重要なテーマを選び、学生各自の希望を踏まえた上で割り当てます。

履修上の留意点

公務員、行政書士等の国家試験受験者には特に有意義であると思われませんが、それ以外の者でも無論履修可能です。

成績評価の方法

平常点（出席・報告・発言等）により成績評価を行います。

教 科 書

未定

参 考 書 等

初回授業の際に紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 I	たけはなみつのり 竹花光範	政治3選	4
演習 II		政治4選	

講義のねらい

世界の主要国——アメリカ、イギリス、フランス、ドイツ、中国など——の憲法を比較考察することにより「日本国憲法」の正しい理解を行うとともに、それら諸憲法が定める制度——例えば、議会制度、内閣制度、裁判制度、人権保障の制度など——についても個別研究を行う。

講義の内容・授業スケジュール

各自がテーマを設定し個人報告を行うことを基本とする。報告終了後、質疑を中心に全員で討論を行う。なお、合宿の際は、統一テーマを設定し、グループ報告を行うことを原則としている。

履修上の留意点

ゼミの運営はでき得るかぎり、学生の自主性にまかせているので、ゼミ活動に積極的に参加することのできる諸君の応募を期待する。

成績評価の方法

出席点やゼミ活動への参加度等を中心に総合的に判断する。

参考書等

必要に応じて適宜紹介する。

その他

個人報告は義務ではない。従って希望者のみの報告となることもある。

政
治

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 I	にし おさむ 西 修	政治3選	4
演習 II		政治4選	

講義のねらい

本演習は、日本国憲法にかかわるさまざまな問題点について、成立過程、解釈、各国憲法との比較などを通じて討究することを主たる内容とする。それゆえ、これまで日本国憲法の基礎的理解をしてきていることが前提になる。

講義の内容・授業スケジュール

年度はじめに簡単なシラバスを配布する。前年度における活動内容は、ゼミのホームページで公表している。

履修上の留意点

まじめに出席し、積極的に発言すること。

成績評価の方法

出席、発言、課題論文などを総合的に判断する。

教科書

拙著『ここがヘンだよ！日本国憲法』（アスキー）2001年 1,500円＋税、『日本国憲法はこうして生まれた』（中公文庫）2000年 1,143円＋税、『日本国憲法を考える』（文春新書）1999年 690円＋税など。

その他

授業以外に年2回の簡単なボランティア活動、夏と冬（スキー＆スノーボー）の合宿、新入生歓迎と卒業生追い出しのコンパ、「ザ・ウエスト」（新聞およびゼミ論集）の作成などへの参加が求められる。各自がなんらかの役員（ゼミ長、レク担当、会計など）に選任される。合宿、コンパでは私の落語を聴かされることがある。
（法律と共通）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	ひ 日 笠 完 治	政治3選	4
演 習 II		政治4選	

- 講義のねらい** 研究会としては、最新の憲法問題を常にフォローすることを目標とする。一方、教育的には、受講者各自が関心のある憲法問題について研究する能力を身につけることを目標とする。担当者としては、一生涯にわたって付き合いのできる仲間づくりを考えている。
- 講義の内容・授業スケジュール** 第1段階は、社会事象への深い関心の惹起、憲法学の基礎能力の修得（教科書レベル）。第2段階は、専門書や法律雑誌掲載の論文を理解する能力の修得（社会で通用するレベル）。第3段階は、各自が専門的な意見を発信することができる能力の獲得。
- 履修上の留意点** 積極的で責任感のある学生諸君の演習参加を期待している。研究会参加者の共同学習によって、法学検定試験、行政書士試験などにも挑戦していただく。演習Ⅰと演習Ⅱは続けて履修してもらいたい。
3年次は個別演習を繰り返し行い、基礎力を充実する。
4年次は各自の研究関心により卒業論文を作成する。
- 成績評価の方法** 3年生は、日常の研究活動について、積極性、成果などにに基づき評価する。
4年生は、主として卒業論文を評価の対象とする。
- そ の 他** ゼミとして夏合宿などを行う予定である。

政
治

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	み 三 竹 直 哉	政治3選	4
演 習 II		政治4選	

- 講義のねらい** 比較政治学的な研究を自らやってみる演習です。
- 講義の内容・授業スケジュール** 前期は特定の共通文献を参加者全員で研究し、後期は各個人のテーマで研究して論文を作成する形をとります。共通テーマは「異質性との共存」とし、共通文献には、移民（外国人労働者）政策関連のものをとりあげています。個人研究のテーマは自ら決め、必ず複数の事例を比較することになっています。
前期、後期とも、ゼミ運営の主体は学生のみなさん自身です。
- 履修上の留意点** たくさん書き、本や論文にたくさん接し、図書館にたくさん行ってもらいます。そういうことが「楽しい」と思う人向けの演習です。
この演習の内容は、下記のサイトで詳しく見ることができます。現在履修している学生のみなさんの様子もわかります。私の演習に応募される方は、＜必ず＞参照して下さい。
このサイトの内容を読んでおくこと、および、4月の授業開始時までに、受信制限のない電子メールアドレス（携帯電話のものは不可）を持っていること、インターネットを利用できる環境にあること（大学の自習室で可）ことが、履修条件です。（その他にもいくつか条件がありますので、下記のサイトで必ず確認してください）。
4年次にも就職活動と両立させて、きちんとゼミを続ける気持ちがあることも条件としています。
- 成績評価の方法** 平常点によります。詳しいことは下記サイトをご覧ください。
- 教 科 書** その都度、指示します。
- 参 考 書 等** その都度、指示します。
- そ の 他** <http://homepage2.nifty.com/mitakezemi/>
質問等は、遠慮なく下記までどうぞ。
mitake@komazawa-u.ac.jp

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	むら い りょう た 村 井 良 太	政治3選	4
演 習 II		政治4選	

講義のねらい

本演習は日本政治史に関わる良書を輪読し、議論することを通じて政治への理解を深めることを目的としています。そこでは、「世界のなかの日本」という大きな視点に立って、学び、考えてほしいと思います。加えて、本演習を通じて、読む、書く、話すという基本的な技術を身につけてもらうことを目指します。

講義の内容・授業スケジュール

テキストは、論文を用いたり、本を指定したり、学生とも話し合いながら決めていきます。テーマは日本政治史を軸に、概ね政治・外交・国際関係などに関するものと考えています。始めは論文など簡単なものを用い、次第に内容の濃いものを読んでいます。また、前期に合宿と課題レポート、後期にディベートとゼミ論文を予定しています。

履修上の留意点

履修する学生には、たくさんの本をまじめに読み、考え、出席し、積極的に発言しあうことが求められます。それを楽しいと感じる学生を歓迎します。

成績評価の方法

成績は、出席、報告、発言、レポートなどから総合的に判断されます。演習は他の講義以上に、教官、学生ともに参加者全員でつくりあげていくものです。その貢献は評価の対象になります。積極的に参加して下さい。

教科書

平成16年度は、高坂正堯『国際政治』（中公新書）660円＋税と、中西寛『国際政治とは何か』（中公新書）860円＋税の二冊をまず指定し、後は話し合いの中で決めていきます。

その他

授業の方法は、基本的には、毎回、テキストを指定して、それを輪読しながら議論することになります。報告者はレジメをつくって報告します。報告者以外の学生も、毎回、少なくとも一分間程度の発言を求められます。レポートも書き、時にはディベートも行います。まだ若いゼミですので、スタイルを創っていくのは皆さんです。そんな意欲のある学生を求めています。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	やま ぐち くに お 山 口 邦 夫	政治3選	4
演 習 II		政治4選	

講義のねらい

1・2年次において、刑法総論及び刑法各論ともに履修済みの3年生を中心に進める刑事法演習である。当然、少年法をも含む、刑事政策的な問題意識を持つことが望まれる。

講義の内容・授業スケジュール

- 1年間を下記の4期に分けて、討論の問題を考えている。
- 第Ⅰ期（4・5月）罪刑の法定をする政治的意味及び犯罪不成立の事由について。
 - 第Ⅱ期（6・7月）刑事責任のとらせ方と少年事件における、いわゆる保護処分について。
 - 第Ⅲ期（9・10月）生命・身体に対する侵害犯罪と財産犯の諸問題について。
 - 第Ⅳ期（11・12月）いわゆるセクハラ問題と性犯罪との関連と峻別について。

履修上の留意点

毎時間出席し、討論に積極的に参加できる者が望ましい。また年4回ぐらい発表の機会があるので、自分の意見を発表する能力が必要である。

成績評価の方法

演習の成績評価は、講義科目と違い試験は行わない。毎回発表する際のレジメの作成及びその発表内容、さらに他人の発表に対しての討論の仕方・内容などを総合して評価する。したがって、一ヶ間、出席すれば、単位取得については問題はない。

教科書

判例を中心に、法解釈を考えるので判例集そのものが教材になる。判例を解説した書物なども参考になるが、毎時間、資料については、注意するので、あらかじめ指定する書物はない。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅱ	あめ みや まさ や 雨宮真也	政治4選	4

講義のねらい

法律問題に対する着眼の仕方(問題点発見能力)、理論構成の仕方(問題解決方法発見能力)を修得し、自ら考える能力(問題処理能力)を育成することをもって、演習のねらいとする。

講義の内容・授業スケジュール

民法財産法部門に関する具体的事例を与え、各人が六法全書だけを頼りに、解決結果を導き出すトレーニングを行うことをもって、演習の内容とする。

履修上の留意点

民法財産法部門の教科書を精読して、基礎知識を十分に体得しておくことを要望する。法学は、自ら問題を解き自ら考えないと力が出ないものであるが、自ら考えるためには、それに必要な基礎知識(教科書の知識)が必要不可欠である。

成績評価の方法

平常点による。

教科書

問題に応じ、その都度、指示する。

その他

各週毎に、具体的事例についての解答の作成と、これに対する論評とを交互に行う。

政治

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅱ	うら た さ なえ 浦田早苗	政治4選	4

講義のねらい

これまでわれわれが直面してきた、そしてこれからも直面し続ける様々な政治・社会現象について、純粹かつ鋭い視点から問題を喚起し、幅広い柔軟な発想をもって解決策を導きだせる人材を育成することに主眼をおいている。

講義の内容・授業スケジュール

15年度は共通テーマとして「変革期の世界と日本」とし、内外の重要課題について個人研究及びグループ研究が行われている。前期の発表は『政治献金と癒着』、『お台場カジノ計画』、『産業廃棄物撤廃にむけて』、『理想的ワークシェアリング』、『イラク復興計画』、『(パネルディスカッション)少年犯罪増加の要因』、『(パネルディスカッション)個人情報保護法の是非』、『(ディベート)外国人参政権の是非』、『(ディベート)首都機能移転の是非』というものであった。

履修上の留意点

オリジナリティ溢れる問題解決策・プランニングの作成にはかなりの時間を費やさなければならない。

成績評価の方法

発表内容と各自の持つ意欲(発表に対する質問・意見等)によって評価する。

参考書等

文藝春秋編『日本の論点2004』(文藝春秋)2,700円

その他

学内外のディベート戦に積極的に参加すること、及び年2回の合宿とゼミ論集の刊行を励行している。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅱ	岡田 外司博	政治4選	4

講義のねらい

この経済法学演習では、主に独禁法に関する事件（審決・判決等）のうち、重要な法律問題を含むものを様々な角度から検討し、全員で討論することによって、事例研究の方法を学ぶとともに、現代日本経済と独禁法について理解を深めることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

前期は10件、後期は5件（合計15件）の事例を研究する。前期の事例は予め選んだ審決・判決（最初の5件は独禁法以外の事件を素材とする）を各グループに割当て、グループの報告に基づいて討論する。後期においては、各グループが自主的に選んだ独禁法（もしくは企業）関係の素材について、文献調査や実態調査を踏まえた詳細な報告を中心に1事件につき2回分の時間をとって検討を進めることとし、各グループが自ら考えた論点について全員で討論する。

履修上の留意点

独禁法（もしくは企業）に興味のある学生の参加を希望する。

成績評価の方法

出席を最重視し、出席点に報告内容や質問・意見の回数に現れた意欲点を加味して成績評価を行う。

参考書等

その都度コピーを配布するか、又は該当文献のコピーを指示する。

その他

簡単な資料検索実習、見学等も予定している。

政
治

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅱ	田丸 大	政治4選	4

講義のねらい

現実の政治・行政の観察・問題発見・提案能力を培うことを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

- (1) 個別研究
- (2) グループ研究

履修上の留意点

無断欠席は認めない。

成績評価の方法

平常点。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅱ	とみ 富 崎 <small>とみ きき たかし</small> 隆	政治4選	4

講義のねらい

全体としては、現代政治学の理論的・実証研究（特に数量的研究）を「体験すること」を演習の主たる目的としていきたいと思ひます。演習の雰囲気自体は、学生諸君と「創りあげていく」ものだとも思ひます。そして、共同（及び個々に）で研究活動やその他の活動に参加していく中で、「現代政治をみる視点」を養って欲しいと思ひます。

講義の内容・授業スケジュール

演習の第1の活動は、3年次における共同研究、4年次における卒業論文の作成です。ここでいう「研究」とは、本を読んでまとめることとは基本的に異なります。それは単なる「お勉強」です。本研究会における研究とは、従来世界中で誰も「知らなかった」「そうであるといえなかった」政治現象を「そうである」と確認・発見する作業です。もちろん、そのためには多くの努力と創造性が必要です。

「演習Ⅱ」（4年次）においては、卒業論文の作成が中心となります。個々にテーマを決定し、自ら仮説を検証する実証研究を行ってまいります。3年次の共同研究で身につけた「研究」の方法論を、自らのオリジナル研究で実現してもらいたいと思ひます。

また、「演習Ⅰ」（3年次と）同様にディベート実施や、インカレへの参加は継続します。

成績評価の方法

受講生と相談の上、総合的に評価します。

その他

積極的・主体的参加を期待したいと思ひます。

政
治

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅱ	はや 早 川 <small>はや がわ よし き</small> 純 貴	政治4選	4

講義のねらい

当演習の基本目的は現代日本政治の特質を理解し、その問題点を探り出すこと、あるいはそれらの問題をいかに克服できるかを考えることである。特に当演習では研究対象を政策形成・施行過程に置く。具体的には、いくつかの政策が成立する背景と過程を明らかにしつつ、それらがいかに施行されたか、その過程でどんな問題が生じたのか、あるいはそれらの政策が日本の経済や社会、国際関係にどのような意味・影響を持ったのかを考察する。

講義の内容・授業スケジュール

当ゼミは前期が統一テーマによるグループ研究であり、後期は学生自身が選択したテーマで個人発表を行い、あわせてゼミ論を執筆してもらう。平成16年度の前期・統一テーマは「議会と政党の役割」である。日本の国会および地方議会（都・県議会、区議会、市議会など）の機能不全が叫ばれて久しい。しかし本当に議会は機能していないのだろうか。ジャーナリズムの口ぐせに乗せられていないのだろうか。国会や地方議会でがんばる政党や個々の議員を再評価してみたい。そして議会のこれからの可能性を議論してみよう。

履修上の留意点

当演習は法律学科の学生にも開講する。政治学科の学生はもとより、政策の形成・執行に関心のある法律学科学生諸君の参加を大いに歓迎する。また当演習は春と夏に合宿を行うが、ここではディベートやパネル・ディスカッションなど、通常の演習ではあまりできないことを企画している。

成績評価の方法

個々人の発表・報告の充実度、レポート・ゼミ論の内容などを総合的に判断して評価する。

教科書

教科書は使用しない。参考文献は演習の過程で随時紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅱ	しまはらひろあき 島原宏明	政治4選	4

講義のねらい

〔商法学演習〕
法律行為論の基本的な思考方法を身に付けることを目標として、前期は手形・小切手法の判例研究を、後期は各自のテーマでゼミ論の指導を行う。

成績評価の方法

平常点で評価します。

政
治

Ⅲ 他学部履修科目

他学部
履修科目

授業時間表の区分「B」の科目を履修する場合は、
フレックスBの頁を参照してください。(→P.631)

履修科目
他学部

Ⅲ. 他学部履修科目

産業・職業社会学	〈山田信行〉	447
社会福祉発達史	〈林千代〉	448
国民所得論	〈吉野紀〉	449
日本経済史	〈橋野知子〉	450
教育経済論	〈谷敷正光〉	451
日本経済論	〈小林正人〉	452
中国経済論	〈小林修二〉	453
アメリカ経済論	〈瀬戸岡紘〉	453
EU統合論	〈休講〉	
現代西欧経済論	〈休講〉	
ロシア・東欧経済論	〈山縣弘志〉	454
財務会計論	〈小栗崇資〉	455
会計監査論	〈森田佳宏〉	456
管理会計論	〈石川祐二〉	457
貿易論	〈古沢紘造〉	458
相続法	〈竹中智香〉	459
ヨーロッパ政治論(1)	〈若松邦弘〉	459
ヨーロッパ政治論(2)	〈若松邦弘〉	459
国際政治学	〈小堀訓男〉	459
ヨーロッパ政治史	〈浦田早苗〉	459
比較政治学	〈木暮健太郎〉	459
現代国家論	〈大塚桂〉	459
経営労務論	〈鹿嶋秀晃〉	460
国際経営論	〈茂垣広志〉	461
商業史	〈山田勝〉	462
保険経営論	〈石名坂邦昭〉	462
財務会計論	〈渡邊惠一郎〉	463
経営分析論	〈片桐伸夫〉	464
税務会計論	〈休講〉	
経営情報論	〈高井徹雄〉	465
情報理論	〈西村和夫〉	466
経営統計	〈長国強〉	467
女性史	〈高嶋めぐみ〉	467
メディアと表現	〈松田直行〉	468

履修科目
他学部

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
産 業 ・ 職 業 社 会 学	やま だ のぶ ゆき 山 田 信 行	法 A ・ 政 治	4

講義のねらい

“労使関係”をキイ概念として、産業社会学を体系的・概論的に講義する。

講義の内容・
授業スケジュール

講義は2部から構成される。第1部（前期）では、産業（・職業）社会学の主要な分野について日本での事例について紹介しながら概説する。

第2部（後期）では、“グローバル化”をポイントにして労使関係の歴史比較分析を行う。具体的な講義プランは、以下のとおり。

第1部 現代日本の産業・労働・職業

1. 産業（・職業）社会学の対象・方法・課題
2. 労使関係とはどんな関係なのか
3. 賃金・雇用・労働者
4. 労働者の統制と参加
5. 労働組合と労働運動
6. 技術革新と技能の変化
7. 国家と労使関係
8. 変容する産業・労働・職業の世界

第2部 労使関係の国際比較

1. グローバリゼーションと労使関係
2. インダストリアリズムと多元的資本主義発展
3. アメリカ合州国と不自由労働
4. 資本・賃労働の国際化と日本的労使関係
5. 周辺社会マレーシアの労使関係と資本主義発展
6. 労使関係と社会変動・再論

履修上の留意点

必修科目ではないので、自覚的な参加を希望する。

成績評価の方法

主として、学年末試験による。

教科書

山田信行『労使関係の歴史社会学』（ミネルヴァ書房）

参考書等

適宜、指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社会福祉発達史	はやし 林 千代	法A・政治	4

講義のねらい

いつの時代にも人々の生活不安は、自然の変化と社会の変動によって生じる。社会の変動期には、常に多くの生活問題が発生し、大多数の人々は、生活困難におちいった。それに対応する社会福祉は一定の歴史的産物であること、そしてその理解に立って本質を把握し、現状と今後の方向を考える力をつけたい。

講義の内容・授業スケジュール

主に、英国と日本を中心に、資本主義社会の成立とともに生成した社会事業から社会福祉へ至る歩みを講述する。さらに、こんにちの福祉社会をも検証したい。単に事実の羅列ではなく、対象の存在と問題解決の方法、方法の意図や施策の背景をなす思想、それらの関連などを立体的、構造的にとらえるというのが本講義の内容である。なお今も存在しつづける慈善（事業）をもとり上げたい。

特に日本の場合、社会福祉（事業）の前段階は、厚生事業といった。きわめて日本的特質を示すものとして深い考察が必要であると考えている。

履修上の留意点

熱心にとり組もうという意欲を持ってもらいたい。

成績評価の方法

最後にレポート提出を課す。

教 科 書

特に無い。

参 考 書 等

その都度紹介する予定である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 民 所 得 論	よしの 吉 野 おさむ 紀	法A・政治・法B	4

講義のねらい

為替レートや株価はなぜ減価したり、高騰するのか。失業率はなぜ上昇するのか。物価の変動はどのような影響を我々の生活に及ぼすのか。これらはいずれもマクロ経済学の主要な課題である。

失業率5.4%といえば実数にして300万人余の労働力人口が失業していることを意味する。特定の個人が終業しているか失業しているかは、その個人のスキル（能力）などによるところが大きく、国民経済全体の失業率とは直接の関係はない。しかし、後者は国民経済全体の景況状態の良い指標ともなる。

この授業では相対的な国民経済の動きを説明することが主題となる。個々人の日常的な経済活動の意志決定は受動的に大きな影響を受けるが、能動的に影響を及ぼすことを直感的にも経験的にも把握することは難しい。したがって、マクロ経済の仕組みを理解するには豊かな想像力と鋭い推理力が求められる。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 「国民経済計算の話」……………5回

GDP、GNPなどの経済指標や消費、投資、輸出入などの国民経済全体をとらえる単位を理解すること、さまざまな諸取引間の相互関係を日本経済の循環図を通してとらえることが主題である。

《参考》経済企画庁「平成13年日本経済の循環図」（配布資料）

2. 「総需要・均衡産出量・均衡所得」……………4回

いわゆる単純なケインズ派の所得決定理論が、モデル分析に則って説明され、次の第3講で活躍するIS曲線の基礎理解を得ることが目標となる。このテーマの終了後、練習問題を解くレポートが課せられる。解答は配布され、解説は授業の中で行なわれる。

《参考》中谷巖 『入門マクロ経済学』（日本評論社）第3章

3. 「貨幣・利子および同時均衡」……………8回

この段階で貨幣の果たす役割が明示的に導入され、前講までの主題との接合がはかられて、IS曲線とLM曲線を主な武器とする分析が進められてゆく。モデルを用いた説明が中心となるが、日本経済の現況との関連が説明の中に登場する機会も増えてゆくであろう。また、利子率に触れるとき、預貯金の利率に加えて有価証券の利回りにも馴染んでもらうことになるであろう。その他、国家公務員、地方公務員、国税専門官などの専門科目試験の例題を示す事もある。本テーマの終了時にも、簡単な練習問題がレポートの課題として課せられる。正解と解説は授業中で示す。

《参考》伊達邦春（編）『マクロ経済学』（八千代出版）第9章

4. 「金融政策、財政政策」……………4回

前講までの内容が理解できれば、金融政策と財政政策の発動によって、望ましい所得水準を達成するプロセスは比較的容易に理解できるものと思われる。その上で、国内および国際的クラウディング・アウト効果を取り扱われる。アメリカのベトナム戦争時に生じた国内的クラウディング・アウト効果に関するケース・スタディは興味をよぶのであるまいか。

《参考》ドーンブッシュ・フィッシャー『マクロ経済学（上）』（CAP出版）第4章

5. 「労働市場を組み込んだ総需要・総供給分析」……………5回

ここまで扱われてきたのは、財・サービスの市場と貨幣市場であったが、これに労働市場が明示的に組み合わされる。さらに物価の変動が重要なテーマとして加わる。

成績評価の方法

基本的には期末試験による。2回の練習問題に対するレポートは一定の評価対象となりうる。再試験は実施。

教 科 書

R. J. ゴードン『現代マクロエコノミクス（上）』（第6版）（多賀出版）

他
学
部
履
修
科
目

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 経 済 史	はし の とも こ 橋 野 知 子	法A・政治・法B	4

講義のねらい

本講義では、19-20世紀の日本における経済社会の変化を国際的な経済環境のなかに位置づけながら考察していきます。特に近年の数量経済史や経済発展論における研究蓄積を紹介しつつ、また西欧やアジアとの比較を念頭において講義する予定です。

学生諸君には、日本経済における現代的課題や戦後経済史の重要な問題が、この講義で考察する歴史的背景のなかで生まれてきたことを理解して欲しいと思っています。知ること、そして変化の原因を考えることこそが重要なのです。

講義の内容・
授業スケジュール

19-20世紀の日本経済を、歴史的な流れをとらえつつ、重要なトピックスを中心に講義します。講義形式で進めますが、映像の利用による説明も随時取り入れる予定です。講義は、以下の項目順に進める予定です。

1. ガイダンス日本経済史をみる眼
2. 近代経済成長への胎動
幕藩制政治経済システムの特徴／国内市場の変質／開国と幕藩体制の解体
3. 資本主義経済の成立
諸改革から地租改正へ／地租改正の歴史的意義／殖産興業政策の展開／資本家・労働者の出現／貿易構造と諸産業
4. 産業革命の展開
企業勃興期／産業基盤や制度の整備／諸産業・貿易の発展からの接近／欧米・アジア・日本の貿易からみた世界経済の再編過程／資本主義の確立と諸問題
5. 両大戦期の日本経済
「大正新時代ノ天佑」としての第一次大戦／国際経済環境の変化と日本／大戦後の経済と社会／恐慌の時代／高橋財政
6. 戦時から戦後へ
戦時経済／戦後改革と経済復興
7. 現代経済の形成過程
高度経済成長／高度成長の終焉／バブルの時代／平成不況／ここからどこへ

履修上の留意点

他の受講生の迷惑となる行為は慎んで下さい。

成績評価の方法

前期末・学年末試験により評価します。再試験はございませんのでご注意を。

教 科 書

特に指定しません。毎回資料（レジュメ）を配付します。

参 考 書 等

講義の中で毎回紹介します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
教 育 経 済 論	や 谷 数 正 光 しきただみつ	法A・政治・法B	4

講義のねらい

この講義は経済発展に産業教育が果たした意義とその役割について明らかにするのがねらいである。

日本は近年、「経済大国」として世界的に認められるようになったが、この発展を築いた基礎に日本の高い教育水準と人材養成があるといわれている。そして欧米各国では経済面での国際競争力の低下が教育水準の低下と密接に関連しているとの観点から日本の産業教育政策を説明するとともに、2000年に向けて一連の教育改革を行ってきた。アメリカの「危機に立つ国家」「全米教育サミット」「アメリカ教育法」、イギリスの「教育改革法」「二十一世紀に向けての教育・訓練」、フランスの「ジョスパン法」など各国の改革の中心は厳しい経済競争に勝ち残るための教育水準の向上、教育に市場原理の導入、高等教育の質的充実、教育投資の拡大など教育を「国の最優先課題」と位置づけている。

そこで本年度は、こうした欧米先進国の経済再建と教育改革の動向、日本の経済と教育の現状をまず明らかにする。

次に、外国からは高く評価されている日本の高い教育水準、人材養成教育を戦前は産業資本確立期を中心に、戦後は朝鮮戦争を契機に復興した経済復興期から平成景気までを中心にそれぞれの経済発展段階の特徴とそれに応じた産業界の人材教育要求と国の教育政策、産業教育政策を明らかにしたい。

講義の内容・授業スケジュール

1. 先進国の経済発展と教育

- (1) 日本の産業化とリテラシー・識字率
- (2) 日本の経済成長と教育
- (3) アメリカの教育最前線 (ビデオ)
- (4) レーガン大統領の経済と教育 1 「危機に立つ国家」(一部ビデオ)
- (5) レーガン大統領の経済と教育 2 「国家は応える」(一部ビデオ)
- (6) ブッシュ大統領の経済と教育 1 「全米教育サミット」(一部ビデオ)
- (7) ブッシュ大統領の経済と教育 2 「2000年のアメリカ」(一部ビデオ)
- (8) クリントン大統領の経済と教育「アメリカ教育法」(一部ビデオ)
- (9) サッチャー首相の経済と教育「教育改革法」(一部ビデオ)
- (10) ブレア首相の経済と教育「福祉のニューディールとオペニングアウト」(一部ビデオ)

2. 戦前日本の経済発展と実業教育政策

- (11) 学制時代における経済と教育 1 富国強兵・殖産興業 (映画)
- (12) 学制時代における経済と教育 2 学制公布と「行政管理学校」
- (13) 教育令時代における経済と教育 1 工場私下と産業の勃興 (一部ビデオ)
- (14) 教育令時代における経済と教育 2 教育令公布と実業補習学校・徒弟学校
- (15) 学校令時代における経済と教育 1 産業革命と紡績業の発展 (一部ビデオ)
- (16) 学校令時代における経済と教育 2 学校令公布と実業教育・「機業地学校」
- (17) 実業学校令時代における経済と教育 1 重工業の発展と資本主義の確立 (一部ビデオ)
- (18) 実業学校令時代における経済と教育 2 実業学校令公布と「委託教育」「工場内学校」

3. 戦後日本の経済発展と産業教育政策

- (19) 復興期の経済発展と教育 産業教育振興法 (一部ビデオ)
- (20) 高度成長第1期の経済発展と教育 (一部ビデオ)
- (21) 高度成長第2期の経済発展と教育 (一部ビデオ)
- (22) 高度成長第3期の経済発展と教育 (一部ビデオ)
- (23) 高度成長終焉後の経済発展と教育

履修上の留意点

- ① 年間5～6回程度小テストを実施し、平常点とする。
- ② 現実的理解のためにビデオ・映画・OHPを使用する。
- ③ 毎時間、講義用のプリントを配布する。一度配布したプリントは、後の時間では配布しない。
- ④ 毎時間かなり板書するので、黒板が見えにくい人はできるだけ前に着席のこと。

成績評価の方法

- ①授業中の小テストと期末試験の成績によって評価する。
- ②再試験を実施する。

教科書

毎時間、講義の教材として年間40～50枚のプリントを配布するので、教科書は特に使用しない。

参考書等

参考文献は講義の中で適宜紹介するので、興味のある人は読んで講義の参考にして下さい。
小林泰宏『アメリカで進む教育改革』(朝日新聞社)

他
学
部
履
修
科
目

森嶋通夫『サッチャー時代のイギリス』（岩波新書）
 G・メイナード『サッチャーの経済革命』（日本経済新聞社）
 舟場正富『ブレアのイギリス』（PHP新書）
 プライアン・サイモン『現代の教育改革・イギリスと日本』（エイデル）
 A・グリーン、J・ハリスン『英国病』（新評論社）
 揖西光速『日本資本主義発達史－産業資本の成立と発展－』（有斐閣）
 猪木武徳『学校と工場』（読売新聞社）
 三好信浩『日本の女性と産業教育－近代産業社会における女性の役割－』（東信堂）
 天野郁夫『教育と近代化』（玉川大学出版部）
 沼口博『学校教育と経済発展』（学文社）
 その他は講義の中で紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本経済論	こばやし まさと 小林 正人	法A・政治・法B	4

講義のねらい

日本経済の（第二次世界大）戦後の歴史について総合的に講義する。とくに日本経済を支える産業の発展史について詳しく説明し、これに対する日本の経営システムの役割について検証する。さらに、平成不況のなかで浮き彫りになってきた日本の経済システムの課題について述べる。

日本経済は、高度経済成長をへたのち、幾度かの「危機」（とくに1970年代の石油ショックと、1980年代後半の円高）をのりこえてきた。しかし今日の平成不況の中で、日本の経済システムや経営システムの問題点も浮き彫りになった。これまでの発展の条件が、地球規模での技術発展と競争環境の中で、逆の条件に転化したのである。このような経済の発展や変化の意味をリアルにつかむには、産業や企業のレベルにまで立ち入り、技術発展や企業間競争の実態について調べる必要がある。講義ではここに力を注ぐ予定である。

履修科目
他学部

講義の内容・授業スケジュール

- 戦後日本経済の展開過程
 景気の現状と雇用情勢
 戦後改革
 日本の高度経済成長：歴史とその原因
 産業政策の役割
 石油ショック、円高、バブル経済、平成不況
- イノベーションと産業発展
 産業構造の理論と歴史
 主要産業の歴史：鉄鋼、自動車、電機、半導体、工作機械
 日本型経営システムの意義。欧米諸国との比較
 製品の安全性とPL法
- 日本の経済発展の総括と展望
 平成不況の意義
 情報通信革命（インターネット）

履修上の留意点

講義資料は一度しか配布しないので確実に収集し、保管する。講義資料なしで定期試験を受けることはむずかしい。講義ではOHPなどをひんばんに使うので、見やすい位置に着席すること。板書はあまりせず、プレゼンテーション中心の講義である。講義の節目に小テストを実施することもある。

成績評価の方法

学期末テストと小テストの総合評価による。試験は論述式である。再試験は実施しない。

教科書

なし

参考書等

適時指定する。

その他

成績質疑応答では講義資料を持参しなければならない。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国経済論	小杉修二	法A・政治・法B	4

講義のねらい

前期は中華人民共和国の経済を歴史的に学ぶ。その開発目標に着目して、中ソ同盟下の大志向としての「ソ連モデル」(1949-57)、独自の超大国を志向して米ソと対立した「毛沢東モデル」(1958-78)について学ぶ。

ソ連モデル期に中国は途上国の特徴=機械の生産能力の欠如を克服し、国民生活を改善した。

毛沢東モデル期に兵器の一定の自給と核ミサイルの保有に至った。この時期、国民生活は改善されず、臨戦体勢づくりのため経済効率は低下し行きつまった。

後期はこの状況を打開した「鄧小平モデル」(1978-)を学ぶ。独自の超大国志向は維持しながらも平和共存政策への転換の下、開放政策による外資の呼びこみ、沿海部重点開発、軽工業優先開発、「独立した工業体系」づくりからの脱却、生産請負等の農業改革、市場経済への移行によって高度成長を達成、また、国民生活を改善し、「世界の生産現場」になった。後期には中国のかかげていた社会主義、「中国脅威論」等の問題をも考えてみたい。

履修上の留意点

言うまでもないが、私語、飲食、携帯電話は禁止(授業に集中できない人は出席不可)。

成績評価の方法

前期レポート、後期試験。

教科書

前期 小杉修二『増補 現代中国の国家目的と経済建設』(龍溪書舎) 4,000円

参考書等

平田幹郎『中国データブック2000-2001』(古今書院) 3,800円

その他

授業方法 講義+ビデオ映像の活用

他
学
部
履
修
科
目

科目名	担当者名	配当学科	単位
アメリカ経済論	瀬戸岡 紘	法A・政治・法B	4

講義のねらい

現代のアメリカ経済事情を幅ひろくわかりやすく解説します。特別な経済学の予備知識がなくとも理解できる授業です。アメリカ経済を自力で理解していく力をつけることが目標です。

講義の内容・
授業スケジュール

以下の項目をさしあたり準備しています。受講者の要望の強いものから講義していきます。
 ◇大統領の今年の経済政策、◇建国の理念と現実、◇アメリカの農業、◇アメリカの工業、◇ベンチャービジネス、◇雇用と労働者、◇商業とサービス、◇金融、◇教育と経済、◇科学技術、◇先端産業、◇経済と環境問題、◇アメリカ社会とヴォランティア、◇女性・マイノリティ、◇ドルの地位とIMF、◇アメリカの貿易、◇軍の世界的ネットワークと経済的意義、◇海外援助、◇多国籍企業とアメリカ経済、◇アメリカとEC、◇アメリカと日本、◇アメリカとアジア・太平洋、◇アメリカとカナダ・メキシコ、◇アメリカの経済学、など

履修上の留意点

1回の講義でひとつのテーマをとりあげます。あたらしい情報やトピックスを、解説つきで、つねに受講者に紹介します。アメリカの諸大学の授業にみられる長所を可能なかぎりとり入れた授業です。

成績評価の方法

随時、受講者には小論を書いてもらい、それで成績評価をします。平常点重視のためまえから、一発勝負の年度末試験は、受講者の強い要望がないかぎり実施しません。それゆえ再試験も実施しません。

教科書

最新の情報をもとに講義をすすめます。だから特定の教科書は使用しません。講義では、随時よい文献などを紹介していきます。日々のニュースと諸君の周囲にあるさまざまなアメリカものの本の全体がこの講義の教科書ですが、どうしてもといわれれば、グリーンバーグ『資本主義とアメリカの政治理念』(瀬戸岡訳 青木書店) 1994年 瀬戸岡ほか編著『グローバル時代の貿易と投資』(桜井書店) 2003年をおすすめします。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ロシア・東欧経済論	やまがた ひろし 山 縣 弘 志	法A・政治・法B	4

講義のねらい

外国経済研究の課題を、その経済事情に通じることという形で、狭く設定する必要はないので、各自の問題意識に引きつけてとらえてもらえばよいが、とりわけ、独特のソ連経済からロシア的・資本主義的・市場経済への転換を、資本主義世界経済のあり方、日本経済のあり方を念頭に置きつつ講義する予定である。その際、ソ連経済史の評価のためには社会主義論の捉え直しが不可欠であり、他方で政策も含めた経済現象の総体を文化的基盤と切り離して論じることではできないから、常に総合的視点と批判精神を伴った受けとめを期待する。

講義の内容・授業スケジュール

ソ連邦が解体し、東欧諸国も再編成されて、一つの歴史的移行過程にあるが、「どこからどこへ？」の問題は必ずしも決着済みではない。この地域が従来の歴史的経緯を背負って今後も多少とも独自の経済圏を形成していくことは確かであろう。

ロシア・東欧圏は、ヨーロッパとアジアにまたがりオリエントと接するユーラシア地域として、独自の、また内部的には多様な文化を醸成してきた。この地域は、帝国主義の時代に入って、第1段階としてロシア革命、第2段階として第2次大戦を契機に社会主義をめざすことになった。そしてその歴史は通例まぎれもない社会主義の歴史として通俗的に理解されてきたが、本来は社会主義の模索として開始されたものであり、社会主義に到達しえたか否か自体が吟味の対象である。これは同時代史の問いかけに応えるために必要な認識であろう。

社会主義論の歴史的な捉え直しの上に立って、1930年代にソ連邦で形成され40年代に東欧に移植された独特の体制の認識が深まれば、「どこからどこへ？」の問題の第1段階に答える可能性が生まれるであろうし、その第2段階を検討することは、我々の時代の当面している課題を明らかにすることに通じるであろう。

1. 社会主義とロシア革命
 - (1) 社会主義論とマルクス
 - (2) ロシア革命のめざしたもの——レーニン時代——
2. ソ連経済体制の成立とスターリン時代
 - (1) 1920年代から30年代への転換
 - (2) ソ連型「社会主義」の特質と行きづまり
3. 「計画経済」と经济管理システム
 - (1) 「計画経済」の成立と実態
 - (2) ソ連型经济管理システム
4. ソ連経済の生産力水準
 - (1) 経済構造の特質と軍事生産
 - (2) 工業生産力と工業技術
 - (3) 農業問題
5. 停滞からペレストロイカへ
 - (1) 経済改革の時代
 - (2) プレジネフと停滞の時代
 - (3) ペレストロイカとその挫折
6. ロシア・東欧経済の現状と課題
 - (1) ロシア・東欧の文化と社会
 - (2) 資本主義化の諸問題
 - (3) ロシアと日本——比較経済史——

履修上の留意点

トピックスにコメントすることが多いと思われるので、必ずしも授業計画通り、またその全てを網羅して進むとは限らないが、部分から全体を照射するように心がけたい。敢えて挑発的な講義にしたいので、学生諸君にはステレオタイプから脱して自分自身の頭で考えることを期待する。

成績評価の方法

成績評価はレポート（9月提出、40点配点）と定期試験（自筆ノート持込み可、60点配点）によって行う。模範答案等の丸写しは認めない。オリジナリティを評価する。再試験実施。

教科書

教科書はない。参考書は適宜指示する。歴史の見直しが必要とされ、変化の激しい時代に、万全の教科書はありえない。

その他

教科書はないので、授業中にノートを取るのとは当然のことになるだろう。

履修科目
他学部

科目名	担当者名	配当学科	単 位
財務会計論	小栗 崇 資	法A・政治・法B	4

講義のねらい

企業の活動内容を外部の利害関係者や投資家に報告・開示することを目的とするのが財務会計である。外部報告会計とも言われ、報告内容による社会的な影響も大きいことから、財務会計については商法や証券取引法のような法律や規則によって社会的に規制されている。日本の財務会計を規制する企業会計制度は現在、会計ビッグバンと呼ばれる大きな変化のまっただなかにある。戦後、日本独自の発展をとげてきた企業会計制度もグローバルスタンダードの影響のもとに国際的に比較可能なものへと変わりつつある。制度変化による経済やビジネスへの影響は大きく、日本の財務会計がどのような発展をとげていくかが、現在、問われているところである。

講義の前半では、そうした制度変化を理解する上で必要な、経済社会と会計との関係や会計に関する規制の仕組みなどについて論じたのち、日本の企業会計制度の歴史と会計ビッグバンの概要について学習を進める。講義の後半では財務諸表（貸借対照表、損益計算書）の基本的な構成や内容について論じ、さらに現代会計のテーマである連結会計、金融商品会計、年金会計などを取り上げ検討する予定である。

講義の内容・授業スケジュール

次のような構成で進めたい。

1. 財務会計とは何か
2. 経済社会と企業会計
3. 会計規制の仕組み
4. 日本の企業会計制度と会計ビッグバン
5. 財務諸表の仕組み
6. 貸借対照表の構造と内容
7. 損益計算書の構造と内容
8. キャッシュフロー計算書の構造と内容
9. 連結財務諸表の構造と内容
10. 金融商品会計
11. 退職給付会計
12. リース会計
13. 現代会計と会計の国際化

履修上の留意点

会計学は専門知識を積み上げていく学習スタイルが必要ですし、時々、副教材としてプリントを配布しますので、欠席しないこと。

成績評価の方法

中間試験および学年末試験により評価します。また、時々、小テストやレポートも実施し、成績評価に加算します。なお、再試験は行わないので注意して下さい。

教科書

遠藤・小栗・新谷・徳前著『新世紀の企業会計論（第2版）』（白桃書房）

参考書等

小栗・熊谷・陣内・村井編著『国際会計基準を考える—変わる会計と経済』（大月書店）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
会 計 監 査 論	<small>もり た よし ひろ</small> 森 田 佳 宏	法A・政治・法B	4

講義のねらい

会計監査とは、企業における会計記録および会計行為の全部または一部につき、それに関与しない独立の第三者が分析的に検討を加え、その適否または正否に関する批判的意見を表明することである。これは、会計監査の一般的意義であるが、会計監査のうち、現在もっとも広く行われ、かつ、もっとも重要な監査方式は、職業監査人すなわち公認会計士による財務諸表監査である。財務諸表監査とは、企業が作成する財務諸表の適否について、監査人が公正な立場から検討を加えて専門家としての意見を表明し、もって財務諸表に対する社会一般の信頼を高めるための制度であり、主として、投資者、債権者その他の利害関係者の利益擁護を目的とする監査である。

いうまでもなく、財務諸表監査は、企業が作成する財務諸表をその対象としている。財務諸表とは、周知のとおり、毎事業年度に作成される貸借対照表、損益計算書、キャッシュ・フロー計算書等の財務に関する決算書類である。

これら財務諸表の適否の検討にあたって、監査人の判断の基礎となるものが、商法、財務諸表等規則、企業会計原則等の会計に関する法令および慣習規範であり、監査人の行為の尺度となるものが監査基準である。

講義の内容・授業スケジュール

職業監査人による財務諸表監査（特に証券取引法監査）を中心として、前期は会計監査の意義・目的、種類および歴史、ならびに会計・監査制度について、後期は監査基準の内容について講義を行う。

履修上の留意点

本講義の履修にあたっては、すでに「簿記論」、「会計学総論」および「財務会計論」を履修済みであることが望ましい。

成績評価の方法

原則としてレポートおよび期末試験により評価する。なお、再試験は実施する。

教科書

指定しない。必要に応じて資料を配布する。

参考書等

〔財〕財務会計基準機構監修『企業会計規則集』（税務研究会出版局）

他履修
学部
科目

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
管 理 会 計 論	いし ^{かわ} 川 ^{ゆう} 祐 ^じ 二	法A・政治・法B	4

講義のねらい

企業がそれを取り巻く社会の中で円滑に活動するためには、自社の状況を把握し、それに基づいて適切な管理をしていかなければならない。とりわけ、グローバル化が進展し、変化が激しい現代の社会環境に適切に対応するためには、よりの確な企業管理を行う必要性に迫られる。このとき、様々な情報の中でも、会計情報を利用することが一つの重要な鍵となる。というのも、企業は会計的な利益を獲得することを目的として活動しており、そのような目的と直接的に結びつく情報だからである。企業管理のために会計情報を利用するうえでは、その基本的な意味や、その背後にある基礎的論理を身につける必要がある。そこで、本講義においては、管理会計上の基礎的知識・基礎的論理の修得に主眼がおかれる。そして、それと同時に、その会計情報が社会的諸関係の中で果たす役割や意味を考える機会の提供を目指すものである。

講義の内容・授業スケジュール

前期においては、まず、管理会計をとらえる上での基本的な視点を明らかにする。つぎに、原価概念や利益概念といった基礎的な概念を取り上げる。そのうえで、伝統的に利用されてきた管理会計上の手法を取り上げる。後期においては、近年、管理会計上の中心的話題となっている手法を取り上げ、その社会的な意味を考えることにする。

履修上の留意点

本講義の履修にあたっては、「簿記論」および「会計学総論」を履修済みであることが望ましい。また、電卓を利用するので、持参すること。

成績評価の方法

小テスト・レポート・年度末試験を総合評価する。再試験は実施しない。

教 科 書

プリントを配布する。一年間の講義をつうじて蓄積されたプリントが、学生個々人の成果を反映したテキストとなる。

参 考 書 等

講義において適宜配布する。

そ の 他

講義においては問題練習を行い、知識の定着を目指す。

他
学
部
履
修
科
目

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
貿 易 論	ふるさわ こうぞう 古 沢 紘 造	法A・政治・法B	4

講義のねらい

オゾン層破壊、熱帯林破壊、温暖化、酸性雨、放射能汚染など地球を取り巻く環境はますます深刻になっています。一方、私たち生命体は水・大気・土壌の汚染により生存を脅かされる場所まで来ています。本講義では、こうした危機的状況を踏まえ、生命系の経済学の立場に立って、貿易問題、さらには国際分業のあり方について深く考えてみたいと思います。その中で、経済学、生態学、倫理学からなる総合的視角の重要性を認識しつつ、私たちの生活のありようを問うことにも力を注ぎたい。

生命系の経済学とは、人格をもった人間としてのニーズ、環境、資源、地球のすべての生命との共存、などを基準とした主体的な指標の確立と、それを実現し保証する政策と運動を具体的に提出する経済学です。詳しくはポール・エキンズ編著『生命系の経済学』（御茶の水書房）を読まれるとよいでしょう。

講義の内容・授業スケジュール

- | | |
|--|---|
| <p>I. 生産・消費と貿易</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 農産物と貿易 2. 水産物と貿易 3. 林産物と貿易 4. 鉱物資源と貿易 5. 工業製品と貿易 | <p>II. 政治・経済・社会と貿易</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 開発援助と貿易 2. 環境と貿易 3. WTOと貿易 4. グローバリゼーションと貿易 5. 持続可能な発展と貿易 |
|--|---|
- 社会・経済状況の変化に対応して、アップ・ツー・デートな貿易問題も積極的に取り上げるようにしたい。

成績評価の方法

テスト、提出物（講義ごとのまとめ、前期、後期の終り 授業で書いてもらう講義全体のまとめ）などを総合して評価を行う。テストやまとめを書くとき、論点を明確にし、自分の考えをしっかりと出すように努力してもらいたい。思考の跡がうかがえないものは、評価の対象とはならないでしょう。
再試験を実施しない。

教科書

特にこれといった教科書は使いません。専門用語などむずかしいことは、そのつど説明しますので、授業に出てもらえれば内容は充分理解できると思います。

参考書等

講義の中で興味をもち、もっと知りたいことがありましたら、遠慮なく相談にきてください。参考になる本など教えます（研究室：第2研究館、4階34号室）。

他履修科目
学部

科目名	担当者名	配当学科	単位
相 続 法	竹中智香 <small>たけ なか ち か</small>	政治	4

(P.297) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
ヨーロッパ政治論(1) (前期)	若松邦弘 <small>わか まつ くに ひろ</small>	法A・法B	2

(P.390) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
ヨーロッパ政治論(2) (後期)	若松邦弘 <small>わか まつ くに ひろ</small>	法A・法B	2

(P.390) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
国際政治学	小堀訓男 <small>こ ぼり のり お</small>	法A・法B	4

(P.370) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
ヨーロッパ政治史	浦田早苗 <small>うら た ま なえ</small>	法A・法B	4

(P.373) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
比較政治学	木暮健太郎 <small>こ くれ けん たろう</small>	法A・法B	4

(P.383) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
現代国家論	大塚桂 <small>おお つか かつら</small>	法A・法B	4

(P.405) 参照

他学部
履修科目

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経 営 労 務 論	鹿嶋秀晃 <small>かしま ひであき</small>	法A・政治・法B	4

講義のねらい

この講義では、現代の日本企業とそこに働く労働者が抱える経営労務問題を幅広く扱っていく。具体的には経営学と経営労務論、戦後日本経済と日本的経営論、終身雇用、年功序列賃金、企業別組合制度、福利厚生制度、異動と昇進、人材形成、労働時間問題、ホワイトカラーの労働問題、女性労働問題、新しい労働法制と労働問題などの小テーマを設けて講義していく。学生には経営労務論を受講することで企業と労働、社会について幅広い問題関心を持ってもらいたい。

講義の内容・授業スケジュール

講義は1コマ1テーマの原則。各回の最初に「日本は本当に終身雇用なのか？」といったような問題点を掲げ、その解説をおこなう。また、最近の新聞記事から重要な経営労務問題をピックアップして紹介する。

履修上の留意点

詳細は最初の講義で説明する。出席は取らないので、出席点は無し。(1) 私語は真剣に聞いている他の学生に迷惑になるのでしないこと。(2) 携帯電話は消音すること。ひどいときには退室してもらい、単位の認定をしない。

成績評価の方法

評価は学期末試験とレポート提出の合計点で成績評価を実施する。

教 科 書

テキストは特に指定しない。

参 考 書 等

参考図書としては、津田真澄『人事労務管理』（ミネルヴァ書房）1993 定価3000円程度、労務学説史をわかりやすく説明したものとして渡辺峻『企業組織の労働と管理』（中央経済社）1995 定価2600円程度、経営労務をより体系的に深く学習するのによい白井泰四郎『現代日本の労務管理第2版』（東洋経済新報社）1992 定価3500円程度をあげておく。この他にも講義の中で適宜いろいろな文献を紹介していく。

そ の 他

授業は講義形式でおこなうが、図表やグラフを多用し、ただ聞いてノートを取るだけでなく「頭をつかう」ような形にする。ホームページでも授業に関する情報提供をしていく。
<http://www.komazawa-u.ac.jp/~kashima/>
 この科目は、再試験を実施しません。

履修科目
他学部

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 際 経 営 論	茂 垣 広 志 <small>も がき ひろ し</small>	法A・政治・法B	4

講義のねらい

国際経営とは、国境を越えて事業を展開している企業（多国籍企業）の戦略およびマネジメントの課題に取り組んでいる経営学の一領域である。本講義のねらいとしては、経営戦略論、管理論、組織論をベースとして、比較経営や異文化マネジメントの視点を加味して、多国籍企業の戦略行動とマネジメントの特徴を理解することにある。つまり、国内的企業ではあまり問題とならないような、企業の国際化、多国籍化にかかわる諸問題を企業経営の視点から多面的に捉え、検討することを通じて国際経営に関する基本的理解を深めることを講義の目的としている。

講義の内容・
授業スケジュール

日本企業を念頭において授業を進めるが、欧米系多国籍企業との比較、ケースを用いて理解が深められるような講義の内容を予定している。授業のスケジュールに関しては、下記のような構成となっている。

1. 国際経営論入門、2. 経営戦略の基礎と国際経営戦略、3. 企業の国際化と国際経営環境、4. 企業の多国籍化と国際化の発展段階、5. 国際競争戦略のパターン、6. 国際戦略提携、7. 国際経営組織、8. 国際経営のモデル、9. 日本企業の国際経営（日米欧多国籍企業比較）、10. 海外子会社のマネジメント、11. 異文化マネジメント、12. 海外派遣（出向）者の育成・選抜・処遇、13. 日本企業の国際経営上の課題と展望

履修上の留意点

教科書を用いて講義を進めるため、授業に教科書を携帯のこと。

成績評価の方法

成績は、期末試験の結果によるが、その際、出席状況を加味する。

教 科 書

茂垣広志『グローバル戦略経営』（学文社）2,800円

参 考 書 等

必要に応じて指示する。

そ の 他

プロジェクターを用いて講義形式で授業を進行する。また、必要に応じて資料を配布する。この科目は、再試験を実施しません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
商 業 史	やま だ まさる 山 田 勝	法A・政治・法B	4

講義のねらい

商業経営の歴史的発展の過程を、文化との関係に留意しながら講義する。

講義の内容・授業スケジュール

講義内容の主なテーマは次のとおりである。

- | | |
|-----------------|---------------|
| (1) 商業史の視点 | (6) 継続性 |
| (2) 歴史研究とパラダイム論 | (7) 流通量 |
| (3) 利潤 | (8) 大衆消費社会の特質 |
| (4) 商品 | (9) 価格革命 |
| (5) 市場 | (10) 情報社会と商業 |

履修上の留意点

講義を聴くことのみが学習の方法ではないが、講義は各自の学習の導きとしては有益であると思う。出席はとらないが、聴講に努めて欲しい。質問は歓迎する。教場での私語は他人の迷惑となるので厳禁とする。必要があれば教場から出て話すこと。

成績評価の方法

成績評価は定期試験による。

教 科 書

山田勝著『現代商業の歴史と展開』（創成社）2,850円

そ の 他

この科目は、再試験を実施しません。

他 履 修 科 目
学 部

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
保 険 経 営 論	いし な ざ か く に あき 石 名 坂 邦 昭	法A・政治・法B	4

講義のねらい

本講義においては、保険学のアプローチとして近年一般化しつつあるリスク・マネジメントの基本的事柄につき理解した後に、保険理論の基本的知識を正確にし、わが国の保険事業並びに一般企業がかかえているリスクに関する諸問題にどのように対処したらよいかの応用能力が持てるようになることを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

保険学の研究は、保険法学的アプローチ、保険経済的アプローチ、保険経営学的アプローチとそれぞれの時代を背景に論じられてきた。今日、保険学研究については保険経営学的研究をより発展させた、「危機管理論」（リスク・マネジメント）研究が主流となっている。本講義においては、最初にリスク・マネジメントの基本体系について論じ、リスク・マネジメントの理論、歴史的発展について見た後に、リスク・マネジメントの中心となる保険の機能、保険本質、保険技術について詳しく見ていきたい。

前期はリスク・マネジメントを中心とした講義を行い、後期に保険論を中心とした講義を行う。講義は、理解しやすいように工夫をこらしていく。教科書は使用するが、それは本講義を理解するための基本的共通知識として使用し、講義は教科書に書かれている事柄が理解されていることを前提として進めていく。

履修上の留意点

保険およびリスク・マネジメントを理解するためには使用される専門用語を理解されていなければならない、学ぶことも広範囲にわたるため、講義を受ける前に必ず教科書を読み講義後の復習も忘れないようにしてほしい。学生諸君の積極的な授業への参加を望む。

成績評価の方法

講義への出席状況および授業時の質疑応答と定期試験の結果を総合して成績評価を行う。

教 科 書

石名坂著『リスク・マネジメントの理論』（白桃書房）3,500円

参 考 書 等

石名坂著『ファミリーリスク・マネジメントと保険』（白桃書房）
石名坂著『リスク・マネジメントの基礎』（白桃書房）

そ の 他

この科目は、再試験を実施しません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
財 務 会 計 論	わた なべ えいちろう 渡 邊 恵 一 郎	法 A・政治・法 B	4

講義のねらい

財務会計論は会計学の一分野であり、企業の経営成績と財政状態を明らかにするという基本的職能を取り扱っている。財務会計の目的は、企業経営に責任を負う経営者に、投資者、債権者その他企業と利害関係を持つ外部の人々に対して、適切な企業財務情報を提供させることにある。この主たる手段が、損益計算書、貸借対照表、キャッシュ・フロー計算書などの財務諸表である。

講義では、財務諸表を作成するための会計処理（測定）と表示方法（伝達）を中心的課題とし、またこれに関するわが国の商法、税法などの会計法規も取り上げ、さらに国際会計基準との関連にも触れる。

講義の内容・
授業スケジュール

講義の内容はおおむね下記の教科書によることとし、この授業スケジュールは次のとおりである。

- ① 4～5月 財務会計の機能と制度、利益計算の仕組み、会計理論と会計原則
- ② 6～7月 利益計算と資産評価の基本原則、現金預金と有価証券、売上高と売上債権、棚卸資産と売上原価
- ③ 9～10月 固定資産と減価償却、繰延資産、負債、資本
- ④ 11～12月 財務諸表の作成と公開、連結財務諸表、外資建取引等の換算

履修上の留意点

毎時間の出席率と宿題提出（年1回）を重視する。

成績評価の方法

成績評価は、出席率、宿題提出及び定期試験点数の総合による。

教 科 書

桜井久勝著『財務会計講義』（中央経済社）

参 考 書 等

日本公認会計士協会編『監査小六法』（中央経済社）

そ の 他

- (1) 授業の方法は、講義による。(2) 簿記学・会計学の単位を修得していること。
この科目は、再試験を実施しません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経 営 分 析 論	かた ざり のぶ お 片 桐 伸 夫	法A・政治・法B	4

講義のねらい

経営分析とは、文字どおり「企業の経営を分析すること」であり、かなり多方面にわたる内容をもっています。

皆さんが将来を託そうとする会社は、

- 1 財政的に安定しているだろうか（安定性分析）、
 - 2 「儲け」はどうだろうか（収益性分析）、
 - 3 経営活動の成果はきちんと配分されているだろうか（生産性分析）、
 - 4 長期的な会社の「伸び」はどうだろうか（成長性分析）、また、
 - 5 社会に対してどのように貢献しているだろうか（社会性分析）、
- といった内容です。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、企業の毎期の経営活動を報告する「貸借対照表」や「損益計算書」などの「財務諸表」の読み方をまず説明し、安定性・収益性分析を学習します。

後期は生産性・成長性・社会性分析や、さらに、損益分岐点・利益増減その他の分析を取りあげます。

「各自が企業の経営を分析できるようになる」ため、授業で必要最小限の理論を学び、ただちに、新聞などの最新のトピックによって企業の現実にあてはめます。

履修上の留意点

この授業の目的は、「財務諸表分析」を中心に、各人が就職を希望する、あるいは興味を持っている会社の「分析」をしていただくことにあります。つたなくても、ささやかでも、その成果は皆さんの貴重な「財産」です。

成績評価の方法

成績評価はレポートと授業中のテストで行います。学年末試験は行いませんのでご注意ください。

*レポート・テーマ：前期「各自が関心を持っている企業の収益性・安定性分析」

：後期「各自が関心を持っている企業の成長性その他の分析（続）」

☆提出日（授業はじめに配布するシラバスに明記）以外は受け付けませんのでご注意ください。

*テスト範囲：財務諸表数値を用いた経営比率の算出問題。

☆質問は授業以外にも研究室2307号室で随時受付けますので、遠慮なくおいでください。

教 科 書

開講時、指示します。

参 考 書 等

随時、紹介します。

そ の 他

この科目は、再試験を実施しません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経 営 情 報 論	たか い てつ お 高 井 徹 雄	法A・政治・法B	4

講義のねらい

経営スタッフの役割は、意思決定を支援すること、すなわち、意思決定者が適切な意思決定を行えるよう、決定の指針となる情報を提供することに外ならない。本講義では、将来、企業や官庁における経営スタッフを目指す諸君のために、経営情報に関する体系的な観点と、情報利用技術の基礎について解説する。

講義の内容・授業スケジュール

I. 経営情報とシステムの観点（前期）

(1) 科学とシステムの観点（4月～5月：4週）

情報学のバックグラウンドにある考え方や知識について整理する。科学の方法とシステム的なものの見方、それに基づく問題へのアプローチとはどのようなものかについて理解を深める。

(2) 情報学の基礎と周辺領域（5月～6月：5週）

情報処理技術に関わる基礎的な勉強をする。主としてコンピュータベースのシステムによる情報の取り扱いに関し、知っておくべき基礎的事項について整理する。

(3) 情報環境の発展と経営における利用（6月～7月：5週）

経営の場における意思決定と情報利用技術の関わりについて学ぶ。まず、企業における情報利用の形態の歴史の変遷を概観する。次いで、今日から近未来において、インターネット環境下の戦略的な情報の利用はどうあるべきか。すなわち、ITを用いた意思決定と管理のあり方、また電子商取引の現在と今後の発展について考察する。

II. 情報の利用技術（後期）

(1) 多変量データ解析（9月～10月：7週）

調査収集された生のデータは、そのままでは情報としての価値はない。データを加工・分析し、それが表す意味を解釈することで初めて意思決定のための情報が得られる。ここでは、定量的データを分析するための、重回帰分析、主成分分析、判別分析法を、またアンケート調査などで得られる定性的データを分析するための数量化I、II、III類法について、その原理と適用方法を学ぶ。

(2) シミュレーション（11月～12月：4週）

複雑な対象の動的な特徴を分析するための有力な方法としてシミュレーション技法がある。まず、社会経済系に関するシステム・ダイナミックス、工学的システムに関する有限要素法などの数値シミュレーション、待ち行列現象の解析に威力を発揮する離散系シミュレーションなど、代表的な手法についてその特徴を概観する。次いで、乱数を用いるモンテカルロ法の基礎的方法に触れた後、離散系シミュレーションの原理とモデル構築の方法について学ぶ。

(3) DSSとES（12月～1月：3週）

人工知能の原理と、その経営の場での応用として期待されるDSS（意思決定支援システム）、ES（専門家システム）の概要について学ぶ。

他学部履修科目

履修上の留意点

「情報処理基礎」と「経営数学」を履修済みまたは同時に履修していることを前提として授業を行う。また、「統計原論」か「経営統計論」のいずれかを履修済みまたは同時に履修することが望ましい。

成績評価の方法

前期、後期末に実施する筆記試験に基づき評価する。その他、出席状況も評価に反映させる。

教科書

教科書は指定せず、授業の各テーマに沿って適宜プリントを配布する。

参考書等

本講義のテーマに関わりの深い参考書として、高原康彦・高津信三編、高井徹雄他著『経営情報システム』（H刊工業新聞社）3,200円を推奨しておく。

その他

この科目は再試験を実施しません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
情 報 理 論	にしむら かずお 西村 和夫	法A・政治・法B	4

講義のねらい

近年では日常的に使われる言葉となっている“情報”の本質を探ります。主に、情報の量(情報量)を定義したシャノン(C.E.Shannon)流の情報理論について講義します。

この授業を受講すれば、ある通報や記号のもっている情報量を、具体的な数値として(シャノンという単位で)計算できるようになります。これによって、たとえばDNAの情報を記録するために十分なフロッピーディスクの枚数が、たちどころに計算できるようになります。

また、情報量の期待値(平均値)であるエントロピーという概念も理解できます。これは、経営情報論、符号理論、通信理論、暗号理論などで利用される重要な概念です。

その後で、エントロピーによって冗長度を導入します。言語の文字や音が冗長であることが、会話を成立させるために重要であることを理解します。

途中で、古代から現代にわたる暗号の話をする。現代の暗号技術の基礎についての理解は、現代社会で生きていくために必要なことです。

講義の内容・授業スケジュール

- 4月3回 授業内容概説、情報とは、情報量への要求
- 5月3回 対数の原理と性質、計算練習
- 6月4回 情報量の定義、練習、情報量の利用、2進法
- 7月3回 暗号系と用語、古典的な暗号、“踊る人形”の解読
- 9月2回 現代的な暗号、暗号技術を使ってできること
- 10月2回 符号化(JISコード、国際符号化文字集合)、対数・情報量の間接試験
- 10月2回 確率過程およびマルコフ過程
- 11月2回 遷移確率と同時確率
- 11月1回 エントロピーの定義
- 12月2回 冗長度、言語のエントロピー
- 12月1回 価格以外の情報がない場合の市場占有率予測
- 12月1回 検査術(CD)、情報の圧縮と乱数、デジタルとアナログ

履修上の留意点

4年次で履修するのは困難です。2～3年次のうちに履修しておくように強く奨めます。また、毎回出席して計算練習に参加していないと、試験問題を解くことは無理でしょう。

内容の性質上、確率と対数に関する多少の数学的知識が必要になりますが、これらについて全く知らなくても理解できるように配慮しています(上表5月参照)。

成績評価の方法

10月の中間試験(30%)と定期試験(70%)との合計点によります。

教 科 書

クイズと計算練習を適宜とりいれます。また、プロジェクトとプリントを使います。適当な教科書はありません。

参 考 書 等

そのつど紹介します。

そ の 他

〔関連科目〕→ 経営情報論

講義内容のページ：<http://www.komazawa-u.ac.jp/~kazov/Nis/lecture/info.html>

この科目は、再試験を実施しません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経 営 統 計	なが こ きょう 長 国 強	法A・政治・法B	4

講義のねらい

統計と企業経営の関わりについてを展開する経営統計とは、分析目的に対応して主に経営情報としてのデータを収集・処理・分析し、複雑な現象を理解すると共に、データを生成した集団や構造についてを予測し、いろいろな意思決定をサポートすることである。経営的意思決定において最も重要なことは、将来の経営状況をどう見るかであり、その予測に対して経営統計は十分な役割を果たされるはずである。

この講義では、企業経営における統計データの具体例を数多く取り入れることによって、経営統計の手法をわかりやすく説明していく。また、数学苦手の学生を配慮し、講義の内容説明は微・積分などの計算をいっさい用いず、数式の使用も必要最小限に止める。

講義の内容・授業スケジュール

予定している講義内容は以下の通りである。
 経営統計について：経営統計の役割、基礎概念
 統計特性値：平均、分散、正規分布
 市場調査と統計整理：調査の諸段階、標本設計、データ整理
 経営時系列：傾向成分の測定、季節指数の計算、時系列予測
 経営指数：物価指数、数量指数
 統計的意思決定理論：意思決定基準、期待効用理論

履修上の留意点

年間5回程度の演習問題を適時に配布し、それを独自かつ理解的に解ければ、中間試験や定期試験に心配する必要はない。

成績評価の方法

講義への出席状況と中間・定期試験の結果により総合的に判断する。

教科書

特に使用しないが、プリントは適時に配布する。

その他

統計学、あるいは統計原論を先にまたは同時に履修することが望ましい。
 この科目は、再試験を実施しません。

他
学
部
履
修
科
目

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
女 性 史	たか しま 高 嶋 めぐみ	政治	4

講義のねらい

日本古代・中世・近世・近代・現代の家族・婚姻の具体像を探りながら女性の生き方を考える。また新聞などの記事・統計をもとに、現在わきあがっている女性周辺のさまざまな問題について考察していく。

講義の内容・授業スケジュール

時代を①原始古代②中世③近世④近代⑤現代に分け、各時代の社会、家族、そして女性の社会的地位の変遷などについて実態面および法的側面などから講述していく。

履修上の留意点

講義に集中すること。他人を思いやり、迷惑をかけないこと。

成績評価の方法

総合評価 (①出席、受講の状況②レポートまたは試験)

教科書

特に指定はしない。

参考書等

講義内容と関連して、適宜指示する予定。

その他

ビデオ・OHP など適宜使用する予定。

科目名	担当者名	配当学科	単位
メディアと表現	まつだ なおゆき 松田直行	政治	4

講義のねらい

マルチメディア社会における多様な表現形態の全体像を俯瞰するとともに、実際の表現現場における仕事の具体性に触れることによって、メディアと表現の現在を多角的に考察する。

講義の内容・授業スケジュール

担当者からのガイダンスと総論の講義のあと、現在様々なメディアと表現にかかわる分野で、実際に仕事をされている方々を毎回ゲストとしてお招きし、現場の具体的な状況についてのお話をうかがう特殊形態授業となる。ゲストのスケジュールは初回の授業で発表するが、1人1回から3回で交代し、テレビ局、広告代理店、出版社、通信会社、映画・演劇・音楽関係、俳優ほか、できる限り多様な職種の方々をお招きしたい。

履修上の留意点

受講希望者が教場の定員を越える場合は、他学部履修生については抽選とすることもある。初回の授業でガイダンスと受講生の確認を行うので、必ず出席すること。

成績評価の方法

学年末の定期試験期間中に提出していただくレポートによって採点する。それ以外に、適宜提出していただく小レポートにより、出席を確認する。

教科書

指定しない。

参考書等

教場で適宜指示する。

IV 随 意 科 目

IV. 随 意 科 目

英 語 (海外演習)	473
フランス語 (海外演習)	473
中 国 語 (海外演習)	473
比 較 思 想 特 講 (末 木 恭 彦)	474

随意科目

科 目 名	配 当 学 科	単 位
英 語 (海外演習)	全学科1年次～	2

講義のねらい

この科目は本学の海外協定校であるクインズランド大学（オーストラリア）、プリティッシュ・コロンビア大学（カナダ）、エクセター大学（イギリス）、カリフォルニア大学アーバイン校（アメリカ）における短期留学英語セミナーでの4週間におよぶ現地での集中演習を中心としておこなわれる英語随意科目である。受講対象学生は全学部・短大の1年次生から卒業年次生までとする。

成績評価の方法

現地演習後に四大学より受講生の成績・評価等が出される。受講生には単位の認定がなされる。

そ の 他

受講希望者は、国際センターの短期留学英語セミナーに参加申込みをする。

科 目 名	配 当 学 科	単 位
フ ラ ンス 語 (海外演習)	全学科1年次～	2

講義のねらい

この科目は本学の海外協定校であるプロヴァンス大学(フランス)における短期留学セミナーでの3週間におよぶ現地での集中演習を中心としておこなわれるフランス語随意科目である。受講対象学生は全学部・短大の1年次生から卒業年次生までとする。

成績評価の方法

現地演習後にプロヴァンス大学より受講生の成績・評価等が出される。受講生には単位の認定がなされる。

そ の 他

受講希望者は、国際センターの短期留学フランス語セミナーに参加申込みをする。

科 目 名	配 当 学 科	単 位
中 国 語 (海外演習)	全学科1年次～	2

講義のねらい

この科目は本学の海外協定校である華東師範大学（中国）における短期留学セミナーでの4週間におよぶ現地での集中演習を中心としておこなわれる中国語随意科目である。受講対象学生は全学部・短大の1年次生から卒業年次生までとする。

成績評価の方法

現地演習後に華東師範大学より受講生の成績・評価等が出される。受講生には単位の認定がなされる。

そ の 他

受講希望者は、国際センターの短期留学中国語セミナーに参加申込みをする。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
比 較 思 想 特 講	すえ き やす ひこ 末 木 恭 彦	法 A ・ 政 治	4

講義のねらい

比較思想（哲学）は、世界各地に成長した思想（哲学）を比較し、ある地域に特有の思想（哲学）はその地域に固有の囚われた視野の中にあることを明らかにし、普遍的な思想（哲学）の獲得を目指す学問である。本科目は、一年おきに宗教的視点と哲学的視点の考察を開講する。この比較思想（哲学）という学問への基礎的理解の獲得を本科目では目指す。

講義の内容・授業スケジュール

比較思想（哲学）という学問は、自分達の属する文化を相対化する。西欧では近代の自己反省として生まれたが、同じ頃東アジアの地でも、近代化と伝統のはざまに苦悶する思索者は、西欧と東アジアの思想を比較しつつ、将来への展望を拓こうとしていた。『東アジアと哲学』所掲の諸論文を通じて、その努力の一端を知ること努める。後期はできることなら一冊のテキストを取挙げ精読したい。

履修上の留意点

必ず予習し、自分の疑問・意見が発表できる用意をして授業に臨むこと。

成績評価の方法

- 次の二つの材料を勘案して判定する。
1. 平常点（出席回数・授業参加の積極性）
 2. 試験またはレポート（年一回以上）

教 科 書

藤田正勝他編『東アジアと哲学』（ナカニシヤ出版）

参 考 書 等

参考書は授業中適宜指示する。

そ の 他

出来る限り講師の一方的講義はさけ、講師を含めた出席者による討論として進めたいと考えている。

V 「日本語」・「日本事情」科目

〔日本事情〕
〔日本語〕

V. 日本語・日本事情科目

(対象：外国人留学生・海外帰国子女)

《日本語科目》

日	本	語	I	〈佐野典子〉	479
日	本	語	I	〈多田羅哲子〉	479
日	本	語	II	〈佐野典子〉	479
日	本	語	II	〈多田羅哲子〉	480
日	本	語	III	〈多田羅哲子〉	480
日	本	語	III	〈湯村礼子〉	481
日	本	語	IV	〈石川守〉	481
日	本	語	IV	〈湯村礼子〉	482
日	本	語	V	〈石川守〉	482
日	本	語	V	〈多田羅哲子〉	483
日	本	語	VI	〈石川守〉	483
日	本	語	VI	〈多田羅哲子〉	484

《日本事情科目》

日本事情 I	〔地理〕	(前期)	〈高橋健太郎〉	484
日本事情 II	〔自然〕	(前期)	〈清水善和〉	485
日本事情 III	〔歴史〕	(後期)	〈浅倉直美〉	486
日本事情 IV	〔思想〕	(前期)	〈赤羽由規子〉	486
日本事情 V	〔社会〕	(後期)	〈川本勝〉	487
日本事情 VI	〔政治・法律〕	(後期)	〈三竹直哉〉	487
日本事情 VII	〔文学〕	(後期)	〈近衛典子〉	488
日本事情 VIII	〔文化・芸術〕	(後期)	〈赤羽由規子〉	488
日本事情 IX	〔経済〕	(前期)	〈吉田敬一〉	489
日本事情 X	〔経営〕	(前期)	〈永田智則〉	489

「日本事情」
「日本語」

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日 本 語 I	佐 野 のりこ さ のりこ	法 A・政治	2

講義のねらい

本講義は、留学生を対象とし、日本語の聴解力、及び読解力の向上を目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

授業では、テレビドラマのVTRを教材に、実際に話される日本語がどのようなものか学習し、同時に、書き言葉、話し言葉の違いを把握する。

履修上の留意点

教材は、担当者が用意する。

成績評価の方法

成績は、提出物（毎週）、小試験、授業への参加度、出席率等により、総合的に評価する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日 本 語 I	多 田 羅 あきこ たたら あきこ	法 A・政治	2

講義のねらい

常用漢字の読み方を中心に日本語の知識を強化する。
漢字の正確な読み、語彙の様々な意味・使い方、表現等を知ること、日本での生活および専門教科の学習に役立つ日本語の知識を身につける。

講義の内容・
授業スケジュール

- ・まず常用漢字を基本とした語句の読み方を覚え、様々な使い方を知る。
- ・それらを使った例文を通してかたい文章を読むことにも慣れる。
- ・また用例から助詞・機能語・慣用表現・文法等の復習もする。

成績評価の方法

平常点（出席、授業への参加度、小テスト）および期末テスト等で総合的に評価する。

教 科 書

プリント教材（常用漢字を基本とした語彙集、および文科系教科の概論・入門書・新聞等から抜粋した例文集）を配布する。

「日本語」
「日本事情」

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日 本 語 II	佐 野 のりこ さ のりこ	法 A・政治	2

講義のねらい

本講義は、留学生を対象とし、日本語のみならず、広く日本文化の把握を目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

授業は、前期は、日本の映画を中心に、日本語を勉強する。後期は、同じテーマを持った、外国の映画との、比較を通して、日本文化の特質を探る。

履修上の留意点

教材は、担当者が用意する。

成績評価の方法

成績は、提出物（毎週）、小試験、授業への参加度、出席率等により、総合的に評価する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 語 II	たたらあきこ 多田羅 哲子	法A・政治	2

講義のねらい

- 話すことを中心に日本語の運用能力を養う。
- ・教室活動を通して正しく適切な表現を用いて言いたいことが自由に話せるようになることを目指す。
 - ・発音、アクセント、イントネーション等、自分の日本語を自分で見直し矯正する習慣をつける。
 - ・短時間で文章が書けるようにする。

講義の内容・授業スケジュール

- ・説明、意見・提案などのスピーチ、その内容について質疑応答・意見交換・討論、ディベートなどを行う。
- ・テープで自分が話した日本語を聞く。
- ・話の内容、感想、意見などを限られた時間内で文章にまとめる。

履修上の留意点

授業活動が大切なので毎時間出席すること。

成績評価の方法

平常点を重視する。

教 科 書

必要に応じてコピーを配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 語 III	たたらあきこ 多田羅 哲子	法A・政治	2

講義のねらい

- 聴きとることを中心に日本語の総合的能力を養う。
- 話題になっていることについて日本語で聞き取り、その内容や自分の考えを口頭および文章での確に表現できるようになることを目指す。

講義の内容・授業スケジュール

- ・今話題になっているテーマについてビデオを使って内容を把握し、必要に応じて細部まで理解する。
- ・その内容を口頭で説明したり自分の考えを述べたり討論したりする。
- ・また、書き言葉でも表現する。

履修上の留意点

必ず出席し、授業に積極的に参加し毎時間提出物を出すこと。

成績評価の方法

平常点を重視する。

教 科 書

ビデオを使用。プリントを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日 本 語 Ⅲ	湯 村 礼 子 <small>ゆむら れい こ</small>	法A・政治	2

講義のねらい

これまで修得してきた日本語能力をさらに高め、文献を自分で調べながら読み、理解できるようにする。さらに、文献を通して、考え、意見を持ち、発表・説明ができるようになることをめざす。

講義の内容・
授業スケジュール

新聞・雑誌・文学作品・専門書などから教材を選び、読む。読んだ後に、意見を出し合い、討論を行ったりし、さらに認識を深め、最後に小レポートを提出する。後期は、各自分担を決めて、調べたり資料を収集したりして発表を行なう。

履修上の留意点

授業活動を重視するので、当然、毎時間の出席を原則とする。

成績評価の方法

テスト（漢字・語彙テストなど）、小レポート、授業での発表、その他の授業活動（発言、他の人の話の聴き方、授業態度など）を総合的に評価する。

教 科 書

授業中にプリントを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日 本 語 Ⅳ	石 川 守 <small>いし かわ まもる</small>	法A・政治	2

講義のねらい

日本の多くのことわざのもとになっている「いろはかるた」を使って日本語の中上級の文法・表現・文法・アクセントなどを勉強していく。

講義の内容・
授業スケジュール

本年度は、「ぬ」から行っていくことにする。

1. 「盗人の昼寝」
2. 「糠に釘」
3. 「瑠璃も玻璃も照らせば光る」
4. 「類をもって集まる」
5. 「老いては子に従う」

履修上の留意点

受身の立場ではなく、できるだけ発言することが望ましい。

成績評価の方法

授業へのとりくみ（出席と授業への参加態度）と期末試験等で総合的に評価する。評価の比率は、50：50ほど。

教 科 書

授業中にプリントを配布する。

参 考 書 等

特になし。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 語 IV	湯 村 礼 子 <small>ゆむら れいこ</small>	法 A・政治	2

講義のねらい

書くことを中心に授業を進める。大学生活に必要な文章力をさらに高めることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

文・段落・文章の書き方、文章の種類などについて講義、そして実践し、原稿用紙に書く。書いたものを再度見なおす。

履修上の留意点

講義・授業中の活動が重要なので、毎時間の出席を原則とする。

成績評価の方法

作文（5回程度）
授業活動（発言、授業態度、提出物など）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 語 V	石 川 守 <small>いし かわ まもる</small>	法 A・政治	2

講義のねらい

日本語の「基礎文法」についてより深く理解するために詳しく分析し、そこに潜む日本語文法の特徴を考え、ひいては話し、聞き、書き、読む際により正確に深く日本語が理解できるようになることを目指したい。したがって、基礎的な文法に特に自信のない学生に受講してもらいたい。

講義の内容・授業スケジュール

講義は、自作プリントを使って、そこに出てくる項目を中心に、ともに考え分析しながら進めていきたい。始めは、呼称からはじめ、指示詞、場所関係の表現、形容詞・形容動詞、テンスとアスペクト、依頼、などの順で進んでいく。

履修上の留意点

扱う学習項目は主に初級文法であるが、文法的な問題は、基礎的なものほど難しく、また深く掘り下げて分析して行くので、内容は単なる初級であると考えないでほしい。

成績評価の方法

成績評価は、筆記試験と平常点（出席、授業への参加度・態度など＝質問への答え）の二つで評価する。比率は50：50ぐらいである。

教 科 書

教材は、授業中にプリントを配布する。

参 考 書 等

特になし

そ の 他

授業は講義形式ではなく、常に教師から学生に質問をする形で行なっていく。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語 V	多田羅 哲子 <small>たたら あきこ</small>	法A・政治	2

講義のねらい

来日後間もない人を対象に、日本で生活する上で必要な基本的日本語を中心に、総合的に学習する。

講義の内容・授業スケジュール

初中級レベルからスタートし、話すことを中心に進める。また、聞く、必要に応じて読み・書き（漢字）も練習する。

履修上の留意点

出席して、積極的に授業に参加すること。

成績評価の方法

平常点を中心に判断する。

教科書

後日、授業時に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語 VI	石川 守 <small>いしかわ まもる</small>	法A・政治	2

講義のねらい

日本語 V で学習した基礎文法の残りを学習していく。

講義の内容・授業スケジュール

日本語 V で学習した内容は引き続き、更にその残りの文法と中上級全般とのかかわりを中心に講義を進めていく。

主たる項目は以下の通りである。

- ・目的の表現
- ・試みの表現
- ・条件の表現 「と」「たら」「なら」
- ・原因・理由の表現
- ・逆接の表現
- ・依頼の表現
- ・使役の表現と用法
- ・受身の表現
- ・自動詞と他動詞
- ・使役の受身
- ・～てしまうの用法

その他

順番は必ずしも上の通りとはならない。

履修上の留意点

授業は学生への質問という形をとって進めていくので、積極的に発言すること。

成績評価の方法

期末試験の成績と平常点（出席・授業態度＝授業への参加度）、比率は50：50ほど。

教科書

コピーを配布する。

参考書等

随時、教室で指示する。

その他

特になし。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語 VI	たたらあきこ 多田羅 哲子	法A・政治	2

講義のねらい

- ・読解能力を向上させる。
- ・文章を読むことを通して、文法や適切な表現・語彙の使い方を確かめ、表現力を養う。

講義の内容・授業スケジュール

- ・さまざまな種類の文章を、自分で調べながら読んでいく。
- ・そこに出てくる表現、語彙の使い方、文法などを確かめ、必要なものについてはより適切に使えるよう練習する。

履修上の留意点

出席するだけでなく、授業に積極的に参加すること。

成績評価の方法

平常点と筆記試験

教科書

プリント配布

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本事情 I 〔地理〕(前期)	たかはしけんたろう 高橋 健太郎	法A・政治	2

講義のねらい

空間的側面と関連づけて、人々の生活や地域社会の仕組みと変化について考えるという人文地理学の視点から、日本の諸地域に対する理解を深める。

講義の内容・授業スケジュール

日本の文化や人々の生活、地域社会の取り組みについて、主に以下の項目について検討する予定である。◇日本の地域性、◇農山村の生活と地域振興、◇都市の構造、◇観光開発、◇地図と地名。

また、日本の地域的な特徴についての理解を深めてもらうために、統計資料の計算や地図作りなどの作業も取り入れる。

履修上の留意点

第1回目に授業の案内を行うので必ず出席のこと。

成績評価の方法

頻繁に教場で作成してもらう小レポートと学期末の筆記試験で評価。

教科書

使用しない。授業中にプリントを配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 事 情 II 〔自然〕(前期)	し 清 み 水 よ 善 か 和	法 A ・ 政 治	2

講義のねらい

日本はアジア大陸の東端に位置する島国であり、亜寒帯の北海道から温帯の本州を通り亜熱帯の沖縄まで、約3,000kmの細長い国土を有している。四季の季節変化が明瞭で梅雨や台風、日本海が多雪のような独特な気象現象もみられる。また、37万平方キロメートルの狭い国土の中に、山脈、丘陵、河川、湖沼、平野、海岸が箱庭のように組み合わせり、多種多様な地形が形成されている。さらに、日本は複数のプレートの境界域にあたるため、世界でも有数の火山・地震地帯となっており、これらによる自然災害も多い。このような多様な自然環境を反映して、日本には独特の生物相が発達している。

本講義では日本の自然を位置、気候、地質・地形、生物の4章に分けて解説する。その際に次の3つの視点に留意する：(1)アジア全体の自然の中に日本を位置付ける、(2)現在の状態と過去の歴史とのつながりを重視する、(3)自然と日本人の生活、文化との関わりにも注目する。すなわち、できるだけ時間的、空間的に広い視野から日本の自然をとらえることにより、留学生の母国の自然とのつながりも確認できるようにしたい。なお、日本の自然破壊の歴史や自然保護のあり方等についても適宜言及する。

講義の内容・授業スケジュール

第I章 位置

1. 国土の範囲
2. 行政区分
3. 位置の特徴

第II章 気候

1. 気候帯
2. 日本近海の海流
3. 気候の特徴
4. 気候と季節
5. 気象観測
6. 気候と文化

第III章 地質・地形

1. 弧状列島
2. 変動の歴史
3. 多様な地形
4. 火山
5. 地震

第IV章 生物

1. 気候帯と植生帯
2. 生物多様性
3. 生物地理区
4. 里山の生物
5. 帰化生物

第V章 自然保護の諸制度

1. レッドデータブック
2. 国内の法律
3. 国際条約

成績評価の方法

レポート（2回）と出席回数に基づいて評価する。

教科書

講義のアウトラインを記したweb版教科書（清水執筆）を紹介する。

参考書等

web版教科書で分野ごとの参考書を紹介する。

その他

必要な図表をまとめた補助教材のプリントを適宜配布する。講義は日本語で行い、板書には漢字も使用する。漢字にはできるだけ読みがなをつける。

日本語
日本語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 事 情 Ⅲ 〔歴史〕(後期)	あき くら なお み 浅 倉 直 美	法 A ・ 政 治	2

講義のねらい

日本の歴史を学ぶにあたって、とくに日本史上の大変革期である16世紀から17世紀前半を取り上げ、テーマを設けて、日本の諸事情および朝鮮半島・中国大陸と日本との関係について考えていきます。

講義の内容・
授業スケジュール

- (1) 京と江戸
- (2) 織田信長と室町幕府の滅亡
- (3) 豊臣秀吉と天下一統
- (4) 城
- (5) 中世後期の文化
- (6) 古文書
- (7) 徳川家康と江戸幕府
- (8) 環日本海と鎖国
- (9) 江戸の本店と長屋
- (10) 江戸の町人文化 など

成績評価の方法

出席日数を評価の参考とし、レポートを提出してもらいます。

教 科 書

随時プリントを配布します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 事 情 Ⅳ 〔思想〕(前期)	あか ぼ ゆき こ 赤 羽 由 規 子	法 A ・ 政 治	2

講義のねらい

日本人が古くから伝承してきた民族音楽の中に、日本人の精神世界を見ていく。
民族音楽とは、古来、人々が生きていく上で、衣食住と同じように必要としてきた音楽で、それは、例えば信仰、祭り、作業、遊びなどに伴う形で存在している。ほとんどは作者不詳であり、楽譜もなく、普通の人々の間で口頭伝承されていく性質のものである。テープやビデオを用いて、実際に音楽を視聴しながら講義を進めていきたい。

履修上の留意点

第一回目にオリエンテーションを行うので必ず出席すること。

成績評価の方法

出席数、筆記試験によって採点する。

参 考 書 等

その都度知らせる。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本事情 V 〔社会〕(後期)	かわもと まさる 川 本 勝	法 A・政治	2

講義のねらい

日本社会にはどのような特質があるかを考えてみたい。情報化が進展し日本社会は変貌している。それにともない、日本人の人間関係、社会的行動、社会生活も変化してきている。それらの様相と問題点を検討してみたい。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 変貌する日本の社会－都市化社会、高度情報社会の出現－
2. 生活環境の変容と生活行動－情報環境の変容と情報行動を中心として－
3. 新しい時代の人間関係と社会生活
4. まとめ－日本社会の特徴とは何か－

履修上の留意点

講義内容に関連する社会事象を見つけて発表してもらいます。さまざまな社会問題等に関心を持つよう心がけ、積極的に参加、発言することが望まれる。

成績評価の方法

授業時間内での発表等の平常点とレポートによって評価する。

参 考 書 等

その都度紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本事情 VI 〔政治・法律〕(後期)	み たげ なお や 三 竹 直 哉	法 A・政治	2

講義のねらい

この授業は、留学生のみなさんとともに、日本の政治について、楽しく考える授業です。

講義の内容・
授業スケジュール

授業の内容は、最初の回に、履修するみなさんにアンケートをとり、みなさんが、日本政治のどういう点に興味や疑問をもって、どういうことを授業でディスカッションしたいかを把握してから決めます。

人数にもよりますが、みなさん自身で、日本の政治について、調べてきてもらったり、発表してもらったりすることもあり得ます。

履修上の留意点

辞書を使いながらでよいので、日本語で新聞を読めること、また、日本語で政治についてディスカッションできることを前提条件とします。
また、日頃から、日本の新聞やテレビで、日本の政治についての情報に接していることも条件とします。

成績評価の方法

平常点（発言点など）と期末試験を総合して素点を出します。

教 科 書

今のところ使う予定はありません。

参 考 書 等

適宜、授業中に紹介します。

そ の 他

たくさん発言してください。
最新情報は、下記のホームページで確認してください。
<http://homepage2.nifty.com/mitakezemi/>

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本事情 VII 〔文学〕(後期)	このまのりこ 近衛典子	法A・政治	2

講義のねらい

本講義は、日本語を母語としない留学生を対象に、問題発見能力の涵養と、日本文学・日本語に対する理解を深めることを目標とする。

講義の内容・
授業スケジュール

日本文学作品を読み進めながら、年中行事、日本の美意識の変遷、文学と絵画の関係など、幅広く日本文化のあり方を考える。各自がテーマを選定し、調査研究して発表する、という方法で授業を進める。

履修上の留意点

受身でなく積極的な姿勢で臨むこと。第1回目にオリエンテーションを行うので、必ず出席すること。

成績評価の方法

出席・提出物・発表・授業態度

教科書

その都度指示する。

参考書等

その都度指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本事情 VIII 〔文化・芸術〕(後期)	あかばゆきこ 赤羽由規子	法A・政治	2

講義のねらい

いわゆる「伝統邦楽」といわれている、日本の古くからの和楽器による音楽や芝居の中に、日本人の義意識を探っていく。

また、日本の伝統音楽は、そもそもアジア諸国の音楽を学ぶことから始まり、そこから次第に日本人に合った独特のものを生み出していったのであり、更に明治以後には西洋音楽からも多くの触発を受け、戦後には「現代邦楽」を目差している。そのような過程をも合わせて見て行きたい。テープやビデオを用いて、わかりやすく講義を進めていく。

履修上の留意点

第一回目にオリエンテーションを行うので必ず出席すること。

成績評価の方法

出席数、筆記試験によって採点する。

参考書等

その都度知らせる。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本事情Ⅹ 〔経済〕(前期)	よし だ けい いち 吉 田 敬 一	法A・政治	2

講義のねらい

第2次世界大戦に破れ、廃墟の中から経済復興に挑戦し、80年代には「Japan as No.1」と称されるに至った経済発展の秘密を、できるだけ分かりやすく説明し、留学生諸君が母国に帰った後で役に立つ経済的知識を身につけてもらうことが、この講義の目的です。

講義の内容・
授業スケジュール

- I 日本経済入門の入門
- II 戦後日本の高度経済成長の秘密
- III 経済大国日本とバブル景気
- IV 空洞化問題に苦しむ日本
- V 21世紀の日本経済の課題

履修上の留意点

難しい経済学の子習・復習は必要ありませんが、日々の経済動向に対する鋭い感受性を磨くことが必要です。そこで受講生は、新聞やテレビの経済報道に関心を持つことが望ましい。

成績評価の方法

定期試験とレポートで評価します。再・追試験は実施しません。

教科書

教科書は使用せず、ノート講義の形式で授業を行ないます。必要に応じてプリント資料を配布します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本事情Ⅹ 〔経営〕(前期)	なが た とも のり 永 田 智 則	法A・政治	2

講義のねらい

いかなる国も海外との交易を遮断して経済を発展させることはできません。この視点から本講義では、日本の貿易に焦点をあて、東アジア経済の変貌と日本経済について概説します。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1. 日本経済と国際貿易、
- 2. 為替変動と日本経済、
- 3. 東アジア経済の発展と日本の貿易構造、

履修上の留意点

授業では講義に関連する世界の出来事を取り上げ、ディスカッションの場を設けます。活発に発言し積極的に授業に参加することを期待しています。

成績評価の方法

課題レポートを参考に、授業への出席を重視して平常点で評価します。

教科書

教材は、プリントを配布します。

参考書等

適宜紹介します。

【日本事情】
【日本語】

法律学科フレックスB

I 全学共通科目

1. 宗 教 教 育 科 目

1. 宗教教育科目

仏教と人間〈松本史朗〉	499
仏教と人間〔再クラス〕	
仏教と人間〈熊本英人〉	499
仏教と人間〔再クラス〕	
仏教と人間〔再クラス〕〈皆川広義〉	500
仏教と人間〔再クラス〕〈熊本英人〉	501
仏教と人間〔再クラス〕〈四津谷孝道〉	501

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏教と人間	まつもと しろう 松本史朗	法B1必	4
仏教と人間〔再クラス〕		法B2・3・4年	

講義のねらい

本学の建学の理念である「仏教の教義と曹洞宗立宗の精神」を学生諸君に理解してもらうことが、この講義のねらいである。従って、仏教とは何か、それは人生において如何なる意味をもつのかを、分かりやすく説明したい。

講義の内容・授業スケジュール

講義は、仏教成立以前のインド思想から始めて、仏教の開祖である釈尊の思想、さらに大乘仏教の教典の思想、及び、日本仏教の思想の説明へと進みたい。

成績評価の方法

年度末の試験によって、成績を評価する。

教科書

松本史朗『仏教への道』（東京書籍）1,400円

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏教と人間	くまもと えい 熊本英人	法B1必	4
仏教と人間〔再クラス〕		法B2・3・4年	

講義のねらい

仏教の教えと歴史を知ることによって、自分にとって宗教とは何かを考える。

講義の内容・授業スケジュール

仏教に限らず、宗教は、社会の変容と相互関係をもって展開してきた。ブッダの伝記や仏教史上の事件、人物などのなかから、現代につながる話題を取り上げて解説していく。

日本人は、なぜ宗教に無関心なのか。実は、意識していないだけで、日常生活の中で宗教的要素に囲まれて生きている。仏教を学ぶことによって、宗教に対する無関心、無自覚の持つ問題を考えてもらいたい。

成績評価の方法

年度末の筆記試験。

教科書

適宜プリントで配布する。

参考書等

講義の中で随時紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏教と人間〔再クラス〕	みな がわ ひろ よし 皆 川 広 義	法B2・3・4年	4

講義のねらい

仏教の開祖・釈尊（おしゃかさま）の生涯と教えを学ぶことによって、現代に生きる私たちの人間としての道を学んでゆきたい。

釈尊は、約2500年まえ、インドのヒマラヤ南麓にあった釈迦国の皇太子として生まれた。彼は、青年時代までは幸せな人生を歩んでいたが、ある日身近にいる人々の老病死の苦悩をみて、自分もいつかはあのような一大事に直面することを自覚させられた。

釈尊は、その生死の苦悩から解脱して、安心と生きがいを求めて、沙門という宗教者になられた。沙門は、樹下石上に生活し、三衣一鉢しか所有しないで、道を求める宗教者であった。彼は幸いにも六年の修行の後に、菩提樹下で座禅瞑想中に悟りを得て、生死の苦悩からの解脱道を見せられた。人間が、なんのために生まれ、成長し、そして老い、病にたおれ、死してゆくのかという人生の目的をも悟られたのである。

釈尊は、悟りを得てから45年間、八十歳で亡くなるまで、自分が悟り発見した生死の苦悩からの解脱道と人生の目的とを、多くの苦悩に打ちひしがれている人々に伝道されたのである。

本学は、曹洞宗がこの釈尊の教えにもとづいて設立した大学であり、この『仏教と人間』の講義を通して、各自がおのれの人間としての道を学びとっていただきたい。

講義の内容・授業スケジュール

はじめに、人間と宗教について、社会学、心理学、宗教学、仏教などをふまえて、わかりやすく語りたい。

次に、釈尊の生涯と教えを考察し、彼の宗教の成立とその教えへの世界へのひろがりについて述べる。

結びに、仏教の教えを通して、私たちがなんのために生まれ、成長し、老病死してゆくのか、つまり、人生の目的について、各自が自分の問題として明らかにできるようにしてゆきたい。

I 人間と宗教

- 1 現代人の意識と行動
- 2 世界の宗教状況
- 3 我国の宗教と問題点
- 4 有所得の宗教と無所得の宗教
- 5 人間存在の有限性 生老病死

II 仏教 仏教の開祖 釈尊の生涯と教え

- 1 釈尊の国インドと時代
- 2 誕生と成長
- 3 出家求道 沙門の道
- 4 菩提樹下の悟り 自己の真実 生命
- 5 初めての説法 釈尊の教え ①縁起説 ②血諦説
- 6 45年の伝道
- 7 沙羅双樹下の人滅
- 8 弟子たちによる仏教の誕生
- 9 釈尊仏教の世界へのひろがり

III 人生の目的

私たちは、なんのために生まれ、成長し、老い、病にたおれ、そして死してゆくのか。

履修上の留意点

積極的に聴講し、学習することを希望する。

宗教教育科目の『仏教と人間』は、本学がほこりうる講座であり、この授業を通して他大学ではなかなかない人間の陶冶と人格の完成をなしとげて、豊かな人生をつくりだしていただきたい。

成績評価の方法

聴講態度（出席率など）、レポート、年度末の定期試験などによって、総合的に評価する。

参 考 書 等

奈良康明『仏教と人間』（東京書籍）1,400円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏教と人間〔再クラス〕	くま もと えい にん 熊 本 英 人	法B2・3・4年	4

講義のねらい

仏教の教えと歴史を知ることによって、自分にとって宗教とは何かを考える。

講義の内容・
授業スケジュール

仏教に限らず、宗教は、社会の変容と相互関係をもって展開してきた。ブツダの伝記や仏教史上の事件、人物などのなかから、現代につながる話題を取り上げて解説していく。
日本人は、なぜ宗教に無関心なのか。実は、意識していないだけで、日常生活の中で宗教的要素に囲まれて生きている。仏教を学ぶことによって、宗教に対する無関心、無自覚の持つ問題を考えてもらいたい。

成績評価の方法

年度末の筆記試験。

教 科 書

適宜プリントで配布する。

参 考 書 等

講義の中で随時紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏教と人間〔再クラス〕	よつ や こう どう 四津谷 孝 道	法B2・3・4年	4

講義のねらい

受講生諸君は、今後少なくとも4年間の大学生活において、様々な機会に仏教というものに接することとなるであろう。そのような機会のひとつであるこの授業において、「仏教と自分との接点を探る」という営みの端緒を見い出してもらいたい。

講義の内容・
授業スケジュール

この授業においては、仏教が現代社会の諸問題に対して如何に関わっているかをできるだけわかりやすく説明してゆきたい。まず、仏教というものを「文明の発展」という脈絡の中で理解し、更に他の宗教、特にキリスト教やイスラム教等との比較の中でその宗教としての特色を浮き彫りにする。そして、現代社会の諸問題、特に「死」を巡る様々な問題に仏教をはじめとする諸宗教がどのように対処しているかについて検討を加えてゆきたい。その他、「環境問題と仏教」、「仏教にみられる女性差別」等のテーマも扱ってみたい。

履修上の留意点

授業において、小作文を書いてもらうことがある。

成績評価の方法

学年末の試験。

教 科 書

特になし。必要な資料等は、授業において随時配付する。

参 考 書 等

授業において随時指示する。

2. 教養教育科目

授業時間表の区分「A」の科目を履修する場合は、
フレックス A の頁を参照してください。(→P. 23)

2. 教養教育科目

(1) 人文分野

宗教学〔聖と俗〕	〈菅原 壽清〉	507
宗教学〔比較宗教文化〕	〈田中 かの子〉	508
文学〔日本文学「古典」〕	〈田中 伸作〉	508
文学〔日本文学「近代」〕	〈保明 陽子〉	509
歴史学(1)〔日本近代史〕	〈林 彰〉	509
歴史学(2)〔中国史概観〕	〈小林 惣八〉	510
歴史学(3)〔アジア史概観〕	〈小林 惣八〉	510
哲学〔西洋思想の源流〕	〈河谷 淳〉	510
哲学〔近代の人間観と世界観〕	〈伊古田 理〉	511
哲学〔現代文明と人間〕	〈鈴木 聡〉	511
論理学〔科学方法論と現代論理学〕	〈伊古田 理〉	512
論理学〔科学方法論と現代論理学〕	〈麻生 享志〉	512
倫理学〔現代と倫理〕	〈古田 知章〉	513
倫理学〔人生と倫理〕	〈末木 恭彦〉	514
教育の思想	〈伊藤 茂樹〉	514
教育と社会	〈伊藤 茂樹〉	515
発達と学習の心理学	〈川田 三夫〉	516
カリキュラムと学習	〈川田 三夫〉	517

(2) 社会分野

法学・憲法〔法と権利〕	〈鷄 徳啓登〉	518
法学・憲法〔法と社会生活〕	〈長谷川 日出世〉	518
社会科学論〔社会認識の思想〕	〈枝松 正行〉	519
経済学〔現代経済と人間〕	〈明瀬 政治〉	520
社会学〔現代社会を考える〕	〈呉 炳三〉	521
社会学〔現代文化を考える〕	〈橋爪 敏〉	521
統計学〔社会現象の統計的決定〕	〈新行内 康慈〉	522
文化人類学〔文化と人間〕	〈川上 新二〉	522
文化人類学〔諸民族とコスモロジー〕	〈杉井 純一〉	523
政治学〔政治システムと政治参加〕	〈清滝 仁志〉	524
政治学〔国際社会と日本〕	〈山村 恒雄〉	525

(3) 自然分野

心理学(1)	〔ヒューマン・ウォッチング〕	〈鈴木 順一〉	526
心理学(2)	〔人間関係を考える〕	〈鈴木 順一〉	527
生物学	〔生態と進化〕	〈清水 善和〉	528
生物学	〔生物と環境〕	〈中村 敏枝〉	529
コンピュータ基礎(1)(3)	〔コンピュータと情報〕	〈澤口 隆〉	530
コンピュータ基礎(2)(4)	〔コンピュータと情報〕	〈上原 隆平〉	531
地球科学	〔地球環境の現在・過去・未来〕	〈山縣 毅〉	532
地球科学	〔変動帯としての日本列島〕	〈藤井 享〉	533
自然環境論	〔宇宙から見た地球環境〕	〈篠原 正雄〉	534
自然環境論	〔環境と保全〕	〈山縣 毅〉	535
情報数学	〔情報と論理〕	〈小沢 誠〉	535

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
宗 教 学 〔聖と俗〕	すが わら とし きよ 菅 原 とし きよ 清	法B・法A選	4

講義のねらい

人間の精神世界の根源にあって人びとの生活を支える宗教文化の理解は、現代社会においても不可欠であると思われます。そこで、本講義では「聖と俗」というテーマで、人びとの暮らしと宗教について、その宗教的営みを宗教人類学の視点からとらえてみたいと思います。

授業は講義形式とし、前半は宗教学・宗教人類学についての基礎的な講義を、後半はこれまで私が調査してきた東南アジアや中国雲南などにおける人々の暮らしや宗教（スライド使用）を事例としながら聖と俗の問題、さらには日本人の生死観、宗教と現代社会との関わりなどについても考えてみたいと思います。

講義の内容・ 授業スケジュール

- 〈宗教人類学入門〉
- 1、宗教と宗教人類学（宗教をとらえる視点）
 - 2、宗教人類学の研究領域（多様なアプローチ）
- 〈宗教の多様性〉
- 3、さまざまな宗教形態（その多様な形態）
 - 4、宗教の分類方法（現代の分類方法）
- 〈聖なるコスモロジー〉
- 5、聖と俗
 - 6、東南アジア・中国雲南の人びとの暮らしと宗教
 - 7、シャーマニズム
 - 8、日本人の生死観

成績評価の方法

試験＋出席点＋レポート点（詳細は、講義の時説明）

教 科 書

指定なし。

参 考 書 等

『宗教学ハンドブック』（世界書院）

そ の 他

ビデオ・スライドなども使用。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
宗 教 学 〔比較宗教文化〕	たなかの子 田 中 かのこ	法B・法A選	4

講義のねらい

「～教」という名称に慣れていると、あたかもそれが視えない壁をなして他宗教との境界をつくっているかのように思えてくる。けれども諸宗教のおこなわれている現地に行ってみると、そこには「～教徒」である以前の、「人間」として限りある生命（いのち）をまっとうするための様々な生き方がみられ、宗教の多様性よりもはるかに個性豊かで、意外性に富んでいる。宗教文化は、そのような「人間」の諸相を信仰生活によりまとめあげるものであるが、共に生きる信仰の異なる人々との交流をとおして伝播する思想の影響力は測りがたく、実際の「～教」というのは、世界地図では表示できない範囲と次元において展開してゆくものである。本講は、このように融通性のある宗教観にもとづき、世界の主要な宗教文化を誤解や偏見を廃した正しい観点から理解することをねらいとする。

講義の内容・授業スケジュール

現代世界に生きつづける諸宗教のなかから、講義担当者自身の現地調査と人々との交流経験をともなうゾロアスター教、ユダヤ教、キリスト教、イスラーム、シーク教、ヒンドゥー教、ジャイナ教、仏教を選び、それぞれの歴史・思想・文化、および、相互の歴史的連関について解説する。その予備知識として、前期の初めには、比較宗教学の基本的立場、宗教多元主義の問題点、諸宗教を比較する方法などを講ずる。

履修上の留意点

生きた諸宗教の実相を垣間見るため、祈りの声や聖歌（録音テープ）を聴き、スライドを鑑賞することを重視する。

成績評価の方法

出席状況、夏休みのレポート（B5版に収まる短文のなかで自己表現できるような課題）、各自の創意工夫を「答え」とする論述式の学年末試験（たんなる答案であるにとどまらず、在学中の貴重な時間を費やした一つの作品となるような問いをたてる予定）。

教 科 書

田中かのこ著『比較宗教学—「いのち」の探求』（北樹出版）2004年

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
文 学 〔日本文学「古典」〕	たなかのしんまき 田 中 伸 作	法B・法A選	4

講義のねらい

『平家物語』は軍記物語の代表として知られるが、そこには平家一門をとりまく人々のドラマが実に生き生きと描かれている。その内容・叙述において『平家物語』は非常に中世らしい文学の一つと言えるだろう。この作品を読むことで、古典文学に親しみ、中世における文学のあり方を考えることを目的とする。
また、史実が文学に取り込まれたとき、どういう世界として描かれるのかという歴史文学としての側面も考察したい。

講義の内容・授業スケジュール

『平家物語』の代表的な句を読み、内容と特色を把握する。また、関連する史料を紹介し、時代背景や文化史的な問題も追及する。

成績評価の方法

定期試験の成績による評価。出席状況も重視する。

教 科 書

『平家物語抄』（おうふう）

科目名	担当者名	配当学科	単位
文 学 〔日本文学「近代」〕	ほ 保 あき 明 よう 陽 こ 子	法B・法A選	4

講義のねらい

明治期以降における日本の「近代化」を、「文学」という切り口で考える。これまで日本という国は、西欧の「近代化」に多大な影響を受けてきた。しかし昨今の風潮は、その流れを端に押しやる勢いがある。そこで、これまでの過去の歴史的経緯を考慮しつつも、近代社会において文化後進国ゆえの、曖昧かつ複雑な構造をもつ日本独自の「近代化」を、文学的視座から改めてとらえ直す。主に、啓蒙色の強い明治三十年代の文学的素材をもとに、現代社会の背景をかいま見る。

講義の内容・授業スケジュール

文学作品に現れた「英雄」「恋愛」「家」「武士道」「宗教」「癒し」「救い」といった様々なテーマは、作品の古今にかかわらず、現代社会を個人レベルで読み解く鍵である。このような日常にある「文学」的なものという身近な視点から、敢えて通俗性という枠組をとおして、そこに潜む「社会」の様相をかいま見る。近年話題になっている現代作家の作品と、明治時代の文学作品を比較しながら、そこにある「文学」とは何かを探究するが、具体的な作品についてはそのテーマごとに適宜講義において明らかにする。

履修上の留意点

この講義では、みなさんと共に年間を通して、文学作品について本格的に考えることになる。授業に出席することで新しい考え方を探求し、そして実際に本を読み、そこで獲得した考察の成果を表現することが望まれる。

成績評価の方法

毎回の授業を通して話題になるテーマについて、その都度みなさんが考察してきたことが、不定期に課されるレポート提出という形で問われ、その提出状況と内容が成績に反映される。

教科書

畑有三・山田有策・長野隆『作品で綴る近代文学史』（双文社出版）2,000円
随時プリントも配布する。

参考書等

適宜講義で指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
歴史学 (1) 〔日本近代史〕	はやし 林 あきう 彰	法B・法A選	4

講義のねらい

幕末から明治・大正時代にかけての歴史的な流れを、思想・思潮を中心に政治社会の動向をふまえて概観していく予定である。西欧から輸入された近代思想が日本でどのように浸透し、知識人・民衆がどう受容し、在来の伝統的な思想といかに対立・錯綜・混在していくのか。それらを人物・ジャーナリズムなどを中心にみていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、幕末から明治・大正・昭和前期の、いわゆる近代史の概説をこころみる。後期には、人物・メディアを中心に具体的に近代の思想の流れをおっていく。とくに、体制側の思想と運動、反体制側の思想と運動に留意しながらみていく。

成績評価の方法

レポートと定期試験。

参考書等

講義中に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
歴史学 (2) 〔中国史概観〕	小林 惣八 <small>こばやし そう はち</small>	法B・法A選	4

講義のねらい

中国史の歩みを大別すると、黄河文明、殷周時代、秦漢時代、魏晉南北朝時代、隋唐時代、五代・宋時代、元・明・清時代、新生中国とに分けられる。本講義ではその歩みを多角的にとらえ通観するものである。

成績評価の方法

前・後期のレポート提出と定期試験による総合評価。
詳細は追って指示する。

教科書

特別定めないが、中国史の概説書や図表を座右に置いて聞くことを望む。

その他

出席を重視する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
歴史学 (3) 〔アジア史概観〕	小林 惣八 <small>こばやし そう はち</small>	法B・法A選	4

講義のねらい

ユーラシア大陸の歴史の歩みは、中国を中心に北アジア、中央アジア、西南アジア、東南アジア、インドが相互に影響しあいながら進展していく。本講義では、中国の歩みを多角的にとらえ、時に周辺諸民族の歩みにも触れながらこれらを通観するものである。

成績評価の方法

前・後期のレポート提出と定期試験による総合評価。
詳細は追って指示する。

教科書

特別定めないが、アジア史の概説書や図表を座右において聞くことを望む。

その他

出席を重視する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
哲学 〔西洋思想の源流〕	河谷 淳 <small>かわ 谷 あつし</small>	法B・法A選	4

講義のねらい

この授業ではギリシア哲学（古代哲学）とキリスト教哲学（中世哲学）とを主要なテーマとして取り上げることで「考える」ということがどのような営みなのかを一緒に考えることにしたい。これらふたつの哲学思想は西洋思想の二大源流に対応するものであり、それぞれは知と信という対立のもとに理解することができよう。しかしながら、ふたつの源流は不連続と同時に連続性という側面も併せ持ち、複雑に分岐・合流を繰り返しながら近現代の思想へと流れ込んでいる。そうだとすれば現代の私たちが古代・中世哲学について考えるということは現代哲学の一形態であると言ってもよいであろう。

講義の内容・授業スケジュール

講義では次のような内容を取り扱う。

- 前期：（１）ギリシア哲学（ソクラテス以前の哲学・ソクラテスにおける「無知の自覚」・プラトンのイデア論・アリストテレスによるイデア論批判）
後期：（２）キリスト教哲学（信仰と合理性・神の存在証明・普遍論争）
（３）近代哲学（大陸合理論とイギリス経験論、カント哲学）

履修上の留意点

授業を受け身的に聴くというよりは一緒に問題を考えていくという積極的な姿勢が望ましい。

成績評価の方法

中間・期末試験（それぞれ40点満点）と夏休みレポートと出席状況の総合点で評価する。

教科書

『原典による哲学の歴史』（公論社）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
哲 学 〔近代の人間観と世界観〕	伊古田 理 <small>いこた まさる</small>	法B・法A選	4

講義のねらい

現代文明の形成にあたって中核をなした思想である、近代ヨーロッパ思想を紹介し、その問題点をさぐる。今年度は、特に「真理（ホントであること）」について検討する。近代において、「真理」の概念がどのように形成され、現代文明を考えるうえでどのような意義と問題点をもっているかを解説する。

講義の内容・授業スケジュール

まず、ヨーロッパ思想の源流である古代ギリシャ哲学、キリスト教思想について、必要ところをおさえ、そのうえで近代以降の思想の発展を解説する、という方針をとる。

成績評価の方法

夏期中間試験と冬期定期試験の成績を素点とし、100点満点での素点に対する失点の一定割合を、夏期レポート課題によりリカバーする。

教 科 書

久保他編『原典による哲学の歴史』（公論社）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
哲 学 〔現代文明と人間〕	鈴木 聡 <small>すず き さとる</small>	法B・法A選	4

講義のねらい

本講義では、イギリス経験論・プラグマティズム・現象学・生の哲学・分析哲学などにおける素材の中で厳選されたものを叩き台として、一つの問題をとことん考え抜くという態度を学生諸君が身につけるための機会を提供したいと思う。

講義の内容・授業スケジュール

以下の素材のうちのいくつかを叩き台として講義を進める予定である。

1. ヒュームの因果論
2. 演繹
3. 帰納
4. 仮説形成
5. グルーのパラドクス
6. 懐疑的パラドクス
7. ニューカムのパラドクス
8. 囚人のディレンマ
9. 言語哲学

履修上の留意点

毎回の出席が要求される。

成績評価の方法

成績は、中間試験・期末試験・小テスト・出席点で評価する。

教 科 書

『原典による哲学の歴史』（公論社）

そ の 他

本講義は、講義→小テスト（チュートリアル）→前回の講義の復習→小テストの解説→…という形式で行う。

科目名	担当者名	配当学科	単位
論理学 〔科学方法論と現代論理学〕	いこた まさる 伊古田 理	法B・法A選	4

講義のねらい

現代論理学の内容を、「ことばの正しさ」のうちで「推論の正しさ」のかたちづくる領域がどのようなものかを考えることにより、紹介してゆく。
具体的には、「推論の正しさ」の領域がどのようなメカニズムで機能しているかを習得することを第一の目標として、そのうえで（時間の許すかぎり）こうした領域の位置づけについて論ずることにしたい。

講義の内容・授業スケジュール

①古典的三段論法 ②公理系I～命題論理 ③公理系II～述語論理 ④コンピュータと論理

成績評価の方法

年2回の試験（夏期中間試験+年度末定期試験）を実施し、それとは別に各学期にそれぞれレポート課題を出す。
詳細については、授業開始時のガイダンスの際に説明する。

教科書

野矢茂樹著『論理学』（東京大学出版会）

科目名	担当者名	配当学科	単位
論理学 〔科学方法論と現代論理学〕	あさ お たか し 麻 生 享 志	法B・法A選	4

講義のねらい

西洋哲学の中で、論理学は常に大きな位置をしめてきた。論理とは何か、正しさをどう説明すればよいか、真理をどのようなものとするか、といった問題の考察に、「論理学」は欠かせない。このような「論理の本性への考察」には、古代ギリシャの哲学者、アリストテレスの論理学を知る必要がある。彼の論理学には、当時の学問がおかれた状況が強い影響を与えていたと考えられる。その後、自然科学の発達によって学問状況は変化した。その変化に対応する形で論理学の変革も試みられた。さらに、二十世紀に入って、数学研究と論理学研究の交流・接触が考えられるようになる。このように論理学は変化の歴史を持つ。そこで(1)論理とは何かを考え、(2)変化する論理学の各内容についての知識を持ち、(3)日常生活における論理の活用について、自分で考えることの手引きを与えることをねらいとします。

講義の内容・授業スケジュール

論理の本性、真理論、パラドックス、アリストテレス論理学、帰納法論理、実験主義論理学、論理学方法論、記号論理学概観、日常生活における正しい推論、学問と論理などの話題を考えています。

履修上の留意点

大学という学問の場においては、講義内容を聞いて理解し、練習問題をこなし、内容を記憶するだけでは、十分ではありません。自分で検討し、疑い、考えることが絶対に必要であると考えます。そのために、自分で本を読んだり、調べたりという作業が加わるでしょう。意欲ある取り組みと、徹底的に自分の頭で考える姿勢を求めます。

成績評価の方法

平常点として、出席と、講義中に行う問題や論述を主な評価材料にし、前期・後期試験・夏休みのレポート成績を加味します。

教科書

なし。

参考書等

多数。講義内にて詳細に説明します。

その他

講義と問題演習（ないし論述筆記）。早退は、許可のない限り認めません。主体的な質問を大いに歓迎し、期待します。初日はガイダンスとし、定時から五分間程度、または正規の終了時刻前五分間に資料を配布して質問を受け付けます。（ガイダンス後は、雑談的内容にあてる予定です。この間、入退自由。）この時配布する資料は、履修に必要ですので、何らかの方法で必ず入手するようにして下さい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
倫 理 学 〔現代と倫理〕	ふる た とも あき 古 田 知 章	法B・法A選	4

講義のねらい

今日、多くの領域で、倫理の確立、再構築が求められている。これは、言い換えると、現代において倫理というものが分からなくなっていることの現れである。そして、このような状況のもと、われわれは、ひとつの人格をもつ個人として、自らの倫理観を模索していかなければならない。しかし、倫理とは何かを考えると、個々の領域、場面での「正しさ」の中身を検討すると同時に、その際の倫理的主体となるべき「自己」のあり方が知らなければならない。逆に言うと、この生きている自分が外的世界や他者と結んでいる関係、あるいは、自分が自分自身について考えることの意味などを明確にすることで、現代社会に生きるわれわれの向かうべき方向も見えてくる。そして、この見通しの上に立ってこそ、個々の領域での倫理観も意義あるものとなると考えられる。

講義の内容・ 授業スケジュール

教科書を利用し、以下の内容を取り上げる（各項目ごとに、2～4回の講義）。

〔前期〕倫理的原理についての検討

1. 倫理学における問題の所在 —倫理的であること—
2. 古代ギリシアにおける様々な倫理思想
3. 中世における宗教的倫理観
4. ルネサンスと宗教改革 —個としての人間—

〔後期〕

- I. 倫理的原理についての検討（前期の続き）
近・現代における倫理思想 —主体性と自由の問題—
- II. 応用倫理学の諸問題への基礎的な検討
 1. 生命の尊厳
 2. 人間の環境との関係
 3. 情報と倫理

成績評価の方法

二回の定期試験（中間試験、年度末試験）と平常点（出席状況、夏期レポート等）で評価する。

教 科 書

『原典による哲学の歴史』（公論社）

参 考 書 等

講義の際にその都度紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
倫理学 〔人生と倫理〕	すえ き やす ひこ 末 木 恭 彦	法B・法A選	4

講義のねらい

人は一人では生きることができない。生きることは、必然的に人と人の関わりの場に身を置かねばならない。人倫の中に生きるのである。人は、また、「よく」生きることを求める。ここに、どう生きるのが「よく」生きることか、また、それがどうして「よく」生きることになるのかという問題が生じる。これらは、「倫理学」の主要な内容をなす。本講義は、我々が生きることの「倫理」性に自覚を深めることを目的として、その参考となるように先人の「倫理」をめぐる諸説を紹介する。

講義の内容・授業スケジュール

今年度は、特に環境との関わりに問題をしぼる。又、参考とする先人は、東洋（特に中国・日本）に限り、東洋の伝説的な思想が現代に於ていかに役立つかを課題としたい。教科書は、国際シンポジウム「東洋の伝統的環境思想の現代的意義」の報告論文集である。講義は、教科書に収める論文の中から講師が重要と考える論文を選び、順次読み進みながら考察を深めてゆく。

履修上の留意点

ノートは確実にとる（板書を書き写すだけでなく口頭説明も的確に要をとらえ記録すること）

成績評価の方法

中間試験と学年末試験、レポートに出席態度を加味して判断する。

教科書

『東洋的環境思想の現代的意義』（農山漁村文化協会）

参考書等

講義中に適宜に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育の思想（前期）	い どう しげ き 伊 藤 茂 樹	法B・法A2選 12以降入学生/政治2選	2

講義のねらい

私たちが今日知っている学校教育という営みは、近代という時代の到来とともに出現した制度であり、また近代社会を成り立たせる不可欠の制度でもある。この「公教育」のバックボーンとなった思想、歴史的経緯、その特色や社会的帰納について概観し、今日の教育やそれが直面する諸問題について考えるための手がかりを探索する。

講義の内容・授業スケジュール

とりあげるテーマ群として以下のようなことがらを予定している。

- ・近代社会と教育
- ・学校という場

履修上の留意点

自分が通ってきた学校やそこで受けてきた教育について、批判的に再考する姿勢を求める。

成績評価の方法

学期末試験により評価する。

教科書

教科書は特に指定せず、参考書はその都度指示する。

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

この科目は、平成11年度までに「教育原理」の単位を修得した者は、履修できません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
教 育 と 社 会 (後 期)	伊 藤 茂 樹 <small>いとう しげき</small>	法B・法A 2選 <small>12以降入学生/政治2選</small>	2

講義のねらい

学校教育という営みは社会のあり方や他の諸領域に広く影響されると同時に、社会に影響を及ぼす関係にある。また一方で、学校という場もひとつの社会を形成している。こうした観点から、現代社会における学校教育が直面している諸問題や、これからの時代に学校教育が向かおうとしている方向性について、多面的に考えていく。

講義の内容・授業スケジュール

とりあげるテーマ群として以下のようなことがらを予定している。

- ・現代の教育問題
- ・教育改革の現在

履修上の留意点

ふだんから教育に関するニュースに気をつけ、自分なりに考えることを心がける。

成績評価の方法

学期末試験により評価する。

教 科 書

教科書は特に指定せず、参考書はその都度指示する。

そ の 他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

この科目は、平成11年度までに「教育原理」の単位を修得した者は、履修できません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
発達と学習の心理学(前期)	かわ だ みつ お 夫 川 田 三 夫	法B・法A 2選 12以降入学生/政治 2選	2

講義のねらい

- 1) 子供の成長・発達の概要を理解する。
- 2) 学習心理学の基本的な事項を理解する。
- 3) 発達に影響を与える広義の環境の問題について考える。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1) ガイダンス、発達や学習をめぐる現状と問題点
- 2) 発達や学習の理論、乳児期・幼児期の発達の特徴と留意点
- 3) 児童期の発達の特徴と留意点
- 4) 青年期の発達の特徴と留意点
- 5) 青年後期・成人期の発達の特徴と留意点
- 6) 人格の発達と問題点
- 7) 社会性の発達と問題点
- 8) 情緒や性意識の発達と問題点
- 9) 交友・対人関係の発達と問題点
- 10) 若者文化や社会風俗の歴史的変遷と現状の問題点
- 11) 青少年の非行等の問題行動
- 12) 人格障害、情緒障害、神経症的な問題行動等
- 13) 学校生活をめぐる諸問題
- 14) 試験

履修上の留意点

- 1) 教科書は指定せずレジメ、資料等を配布し講義を行う。
- 2) 板書を少なくして、学生自身がノートを取るようになっている。
- 3) 日頃から努力して言葉や文章力を高めてほしいと思っている。

成績評価の方法

- 1) 学期末に定期試験を行う。
- 2) それ以外にも不定期に小試験（論述、レポート）を行うことがある。
- 3) 授業の際に口頭試問や提出物もあり、評価の際に考慮される。
- 4) 以上の合計得点で所定の基準に従い評価される。

教 科 書

『よくわかる発達と学習』（福村書店）2,400円

参 考 書 等

参考文献は授業中に適宜紹介する。

そ の 他

- 1) 授業の方法は講義が中心だが、毎回何らかの形でいろいろ質問される。
- 2) 現実を見聞しながら色々なことを考えてほしいと思っている。
この科目は、平成11年度までに「教育心理学」「青年心理学」の単位を取得した者は、履修できません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
カリキュラムと学習(後期)	かわだみつお夫 川田三夫	12以降入学生/法B 2選	2
		12以降入学生/法A・政治 2選	

講義のねらい

- 1) 教授-学習課程に関わる基本的な事項を学習する。
- 2) 教育目標、教育課程を中心に学習活動の効果的な展開について考える。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1) ガイダンス、発達と学習(教育)をめぐる現状と問題点
- 2) 発達と学習
- 3) 学習理論の基本と応用
- 4) 教育学・教育心理学の基本と応用
- 5) 教育理論や方法の歴史の変遷、現状と課題
- 6) 教育目標
- 7) 教育課程(学校教育の基本について)
- 8) 教授-学習過程(学習指導、学級集団、生徒指導)
- 9) 教育評価の歴史の変遷、現状と課題
- 10) 学習指導要領(改訂の歴史、『学校教育法』、『学校教育法施行規則』等)
- 11) 総合的学習、職業教育、生涯学習、障害児教育
- 12) 学校、教師、生徒の諸問題(授業時間、教科書、教科書検定、等)
- 13) その他(教員養成、教員採用の問題、教育制度・教育行政等の問題、等)
- 14) 試験

履修上の留意点

- 1) 教科書は指定せずレジメ、資料等を配布し講義を行う。
- 2) 板書を少なくして、学生自身がノートを取るようにさせている。
- 3) 日頃から努力して言葉や文章力を高めてほしいと思っている。

成績評価の方法

- 1) 学期末に定期試験を行う。
- 2) それ以外にも不定期に小試験(論述、レポート)を行うことがある。
- 3) 授業の際に口頭試問や提出物もあり、評価の際に考慮される。
- 4) 以上の合計得点で所定の基準に従い評価される。

教 科 書

『よくわかる発達と学習』(福村書店) 2,400円

参 考 書 等

参考文献は授業中に適宜紹介する。

そ の 他

- 1) 授業の方法は講義が中心だが、毎回何らかの形でいろいろ質問される。
- 2) 現実を見聞しながら色々なことを考えてほしいと思っている。
この科目は、前期に「発達と学習の心理学」を履修することを原則とします。

科目名	担当者名	配当学科	単位
法学・憲法 〔法と権利〕	けい とく ひろ とう 鶏 徳 啓 登	法B・法A選	4

講義のねらい

人間は社会の中で生まれ、他の人と利害を対立しながら社会生活を営むものである以上、そこには相互の利害を調整し、紛争を解決するためのルール（規範）が必要である。「社会あるところ法あり。」（法諺）といわれるのはそれを如実に示すものである。この授業では、法の概論と基礎的な実定法上の権利・義務との二つに分けて、「法」とそこに認められる「権利」を講義する。

講義の内容・授業スケジュール

- 法の概論は次の内容を中心として行う。
 - ①法の意義 ②法発生の背景 ③法とその近辺の社会規範 ④法の種別と解釈 ⑤法の適用
- 実定法上の権利・義務の講義は次の内容を中心として行う。
 - ①民法上の権利－権利の主体と客体、権利能力・行為能力、権利の種類と内容（財産法上の権利、親族法上の権利、相続法上の権利）、権利の発生・消滅。
 - ②憲法上の権利－自由権（経済的自由権、精神的自由権、身体的自由権）、平等権、社会権（生存権、教育権、勤労権、労働者の権利）、参政権（選挙権、被選挙権）、受益権（請願権、国家賠償請求権、裁判を受ける権利、刑事補償請求権）。
 - ③国家・地方公共団体の権利－国家作用と三権分立制の意義・統治機構、立法権と立法機関、行政権と行政機関、司法権と司法機関、地方公共団体の自治権と住民の権利。

成績評価の方法

出席状況と試験。

教科書

小林弘人・松村格編著『法学・憲法』（八千代出版）3,500円

参考書等

『小六法』または『ポケット型小六法』（出版社・定価各種類）、その他参考書等については教場にて説明。

科目名	担当者名	配当学科	単位
法学・憲法 〔法と社会生活〕	は まがわ ひ で よ 長谷川 日出世	法B・法A選	4

講義のねらい

我々は、好むと好まざるとにかかわらず、法と密接なかわりのある生活を強いられている。しかしながら多くの場合、我々はこの事実を知らず、何等かの法的問題が発生した時に初めて、これに気付く。

本講義では、まず、社会生活を営む上で不可欠な、社会規範としての法の生成およびその性質についての分析をおこなう。そして、次に、そこで得られた法概念を基礎に、国家の基本法である憲法と我々のかかわり合いを検討する。

講義の内容・授業スケジュール

前期では、法を学ぶために必要な基礎的知識の修得を目指す。具体的には法と道徳の関係、法と強制、法の体系性、国家と法、実定法上の原則等。
後期は、日本国憲法を具体的に検討する。特に日本国憲法の基本原理の成り立ち、基本的人権の保障規定等についての検討。

成績評価の方法

定期試験によるものとする。

教科書

長谷川日出世著『法の基礎概念と憲法』（成文堂）

参考書等

『ポケット六法』（有斐閣）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社 会 科 学 論 〔社会認識の思想〕	えだ まつ まさ ちか 枝 松 正 行	法B・法A選	4

講義のねらい

社会科学には自然科学や人文科学とは独自の対象把握の方法や体系がある。社会現象を形成する個々の人間は、生産的労働を中心とする活動の担い手としてつねに目的意識的な社会活動を行う能動的主体であるにもかかわらず、総体としての社会現象は、市場メカニズムに象徴されるように人間の意識を超えた物理現象の如き客観的な運動法則に従っている。しかもそれは連続的であると同時に、飛躍や発展を伴う固有の歴史法則でもある。グローバルトリレンマに直面した現代世界は過去に例を見ない大転換期であるが、社会科学こそは歴史科学であると同時に未来科学なのであり、社会の変化・生成・発展法則の先見とリスクの回避には大きな責任がある。

講義ではマルクス経済学、ヴェーバー社会学、ドラッカー経営学などに学びつつ、現代の社会経済システムの転換メカニズムを解明し、オルタナティブな持続可能社会への移行を展望する。

講義の内容・授業スケジュール

上記のような社会科学的視座を基礎として、これらを現代社会に適用し、同時多発テロ以降の世界情勢や日本「構造改革」の歴史的性格を解明するとともに「循環型・男女共同参画社会」への現実的転換を加速しうる実践的な政策・管理科学についても明らかにしていく。

履修上の留意点

日々の経済・社会報道に関心を注ぎ、たえず生の現実素材をとりいれておくこと。

成績評価の方法

前・後期の中間試験ないしレポートと平常点により評価する。

教科書

とくに指定しないが、参考文献はその都度紹介する。

参考書等

大塚久雄著『社会科学の方法』（岩波新書）など。

その他

毎回授業の冒頭でカードによる前回授業時の学生諸君の質問・意見・要望を紹介し、出来るだけ授業内容に反映させていく。個別の質問・相談は授業終了時に対応する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
経済学 〔現代経済と人間〕	みょう せ まさ はる 明 瀬 政 治	法B・法A選	4

講義のねらい

本講義は、理論体系を近代経済学に依拠し、私たちがその中で日々生活している現代の市場経済の仕組み・機能をできるかぎり平易に解説し、結果として受講生諸氏の「経済を見る目」を培うことをねらいとしています。

講義の内容・授業スケジュール

受講生にあつては、本講義を単に教養科目の一つとしての経済学と考えている人もいれば、これをさらに本格的な経済学へ向かう導入部と理解している人もいます。

講義を進めるにあたり、前者に対しては「教養は身につけてこそ教養」と考えて、単なる「知識」の習得ではなく現実の生活の中で生かせる「知恵」となるよう工夫しています。つまり、テクニカルタームの解説に墮することなく、具象から学問のコアを浮かび上がらせる手法を採っています。

また、この講義は、それ自体、完結した現代経済学への入門を企図していますので、平易な表現の中に押さえるべき主要事項はきっちりと盛り込んでいます。したがって、「経済原論II」、「価格理論」、「国民所得論」、「財政政策」のような、経済学部で開講されているもっと上級レベルの科目への橋渡し役を意図しています。

上記の趣旨から、ここではテクニカルタームによるテーマの羅列は致しません。

講義に臨んで、私の信条らしきものを掲げておきます。

① 難しいことを、あーそうか、と言わせたい

② きょうは「経済学」か、と言わせたい

そして、

③ 結構おもしろい（じゃん）、と言わせるぞ

成績評価の方法

成績は、学期末に行う試験を中心に評価しますが、予告有りて業間チェック（クイズ）を行い、平常点として考慮します。

教科書

『クミコの経済学ノート』

参考書等

基本事項を整理しておきたい受講生、もっと本格的に学びたい受講生には、下記の図書を推薦します。

幸村千佳良 著『経済学事始』（多賀出版）

伊藤元重 著『入門経済学』（日本評論社）

林俊彦 著『需要と供給の世界』（日本評論社）

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会学 〔現代社会を考える〕	お 呉 びよん さん 炳 三	法B・法A選	4

講義のねらい

社会学は個人、集団、社会などを対象とし、その分野は、「家族」「経済」「企業」「教育」「宗教」「文化」など様々である。このような分野において特徴的であるといえる問題は何だろうか。また、われわれは、それらの問題を解決するためにどのような手段を取りうるのか。この講義は、前期は社会学の基礎となる諸概念を踏まえた上で、後期よりは、以下のようなトピックスに焦点をあてて、現代社会の特徴的な問題について考察を深めていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

- (1) 現代の社会変動にともなう家族の変化をおう。特に乳幼児期における親との関わりや家族生活における様々な要因によって子供の社会化に影響を与え、または青春期や高齢期に様々な問題が現れる。このような一連をみていくとともに、少子化・高齢化といった家族に関する諸問題の検討。
- (2) 経済のグローバル化にともなう企業活動の意義、特に企業人の「豊かさ」と「余暇」の問題。
- (3) 社会・文化的産物として男性・女性はいかにして生産されていくのだろうか。「恋愛」、「性」、「結婚」といった事項を中心に「ジェンダー（社会的な性）」の問題を考える。
- (4) 若者文化（ユース・カルチャー）が現代において果たす役割とは？など文化を通じて日本人の心を分析していく。

履修上の留意点

授業を通じて、何かを学びたい学生は歓迎します。何の目的意識もなく、時計の振り子のように「出席さえすればよい」、また「教養科目なので、簡単に単位がとれる」と思っている学生は履修しないようお勧めします。

成績評価の方法

開講時に説明する。

教科書

労働・福祉研究会『21世紀の労働と福祉』（学文社）2,500円

参考書等

講義の中に、その都度お知らせします。

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会学 〔現代文化を考える〕	はし づめ さとし 橋 爪 敏	法B・法A選	4

講義のねらい

この講義は、「社会学」についての基本的な知識を提供し、あわせて、「現代社会」についての若干の問題を論ずることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

「講義のねらい」で述べたように、この講義は「社会学」の知識と、「社会学」的見方を通して見た「現代社会」の問題を扱うことになる。しかし、ほとんどの学生諸君は「社会学」についての予備知識は無いものと思われる。「社会学」は高等学校までの社会科とはかなり異なっている。そこで、まず、前期においてこのような社会学独自の社会現象の見方、考え方、基礎的な知識を理解し、後期に、こうした理解を踏まえて、「現代社会」の諸問題－文化とは何か、現代文化とは何か、大衆文化等－を扱うことにしたい。

成績評価の方法

成績の評価は、講義内容に関わる基本的な問題について、学年末におこなうペーパー・テストによって評価する。

教科書

安藤喜久雄ほか編『社会学概論』（学文社）

参考書等

高尾・橋爪編『社会学の基礎』（犀書房）
R. ニスベット『現代社会学入門1～4』（講談社学術文庫）
その他授業中に適宜指示したい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
統計学 〔社会現象の統計的決定〕	新行内 康 慈 <small>しんぎょうち こうじ</small>	法B・法A選	4

講義のねらい

統計学は、観測値からその源泉の特徴や傾向を明らかにして結論を引き出す方法であり、経営、経済をはじめとする社会現象の解析や意思決定など幅広い分野で活用されています。本講義は、統計学の入門としてその基本的な考え方と諸手法を現実の問題を引用しながら平易に解説することをねらいとしています。

講義の内容・授業スケジュール

- (前期) (1)統計学の概要 (2)度数分布表とヒストグラム (3)基本統計量
(4)確率の定義 (5)場合の数 (6)和事象・積事象の確率
(7)演習 (8)確率変数と確率分布 (9)平均・分散と期待値
(10)確率変数の標準化 (11)正規分布表問題 (12)演習 (13)まとめ
- (後期) (14)母集団と標本 (15)点推定と区間推定
(16・17)正規母集団の区間推定 (18)仮説検定
(19・20)正規母集団の検定 (21)推定・検定の応用 (22)演習
(23)散布図と相関係数 (24)回帰分析 (25)回帰分析の応用 (26)まとめ

履修上の留意点

統計学は積み重ねが要求される分野です。継続して講義に出席し、一步一步確実に理解していくことが大切です。

成績評価の方法

3回の演習と期末試験を総合的に評価します。

教科書

テキストは使用しません。必要に応じて適時資料を配布します。

参考書等

適時指定します。

その他

配布資料に基づいて例題を交えて講義し、さらに理解を深めて実際に活用できるようにするために課題演習を実施します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
文化人類学 〔文化と人間〕	川上 新 二 <small>かわかみ しんじ</small>	法B・法A選	4

講義のねらい

文化人類学とは「文化」を通じて人間を研究する学問です。ここでいう「文化」とは、私たちの誰もが身につけている生活様式や慣習をいいます。地球上のさまざまな地域にはさまざまな生活様式をもった人々が暮らしています。それら数多くの生活様式の中には、私たちから見ると「変だな」と感じるものや、私たちと「似ているな」と見えるものがあるかもしれません。ところで「変だな」とか「似ている」と感じるのは私たちの規準から見てのことであり、相手から見れば私たちの生活様式の方が「変だ」と思われるかもしれません。自分の文化を規準にして相手の文化を見てしまうと、もうそのときから相手を誤解してしまうことが始まります。私たちから見れば「変だ」と見える文化も、それが存在しているのには相応の理由があるかもしれません。文化人類学では、さまざまな文化の客観的理解を通じて相手すなわち人間を理解しようと努めます。文化の異なる相手を正しく理解しようとするための学問ともいえるでしょう。この講義では、前期では文化人類学の特色や方法について紹介し、後期では特に韓国の文化を中心にその他の地域の文化と比較しながら異文化理解の視点を養うことを目的とします。

講義の内容・授業スケジュール

- 前期(1)文化人類学とは、(2~3)人類学の範囲・形質人類学、考古学、(4~5)言語学、(6~7)人間と動物の違い、(8~9)「文化」とは、(10~11)異文化理解について、(12~13)文化人類学の歴史・方法について。
- 後期(1)韓国の婚姻規定(誰と結婚できるか)、(2~3)韓国の親族組織(どこまでが近いシンセキか)、(4~6)死後結婚(なぜ死んだ人を結婚させるのか)、(7~9)巫女になる(なぜ霊は憑依するのか)、(10~12)祖先を祀る(なぜ祖先を祀るのか)、(13)まとめ。

成績評価の方法

試験の結果と提出物の内容、授業出席の姿勢などを総合して成績評価を行いません。

教科書

教科書は特に指定しません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
文 化 人 類 学 〔諸民族とコスモロジー〕	すぎ い じゅん いち 杉 井 純 一	法B・法A選	4

講義のねらい

さまざまな民族が絶えず各地を移動する現代世界では、私たちは「異質な他者」との出会いを日常的に経験します。こうした多民族社会に生きる私たちは以前にもましてコミュニケーションの困難に直面します。お互いが先入観や偏見にとらわれず、十分な意志疎通を図るためには、相互の民族的、文化的背景への理解が前提となります。

文化人類学は民族や文化の多様性を比較することで、それぞれの文化的相違についての認識を深める学問です。具体的に言えば、人々の生活様式や儀礼、習慣などを通して「人間を取りまく世界、宇宙の成りたちやしくみ」についての多様な観念体系を理解していきます。

本講義では、前期に文化人類学の基礎、後期に民族とコスモロジーを学びます。まず、「異文化を理解する」ことの面白さ、そして、むずかしさを味わいながら、「異質なものとの共存」「他者との共生」の可能性について考えていくことが本講義の目的です。

講義の内容・ 授業スケジュール

- I 文化人類学の基礎
 1. 文化人類学とは何か
 2. 文化人類学の歩み (1)
 3. 文化人類学の歩み (2)
 4. 文化とコミュニケーション
 5. 環境と人間 (1) 狩猟採集民
 6. 環境と人間 (2) 牧畜民
 7. 環境と人間 (3) 農耕民
 8. ジェンダー
 9. セクシュアリティ
 10. 婚姻の形態
 11. 家族の多様性
 12. 親族と社会
- II 民族とコスモロジー
 1. 呪術と宗教
 2. アニミズム
 3. シャーマニズム
 4. シンクレティズム
 5. 儀礼の構造
 6. コスモロジー
 7. 神話
 8. 政治組織
 9. 民族とエスニシティ
 10. 民族紛争と戦争
 11. 開発と文化
 12. 移動の民族誌

履修上の留意点

ビデオを見た感想を問うことがあります。

成績評価の方法

夏期レポート (20%)、期末試験 (60%)、平常点 (20%) で評価します。

教科書

特に指定しません。適宜、プリントを配布します。

参考書等

祖父江孝男『文化人類学入門』(中公新書) 800円
 山下晋司ほか『文化人類学キーワード』(有斐閣) 1,700円
 佐々木宏幹・村武精一編『宗教人類学』(新曜社) 2,200円

その他

できるだけ、ビデオを利用します (年に4~5回程度)。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
政 治 学 〔政治システムと政治参加〕	きよ たき ひと し 清 滝 仁 志	法B・法A選	4

講義のねらい

この講義では、グローバル化を中心課題において、社会の変化を政治学の観点から学んでいきます。皆さんの生きている時代は今までにない将来が見えない状況となっています。たとえば「定年まで同じ会社にいる」「土地は値上がりする」「銀行はつぶれない」など以前における社会常識の多くが通用せず、この状況は、ほとんど誰もが経験していません。

講義では、この社会変化を考察しながら、将来自分がどのような知的態度をもって対応すべきか、を解明する手がかりとなるような内容をめざします。授業を通じ、自分で未来を切り開くための知識と知的習慣を身につけ、どのように自分が能力を磨き、何をしたいのかを考えることを期待しています。

講義の内容・授業スケジュール

詳細は初回の授業で説明

- 1 グローバル社会における諸問題
 - (1) グローバル化の時代—市場と国家の新たな関係—
 - (2) 市場経済の展開—「大きな政府」から「小さな政府」へ—
- 2 日本における「構造改革」の推進
 - (1) グローバル化と日本—日本型経済システムとその限界—
 - (2) 日本の政治と「構造改革」
- 3 政治制度の比較考察
 - (1) 選挙制度と日本の政党政治
 - (2) アメリカ大統領制の考察
- 4 日本における政策課題
 - (1) 福祉国家の形成と動揺
 - (2) 地方分権と地方自治
 - (3) 日本農業の変革と国際化

履修上の留意点

この講義では次のことをおこないます。

- 1 身近な時事問題を取り上げ、そのポイントの解説
- 2 授業の冒頭で皆さんの質問に答え、復習
- 3 授業中、文章の表現能力を身につけるための練習
さらに公務員試験等に対応できるように配慮します。

成績評価の方法

定期試験を中心としますが、レポート、出席状況を勘案。講義を通じて、いかに力をつけたか、を評価します。

教科書

文献は講義・HPを通じて随時紹介します。

参考書等

毎回、レジュメと資料を配布します。レジュメはHPを通じても入手可。

その他

講義を受け身に聴くのではなく、取り上げた話題を自発的・積極的に考えていくことを期待します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
政 治 学 〔国際社会と日本〕	やまむら つねお 山 村 恒 雄	法B・法A選	4

講義のねらい

「法学」や「経済学」とは違い、「政治学」に対して抱くイメージは、人によってかなり異なるようである。この授業は副題にある通り「国際社会」のなかで日本が直面するさまざまな課題を取り上げ、それを素材として「政治を見る眼」を養うことを目的とする。具体的には、近代国際社会成立以降第二次世界大戦終了後に至るまでの国際政治の主な出来事を解説し、それを基にして現在生じている時事問題を考える素材を提供しようとするものである。したがって、授業は時事問題の解説が目的ではなく、受講生のひとりひとりが、政治問題に対して自分の意見を形成できるよう、「分析の道具」を提供しようとするものである。

講義の内容・授業スケジュール

時事問題を素材として用いるため、具体的な問題を予め示すことはできないが、分析のための基本的な知識として、以下の項目を取り上げる。

- 1 ウェストファリア体制の形成
- 2 近代の国際政治
- 3 地球的問題群
- 4 第二次世界大戦後の国際政治の変容
- 5 冷戦と核兵器
- 6 食糧問題
- 7 環境破壊と持続可能な開発
- 8 日本をめぐる諸問題

履修上の留意点

受け身ではなく、積極的に授業に参加できる意欲のある人を歓迎します。

成績評価の方法

夏休み明けのレポートと学期末試験による。なお、夏休み明けのレポートを提出しない者は、学期末試験の受験資格を失うので注意すること。

教科書

特定の教科書は使用しない。

参考書等

授業中、随時指定。

科目名	担当者名	配当学科	単位
心理学 (1) [ヒューマン・ウォッチング]	すずき じゅんいち 鈴木 順 一	法B・法A選	4

講義のねらい

講義形式だけの授業形態は、学習者を受身のバケツの学び方にしてしまう。学問とは、問い学ぶと書くように、講師が一方的に降り注ぐ知識を、頭に詰め込むことに強いて勉める（勉強すること）ではない。科学は、不思議な現象に対して、疑問を持ち、仮説を立て、仮説の基にサーチライトをあて、検証（反証）し、新たな仮説構成や発見をしていくプロセスである。

学習というと、教科書に書かれた知識を理解していくことだと考えられがちだが、行動主義的学習理論によると、「学習とは、経験を通じて行動変容していくプロセスである」と定義している。言語という道具を操る能力を持った人間は、概念学習ができるようになり、遺伝子の他に「遺言子」とでも呼べる知識を残し、それを世代間で、伝達・組み換え・改良していくことで文明を築き、他の生物とは異なる進化の道を歩みだすようになった。

しかし、経験から学ぶプロセスと、遊離してしまった知識だけの学習は、生きるための知恵として効果的に機能できない。頭だけが参加する聴講学習は、体験学習に伴う自発性や能動性、発見から得られるモチベーションが得られない。この授業では、講義だけではなく、グループによる体験学習を取り入れて、学生相互のコミュニケーションを深め、自己理解と他者理解を促進します。ヒューマン・ウォッチング（人間観察）の対象は、他者の行動ばかりではない。自己の内面の動きや行動を観察することでも、深い人間理解が得られるのである。

講義の内容・授業スケジュール

学習計画は、進行状況により変更することがあります。

[前期] (1)学習とは？ 授業方針 (2)心とは何か (3)性格検査による自己理解 (4)パーソナリティ理論 (5)精神分析的人格理論 (6)グループ形成とエンカウンター (8)コミュニケーションの促進 (8)感覚・知覚・認知 (9)自己認知 (10~11)カウンセリングの理論と技法 (11~12)発達の心理

[後期] (13)心の病と心理療法 (14)交流分析による自己理解 (15)自他肯定の人間関係 (16~17)学習理論と行動療法 (18)relaxation法 (19~22)社会的行動

履修上の留意点

単独・聴講学習ではなく、グループによる協力学習・相互学習・体験学習ですので、毎回、グループごとに自筆で出席を取ります。欠席しがちな人は履修しないでください。

成績評価の方法

出席点と平常の小試験・小レポート・グループ発表などで、個人とグループを、それぞれ50点満点で評価し合計します。

教科書

中村昭之編著『心理学概説』（八千代出版）

科目名	担当者名	配当学科	単位
心理学 (2) 〔人間関係を考える〕	すずき じゅんいち 鈴木 順一	法B・法A選	4

講義のねらい

講義形式だけの授業形態は、学習者を受身のバケツ的学び方にしてしまう。学問とは、問い学ぶと書くように、講師が一方的に降り注ぐ知識を、頭に詰め込むことに強いて勉める(勉強すること)ではない。科学は、不思議な現象に対して、疑問を持ち、仮説を立て、仮説の基にサーチライトをあて、検証(反証)し、新たな仮説構成や発見をしていくプロセスである。

学習というと、教科書に書かれた知識を理解していくことだと考えられがちだが、行動主義的学習理論によると、「学習とは、経験を通じて行動変容していくプロセスである」と定義している。言語という道具を操る能力を持った人間は、概念学習ができるようになり、遺伝子の他に「遺言子」とでも呼べる知識を残し、それを世代間で、伝達・組み換え・改良していくことで文明を築き、他の生物とは異なる進化の道を歩みだすようになった。

しかし、経験から学ぶプロセスと、遊離してしまった知識だけの学習は、生きるための知恵として効果的に機能できない。頭だけが参加する聴講学習は、体験学習に伴う自発性や能動性、発見から得られるモチベーションが得られない。この授業では、講義だけではなく、グループによる体験学習を取り入れて、学生相互のコミュニケーションを深め、自己理解と他者理解を促進します。心理学の人間理解の仮説の基に、自分自身や他者を見つめなおし、よりよい人間関係を築くために役立つ道具(理論と技法)を体験的に学んでいきます。

講義の内容・授業スケジュール

学習計画は、進行状況により変更することがあります。

【前期】 (1)学習とは? 授業方針 (2)心とは何か (3)性格検査による自己理解 (4)パーソナリティ理論 (5)精神分析的人格理論 (6)グループ形成とエンカウンター (8)コミュニケーションの促進 (8)対人関係の心理 (9~10)カウンセリングの理論と技法 (11)生涯発達の心理 (12)親子関係の心理

【後期】 (13)青年の心理 (14)交流分析による自己理解 (15)自己肯定の人間関係 (16~17)学習理論と行動療法 (18)relaxation法 (19)職場の人間関係 (20)恋愛と結婚の心理 (21)流行とマス・コミュニケーション (22)社会病理と犯罪

履修上の留意点

単独・聴講学習ではなく、グループによる協学習習・相互学習・体験学習ですので、毎回、グループごとに自筆で出席を取ります。欠席しがちな人は履修しないでください。

成績評価の方法

出席点と平常の小試験・小レポート・グループ発表などで、個人とグループを、それぞれ50点満点で評価し合計します。

教科書

蓮見将敏・小山望編著『人間関係の心理学—体験をととして学ぶ心理学—』(福村出版)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生 物 学 〔生態と進化〕	し 清 水 みず よし かつ 善 和	法B・法A選	4

講義のねらい

地球上の生物はすべて約40億年前に誕生した始原生物に端を発し、その後に連綿と続いた進化の産物である。どの生物も進化の遺産を負って存在しており、進化を抜きにして生物を理解することはできない。また、この地球上には現在1000万種以上の生物が存在していると推定されている。肉眼では見えないバクテリアから体長20mを超すシロナガスクジラまでさまざまな形、大きさの生物が熱帯から極地、高山から深海まで地球上のあらゆる場所にいて独自の生活を築いている。そして、これらの生物は孤立して存在するのではなく、互いに密接な関係を保ちながら地球上にさまざまな生態系を形成している。この複雑、多様な姿が生物のもう一つの特徴である。一方、生命の基本的な情報を担う分子である遺伝子の研究が進んで、あらゆる生命現象を遺伝子レベルで統一的に理解することも可能になってきた。そこで、本講義では生物の進化、多様性、遺伝子を3つのキーワードにして、生物の分類や生態の実際を体系的に捉えるとともに、生物の進化や多様性の維持に関するメカニズムについて解説する。

講義の内容・授業スケジュール

- 第1章 遺伝子と進化－我ら生物みな兄弟
 (1) 生命の歴史性 (2) 遺伝子と生命現象 (3) 進化のメカニズム
- 第2章 40億年の生物進化－偶然と必然が織りなす奇跡
 (1) 地質年代図 (2) マーグリスの共生説 (3) カンブリアの爆発 (4) 大量絶滅
 (5) 生物の上陸
- 第3章 系統と分類－名もなき雑草はない
 (1) リンネ式分類体系 (2) 生物五界説 (3) 種の定義と属性 (4) 分子時計
 (5) 動物と植物の系統
- 第4章 行動と進化－生き物は誰がために生きるか
 (1) 動物行動学の歩み (2) 適応度とゲーム理論 (3) 性選択と性比
 (4) 利他的行動と血縁淘汰 (5) 利己的遺伝子
- 第5章 個体群生態学－産めよ殖えよ地に満てよ
 (1) 潜在的な増殖率 (2) 密度効果とr-K淘汰 (3) 食う・食われる関係
 (4) 生命表
- 第6章 共生と競争－出し抜きながら深い仲
 (1) 種間関係(共生と寄生) (2) 花と昆虫の共進化 (3) 菌根 (4) 擬態
- 第7章 人類の進化－ヒトは唯一の生き残り
 (1) 霊長類の系統 (2) ヒトの発展段階 (3) ホミニゼーション(ヒト化)
 (4) 人体の特徴
- 第8章 進化論－進化論も進化する
 (1) ダーウィン以前 (2) ダーウィン進化論 (3) ネオ・ダーウィニズム
 (4) 進化論批判
- 第9章 生態系－命は無数のつながりの中で
 (1) 生態系(エコ・システム) (2) 食物連鎖と生物濃縮 (3) 光合成と呼吸
 (4) 生産諸量
- 第10章 物質の循環－元素はめぐるよどこまでも
 (1) 物質循環の大原則 (2) 水の循環 (3) 炭素の循環 (4) 窒素の循環
 (5) 地球環境の形成
- 第11章 植生遷移－裸地もいずれは森林に
 (1) 遷移のモデル (2) 遷移の実例 (3) 森林の更新
- 第12章 生物多様性－多様な世界に未来あり
 (1) 3つの多様性 (2) 多様性の尺度 (3) 生物地理区と植生帯 (4) 多様性の危機
- 第13章 人為と生物－生物界のグローバルゼーション
 (1) 里山の生物 (2) 都市と生物 (3) 帰化種の侵入

成績評価の方法

試験、レポート、出席を勘案して評価する。

教科書

受講者には清水が執筆したweb版教科書(無料ダウンロード可)を紹介する。

参考書等

章ごとに適宜紹介する。

その他

講義で必要な図表は適宜プリントにして配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生 物 学 〔生物と環境〕	なかむらとしえ 中 村 敏 枝	法B・法A選	4

講義のねらい

この地球が誕生したのは46億年の昔といわれる。40億年前にはすでに生命が誕生し、以後それは地球の環境を変えつつ、自らも進化の歴史を歩みながら現在に至っている。この長い歴史の中で、種の構成は変わり、あるものは絶滅してしまったけれど、現存する生物は40億年の間、生まれ・成長し・繁殖し・死ぬ ということを営々と繰り返してきた。この生物たちの営みをいろいろな段階（細胞・個体・個体群・生態系）で紹介したい。

後期には、環境問題をとりあげる。地球温暖化についてその背後にある社会・経済問題も視野にいれながら考察したい。

講義の内容・授業スケジュール

（前期）（1－5）地球の歴史と生命の期限

（6－13）生態系のしくみ

（後期）（14－21）生物の生活－植物群落の遷移・動物の生殖行動

（22－26）地球温暖化－生態系に与える影響・代替エネルギー

履修上の留意点

義務教育までの数学、理科をはじめ各教科の知識を、本講義の前提とする。意見発表の機会をつくりたいので積極的に取り組む学生の参加を期待します。

成績評価の方法

学期終了時に講義内容についての試験またはレポートを課します。成績は上記と出席状況、授業時間内の小レポートなどを考慮して、総合的に評価します。

教 科 書

赤堀他著『生物学－地球に生きるいのちを考える』（宣協社）2,700円

参 考 書 等

授業時間内に随時紹介します。

そ の 他

授業スケジュールを変更して時事問題を扱うことがあるかもしれません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
コンピュータ基礎(1)(3) 〔コンピュータと情報〕 (前期)(後期)	さお ぐち たかし 澤 口 隆	法B選	2

講義のねらい

DTP (DeskTop Publishing) をはじめとしたオンライン編集や、コンピュータグラフィックス (CG) を利用した CAD イメージ、映画などで用いられるリアルな CG 映像や、インターネットブラウザ上での FLASH アニメーションなど、現在のマルチメディア社会において、コンピュータを利用した映像やデザインなどはすでに一般的なものとなっている。

本講義では、これまでコンピュータを用いた画像処理や CG でのデザイン・作図などの経験のない学生を対象に、CG の基礎知識とアプリケーションの操作方法を様々な課題を作成しながら学習することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

コンピュータグラフィックスに関する基本知識の講義と、実際のアプリケーションを用いた作品製作の演習が中心となる。OS は Windows を用い、アプリケーションは Adobe Photoshop および Adobe Illustrator を使用する予定。

その他、インターネットで活用できるような画像処理技術やアニメーションについても学ぶ。Web サイトを構築する上でのデザイン手法や HTML (Hyper Text Markup Language) などについても触れる。

履修上の留意点

初心者を対象とするので予備知識は必要としない。最低限、Windows の基本操作はマスターしているほうが望ましい。授業開始前に総合情報センターにおいてコンピュータの利用申請を済ませておくこと。

成績評価の方法

授業中に作成した課題と出席状況で評価する。

教科書

使用しない。適宜資料を配付する。

参考書等

同上

その他

計算機室での実習・講義となるが、計算機の数に限りがあるので受講者を制限することもある。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
コンピュータ基礎(2)(4) 〔コンピュータと情報〕 (前期)(後期)	うえ はら りゅう へい 上 原 隆 平	法B選	2

講義のねらい

インターネットの原理や原則を学ぶ。その上で実現されているさまざまなサービスを、実習を通じて理解する。

講義の内容・
授業スケジュール

多数のコンピュータがネットワークを通じて相互に接続されたインターネットについて学ぶ。具体的に電子メールやwwwなどのサービスをとりあげ、実習を通じて理解する。こうしたサービスを通じて、何ができるか、何をやってもよいか、何をやったらいけないか、といった事柄を、技術的、倫理的、法的側面から学ぶ。

履修上の留意点

予備知識は仮定しないが、講義は必ず毎回出席し、出題された演習を必ず解いているものとする。半期の授業なので、就職活動や教育実習などで2回以上休むことが当初から予想される学生は、その時期の授業は履修申請しないこと。駒澤大学の総合情報センターのコンピュータの利用申請が必須となる。総合情報センターが発行しているコンピュータの利用手引は授業中にも使用するため、必ず携帯すること。

成績評価の方法

成績評価は授業時間中に適宜行う演習やレポートによって行う。

参 考 書 等

村井純著『インターネット』(岩波新書416) 630円および村井純著『インターネットⅡ』(岩波新書571) 640円

そ の 他

実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講者数を制限することもある。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
地 球 科 学 〔地球環境の現在・過去・未来〕	やま ぐた たけし 山 縣 毅	法B・法A選	4

講義のねらい

現在、地球温暖化、海水準の上昇、オゾン層の破壊などの地球規模の自然環境の変化が、21世紀の大きな問題として捉えられています。これらの問題に対処する手段、特に自然環境がどのように過去、将来において変化し、それが何に起因するかを推定・予測する手段の一つとして地球科学があります。本講義では、地球科学による過去の環境（古環境）の推定・復元方法を、地球環境の変遷を創生期から現在までたどりながら、理解してもらうことを目標としています。

また、私たちが住んでいる関東地方の古環境の復元も、いくつかの地域を例に取りながら解説していきます。受講者にとって、自分の居住地と共にグローバルな自然環境についても考える契機になることを期待します。

講義の内容・
授業スケジュール

前半に地球科学の概説を行い、後半に地球環境の変遷、関東地方の地質について講義をしていきます。

1. 地球の内部構造と地質変動
2. 地球の環境変遷
3. 関東地方の地質
 - ・ 関東平野の断層と地震
 - ・ 房総・三浦半島の地質－付加テクトニクス－
 - ・ 伊豆大島、箱根の火山活動
 - ・ 関東山地の地質
 - ・ 関東平野の地下表層部の地質

成績評価の方法

期末試験で評価します。

教 科 書

特に定めない。

参 考 書 等

『最新 図表地学』（浜島書店）ISBN 4 - 8343 - 4002 - 3 C7344

そ の 他

OHP、スライド等を使用します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
地 球 科 学 〔変動帯としての日本列島〕	藤 井 享 <small>かじ い すずむ</small>	法B・法A選	4

講義のねらい

地球科学は、地形、岩石、地質、火山、地震、重力など地球に関するさまざまな現象を研究する分野であるが、地殻の変動や地形・地質の形成史を究明することが特に重要である。日本列島はユーラシア大陸と太平洋に挟まれており、島弧-海溝系（海溝を伴う弧状列島）の変動帯である。日本列島付近は4種類のプレートが衝突しあっており、火山活動、地震が多発、地形の起伏が大きく地質構造も複雑である。したがって、日本列島は世界でも第一級の変動帯とって過言ではない。

日本列島は火山活動や地震の頻発する自然条件下にあるため、否応なしにそれらに遭遇することも止むを得ない。したがって、これらの自然現象を正しく理解し、日頃から関心を抱くとともにその対策を講じることが重要である。本講義は、以下のような変動地形と日本列島の地形の由来を十分理解できるように展開したいと思う。

講義の内容・授業スケジュール

授業は地図を多用して、世界で最も活動的な変動帯としての日本列島の地形を多角的に扱ってみたい。主な内容とスケジュールは次のとおりである。

- ① 地球上の変動帯とプレートテクトニクス
- ② 島弧-海溝系の変動帯と日本列島
- ③ 島弧と火山帯
- ④ 本州中部の地形とフォッサマグナ
- ⑤ 第四紀の地殻変動と変動地形
- ⑥ 関東平野の地形と造盆地運動
- ⑦ 中部地方の傾動運動
- ⑧ 西南日本弧の曲動地形
- ⑨ 日本列島の活断層
- ⑩ 日本列島の巨大地震と変動地形
- ⑪ 火山活動と火山地形
- ⑫ 最終氷期と後氷期の日本列島

スケジュールは前期：①～⑤、後期：⑥～⑫を予定

履修上の留意点

「地球科学」は、地球の内部や地表で行われる自然現象を扱うために、地図を多用する。そのため、「地図帳」（高校で使用したもので可）を準備すること。また、講義ノートをとることは重要。地図やその他の図を書くことが多いので、色鉛筆（12色）を準備してほしい。

成績評価の方法

テスト、レポート、出席状況を総合して評価する。

教科書

使用しない。

参考書等

貝塚爽平著『日本の地形-特質と由来』（岩波新書）1977年
貝塚爽平著『発達史地形学』（東大出版）1998年

その他

講義形式であるが、必要によりビデオ、スライド等を使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
自然環境論 〔宇宙から見た地球環境〕	しの 篠原 まさ お 正雄	法B・法A選	4

講義のねらい

現代の天文学と惑星科学の成果の上に立ち宇宙の視点から地球の自然環境について講義します。

太陽系の惑星の一つである地球の自然環境は46億年の太陽系の歩みの結果形成されてきました。現在も、太陽はもちろんのこと、太陽系内外の宇宙からのさまざまな影響の下にあります。また、過去30年間の太陽系探査により多くの天体が調べられ、地球をこれらの天体と比較しながら研究できるようになってきました。その成果をふまえて、「地球環境」とはそもそもどんなものであり、どのように形成され、変化してきたかを中心に取り上げます。

日常生活でのある行為が「地球に優しい」のか逆に「地球を傷つける」のかという判断は立場により、また時代により異なります。環境問題は「健康法」と似ていて、仕組みもわかっていないうちに、効果も立証されていない手段でもかく対処しなければいけないという場合もあります。その結果、認識が少し進むと「善」と「悪」が入れ替わることも起こります。表面だけを見ていると、環境に確かなものは何もないかのように思われてきます。

この講義を通して個別の環境問題の背後にある地球環境システムについて理解し、より深いところから地球環境を考えられるようになっていただきたいと思います。

講義の内容・ 授業スケジュール

1. 宇宙と地球
宇宙の中の地球 宇宙の起源と進化 太陽系と地球の起源
2. 宇宙と地球環境
太陽 地球磁気圏 海と大気 生命 地球環境の進化
3. 地球環境の変動
宇宙環境と地球環境変動 地球システムと地球環境変動 人類と地球環境変動
4. 地球環境問題
オゾン層破壊問題 地球温暖化問題 エネルギー その他の環境問題
5. 宇宙と地球の未来
文明の未来 地球と宇宙の未来 SETI (地球外文明探査)

成績評価の方法

学年末に行う筆記試験の結果により評価します。平常点も考慮します。

教科書

石田恵一著『宇宙と地球環境』(成山堂書店) 1,600円

参考書等

小宮山宏著『地球持続の技術』(岩波新書) 660円
その他、講義の中で適宜紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
自然環境論 〔環境と保全〕	やまがた 山 縣 教 授	法B・法A選	4

講義のねらい

18世紀後半から始まった産業革命以降、産業文明の発展により、地球規模の環境変化が自然の復元能力を超えて急激に進んでいます。その変化は、人間の生存自体にも深刻な影響を及ぼすようになってきています。本講義では、地球科学的立場から、地球環境の諸問題を解説し、人間活動が自然環境に与える影響、環境保全の意義について考えてもらうことを目標としています。実生活で体験したり、各種報道により伝えられる地球環境に関する諸事象を正しく理解するための教養を、受講者に身につけてもらえるように、講義を進めていきます。

講義の内容・授業スケジュール

1. 地球表層の環境変遷とその要因
2. 人間活動による環境変化
(地球温暖化、大気酸性化、オゾン層の破壊)
3. 資源・エネルギーと環境
4. 地質変動による環境変化と自然災害
(地震、火山活動、崖崩れ)
5. 地球環境に対する海の影響
6. 環境保全

成績評価の方法

期末試験で評価します。

教科書

特に定めない。

参考書等

講義の中で紹介します。

その他

OHP、スライド等を使用します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
情報数学 〔情報と論理〕	おざわ 小 沢 誠	法B・法A選	4

講義のねらい

情報科学における離散数学の概要を知ること为目标とする。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、離散集合と述語・対応と写像・帰納法とアルゴリズム・離散関係を学ぶ。
後期は、離散グラフ・木グラフ・離散代数系・形式言語を学ぶ。
時間があれば、有限順序集合と束・ブール関数・デジタル論理回路・ブール代数についても学びたい。

履修上の留意点

毎回必ず出席すること。数学は一つ一つの積み重ねであるので、欠席した場合には補習が必要である。

成績評価の方法

前期と後期の期末試験の結果で評価する。出席も考慮する。

教科書

小倉久和『情報の基礎離散数学』（近代科学社）2,500円

参考書等

情報数学として扱われる数学は多岐にわたる為、上記の教科書に記載の参考図書を参照されたい。

その他

講義が理解出来なかった場合は、遠慮なく質問して欲しい。全ての受講生が理解して進められるよう努力する。

3. 外 国 語 科 目

外国語

3 . 外国語科目

〔 英 語 〕

英語 I A	〈佐々木 隆〉	541
英語 I A	〈今井 夏彦〉	541
英語 I A	〈照山 雄彦〉	542
英語 I A〔基礎英語特別クラス〕	〈町田 成男〉	542
英会話 I	〈永野 光一〉	542
英語 L L I	〈ラッセル, S. J.〉	543
英語 I B	〈荻野 一成〉	544
英語 I B	〈杉本 誠〉	544
英語 I B	〈行廣 泰三〉	545
英語 I B	〈島村 豊博〉	545
英語 I B	〈林 明人〉	545
英語 I A・I B〔再クラス〕	〈丸小 哲雄〉	546
英語 I A・I B〔再クラス〕	〈伊勢村 定雄〉	546
英語 I A・I B〔再クラス〕	〈山縣 裕裕〉	546
英語 I A・I B〔再クラス〕	〈荻野 一成〉	547
英語 I A・I B〔再クラス〕	〈本間 俊一〉	547
英語 I A・I B〔再クラス〕	〈伊勢村 定雄〉	547
英語 II A	〈照山 雄彦〉	548
英語 II A	〈真砂 久晃〉	548
英語 II A	〈北村 弘文〉	549
英語 II A	〈今井 夏彦〉	549
英語 II B	〈行廣 泰三〉	550
英語 II B	〈島村 豊博〉	550
英語 II B	〈樋渡 俊光〉	551
英語 II B	〈太田 美智子〉	551
英語 II A・II B〔再クラス〕	〈大淵 利春〉	551
英語 II A・II B〔再クラス〕	〈山縣 裕裕〉	552
英語 II A・II B〔再クラス〕	〈高見 陽子〉	552
英語 II A・II B〔再クラス〕	〈澤田 真弓〉	552
英語 II A・II B〔再クラス〕	〈荻原 輝〉	553

〔 ド イ ツ 語 〕

ドイツ語 I A	〈松岡 晋〉	554
ドイツ語 I B	〈百濟 勇〉	554
ドイツ語 I A・I B〔再クラス〕	〈百濟 勇〉	555
ドイツ語 II A	〈清水 修〉	555
ドイツ語 II B	〈篠原 敏昭〉	556
ドイツ語 II A・II B〔再クラス〕	〈百濟 勇〉	556

〔 フ ラ ン ス 語 〕

フランス語 I A	〈今関 アン〉	557
フランス語 I B	〈前田 祝一〉	557
フランス語 I A・I B〔再クラス〕	〈前田 祝一〉	557
フランス語 II A	〈八木 明美〉	558
フランス語 II B	〈木下 雄介〉	558

フランス語ⅡA・ⅡB〔再クラス〕〈前田 祝一〉…………… 558

〔中国語〕

中国語ⅠA・ⅠB	〈塩旗 伸一郎・上原 かおり〉……………	559
中国語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈大久保 明男〉……………	559
中国語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈曹 泰和〉……………	560
中国語ⅡA	〈秋 元 翼〉……………	560
中国語ⅡA	〈東 映 全〉……………	560
中国語ⅡB	〈王 聡〉……………	561
中国語ⅡB	〈上 原 かおり〉……………	561
中国語ⅡA・ⅡB〔再クラス〕	〈弘 兼 加奈子〉……………	561

〔スペイン語〕

スペイン語ⅠA	〈大 岩 功〉……………	562
スペイン語ⅠB	〈大 岩 功〉……………	562
スペイン語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈栗 林 ゆき絵〉……………	563
スペイン語ⅡA	〈亀 山 晃一〉……………	563
スペイン語ⅡB	〈中 山 直次〉……………	564
スペイン語ⅡA・ⅡB〔再クラス〕	〈栗 林 ゆき絵〉……………	564

〔ロシア語〕

ロシア語ⅠA	〈廣 田 英 靖〉……………	565
ロシア語ⅠB		
ロシア語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈杉 山 秀 子〉……………	565
ロシア語ⅡA	〈廣 田 英 靖〉……………	566
ロシア語ⅡB	〈廣 田 英 靖〉……………	566
ロシア語ⅡA・ⅡB〔再クラス〕	〈杉 山 秀 子〉……………	566

《 選 択 科 目 》

英 会 話 Ⅱ	〈永野 光一〉……………	567
英 語 L L Ⅱ	〈加藤 佐和子〉……………	568

英 語 I A

〈英語 I A の授業内容と履修上の留意点〉

英語による意思伝達 (Writing and/or Speaking) : 入学時の英語を基礎として、英語の運用能力をのばします。文章表現の場合、文から段落へ、会話表現の場合、日常基本表現から、多様な会話表現の理解と運用能力を目指します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I A	ささき たかし 佐々木 隆	法B1年	2

講義のねらい

入学時の英語を基礎として、英語の運用能力をめざす。文章表現の場合、センテンスからパラグラフへ、会話表現の場合、日常基本表現からダイアログ (多様な会話表現の理解と運用能力) をめざす。

講義の内容・授業スケジュール

テキストを読み進めると同時に、英語表現に注意を払う。

成績評価の方法

試験の結果を含めた総合判断。

教科書

『アクティブ・コミュニケーション』(南雲堂) 1,300円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I A	いま い なつ ひこ 今 井 夏 彦	法B1年	2

講義のねらい

基礎的な文法や語彙、口頭でのコミュニケーションに必要な基本的な表現を再確認します。

講義の内容・授業スケジュール

アメリカからの留学生と日本人の大学生との対話を通して基本的な文法項目などを中心に学びます。

成績評価の方法

出席を重視し、授業への参加度、期末テストなどを総合的に評価します。

教科書

河合忠仁他著『英会話のためのコミュニケーション・英作文』(松柏社) 1,500円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I A	<small>てる やま ゆう ひこ</small> 照 山 雄 彦	法B1年	2

講義のねらい

英文を正しく読み、発音して、また英文を正しく理解することを目標とする。

講義の内容・
授業スケジュール

上記の内容を達成するために、最重要動詞、最重要名詞、また基礎となる文型をいくつかの例題を使った文章を暗記し習得していく。

履修上の留意点

予習を必ずやってくること。

成績評価の方法

毎回初めに小テストを行うので、その結果と授業の態度、出席状況を考慮して評価を行う。

教 科 書

おっってお知らせする。

参 考 書 等

その都度必要に応じて紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I A 〔基礎英語特別クラス〕	<small>まち だ しげ お</small> 町 田 成 男	法B1年	2

講義のねらい

入学時の英語を基礎として、英語の運用能力をめざす。文章表現の場合、センテンスからパラグラフへ、また、会話表現の場合、日常の基本表現からダイアログをめざす。

講義の内容・
授業スケジュール

テキストにしたがって読みすすめることを原則とする。

履修上の留意点

テキストと辞書は忘れずに持参すること。

成績評価の方法

出席＋発表＋試験の総合評価とする。

教 科 書

検討中のため、第1回の授業時に、オリエンテーションの中で発表する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 会 話 I	<small>なが の こう いち</small> 永 野 光 一	法B1年	2

講義のねらい

英会話の基礎的な力を養成。

講義の内容・
授業スケジュール

Q&A やペア・ワーク、グループ・ワーク、ロール・プレイなどを通して英語を聞く・話すことに慣れていきます。会話表現の学習やスピーチ・ライティングと発表も行います。

履修上の留意点

授業中の様々な学習活動に積極的に参加すること。

成績評価の方法

出席と授業中の学習活動への積極的な参加を重視。スピーチ・ライティングと発表の成績を入れて総合的に評価。

教 科 書

初回授業時に指定。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 L L I	ラッセル, S. J.	法B1年	2

講義のねらい

English LL I is for students who really want to improve their listening and speaking skills in English.

講義の内容・授業スケジュール

This course will present everyday functional language in various situations. Students will speak in controlled and guided activities with their classmates, which is a great way to make new friends. It should be fun! Later in the course students should be free and able to express their ideas and opinions on a range of interesting topics. Interactive learning will be a feature of the classes so good attendance will be required. We will also use a range of audio and video materials to check students' listening comprehension and to prompt class discussion.

履修上の留意点

Please come to class smiling with a positive attitude to listen to and speak English. Show that you really want to improve your English by not missing many classes. Good attendance will be important in your grade each semester. Bring your textbook, a notebook, and a good English dictionary to each class.

成績評価の方法

Students will be assessed at the end of the course based on attendance, assignments and performance in class. There will be a challenging listening and speaking tests in the middle and end of the course.

教 科 書

Alive Jives (Published by Nan'Un - Do Japan)
ISBN 4 - 523 - 17400 - 8

英 語 I B

〈英語 I B の授業内容と履修上の留意点〉

Reading and Listening Comprehension (Reading and Listening) : 入学時の英語を基礎として、より高度な構文の理解と speed reading の基礎を身に付けます。読解力の場合、精読に加えて段落、章などの大意が把握できること、聴解力の場合、大意が把握できることを目指します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I B	おぎの 萩野 かずしげ 一成	法B1年	2

講義のねらい

中学高校時代に英語で苦勞した人は多いが英文の内容がわかった時の喜びを知る人は少ないようだ。

講義の内容・授業スケジュール

前期はパンフレットや広告などを材料に、素早く必要な情報を読み取る訓練をする。後期は短編ストーリーを3本読み通す。

成績評価の方法

出席点、レポート（前後期各1回）と定期試験の総合評価とする。

教科書

『ミニミステリー・モデルズ』（金星堂）と授業時配布のプリント

そ の 他

英語に強い苦手意識をもつ人のリハビリとしての効果も期待できる。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I B	すぎもと まこと 杉本 誠	法B1年	2

講義のねらい

新聞英語のテキストを通して、急変する国際情勢を正しく把握し、認識することを目的とする。従って、新聞英語の語法知識もさることながら、各分野で使用されている単語やキーワードなどをしっかりとらえ、新聞英語に対する知識と能力を高め、生きた英語を学ぶとともに、激動する社会問題そのものにも興味を持てるようにすることを目指す。

講義の内容・授業スケジュール

前期は容易に、しかも楽しく英字新聞が読めるということを重視し、日常生活に密接な関わりのある記事を取り上げる。後期は、地球環境問題、経済、文化に関する記事を多く読み、大意を把握し、リスニング、英訳などの練習問題を通じて、総合的な英語力を身につけたい。

履修上の留意点

毎時間の予習が必要である。

成績評価の方法

前・後期の定期試験、小テスト、出席率などを総合して評価する。

教科書

『やさしいニュース英語2004/2005年版』（成美堂）1,700円 ISBN4-7919-4825-4

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B	ゆき 行 ひろ 廣 たい 泰 ぞう 三	法B1年	2

講義のねらい

この授業では、読解力の基礎的な技能を身につけることと少しでも「英語を読む楽しさ」が味わうことができることを目指します。

成績評価の方法

評価は、平常点と授業中の発表それに出席を加えた観点からつけます。

教科書

Neil J. Anderson・川又正之著『Basic skills for reading (リーディングスキルの基礎演習)』(成美堂)

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B	しま 島 むら 村 とよ 豊 ひろ 博	法B1年	2

講義のねらい

これまでに習ってきた文型や文法事項を確実なものにしながら、実際に英文を書く際にこの知識をどのように活用してゆけばよいのかを多くの Exercises を通して学び、一つの中心テーマについてパラグラフのレベルで英文が書けることを目標にする。同時に、身近な話題を題材にすることで日本文化の英語による表現を目指す。

講義の内容・授業スケジュール

テキストは、中心テーマにそって、各課の始めにモデルセンテンスがおかれ、これを暗唱できるほど徹底的に読み込み、その上で語彙、書き換え、句読点、文構成などに関する発展問題に当たり、さらには空所補充のヒントを参考にしながら和文英訳形式の問題で英文を書いてゆくと、一つないしは二つのまとまりのあるパラグラフになる。テキストの年間計画は次の通りである。

<前期>A. FOUR SEASONS~C. CULTURE <後期>D. SPORTS~G. CUSTOMS

成績評価の方法

前期後期二度の定期試験に提出物や出席状況などを総合的に判断して評価をする。

教科書

斉藤 宏/Eleanor C. Kelly 著 LET'S WRITE ABOUT JAPAN (成美堂) 1,680円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B 〔基礎英語特別クラス〕	はやし 林 あき 明 と 人	法B1年	2

講義の内容・授業スケジュール

簡単な読み物を使用しながら、英文の構造を学び、さらに自ら英文を書けるようになることを目的とします。

成績評価の方法

前・後期の定期試験、発表、小テスト、出席の総合評価。

教科書

『構文から学ぶやさしい日常英語』(南雲堂) ISBN4-523-17440-7

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A・I B 〔再クラス〕	丸 小 哲 雄 <small>まる こ てつ お</small>	法B2・3・4年	2

講義のねらい

インターネットの普及にともない、英語を書くことの必要性が増大しています。それに対応するために思考力と論理的表現力を高め、書くことの鍛錬のために読むことも目指します。

講義の内容・授業スケジュール

リスニング・テキストで総理解をして、ライティング・テキストでト自己表現できるように発信型の能力を涵養してゆきます。レポート提出もあります。

成績評価の方法

出席、平常テスト、前期・後期の試験などの総合評価。クラスでの発表者には別途評価。

教科書

ライティング・テキスト：コミュニケーションのための英文法・英作文 英宝社
リスニング・サブテキスト：12 Great Hit Songs: Listening Workbook 英宝社

参考書等

参考書：参考書を随時指示し、日常言語プリントや時事英語ニュースのコピーも適宜配布します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A・I B 〔再クラス〕	伊勢村 定 雄 <small>い せ むら さだ お</small>	法B2・3・4年	2

講義のねらい

実際のE-mailを通して、英語の基礎と日米の考え方の違い等にふれる。

講義の内容・授業スケジュール

進め方は特に変わったやり方はしないが、音読なども取り入れつつ英語の音と内容把握もめざす。
1課を2～3時間で進む。

履修上の留意点

予習必要！辞書持参のこと！

成績評価の方法

年2回のペーパーテスト及び授業態度。

教科書

伊勢村定雄、John Hulgin『英文Eメール：リーディング・プラクティス』（北栄堂書店）1,600円

その他

水曜日・6時限

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A・I B 〔再クラス〕	山 縣 裕 <small>やま がた ゆたか</small>	法B2・3・4年	2

講義のねらい

日常会話・日常表現の修得に力点をおく。

成績評価の方法

出席・定期試験などから総合的に評価する。

教科書

宍戸 真、Bruce Allen 著『アメリカ西海岸へ行こう』（成美堂）1,700円
ISBN4-7919-4051-2

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語 I A・I B 〔再クラス〕	おぎの 萩野 かずしげ 一成	法B2・3・4年	2

講義のねらい	高校卒程度の文法力で読める英文を読み、正確に情報を読みとる訓練をする。
成績評価の方法	平常授業時の出席はもちろんのこと、授業への積極的な参加姿勢が評価の重要なポイントとなる。欠席が全体の3分の1を超えた場合は失格となる。レポート、小テスト等有。
教科書	テキスト・教材については、開講時に指示する。辞書は必携。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語 I A・I B 〔再クラス〕	ほんま とし かず 本間 俊 一	法B2・3・4年	2

講義の内容・授業スケジュール	教科書の英文の訳読とその構文理解を中心として学びながら、話題は英米文化圏の日常生活、そして彼らの思考、さらに日本との比較に及ぶ。通常の授業は、前もって学習する予定を発表し、予習を前提に授業を進める。さらに年間を通じていくつか課題の提出を要求するつもりである。学習においては、もちろん細部にこだわるつもりであるが、あまり細部にこだわり過ぎて全体観を失うことは愚かなことであるから、時には相手に大きな誤解を与えない程度に大胆に要約する能力を養えるようにする。
成績評価の方法	前期と後期の2回の試験はもちろんのこととして、普段の授業での発表、さらに年間を通じての課題の提出で評価を決定する。授業の出席は3分の2以上、遅刻3回で1回の欠席と計算する。なお、課題の提出の仕方については授業で細かく説明するつもりであるが、休暇中にパソコン・ネットワークでも可能であるから興味のある学生はそれに習熟されたい。
教科書	『愛の諸相』（朝日出版社） 1,700円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語 I A・I B 〔再クラス〕	いせむら さだ お 伊勢村 定 雄	法B2・3・4年	2

講義のねらい	アメリカン・ストーリーを通して、アメリカ英語を学ぶ。及び英語の基礎や辞書のひき方にふれる。
講義の内容・授業スケジュール	音読と訳読を交互に混えて進めるが、演習形式という授業形態上、受講者は全員参加することになる。1課を2～3時間で進む。
履修上の留意点	予習必要！辞書持参のこと！
成績評価の方法	年2回のペーパーテスト及び授業態度。
教科書	Erich Segal『ある愛の詩』（英光社）1,800円
その他	水曜日・7時限

英 語 II A

〈英語ⅡAの授業内容と履修上の留意点〉

英語による意思伝達 (Writing and/or Speaking) : I A を基礎として、より高度な英語の運用能力を身に付けます。文章表現の場合、段落から自由作文へ、会話表現の場合、ダイアログからディスカッションを目指します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 II A	照 山 雄 彦 <small>てる やま ゆう ひこ</small>	法B 2年	2

講義のねらい

大学での英語学習の狙いは専門の英語文献読解力を養うことである。そのために修得した英語の文法構造や語彙の知識を基に、実際の英語文献を読解できる能力を身につけるために、主として演習方式により読解力向上と会話にも応用できるようにする。

講義の内容・授業スケジュール

上記をふまえ、わからない語句や表現を調べながらテキストの各章を精読し、内容を把握し暗記していく。

履修上の留意点

宿題を毎回出すので、必ずやってくること。

成績評価の方法

毎時間授業を始める前に小テストを行うので、その結果と授業の態度、出席状況を考慮して評価を行う。

教 科 書

おって連絡します。

参 考 書 等

その都度必要に応じて紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 II A	真 砂 久 晃 <small>まな ご ひさ あき</small>	法B 2年	2

講義のねらい

英語運用能力の中で、特に英文作成能力の向上を目指す。

講義の内容・授業スケジュール

初回の授業でオリエンテーションをする。必ず出席すること。

履修上の留意点

出席が3分の2未満の学生は単位を取得できない。但し、正当な理由のある欠席に関しては考慮する。

成績評価の方法

成績 = (前期の成績 + 後期の成績) ÷ 2
前期、後期共、成績は (100点満点) = 出席点 (20~30%) + テスト (70~80%) となる。

教 科 書

井上 彰 他著 *Let's Speak English with SNOOPY!* (英宝社) 1,800円 + 税

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 II A	きたむらひろふみ 北村弘文	法B 2年	2

講義のねらい 英語 (A) の授業であるから、特に英語で自由に発信できる力を養うことを目指すは言うまでもないことですが、一年中文法作文の内容の授業では話題性を欠き、味気ないので、テキストには総合教材使用します。

成績評価の方法 定期試験 (前・後期) の成績以外に、授業中の発表、レポート、出席状況などを勘案して評価します。

教 科 書 YOUNG POP CULTURES (都文堂) 1,751円
 なお、テキストの目次は以下の通り (参考までに)

CHAPTER 1	COLLEGE LIFE (A)	1
CHAPTER 2	COLLEGE LIFE (B)	6
CHAPTER 3	SPORTS (A)	11
CHAPTER 4	SPORTS (B)	16
CHAPTER 5	DATING (A)	21
CHAPTER 6	DATING (B)	26
CHAPTER 7	DRINKING (A)	31
CHAPTER 8	DRINKING (B)	36
CHAPTER 9	CARS (A)	41
CHAPTER 10	CARS (B)	46
CHAPTER 11	FAMILY RELATIONS (A)	51
CHAPTER 12	FAMILY RELATIONS (B)	56
CHAPTER 13	GUNS (A)	61
CHAPTER 14	GUNS (B)	66
CHAPTER 15	GIFT - GIVING (A)	71
CHAPTER 16	GIFT - GIVING (B)	76
CHAPTER 17	FASHION (A)	81
CHAPTER 18	FASHION (B)	86
CHAPTER 19	PUBLIC MANNERS (A)	91
CHAPTER 20	PUBLIC MANNERS (B)	96
CHAPTER 21	THE ELDERLY (A)	101
CHAPTER 22	THE ELDERLY (B)	106
CHAPTER 23	CAREERS (A)	111
CHAPTER 24	CAREERS (B)	116

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 II A	いまい なつ ひこ 今井夏彦	法B 2年	2

講義のねらい 日常の基本的なコミュニケーションを通して英語を学ぶことを目的とします。

講義の内容・授業スケジュール 留学、環境問題、マルチメディア、世界の英語などのようなテーマを取り上げ、それぞれの場面の中でライティングとオーラル・コミュニケーションの能力を養成します。

成績評価の方法 出席を重視し、期末テスト・レポートなどを総合的に評価します。

教 科 書 中田清一他著『日常会話英作文』(成美堂) 1,600円

外
国
語

英 語 II B

〈英語 II B の授業内容と履修上の留意点〉

Speed Reading and Intensive Reading: I B を基礎として、できるだけ多くの量を読めるように、大意の把握に心掛け、読む速度を上げます。また、より高度な英文を正確に理解するための構文も学びます。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 II B	かき ひろ たい ぞう 行 廣 泰 三	法 B 2 年	2

講義のねらい

国際化・情報化といわれる中で、人間同士がコミュニケーションする上で、言葉が重要であることは確かなことです。しかし、異なる文化背景を持つ人々とのスムーズなコミュニケーションを図るには、言葉の土台になっている文化を理解することによってはじめて可能になるのです。そこで、この授業では、英文の読解を通して異文化理解の能力を養うことを目指します。

成績評価の方法

評価は、平常の小テストと出席・授業中の発表などの総合からつけます。

教 科 書

John E. Plagens、中村克孝『*It's Not What You Think.* (日米ことばと文化の違い)』(金星堂)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 II B	しま むら とよ ひろ 島 村 豊 博	法 B 2 年	2

講義のねらい

これまでに習ってきた文型や文法事項を確実なものにしなが、実際に英文を書く際にこの知識をどのように活用してゆけばよいのかを多くの Exercises を通して学び、興味ある話題についてパラグラフのレベルで英文が書けることを目標にする。同時に、日本とアメリカの生活文化の違いへの理解を深め、これを英語で表現できるようにする。

講義の内容・授業スケジュール

テキストは、各課の始めにモデルセンテンスがおかれ、これを暗唱できるほど徹底的に読み込み、その上でその内容についての英問英答や空所補充等の問題を解き、最後にヒントを参考にしながら和文英訳形式の問題で英文を書いてゆくと、一つないしは二つのまとまりのあるパラグラフになる。テキストの年間計画は次の通りである。

<前期> 1. Not to Be Snobbish, but. . . ~12. Don't Slurp Your Soup <後期> 13. How It Sounds ~24. His or Hers?

成績評価の方法

前後期二度の定期試験に提出物など平常点を加えて、総合評価をください。

教 科 書

齊藤 宏/Keith T. Nishimura 著 *Writing About Cross-Cultural Topics* (成美堂) 1,680円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 II B	樋 渡 俊 光 <small>ひ わたり しゅん こう</small>	法B 2年	2

講義のねらい

IBを基礎として、より高度な英文を理解し、Speed Readingの技術の向上を日ざす。又基本的英語の法律用語及び文章の修得をはかる。

講義の内容・授業スケジュール

教材を通して、アメリカの文化、生活習慣を学び、考え方の違いや国際人としての資質の向上をはかる。

履修上の留意点

辞書の持参と予習を重要視する。

成績評価の方法

日常の発表を重視し、定期試験、出席を入れて総合的評価を行なう。

教 科 書

A Shorter Course in Reading (南雲堂)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 II B	太 田 美 智 子 <small>おお た みちこ</small>	法B 2年	2

講義のねらい

英語読解力の養成とリスニングの向上を目的とします。

講義の内容・授業スケジュール

「推理小説の父」と言われるウィルキー・コリンズの代表作のひとつ、*The Moonstone* を読みます。テキストを味わいつつ、ほの見えるヴィクトリア朝の問題点にも目を向け、広範な楽しみ方をしましょう。また、奥床しいいささか古風な表現方法なども堪能しましょう。

履修上の留意点

必ず予習し、真摯な態度で授業に臨むこと。単位の修得ではなく、各自の実力の向上が目的であることを決して忘れないこと。そして何事にも知的好奇心を持つ。単に椅子に座しているのみで、授業参加していない場合には出席とはみなさない。

成績評価の方法

平常時の授業態度、予習の有無、場合によってはレポートの内容、また試験を行った際はその素点、等々の総合評価。

教 科 書

The Moonstone (南雲フェニックス)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 II A・II B 〔再クラス〕	大 淵 利 春 <small>おお ぶち とし はる</small>	法B 3・4年	2

講義のねらい

総合的な英語力(リスニング、スピーキング、ライティング、リーディング)の向上を目指す。

講義の内容・授業スケジュール

テキスト中心にすすめますが、ライティング力をつけるための問題もプリントで行います。リスニングの小テストも行います。

履修上の留意点

毎回しっかりと予習を行い、辞書を携帯するようして下さい。

成績評価の方法

平常点50%、前、後期試験50%で評価します。平常点は出席率、発表の内容などから総合的に評価します。

教 科 書

Broadening Your Cultural Horizons (成美堂) 1,700円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ A・Ⅱ B 〔再クラス〕	やまがた 山 縣 裕	法B3・4年	2

講義のねらい 日常会話・日常表現の修得に重点をおく。

成績評価の方法 出席・定期試験などから総合的に評価する。

教科書 WM.B. ホワイト、松居 司著『現代アメリカ英語の運用』（南雲堂）1,700円
ISBN4-523-17096-7

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ A・Ⅱ B 〔再クラス〕	たかみ ようこ 高見陽子	法B3・4年	2

講義のねらい 重要な情報を漏らさず大意を把握しながら、英文をより速く読む力をつけることを主な目標とします。

講義の内容・授業スケジュール 音読やリスニングを通して英語のリズムに慣れることと、精読とは異なる「理解しながら読む」方法に慣れること、この二点を軸に英文を読みこなすための基礎的な練習をします。また、文法や構文についての基本事項を確認し、その知識をもとに英語で書いたり話したりする練習も取り入れます。

履修上の留意点 辞書を毎回必ず持参すること。

成績評価の方法 全授業回数の3分の2以上の出席が必要です。前・後期試験の結果をベースに、授業中の取り組み方や発言を重視した平常点と、小テスト・レポート等の課題を加味して、総合的に評価します。

教科書 テキストについては、第一回日の授業で指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ A・Ⅱ B 〔再クラス〕	さわ たまゆみ 澤田真弓	法B3・4年	2

講義のねらい 簡単な英語表現を学び、リスニングやライティングの能力を総合的に伸ばすことを目標とします。

講義の内容・授業スケジュール 毎時間さまざまな英語表現を学び、暗記してもらいます。

履修上の留意点 積極的に授業に参加することが望ましい。単語の意味調べは必ずやっておくこと。

成績評価の方法 出席回数、発表や提出物、前期後期試験の結果を総合的に判断して評価します。

教科書 木村ゆみ、Margaret Yamaguchi 著『知っておきたい英語表現』（開文社出版）900円
ISBN4-87571-538-2 C1382

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡA・ⅡB 〔再クラス〕	はぎわら 萩原 輝	法B3・4年	2

講義のねらい

自由英作文を作る能力の修得を目標とする。

講義の内容・
授業スケジュール

前期は“Happiness”“Money”“work”について、後期は“Love and Hate” “Humor and Laughter” について学ぶ。

履修上の留意点

教科書、英和・和英辞典を毎時間持参すること。

成績評価の方法

3分の2以上の出席、授業態度、試験の結果等の総合評価。

教科書

Jim Knudsen 著『名句で英語を学ぶ』（南雲堂）1,957円

〔ドイツ語〕

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ド イ ツ 語 I A	まつ 松 岡 晋	法B1年	2

講義のねらい

下に記した教科書を用いて一年間でドイツ語の初等文法を学習します。

講義の内容・ 授業スケジュール

ドイツ語の文字、発音規則の説明から始めて徐々に積み重ね、一年後には簡単なドイツ語の文章を読めるレベルに到達できれば、と考えております。授業では文法規則の説明が中心になりますが、それ以外に短文の和訳練習を行います。初等文法を一通り終える予定ですが、とりわけ動詞に関わりのある項目を重点的に学習することになります。

履修上の留意点

教科書以外に、最初の授業で紹介する各種の独和辞典のうち一点を必ず入手して下さい。また、文法の学習は継続的に行われますので、定期的に出席し、積極的に授業に参加されることを切に願っております。

成績評価の方法

成績評価は、最低二回以上おこなう筆記試験の結果および平常点（出席率、授業に取り組む姿勢など）によっておこないます。したがって、試験結果もさることながら、定期的出席、授業中の熱意なども重視します。

教 科 書

在問進ほか著『明るく楽しくドイツ語を』（三修社）2,100円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ド イ ツ 語 I B	もも 百 済 勇	法B1年	2

講義のねらい

自分が客員研究員をしている「ベルリン・ドイツ経済研究所」(DIW)のドイツ人の経済専攻院生は勿論のこと、フランス、ロシアなどの学生・院生は、明白な問題意識をもって勉強をしていると同時に、それに必要な外国語学修得が前提となっていることだ。そうした学習方法を学ぶ必要がある。

講義の内容・ 授業スケジュール

諸君は、初めてドイツ語を履修する。それに受講生は法学、経営学を学ぶ諸君である。それ故に諸君が、ヨーロッパの政治・経済を学習対象とする場合には、ドイツ語の履修が不可欠だ。その修得には、まず徹底して声をだして読み、慣れることだ。毎時間、一人一人数回当てでの徹底した口答対話を行う。

履修上の留意点

ドイツ人が英国訪問をした際の「ドイツ人の為の英語会話」をテキストを使うので、毎回の授業出席が前提になる。そしてこうした学習方法は、結果として英会話も力がつくだろう。時には、ドイツの新聞の政治・経済記事なども、テキストとして使用する。熱心な学生の受講を希望する。

成績評価の方法

前期、後期の定期試験は行わないが、毎時間のそれを総合して年度末の成績として評価する。

教 科 書

日本で作成した教科書は使わず、その都度、既に指摘したプリントを配布する。ドイツ語辞書等については、授業の際に指摘する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	もも ずみ いさむ 百 濟 勇	法B2・3・4年	2

講義のねらい

自分が客員研究員をしている「ベルリン・ドイツ経済研究所」(DIW)のドイツ人の経済専攻院生は勿論のこと、フランス、ロシアなどの学生・院生は、明白な問題意識をもって勉強をしていると同時に、それに必要な外国語学修得が前提となっていることだ。そうした学習方法を学ぶ必要がある。

講義の内容・授業スケジュール

受講生は経済学部、法学部、経営学部の2年、3年、4年である。それ故に諸君が、ヨーロッパ経済を学習対象とする場合には、ドイツ語の履修が不可欠だ。その修得には、まず徹底して声をだして読むことだ。経済学部、経営学部及び法学部の学生を対象としている授業であるが、ドイツの新聞の文化・政治・経済記事なども、テキストとして使用する。

履修上の留意点

ドイツ人が英国訪問をした際の「ドイツ人の為の英語会話」をテキストを使うので、毎回の授業出席が前提になる。そしてこうした学習方法は、結果として英会話も力がつくだろう。熱心な学生の受講を希望する。

成績評価の方法

前期、後期の定期試験は行わないが、毎時間、一人一人数回当てての徹底した口答対話を行い、それを総合して年度末の成績として評価する。

教科書

日本で作成した教科書は使わず、その都度、既に指摘したプリントを配布する。その際に初年度で使用したドイツ辞書、ドイツ語教科書を持参すること。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語ⅡA	し みず おさむ 清 水 修	法B2年	2

講義のねらい

ドイツ語でのコミュニケーション能力の養成をめざします。基本的な会話能力と、辞書の助けを借りて簡単な文章が読めるようになるのが目標です。

講義の内容・授業スケジュール

最初は特に、基礎的な能力の復習に力を入れます。受講者の習熟度、意欲に合わせて授業を進めて行きます。

履修上の留意点

ドイツの文化を知り、それについて考えるということは、日本の文化を知り、それについて批判的に考えるということです。

受講者には自分自身の意見を持つこと、主体的に考えるという態度を期待します。

成績評価の方法

主に平常点で評価します。

教科書

プリントを用意します。

参考書等

授業中に指示します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ド イ ツ 語 II B	しの はら とし あき 篠 原 敏 昭	法B 2年	2

講義のねらい

ドイツ語 IA・IB で習った基礎的なことからをもとに、少し進んだレベルのドイツ語の文章が理解できるようになることをめざします。あわせてより進んだレベルの文法項目の学習もおこないます。

講義の内容・授業スケジュール

下記のテキストを用いて授業をおこないますが、ドイツの風土、ドイツ人の考え方、行動スタイルなどもテキストをとおして学んでいきたいと思っています。

履修上の留意点

予習をやってくること、欠かさず出席すること、辞書を必ずもってくること。

成績評価の方法

毎回の授業における各人の取組みを重視したいと思っています。予習や宿題の消化が大事になります。小テスト、期末試験、学年末試験などを合わせて総合的に評価します。

教 科 書

『CD付きドイツ語万華鏡』（三修社）2,500円

参 考 書 等

授業の中で指示します。

そ の 他

CDをつかった授業をおこなう予定です。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ド イ ツ 語 II A・II B 〔再クラス〕	もも ずみ いさむ 百 濟 勇	法B 3・4年	2

講義のねらい

受講生は経済学部、法学部、経営学部の3年、4年次生である。それ故に諸君が、ヨーロッパ経済を学習対象とする場合には、ドイツ語の履修が不可欠だ。その修得には、まず徹底して声をだして読むことだ。経済学部、法学部、経営学部の学生を対象としている授業故に、ドイツの新聞の政治・経済記事なども、テキストとして使用する。

履修上の留意点

ドイツ人が英国訪問をした際の「ドイツ人の為の英語会話」をテキストを使うので、毎回の授業出席が前提になる。そしてこうした学習方法は、結果として英会話も力がつくだろう。熱心な学生の受講を希望する。

成績評価の方法

前期、後期の定期試験は行わないが、毎時間、一人一人数回当てての徹底した口答対話を行い、それを総合して年度末の成績として評価する。

教 科 書

日本で作成した教科書は使わず、その都度、既に指摘したプリントを配布する。その際に初年度で使用したドイツ辞書、ドイツ語教科書を持参すること。

〔フランス語〕

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フ ラ ン ス 語 I A	いま ぜき 今 関 ア ン	法B1年	2

講義のねらい

フランス語初級文法の確実な習得を目的とする。

講義の内容・ 授業スケジュール

文法の問題点を学生自身が発見し、読み・書き・話し・聞く、という全ての能力を使ってフランス語文法を身につける。

履修上の留意点

毎回必ず仏和辞典を持ってきて、実際に作業しながら授業を進めてゆく。宿題は必ずすること。欠席すると小テストに不都合が生じるので皆勤を目指して欲しい。

成績評価の方法

各単元毎の小テストを含む出席点 50%、定期試験 50%

教 科 書

伊勢晃『グラメール』（草美出版社）2,500 円

参 考 書 等

仏和辞典、清岡智比古『フラ語動詞、こんなにわかっていいかしら?』（白水社）1,500 円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フ ラ ン ス 語 I B	まえ だ のり かず 前 田 祝 一	法B1年	2

講義のねらい

まず、音としてのフランス語に慣れ親しんでもらうことを、第一の目標とします。

講義の内容・ 授業スケジュール

生活上の基本語・基本動詞・基本文型を習得することが、この一年間のスケジュールです。

履修上の留意点

毎回の授業が新しいことの学習であり、その積み重ねで一年間の勉強が成り立っているのですから、欠席すれば先のことが分からなくなります。このことに留意しておいて下さい。

成績評価の方法

前・後期のペーパー・テストで成績を評価しますが、出席状況や平常の課題なども考慮します。

教 科 書

家島光一郎編《新装版》『新初歩フランス語』（第三書房）1,700円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フランス語 I A・I B 〔再クラス〕	まえ だ のり かず 前 田 祝 一	法B2・3・4年	2

講義のねらい

初めてフランス語を学習するものとして、ABCの基礎から開始します。

講義の内容・ 授業スケジュール

練習問題をくりかえし教室で実践して、その積み重ねで少しずつ理解を深めてもらいます。

履修上の留意点

毎週の授業が、その前までの学習成果の上に立っての新しい項目の勉強ですから、決して欠席しないこと。欠席を重ねると取り残されてしまいますから、御用心。

成績評価の方法

前・後期のペーパー・テストで成績評価をしますが、出席状況や教室での課題の消化状況にも配慮します。

教 科 書

齊藤昌三編『ル・フランセ・ファシル』（白水社）1,750円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フ ラ ン ス 語 Ⅱ A	や ぎ あけ み 八 木 明 美	法 B 2 年	2

講義のねらい

初級文法をひととおり学習した者を対象にさらに文法学習を通してフランス語を理解することを目的として授業をすすめる。
出席、予習・復習、積極的な授業参加を求める。前期1回、後期1回のテストで成績評価します。

成績評価の方法

出席、予習・復習、積極的な授業参加を求める。前期1回、後期1回のテストで成績評価します。

教 科 書

『ル・フランセ』（白水社）1,750円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フ ラ ン ス 語 Ⅱ B	きの した ゆう すけ 木 下 雄 介	法 B 2 年	2

講義のねらい

1年次の授業で修得した文法の知識をもとに、辞書と相談しながら文章を読み解く練習をする。

講義の内容・授業スケジュール

平易な文章で書かれた童話をテキストに用いる。

履修上の留意点

予習復習が必要なことは言うまでもない。テキスト中のすべての単語について、意味ばかりでなく、品詞・用法を確認して授業にのぞむこと。

成績評価の方法

平常点を重視し、前期末・学年末の試験成績を加味して採点する。かならず予習をして出席すること。

教 科 書

安東次男編注『仔象のパパール』（第三書房）825円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フ ラ ン ス 語 Ⅱ A ・ Ⅱ B 〔再クラス〕	まえ た のり かず 前 田 祝 一	法 B 3 ・ 4 年	2

講義のねらい

中級フランス語ですが、初級の後半部分を重点的に復習しつつ、平易な物語を少しづつ読み進めてゆきます。

講義の内容・授業スケジュール

学生の側が主体的に授業参加できるように、工夫しましょう。

履修上の留意点

フランス語ⅠA・ⅠBの単位未修者は自分で参考書などを求めて、勉強するよう努めて下さい。

成績評価の方法

成績は基本的には、前・後期のペーパー・テストで評価しますが、出席状況や課題にも配慮します。

教 科 書

数江編『合本・愉快的なコント』（第三書房）1,100円

中 国 語

中国語ⅠA・ⅠB・ⅡA・ⅡB

(P.139) 参照

【辞書について】

(P.140) 参照

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中国語ⅠA	塩旗伸一郎 <small>しお ぼた しんいちろう</small>	法B1年	2
中国語ⅠB	上原かおり <small>うえ はら かおり</small>		

講義のねらい

中国語の音声的魅力を体感するとともに、その構造的特徴や文化的表現、ひいては中国人のものの考え方や世界観を理解し、私たち自身の言葉や習慣、社会について異なる視点から捉えなおすこと。

講義の内容・
授業スケジュール

音を離れて言葉は存在し得ない。漢字だけ睨んで当て推量する暗号解読作業に陥らぬため、定期試験の相当部分は音声により出題する。また年間を通じて聞き取り・発音等の小テストを盛大に行う。

履修上の留意点

中国語ⅡB（金曜第7時限、上原先生）と連動するので、セット履修のこと。
なお、携帯電話&メールの電源を切らぬ者は、そこにいないのと同じ。退席を命じ、欠席扱いとする。

成績評価の方法

定期試験+小テスト+平常点-欠席点。前・後期とも欠席3回を超えると1回につき10点ずつ減点する。

教 科 書

相原・陳・飯田『恋する莎莎』（朝日出版社）2,500円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中国語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	大久保 明 男 <small>おおくぼ あき お</small>	法B2・3・4年	2

講義のねらい

正確な発音と基礎文法の習得、中国語コミュニケーション能力の養成をめざす。

履修上の留意点

毎回予習、復習が必要。

成績評価の方法

出席率、定期試験の成績、平常点の三項目で総合評価する。

教 科 書

塚本慶一監修・劉穎著『新版 一年生のコミュニケーション中国語』（白水社）2,200円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	曹 泰 和 <small>そう たい わ</small>	法B2・3・4年	2

講義のねらい	バラエティに富む楽しいテキストで、実際に役立つような会話を習う。基礎的な発音、基本文法をゼロから学ぶ。
履修上の留意点	元気よく、積極的に授業に参加すること。
成績評価の方法	テスト、宿題、出席、学習態度で総合評価する。
教科書	相原茂・陳淑梅・飯田敦子『恋する莎莎』（朝日出版社）2,500円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡA	秋 元 翼 <small>あき もと たすく</small>	法B2年	2

講義の内容・授業スケジュール	中国語の初級を学び終った学生が対象だが、初級の文法を再確認しながら、無理なくやさしい読み物が読める能力を身に付けることを目標にする。内容は、日本語でも使われている成語の由来などがあり、興味深いものである。
履修上の留意点	出席重視、4分の3以上の出席を要する。予習・復習をすること。音声面も重視するので授業中の音読の時には大きな声を出してほしい。
成績評価の方法	平常の学習態度・到達度を重視し、各期末の試験と合わせて評価する。
教科書	讚井唯允著『着実にまなぶ中国語 初級～中級編』（朝日出版社）2,300円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡA	東 映 全 <small>あずま えい ぜん</small>	法B2年	2

講義のねらい	本講座は一年生で習得したAとBを基礎として、拼音を復習しながら、音読を再確認し、さらに短文を作る能力を高める。それからテキストを通じて、中国の風俗習慣をより多く理解することを目標とする。
講義の内容・授業スケジュール	テキストの文法的解説及び初級文法を復習しながら、本文の読みと日本語の翻訳を中心に授業を進める。読みと翻訳については、時に受講生を指名し、正確な発音ができているかどうかを重視する。
履修上の留意点	出席重視、時間厳守、また事前予習することが大切である。
成績評価の方法	出席・授業態度そして試験等、総合的に評価する。
教科書	斎藤道彦等共著『中国に行こう』（神保出版）1,650円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡB	おう 王 そう 聡	法B2年	2

講義のねらい

発音の復習や簡単な日常会話の学習と並行しながら、文法の基礎事項を順次学んでいく。中国語のヒアリングと会話の能力を高めることを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

前期：発音の復習。実際に使われる基本表現の習得。基礎文法の解説。
後期：日常会話と基礎文法の習得を中心にし、発音の復習も念頭に。

履修上の留意点

予習を済ませてあることを前提に授業をする。

成績評価の方法

最終評価は平常点・中間テスト・期末テストの3つの成績で構成する。欠席時間数が授業時間数の4分の1を超えた者は試験を受けられない。

教科書

三瀧正道他『たのしく話そう中国語』（朝日出版社）2,100円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡB	うえ ほん 上原 かつり	法B2年	2

講義のねらい

一年次に学んだ文法事項を基に、日常生活に必要な会話力・文章力を高めることを目指します。

講義の内容・授業スケジュール

下記の教科書を使用し、通年で教科書を終えるペースで授業を進めます。

履修上の留意点

中国語Ⅰの単位取得者にあわせて教科書を選んでいきます。

成績評価の方法

年間4回以上のテスト（前後期末試験を含む）と出席率で総合評価します。

教科書

華燕・遠藤光暁『話す中国語 北京篇2』（朝日出版社）2,500円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡA・ⅡB 〔再クラス〕	ひろ かね かなこ 弘 兼 加奈子	法B3・4年	2

講義の内容・授業スケジュール

めざましい発展をとげている現在の中国を「住宅の話」「結婚の話」等の十二の項目に分けて授業を行なう。
翻訳が中心となるが、発音・声調も重視していく。

成績評価の方法

成績は年間約4回のテストと教場での平常評価によって総合的に判断する。

教科書

三瀧正道・楊光俊 新訂版『現代中国 走馬看花』（朝日出版社）2,000円

〔スペイン語〕

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語 I A	<small>おお</small> 大 <small>いわ</small> 岩 <small>いさお</small> 功	法B1年	2

講義のねらい

初級文法の基礎を概観し、スペイン語とその世界に対する理解を深めることをねらいとします。

講義の内容・授業スケジュール

文法事項の解説と演習をベースに、折りに触れて会話の練習なども行います。ビギナーが特につまづきやすいポイントを押さえながら授業を進めます。

履修上の留意点

予習するかしないかは一義的に学習者の自主性の問題ですが、かならず予習をして授業に臨むよう心がけてください。予習して損をすることは絶対にありません。なお、授業には辞書を必ず持参してください。

成績評価の方法

年数回のテストと日頃の出席状況、受講態度を総合して評価します。

教科書

寿里順平他著『スペイン語－基礎と演習－』（教材マルコ社）
長文読解用の教材についてはプリントを適宜用意します。

参考書等

辞書
有本紀明編『西和辞典』（白水社）4,500円
宮城昇編『現代スペイン語辞典』（白水社）4,000円
カルロス・ルビオ、上田博人編『研究社新スペイン語辞典』（研究社）4,860円
桑名一博編『西和中辞典』（小学館）6,120円
これらのうちどれか一冊を入手することが望ましい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語 I B	<small>おお</small> 大 <small>いわ</small> 岩 <small>いさお</small> 功	法B1年	2

講義のねらい

I-A で学ぶ初級文法をふまえて、スペイン語の初歩的な運用能力を身につけることをことをねらいとします。

講義の内容・授業スケジュール

I-B は作文を中心とした演習がメインとなりますが、適宜、文法項目の解説もします。

履修上の留意点

演習が主ですから、必ず予習して授業に臨んでください。宿題をやってくることは最低条件です。授業には辞書を持参してください。

成績評価の方法

年数回のテストと日頃の出席状況、受講態度を総合して評価します。

教科書

寿里順平他著『スペイン語－基礎と演習－』（教材マルコ社）
長文読解用の教材についてはプリントを適宜用意します。

参考書等

辞書
有本紀明編『西和辞典』（白水社）4,500円
宮城昇編『現代スペイン語辞典』（白水社）4,000円
カルロス・ルビオ、上田博人編『研究社新スペイン語辞典』（研究社）4,860円
桑名一博編『西和中辞典』（小学館）6,120円
これらのうちどれか一冊を入手することが望ましい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	<small>くり ぼやし え</small> 栗 林 ゆき絵	法B2・3・4年	2

講義のねらい

基本的な文法事項を整理して、スペイン語のことばのしくみを学習する。

講義の内容・
授業スケジュール

授業は文法事項の説明とそれを応用した練習問題という構成で進める。前期は現在形、後期は過去形、未来形、現在完了を中心に学習する。随時、課題、小テストを実施。

履修上の留意点

指示された課題は必ずやってくること。

成績評価の方法

平常点（出席、課題）6割以上、試験（小テストおよび前後期末）6割以上で合格とする。出席が6割に満たない者には単位を与えない。

教科書

堀田英夫『現代感覚でおぼえるスペイン語のエッセンス』（朝日出版社）1,900円

参考書等

『プログレッシブスペイン語辞典』（小学館）
*辞書はすでに所有しているものはそれを使用すればよいが、未購入の者は上記の辞書を購入するように。

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語ⅡA	<small>かめ やま こう いち</small> 亀 山 晃 一	法B2年	2

講義のねらい

基礎的な文法知識と日常会話によく出て来る表現を確実に身に付け、スペイン語圏で生活したり、旅行するに当って困らない為のコミュニケーション能力を養成する。演習の機会を多くすることにより習得した知識を定着させる。

履修上の留意点

決して、遅刻・欠席をしない。自ら興味を持ち、学習を継続すること。

成績評価の方法

数回のテスト、日頃の出席状況、受講態度を総合して行う。

教科書

開講時、指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語ⅡB	なかやま なおじ 中山直次	法B2年	2

- 講義のねらい 辞書が一冊あれば、スペイン語の文献を何とか読解できるようになることをねらいとする。
- 講義の内容・授業スケジュール 毎回、場面別の対話分を訳読する。次いで、そこから抽出した文法事項を説明し、関連した応用表現を演習する。なお文法については、テキスト形（変化形）から辞書形（基本形）を復元する作業に重点をおいて説明するなどしながら、読解力の増進を図りたい。
- 履修上の留意点 毎時間、必ず予習をして授業に臨んで欲しい。
- 成績評価の方法 授業中の演習や応答の状況、および宿題や小テストの成績などを記録しておき、その合計を数値化して成績の評価とする（いわゆる学期末定期試験は行わない）。
- 教科書 中山著『トーレス一家の人たちと』（芸林書房）
- 参考書等 辞書・参考書等は、現在持っているもので十分間に合うと思う。ただし、辞書は小型の携帯用だけではやや物足りなくなるので、その場合は、『現代スペイン語辞典』（白水社）・『西和中辞典』（小学館）・『新スペイン語辞典』（研究社）などのうちいずれか一冊を補充して欲しい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語ⅡA・ⅡB 〔再クラス〕	くりばやし え 栗林ゆき絵	法B3・4年	2

- 講義のねらい 本年度は会話表現の習得に重点をおく。動詞の活用形を学びながら、基本表現の応用の仕方を理解し、それをういて様々なニュアンスの文を作ることを目指す。
- 講義の内容・授業スケジュール 活用・文法事項の確認→応用作文、会話表現の説明→応用作文、を交互に行う。
- 履修上の留意点 辞書（和西つきが望ましい）は授業中に使用するので必ず持ってくること。基本表現は口について出るよう発音練習を繰り返してほしい。
- 成績評価の方法 出席日数が6割に満たないものは、試験の採点を行わない。小テスト、前後期の試験を合わせて60%以上とることが単位取得の最低条件。
- 教科書 木村琢也『スペインへのパスポート』（同学社）
- 参考書等 『プログレッシブスペイン語辞典』（小学館）
*辞書を所有しない者は上記の辞書を購入するように。

外国語

〔ロシア語〕

科目名	担当者名	配当学科	単位
ロシア語 I A	ひろ た ひで やす 廣 田 英 靖	法B1年	2
ロシア語 I B			

講義のねらい

- 1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号（力点）の法則、イントネーションの5つの型をみっちりやります。
- 2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現（ボデー・ラングウエジを含む）を身につけます。
- 3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。
- 4) 基礎的な初等文法を学びます。
- 5) アルファベットを活字体、筆記体で書けるようにします。

はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を何回も繰り返して練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に馴れてきたらCDを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらおうようにします。授業では各人が何回も発話をさせられますが、全く恐れる必要はありません。全教員が優しく指導してくれますので恥かしがらないことが大切。

講義の内容・授業スケジュール

前期はイントネーションや発音に力点をおき、後期はやさしい短文のききとり、初級文法を学びます。

成績評価の方法

試験は行わず、平常点で評価します。

教科書

杉山秀子他著『21世紀のロシア語』（大学書林）1,800円

参考書等

『露和辞典』

科目名	担当者名	配当学科	単位
ロシア語 I A・I B 〔再クラス〕	すぎ やま ひで こ 杉 山 秀 子	法B2・3・4年	2

講義のねらい

- 1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号（力点）の法則、イントネーションの5つの型をみっちりやります。
- 2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現（ボデー・ラングウエジを含む）を身につけます。
- 3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。
- 4) 基礎的な初等文法を学びます。
- 5) アルファベットを活字体、筆記体で書けるようにします。

はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を何回も繰り返して練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に馴れてきたらCDを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらおうようにします。授業では各人が何回も発話をさせられますが、全く恐れる必要はありません。全教員が優しく指導してくれますので恥かしがらないことが大切。

講義の内容・授業スケジュール

前期はイントネーションや発音に重点をおき、後期はやさしい短文のききとり、初級文法を学びます。

成績評価の方法

試験は行わず、平常点で評価します。

教科書

『21世紀のロシア語』（大学書林）1,800円＋税

参考書等

『露和辞書』

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ロ シ ア 語 II A	ひろ た ひで やす 廣 田 英 靖	法B 2年	2

講義のねらい

ロシア語 IA で学んだ基本的な語尾変化、基礎文法を復習しながら、複文（関係代名詞、形動詞、副動詞など）をさらにわかりやすく具体的に解説し、辞書の引き方を学び、辞書をたよりに簡単な文章を読んだり、日常会話も試みます。

授業の合間には、ロシア文化圏を紹介するビデオを鑑賞し、また Windows で日本語ワープロソフト Word を用いてロシア語の文書を作り、「パソコンでロシア語の処理ができる」ことを実感します。

成績評価の方法

出席および平常点を重視し、授業内に行う小テストを加え評価します。

教 科 書

教場にてプリントを配布。

参 考 書 等

『露和辞書』

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ロ シ ア 語 II B	ひろ た ひで やす 廣 田 英 靖	法B 2年	2

講義のねらい

ロシア語 I B で学んだことを基礎に、新聞・雑誌などから選んだ生の興味ある見出しや短い文章を教材として利用し、ロシア語の理解力を向上させるために、辞書を実用的な文章の学習に取り組みます。

授業の合間には、旧ソ連、新しいロシアおよびその近隣諸国の文化、歴史の理解に役立つビデオを鑑賞し、またユーモアあふれるロシアのアネクドート（小話）や含蓄に富んだことわざにもふれ、生き生きとした実践的なロシア語学習を目指します。

成績評価の方法

出席および平常点を重視し、授業内に行う小テストを加え評価します。

教 科 書

教場にてプリントを配布。

参 考 書 等

『露和辞書』

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ロ シ ア 語 II A ・ II B 〔再クラス〕	すぎ やま ひで こ 杉 山 秀 子	法B 3・4年	2

講義のねらい

1年次の文法事項の練習と、声を出してロシア語がスラスラ読めるように練習します。ロシア語のかんたんな会話と、速読による文意の把握をめざします。

講義の内容・授業スケジュール

- アクセント記号のついた文章をすらすらと読めるようにします。
- 日常つかわれる会話のより複雑なヴァリエーションを学びます。
- やさしい文章を速読で大意がつかめる練習をします。
- かんたんな文を正しく聴きとる練習をします。
- 中等文法のエッセンスを勉強をします。

成績評価の方法

出席と平常点を重視します。

教 科 書

1年次に使用した教科書と文法表。

そ の 他

プリント配布。教場にて指示します。

英 会 話 II

初級の会話クラスです。基本的な日常表現ができることを目指します。達成目標の目安は英検2級合格、TOEFL®のスコアー450点、TOEIC®のスコアー500点程度です。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 会 話 II	<small>なが の こう いち</small> 永 野 光 一	法B選	2

講義のねらい

中級レベルの英会話力を養成。前年度、英会話Iを終了していることが望ましい。

講義の内容・ 授業スケジュール

Q&A やペア・ワーク、グループ・ワーク、ロール・プレイなどを通して英語を聞く・話す力に更にもがきをかけていきます。会話表現の学習やスピーチ・ライティングと発表も行います。

履修上の留意点

授業中の様々な学習活動に積極的に参加すること。

成績評価の方法

出席と授業中の学習活動への積極的な参加を重視。スピーチ・ライティングと発表の成績を入れて総合的に評価。

教 科 書

初回授業時に指定。

英 語 L L II

ランゲジ・ラボラトリ（1号館3・4階のPC教場）を使用し、英語の発音、アクセント、イントネーションなどの口頭練習、日常会話などのヒアリングとスピーキングを訓練します。I、IIともTOEFL®で450点、TOEIC®500点、英検2級合格程度を達成目標とする初級レベルのクラスです。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 L L II	加 藤 佐 和 子 <small>かとう まわこ</small>	法B選	2

講義のねらい

コミュニケーション向上と TOEIC®のスコアアップを中心にリスニングを強化する。

講義の内容・ 授業スケジュール

授業は、前半と後半に分けて行う。前半は、動詞のユースージを中心としたテキストをレッスン1ずつ進む。後半は、TOEIC®の練習問題のテキストを毎回 Unit 1ずつ進む。また、最新の海外の話題・ニュースのリスニングも随時行う。毎回小テストを行う。

履修上の留意点

各自カセット・テープを用意すること。必ず復習をすること。

成績評価の方法

平常点（小テストを含む）50%
まとめテスト50%

教 科 書

English 20（英進社）
5-Minute Quizzes for the TOEIC® Test（マクミラン・ランゲージハウス）

4. 保 健 体 育 科 目

保健体育科目の目標

本学の『保健体育科目』は、総合的人間性の形成を目指し以下の点に留意して開設されています。

人間がひととして生きていくうえで、自己の身体について知り、理解を深めていくことは重要なことであり、健康の増進や、体力の向上のための基本的な知識や習慣を、生涯を通じて知的・身体的遺産として獲得することは、あらゆる人間活動を支える基盤であります。スポーツは、単に楽しみとしてではなく、健康や体力づくりの手段として、また、身体を認識する手段としても重要であると考えられます。本学の『保健体育科目』は、様々なスポーツ種目を通して展開し、その種目の特性に沿った活動や経験を通して、生涯を通じて健康の増進や体力の向上を図ると共に、スポーツを享受する能力を高め、ゆとりある人間社会の形成を実現する能力を学生自らが考え獲得することを目標としています。

さらに、人間疎外条件の多い現代社会において、運動実践の過程で習得される公正、協調、克己、決断、集中などのスポーツの本質的要素であるパーソナリティーを共通の体験を通して得ることで、学生時代でなければ得られない人間関係を構築し、社会性を養い、人間愛豊かな人間を形成することを目指しています。

保健体育科目時間表

(於：本校体育館)

	月 曜 日	火 曜 日	水 曜 日	木 曜 日
限6時				鈴 木 健康・スポーツ論*
7時限	※秋田 バドミントン	田 中 健康・スポーツ論*	※高橋 空手道	
	大 石 ニュースポーツ		村 松 卓球	
	山 口 室内球技		三 幣 バドミントン	

※は、科目の主担当者。

*時間表で教場を確認のこと。

4 . 保健体育科目

健康・スポーツ論 (前期)	〈鈴木淳平〉	573
健康・スポーツ論 (前期)	〈田中佳孝〉	574
健康・スポーツ実習 (卓球)	〈村松 誠〉	575
健康・スポーツ実習 (バドミントン)	〈秋田浩一・三幣晴三〉	576
健康・スポーツ実習 (室内球技)	〈山口良博〉	577
健康・スポーツ実習 (空手道)	〈高橋俊介〉	578
健康・スポーツ実習 (ニュースポーツ)	〈大石武士〉	579
生涯スポーツ実習 (集中前期・基礎／応用)	〈休 講〉	
生涯スポーツ実習 (集中後期・基礎／応用)	〈休 講〉	
生涯スポーツ演習 (シーズン前期) (ゴルフ)	〈森本 葵 他〉	580
生涯スポーツ演習 (シーズン後期) (スキー・スノーボード)	〈鈴木淳平 他〉	581

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ論(前期)	すずき じゅん べい 鈴 木 淳 平	法B選	2

講義のねらい

健康としての具備すべき条件（13項目）の追求と、それに深くかかわる体育、スポーツの本質を見つめて、その科学的、医学的知識を持って、将来の社会的な生活拡充化の意識の育成を図る。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：体育の発生と今日までの各々の時代的変遷と併せて古代体育の目的と現代の体育の具体的目標について。
- 2 時限目：健康のための条件を再確認し、健康と身体運動の意義を人間以外の動物の寿命等を例として認識させる。
- 3 時限目：スポーツの発生経緯、発案者、命名の様相、各々の特徴、分類について
- 4 時限目：スポーツと体力の関係について
- 5 時限目：運動能力発達の原理
- 6 時限目：運動能力の領域
- 7 時限目：運動能力の構造
- 8 時限目：運動能力とスポーツ技能の分析
- 9 時限目：総合体力の定義と要素
- 10時限目：スポーツ実施上の功罪、その一つとしてのスポーツ生涯について
- 11時限目：／
- 12時限目：トレーニング理論全般
- 13時限目：／
- 14時限目：／
- 15時限目：まとめ

成績評価の方法

成績評価は学期末の筆記試験による。

教 科 書

不要。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ論(前期)	たなか よし たか 田 中 佳 孝	法B選	2

講義のねらい

煩雑な現代社会の中で、人間が健康を維持しながら日常生活を営む為には安定した栄養摂取、十分な休養(睡眠)と適度な運動が必要である。これら三つは全て不可欠なものであるが、この講義では殊に栄養の観点から健康に係る諸問題を識り、より積極的な健康維持の為の栄養学的方法を学び、ストレスの多い現代社会生活に対抗できる食生活や健康な学生生活を送る為の栄養学をビタミンを中心に学ぶ。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 人間に必要な栄養素
- 2 戦前・戦後に於ける栄養不足の違いについて
ビタミンとは
- 3 ビタミンの生理作用と薬理作用について
- 4 ビタミン欠乏症について
潜在性ビタミン欠乏症と自律神経失調症について
- 5~7 主なビタミンの働きについて
A、B群、C、D、E、K、U等
- 8~10 健康な学生生活を送る為のビタミン
○飲酒
○喫煙
○スポーツ
○外食、甘党
○ダイエット
○妊娠
- 11~12 健康を保つ食べ物
- 13 筆記試験

履修上の留意点

1. 遅刻は認めない。
2. 授業中の携帯電話の使用は厳禁。違反者は不合格とする。

成績評価の方法

2/3以上の出席をした者に対し筆記試験を行ない、優~不可の評価を行なう。出席回数不足した者は不合格とする。

参 考 書 等

『健康科学ライブラリー』1、4、7、8、9巻(大修館)
『0歳からのビタミンバイブル』／『貝原益軒の養生訓』／『サーロインステーキ症候群』
『食事療法』／『新健康になるシリーズ』(女子栄養大学)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 (卓球)	むら まつ まこと 村 松 誠	法B1選	2

講義のねらい

文明発達の著しい今日、日常生活の中での動的プログラムは、益々減少しつつある。このような生活環境、特にフレックスB学生に対して、例え少ない時間であっても、卓球を通じて体を動かすことを主なねらいとしたい。特に卓球は瞬時の動きを必要とするから、意識的に敏捷な動きを課したい。

講義の内容・ 授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、目標の説明
- 2 時限目：ラケットの種類の特徴、ラケットの握り方、ラケットとボールを使った遊び
- 3 時限目：サービス、レシーブ、フォアハンドドライブ
- 4 時限目：サービス、フォアハンドドライブ、スマッシュ
- 5 時限目：サービス、バックハンド
- 6 時限目：サービスレシーブ、バックハンド
- 7 時限目：総合練習
- 8 時限目：総合練習 シングルスゲーム
- 9 時限目：シングルスゲーム
- 10時限目：〃
- 11時限目：〃
- 12時限目：ダブルスゲーム
- 13時限目：〃
- 14時限目：〃
- 15時限目：まとめ、テスト

成績評価の方法

出席を重視する。

教 科 書

服装は運動着、体育館用シューズ。
用具は全て貸与する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 (バドミントン)	あきた こういち みぬさ はるみ 秋田 浩一・三幣 晴三	法B1選	2

講義のねらい

バドミントンは、大衆スポーツとして日本人には非常に親しい存在である。幼いころからバドミントンラケットとシャトルコックで遊びとしてラリーを楽しんでいる。にもかかわらず、バドミントンを正式のルールのもとで実施できる人は非常に少ない。これは、おそらく学校体育の中で実施している学校がすくないことによるものであろう。

本講義では、手軽に実施できて、しかも運動量も予想以上に多く、虚々実々の駆け引きを必要とするバドミントンを、生涯スポーツとして長く楽しめるように、そのための基礎知識と技術を提供しようとするものである。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション・バドミントンの基礎知識・ラリー練習
(バドミントンのスイング技術・グリップ)
- 2 時限目：サーブの基本技術・フォアとバックスイングの基本技術
簡易ゲーム (ダブルスのラリーゲーム)
- 3 時限目：スマッシュの基本技術/ネット際のプレー技術
簡易ゲーム (ダブルスのラリーゲーム)
- 4 時限目：バドミントンコートの説明・ダブルスゲームの運び方、ルールの説明
正式ルールでのダブルス練習試合
- 5 時限目：ダブルスゲーム、1部リーグから4部リーグまでのリーグ戦第1日目
- 6 時限目：同 第2日目
- 7 時限目：同 第3日目
- 8 時限目：同 第4日目
- 9 時限目：同 第5日目
- 10 時限目：シングルスゲームの運び方、ルールの説明、正式シングルスゲームでの練習試合
- 11 時限目：シングルスゲーム、1部から7部までのリーグ戦
- 12 時限目：同 第2日目
- 13 時限目：同 第3日目
- 14 時限目：ダブルス、トーナメント優勝戦
- 15 時限目：シングルス、トーナメント優勝戦

成績評価の方法

服装：一般的な運動服装
シューズ：運動靴 (体育館用として中履きのシューズを使用すること)

教 科 書

出席を主体とし、それに技術、ルール、マナーなどの理解度を加える。

そ の 他

バドミントンラケット・シャトルコックは大学で用意する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 (室内球技)	やまぐちよしひろ 山 口 良 博	法B1選	2

講義のねらい

バスケットボール、バレーボールを教材とし、それぞれの競技を楽しむための基礎技術やルールを学びながら、健康・体力を維持し、自己の身体への認識を深め、ゲームを通じて、これらの競技を理解すると共に、豊かな人間関係づくりを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

1時限目：オリエンテーション、授業内容の説明
(バスケットボール)
2時限目：ボールハンドリング、ドリブルシュート、グループ分け
3時限目：ハーフコート2対1、ゲーム (1次リーグ)
4時限目：ハーフコート3対2、ゲーム (1次リーグ)
5時限目：ハーフコート4対3、ゲーム (1・2次リーグ)
6時限目：ハーフコート3対3、ゲーム (2次リーグ)
7～9時限目：ゲーム (2次リーグ)
(バレーボール)
10時限目：オーバー・アンダーパス、ゲーム (リーグ戦)
11時限目：レシーブ・スパイクの基本、ゲーム (リーグ戦)
12時限目：サーブ・レシーブ・スパイクの応用、ゲーム (リーグ戦)
13～15時限目：ゲーム (トーナメント)

履修上の留意点

服装は、一般的な運動服装とする。体育館シューズを用意すること。

成績評価の方法

出席点 (70点)、実技点 (20点)、態度点 (10点)、60点以上を合格とする。

そ の 他

種目の内容については、第1回目の授業時に決定する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 (空手道)	たかほし しゅんすけ 高橋 俊介	法B1選	2

講義のねらい

空手道は、男子、女子を問わずに誰でもができ、空手道を通して礼節を重んずる精神を養成することを目的とする。また、身体各部を均等に動かし呼吸運動を伴うことによって内臓諸器官の機能を向上させることができる優れた健康法でもある。さらに護身術としても楽しく特殊な技術を習得する授業である。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：空手道の歴史と技の説明
- 2 時限目：自然体での上段直突、中段直突、上段揚受、中段外受
- 3 時限目：閉足立ちによる前蹴り、前屈立ちによる逆突、下段払い
- 4 時限目：前屈立ちによる移動基本、追突、前蹴り
- 5 時限目：前屈立ちにて後方に下がって上段揚受、中段外受、下段払い、下段払い受
- 6 時限目：自然体から左右の猿臂、前屈立ちで身体を回転してからの猿臂打
- 7 時限目：総合的に反復して練習
- 8 時限目：総合的に反復して練習
- 9 時限目：2人組で相対して攻撃技と防禦技をかけ合う約束組手に入る。
- 10時限目：約束組手の中に猿臂打、手刀打を入れて護身術に入る。
- 11時限目：総合的に反復して練習
- 12時限目：総合的に反復して練習
- 13時限目：総合的に反復して練習
- 14時限目：総合的に反復して練習
- 15時限目：実技試験

履修上の留意点

服装は、全員が授業用の空手衣を着用する。

成績評価の方法

授業出席状況、授業の参加態度、実技テストにて総合的に評価する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 (ニュースポーツ)	おお いし たけ し 大 石 武 士	法B1選	2

講義のねらい

現在、ニュースポーツとして注目されている簡単で安全、手軽にできるスポーツチャンバラやミニサッカー・バウンドテニスなど、それぞれのスポーツを余暇ゲーム感覚で楽しみながら、現在および将来の健康の保持増進を目的とする。そして、生涯スポーツとして取り組むことのできる基本的な姿勢を養う。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：スポーツチャンバラ：基本姿勢
- 3 時限目：スポーツチャンバラ：受け、体捌きの基本動作
- 4 時限目：スポーツチャンバラ：足捌き、打の基本動作
- 5 時限目：スポーツチャンバラ：応用打法
- 6 時限目：スポーツチャンバラ：受打の基本動作
- 7 時限目：スポーツチャンバラ：バウンドテニス・ミニサッカー
- 8 時限目：スポーツチャンバラ： 〃 〃
- 9 時限目：スポーツチャンバラ： 〃 〃
- 10時限目：スポーツチャンバラ： 〃 〃
- 11時限目：スポーツチャンバラ： 〃 〃
- 12時限目：スポーツチャンバラ： 〃 〃
- 13時限目：総合
- 14時限目：総合
- 15時限目：テスト

履修上の留意点

服装：一般的運動服装で身軽に動きやすいものがよい。シューズ・その他のものは不要。

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行なう。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ演習 (シーズン前期・基礎/応用) ゴルフ	もり もと まもる 森 本 葵 他	法B選	2

講義のねらい

「健康スポーツ実習」で行われているゴルフ授業を一步進めて、ゴルフコースを使用してゴルフを基本からラウンドプレーまでを体験することをねらいとする。したがって、初めてゴルフを体験しようとする初心者から、経験者までを対象とするカリキュラムが組まれている。ゴルフの技術的向上を主たるねらいとするが、プレーヤーとしてのマナーやエチケット、更に同伴競技者とのコミュニケーションも本講義の重要なねらいとなる。生涯スポーツとして、ゴルフの良さを十分に楽しみ、ゴルフを通して良き人間関係を作っていくための基礎を学んでほしい。

講義の内容・授業スケジュール

- オリエンテーション 1回目 4月10日(土) 12:20~12:40 2研-102教場
2回目 4月17日(土) 12:20~12:40 2研-102教場
※ 本オリエンテーションにて、受講許可書を発行いたします。
1回目のオリエンテーションで定員に達しない場合、2回目を実施します。
- 事前授業 7月23日(金) 13:00~16:00 2研-102教場「ゴルフの基礎知識」
- 実習内容および現地講義
 - 1日目 9月6日(月) 実技:12:50~17:20 打撃練習
講義:10:40~12:10 17:30~18:00《ゴルフスイングの基本》
※注意:1日目は、玉川校舎で実施する。
 - 2日目 9月7日(火) 実技:13:30~16:30 打撃練習
講義:19:00~21:00 《ゴルフのマナーやエチケット》
 - 3日目 9月8日(水) 実技:9:00~16:30 打撃練習・ラウンド
講義:19:00~21:00 《ゴルフのルール・ラウンドについて》
 - 4日目 9月9日(木) 実技:9:00~16:30 打撃練習・ラウンド
講義:19:00~21:00 《ラウンドの反省と総括》
 - 5日目 9月10日(金) 実技:9:00~12:00 ラウンド

履修上の留意点

生涯スポーツ演習 シーズン前期・基礎/応用 ゴルフを履修する場合は、上記オリエンテーションに出席し、担当者の受講許可を受けなければなりません。

- 1) 実習日程:9月6日(月)~9月10日(金)の3泊5日(現地集合解散)
- 2) 場 所:①宿 泊 ホテル安比グランド 電話0195-73-6400 FAX0195-73-5025
岩手県岩手郡松尾村安比高原
②練習場 玉山ゴルフクラブ 電話019-683-3100 FAX019-683-3100
③コース 安比高原ゴルフクラブ 電話0195-73-5311 FAX0195-73-5044
- 3) 定 員:40名
- 4) 集合解散:現地(ホテル安比グランド)
※希望者多数であれば、格安なバスの利用も可能です。詳細については、オリエンテーションにおいて説明します。
- 5) 受講料:39,500円(左記金額には、交通費は含まれない。)
証明書自動発行機(教務部ロビー設置)で受講料を納入後、納入書を保健体育部(第2研究館9階資料室)に提出すること。期間内に納入しない場合は、受講することができないので注意して下さい。
納入期間:5月24日(月)~6月5日(土)

6) 服装・用具

- ① 一般的なゴルフ服装(セーター・ウインドブレーカーも天候によって必要)
- ② ゴルフシューズ(ソフトスパイクに限る)は、必ず用意すること。ただし、練習場においては運動靴でも可。
- ③ グローブは、必ず各自で用意すること。
※ゴルフクラブ・キャディーバッグは大学で用意するが、自分の物を持参してもよい。

成績評価の方法

オリエンテーション・事前授業および実習(5日間)によって2単位が認められる。成績は、講義・実技の出席状況、講義・実技テスト、実習参加態度等、総合的に評価される。

そ の 他

都合で参加できなくなった場合は、早急に保健体育部(第2研究館9階資料室)に連絡すること。なお、受講料の一部は、返却されないことがあります。

科目名	担当者名	配当学科	単位
生涯スポーツ演習 (シーズン後期・基礎/応用) スキー・スノーボード	すずき じゅん べい 鈴木 淳平 他	法B選	2

講義のねらい

現在わが国において、スキーやスノーボードに代表されるスノースポーツは、国民に広く普及し「生涯スポーツ」として定着している。これらを楽しむ為に、実習および講義によって基礎技術や練習方法、ならびにゲレンデにおけるマナーなどについて理解を深めていきたい。実習はそれぞれの技術レベルに応じて班分けして実施する。コースの内容は以下の通りである。

○スキー・スノーボード基礎コース：雪面に慣れることから始まり、基礎的な滑走技術の習得を目指す。

○スキー・スノーボード応用コース：基礎コースを更に発展させ、安全で楽しくゲレンデを滑る技術の習得を目指す。

講義の内容・授業スケジュール

1. オリエンテーション 1回目 4月10日(土) 12:20~12:40 2研-102教場
2回目 4月17日(土) 12:20~12:40 2研-102教場
※ 本オリエンテーションにて、種目決定と受講許可書発行を行います。
1回目のオリエンテーションで定員に達しない場合、2回目を実施します。
2. 事前授業 12月20日(月) 13:00~16:00 2研-102教場「スノースポーツの基礎知識」
3. 実習内容および現地講義
 - 1日目 2月14日(月)
午後、現地ホテルロビー集合
午後：班別実習および全体講義「スノースポーツの基礎技術解説および安全・マナー」
 - 2日目 2月15日(火)
午前・午後：班別実習および全体講義「スノースポーツの応用技術解説」
 - 3日目 2月16日(水)
午前・午後：班別実習および全体講義「スノースポーツと環境」
 - 4日目 2月17日(木)
午前・午後：班別実習および全体講義「本実習の反省とまとめ」
 - 5日目 2月18日(金)
午前・午後：班別実習 午後、現地解散の予定

履修上の留意点

本講座は、生涯スポーツ演習 シーズン後期・基礎/応用ですが、履修する場合は、スキーまたはスノーボードのどちらかの種目とします。また、上記オリエンテーションに出席し、担当者の受講許可書を受けなければなりません。受講要項および本講義内容をよく確認して下さい。

- 1) 実習日程：平成17年2月14日(月)~2月18日(金)の4泊5日(現地集合解散)
- 2) 場 所：実習 安比高原スキー場
宿泊・現地講義 安比グラウンド 電話(0195)73-5019
- 3) 定 員：スキー 30名
スノーボード 20名(但し、初心者に限る)
- 4) 受講料：50,000円 ※なお左記金額には、交通費は含まれない。
証明書自動発行機(教務部ロビー設置)で受講料を納入後、納入書を保健体育部(第2研究館9階資料室)に提出すること。期間内に納入しない場合は、受講することができないので注意して下さい。
納入期間：5月24日(月)~6月5日(土)
- 5) 用 具：用具は現地レンタル可能(有料)。
- 6) 特記事項：卒業年次生の追再試、1~3年生の追試験と重なっているため特に注意すること。

成績評価の方法

オリエンテーション・事前授業および実習(5日間)に参加終了し、2単位が認められる。成績評価の方法は、事前授業参加状況、各班において実施する実技テストと実習参加態度、並びに技術や理解度も含めて総合的に成績評価がなされる。

そ の 他

都合で参加できなくなった場合は、早急に保健体育部(第2研究館9階保健体育部資料室)に連絡すること。なお、参加費は返却されないことがある。

Ⅱ 専 門 教 育 科 目

法 律 学 科 フ レ ッ ク ス B

授業時間表の区分「A」の科目を履修する場合は、
フレックス A の頁を参照してください。(→P. 279)

II. 専門教育科目

法律学科

※印の科目については、法律学科フレックス A の頁を参照してください。

法 学 概 論	〈北野 かほる〉	587
〔15以前入学生：法学概論A〕		
公 法 入 門	〈塩入みほも・佐藤多美夫〉	588
〔15以前入学生：法学概論B〕		
私 法 入 門	〈大 宮 隆〉	589
〔15以前入学生：法学概論B〕		
憲 法	〈日 笠 完 治〉	590
民 法 総 論	〈大 宮 隆〉	590
刑 法 総 論	〈関 根 徹〉	591
会 社 法	〈荒 木 正 孝〉	592
行 政 法 総 論	〈塩 入 みほも〉	592
裁 判 法	〈雨 宮 眞 也〉	593
国 際 法	〈王 志 安〉	594
※比 較 憲 法	〈西 修〉	(306)
新 入 生 演 習	〈北野かほる・川口幸美・高橋洋城・竹中智香〉	595
債 権 総 論	〈河 野 弘 矩〉	596
物 権 法	〈今 尾 眞〉	597
※法 社 会 学	〈岡 寄 修〉	(306)
日 本 法 制 史	〈茂 野 隆 晴〉	598
西 洋 法 制 史	〈休 講〉	
政 治 学 原 論	〈大 塚 桂〉	599
※マス・コミュニケーション論 〈 休 講 〉		
※政 治 史	〈村 井 良 太〉	(310)
経 済 原 論	〈藤 原 碩 宣〉	600
行 政 学	〈田 丸 大〉	600
※法 律 時 事 英 語	〈牧 野 和 夫〉	(312)
商 法 総 則 ・ 商 行 為 法	〈関 口 雅 夫〉	601
刑 法 各 論	〈山 口 邦 夫〉	601
刑 事 政 策	〈斎 藤 静 敬〉	602
債 権 各 論	〈長 坂 純〉	602
※英 米 法	〈北 野 かほる〉	(316)
※仏 法	〈上 井 長 久〉	(317)
※独 法	〈山 口 邦 夫〉	(318)
法 思 想 史	〈高 橋 洋 城〉	603
演 習 I	II 〈青 野 博 之〉	604
演 習 I	II 〈大 宮 隆〉	604
演 習 I	II 〈北 野 かほる〉	604
演 習 I	II 〈金 子 昇 平〉	605
演 習 I	II 〈関 口 雅 夫〉	605
演 習 I	II 〈西 修〉	606
演 習 I	II 〈佐 藤 多美夫〉	606
演 習 I	II 〈間 瀬 清 史〉	607
演 習 I	II 〈山 田 泰 彦〉	607

※外書講読 I・II (英書)	〈北野かほる〉	(338)
※外書講読 I・II (英書)	〈金子昇平〉	(338)
※外書講読 I・II (英書)	〈牧野和夫〉	(339)
※外書講読 I・II (仏書)	〈荒木正孝〉	(339)
※外書講読 I・II (独書)	〈休講〉		
※外書講読 I・II (中国書)	〈江林英基〉	(340)
担保物権法	〈長坂純〉	608
家族法	〈竹中智香〉	609
有価証券法	〈島原宏明〉	610
登記法	〈田沼浩〉	610
保険・海商法	〈加瀬幸喜〉	611
民事訴訟法	〈間渕清史〉	611
刑事訴訟法	〈松本英俊〉	612
労働法	〈藤本茂〉	613
社会保障法	〈原田啓一郎〉	614
行政救済法	〈金子昇平〉	615
税法	〈岸田貞夫〉	615
地方自治法	〈富井幸雄〉	616
国際紛争解決法	〈王志安〉	617
国際私法	〈笠原俊宏〉	618
環境法	〈休講〉		
経済法	〈荒井登志夫〉	618
※消費者法	〈河野弘矩〉	(343)
知的財産権法	〈盛岡一夫〉	619
※国際取引法	〈休講〉		
民事執行・保全法	〈橋本聡〉	619
倒産処理法	〈雨宮眞也〉	620
※法哲学	〈高橋洋城〉	(346)
※法律学特殊講義	〈関口雅夫〉	(347)
財政学	〈速水昇〉	620
国際関係論	〈南山淳〉	621
経済政策	〈休講〉		
※社会政策	〈原田啓一郎〉	(349)
※外交史	〈休講〉		
※政治思想史	〈休講〉		
実務演習 I	〈中野辰久〉	622
実務演習 II	〈鶴井俊吉・上野雅祥・小林 覚・濱中善彦〉	622
実務演習 III	〈木村美隆〉	623
現代企業論	〈代田純〉	623
簿記学論	〈鈴木勝浩〉	624
経営学論	〈百田義治〉	625
会計学論	〈石川純治〉	625

科目名	担当者名	配当学科	単 位
法学概論 (前期)	きたの野 かほる	16入学生/法B1必	2
法学概論 A (前期)		15以前入学生/法B1必	

講義のねらい

法学部に入ってはじめて法学を学ぶひとに、法学科目履修の前提になるような知識を身につけてもらうことが、第1のねらいです。法学学習の上で必要になる、現実をイメージしながらその法的構造を読みとる力の基礎的感覚を開発することが、第2のねらいです。はじめてのことばかりで、最初はとまどうかもしれませんが、休まずに学習するよう心がけてください。

講義の内容・授業スケジュール

1. 法のイメージと法学部の講義科目
 - (1) 法とは何か
 - (2) 法学部ではどう学ぶか
2. 法の一般的分類
 - (1) 法の分類
 - (2) 法令の種類
3. 近代日本法とその社会
 - (1) 国家と社会
 - (2) 近代日本が受け継いだ法
 - (3) 近代法の変容
4. 立法の角度からの法
 - (1) 制定法主義とその法源
 - (2) 法の体系性
5. 司法の角度からの法
 - (1) 紛争解決の仕組みと機構
 - (2) 紛争の種類と解決の種類
6. 法令の解釈
 - (1) 事実の法的再構成
 - (2) 事実への法令のあてはめ

履修上の留意点

半期科目で集中的に多くのことを学びます。継続的に出席することが必要です。授業中に小テストを実施することもありますので、休まないようにしてください。

成績評価の方法

前期定期試験。小テストやレポートなどが課される場合は、その評価を加味します。

教科書

特に指定しません。参考書などは随時紹介します。授業中に参考資料を配ることもあります。配付資料は原則として研究室などでの追加請求には応じませんので、必ず出席して受け取るようにしてください。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
公 法 入 門 (前期)	しおいり 塩入みほも・さとうたみお 佐藤多美夫	16入学生/法B1必	2
法 学 概 論 B (前期)		15以前入学生/法B1必	

講義のねらい

平成16年度から、従来の法学概論を区分けして、法学概論・公法入門・私法入門とし、それぞれ2単位ずつ、計6単位とした。今年度は、公法入門を2名で6回ずつ担当する。内容は、前半を刑法入門、後半を行政法入門とし、それぞれ最終回に試験を行う。

講義の内容・授業スケジュール

前半 (刑法入門)

1. 刑法とはどのような法律か (国家法体系の中での位置づけ)
2. 刑罰について (国家刑罰権・刑による威嚇と現実の裁判)
3. 犯罪が成立するための要件 (なぜ逮捕されるのか・裁判を受ける権利)
4. いわゆる罪刑法定主義について (事後法の禁止と法の適正手続)
5. まとめと質疑応答
6. 試験

後半 (行政法入門)

1. 行政法とは何か
2. 行政法の法源
3. 行政法の領域
4. 法治行政
5. 行政作用と法
6. 試験

履修上の留意点

前半と後半で担当者も講義内容も異なるため、各担当者の話は、5回しかない。したがって、1回の欠席もゆるがせにできない。さもなければ試験の成績にひびくことになる。

成績評価の方法

成績は、前半と後半の各試験を合計して評価するが、どちらか一方が不可となれば単位を取得することが難しくなるので注意すること。

教 科 書

前半・後半ともに教科書は使用しない。

参 考 書 等

参考書はそのつど紹介するので、積極的に読書するようにしてほしい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
私法入門(前期)	おおみや たかし 大宮 隆	16入学生/法B1必	2
法学概論B(前期)		15以前入学生/法B1必	

講義のねらい

この科目は、法律学科の新生者がこれから私法分野の科目を学んでいく上で、必要な基礎的な知識を身につけていくために設けられているものです。

本来、「私法」は個人の日常生活に密接に関連した問題を扱い、身近な分野であるはずですが、「公法（憲法や刑法）」に比べると近寄りにくい。その理由は、登記簿・契約書・手形・小切手難一般の学生にとって必ずしも親しみのわかないものが次々に出てくるし、少なくとも、学生の日常生活からかけ離れ、具体的問題としてイメージすることができないことにあります。そこで、現実の社会生活における身近な問題や具体的事案を多く取り上げ、興味を持てるように講義を進めます。

講義の内容・授業スケジュール

学習の順番や方法は、それぞれの先生が工夫して、講義を進めていきますが、共通して学ぶ項目は以下の通りです。

1. 法の分類と私法の意義
 - (1)公法と私法 (2)私法 (3)公私混同法 (4)新たな方領域
2. 私法の基本原理
 - (1)序説 (2)近代私法の基本原理 (3)現代における近代私法原理の修正
3. 私法の法源
 - (1)序説 (2)制定法 (3)慣習法 (4)判例 (5)条理
4. 私法の効力
 - (1)序説 (2)時に関する効力 (3)人に関する効力 (4)場所に関する効力
5. 私法の適用と解釈
 - (1)序説 (2)裁判外の紛争解決 (3)裁判による紛争解決 (4)私法の適用と解釈
6. 私法上の権利
 - (1)権利とは何か (2)私権の種類 (3)私権の社会性
7. 財産法と家族法

成績評価の方法

半期科目であるため、前期末に行う試験による評価が中心になる。しかし、先生によっては、出席点や質疑と応答による平常点を加味することもあります。

教科書

担当の先生から指示があった場合には、それに従ってください。

参考書等

講義の際に紹介するので、積極的に読書するようにしてください。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
憲 法	ひ 日 かさ 笠 かん 完 じ 治	法B1必	4

講義のねらい

憲法学を体系的に理解できるようにする。ただ、憲法学のすべての領域に触れることはできないため、基礎的項目や重要論点を取り上げ講義する。受講者が、講義を聴講するのみならず予復習を行い、憲法学的に思考する能力を修得することを期待する。

講義の内容・授業スケジュール

(前期) 第1回イントロダクション、第2～7回憲法原理(国民主権、法の支配、権力分立、象徴天皇制、平和主義)、第8～11回統治機構論(国会、内閣、裁判所)、第12回財政と地方分権、第13回憲法改正などについて学説の検討を交えながら講述する。

(後期) 第1～4回基本的人権の理論(人権の歴史と体系、人権享有主体性、人権の効力、公共の福祉と人権の限界)、第5回人身の自由、第6～9回精神的自由権、第10回経済的自由権、第11回国務請求権、第12回社会権、第13回参政権などについて判例解説などを交えながら講述する。

履修上の留意点

授業後に質問を受け付けたい。積極的に質問して欲しい。

成績評価の方法

原則的には、定期試験の結果に基づき評価を行う。なお、レポート提出などの日常的学習活動については、加点主義で考慮する。

教科書

日笠完治『憲法がわかった』(改訂版)(法学書院)2003年 2,600円

参考書等

法令集として、『ポケット六法』『コンパクト六法』『デューリー六法』などの最新版が必要。判例集として、『憲法判例百選Ⅰ・Ⅱ[第4版]』『憲法判例集』などを参考に。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
民 法 総 則 (後期)	おお 大 みや 宮 たかし 隆	16入学生/法B1必 16編入学生/法B1・2・3・4必	4

講義のねらい

民法は、個人相互間の私的生活関係の基本法として、財産(物の所有や契約など)と家族(夫婦・親子や相続など)に関する事項を規律する法律である。日本の民法典は、総則・物権・債権・親族・相続の配列で、五編より構成されているが、本講義の対象は、総則編である。総則には、全編に共通な規定と、どの編にも入れることができない規定が集められている。民法の学習にあたっては、条文数が多いことや、内容が複雑で技術的な構成をとっているため、親しみ難い面があるので、実際の社会生活から遊離することのないように、例示をできるだけ多くして説明することを心がけている。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 民法とはどのような法律か
民法典の沿革、構成
- 2 民法の法源(財産と家族に関する法律はどのような形で存在するのか)
- 3 民法の解釈
- 4 民法の指導原理
- 5 権利の主体——自然人・法人
- 6 権利の客体——物
- 7 権利の変動原因——法律行為・意思表示・代理・無効及び取消・条件及び期限・期間・時効

履修上の留意点

教科書をしっかり読んで、出席してもらいたい。

成績評価の方法

数回のテストを予定している。その結果と、学期末試験の成績を総合して、評価する。

教科書

河野弘矩『改訂版民法総則講義』(八千代出版)3,100円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
刑 法 総 論 (後期)	せき 関 ね つよし 徹	16入学生/法B1必	4
		15以前入学生/法B1・2・3・4選	

講義のねらい

刑法とは、犯罪とそれに対する制裁を規定した法律をいい、その中心は刑法典です。この刑法典は、1条から264条までありますが、73条以下で、個々具体的な犯罪とそれに対する制裁について規定しています。刑法総論は、これら個々の犯罪および制裁の共通部分について説明することをその任務とし、その中心となるのは、1条から72条です。本授業では、このような刑法総論における解釈論上の諸問題について講義します。刑法解釈論の面白さの一端でも、感じとっていただきたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

第1回～第2回 刑法の意義・基本原理・刑罰等
 第3回～第6回 構成要件
 第7回～第10回 違法性
 第11回～第14回 責任
 第15回～第16回 未遂・予備
 第17回～第20回 共犯

履修上の留意点

時間の関係上、基礎的な部分についての説明は、簡潔にせざるをえません。あらかじめ教科書に一通り目を通しておいていただきたいと思います。授業は、刑法総論における解釈が中心になります。

成績評価の方法

学期末の試験の結果により、評価します。

教 科 書

特に指定はしません。最初の授業のときにいくつか紹介しますが、それ以外でも、刑法総論に関するものであれば、かまいません。なお、刑法という実定法の解釈に関する授業ですから、必ず六法を用意して下さい。

参 考 書 等

参考書についても、最初の授業のときに、紹介します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
会 社 法	あら き まさ たか 荒 木 正 孝	法B2・3・4選必	4

講義のねらい この講義では、会社法（総則、合名会社、合資会社、有限会社、株式会社）の基礎的かつ基本的な事項について解説するが、とくに現代の経済活動において重要な役割を果たしている株式会社の法規制について多くの時間を割くつもりである。

講義の内容・授業スケジュール 大企業は全て株式会社の形態をとり、その株式会社が現代の経済を担い、多くの人々に商品やサービスを提供し、労働の場を提供するという社会的機能を通して国民の生活に計り知れない大きな影響を及ぼしている。そこで、この講義では、株式会社の生成、機能、構造、消滅などの私法的側面を中心に規制する株式会社法に重点を置き、そこでの重要問題を採り上げ、判例や学説の対応、実務の取り扱いなどを検討し、会社法の基本原則を理解してもらおうつもりである。

履修上の留意点 会社法は商法の重要な部分であり、その中心は、商法第二編会社、有限会社法などの規定である。商法は、民法を一般法とする特別法であるから、会社法に限らず、商法を学ぶ際には、その基礎となる民法総則、物権法、債権法などの知識があると一層理解しやすい。ただ、講義の内容を理解するために必要な範囲で民法＝財産法の規定や基本概念にも触れるつもりであるから、財産法の全てを履修していなくても受講には差し支えない。
平成13年、14年および15年に重要な商法の改正が行なわれたので、必ず平成16年版の六法をもって講義に臨んで下さい。

成績評価の方法 年度末に行なわれるペーパーテストの点数で評価します。

教科書 荒木正孝著『新企業法』（成文堂）2003年

参考書等 鴻・落合・岩原・江頭編『会社判例百選』（第6版）（有斐閣）
奥島・中島編『商法演習Ⅰ（会社法）第3版』（成文堂）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
行 政 法 総 論	しお いり 塩 入 みほも	15以降入学生/法B2・3・4選必	4

講義のねらい 存在する法の約9割は行政法です。この講義では、その行政法の基本的な仕組と理論一般について学びます。行政法は、民法や刑法、憲法等の他の法分野とは異なって、学生レベルではあまり日常生活に直接関連がないと感じられがちですが、例えば交通取締・治安等に関わる警察権行使の適法／違法や国家賠償請求の可否など、実は知っておくと便利なおことがたくさんあります。また、政治を学ぶ上では、やはり行政法の知識を備え、日本の統治構造を支えている法的事態を知ることが重要でしょう。それを学ぶのが当講義の狙いです。

講義の内容・授業スケジュール 内容としては、まず総則——行政法学の基本原則、諸概念、諸制度等に関する基礎論——を説明し、次に、行政作用論——行政の各種行為形式とその法的性質（法的拘束力の有無など）、行政上の強制措置・制裁、行政捜査など——について講義していきます。

履修上の留意点 行政法を初めて学習する者でもその基礎知識を一年間で習得できるよう、判例・通説を引用しながら、出来るだけ解り易く且つ簡潔に説明していくつもりです。特に公務員や行政書士等の国家試験を目指している学生のために、出題頻度の高い問題は都度指摘します。

成績評価の方法 試験は学年末試験のみ。成績評価は、学年末試験の結果と平常点（不定期に確認する出欠）の総合判断により行ないます。

教科書 特定の教科書は使用しません。但し、オリジナルノートが作れるように毎回丁寧に板書します。

参考書等 最初の講義の際に紹介します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
裁 判 法	あめ みや まさ や 雨 宮 眞 也	15以降入学生/法B2・3・4単位	4

講義のねらい

主として、わが国の裁判制度について、その組織と運用の実情を理解させることをもって、この講義の目的とします。

裁判とは、社会関係における利害の衝突、紛争を解決し調整する規律を定めるための、法的な権威を有する第三者の判定です。

社会関係の複雑化と国民の権利意識の高まりとに従い、現代社会において裁判の果たすべき役割は、年々その比重を増してきています。

裁判制度の現にある姿を明らかにするとともに、そのあるべき姿を求めるため、特に、裁判の本質、裁判の構造、裁判の論理、裁判と法律の解釈、裁判と事実認定、裁判の機能、判例の成立と意義等の諸論点について、重点を置いて講義します。

裁判における裁判官の思考プロセスにも触れ、法的思考の何たるかをも明らかにしたいと考えています。

講義の内容・授業スケジュール

- 講義は、後掲の教科書に従って次のように進めて行きます。
- (前期)
- 第1章 法と裁判の役割
 - 1 民事法の実現と民事手続
 - ① 紛争
 - ② 法規範
 - ③ 訴訟
 - 2 刑事法の実現と刑事手続
 - ① 刑事手続の目的
 - ② 適切な手続の保証
 - ③ 刑事裁判
 - 3 司法権と違憲審査権
 - ① 司法権と裁判所
 - ② 違憲審査権と司法権の独立
 - 第2章 裁判所制度
 - 1 最高裁判所
 - 2 高等裁判所
 - 3 地方裁判所
 - 4 家庭裁判所
 - 5 簡易裁判所
 - 第3章 法律家の役割
 - 1 裁判官
 - 2 検察官
 - 3 弁護士
 - 4 準法律家
 - 5 法曹養成
- (後期)
- 第4章 裁判の仕組み
 - 1 民事裁判
 - ① 民事訴訟の基本構造
 - ② 訴えの提起
 - ③ 審理の展開
 - ④ 証拠調べ
 - ⑤ 判決
 - ⑥ 上訴（不服申立て）
 - 2 家事裁判
 - 3 行政裁判
 - ① 行政訴訟の類型
 - ② 行政訴訟の特色
 - 4 刑事裁判
 - ① 刑事手続の流れ
 - ② 捜査手続
 - ③ 公訴の提起と検察官の役割
 - ④ 裁判手続の基本原則とその運用
 - ⑤ 刑事裁判の課題
 - 5 憲法裁判
 - ① 違憲審査制と憲法裁判
 - ② 違憲審査権の運用状況
 - 第5章 裁判をめぐる現代的課題
 - 1 市民の裁判を受ける権利
 - 2 市民の司法参加
 - 3 国際化と裁判

履修上の留意点

教科書を予め読んで、疑問点を把握しておいて下さい。

成績評価の方法

期末試験における論文式テストにより評価します。

教科書

市川正人外著『現代の裁判』（有斐閣アルマ）

参考書等

兼子一・竹下守夫『裁判法』（有斐閣法律学全集）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 際 法	おう 王 し あん 志 安	15以前入学生/法2・3・4選必	4

講義のねらい

国際法学の基礎知識を修得し、国際関係の現状を法的側面から理解する能力を養う。

講義の内容・
授業スケジュール

国際法学の全体を様々な基礎的課題に細分し、毎回の講義においてできるだけ一つの課題を絞り、それぞれ基礎概念、理論体系、そして事例分析の形で解明する。前期においては、国際法の史的展開、国際法と国内法との関係、国際法の法的性質といった基礎知識から着手し、国家および国際機構にかかわる様々な法的問題を取り上げていきたい。たとえば、国家の分裂や統合に生じた国家の承認や承継の問題、違憲的な政府変更やクーデターに関する国際的対応の法的性格、国内裁判における未承認政府や国家の地位、そして国連を中心とした国際機構の法的地位や機能の形態などを分析する。

後期では、前期の基礎知識の修得を踏まえて、領域に関する管轄権、国際的人権保障、条約関係の理論および外交関係の法的仕組みを検証する。具体的には、国家領域の法的地位や取得に関する理論および実行、国際地域、国際海域および宇宙空間といった国際区域の法的地位、外国人の法的地位、人権保障に関する国際制度の展開、条約の締結、形式および効力に関する法規制、外交関係および領事関係における特権および免除などを取り上げる。

履修上の留意点

国際関係を法的側面からとらえる視点の養成を常に心構えとする。個々の概念、理論、事例を解明する戦術的な能力がまず重要視されるべきであるが、政治、外交、経済、文化といった様々な形態で展開される国際関係を法という枠内でとらえる戦略的な資質をのばすことも見失われてはならない。そのためには、教科書に取り上げられた学説を理解するだけでなく、講義に取り上げられた課題の視点、問題意思をしっかりと修得する必要がある。配布される参考資料や聴講ノートを参照しながら、教科書の理解を深めてもらいたい。

成績評価の方法

成績は年末の定期試験で決定する。ただし、前期小テストや講義出席の状況も成績を評価する際に考慮される。

教 科 書

大沼保昭編著『資料で読み解く国際法』第2版(上)(東信堂)2002年 2,800円

参 考 書 等

松田幹夫編著『現代国際法』(八千代出版)1997年 2,700円
市販されている国際条約集

そ の 他

授業はすべて power point を使って講義方式で行い、適宜に参考資料を配付する。power point で使われる簡潔な聴講ノートは、下記のホームページから入手できる。

<http://www.komazawa-u.ac.jp/~anzhi/index.htm>

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
新 入 生 演 習	北野かほる・川口幸美 高橋洋城・竹中智香	16入学生/法B1選	2

講義のねらい

この科目は、法学部に入学してはじめて法律学を学ぶ法律学科の新生者が、これから法律学を学んでいく上で必要な基礎的な勉学の方法を身につけていくために設けるものです。選択科目ですが、できる限り多くの学生が積極的に履修し、4年間の法律学の学修を効果的に行うための基本を修得することを期待します。

授業は、一週おきに、教室と研究室（オフィス・アワー）での学習を組み合わせた形態で行います。教室で教わったり体験したりしたさまざまな知識や学習方法を、次の週に研究室で先生と相談したり、指導に従って自習したりしながら、発展させて、自分なりに最も適切な勉学方法を探し当て、開発していったらいいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

学習の順番や指導の方法はそれぞれの先生が工夫して、学生のみなさんの習熟度を見ながら組み立てていきますが、共通して学ぶ項目は以下の通りです。数字の順番の通りにすべて学習していくというよりも、いろいろな項目を組み合わせ、全体としてこれらの基本的なスキルが身についていくものとして、考えられています。

1. 基本的な学習施設
 - ・図書館や情報センターの利用方法と文献の探し方・調べ方
 - ・教室での講義の受け方とノートのとり方
2. 基本的な書籍の利用方法
 - ・六法全書の読み方と使い方
 - ・法学用語集や辞書の活用方法
 - ・法律学的な文章の読み方とまとめ方
3. 発展的な書籍の活用
 - ・法学文献以外の書籍から法についての感覚を学ぶ
 - ・注のある文献の読み方と注の使い方
4. 法学学習に必要な文の書き方と書くための作業
 - ・レジュメ・レポート・答案のまとめ方と書き方
 - ・ゼミなどでの発表のし方
5. 将来設計と学修
 - ・卒業後の進路をどう考え、法律学科での学修をどう生かすか

履修上の留意点

一週おきの教室での一斉授業への出席は当然ですが、オフィス・アワーに課題を課されたり面接があったりする場合には、担当の先生の指示に従って学習してください。

成績評価の方法

出席点および課題提出評価点を総合して成績評価します。

教科書

指定教科書はありません。

参考書等

担当の先生からの指示があった場合には、それに従って参考にしてください。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
債 権 総 論	河 野 弘 矩 <small>こうのひろのり</small>	15以前入学生/法B 2選	4

講義のねらい

債権法とは、形式的には民法第三編債権の規定の総体（399条～724条）をいい、実質的には債権関係を規律する法規の全体を意味している。債権法は、物権法と共に市民生活のうち財産関係を規律する法規であり、主として財貨の移動関係を定めた法律といえよう。

債権法 債権総論 第一章 総則－債権の目的、効力、多数当事者の債権、債権譲渡、債権の消滅の5節から構成されている（399条～548条）

債権法 各論 第二章 契約（549条～696条）

第三章 事務管理（697条～702条）

第四章 不当利得（703条～708条）

第五章 不法行為（709条～794条）

講学上、債権法第一章総則を債権総論といい、第二章以降を債権各論と呼んでいる。

本講義は、上記の第一章の債権総則を対象とする。債権総則は、実質上契約から生ずる債権を念頭においた規定と解される場合が多いことから、講義のなかでは契約の例示を多く登場させ、極力具体的事例を以て抽象的理論を説明するようにしたい。

講義の内容・授業スケジュール

講義の進行は、債権法の規定の順序に従い、以下の通り行う。

- (1) 債権の意義及びその性質
- (2) 債権の目的
- (3) 債権の種類（特定債権、種類債権、金銭債権、利息債権、選択債権、任意債権）
- (4) 債権の効力（自然債務、強制履行、債務不履行、第三者による債権侵害、責任財産の保全、他）
- (5) 多数当事者の債権関係（連帯債務、保証債務）
- (6) 債権関係の移転（債権譲渡、債務の引受、契約上の地位の譲渡）
- (7) 債権の消滅（弁済、代物弁済、供託、相殺、更改、免除、混同）

履修上の留意点

必ず続けて受講すること。講義には、六法全書を必ず持参すること。

講義についての質問は、毎回講義終了後質問を受けることは当然であるが、その他前期と後期の授業最終日に質問を受ける時間を設ける予定です。

成績評価の方法

期末試験により評価する。出席点を加味するか否かは今後検討したい。

教科書

教科書は、『民法（5）債権総論』（有斐閣双書）を使用する。

参考書については、授業のなかで紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
物 権 法	いま お 尾 まこと 今 尾 真	15以前入学生/法B 2選	4

講義のねらい

民法総則講義において、民法全般の仕組みと基本的概念や制度を一通り学習した学生を対象に、債権とともに二大財産権の一つである物権(担保物権を除く)について、人と物の関わり・各物権の特質・各制度の特徴・隣接諸制度等を、より深く、より詳細に理解することを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

物権の意義・性質・効力・物権変動のメカニズムといった物権法総論部分の学習をした上で、各種物権(占有権から用益物権まで)を個別に細かく学習する。特に、物権取引の安全と公示・公信の要請という理念を反映する物権変動論につき、これらの理念をどこまで貫徹できるかの観点から、各種物権および他の諸制度との関連で検討する。

履修上の留意点

民法総則は、履修済みまたは最低限同時履修の上、本講義に出席することが望ましい。

成績評価の方法

講義の出席回数と前・後期各一回の定期試験の結果を総合判断して評価する。

教 科 書

宮本健蔵編『マルシェ物権法・担保物権法〔第2版〕』(嵯峨野書院)2004年

参 考 書 等

星野英一・平井宜雄・能見善久編『民法判例百選 I 総則・物権〔第五版〕』(有斐閣)別冊ジュリスト159号、2001年

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 法 制 史	しげのたがはる 茂野隆晴	法B・法A1・2選	4

講義のねらい

基礎法学の一つとしての法制史は、文字通り、法学教育における史学である。私の担当する「日本法制史」は日本国民の法生活の歴史的考察を行うものである。年間の通史の授業は時代区分に基づいて行うのがふつうである。近年では、近現代史のもつ重要性も強調されるようになってきているので、講義ではそうしたことに配慮しつつも、本年は国初から近世までの4期の法制の特色を主に講述し、終りに『家』制度を行いたい。

年間の講義を受講することによって、日本の法文化への愛着が深まったといわれるようになればと思う。

講義の内容・授業スケジュール

- 序 日本法制史を学ぶにあたって
- I 日本法制史とは
 - II 基礎法学のなかの法制史
 - III 日本法制史の時代区分
 - IV 日本法制史教育の沿革
- 第1章 上古（氏族法時代）
- (1) 総説 (2) 氏族制度 (3) 法の始源 (4) 法の分化
- 第2章 中古（律令法時代）
- (1) 総説 (2) 律令法
- 第3章 中世（武家法時代前期）
- (1) 法の系統 (2) 分国法〔国法〕 (3) 起請文
- 第4章 近世（武家法時代後期）
- (1) 織豊二氏の法令 (2) 徳川幕府の法令
- 終りに 『家』制度と現代の法意識

履修上の留意点

史資料に則して行う授業ですのでテキストは必ず揃えて欲しい。また、授業中の私語は当然ながら厳禁ゆえ、守れない者があれば直接にも指摘することになる。

成績評価の方法

年間1度の定期試験と出席点によって評価する。

教 科 書

大久保治男・茂野隆晴共編著『日本法制史史料60選』（芦書房）2,300円

参 考 書 等

大久保治男・茂野隆晴共著『日本法制史』（高文堂出版社）3,000円。このほかにも、場合によりプリントを配布します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
政 治 学 原 論	おお つか かつら 大 塚 桂	法B・法A1・2選	4

講義のねらい

I 自己紹介

私は、いままでイギリスの政治的多元主義・新自由主義、ならびにフランスの社会連帯主義を研究してきました。現在は、日本における多元的国家論の受容過程に関して勉強をしています。このような私の研究経歴からして、講義内容は少しばかり哲学的、観念的なものになるかもしれません。政治学のみならず隣接領域にもふれながら一年間の授業をしてみたいと思います。

私の研究室は、第二研究館八階（2835）にあります。研究上支障が生じたときや質問があるときには訪問してください。なお、研究室の電話番号は、3418-9377（直）です。

II 講義の目的

政治学原論はカリキュラム上、基礎的部門に属しています。政治学原論は政治学の総論であるとともに、基礎理論としての意味合いをもつものです。講義の目的の第一は、現代政治学の体系的な理解を深めることにあります。目的の第二は、政治現象の理論的説明と説明ができるように基礎的原理的知識を修得することです。目的の第三は、近い将来履修するであろう他の専門学科目を研究する上で必要な知識を提供することです。

講義の内容・授業スケジュール

III 講義のすすめかた

現代政治学のアウト・ラインを理解してもらうために、一回一テーマ主義でかなり広範囲な問題にふれていきます。それだけに、授業のペースは少しばかりはやくなります。講義はテキストに準拠しつつすすめます。学生諸君は授業に出席することはもちろんのこと、予習・復習・自主研究などの研鑽をつんでください。教員と学生、それぞれの努力によって学習効果をあげていきたいと考えています。

IV 講義の内容

おおよそ、以下の諸問題を取り上げる予定です。

A 政治学の課題と対象、および方法

B 政治の原理的究明

①政治的なるもの

～政治的空間、政治権力、正当性、権威、政治倫理、抵抗と不服従

②共同体的なるもの

～国家、社会、主権、法

③イデオロギー的なるもの

～イデオロギー、正義、自由、平等、人権（シティズンシップ）

C 政治の実体論的究明

①制度論的究明

～権力分立、議会、選挙、地方自治、官僚制

②機能論的究明

～政党、圧力団体

成績評価の方法

本年度もまた、受講者との相談のうえ A・B 両方式のうちのいずれかに決定します。

A 方式（レポートによる単位認定）

複数回（前・後期）のレポートを提出してもらい成績を評価します。課題報告（レポート）の作成をととして、文献の読解力と書く能力を涵養します。

B 方式（試験による単位認定）

中間・学年末試験により、成績を評価します。評価基準は、中間試験50%、学年末試験50%です。

※A 方式の場合には、追・再試験は実施しません。B 方式は、実施します。

教科書

大塚桂『現代国家へのアプローチ』（成文堂）3,000円

大塚桂『政治哲学入門』（法律文化社）2,900円

参考書等

上記教科書の巻末にかかげた参考文献を参照のこと。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経 済 原 論	ふじ わら ひろ のり 藤 原 碩 宣	法B・法A1・2選	4

講義のねらい

経済学の基本的要件の理解
日本経済の直面する課題
理論と現実の乖離とその説明
といった点を主眼として行います。

講義の内容・
授業スケジュール

前期では、経済学の性格、他分野との関係、成立要件といった基礎と、マクロ経済学国民経済循環、産業連関分析、国民所得概念および国民所得決定論など。
後期では、ミクロ経済学および応用経済学——個別経済主体の行動分析、寡占経済理論、パブルの発生とその崩壊、財政・金融問題など。

履修上の留意点

授業に出席し、ノートをよくとる事が大切です。

成績評価の方法

ペーパーテスト。但し、自発的なレポートやテーマを決めたスクラップ作りなどを試験前に提出すれば、評価に加えます。

教 科 書

藤原碩宣編著『経済と経済学』（実教出版）
その他は適宜授業中に紹介します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
行 政 学	た まる だい 田 丸 大	法B・法A1・2選	4

講義のねらい

行政学は政治学の中でも比較的新しい分野であるが、私たちの日常生活とも非常に関係の深い学問でもある。例えば、国レベルでは狂牛病騒動に見られる農林水産省の対応や、薬害エイズ・肝炎などに見られる旧厚生省の対応、自治体（地方）レベルでは、2003年4月に政令指定都市に昇格するさいたま市に見られるような市町村合併であるとか、原発の是非をめぐる住民投票など、世の中の様々な現象に何らかの形で行政は関わっている。これらの行政現象に流れる行政活動の論理を探ることが、行政学の大きなテーマの1つである。

本講義では、国の省庁や地方の自治体がどのようなメカニズムに基づき活動をしているのか、政策立案や執行さらには評価の過程などにも触れつつ検討することによって、複雑な現代社会の問題点や改革のあり方を正しく理解し、問題の本質を見抜くための基本的知識や思考様式を伝えたいと考えている。

講義の内容・
授業スケジュール

およそ3回ずつで、以下のとおり。

1 官僚制、2 議院内閣制、3 地方自治、4 公務員制度、5 政策過程、6 行政組織における意思決定、7 政策評価、8 行政改革、9 地方分権改革など。

履修上の留意点

出席は取らない。レポートは課さない。しかし、授業中に扱ったことがらはすべて試験範囲とし、その中から満遍なく出題するので、出席をしない者が単位を取得することは困難である。

成績評価の方法

1学期末のテストおよび学年末のテスト（持ち込み不可）のみで評価する。

教 科 書

森田朗『改訂版 現代の行政』（放送大学教育振興会）2000年 本体2,000円
教科書にアンダーラインを引く、書き込みを行うといった具合に使用するので、必ず用意してほしい。

参 考 書 等

早川・大山・内海・田丸『政策過程論』（学陽書房）価格未定

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
商法総則・商行為法	せき ぐち まさ お 関 口 雅 夫	法B2選	4

講義のねらい

実質的な商法は、①商法総則、②会社、③商行為法、④保険・海商法及び⑤手形・小切手法よりなる。民法が人の一般的な生活関係を規律する法というならば、商法は、営利を目的とする人（商人・企業）の営利を目的とする生活関係を規律する法である。本講義は、①商法総則とそれに密接に関連する③商行為法を研究の対象にしている。商法総則における基本概念は商人概念で、「商行為を行うことを業とする者」を言う（商4条1項）。商行為法における基本概念は、商行為概念（商501条・502条）で、絶対的商行為と営業的商行為よりなる。本講義は、まず商人概念と商行為概念の異別を把握させることにより、商法の民法との違いを正確に理解させるものとする。

講義の内容・授業スケジュール

前期は商法総則を講義し、後期は商行為法を講義する。
前期は、商法第1篇総則の（1章）法例、（2章）商人、（3章）商業登記、（4章）商号、（5章）商業帳簿、（7章）商業使用人と（8章）代理商を研究する。
後期は、商法第3篇商行為の（1章）総則、（2章）売買、（3章）交互計算、（4章）匿名組合、（5章）仲立営業、（6章）問屋営業、（7章）運送取扱営業、（8章）運送営業と（9章）寄託を研究する。

履修上の留意点

商法の研究は、正確に基本概念をマスターすることから始まります。予習・復習を心がけることが望まれます。

成績評価の方法

学年末試験の成績を持って評価いたします。教科書をよく読み、基礎的な問題を正確に把握することがのがぞまれます。

教科書

『現代商法（総則・商行為）（現代法学双書9）』（八千代出版）2,800円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
刑 法 各 論	やま ぐち くに お 山 口 邦 夫	法B2選	4

講義のねらい

1年次の必修科目、刑法総論の単位を取得済みの者を前提に授業を進める。できれば、単位未取得者は履修を遠慮していただきたい。3年次の履修でも遅くはないはずである。

講義の内容・授業スケジュール

1年間を次の4期に分けて講義をする。
Ⅰ期（4・5月）、Ⅱ期（6・7月）、Ⅲ期（9・10月）、Ⅳ期（11・12月）。
Ⅰ期 犯罪の分類について。犯罪の分類は何のためにするのか、何を基準にして分類するのか、などいろいろな犯罪についての一般論を検討する。犯罪の分類は、犯罪学や刑事政策にとっては有用であっても、解釈学にとってはそれほど有用とも思われない。分類することよりも、各犯罪類型を厳格に解釈することの方が重要であることを指摘する。
Ⅱ期 通説ともいえる3分類の意義についてふれたあと、いわゆる個人法益に対する罪について検討する。
Ⅲ期 いわゆる社会法益に対する罪について。
Ⅳ期 いわゆる国家法益に対する罪について。
Ⅱ期、Ⅲ期、Ⅳ期と順次検討する予定であるが、場合によっては、Ⅱ期の対象を中心に1年間が終り、Ⅱ・Ⅲ期の対象は、そのつど関連する個所で、加味してやることになるかもしれない。

履修上の留意点

履修者が50名以内であれば、年間を通じて出席をとりたい。出席カードをもとに、毎回数名の人との質疑や問答を中心とした、コロキウム方式で授業を進める。

成績評価の方法

履修者が50名を越えた場合は、各期ごとに小テストを行う予定である。そして4回のテストと期末試験の結果を総合して単位を認定する。少人数の時は、平常の履修態度や宿題を中心に、平常点で評価し期末試験を省略して単位を認定する。

教科書

教科書は、原則として使用しない。参考書を紹介するので積極的に読書してほしい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
刑 事 政 策	さいとう よしゆき 齋藤 静 敬	法B・法A 2選	4

講義のねらい

人間は、なぜ罪を犯すのであろうか。どうすれば、この世の中から犯罪を防止することができるのであろうか？

たしかに、犯罪のない社会を実現させることは非常に困難なことである。しかしながら、実現不可能であるとして、何の努力もせずには、何の解決策にもならない。少しでもよいから犯罪のない社会の実現にむけて、われわれは努力すべきである。刑事政策を学ぶということは、まさにこの犯罪のない社会の実現にむけて貢献することにある。

講義の内容・授業スケジュール

刑事政策は犯罪を防遏するための合理的、合目的な手段、方法を探究するものである。そこで、

- 1 犯罪現象の類型的考察(例えば、少年犯罪、女性犯罪、性犯罪、暴力団犯罪、公務員犯罪、公害犯罪、精神障害者の犯罪、薬物乱用犯罪、交通犯罪、外国人犯罪)。
- 2 犯罪者の処遇(例えば、受刑者の法的地位、刑務作業、拘禁の形態、仮釈放)。
- 3 犯罪者に対する制裁(例えば、死刑、自由刑、財産刑、保安処分)。
- 4 犯罪の司法的処理(例えば、起訴猶予、執行猶予)

……などについて概説する。

履修上の留意点

1. 講義には、毎回かかさず出席して欲しい。2. 毎日、新聞の犯罪記事に目を通しておく。

成績評価の方法

筆記試験

教科書

齋藤静敬『刑事政策の諸問題』(創成社) 2,800円+税

その他

講義方式

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
債 権 各 論	ながさか じゅん 長 坂 純	法B・法A 2選	4

講義のねらい

債権は、物権と異なり、その種類が法律で定められておらず、原則として、当事者間で債権の内容を自由につくることができます。そのため、民法典は、債権全体の体系化をはかる際、債権に共通のルールを定める債権総則のあとに、契約、事務管理、不当利得、不法行為という債券の発生原因を定め、それぞれの発生要件、それぞれの原因によって発生した債権に特有の性質・内容あるいは効果について規定をおきました。本講義では、これら、契約、事務管理、不当利得、不法行為について学んでいきます。

前期では、契約に関する基礎的知識および契約をめぐる全体像を把握してもらい、具体的な契約について順次検討していきます。後期では、さらに契約に関する法的理解を深めるとともに、その他の債権発生原因である事務管理、不当利得、不法行為を学びます。

講義の内容・授業スケジュール

(前期) (1・2) 契約の意義と機能、契約自由の原則、契約保護の変容 (3・4) 契約の種類、契約の性質 (5・6) 契約の効力 (7) 契約の解除 (8~10) 財産権譲渡(売買・供給)型契約 (11~13) 財産権利用(貸借)型契約

(後期) (14~16) 役務提供型契約 (17・18) 事務管理 (19・20) 不当利得 (21~23) 不法行為

履修上の留意点

講義時間のみではなく、予習・復習を含めた時間を確保することを希望します。

成績評価の方法

授業への積極性や学年末試験の結果により行います。なお、問題作成および成績評価にあたっては、授業の出席状況も参考とします。

教科書

藤岡・磯村・浦川・松本『民法Ⅳ債権各論〔第2版補訂〕』(有斐閣) 2,500円 ISBN4-641-15900-9

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
法 思 想 史	たか 高 はし 橋 ひろ 洋 ま 城	法B・法A2選	4

講義のねらい

法に関する概念や用語が生まれてきた歴史的、哲学的背景や世界観に遡って検討するのが法思想史の役割である。これには二つの側面がある。一つは、中核的な概念の由来や変遷を知ることにより現代法を形成する要素の理解を深めることである。しかし同時に、様々な思考様式に触れることによって近代的思考を相対化し、実はそれが或る特殊な一様式なのだということを自覚する、ということも重要である。

なお題材はヨーロッパの法思想史にほぼ限定される（東洋および日本固有の法思想を扱うことはできない）。講義の理解のためには、最低限の世界史的知識が必要だが、講義時間内においてはそこに時間をさくことはではないので、そうした点について不安のある受講者は自学自習して講義に臨んでもらわねばならない。また20世紀以降の法理論史については本講義ではとりあげず、むしろ法哲学講義の方で扱うことになるのでそちらを参照されたい。

講義の内容・授業スケジュール

- [1] 簡単に講義の意義・注意事項などについての説明したのち、プラトン思想の背景として、ソフィストとソクラテスの問題について概観する。
- [2] プラトンの法思想：『国家』を中心にその意義を検討する。
- [3] アリストテレスの法思想：まずアリストテレス哲学の基礎理論を形相質料論を中心に紹介する。その後、『ニコマコス倫理学』『政治学』等を題材として、正義論、政治体制論を中心に検討する。
- [4] ローマ法の思想史的意義：現代に至るまでヨーロッパの法律学・法思想を規定してきたローマ法上の諸概念、思考方法について概説的な紹介を行なう。
- [5] キリスト教の法思想への影響を概念史的に考察する。
- [6] 中世自然法論：トマス・アクィナスの思想をとりあげ、古典的自然法論への理解を深める。また後半では、唯名論思想と近代的な世界像への転換についても言及する。
- [7] 社会契約説総論とホッブズの法思想：『リヴァイアサン』を中心にホッブズの議論を紹介し、またその現代的意義について考察する
- [8] ロックの法思想：『統治論』を中心に、ホッブズとの比較を念頭に置きつつ考察を行なう。
- [9] ロックの所有権論に関連させつつ、同時に所有権論史全般について考察する。
- [10] ルソーの法思想：題材としては『社会契約論』『不平等起源論』が中心になる。
- [11] カントの哲学と法思想：法理論におけるカント思想の重要性を論じ、さらに現代のカント主義的理論の展開をとりあげる。

履修上の留意点

とりあげる著作の原文抜粋を中心とした資料をあらかじめ配布し、これに基づいて説明を加える形式で講義を進める。受講者は少なくとも資料の該当箇所を事前に読んだ上で講義に臨むことが要求される。

成績評価の方法

年度末の定期試験によって評価する。それ以外に課題レポート等を設定する可能性もあるが、その場合は自由提出課題とし加算点にのみ用いる（定期試験のみを受験するのでもかまわないということ）。

教科書

教科書としては特定の書籍を指定しないが、講義の理解を深めるため、法思想史全般の概観ができる図書を手元に置き、予・復習に役立てることを推奨する。次項の参考図書参照。

参考書等

法思想史に関する概説書の例として
 ・三島淑臣『新版・法思想史』（青林書院）4,854円：講義内容をさらに深く掘り下げて勉強したい場合に有益であろう。
 ・田中成明他編『法思想史』（有斐閣Sシリーズ）1,800円：法思想史の流れを大まかにつかみ整理するのに役立つだろう。
 講義開始時に、上記の他にもいくつかの概説的な入門書について、それぞれの特徴などを紹介するが、書店・図書館などで手に取ってみて自分にあったものを選ぶと良いと思う。また講義でとり上げる思想家の著作原著については、そのつど指示する。

科目名			担当者名	配当学科	単位
演習	I	青野博之	法B3選	4	
演習	II				

講義のねらい

民法上の問題を自分で見つけ出し、相手も納得できるような解決を考える。

講義の内容・授業スケジュール

民法上のさまざまな問題の中から、ゼミ生が報告したいテーマを自分で探し出してくる。このテーマがゼミの内容になる。たとえば、授業を聞いていたときに疑問に思ったこと、新聞を読んで他の人がどのように思うか聞いてみたくなったことなどであるが、民法上の問題であれば、なんでもよい。

履修上の留意点

ゼミ生が報告したいテーマを自分で探し出し、報告し、全員で質疑応答してほしい。ゼミ生が主役である。主役たちの活発な討論を期待する。ゼミ生の意欲と関心でゼミが進んでいく。そんなゼミになることを希望する。出席して、しっかり発言する、これが大切である。毎回、担当者が作成し、少なくとも1週間前に配布されたレジュメ(要旨)にそって討論する。レジュメは、予習のため必要であるから、必ず準備するように。1回でテーマが終わってもよいし、2回以上続いてもよい。

成績評価の方法

出席して、しっかり発言をしたか、担当者として十分な準備をしたかなど総合して判断する。ゼミは、発言することがポイントである。そのことを基準として、成績を評価する。

その他

発言しているうちに、聞く方も発言したくなるような、そんな発言をする学生に参加してほしい。そうすると、ゼミ生全員の民法理解も進むであろう。

科目名			担当者名	配当学科	単位
演習	I	大宮隆	法B3選	4	
演習	II				

講義のねらい

家族法の研究上、知っておいてほしいと思われる裁判例をとりあげる。

履修上の留意点

予習が必要である。

成績評価の方法

年間を通して、総合的に評価する。

教科書

泉久雄他編『家族法基本判例32選』(信山社) 2,500円

科目名			担当者名	配当学科	単位
演習	I	北野かほる	法B3選	4	
演習	II				

講義のねらい

英米法の諸特徴について具体的に理解を深める。

講義の内容・授業スケジュール

ゼミ員全員で選んだテキストを輪読形式で読み進める。毎回担当者を決め、テキスト内容のほか関連事項を調査・報告させ、それにつき全員で討論する。

成績評価の方法

演習I(三年次生)はゼミでの報告・発言をもとに平常点評価。演習II(四年次生)は上記のほか卒業研究発表と卒業レポートにより評価。

教科書

提示する候補の中からゼミ員全員が検討して決定する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	かね こ しょう へい 金 子 昇 平	法 B 3 選	4
演 習 II		法 B 4 選	

講義のねらい

本演習においては、行政上の諸制度、行政法規の仕組および複雑多様な法現象を広範囲にとりあげ、現代のあるべき行政法理論について理解を深めていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

ゼミ生の関心のあるテーマについて、判例研究および、学術論文の書評を行い、参加者全員と共に、議論をつくしたいと思っている。演習の内容については、例えば、環境の問題、教育の問題、公務員の問題、地方自治の問題、租税の問題、医療の問題、高齢者の問題、福祉の問題等である。

年二回、七月、二月にゼミ合宿を行い、研究の成果を発表し、討論を行う。
年二回、公的施設の見学会を行う。

履修上の留意点

ゼミ生は、あらかじめ該当する判例、法令等を読みこなして欲しい。六法を持参すること。判例、論文、法律を知ることだけではなく、現実の社会の実態についても、調査し、国・地方公共団体に外向いて、担当者と面会し、取材してもらいたい。

成績評価の方法

出席（ゼミ、見学会、合宿等）により評価する。

教科書

適宜指示する。

その他

発表者は、レヂュメを作成し、論点および、自分の意見を発表する。全員が、議論に参加出来ることを望む。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	せき ぐち まさ お 関 口 雅 夫	法 B 3 選	4
演 習 II		法 B 4 選	

講義のねらい

本年は、航空宇宙法のうち、国際航空運送法の基礎理論の演習を行います。

航空旅客運送にあつては、エアーラインと旅客との間には、エアーラインが「安全に目的地まで運びます」と約束し、それを対価に旅客が「運賃を払います」と約束する契約が存在しています。けれどもエアーラインが事故を起こし、安全に目的地まで運ぶという約束を反古にした場合には、エアーラインは、怪我をした旅客自身又は死亡した旅客の遺族に補償をすることが求められます。けれども、東京・ニューヨーク間旅客運送のような国際運送における航空事故の場合は、わが国の商法の規定の準用では、事態に対応することが出来ません。そこには、世界の各国が国際航空運送契約を律する条約を定める必要が生まれています。これまでは、1929年ワルソー条約という国際航空運送条約により事態の処理をしまいましたが、今後は、2003年11月4日に発効した新しい国際航空運送条約に従い、新しい理論のもと事態を処理することが可能になりました。本演習は、新条約の規定内容をやさしく解説いたします。将来航空関係の仕事に就きたいと考える諸君の受講を歓迎します。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、1999年モントリオール条約の適用範囲と国際航空運送の定義（4月）旅客の死亡又は、身体の傷害並びに手荷物の損害に就いての運送人の責任と損害賠償の範囲（5月6月）、延着、責任の免除（7月）を研究し、後期は、旅客の死亡又は傷害の場合の賠償（9月）、通貨の換算、責任の限度の見直し（10月）、責任の限度に関する約定、契約上の規定の無効、前払金、裁判管轄（11月）、訴えを提起する期限（12月）を研究します。

履修上の留意点

条約の研究は、正確に基本概念をマスターすることから始まります。予習・復習を心がけることが望まれます。

成績評価の方法

報告、質問内容、出席等総合して評価する。

科目名			担当者名	配当学科	単位
演習	I	にし 西	あまひ 修	法B3選	4
演習	II			法B4選	

講義のねらい

私は、演習をつぎのように位置づけたいと考えます。すなわち、マスプロ教育に陥りがちな一方通行を補うべく、双方向性を大切にし、履修生と教師、履修生同士のディスカッションを多用して、みずからを磨きあげる場であると。そしてそれは、たんに勉強ばかりでなく、合宿などを通じて、心のふれあいのなかから、あらたな自分を見つけ出す場でもあると。こんな場にするために、私はつぎのような方針でのぞみたいと思っています。

- (1) ゼミのモットーは「出会い、学び合い、そして人間愛」です。
- (2) とくに少人数の場合、日々のふれあいが大切なので、毎回、出席すること。
- (3) ディスカッションには、積極的に参加し、かならず発言すること。

講義の内容・授業スケジュール

前記と後期に分け、前期は1、2冊の本を精読し、それについてディスカッションをします。共通に読む本は開講時に指定。またディスカッションの内容としては、①日本国憲法の成立過程とその法的問題点、②憲法第9条をめぐる諸問題、③世界の憲法トレンド、④人権の現代的意味などを考えています。その他、年2回の合宿を行います。従来例では、レジャーとしてテニス、スキーをとりいれています。また私の落語を聴かされることもあります。

成績評価の方法

出席、発言、課題論文などを総合的に判断する。

科目名			担当者名	配当学科	単位
演習	I	ま 佐	とう 藤	法B3選	4
演習	II			たみ 多美夫	

講義のねらい

このゼミでは、刑法上の重要問題を検討し、刑法理論を体系的に理解し、法的な思考を修得することを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

具体的には、罪刑法定主義、不作為犯（不真性不作為犯）、因果関係、正当防衛問題、錯誤問題、責任問題、共犯問題、生命・身体に対する罪、財産に対する罪等につき、判例事例研究を通して、問題点を検討し考察する。

履修上の留意点

主体的、意欲的な学生の参加を望みます。

成績評価の方法

報告内容、質問、出席等総合して評価する。

教科書

各自テーマが異なるため特定のテキストはない。

その他

このゼミは報告者の研究発表をもとに行う。発表者は報告の一週間前までにレジュメを配布し他のメンバーはこれをもとに質問出来るようにして、当日は活発な討論に参加出来るようにしなければならない。発表者・質問者はそのテーマについて文献を収集したりその理解に努力する必要がある。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 II	ま ぐち きよ し 間 渕 清 史	法 B 4 選	4

講義のねらい

この演習は、参加者が民事訴訟法の講義で習得した基礎的知識の幅を広げ且つその理解度をより一層深めることを目的とします。民事訴訟理論の緻密さとダイナミックさとを体得してもらいたいと考えています。

講義の内容・授業スケジュール

民事訴訟法に関する重要判例の中から毎回1～2を選んで、報告書による報告と参加者全員での討論を行うことを予定しています。実際の法廷見学にも行きたい。

履修上の留意点

演習参加者は、毎回予習のうえ出席し、主体的に演習に参加し、且つ積極的に発言する必要があります。

成績評価の方法

演習参加度（出席態度、報告内容、発言の有無・内容等）に依拠して行います。

教科書

『判例講義 民事訴訟法』（悠々社）3,500円 2001年。その他については、追って指定する。

参考書等

『民事訴訟法の争点〔第3版〕』（有斐閣）2,476円 1998年
『民事訴訟法判例百選〔第3版〕』（有斐閣）2004年

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	やま だ やす ひこ 山 田 泰 彦	法 B 3 選	4
演 習 II		法 B 4 選	

講義のねらい

株式会社法の基本的な内容理解を中心に、現代の経済社会において必要不可欠の組織となっている株式会社を法的側面から、研究する。前期に会社法総論を見て、株式会社の特徴を確実に理解した後、引き続き取締役の義務・責任を検討し、後期は新株発行等に入る予定である。

講義の内容・授業スケジュール

ゼミであるから、上述の基本的な予定に沿って、小テーマを選び、これを各ゼミ生に順次レポーターになってもらい、その報告をたたき台として、全員で討論する。小テーマは、株式会社法の各種制度・原則から、これらに関連する判例研究を取りまぜつつ、私の方で予め提示し、ゼミ生に割り振ることにする。

成績評価の方法

成績評価は、レポーターとしてのレジュメ作成内容、報告内容、発言等を総合して行なう。出席は、必ずとる。理由のない欠席、遅刻に対しては、厳しく対応する。

教科書

教材として、『会社法判例百選（第6版）』（有斐閣）1,800円を指定する。この他、必ず、会社法についての概説書は購入しておくこと。

その他

このゼミでは、会社法を2年時に履修し、相当程度の知識と理解を有する学生であることが前提である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
担 保 物 権 法	<small>なが さか じゅん</small> 長 坂 純	法B3・4選	4

講義のねらい

本講義では、民法第二編物権の担保物権を中心に扱います。債権回収の方法としては、債務者以外の第三者の資力をあてにする人的担保と、債務者または第三者が提供する目的物を担保する物的担保があります。民法典は、物的担保(担保物権)として、留置権、先取特権、質権、抵当権を定めていますが(典型担保)、さらに、実務上、さまざまな非典型担保が形成され、判例および学説によりその効力が認められています。ここでは、担保物権の共通の性質を理解するとともに、それぞれの種類に応じた担保物権の特質・効力について学びます。

前期では、担保物権の意義と種類、担保物権の性質と効力を理解した上で、典型担保を扱います。後期では、典型担保の理解を深めるとともに、非典型担保を学びます。

講義の内容・
授業スケジュール

(前期) (1・2)担保物権の意義と種類 (3・4)担保物権の性質と効力 (5～7)留置権
(8～10)先取特権 (11～13)質権
(後期) (14・15)抵当権の意義・設定・効力 (16・17)抵当権の実行・処分・消滅
(18・19)特殊の抵当権 (20)仮登記担保 (21)譲渡担保 (22)所有権留保
(23)まとめ

履修上の留意点

講義時間のみではなく、予習・復習を含めた時間を確保することを希望します。

成績評価の方法

授業への積極性や学年末試験の結果により行います。なお、問題作成および成績評価にあたっては、授業の出席状況も参考とします。

教 科 書

遠藤・川井・原島・広中・水本・山本編『民法(3)担保物権 第4版増補版』(有斐閣)
1,700円 ISBN4-641-11243-6

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
家 族 法	たけ なか ち か 竹 中 智 香	法B3・4選	4

講義のねらい

民法典のうち、第四編「親族法」と第五編「相続法」の講義を行います。前期に取り上げる親族法は、われわれにとって最も身近な家族生活を規制する法律であり、「家制度」の存在とその解体、高度・低度経済成長期やバブル前後の経済的变化、さらには少子化・超高齢化、女性の社会進出といったさまざまな社会の動向に影響を受けています。社会の変化に伴って生じてきた問題に対して、親族法がどのように対応しているかを、具体的な裁判例の紹介も交えながら、検討していきます。一方、後期に取り上げる相続法も、戦前の家督相続が、第二次大戦の敗戦後、庶子均分共同相続へと変遷し、さらに近年、遺言制度の利用も増加するなど、著しく変化している分野です。本講義では、こうした変遷の内容とその背景の理解とともに、財産法の応用問題といわれるほど難解な相続法の理解を目指します。

講義の内容・授業スケジュール

[前期]

- (1) 家族法と財産法の相違と家族法の特徴、欧米家族法との比較とわが国の家族法の特徴
- (2) 氏と戸籍、親族
- (3・4) 婚姻：婚約、婚姻成立の要件
- (5・6) 婚姻：婚姻の効果、夫婦財産制
- (7) 婚姻解消
- (8・9) 親子：実親子関係
- (10・11) 親子：養親子関係
- (12) 後見・保佐・補助、扶養

[後期]

- (1) わが国の相続法の変遷とその背景
- (2) 相続人
- (3～5) 相続の効力：相続財産の範囲
- (6) 相続の効力：相続分
- (7) 相続の効力：遺産の共有
- (8・9) 相続の効力：遺産分割、相続回復請求権
- (10) 相続の承認・放棄、財産分離、相続人の不存在
- (11・12) 遺言と遺留分

履修上の留意点

身近な問題を取り上げる分野とはいえ、難解なテクニカルタームが多用されています。講義を受ける際には、教科書の該当部分を読んだうえで、分からない文言を調べておくことが望まれます。

成績評価の方法

学年末の筆記試験の他、出席状況などの平常点も重視します。

教 科 書

有斐閣双書『民法(8)親族 [第4版増補版]』(有斐閣) 1,600円
有斐閣双書『民法(9)相続 [第4版増補版]』(有斐閣) 1,600円

参 考 書 等

六法
久貴忠彦・米倉明編『家族法判例百選 [第5版]』(有斐閣) 2,200円
『法律学小辞典』(有斐閣) 4,500円

科目名	担当者名	配当学科	単位
有価証券法	しまはらひろあき 島原宏明	法B3・4選	4

講義のねらい

現代の経済社会における企業間の取引では、手形や小切手等の有価証券が数多く使用されている。中でも手形と小切手は典型的な有価証券であって、その流通に関する法規制の多くは商法上の他の有価証券にも及んでいる。したがってその体系の理解は有価証券全般を理解する上で不可欠なものである。また、手形や小切手は金銭債権と結び付いた証券であるため、これに関する法体系は債権法の一部として把握され、民法の債権総論と密接な関係にある。

講義の内容・授業スケジュール

手形法は第一編為替手形と第二編約束手形の二編から成り立っており、為替手形についての規定の多くを約束手形に準用するという構成になっている。ただし、わが国においては為替手形がほとんど用いられていないという現実があり、また為替手形に比べて約束手形の方が仕組みが単純であるため、条文の順序とは一致しないが講義では約束手形を中心にして説明を行い、適宜為替手形、及び為替手形と基本的な仕組みを同じくする小切手についての説明を付け加えていくという形をとる。

なお、企業活動に関わったことのない学生諸君には手形や小切手の世界は現実感が乏しく興味が起こりにくいいため、なるべく具体的な判例を示して解説をしていくつもりである。

成績評価の方法

成績評価は期末試験による。

教科書

島原宏明『手形法学への誘い』（八千代出版）2,500円

参考書等

開講時に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
登記法	たのひろし 田沼浩	法B・法A3・4選	4

講義のねらい

初めて登記法を学ぶ者にも、以前勉強したことのある者にも、民法・商法の手続法としての「不動産登記法・商業登記法」が現在の取引社会においてどのような役割を担っているのか、商法のより深い理解を図ります。また、登記簿等のオンライン閲覧や今後予想されるオンライン登記申請に伴う情報リテラシー（活用）能力を養います。

講義の内容・授業スケジュール

（前期）（1・2）登記法概論（3）不動産登記法総則・商業登記法総則（4～6）民法典物権編総則にかかる不動産登記（7～9）所有権にかかる不動産登記（10～13）民法典相続編にかかる不動産登記

（後期）（14～18）担保物権にかかる不動産登記（19）商法典第一編総則第三章商業登記（20～25）商法典第二編会社（会社法）及び有限会社法にかかる商業登記（26）まとめ

履修上の留意点

不動産に関する取引全体の流れに対して、情報として重要な役割を果たす不動産登記を理解することを目指し、会社法と相関させることによって会社の起業や取引先の情報収集に役立つ商業登記法の知識を最低限習得できるように努めます。受講者は民法典第二編物権、第三編債権、第五編相続、商法典第二編会社の履修を望みます。また、この講義を受講することが望ましい者として、将来、不動産・金融関係の会社に就職を希望する者、起業して自営業を目指す者、そして司法書士試験を受験したいと考えている者に限らず、広く対象とします。

成績評価の方法

学年末試験の結果と提出物（前期レポート）の内容に依拠して行います。問題作成及び成績評価にあたっては、講義に積極的に参加した人が有利になるように配慮します。

教科書

法務省民事局編『不動産登記実務〔五訂版〕』（法曹会）4,000円
『模範六法』（三省堂）5,200円

参考書等

遠藤浩・青山正明編『別冊法学セミナー 基本法コンメンタール〔第四版補訂版〕不動産登記法』（日本評論社）3,500円（初学者は基本法コンメンタールを直ちに購入しなくても良い。）

科目名	担当者名	配当学科	単位
保険・海商法	か せ こう き 加 瀬 幸 喜	法B3・4選	4

講義のねらい

保険契約法および海商法の基礎的知識を修得することがこの講義の目的です。
 まず、保険法についてですが、私たちは、火災、自動車事故や病気といった様々な危険に囲まれて生活しております。これらの危険を予防・軽減することは可能ですが、それらをすべて除去することは不可能です。ここに保険制度が必要な理由があります。保険は、共通する危険をもつ者達があらかじめ掛け金を拠出し、その掛け金を損害を被った者の損害填補に充てる制度です。このように、保険制度は私たちにとって有用なものですが、他面、これは濫用されるおそれの高いものでもあります。少額の保険料で多額の保険金を取得することが可能だからです。近年、しばしば新聞などで報道されている保険金殺人事件がこれの代表的なものです。この講義では、保険制度のもつこれら2つの側面を法的視点から解明しようと考えております。
 次に、海商法ですが、海商法は船舶を手段とする海上企業活動に関する法です。船舶というと、時代遅れの交通手段に思われますが、物品の運送については依然として主役の地位にあります。また、海商法は、歴史的にいうとその起源を中世の慣習法に求めることができます。そのため、この分野には独特の制度がみられます。この講義では、海上運送契約法を中心に概説する予定です。

講義の内容・授業スケジュール

前期では、保険制度の仕組み、損害保険の法的仕組みを解説します。後期では、火災保険、自動車保険、生命保険を解説し、次いで海商法を概説します。

履修上の留意点

債権法の基礎的知識を習得していることが望ましいです。特に、経済学部の学生は民法の基礎知識が不可欠です。

成績評価の方法

成績は、学年末試験の結果で判定します。試験は持ち込み不可で行います。出席は、7～8回とる予定です。これは、成績評価の際に加算事由とします。

教科書

山野嘉朗・山田泰彦編著『現代保険・海商法30講第6版』（中央経済社）

科目名	担当者名	配当学科	単位
民事訴訟法	ま ぶち きよ し 間 湊 清 史	法B3・4選	4

講義のねらい

この講義では、民法など民事実体法についての一応の学習を終えた学生を対象として、民事訴訟手続の概説を行います。ここに民事訴訟手続とは、私人間の権利義務ないし法律関係の存否を巡って生じた紛争の解決を目指し、そのための基準を提示する手続のことをいいます。判決手続だけでなく、和解、調停および仲裁などの訴訟以外の民事紛争解決手続についても講ずる予定です。受講者に民訴手続の全体像と民訴理論の基本を体得してもらうのがこの講義の目標です。

講義の内容・授業スケジュール

(1)民事紛争の解決制度、(2)民事訴訟制度の現代的課題、(3)訴え、(4)裁判所、(5)当事者、(6)第三者による訴訟追行、(7)本案と訴訟要件、(8)当事者と裁判所の役割、(9)口頭弁論の諸原則、(10)口頭弁論の準備、(11)証明と証拠、(12)証明責任、(13)当事者の行為による訴訟の終了、(14)終局判決とその効力、(15)複数請求、(16)共同訴訟、(17)訴訟参加、(18)当事者の変動、(19)上訴・再審、(20)簡略な手続

履修上の留意点

問答方式による双方向授業を行う。履修者は相当の覚悟をもち、かつ必ず予習のうえ出席すること。

成績評価の方法

日常の授業参加態度、学年末試験の結果及び受講者の提出物の内容等に依拠して行います。問題作成および成績評価にあたっては、講義に積極的に参加した人が有利になるよう配慮します。

教科書

小林秀之編『判例講義民事訴訟法』（悠々社）2001年。その他については、追って指定する。

科 専
目 門
教 教
育 育

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
刑 事 訴 訟 法	まつもと ひでとし 松 本 英 俊	法B3・4選	4

講義のねらい

我々は日々、事件の大小にかかわらず、多くの事件報道、犯罪報道に接している。社会的に重大な事件であればその報道も大量になされる。しかし、日常的に我々が接する、このような情報は概ね捜査段階という刑事司法手続のごく一部にすぎない。また、公判段階の問題については、その情報量はとりわけ少ないといえよう。

本講義では、まず刑事司法手続の全体像を確認・把握し、報道や捜査段階および公判段階等に見られる問題点を刑事司法の理念をふまえて検討することを目的とする。

講義では、憲法・刑事訴訟法の理念に基づいた解釈から、現状を批判的に検討し、実務上どのような問題があるのかを考え、あるべき司法の姿を展望する。

講義の内容・授業スケジュール

前期

(1・2) 刑事手続の概観 (3・4) 捜査の全体像・捜査の端緒 (5・6) 逮捕 (7・8) 証拠の収集 (9・10) 勾留 (11・12) 被疑者取調べ (13) 公訴の提起

後期

(14・15) 公判手続 (16・17) 違法収集証拠の排除 (18~20) 伝聞法則 (21・22) 自白法則 (23・24) 上訴・再審 (25・26) 刑事手続の目的・まとめ

履修上の留意点

テキストおよび六法を持参すること。日ごろから問題意識を持ち、新聞・テレビ等の犯罪報道にも注意を向けてもらいたい。

成績評価の方法

原則として、定期試験により評価する。適宜、小テストやレポートを課し、その結果も参考とする。

教 科 書

白取祐司『刑事訴訟法 (第2版)』(日本評論社) 3,600円

参 考 書 等

松尾浩也・井上正仁編『刑事訴訟法判例百選 (第七版)』(有斐閣) 2,100円

そ の 他

授業は講義形式で行う。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
労 働 法	ふじもと しげる 藤 本 茂	法B 3・4選	4

講義のねらい

今日、労働関係は、雇用調整・リストラ、成果主義人事管理の導入に見られるように大きく変貌しています。現在は、変動期にあります。

労働法は、労働関係において生じる紛争を法的に解決する方法を検討する法領域です。この変動に無関係ではられません。

この変動期において、労働者に降りかかるさまざまな事象は、雇用関係法領域において、顕著です。労働基準法改正、解雇法制や男女雇用平等などです。

本講義ではこの雇用関係法領域を中心に授業を進め、その基礎的知識を身につけることを目標とします。

講義の内容・授業スケジュール

授業では、下記事項について、行います。

- (1) 労働法の基礎的考え方
- (2) 日本型雇用システムの変化と労働法
- (3) 労働関係の主人公－労働者、使用者、労働組合
- (4) 労働条件の最低基準の法定－労働基準法の特徴
- (5) 雇用における男女平等
- (6) 労働条件の決定－労働契約、就業規則、労働協約
- (7) 雇用の入り口－採用、採用内定、試用期間
- (8) 人事異動－配転、出向、転籍
- (9) 雇用の出口－解雇、定年、退職
- (10) 賃金、賞与、退職金
- (11) 労働時間、時間外・休日労働
- (12) 休憩、休日、休暇
- (13) 労働災害など

履修上の留意点

出席を心がけてください。私語はNo、携帯電話はOff、内職はNo、そして無断で席を立つことはNo。いわゆる授業のマナーは守ってください。

憲法、民法、社会保障法、社会政策は、近接科目であるので、ぜひ履修してください。

成績評価の方法

成績は、学年末試験がメインで、出席、レポートなどとともに、総合的に評価します。追・再試験は実施します。

教科書

浜村彰ほか著『ベーシック労働法』（有斐閣）か浅倉むつ子ほか著『労働法』（有斐閣）のうち1冊は用意してください。受講者は必ず1冊は用意してください。

参考書等

第1回目の授業で、プリントをして紹介します。

六法は、最新のもの（法律改正があるので特に注意）。そして労基法施行規則の載っているものを用意してください。

その他

皆さんが各々の事項について法的にはどのように考えていくのか、イメージを描きやすいように、裁判例など具体的な例を揚げながら、授業を進めます。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社 会 保 障 法	はら だ けいいちろう 原 田 啓一郎	法B3・4選	4

講義のねらい

今日の社会保障制度が本格的に構築されたのは、第二次世界大戦後であったこともあり、社会保障法学が本格的な法学の一研究領域として認知されたのはごく最近である。

社会保障は、第一義的には国民の生活保障を目的とする制度であり、その重要性は私たちの日常生活において無視し得ないものになっている。本講義では、社会保障法の基礎と個別制度の特質・内容の理解を通して、社会保障の法的理解を深めることを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

- I 社会保障とその特質
- II 社会保障法の理論と課題
- III 年金制度——国民年金、厚生年金、企業年金
- IV 社会手当制度
- V 医療保障制度——国民健康保険、健康保険
- VI 労災保険制度
- VII 雇用保険制度
- VIII 社会福祉制度
- IX 公的扶助制度

履修上の留意点

社会保障の法政策論は、同担当者による「社会政策」で詳細に取り扱う。

成績評価の方法

原則、筆記試験の結果によって成績判定を行う。出席はとらない。ただし、出席せずして単位を取得できるほどやさしい評価ではないことに留意されたい。

教 科 書

教科書は講義開講時に指定する。
指定する教科書と併せて、佐藤進ほか編『社会保障判例百選〔第3版〕』（有斐閣）2000年をそろえること。
六法は、『社会保障関係法規集』（労働新聞社）を必ず携帯すること。

参 考 書 等

適宜紹介する。

そ の 他

履修にあたっては、憲法、行政法、民法、労働法、社会政策、法哲学などの科目を既修若しくは本科目と平行履修していることが望ましい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
行 政 救 済 法	かお こ しょう へい 金 子 昇 平	法B 3・4選	4

講義のねらい

現代の行政法は、従来、対象とされていない、新たな法分野が続出している。例えば、行政手続法、情報公開法等の制定をはじめ、各行政分野ごとの基本法が整備されようとしている。また現実の行政需要も変化、発達し、その適正化が求められている。

講義は、行政紛争解決の手法として、行政救済法を、主な内容として行う。そこで具体的に、どのような国家賠償事件、行政事件が存在し、何が法律上の問題となっているのか、また、どのように法的解釈を、すべきかについて説明していきたい。

講義の内容・授業スケジュール

行政法の基本的な原理や原則に対する、再学習をし、行政法（総論）と行政救済法とのリンクを確認しながら講義を行う。

- (1) 国家補償（国家賠償法、損失補償）
- (2) 行政上の苦情処理
- (3) 行政上の不服申立（行政不服審査法）
- (4) 行政訴訟（行政事件訴訟法）

履修上の留意点

行政法は、きわめて数多くの法律が登場してくるので、六法全書を必ず持参すること。

成績評価の方法

期末試験の成績により評価する。

教 科 書

原田尚彦『行政法要論』（学陽書房）

そ の 他

塩野宏他編『行政判例百選Ⅰ・Ⅱ』第四版（有斐閣）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
税 法	きし た さだ お 岸 田 貞 夫	法B・法A 3・4選	4

講義のねらい

税法の体系を法律的な見地から検討し、所得税法等の規定の解釈を中心として、税法の意義、役割、問題点等を研究する。

講義の内容・授業スケジュール

税法の意義、機能、体系、租税法律関係の特色、租税の確定手続き、所得税法における納税義務者、課税所得の意義、所得の種類、収入及び必要経費の範囲等について、順次講義する。

履修上の留意点

予習の上、問題意識をもって授業に参加されたい。

成績評価の方法

前期および後期の試験の結果により評価する。

教 科 書

岸田貞夫著『税法としての所得課税』（税務経理協会）2,900円

参 考 書 等

金子宏著『租税法』（弘文堂）

そ の 他

授業は講義方式で行う。なお、レジュメを配付する予定である。

科目名	担当者名	配当学科	単位
地方自治法	とみ い ゆき お 富井 幸 雄	法B・法A3・4選	4

講義のねらい

日本国憲法下における地方自治の法制度を体系的に理解する。すなわち、昭和22年に制定された地方自治法が具体的にいかなる意味をもち現実化されているか、憲法の意図する地方自治の理念がそこに具体化されているかを批判的に検討する。平成12年度より、地方分権を旨とした新しい地方自治制度がスタートする。この改革がいかなる意義をもつのかをきしめながら、新地方自治法の理念を理解する。

講義の内容・
授業スケジュール

地方自治法の体系に沿って講義を行う。前期は、憲法と地方制度の関係を比較法的ならびに歴史的に考察を行った後、地方公共団体の概念、住民の地位及び権利、自治立法権について議論する。後期は、地方公共団体の事務、組織、財政、地方公務員制度について勉強する。教科書を基本に講義するが、毎週レジメを配布し、それに沿って授業を行う。判例等の資料も適宜配布する。

成績評価の方法

前期試験（40％）と学年末試験（60％）で総合的に評価する。

教科書

原田尚彦『地方自治の法としくみ』（学陽書房） 2,000円

参考書等

『地方自治判例百選（第2版）』（別冊ジュリスト）。
なお制度の概要を大まかに理解するには、鈴木正明他『図解 地方自治法』（良書普及会）は便利。地方自治の制度的問題を勉強するには、新藤宗幸『地方分権』（岩波書店）、同他『概説日本の地方自治』（東京大学出版会）は必読。

その他

講義では頻繁に法律の条文に言及するので、六法（『地方自治小六法』（学陽書房）があるがポケット六法でよい。）は必携。その都度チェックすること。平成12年度には地方自治法の大規模な改正がなされたので、必ず平成13年度版以降を購入すること。憲法や行政法の履修者が望ましいが、少なくとも両方分野について高い関心を持つこと。わからないことは遠慮なく質問に来て欲しい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
国際紛争解決法	おう し あん 王 志 安	法B3・4選	4

講義のねらい

国際法における紛争処理の様々な手段について、それぞれの形態、機能、限界及び適用可能性を把握し、国際紛争解決の法的仕組みを理解する。

講義の内容・授業スケジュール

国際紛争の処理を具体的な法制度、手続きの側面から取り上げ、一回の講義で一つの課題を絞り、それぞれ制度の展開、機能及び事例検証の形で解明する。前期では、国際紛争の基本構造、紛争解決手段の基本的枠組みを講義した上で、外交的手段による紛争解決、国連における紛争解決及び世界貿易機構（WTO）の紛争処理制度を取り上げる。具体的には、国際義務違反の責任形態、紛争の平和的解決の意義、交渉、仲介、国際調査及び調停といった制度の展開及び適用、国連における紛争処理の制度的展開及び現状、そしてWTOの紛争処理制度の発展、手続き及び制度の意義を講義する。後期では、仲裁裁判及び国際司法裁判を取り上げる。具体的には、国際裁判の史的展開、仲裁裁判制度の確立及びその手続き、国際商業仲裁の現状、国際司法裁判所の組織、管轄権、適用法規則、手続規則などを講義する。

履修上の留意点

参考資料を適宜に配布し、教科書の内容を補足しながら講義を進めていく。power pointで講義を進める。簡潔な聴講ノートは、下記のホームページから入手できる。
<http://www.komazawa-u.ac.jp/~anzhi/index.htm>

成績評価の方法

年末の筆記試験によって評価する。ただし、前期小テストと出席状況も成績を評価する際に考慮される。

教科書

大沼保昭編著『資料で読み解く国際法』第2版（下）（東信堂）2002 2,000円

参考書等

市販されている国際条約集及び国際判例集。これらにつき開講時に詳しい情報を提供する。

その他

授業は主として講義方式で行うが、判例の分析につき学生のまとめ報告を求めることもある。板書のかわりに、powerpointを利用した講義を行う。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 際 私 法	かき はら とし ひろ 笠 原 俊 宏	法B3・4選	4

講義のねらい

渉外的要素を有する私法問題の解決を目的とするのが国際私法である。それは、狭義において、準拠法の選定を主たる役割とする。その意味において、国際私法は、民法や商法のように私法問題の直接的な判断基準となる法律とは、規律する領域を異にしており、異なる次元に位置づけられるものとして、上位規範などと呼ばれることがある。講義においては、国際私法のこのような特質を明らかにしつつ、実質法における理念の変化が国際私法にとっても無縁でないことを実証的に論じたいと考えている。時として難解な科目であるといわれることがあるが、最近の身近な問題を具体例として取り上げるなどして、できる限り分かり易いものとなるよう工夫したい。

講義の内容・授業スケジュール

講義の内容およびスケジュールについては、ほぼ次のように予定している。

1. 国際私法総論 (4月、5月、6月)
2. 国際家族法 (6月、7月、9月、10月)
3. 国際財産法 (11月、12月)
4. 国際民事訴訟法 (1月)

履修上の留意点

基礎となる他の科目、就中、家族法について、基礎知識を有することが好ましく、民法についても併せて学習することを期待する。

成績評価の方法

学年末の筆記試験によって行なう予定である。

教 科 書

笠原俊宏著『国際家族法要説 (新訂増補版)』(高文堂出版社)を使用する。

参 考 書 等

いずれかの六法を常に携帯することを望む。

そ の 他

授業は普段講義によって進行するが、時折、事例を設定して、皆で一緒に考えることも予定している。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経 済 法	あら い とし お 荒 井 登 志 夫	法B・法A3・4選	4

講義のねらい

規制緩和・グローバル化の下で独占禁止法を中心とする経済法の分野はいよいよ重要性を増し、近年、相次いで法改正等が行われています。本講では、独占禁止法、景品表示法、下請法及び官製談合防止法の規定を、①実体経済の動きや歴史的視点をバックに、②規定の意味内容を平易に解説するとともに、③抽象的な規定の適用実態を理解できるよう具体的な適用事例を挙げて説明する計画です。

講義の内容・授業スケジュール

- 〔前期〕(1~3)前史、全体像・基本的概念 (4~5)私的独占 (6~10)不当な取引制限等(価格カルテル・入札談合、事業者団体カルテル、官製談合防止法、課徴金) (11~13)不公正な取引方法・前半
〔後期〕(14~16)不公正な取引方法・後半(景品表示法・下請法) (17~18)第四章規定(株式所有・合併・持株会社) (19)寡占問題(独占の状態・価格の同調的引上げ)
(20~23)公正取引委員会、手続規定・措置体系 (24~25)国際的環境(海外独禁法、国際的協定) (26)まとめ

成績評価の方法

学期末試験の結果と前期末の受講者の提出物の内容に基づいて行います。問題作成及び成績評価に当たっては、講義に出席し実態的な理解を深めた方が有利になるよう配慮します。

教 科 書

舟田正之・根岸哲『独占禁止法概説』(有斐閣)3,600円
なお、適宜プリントを配付し、法改正情報、事例研究の参考となるようにします。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
知 的 財 産 権 法	もり おか かず お 盛 岡 一 夫	法B・法A3・4選	4

講義のねらい

知的財産権法には、狭義の工業所有権法（特許法・実用新案法・意匠法・商標法）の他に著作権法等が含まれる。知的財産権法は、知的所有権法または無体財産権法といわれることもある。

知的財産権法全般についての基礎理論を理解できるように、わかりやすく講義したいと考えている。学説・判例の対立している点については、これに関する学説・判例を紹介し、問題点の所在をあきらかにしたい。

特許法においては、発明の定義、特許を受けるための要件、従業者が発明をした場合の法律関係、特許権の侵害に対する救済方法、実施契約等について、実用新案法においては、特許法との相違について、商標法については、商標登録要件および類似商標について詳しく解説する。著作権法および不正競争防止法についても講義する。

講義の内容・授業スケジュール

前期：4月・5月・6月特許法・実用新案法、7月意匠法
後期：9月・10月商標法、11月著作権法、12月不正競争防止法

成績評価の方法

前期・後期に行なう平常試験および学年末試験によって評価する。

教 科 書

盛岡一夫『知的財産法概説』（法学書院）

参 考 書 等

特許庁編『工業所有権法逐条解説』（発明協会）、中山信弘『工業所有権法上』（弘文堂）
鴻・紋谷・中山編『特許判例百選』（有斐閣）、斉藤・半田『著作権判例百選』（有斐閣）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
民 事 執 行 ・ 保 全 法	ほし ちと 橋 本 聡	法B・法A3・4選	4

講義のねらい

この講義では、民事執行法と民事保全法を取り上げます。前者は、債権者・債務者・第三者の諸利益の調整を行い、かつ、権利を迅速に実現するための仕組みを定めたものであり、後者は、そのような権利の実現を保全するための仕組みを定めたものです。講義では、これらの法律が権利実現のためにどのような仕組みを予定しているのか、そして、それがどのような基本原則に基づいて動かされているのか、ということについて理解することを主たる目的にしたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

第一回目の講義の際にシラバスを配布する予定です。

履修上の留意点

民事訴訟法および民法（特に担保物権）を既に履修しているか、または併行して履修していることが望ましい。

成績評価の方法

年度末の定期試験（70%）および前期末の中間テストあるいはレポート（30%）によって評価を行います。尚、中間テストあるいはレポートの返却および評価の公表は予定していません。

教 科 書

山本戸克己『民事執行・保全法講義〔補訂二版〕』（有斐閣ブックス）1999年 およびコピー資料を予定していますが、場合によっては変更の可能性があります。

科目名	担当者名	配当学科	単位
倒産処理法	あめみや まさや 雨宮 眞也	法B・法A3・4選	4

講義のねらい

主として、破産法についての基礎理論と現行法の解釈論を中心に講義する。関連して会社更生法、民事再生法についても講義し、わが国の倒産処理体制の総合的理解が得られるよう講義する。

法理論は社会現象をリードするとともに、社会現象はまた法理論をリードする。両者の相互関係をふまえつつ、学生諸君の法的思考力の向上に努めたい。

講義の内容・授業スケジュール

教科書の構成に従って、順次講義を進める。

履修上の留意点

破産法は、法律のつぼと云われるように、実体法、手続法、刑事法から構成され、民法、商法、労働法等々を、いかに修正するかの学問でもある。破産法の学習を通して、学生諸君が実体法と手続法を総合して理解する力を養うことを期待する。

成績評価の方法

定期試験の成績により評価する。

教科書

山本和彦著『倒産処理法入門』（有斐閣）

参考書等

霜島甲一著『倒産法体系』（勁草書房）

その他

授業は講義方式となるが、受講生の数によっては、ゼミ方式を取り入れることもある。

科目名	担当者名	配当学科	単位
財政学	はやみ のほる 速水 昇	法B・法A3・4選	4

講義のねらい

私たちの日常生活は、そのほとんどの側面で直接・間接的に政府の経済活動の恩恵を受けている。たとえば、出掛けに傘を持っていくべきか否かは、適確な天気予報によって判断できるし、病気や怪我をしたときにかかる医療費は医療保険のおかげで実際に支払った額の数割程度ですむ。また、道路・港湾などの社会資本整備は公共部門が供給しているなど、政府はさまざまな役割を担っている。さらに金融不安、国債の累積残高、高齢化・少子化社会、規制緩和など政府が解決しなければならない問題が非常に多くある。

その反面、わが国の政府は、平成15年度末で国債の発行残高が約450兆円、地方公共団体の赤字が約199兆円、これに約28兆円の旧国鉄の債務や「隠れ借金」といわれる林野事業等の特別会計の借金などを加えると、財政赤字は実に約686兆円になる。この数字は15年度わが国のGDP見込みの137.6%に相当する。EU（ヨーロッパ連合）の基準だと健全な国家の財政赤字はGDPの60%とされているから、わが国の財政はいかに不健全な状態であるかが理解できる。最近の景気低迷、これから高齢化・少子化社会に向けて、納税者としての立場、あるいは日本国民としての立場から財政の問題を考えていくことが大切であるという認識に立って授業を行う。尚授業中に勉強したことについて10回程度の小テストを予定しているので、出席に自信のある学生を希望する。

成績評価の方法

試験、授業中の小テスト、レポート（小テスト、レポートで成績の半分を評価する）

教科書

速水昇著 要説『財政学』第三版（学文社）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 際 関 係 論	みなみ やま あつし 南 山 淳	法B・法A3・4選	4

講義のねらい

近代ヨーロッパに成立した国際社会は、戦争による世界秩序の崩壊と新たな世界秩序の創造というサイクルを描きながら、地球全体を覆うまでにその規模を拡大してきている。他方冷戦構造の崩壊、グローバリゼーションの拡大、米国における同時多発テロ、イラク戦争等に象徴されるように、近年の国際関係は激しく変動し、複雑化の一途をたどっている。

本講義の目的は、伝統的な国家間関係とトランスナショナルな関係が相互に影響を与え合う現代国際関係の全体像を構造的に理解することにある。構造的な理解とは、近代から現代にいたる国際関係のダイナミズムのなかで、持続する領域と変容する領域を画定していく作業に他ならない。そのためには、歴史と理論を別々に考えるのではなく、共通の視角を設定して理解することが不可欠である。現実の国際構造の変動とともに学問としての国際関係論のあり方も大きく変化しており、できるだけ最新の研究動向とカレントな問題を関連させながら、講義を進めていきたい。

講義の内容・
授業スケジュール

前期は、主権国家、国際的アナーキー、権力政治、安全保障、相互依存など、国際関係論の基本概念の理解と主要理論の解説に重点をおき、後期は、国際組織、地域紛争、グローバル経済、地球環境問題、ジェンダーなど、現代国際関係の諸問題を近年の（特に理論的な）研究動向と併せてとりあげる予定である。

履修上の留意点

政治経済、国際関係史、時事問題に関する基本的な知識を整理したうえで受講すること。

成績評価の方法

学期末試験およびレポートにより評価する。

教 科 書

南山淳著『国際安全保障の系譜学—現代国際関係理論と権力／知—』（国際書院）
進藤榮一著『現代国際関係学—歴史・思想・理論—』（有斐閣）

参 考 書 等

国際関係論を体系的に学習するうえで必要な文献リストを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
実務演習Ⅰ	なかのたつひさ 中野辰久	法B3・4選	4

講義のねらい

本演習は、憲法を中心に演習を行っていきます。特徴としては、弁護士が担当することで実務における法の適用のされ方を踏まえた、憲法の諸論点の理解並びに法解釈能力を養うことを目的とします。

講義の内容・授業スケジュール

憲法の中でも基本的人権論を中心に取り上げ、それに関連する形で統治機構論・憲法訴訟論を加味していく予定です。

検討テーマの一例を挙げると下記のとおりです。

- 1 基本的人権総論
- 2 基本的人権の限界－公共の福祉論
- 3 精神的自由権を規制する法律の合憲性審査基準
- 4 経済的自由権を規制する法律の合憲性審査基準
- 5 社会権を巡る問題
- 6 法の下での平等

履修上の留意点

演習（ゼミ）形式を想定しておりますので、出席が必須と考えます。また、本演習を受講した後の復習をしていただきたいと思います。

成績評価の方法

演習（ゼミ）形式を想定しておりますので、出席とレポートで評価する予定です。

教科書

芦部信喜・高橋和之補訂『憲法第三版』（岩波書店）
芦部信喜・高橋和之・長谷部恭男編『別冊ジュリスト 憲法判例百選Ⅰ・Ⅱ（第四版）』（有斐閣）

参考書等

演習の都度、レジュメを配布する予定です。

その他

弁護士の業務内容その他の法律実務の話等も適宜行っていきたいと思ひます。

科目名	担当者名	配当学科	単位
実務演習Ⅱ	つるい しゅんきち うへの ささよし 鶴井 俊吉・上野 雅祥 こばやし さとる はまなか よしのこ 小林 党・濱中 善彦	法B3・4選	4

講義のねらい

本演習の特徴は、①法科大学院（ロー・スクール）への準備段階として、専門領域について精通している経験豊かな弁護士を中心に、模擬授業を共同で行うこと（共同で演習を担当するのは、前年度に続き3回目である）。②法曹になるための前提としての大学院試験（ロー・スクール）等を念頭に入れている演習であること、の2点である。

講義の内容・授業スケジュール

演習内容は、三名の弁護士と相談して決定するが、基礎民法演習で学んできたことを前提として、ケース・スタディーなど実践的な内容の比重が大きくなると思われる。具体的事案の解決にあたって、今まで学んできた民法の基本原則をどのように活用し、法律構成して妥当な結論に導くかという、理論的思考を重視した演習になる。そのために、積極的に討論に参加できるように希望する。

検討するテーマは、受講者決定後にプリントを配布する予定です。

履修上の留意点

受講者が多数の場合は、最初の演習の時間に選択を行う予定です。全員が成績証明書を持参して下さい。

成績評価の方法

出席状況と平常点で総合評価する。

参考書等

演習の都度、適宜指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
実務演習Ⅲ	木村美隆	法B3・4選	4

講義のねらい

実定法上のひとつである刑法は、現実の社会への適用を前提に存在している。そうであれば、その適用の現実を知ることは、刑法の学習上不可欠でもあることは言うまでもないし、ひいては大学での学習と実社会との接点を知ることにもなる。またこれを検討することによって、これまで学んできた知識の正確さが問われるとともに、さらには新たな興味が喚起されることともなっており、より高いレベルへの学習の契機となるはずである。

講義の内容・授業スケジュール

このような視点から、基礎刑法演習等で充分時間をとって紹介することのできなかった刑法の重要判例を、総論、各論の分野にとらわれずとりあげ、これを素材に社会に生起する現実の事件に対する刑法の適用の姿を知ることとしたい。

履修上の留意点

この講義を有意義なものとするためには、受講者は、単に判例を知識として集積しようというだけでなく、常にこれを批判的に検討しようとする姿勢が大切である。

成績評価の方法

講義で取り上げた判例のうち、任意のものをテーマにレポートを提出してもらい、成績を評価することとしたい。

参考書等

教科書、参考書としては、開講の際、受講者が入手しやすい学生向けの判例集を紹介するが、できれば、各判例の原典に当たってみることをお勧めしたい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
現代企業論(前期)	代田純	法B3・4選	2

講義のねらい

野村證券株式会社の提供による本講座は、「資本市場の役割と証券投資」をテーマとし、野村證券および野村総合研究所の現役スタッフによって前期13回で講義される。講義では、証券市場に密接に関連する経済情報の捉え方からスタートし、株式や、債券、投資信託などの基礎を解説した後、資産運用とライフプランニング、資本市場と投資家心理などの実践的課題に接近し、最後にはベンチャービジネスにも言及する。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 ガイダンス
- 2 経済情報の捉え方
- 3 経済成長と金融資本市場について
- 4 証券投資のリスク・リターンについて
- 5 株式市場の役割と投資の基礎知識について
- 6 債券市場の役割と投資の基礎知識について
- 7 投資信託の役割とその仕組みについて
- 8 ポートフォリオ・マネジメントについて
- 9 市場のグローバル化と証券投資について
- 10 資産運用とライフプランニング
- 11 資本市場における投資家心理について
- 12 個人投資家と証券ビジネスについて
- 13 ベンチャービジネスとIPOについて

履修上の留意点

遅刻、途中退室は認めない。講師の都合でテーマが変更されることもある。

成績評価の方法

定期試験による。再試験はない。但し、レポート提出者には加点する。

教科書

毎回、講義資料が配布される。指定参考書として、代田純『日本の株式市場と外国人投資家』（東洋経済新報社）2002年を使用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
簿 記 論	すずき かつひろ 鈴 木 勝 浩	法B3・4選	4

講義のねらい

簿記は、企業の経済活動を貨幣価値的に把握し、一定の記帳原理に基づいて記録・計算する方法である。現在企業ではコンピュータによる会計処理が主流となっているが、その基本には複式簿記の原理があり、マニュアル方式による簿記と何の変わりもない。また簿記は会計関連科目を学ぶ上で基礎的前提となるものであるため、初めて会計を学ぶ学生を考慮に入れ、複式簿記の原理をわかりやすく解説を行っていく。

講義の内容・
授業スケジュール

本講義では、まず簿記の歴史と複式簿記の原理を解説した後、日商簿記検定3級程度の知識を得るべく、簿記一巡の手続きに従い、記帳演習を取り入れながら個別事項を学習していく。また現在の実務状況を勘案し、コンピュータ環境下における簿記会計の在り方についても触れていきたい。

履修上の留意点

簿記はその性格上、知識の積み重ねが必要であるためなるべく欠席しないこと。また簿記は一定のルールさえ習得してしまえばその後の理解は容易である。したがって講義のスタートを大事にしたいと考えており、学生諸君もそのつもりでいて欲しい。

成績評価の方法

出席率及び定期試験の総合評価で行う。
再試験は実施する。

教 科 書

新井清光『入門簿記』（中央経済社）

参 考 書 等

『要点整理 日商簿記検定練習問題集 3級』（一橋出版）

そ の 他

講義の際には、電卓を持参すること。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経 営 学 総 論	ひゃく た よし はる 百 田 義 治	法B3・4選	4

講義のねらい

この講義では、大学に入学して初めて経営学を学ぶ学生を対象に、できるだけやさしくその体系と内容を解説することを目的としています。

20世紀の科学として生成・発展した経営学は、21世紀を迎えて、ますます進展するグローバル化と情報技術革新のなかで、大きく変容しています。この講義では、できるだけこのような新しい経営現象を素材として、経営学の考え方や分析の仕方を理解できるようにします。もちろん、これまでの経営学の理論や企業経営の歴史的発展を学ばなければ、新しい経営現象を深く理解することはできません。楽しく講義しますが、学生諸君も積極的に取り組む姿勢を大切にして参加してください。

講義の内容・
授業スケジュール

- I. 経営学（マネジメント）とは何か？
- II. 経営学100年の歴史から学ぶ（1）—効率性追求の歴史的発展—
 1. 科学的管理法 2. フォード・システム 3. トヨタ・システム
- III. 経営学100年の歴史から学ぶ（2）—人間性追求の歴史的発展—
 1. 人間関係論 2. 行動科学的管理論 3. 人的資源管理論
- IV. 経営組織における官僚制と民主制
- V. 経営環境と経営戦略
- VI. 企業の社会性と組織間関係
- VII. 国際経営の進展と経営組織
- VIII. 企業倫理と組織文化
- IX. 21世紀のビジネス・モデル

履修上の留意点

新聞を読み、テレビのニュース・報道特集などをみて、企業の経営・管理問題に関心を持って授業に参加して欲しい。現代の企業経営を巡る話題に関連づけて講義を進めます。

成績評価の方法

学年末試験およびレポートによって評価します。授業スケジュールにある項目ごとの小レポートも成績評価に加えます。

教 科 書

稲村毅・百田義治編著『経営組織の論理と変革』（ミネルヴァ書房）近刊。

参 考 書 等

新書・文庫を中心に紹介します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
会 計 学 総 論	いし かわ じゅん じ 石 川 純 治	法B3・4選	4

講義のねらい

会計学の基礎知識および会計情報の役割について学習する。後半の授業では前半の知識の上に立って、さらに企業活動の重要な記録計算システムのモデルと、そのバリエーションとしての革新的記録計算システムを学習する。

講義の内容・
授業スケジュール

前半は簿記の基礎知識をとおして会計全体の基礎を学習する。後半では会計情報と経営・経済とのかわりについて教科書の演習問題にそって学習する。

履修上の留意点

前半も後半もいずれも教科書にそって講義するので事前に購入しておくこと。

成績評価の方法

小テストと定期試験による。

教 科 書

加古・渡部『新検定簿記講義3級』（中央経済社）648円
石川純治『経営情報と簿記システム（3訂版）』（森山書店）2,500円

そ の 他

一方的授業を避けるため、まず「何が問題か」そしてそれを「どう解くか」を明確にするため設問を解いてもらい、そのあとで教科書にそって解説するという方式をとる。

Ⅲ 他学部履修科目

授業時間表の区分「A」の科目を履修する場合は、
フレックス A の頁を参照してください。(→P. 447)

Ⅲ. 他学部履修科目

商学	総論	〈大吹勝男〉	631
社会思想史	〈阿部弘〉	632	
国際経済論	〈休講〉		
商業政策	〈岩下弘〉	633	
アジア経済論	〈鄭章淵〉	634	
価格理論	〈荒木勝啓〉	635	
銀行論	〈齊藤正〉	636	
マーケティング	〈休講〉		
中小企業論	〈休講〉		
人口論	〈休講〉		
労務管理論	〈休講〉		
法思想史	〈高橋洋城〉	637	
倒産処理法	〈雨宮眞也〉	637	
アメリカ経営学	〈宮城徹〉	638	
経営財務論	〈高田光明〉	639	
経営組織論	〈日野健太〉	640	
公益企業論	〈園田哲男〉	641	
公管會計論	〈猿山義広〉	641	
管會計監查論	〈阿部一人〉	642	
日本経済論	〈羽鳥茂〉	643	

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
商 学 総 論	おお ぶき かつ お 大 吹 勝 男	法A・政治・法B	4

講義のねらい

近年ますます大学において、学問が軽視される風潮にあります。そして生残りをかけ、学生集めのために実学主義・実用主義を売りものにする大学が増加しています。大学は学生および社会的要請に答えねばならないという主張のもとに、会社・企業のために大学が存在することを主張し、かつ君たちに会社人間になることを勧めるマスコミや評論家等がいます。そして一方で、学問に背を向け、それらに迎合する大学人がいます。しかし、大学は入学した君たちのためにあり大学で学ぶことは、将来君たちが人間らしく生きるための助けになるものでなければなりません。本学もまた大学である限り、学問の場でなければなりません。いいかえれば、大学においてしか学ぶことのできない、物事の見方、考え方を学ぶことです。さらにいうならば、実用的でないもの、すぐには役立たないもの、これらを学ぶのが大学です。何年かキャリアを積んだビジネスマンから聞くことは、大学時代に学問をしておくべきであったということです。諸君も、過労死か過労自殺をすることなく、そして使い捨てのサラリーマンになることのないように、体系的に思考する能力を身につけて下さい。そして、社会人として現実に困難な問題に出会った時に、学問をした人間として、大学の卒業生として、きちっと解決のできる人間になってください。母さん、学者の良心はどこまで転落してゆくのでしょうか。本講義では現代における流通および商業に関する諸現象を科学的に認識するために必要な流通理論（物流の基礎理論を含む）および商業資本の理論を講義しますが、それらの知識を習得するとともに、それらを学ぶ過程において体系的な思考方法を習得し、思考能力を高めてください。そのためには一年間を通して授業に出席することが必要です。また本講義は、君たちが履修するであろうマーケティングや商業政策・流通政策のための基礎理論を提供するとおもいます。

講義の内容・授業スケジュール

授業内容は下記の項目の通りですが、本年度は、これらの項目について講義しながら、現代企業の経営戦略において重要性を増している物流問題を考えるうえで、その基礎となる理論について特に力を入れるとともに、同時にロジステックスについても考え、さらに、サイプライチェーンとそのマネジメント（管理）について検討します。また、マーケティングおよびブランドの問題についても検討する予定です。

- (1) 商品論（価値論）・電子マネー
- (2) 生産過程論（労働過程論）
- (3) 流通過程論（資本の流通過程 商品在庫と保管費用・市場と商品輸送）
- (4) 資本の回転と流通資本
- (5) 商業資本の本質論・自立化論・卸売排除論・電子商取引（eコマース）
- (6) 商業利潤論
- (7) 商業労働論・ホワイトカラー労働論（サラリーマン論）

成績評価の方法

評価は期末試験によるが、授業の予習をかねてレポートを課すこともありうる。また各授業項目が終る毎に、小テストを実施し、君たちの理解度を確かめ、一層の理解を深める手段とします。

期末試験は論述形式でおこなう。再試験は実施する。

教科書

大吹勝男『流通費用の基礎理論』（4月刊行予定）

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会思想史	阿部 弘 <small>あべひろし</small>	法A・法B	4

講義のねらい

「経済学」という科学は、人間社会の歴史とともに歩んできた内容を持ちます。しかし、その学問としての成立過程は、19世紀に入って、ヨーロッパ社会で「近代市民社会」が成立してくる時期と軌道を一つにしています。

この講義では「経済学」の成立と「市民社会」との関係を明らかにすることを目標にしていますが、「経済学」の原型は、古代の社会で形成されてきた、「帝王学」的な政治・経済政策論に求められるから、最初にその実態を、東洋社会の「経世済民論」とインド・ヨーロッパの農業政策技術や重商主義的な政策論の展開に観ていくことにします。第2部として近代ヨーロッパ社会での、フランス革命に象徴される「ブルジョアジー」、およびその後登場してくる「プロレタリアート」が「経済学」の成立過程にどのような影響を及ぼしたのかを考察します。そのうえで、現代社会にあって、「経済学」は何を問題提起しているのかを受講生諸君と共に考えていきたいと考えています。

講義の内容・授業スケジュール

年間の講義は次の構成となります。

第1部：「経世済民」という考え方

第1章：古代中国での「経世済民」思想

第2章：インド・ヨーロッパ的帝王学

第3章：日本における輸入学問としての「経世済民論」

第2部：ヨーロッパ社会での「経済学」の形成過程

第1章：「個人主義」思想の形成と「道徳哲学」の新たな展開

－マンデヴィル思想から「道徳感情論」へ

第2章：フランス革命と「経済学」の形成過程

第3章：マルクスの経済学体系

成績評価の方法

1 「成績評価」は年間4回のレポートの作成で行います。

レポートは5月・7月・10～11月・12月におこないます。したがって「定期テスト」は行いません。

年4回のレポートを行うのは、講義形式のばあいには評価を年1回のテストで行いますと、となく受講生の皆さんと講師との交通がみられなくなるからです。

レポートの形式は、5月の第1回目は講師が受講生全体に共通なテーマを設定し、第2回以後は作成されたそれぞれのレポートからのテーマをも設定します。

2 上記のように年間4回のレポートを皆さんとともに実施していくのですから、回数が少なくてもよいとか、1回だけレポートを密かに作成して「送りつけ」てきたり、私のポストに投げ入れたりしても、評価が悪くなるだけですから注意してください。

3 「評価」はレポートで行いますので、「定期試験」および「追試験」とか「再試験」は行いません。

教科書

阿部弘『労働と所有』（八千代出版）3,200円＋税

その他

受講生と講師が「レポート」外で連絡し得るようになるために、講師の住所を下に記しておきます。

阿部弘：〒179-0072 練馬区光が丘6-1-4-204/TEL03-3976-7984

研究室：第2研究館5F No.2538/TEL03-3418-9360

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
商 業 政 策	岩 ^{いわ} 下 ^{した} 弘 ^{ひろし}	法 A・法 B	4

講義の内容・
授業スケジュール

- 一 わが国の小売商業構造と蓄積構造
 - 1 90年代の小売商業構造
 - 2 80年代の大手小売業の資本蓄積構造
 - 3 90年代の大手小売業の資本蓄積構造
- 二 わが国の流通政策論
 - 1 中小小売商保護政策論
 - 2 流通近代化政策論
 - 3 流通システム化計画論
 - 4 流通革命論
- 三 流通ビジョンと流通政策
 - 1 70年代の流通
 - 2 80年代流通産業ビジョン
 - 3 90年代流通ビジョン
 - 4 21世紀へ向けた流通ビジョン
- 四 わが国の小売商業調整政策の展開過程
 - 1 百貨店法
 - 1) 第一次百貨店法 2) 第二次百貨店法
 - 2 中小小売商業振興法
 - 3 小売商業調整特別措置法
 - 4 大店法
 - 1) 1973年法 2) 1979年改正法 3) 1991年改正法
 - 5 凍結宣言、要綱及び条例
 - 6 通産省による行政指導 = 抑制措置
 - 7 規制緩和
 - 1) 規制緩和の流れ - 前川レポート、行革審報告 2) 日米構造問題協議 3) 適正化措置
 - 8 特定商業集積法
 - 9 街づくりと都市計画
- 五 流通政策の転換
 - 1 大店立地法
 - 2 中心市街地活性化法
- 六 海外の流通政策
 - 1 イギリス
 - 1) 出店調整政策 - 都市・農村計画法 2) 日曜営業問題 - 商店法
 - 2 フランス - ローリエ法
 - 3 ドイツ - 土地利用計画
 - 4 アメリカ - ゾーニング規制

成績評価の方法

定期試験、レポート、出席により評価。再試験は実施しない。

教 科 書

指定しない。

参 考 書 等

その都度指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ア ジ ア 経 済 論	ちよん 鄭 ちゃん 章 よん 淵	法A・政治・法B	4

講義のねらい

この講義では、受講生諸君のアジア経済に対する理解を深めるために、アジア経済を歴史・理論・現状分析の3分野に大きく分け、できるだけその全体像に迫る予定である。基本的な視座としては、1960年代以降本格化したアジアの経済発展を20世紀後半期に新たに勃興した資本主義発展の事例と捉え、その特徴並びに発展と矛盾のメカニズムの解明に焦点を当てる。その際、従来のアジア経済論のように（典型的には、新古典派開発経済学）工業化の本格化した60年代以降の時期にのみ注目するのではなく、その「前史」をなす時期（特に、植民地期や戦後1950年代までの時期）も射程に入れて、通史的に経済発展過程を捉える。また、60年代以降の工業化過程において常に経済発展をリードしてきたアジア国家の役割を重視し、「開発独裁」概念を援用した分析を試みる。そして、あくまでもアジアに視座を置きつつも、現在に至る歴史過程において、その都度、アジア経済に決定的な影響を及ぼしてきた世界経済の動向にも注意を払いたい。

講義の内容・授業スケジュール

〔前期〕

1. 経済発展の前史
 - (1) 植民地経済の概要
 - (2) 戦後経済発展の初期条件
2. アジアNIEsの経済発展
 - (1) アジアNIEsの範疇と経済発展の特徴
※NIEsの用語説明、経済開発戦略の特徴、産業の特徴
 - (2) 開発独裁体制の成立
※韓国の事例、その他の開発独裁
 - (3) 経済発展と民主化の弁証法
3. ASEAN諸国の経済発展
 - (1) タイ・マレーシア・インドネシアの経済発展過程
 - (2) ASEANの歴史
 - (3) 日本企業の進出状況

〔後期〕

4. アジア社会主義諸国の開放政策
 - (1) 中国の開放政策
 - (2) その他……ベトナム、北朝鮮
5. アジア経済発展論の系譜
 - (1) アジアNIEs論
 - (2) 東アジア経済発展論
6. アジアにおける地域経済協力
 - (1) APECの発展過程
 - (2) ASEANの自由化過程
 - (3) その他の中小規模経済圏
7. アジア経済の現状
 - (1) アジア通貨危機の発生とその影響
 - (2) その他の諸問題…環境問題 etc.
 - (3) 日本とアジアとの関係の展望

成績評価の方法

前期および夏期の2回のレポートと学年末の定期試験で総合的に評価する。試験の際に自筆のノートを参照にしてもらうので、講義中ノートをよくとってもらいたい。再試験を実施する。

教科書

特に定めませんが、準テキストとして以下の文献を読んでもらいたい。
大野健一・桜井宏二郎『東アジアの開発経済学』（有斐閣アルマ）2,000円（税抜き）

参考書等

参考文献については、講義中に随時紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
価格理論	あら 木 よし ひろ 荒 木 勝 啓	法A・政治・法B	4

講義のねらい

授業のあらまし：価格理論の目的は、経済の中でミクロ主体が互いに競争と最適化を行うことにより、市場および経済一般がどのような方向に向かうかを研究することにある。もし競争が理想的に行われ、情報や資源移動の完全性が保証されるならば、市場はパレート最適と呼ばれるある種の理想状態に達し、価格は自然に社会的厚生を最大化する水準に定められる。しかし例えば市場参加者が2という少数者で行われるならば、たとえ同様の競争自体が行われても、結果はクールノ・ナッシュ均衡とよばれるような、完全競争とは異なった市場均衡に到達するであろう。またその競争のありようによっては同じ2という参加者の競争から、シュタッケルベルク均衡と呼ばれるさらに異なった均衡状態が作り出されるかもしれない。その点はもはやパレート最適からはほど遠い点である。

このように、価格理論は、一般に「物価水準」と呼ばれているような現実のデータとしての価格というよりも、経済の市場の枠組みやミクロ主体の行動様式に関する様々な想定から導出される as if パフォーマンスとしての価格決定を調べる科目である。従ってその分析のためにはどこまでも「最適化」手法がつかまとう。しかも経済学の場合最適化はほとんどの場合「制約付き最適化」である。

制約のないところに経済は成立しない。近代経済学を生み出した限界革命の旗手であるカール・メンガーは次のように述べる。村にわき出る泉があり、その水をだれでもが飲めるならば、その水をめぐる「経済」現象は生じないのであろう。しかし、旅人が増えて村人が水を自由に飲めなくなったときから泉の水に経済現象が生じ始め、水に価値が生まれはじめる。

以上のように価格理論では内容の理解がほぼ制約付き最適化手法の理解如何にかかっているといってもよい。従って講義のかなりの部分がそのために準備と練習にあてられると思っただきたい。

講義の内容・授業スケジュール

- (1) 価格理論で学ぶこと
- (2) 多変数関数と曲面
- (3) 微分、偏微分、全微分
- (4) 対数関数の微分と成長理論
- (5) 生産関数、コブ・ダグラス生産関数
- (6) ベクトルの直交と勾配ベクトル
- (7) 制約付き最適化問題のグラフィカルな理解
- (8) ラグランジュ乗数法
- (9) 加重限界効用均等の法則
- (10) 練習問題
- (11) 代替効果と所得効果の計算
- (12) 需要曲線と需要の価格弾力性
- (13) パレート最適、ボックスダイアグラム
- (14) MR 曲線
- (15) 独占均衡
- (16) 消費者余剰と生産者余剰、独占均衡の死重的損失
- (17) 消費曲線と供給曲線
- (18) 生産関数から短期費用関数の導出
- (19) 生産関数から長期費用関数の導出
- (20) クールノ・ナッシュ均衡
- (21) クールノ・ナッシュ均衡解の練習問題
- (22) 等利潤曲線
- (23) シュタッケルベルク均衡解
- (24) シュタッケルベルク均衡解の練習問題
- (25) ゼロサムゲームの解法

成績評価の方法

試験はノート・教科書・参考書持ち込み可。再試験実施。

教科書

浅野・荒木・浅田『エコノミックス』（成蹊堂）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
銀 行 論	さいとう だだし 齊 藤 正	法A・政治・法B	4

講義のねらい

「フリー、フェア、グローバルな金融市場」の実現を掲げた「日本版金融ビッグバン」及び小泉「構造改革」の下で日本の金融制度は大きく様変わりした。一方では、大手銀行の統合や合併、外資系金融機関の対日参入攻勢、異業種によるネットバンキングや決済専門銀行への参入、など、グローバル化とIT革命を背景とした激しい競争が「華々しく」繰り広げられている。他方では、バブル崩壊後の長期不況、不良債権処理の遅れのなかで、「銀行不倒神話」が崩壊し、金融システム不安も依然解消されていない。その影響は、特に地域金融機関において厳しく、地域経済は深刻な衰退状況にある。

不良債権の「最終処理」、ペイオフ解禁への対応、など、銀行を取り巻く状況はきわめて厳しいが、銀行は依然として「貨幣の供給および決済システム」を同時に担う唯一の主体であり、社会的に不可欠の存在であることには変わりはない。それゆえ、いまこそ21世紀における「持続的成長」を保証する金融システム、銀行の健全なあり方が強く問われている。

本講義では、現代の銀行が直面している諸問題を銀行の基礎理論に関連づけながら検討し、あるべき銀行の姿を考えてみたい。

講義の内容・授業スケジュール

- (1) まず、講義へのガイダンスとして、1990年代以降、銀行が直面している諸問題を概観し、新聞紙上等でよく見聞きする基本的用語と「銀行論」との関連づけを行なう。
- (2) 前期は銀行の基礎理論の理解を中心に据える。
 - 1) 銀行経営の不振とは対照的に大手消費者金融会社や商工ローン会社（貸金業）は史上最高の収益を達成している。
銀行制度の成立以前からすでに存在していた「金貸し業者」や「高利貸し」と「銀行」の違いがどこにあるのかを考えながら、「銀行」の基本的機能および経済社会（メーカー、流通業、消費者、さらに国家など）との関連を明らかにする。
 - 2) 銀行が一方で預金を受け入れ、他方で貸出を行っていることは広く知られている。しかし、銀行は受け入れた預金をそのまま貸し出すのではなく、「信用創造」という銀行のみに認められた方法で行い、その際「預金通貨」という「マネー」を供給する。このメカニズムを明らかにするとともに、インターネットバンキングや電子マネーなど、エレクトロニクス技術の発展にもとづいた「キャッシュレス社会」の意味について考える。
- (3) 後期では戦後の日本経済に果たした銀行の役割を時期ごとに検証する。
 - 1) 「専門的金融機関制度」といわれる戦後日本の金融制度の特徴とそれぞれの専門機関（普通銀行、長期金融機関、中小企業金融専門機関、証券会社、保険会社など）の役割を理解する。
 - 2) 時期区分は、おおまかに高度成長期（1974年まで）、低成長・自由化期（1985年まで）、バブル経済期（1990年まで）、グローバル期（1990年代以降）とし、欧米の動向も参考にしながらそれぞれの時期にどのような「銀行理論」が展開されていたのかを紹介する。
 - 3) 現代の銀行制度が抱えている主要な問題を浮かび上がらせる契機となったのが、80年代後半以降の「バブル経済」と90年代以降の「バブル崩壊」、「グローバル化」である。戦後銀行制度の抜本的改革目指すビッグバン及び小泉「構造改革」を様々な角度から検討しながら望ましい銀行システムのあり方を考える。

履修上の留意点

- 理解をさらに深めるために
- 1) 前期科目の「現代産業事情 III（野村證券提供講座）」
 - 2) 通年科目の「金融論」、
を併せて履修されることが望ましい。

成績評価の方法

成績は、定期試験（またはレポート）による評価を基本とするが、出席状況、授業態度における積極性も十分に加味するので、講義に対する質問、疑問を大いに歓迎する。再試験を実施する。

教科書

齊藤正『戦後日本の中小企業金融』（ミネルヴァ書房）2003年。
なお、授業は毎回配布するレジメに沿って進める。

参考書等

大橋・小西・齊藤・田村・平沢著『日本のビッグインダストリー 6 金融業』（大月書店）
日本銀行『新版 わが国の金融制度』
建部正義『はじめて学ぶ金融論』（大月書店）

科目名	担当者名	配当学科	単位
法思想史	高橋洋城 <small>たか 橋 ひろ き</small>	政治	4

(P.603) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
倒産処理法	雨宮眞也 <small>あめ みや まま ちや</small>	政治	4

(P.620) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
アメリカ経営学	みやぎ 徹	法A・政治・法B	4

講義のねらい

世界の経営学をリードしているのは、いうまでもなく、アメリカ経営学とドイツ経営学である。そして、日本の経営学の研究・教育は、第2次大戦前はドイツ経営学から、大戦後はアメリカ経営学から圧倒的な支配的影響を受けて発展してきた。ところが、特に1960年代以降になると、ドイツ経営学にもアメリカ経営学の影響が顕著に見られるようになった。

学生諸君は、必修科目である「経営学」の授業を通じて、無意識のうちに、アメリカとドイツの経営学にかんする基礎知識をある程度身につけていることを前提とした上で、経営学徒のメッカ、アメリカ経営学をその最先端の理論的・経験的研究の基本的成果を踏まえて全般的に講義するが、主として、下記の授業計画の7つの要目について検討する。その際、日本の企業との関連についても検討を加える。

講義の内容・授業スケジュール

マイクと板書。教科書は指定しない。

この授業は1週1回90分で年間30週の時間数（ただし、期末試験日を入れて）から成る。最初の授業時間は、この科目を選択するか否かを判断するために下見に来ている学生諸君に、アメリカ経営学の1年間の授業の概要を説明する。原則として、下記の授業計画の要目をそれぞれカッコ内の授業回数（合計29回）で完結する予定である。

なお、この授業回数は一応の日安であり、授業時間が祝祭日に当たる場合は授業の進展状況によって若干変更することがある。

〈2004年度『アメリカ経営学』授業計画〉

- I 1年間の授業の概要 (1)
- II 経営学の対象と方法 (2)
- III 意思決定と権力（パワー）(8)
- IV 戦略（特に提携、グループ、ファミリー）(4)
- V コンティンジェンシー理論 (4)
- VI 取引コスト理論 (6)
- VII プロパティ・ライツ理論 (2)
- VIII プリンシパル-エージェント理論 (2)

成績評価の方法

期末筆記試験。なお、学生諸君の理解度と教育効果を確かめるために、期末試験以外に、小試験をおこない、その結果を評価の対象に加味することがある。

《期末試験の出題形式》

複数の問題から1題選択して論述する。詳細は試験前の授業で説明する。

参考書等

- 1 宮城徹『企業の政治理論序説』（税務経理協会）1997
 - 2 宮城徹「企業制度とプロパティ・ライツ理論」『商学研究科紀要』（早大、第20号）1985
 - 3 宮城徹「情報と企業経営の理論的諸問題」日本経営学会編『情報化の進展と企業経営』（千倉書房）1987
 - 4 宮城徹「経営者論」鈴木英寿編『経営学総論』（第2版）（成文堂）1998
 - 5 宮城徹「経営学の歴史」藤芳誠一編『新版・新時代の経営学』（学文社）1993
 - 6 宮城徹「組織の経済理論の基礎構造」日本経営学会編『現代経営学の課題』（千倉書房）1997
 - 7 宮城徹（単独訳書）『情報時代の企業管理の教科書—組織の経済理論の応用—』（税務経理協会）2000（A. Picot u. a., Die grenzenlose Unternehmung, Gabler, 1998）
 - 8 宮城徹（共訳書）『新制度派経済学による組織入門』（白桃書房）1999（A. Picot u. a., Organisation, Eine ökonomische Perspektive, Schaffer - Poeschel, 1997）
- ここでは紙幅の関係で上記の授業内容に直接関連のある私の著書・論文・訳書だけを参考文献の一部として掲げておいたが、その他の文献については適宜紹介しておく。

その他

この科目は、再試験を実施しません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経 営 財 務 論	たか だ みつ あき 高 田 光 明	法A・政治・法B	4

講義のねらい

〔財務の意味〕

経営財務は、企業という組織体の財務を研究する学問分野である。企業は、社会が必要とする財貨やサービスを生産し販売するという活動を営む報酬として、利益を獲得しようとする組織体である。このような活動では、機械、建物、原材料などの財貨が必要となるし、労働力も不可欠である。企業は、その活動を営むに際し、これらの財貨を取得しなければならないし、働き手も雇用しなければならないわけであり、そのために元手となる資本を必要とする。

この元手としての資本を集めることを、資本の調達という。そして、現金の状態では通常は調達する資本で、企業は、上記の財貨や労働力などを取得し、これらの生産要素により、新たな財貨やサービスを生産して販売するという営業活動を遂行し、その結果として資本が自己増殖することを目指す。このことが資本の運用であり、企業の営業活動を通じた資本の自己増殖分が利益である。企業の財務とは、現在では、企業による以上のような資本の調達と運用をいっている。

〔資本調達の位置〕

企業が資本を調達するのは、調達資本をできるだけ効率的に運用して自己増殖させ、利益を生み出すためである。その意味では、資本の運用あつての調達であるといつてよい。しかしながら、企業は、用途に合った種類の資本を、必要とする額だけ必要ときに調達できなければ、資本の運用を意図したように行い難くなる。資本運用の効率性は、企業が、資本の運用に合わせた調達をいかに行えるかに制約される。資本の運用がうまくいくかどうかの出発点は、資本をどのように調達するかにあるといえる。

資本の調達問題は、経営財務において、依然として重要な位置を占めていることに変わりがない。資本の運用あつての調達であるからといって、そのことは、資本の調達面の意義が小さくなることをけっして意味してはいないのである。この授業では、以上のような問題意識のもとで、資本の調達を中心に、必要に応じて資本の運用面と関連させながら講義するつもりである。

講義の内容・ 授業スケジュール

基礎知識を体系的に理解し、この学問の基本的考え方を身に付けられるようにするために、まず基礎的・総論的事項から講義していく。

1. 経営財務の領域
2. 資本と資産
3. 資本の分類
4. 資本の運用形態
5. 資金調達の基本原則
6. 流動・固定分類法の重要性
7. 資金概念
8. 企業利益の概念
9. キャッシュ・フロー
10. リスクとリターン
11. 資本のコスト
12. 内部資金
13. 株式資本と他人資本との相違
14. レバレッジ
15. 資金調達の手順

履修上の留意点

経営財務論を理解する上で必要となる最小限の会計的知識も授業では説明する。しかし、簿記学と会計学を前もって履修してあることが望ましい。

成績評価の方法

原則として、期末筆記試験により評価し、出席点を加味する。

参 考 書 等

中原章吉編著『経営財務と管理会計』（中央経済社）
染谷恭次郎著『資金計画の手引き』（日経文庫）

そ の 他

この科目は、再試験を実施しません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経 営 組 織 論	ひ の けん た 日 野 健 太	法A・政治・法B	4

講義のねらい

組織論のフレームワークによって、企業をはじめとする組織を分析できるようになることを目的とする。そのため、この講義では、組織論で扱われる基本概念を学ぶ。

講義の内容・
授業スケジュール

経営組織論の内容は、大きく分けて、組織の環境適応を扱うマクロ組織論と、組織における集団、個人を扱うミクロ組織論に大別される。ここでは、ミクロ組織論、マクロ組織論の順序で講義を進める。学生諸君が具体的なイメージを持てるように、何回かケースを取り上げる。また、学年末の数回は、組織論の分野の新しい理論やトピックについて扱い、全体的な理解が深まるように配慮する。

講義の対象は以下の通り（番号と講義の回数是对応しない。また必要に応じて順序を入れ替えることがある。）。

- (1) 組織論における組織観と人間観
- (2) モチベーション
- (3) 組織文化
- (4) リーダークシップ
- (5) 組織の環境適応
- (6) 戦略と組織構造
- (7) 情報処理の理論
- (8) 知識創造理論
- (9) 資源依存モデル
- (10) まとめ

履修上の留意点

特に、前提となる特別の知識は必要としないが、自分の所属する組織や見聞する組織を思い浮かべながら学習すると理解が深まるであろう。また、授業中質問することがあるが、そんなに難しいことを訊くつもりはないので、大きな声で答えてほしい。

成績評価の方法

前期授業の最終回にテストを行う。このテストのウエイトが30%程度、学年末の定期テストのウエイトが70%程度。大まかには、この二つが成績を決める。前期のテストを欠席するのは、即不可ではないが、致命的である。

授業中に小テストを行ったり、講義の内容に対してフィードバックを得るために出席をとることがあるが、必要に応じて成績評価に加味する。

教 科 書

金井壽宏『経営組織』（日経文庫）

参 考 書 等

桑田・田尾『組織論』（有斐閣）

大月・藤田・奥村『組織のイメージと理論』（創成社）

田尾『モチベーション入門』（日経文庫）

経営学辞典の類、例えば、二神編著『ビジネス・経営学辞典』（中央経済社）などもなにかと重宝である。

そ の 他

この科目は、再試験を実施しません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
公益企業論	そのだてつお 園田哲男	法A・政治・法B	4

講義のねらい

公益企業論の主要内容は、企業規制に関連する諸問題であり、とくに一般的企業規制と区別された意味における公益企業規制である。つまり、公益企業は、料金およびサービスに関し、規制をうけている問題であり、また、公益企業概念が、本来、制度的色彩の濃いものである。本講では、今日、企業の社会的責任の問題が論じられ、国民福祉という観点から、企業のあり方が問われ、政策事項として企業規制が問題とされている中で、公益企業の規制とは何か、また、公益企業の特質とは一体どのようなものかについて理解を深めることにある。

講義の内容・授業スケジュール

講義のすすめ方としては、前期は、公益企業概念の発達と、その問題点および公益企業概念の再検討を行なう。後期は、公益企業における持株会社の形成（前期と後期）および評価について考察し、その上で公益企業の特質について理解させる。

履修上の留意点

学問は、単に知識だけを増殖するのではなく、適切な判断と意思決定を行なうための基礎となるものと考えている。本当に学ぶ意思のある学生だけが履修してくれることを望む。

成績評価の方法

成績評価は、単元ごとに小テストやレポートを課し、総合評価とするが、大学卒業レベルの知識と問題解決能力を養う努力をしない者は厳しい評価を行なうつもりである。

教科書

園田哲男著『企業論』（八千代出版）2,800円
適宜プリントの配布を行う。

その他

この科目は、再試験を実施しません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
管理会計論	さるやまよしひろ 猿山義広	法A・政治・法B	4

講義のねらい

この講義では、すでに受講者が「簿記学」の単位を修得していることを前提として、企業における管理会計の基本的な理論と手法について学びます。

講義の内容・授業スケジュール

1. 管理会計の意義と体系
2. 短期利益計画のためのC-V-P分析と経済性計算
3. 意思決定のための原価概念と利益概念
4. 原価管理会計
5. 予算統制
6. 投資意思決定

履修上の留意点

「管理会計論」は計算科目なので電卓を持参すること。

成績評価の方法

期末試験、夏季休業中のレポート、および平常点を考慮して、総合的に評価します。ただし、中心になるのは期末試験の結果です。

教科書

開講時に指定します。なお、適宜、プリントを配布します。

参考書等

中原章吉編著『管理会計論』（税務経理協会）
櫻井通晴著『管理会計〔第二版〕』（同文館）
岡本清・廣本敏郎・尾畑裕・挽文子著『管理会計』（中央経済社）

その他

この科目は、再試験を実施しません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
会 計 監 査 論	あ べ か ず ひ と 阿 部 一 人	法A・政治・法B	4

講義のねらい

“監査論を無味乾燥であるとエスケープしないでくれたまえ”
もともと監査論は、その言葉自体がもつ語感からして、堅苦しく・手続的で暗いイメージを与えがちである。
監査論は他人の不実行為を暴くこと自体を目的とするものではないので、仮にその結果、内容のどこにも非のうちどころがなく全く適切で妥当なことが明らかになったとしても、それはむしろ当然の事柄であって、その人が負っている責任を免れることにもなるのである。
監査は、優れて社会的・人間的な用具として生みだされたものであるが、しかしそれを悪用したり骨抜きにしたりする者も現実には存在することは、過去の事例からも明らかなことであるけれども、そのような者が多ければなおのこと監査に対する社会的な要望も多岐に存在している。

まさに、監査がどれだけ社会一般に受け入れられているかということこそ、文明社会を映し出す尺度であると言えまいか！

監査論は財務諸表監査として特徴づけられている。
これは、企業をめぐる多数の利害関係者を保護するため、企業の発表する財務諸表が企業の財政状態や経営成績を適正に表示しているかどうかについて、職業的監査人が公正な立場から批判的意見を表明する社会制度であり、他のあらゆる監査の標準をなすものである。
本講義では、財務諸表監査を中心として、さらに監査役監査ならびに内部監査をはじめ最近の経営監査、監査の国際化などの関連領域をも含めて論及する。

講義の内容・授業スケジュール

- | | |
|----------------------|--------------------|
| 1. 会計監査の意義と目的（総論）(1) | 10. 監査人 |
| ①監査の必要 ②監査の意義 | 11. 監査証拠 |
| ③監査の対象 | 12. 監査計画 |
| 2. 会計監査の意義と目的（2） | 13. 内部統制 |
| ①監査の目的 ②監査思想の変遷 | 14. 試査 |
| ③監査の効用 | 15. 監査技術と監査手続 |
| 3. 監査の機能 | 16. 監査調査 |
| 4. 会計上の誤謬と不正 | 17. 監査報告書 |
| 5. 監査の種類 | 18. 連結財務諸表の監査 |
| 6. 会計監査と財務諸表監査 | 19. 中間財務諸表の監査 |
| 7. 我国の監査制度 | 20. システム監査 |
| ①証券取引法監査 ②商法監査 | 21. 国際監査基準 |
| ③その他の監査制度 | 22. 現代監査論の動向 |
| 8. 監査基準（1） | ①監査概念の拡大化 |
| ①必要性 ②生成と展開 | ②監査保証に程度の差を認める監査概念 |
| 9. 監査基準（2） | |
| ①意義 ②体系 ③一般基準 | |
| ④実施基準 ⑤報告基準 | |

履修上の留意点

「簿記学」「会计学」の科目を履修済みであることが好ましい。

成績評価の方法

評価の方法は、前期と後期の定期試験、レポート（夏季）および出席状況を考慮して、総合的に判定する。なお、最初の講義時に詳細な講義内容、試験の方法および評価の方法等について説明するので、受講希望者は必ず出席すること。

教科書

小関・柳田共著『監査論セミナー』（東京経済情報出版）3,200円

参考書等

- 大矢知浩司『監査論概説』（白桃書房）3,300円
田島四郎『最新監査論』（税務経理協会）2,900円
高田正淳『最新監査論』（中央経済社）2,800円
鳥羽至英『監査基準の基礎』（白桃書房）3,900円
三澤 一『会計監査の理論』（中央経済社）2,800円
山樺忠恕・松田信男『監査基準鋭鋭精説』（税務経理協会）3,500円
脇田良一『財務諸表監査の構造と制度』（中央経済社）3,800円

その他

この科目は、再試験を実施しません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本経済論	はとり 羽鳥 <small>しげる</small> 茂	法A・政治・法B	4

講義のねらい

日本経済の現状と課題について以下の12のテーマを中心に、データと経済理論にもとづいて講義します。経済理論の最近の発展は著しく、それらについても現実経済への応用を重視しながら解説します。

講義の内容・授業スケジュール

前期：

- (1・2) 日本経済の全体像と国民経済計算
- (3・4) 成長と変動の理論と実際
- (5・6) 資産価格の決定とバブル
- (7・8) 雇用・賃金と労働経済
- (9・10) 企業とコーポレート・ガバナンス
- (11・12) デフレ・スパイラルとインフレーション・ターゲティング
- (13) まとめ

後期：

- (14・15) 為替レートの変動とデリバティブ
- (16・17) 日本経済空洞化論と直接投資
- (18・19) 財政赤字とサステナビリティ
- (20・21) 金融と不良債権および金融政策
- (22・23) 人口構造の変化とマクロ経済
- (24・25) 社会保障と年金
- (26) まとめ

履修上の留意点

経済は誰にとっても生活の1つの重要な要素であるからテレビや新聞で報道される経済ニュースに日頃から接するように心がけて、問題意識を養うようにしてください。

成績評価の方法

原則として年度末の定期試験によって評価します。

教科書

小峰隆夫『最新日本経済入門』第2版（日本評論社）2003年 2,500円

参考書等

必要に応じてプリントを配布します。また参考文献の紹介も講義のなかで行います。

その他

この科目は、再試験を実施しません。

